

### **Ⅲ 調查結果**



### Ⅲ 調査結果

#### 1. 行政の各分野の取組についての重要意識・満足意識

問5-1 以下に掲げたそれぞれの項目は、三重県が目指すべき社会の状態を表しています。あなたは、これらのことをどのくらい重要と感じますか。  
また、こうした社会を目指すにあたっての現在の行政の取組に対してどのくらい満足されていますか。

現在の行政の44項目の取組について、重要意識と満足意識を調査した。また、前回調査（平成22年度）および過去の調査との比較を行った。

##### ○重要意識の選択肢

- |                |             |            |
|----------------|-------------|------------|
| ①重要            | ②どちらかといえば重要 | ③どちらともいえない |
| ④どちらかといえば重要でない | ⑤重要でない      | ⑥わからない     |

##### ○満足意識の選択肢

- |             |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| ①満足         | ②どちらかといえば満足 | ③どちらともいえない |
| ④どちらかといえば不満 | ⑤不満         | ⑥わからない     |

各項目について県民の意識を測定するため、重要意識、満足意識と不満足意識を用いる。

「重要意識」＝「重要」と「どちらかといえば重要」と答えた人の率の計
「満足意識」＝「満足」と「どちらかといえば満足」と答えた人の率の計
「不満足意識」＝「不満」と「どちらかといえば不満」と答えた人の率の計

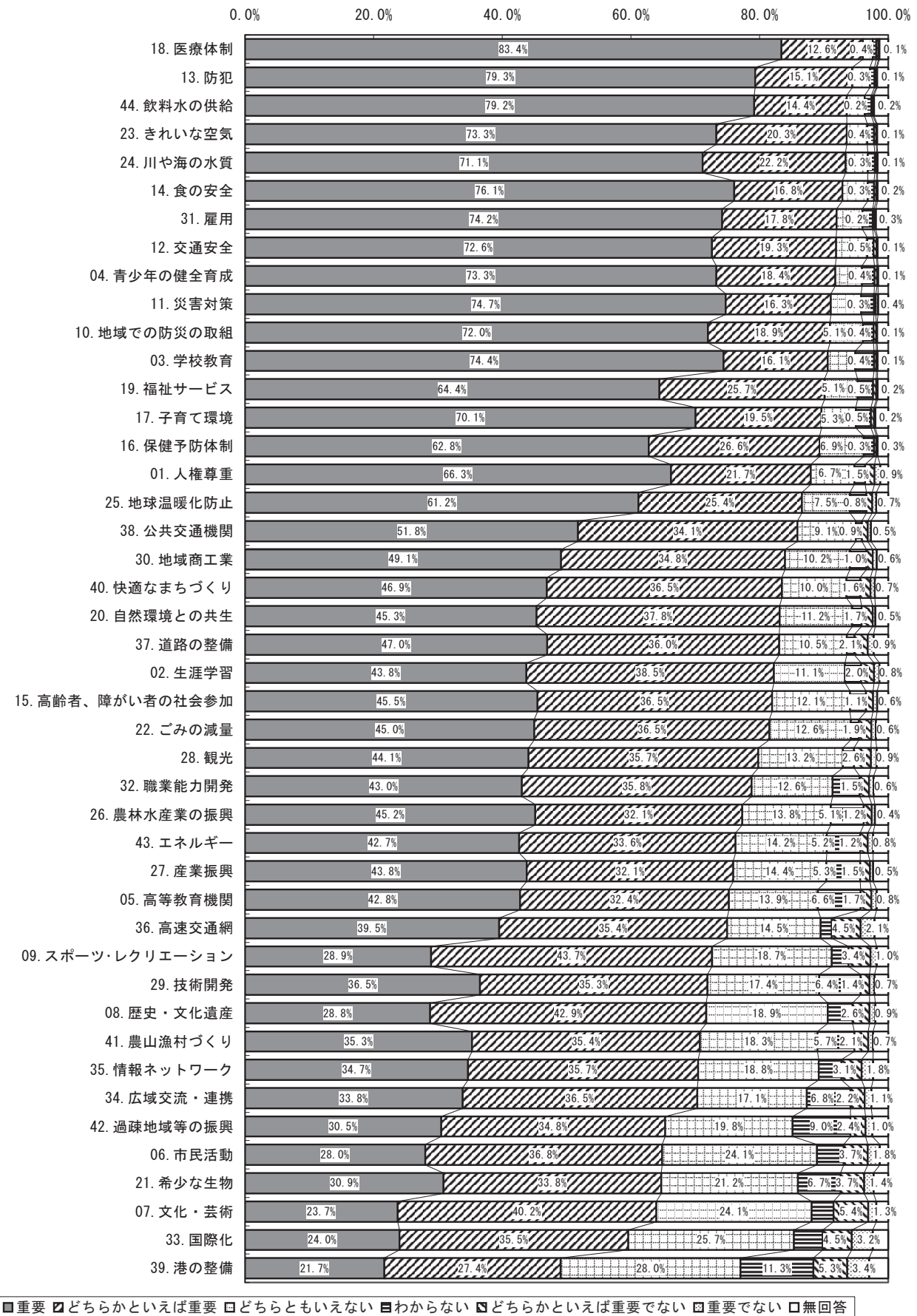
<各項目と「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像〔元気・くらしの安全安心・絆〕との分類について>

一万人アンケートでは、行政の各分野における 44 項目の取組について、各項目を「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像〔元気・くらしの安全安心・絆〕に分類して表示している。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像		項目番号	項目
<b>元気</b> 【一人ひとりが力を発揮し、 経済や産業が元気な社会へ】	一人ひとりの思いを支える 社会環境の創造と人づくり	1	人権尊重
		2	生涯学習
		3	学校教育
		4	青少年の健全育成
		7	文化・芸術
		8	歴史・文化遺産
		9	スポーツ・レクリエーション
		26	農林水産業の振興
	安心を支える雇用・就業環 境づくりと元気な産業づく り	27	産業振興
		28	観光
		29	技術開発
		30	地域商工業
		31	雇用
		32	職業能力開発
<b>くらしの安全安心</b> 【くらしの安全・安心が確立 された社会へ】	安全なくらしの確保と安心 できる生活環境の創造	10	地域での防災の取組
		11	災害対策
		12	交通安全
		13	防犯
		14	食の安全
		15	高齢者、障がい者の社会参加
		16	保健予防体制
		17	子育て環境
		18	医療体制
	持続可能な循環型社会の創 造	19	福祉サービス
		20	自然環境との共生
		21	希少な生物
		22	ごみの減量
		23	きれいな空気
24	川や海の水質		
25	地球温暖化防止		
43	エネルギー		
44	飲料水の供給		
<b>絆</b> 【助け合い、ささえあいによ る絆社会へ】	人と地域の絆づくりと魅力 あふれるふるさと創造	5	高等教育機関
		6	市民活動
		33	国際化
		34	広域交流・連携
		35	情報ネットワーク
		36	高速交通網
		37	道路の整備
		38	公共交通機関
		39	港の整備
		40	快適なまちづくり
		41	農山漁村づくり
		42	過疎地域等の振興

(1) 重要意識に関する結果の概要

(集計資料 p. 29~30)



#### <平成 23 年度>

- ・44 項目のうち「港の整備」(49.1%)、「国際化」(59.5%)を除く 42 項目で 60%以上となっている。25 項目が 80%を上回っており、その内 13 項目が 90%を超えている。
- ・44 項目の中で重要意識が最も高いのは、「医療体制」(96.0%)で、以下「防犯」(94.4%)、「きれいな空気」「飲料水の供給」(ともに 93.6%)、「川や海の水質」(93.3%)、「食の安全」(92.9%)などの項目が上位にあげられている。
- ・重要意識が最も低いのは、「港の整備」(49.1%)で、次いで「国際化」(59.5%)、「文化・芸術」(63.9%)、「希少な生物」(64.7%)、「市民活動」(64.8%)の順となっている。
- ・「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別にみると、「くらしの安全安心」に関する項目が上位を占め、「絆」に関する項目の重要意識が比較的低くなっている。

#### <平成 22 年度との比較>

- ・上位 10 項目を比較してみると、10 位以内の項目は 22 年度と変化無く、また順位の大きな変化もみられない。
- ・下位10項目を比較してみると、下位 2 項目の「港の整備」「国際化」の順位は 2 年間変わっていない。また、「過疎地域等の振興」「文化・芸術」が前年度それぞれ39位と42位で相互に入れ替わっている。
- ・上位、下位 10 項目以外の順位については、「ごみの減量」が 22 年度では 19 位だったのに対し、23 年度は 25 位と低くなっている。

○重要意識・前回からの順位の変動

順位	平成23年度		前 年 比	順位	平成22年度	
	項目	重要意識			項目	重要意識
第1位	医療体制【くらし】	96.0%	←	第1位	医療体制【くらし】	95.5%
第2位	防犯【くらし】	94.4%	↑	第2位	きれいな空気【くらし】	94.4%
第3位	飲料水の供給【くらし】	93.6%	↑	第3位	防犯【くらし】	94.3%
	きれいな空気【くらし】			第4位	飲料水の供給【くらし】	93.8%
第5位	川や海の水質【くらし】	93.3%	←	第5位	川や海の水質【くらし】	93.7%
第6位	食の安全【くらし】	92.9%	←	第6位	食の安全【くらし】	93.3%
第7位	雇用【元気】	92.0%	←	第7位	雇用【元気】	92.3%
第8位	交通安全【くらし】	91.9%	←	第8位	青少年の健全育成【元気】	92.1%
第9位	青少年の健全育成【元気】	91.7%	↓		交通安全【くらし】	
第10位	災害対策【くらし】	91.0%	←	第10位	災害対策【くらし】	91.0%
第11位	地域での防災の取組【くらし】	90.9%	↑	第11位	福祉サービス【くらし】	90.5%
第12位	学校教育【元気】	90.5%	←	第12位	学校教育【元気】	90.4%
第13位	福祉サービス【くらし】	90.1%	↓	第13位	地域での防災の取組【くらし】	89.9%
第14位	子育て環境【くらし】	89.6%	←	第14位	子育て環境【くらし】	89.4%
第15位	保健予防体制【くらし】	89.4%	←	第15位	保健予防体制【くらし】	88.7%
第16位	人権尊重【元気】	88.0%	←	第16位	人権尊重【元気】	88.4%
第17位	地球温暖化防止【くらし】	86.6%	←	第17位	地球温暖化防止【くらし】	87.6%
第18位	公共交通機関【絆】	85.9%	←	第18位	公共交通機関【絆】	85.7%
第19位	地域商工業【元気】	83.9%	↑	第19位	ごみの減量【くらし】	84.5%
第20位	快適なまちづくり【絆】	83.4%	↑	第20位	自然環境との共生【くらし】	84.3%
第21位	自然環境との共生【くらし】	83.1%	↓	第21位	快適なまちづくり【絆】	83.7%
第22位	道路の整備【絆】	83.0%	↑	第22位	地域商工業【元気】	83.6%
第23位	生涯学習【元気】	82.3%	←	第23位	生涯学習【元気】	82.3%
第24位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	82.0%	↑	第24位	道路の整備【絆】	81.4%
第25位	ごみの減量【くらし】	81.5%	↓	第25位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	80.8%
第26位	観光【元気】	79.8%	←	第26位	観光【元気】	79.9%
第27位	職業能力開発【元気】	78.8%	←	第27位	職業能力開発【元気】	79.1%
第28位	農林水産業の振興【元気】	77.3%	←	第28位	農林水産業の振興【元気】	78.2%
第29位	エネルギー【くらし】	76.3%	←	第29位	エネルギー【くらし】	77.8%
第30位	産業振興【元気】	75.9%	←	第30位	産業振興【元気】	75.8%
第31位	高等教育機関【絆】	75.2%	←	第31位	高等教育機関【絆】	74.1%
第32位	高速交通網【絆】	74.9%	↑	第32位	技術開発【元気】	72.9%
第33位	スポーツ・レクリエーション【元気】	72.6%	↑	第33位	歴史・文化遺産【元気】	72.4%
第34位	技術開発【元気】	71.8%	↓	第34位	高速交通網【絆】	72.2%
第35位	歴史・文化遺産【元気】	71.7%	↓	第35位	情報ネットワーク【絆】	71.3%
第36位	農山漁村づくり【絆】	70.7%	↑	第36位	スポーツ・レクリエーション【元気】	71.2%
第37位	情報ネットワーク【絆】	70.4%	↓	第37位	農山漁村づくり【絆】	71.1%
第38位	広域交流・連携【絆】	70.3%	←	第38位	広域交流・連携【絆】	68.3%
第39位	過疎地域等の振興【絆】	65.3%	↑	第39位	文化・芸術【元気】	67.1%
第40位	市民活動【絆】	64.8%	↑	第40位	希少な生物【くらし】	66.0%
第41位	希少な生物【くらし】	64.7%	↓	第41位	市民活動【絆】	65.1%
第42位	文化・芸術【元気】	63.9%	↓	第42位	過疎地域等の振興【絆】	64.1%
第43位	国際化【絆】	59.5%	←	第43位	国際化【絆】	59.0%
第44位	港の整備【絆】	49.1%	←	第44位	港の整備【絆】	46.5%

(2) 満足意識・不満足識に関する結果の概要

図 満足意識

(集計資料 p.31~32)

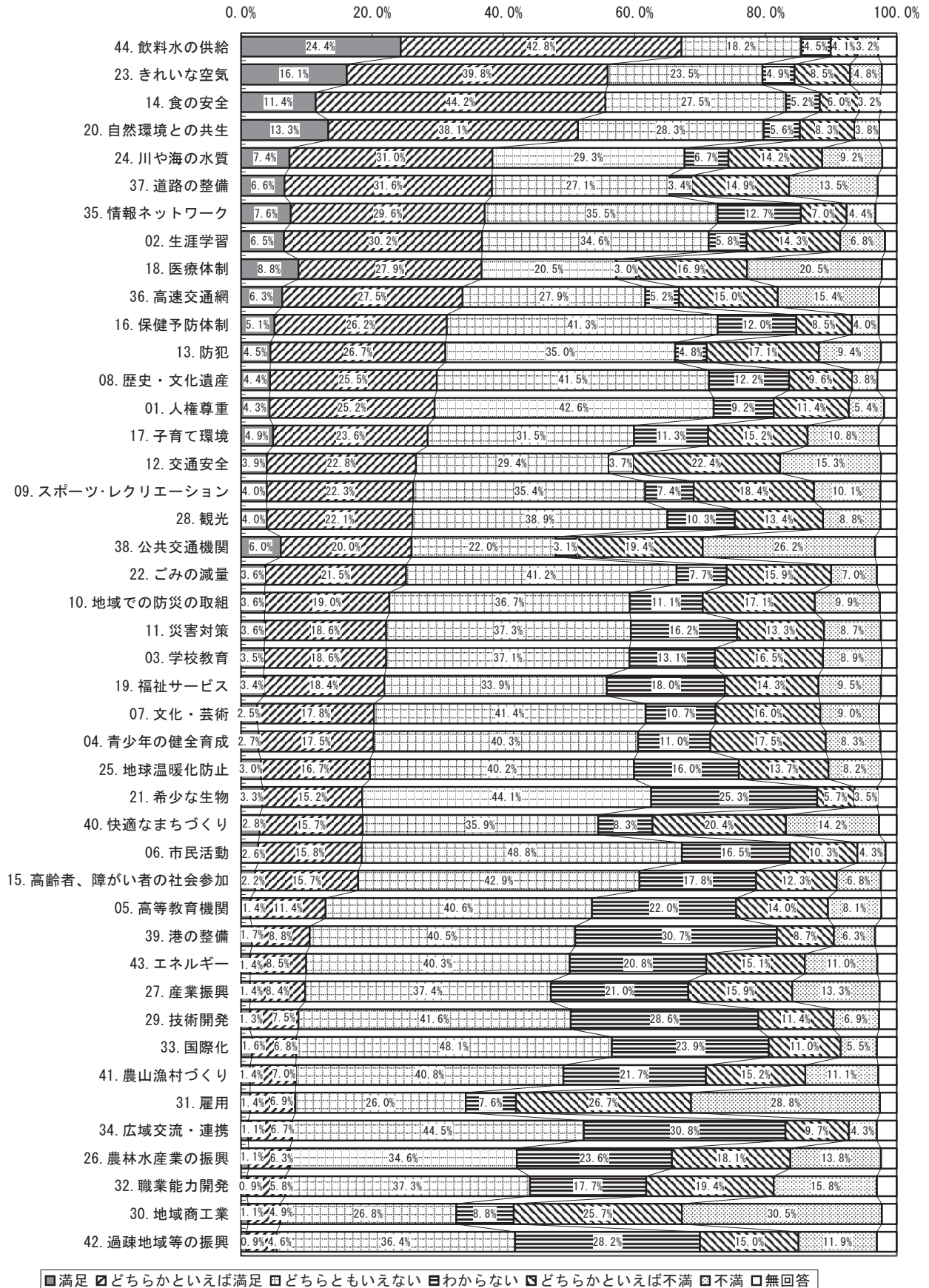
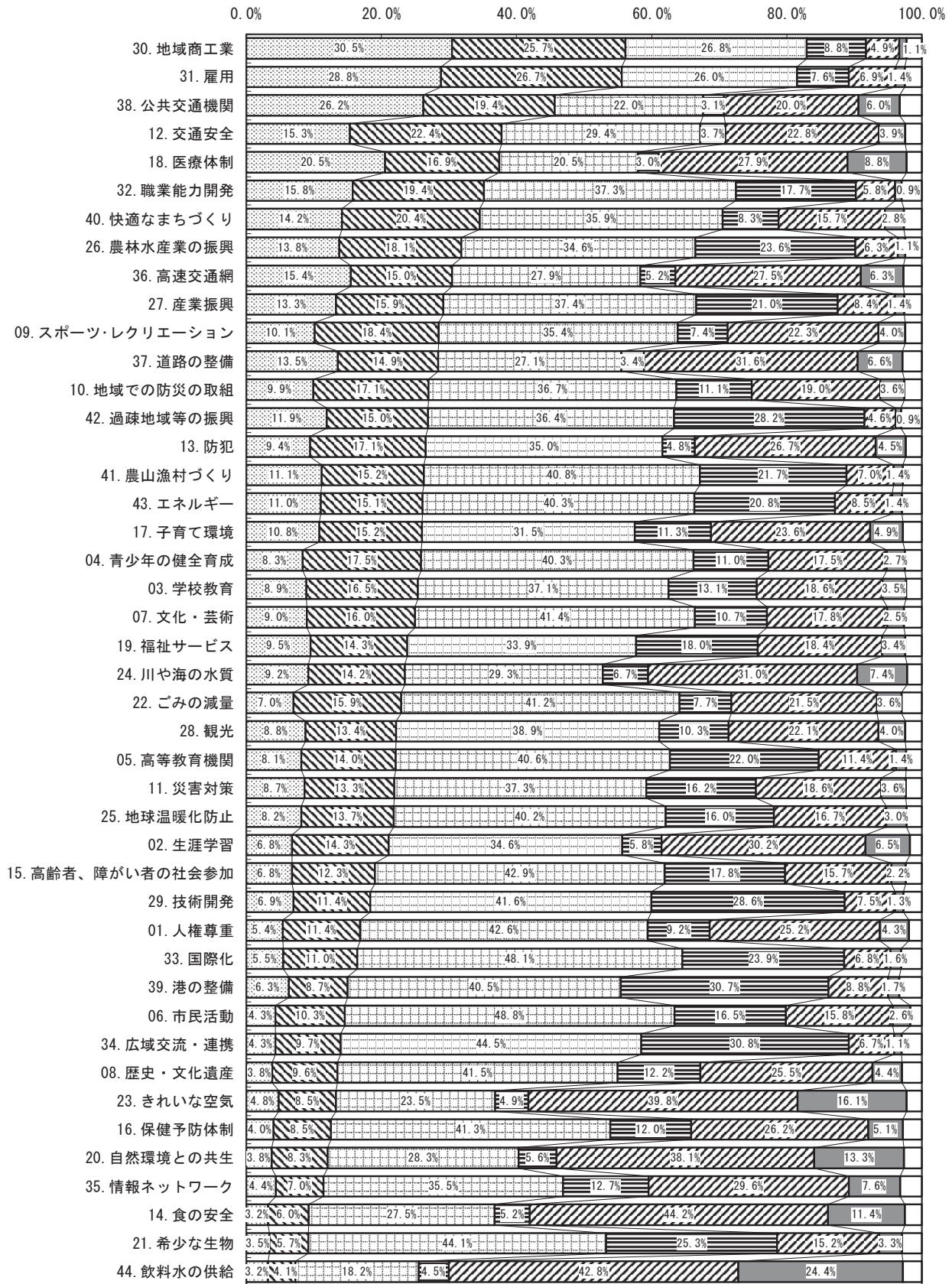




図 不満足識

(集計資料 p.31~32)



不満足 どちらかといえば不満足 どちらともいえない わからない どちらかといえば満足 満足 無回答

### <平成 23 年度>

- ・満足意識については、「飲料水の供給」が 67.2%で最も多く、44 項目の中で唯一 60%を上回っている。以下、「きれいな空気」(55.9%)、「食の安全」(55.6%)、「自然環境との共生」(51.4%)の順となっており、満足意識が 30%以上の項目は 12 項目となっている。
- ・「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別にみると、「くらしの安全安心」に関する項目が上位 10 位以内に 6 項目、「絆」に関する項目が 3 項目、「元気」に関する項目が 1 項目入っている。
- ・不満意識については、「地域商工業」が 56.2%で最も多く、次いで「雇用」(55.5%)、「公共交通機関」(45.6%)、「交通安全」(37.7%)の順となっており、不満意識が 30%以上の項目は 9 項目となっている。
- ・「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別にみると、「元気」に関する項目が上位 10 位以内に 5 項目と多く、「絆」に関する項目が 3 項目、「くらしの安全安心」に関する項目が 2 項目入っている。

### <平成 22 年度との比較>

- ・満足意識について、上位 10 項目を比較してみると、「飲料水の供給」は 2 年間変わらず第 1 位となっている。順位が大きく変化したのは「川や海の水質」で、9 位から 5 位に上がっている。下位 10 項目を比較してみると、「エネルギー」が下位 10 項目から外れ、新たに「農山漁村づくり」が入っている。
- ・不満意識について、上位 10 項目を比較してみると、「青少年の健全育成」「防犯」が上位 10 項目から外れ、新たに「高速交通網」「産業振興」が入っている。下位 10 項目を比較してみると、「港の整備」が下位 10 項目から外れ、「保健予防体制」が新たに入っている。

○満足意識・前回からの順位の変動

順位	平成23年度		前 年 比	順位	平成22年度	
	項目	満足 意識			項目	満足 意識
第1位	飲料水の供給【くらし】	67.2%	←	第1位	飲料水の供給【くらし】	67.2%
第2位	きれいな空気【くらし】	55.9%	←	第2位	きれいな空気【くらし】	54.0%
第3位	食の安全【くらし】	55.6%	←	第3位	食の安全【くらし】	52.3%
第4位	自然環境との共生【くらし】	51.4%	←	第4位	自然環境との共生【くらし】	50.2%
第5位	川や海の水質【くらし】	38.4%	↑	第5位	生涯学習【元気】	39.1%
第6位	道路の整備【絆】	38.2%	←	第6位	道路の整備【絆】	37.4%
第7位	情報ネットワーク【絆】	37.2%	↑	第7位	医療体制【くらし】	36.8%
第8位	生涯学習【元気】	36.7%	↓	第8位	情報ネットワーク【絆】	36.0%
	医療体制【くらし】		↓	第9位	川や海の水質【くらし】	33.9%
第10位	高速交通網【絆】	33.8%	←	第10位	高速交通網【絆】	33.3%
第11位	保健予防体制【くらし】	31.3%	↑	第11位	歴史・文化遺産【元気】	31.7%
第12位	防犯【くらし】	31.2%	↑	第12位	人権尊重【元気】	31.4%
第13位	歴史・文化遺産【元気】	29.9%	↓	第13位	防犯【くらし】	29.7%
第14位	人権尊重【元気】	29.5%	↓	第14位	保健予防体制【くらし】	29.4%
第15位	子育て環境【くらし】	28.5%	↑	第15位	交通安全【くらし】	28.1%
第16位	交通安全【くらし】	26.7%	↓	第16位	スポーツ・レクリエーション【元気】	27.7%
第17位	スポーツ・レクリエーション【元気】	26.3%	↓	第17位	子育て環境【くらし】	27.6%
第18位	観光【元気】	26.1%	↑	第18位	ごみの減量【くらし】	27.4%
第19位	公共交通機関【絆】	26.0%	←	第19位	公共交通機関【絆】	26.7%
第20位	ごみの減量【くらし】	25.1%	↓	第20位	災害対策【くらし】	25.7%
第21位	地域での防災の取組【くらし】	22.6%	↑	第21位	観光【元気】	25.4%
第22位	災害対策【くらし】	22.2%	↓	第22位	地域での防災の取組【くらし】	24.7%
第23位	学校教育【元気】	22.1%	↑	第23位	文化・芸術【元気】	23.1%
第24位	福祉サービス【くらし】	21.8%	←	第24位	福祉サービス【くらし】	22.8%
第25位	文化・芸術【元気】	20.3%	↓	第25位	学校教育【元気】	22.4%
第26位	青少年の健全育成【元気】	20.2%		第26位	市民活動【絆】	22.0%
第27位	地球温暖化防止【くらし】	19.7%	↑	第27位	快適なまちづくり【絆】	21.3%
第28位	希少な生物【くらし】	18.5%	↑	第28位	青少年の健全育成【元気】	20.2%
	快適なまちづくり【絆】		↓	第29位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	18.8%
第30位	市民活動【絆】	18.4%	↓	第30位	希少な生物【くらし】	18.2%
第31位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	17.9%	↓	第31位	地球温暖化防止【くらし】	18.1%
第32位	高等教育機関【絆】	12.8%	←	第32位	高等教育機関【絆】	14.4%
第33位	港の整備【絆】	10.5%	←	第33位	港の整備【絆】	11.8%
第34位	エネルギー【くらし】	9.9%	↑	第34位	農山漁村づくり【絆】	11.2%
第35位	産業振興【元気】	9.8%	←	第35位	産業振興【元気】	10.6%
第36位	技術開発【元気】	8.8%	↑	第36位	エネルギー【くらし】	9.6%
第37位	国際化【絆】	8.4%	↑	第37位	雇用【元気】	9.2%
	農山漁村づくり【絆】		↓	第38位	技術開発【元気】	9.1%
第39位	雇用【元気】	8.3%	↓	第39位	国際化【絆】	8.5%
第40位	広域交流・連携【絆】	7.8%	↑	第40位	農林水産業の振興【元気】	8.0%
第41位	農林水産業の振興【元気】	7.4%	↓	第41位	広域交流・連携【絆】	7.7%
第42位	職業能力開発【元気】	6.7%	←	第42位	職業能力開発【元気】	7.0%
第43位	地域商工業【元気】	6.0%	↑	第43位	過疎地域等の振興【絆】	6.4%
第44位	過疎地域等の振興【絆】	5.5%	↓	第44位	地域商工業【元気】	6.2%

○不満足意識・前回からの順位の変動

順位	平成23年度		前 年 比	順位	平成22年度	
	項目	不満足意識			項目	不満足意識
第1位	地域商工業【元気】	56.2%	←	第1位	地域商工業【元気】	58.0%
第2位	雇用【元気】	55.5%	←	第2位	雇用【元気】	53.0%
第3位	公共交通機関【絆】	45.6%	←	第3位	公共交通機関【絆】	44.1%
第4位	交通安全【暮らし】	37.7%	↑	第4位	医療体制【暮らし】	37.3%
第5位	医療体制【暮らし】	37.4%	↓	第5位	交通安全【暮らし】	37.2%
第6位	職業能力開発【元気】	35.2%	←	第6位	職業能力開発【元気】	34.1%
第7位	快適なまちづくり【絆】	34.6%	←	第7位	快適なまちづくり【絆】	33.3%
第8位	農林水産業の振興【元気】	31.9%	←	第8位	農林水産業の振興【元気】	29.9%
第9位	高速交通網【絆】	30.4%	↑	第9位	青少年の健全育成【元気】	29.8%
第10位	産業振興【元気】	29.2%	↑	第10位	防犯【暮らし】	29.7%
第11位	スポーツ・レクリエーション【元気】	28.5%	↑	第11位	エネルギー【暮らし】	28.9%
第12位	道路の整備【絆】	28.4%	↑	第12位	産業振興【元気】	28.2%
第13位	地域での防災の取組【暮らし】	27.0%	↑	第13位	川や海の水質【暮らし】	28.1%
第14位	過疎地域等の振興【絆】	26.9%	↑	第14位	子育て環境【暮らし】	27.4%
第15位	防犯【暮らし】	26.5%	↓	第15位	高速交通網【絆】	27.3%
第16位	農山漁村づくり【絆】	26.3%	↑	第16位	スポーツ・レクリエーション【元気】	27.1%
第17位	エネルギー【暮らし】	26.1%	↓	第17位	地域での防災の取組【暮らし】	27.0%
第18位	子育て環境【暮らし】	26.0%	↓	第18位	道路の整備【絆】	26.9%
第19位	青少年の健全育成【元気】	25.8%	↓	第19位	学校教育【元気】	26.1%
第20位	学校教育【元気】	25.4%	↓	第20位	文化・芸術【元気】	26.0%
第21位	文化・芸術【元気】	25.0%	↓	第21位	農山漁村づくり【絆】	25.8%
第22位	福祉サービス【暮らし】	23.8%	←	第22位	福祉サービス【暮らし】	25.2%
第23位	川や海の水質【暮らし】	23.4%	↓	第23位	過疎地域等の振興【絆】	24.4%
第24位	ごみの減量【暮らし】	22.9%	↑	第24位	地球温暖化防止【暮らし】	23.8%
第25位	観光【元気】	22.2%	↑	第25位	高等教育機関【絆】	23.5%
第26位	高等教育機関【絆】	22.1%	↓	第26位	ごみの減量【暮らし】	23.0%
第27位	災害対策【暮らし】	22.0%	↓	第27位	観光【元気】	22.7%
第28位	地球温暖化防止【暮らし】	21.9%	↓	第28位	災害対策【暮らし】	22.2%
第29位	生涯学習【元気】	21.1%	←	第29位	生涯学習【元気】	20.7%
第30位	高齢者、障がい者の社会参加【暮らし】	19.1%	←	第30位	高齢者、障がい者の社会参加【暮らし】	18.2%
第31位	技術開発【元気】	18.3%	←	第31位	技術開発【元気】	17.3%
第32位	人権尊重【元気】	16.8%	↑	第32位	保健予防体制【暮らし】	16.8%
第33位	国際化【絆】	16.5%	↑	第33位	人権尊重【元気】	16.5%
第34位	港の整備【絆】	15.0%	↑	第34位	国際化【絆】	16.3%
第35位	市民活動【絆】	14.6%	↑	第35位	きれいな空気【暮らし】	15.7%
第36位	広域交流・連携【絆】	14.0%	↑	第36位	港の整備【絆】	14.2%
第37位	歴史・文化遺産【元気】	13.4%	↑	第37位	市民活動【絆】	14.0%
第38位	きれいな空気【暮らし】	13.3%	↓	第38位	歴史・文化遺産【元気】	13.8%
第39位	保健予防体制【暮らし】	12.5%	↓	第39位	広域交流・連携【絆】	13.5%
第40位	自然環境との共生【暮らし】	12.1%	←	第40位	自然環境との共生【暮らし】	12.2%
第41位	情報ネットワーク【絆】	11.4%	↑	第41位	食の安全【暮らし】	11.3%
第42位	食の安全【暮らし】	9.2%	↓	第42位	希少な生物【暮らし】	11.2%
第43位	希少な生物【暮らし】		←	第43位	情報ネットワーク【絆】	10.6%
第44位	飲料水の供給【暮らし】	7.3%	←	第44位	飲料水の供給【暮らし】	8.7%

### (3) 地域別の重要意識・満足意識の概要

#### ①地域別重要意識上位5項目

##### <平成23年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 96.0%	13. 防犯 94.4%	44. 飲料水の供給	23. きれいな空気 93.6%	24. 川や海の水質 93.3%
北勢地域	18. 医療体制 96.4%	13. 防犯 94.5%	23. きれいな空気 93.9%	44. 飲料水の供給 93.8%	24. 川や海の水質 93.6%
伊賀地域	18. 医療体制 96.7%	13. 防犯 94.6%	44. 飲料水の供給 93.2%	23. きれいな空気 92.9%	24. 川や海の水質 92.7%
中南勢地域	18. 医療体制 95.7%	13. 防犯 94.8%	44. 飲料水の供給 93.2%	23. きれいな空気 93.0%	14. 食の安全 92.8%
伊勢志摩地域	18. 医療体制 95.5%	24. 川や海の水質 93.9%	23. きれいな空気 93.3%	44. 飲料水の供給 93.2%	13. 防犯 93.0%
東紀州地域	44. 飲料水の供給 95.1%	18. 医療体制	24. 川や海の水質 94.8%	23. きれいな空気 94.6%	14. 食の安全 93.6%

##### <平成22年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 95.5%	23. きれいな空気 94.4%	13. 防犯 94.3%	44. 飲料水の供給 93.8%	24. 川や海の水質 93.7%
北勢地域	18. 医療体制 94.4%	23. きれいな空気 93.7%	13. 防犯 93.5%	44. 飲料水の供給 93.3%	24. 川や海の水質 92.8%
伊賀地域	18. 医療体制 96.8%	23. きれいな空気 95.2%	13. 防犯 95.1%	44. 飲料水の供給 94.6%	24. 川や海の水質 94.5%
中南勢地域	18. 医療体制 96.2%	13. 防犯 95.5%	23. きれいな空気 95.2%	24. 川や海の水質	44. 飲料水の供給 94.7%
伊勢志摩地域	18. 医療体制 96.7%	23. きれいな空気 95.2%	13. 防犯 94.5%	14. 食の安全	24. 川や海の水質 31. 雇用 93.6%
東紀州地域	18. 医療体制 94.5%	23. きれいな空気 94.2%	24. 川や海の水質 93.5%	44. 飲料水の供給 93.2%	31. 雇用 92.5%

##### <平成23年度>

- ・ 全体の上位5項目では、「医療体制」「きれいな空気」「飲料水の供給」が全地域で、「川や海の水質」「防犯」が4地域で、それぞれ上位5位までに入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「食の安全」が2地域で上位5位までに入っている。

##### <平成22年度との比較>

- ・ 22年度と比較すると、全地域で1位だった「医療体制」は、東紀州地域で「飲料水の供給」に入れ替わっている。また、北勢地域、伊賀地域では「防犯」の順位が上がっている。
- ・ 22年度では4地域で2位であった「きれいな空気」は、23年度では全地域で3位または4位に下がっている。

○地域別重要意識一覧

※網掛け部分は、各地域別の上位5項目を示す

	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域	県全体
01. 人権尊重	89.0%	87.3%	87.8%	86.0%	86.0%	88.0%
02. 生涯学習	83.7%	79.9%	81.9%	80.7%	78.9%	82.3%
03. 学校教育	91.3%	91.2%	89.9%	89.5%	89.0%	90.5%
04. 青少年の健全育成	92.2%	91.3%	91.6%	91.1%	90.5%	91.7%
05. 高等教育機関	74.8%	75.0%	77.2%	73.3%	72.1%	75.2%
06. 市民活動	63.9%	63.2%	67.1%	63.5%	67.6%	64.8%
07. 文化・芸術	63.7%	63.1%	66.3%	60.6%	63.8%	63.9%
08. 歴史・文化遺産	69.3%	73.8%	73.5%	73.4%	74.4%	71.7%
09. スポーツ・レクリエーション	74.8%	69.1%	72.3%	69.3%	69.9%	72.6%
10. 地域での防災の取組	91.2%	91.1%	90.8%	90.2%	92.3%	90.9%
11. 災害対策	90.8%	90.7%	92.1%	90.1%	91.2%	91.0%
12. 交通安全	92.1%	92.6%	92.7%	89.8%	90.1%	91.9%
13. 防犯	94.5%	94.6%	94.8%	93.0%	93.4%	94.4%
14. 食の安全	93.1%	92.3%	92.8%	92.2%	93.6%	92.9%
15. 高齢者、障がい者の社会参加	83.3%	82.3%	81.3%	78.5%	82.2%	82.0%
16. 保健予防体制	89.8%	88.9%	89.5%	87.7%	89.1%	89.4%
17. 子育て環境	89.5%	91.9%	89.2%	88.7%	90.9%	89.6%
18. 医療体制	96.4%	96.7%	95.7%	95.5%	94.8%	96.0%
19. 福祉サービス	90.2%	89.7%	91.3%	87.8%	89.7%	90.1%
20. 自然環境との共生	83.3%	83.7%	82.4%	83.6%	84.0%	83.1%
21. 希少な生物	65.9%	65.1%	62.4%	65.4%	63.9%	64.7%
22. ごみの減量	82.3%	77.8%	81.4%	81.1%	82.9%	81.5%
23. きれいな空気	93.9%	92.9%	93.0%	93.3%	94.6%	93.6%
24. 川や海の水質	93.6%	92.7%	92.5%	93.9%	94.8%	93.3%
25. 地球温暖化防止	88.2%	83.2%	85.2%	86.5%	86.8%	86.6%
26. 農林水産業の振興	76.9%	72.8%	78.1%	78.6%	81.4%	77.3%
27. 産業振興	76.5%	75.3%	73.4%	78.7%	79.4%	75.9%
28. 観光	78.3%	78.3%	79.7%	84.9%	83.5%	79.8%
29. 技術開発	73.4%	68.1%	70.1%	72.8%	73.5%	71.8%
30. 地域商工業	83.8%	82.8%	83.4%	84.9%	87.4%	83.9%
31. 雇用	92.2%	91.4%	91.4%	92.6%	93.4%	92.0%
32. 職業能力開発	77.2%	80.7%	79.4%	80.2%	82.5%	78.8%
33. 国際化	61.8%	57.2%	58.5%	57.6%	54.5%	59.5%
34. 広域交流・連携	71.7%	70.8%	69.0%	67.2%	72.4%	70.3%
35. 情報ネットワーク	70.1%	72.9%	69.8%	69.5%	75.6%	70.4%
36. 高速交通網	76.9%	71.5%	74.0%	70.2%	84.4%	74.9%
37. 道路の整備	83.1%	83.4%	83.2%	80.5%	87.7%	83.0%
38. 公共交通機関	86.5%	87.2%	85.5%	83.5%	86.4%	85.9%
39. 港の整備	50.8%	38.9%	49.6%	47.7%	53.9%	49.1%
40. 快適なまちづくり	84.0%	81.7%	83.8%	82.8%	80.6%	83.4%
41. 農山漁村づくり	69.9%	68.1%	70.2%	73.5%	79.8%	70.7%
42. 過疎地域等の振興	62.0%	66.8%	66.3%	69.3%	77.6%	65.3%
43. エネルギー	77.3%	75.9%	75.2%	75.3%	76.2%	76.3%
44. 飲料水の供給	93.8%	93.2%	93.2%	93.2%	95.1%	93.6%

## ②地域別満足意識上位5項目

### <平成23年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	44. 飲料水の供給 67.2%	23. きれいな空気 55.9%	14. 食の安全 55.6%	20. 自然環境との共生 51.4%	24. 川や海の水質 38.4%
北勢地域	44. 飲料水の供給 68.8%	14. 食の安全 54.9%	23. きれいな空気 47.5%	20. 自然環境との共生 47.1%	18. 医療体制 44.5%
伊賀地域	23. きれいな空気 64.2%	44. 飲料水の供給 60.0%	20. 自然環境との共生 58.7%	14. 食の安全 52.4%	24. 川や海の水質 39.7%
中南勢地域	44. 飲料水の供給 65.6%	23. きれいな空気 59.0%	14. 食の安全 56.4%	20. 自然環境との共生 51.6%	18. 医療体制 40.6%
伊勢志摩地域	44. 飲料水の供給 67.9%	23. きれいな空気 66.4%	14. 食の安全 57.3%	20. 自然環境との共生 57.2%	24. 川や海の水質 46.8%
東紀州地域	23. きれいな空気 73.8%	44. 飲料水の供給 73.7%	20. 自然環境との共生 61.1%	14. 食の安全 58.5%	24. 川や海の水質 58.0%

### <平成22年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	44. 飲料水の供給 67.2%	23. きれいな空気 54.0%	14. 食の安全 52.3%	20. 自然環境との共生 50.2%	02. 生涯学習 39.1%
北勢地域	44. 飲料水の供給 68.4%	14. 食の安全 50.2%	23. きれいな空気 46.0%	20. 自然環境との共生 44.6%	18. 医療体制 44.3%
伊賀地域	44. 飲料水の供給 64.5%	23. きれいな空気 63.8%	20. 自然環境との共生 57.2%	14. 食の安全 51.5%	24. 川や海の水質 38.1%
中南勢地域	44. 飲料水の供給 65.6%	23. きれいな空気 54.2%	14. 食の安全 53.6%	20. 自然環境との共生 50.0%	37. 道路の整備 40.3%
伊勢志摩地域	44. 飲料水の供給 67.3%	23. きれいな空気 65.4%	20. 自然環境との共生 58.8%	14. 食の安全 54.5%	24. 川や海の水質 41.8%
東紀州地域	23. きれいな空気 74.7%	44. 飲料水の供給 72.3%	20. 自然環境との共生 65.8%	14. 食の安全 59.1%	24. 川や海の水質 58.2%

### <平成23年度>

- ・ 全体の上位5項目では、「飲料水の供給」「きれいな空気」「自然環境との共生」「食の安全」が全地域で上位5位までに入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「川や海の水質」が3地域で、「医療体制」が2地域でそれぞれ上位5位までに入っている。

### <平成22年度との比較>

- ・ 伊賀地域の1位が「飲料水の供給」から「きれいな空気」に入れ替わっている。
- ・ 上位5項目では、中南勢地域において「道路の整備」が5位から外れ、代わりに「医療体制」が入っているが、他4地域では2年間上位5項目は変わっていない。

○地域別満足意識一覧

※網掛け部分は、各地域別の上位5項目を示す

	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域	県全体
01. 人権尊重	31.1%	26.6%	28.6%	28.8%	28.3%	29.5%
02. 生涯学習	38.3%	27.3%	40.0%	34.8%	25.7%	36.7%
03. 学校教育	23.1%	20.8%	21.2%	23.2%	18.7%	22.1%
04. 青少年の健全育成	19.0%	19.4%	20.4%	23.7%	23.3%	20.2%
05. 高等教育機関	12.9%	11.5%	14.0%	12.6%	9.4%	12.8%
06. 市民活動	18.0%	19.8%	19.5%	16.7%	17.4%	18.4%
07. 文化・芸術	20.6%	19.0%	22.4%	16.8%	16.2%	20.3%
08. 歴史・文化遺産	28.2%	32.8%	29.5%	33.4%	31.7%	29.9%
09. スポーツ・レクリエーション	30.6%	22.7%	22.8%	23.7%	19.4%	26.3%
10. 地域での防災の取組	23.8%	21.8%	21.0%	20.7%	28.6%	22.6%
11. 災害対策	23.9%	19.4%	19.9%	21.8%	25.3%	22.2%
12. 交通安全	28.0%	24.6%	25.9%	24.3%	29.7%	26.7%
13. 防犯	28.5%	30.1%	31.9%	35.9%	42.2%	31.2%
14. 食の安全	54.9%	52.4%	56.4%	57.3%	58.5%	55.6%
15. 高齢者、障がい者の社会参加	18.5%	17.7%	17.0%	17.0%	19.2%	17.9%
16. 保健予防体制	33.7%	25.1%	30.5%	30.0%	30.8%	31.3%
17. 子育て環境	32.5%	19.5%	26.7%	27.0%	21.5%	28.5%
18. 医療体制	44.5%	11.5%	40.6%	27.0%	13.9%	36.7%
19. 福祉サービス	20.8%	20.2%	22.2%	24.6%	25.6%	21.8%
20. 自然環境との共生	47.1%	58.7%	51.6%	57.2%	61.1%	51.4%
21. 希少な生物	19.2%	24.0%	15.2%	19.3%	19.6%	18.5%
22. ごみの減量	25.6%	25.9%	23.6%	25.9%	27.7%	25.1%
23. きれいな空気	47.5%	64.2%	59.0%	66.4%	73.8%	55.9%
24. 川や海の水質	34.9%	39.7%	36.6%	46.8%	58.0%	38.4%
25. 地球温暖化防止	17.9%	20.3%	19.6%	22.6%	28.3%	19.7%
26. 農林水産業の振興	7.6%	5.9%	7.7%	8.1%	5.8%	7.4%
27. 産業振興	12.1%	7.1%	9.0%	7.3%	4.6%	9.8%
28. 観光	26.2%	21.2%	26.7%	30.7%	17.2%	26.1%
29. 技術開発	10.9%	5.5%	7.3%	7.9%	5.1%	8.8%
30. 地域商工業	7.3%	4.0%	4.9%	6.1%	4.0%	6.0%
31. 雇用	11.0%	4.8%	7.5%	5.0%	2.9%	8.3%
32. 職業能力開発	8.1%	3.7%	7.1%	5.1%	2.4%	6.7%
33. 国際化	10.1%	5.7%	8.4%	6.3%	3.8%	8.4%
34. 広域交流・連携	9.0%	7.0%	6.8%	6.8%	6.6%	7.8%
35. 情報ネットワーク	39.9%	36.5%	35.9%	34.0%	29.1%	37.2%
36. 高速交通網	40.9%	21.4%	33.8%	24.7%	14.1%	33.8%
37. 道路の整備	42.8%	29.0%	40.0%	31.1%	20.6%	38.2%
38. 公共交通機関	31.6%	18.5%	25.9%	18.3%	8.8%	26.0%
39. 港の整備	10.2%	4.0%	14.7%	8.9%	6.4%	10.5%
40. 快適なまちづくり	21.4%	12.5%	18.0%	16.1%	11.8%	18.5%
41. 農山漁村づくり	9.2%	4.6%	7.3%	10.6%	7.1%	8.4%
42. 過疎地域等の振興	6.0%	3.4%	5.8%	4.9%	4.2%	5.5%
43. エネルギー	10.9%	7.5%	11.1%	7.1%	5.9%	9.9%
44. 飲料水の供給	68.8%	60.0%	65.6%	67.9%	73.7%	67.2%



### ③地域別不満意識上位5項目

<平成23年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	30. 地域商工業 56.2%	31. 雇用 55.5%	38. 公共交通機関 45.6%	12. 交通安全 37.7%	18. 医療体制 37.4%
北勢地域	30. 地域商工業 50.4%	31. 雇用 50.3%	38. 公共交通機関 40.4%	12. 交通安全 38.6%	40. 快適なまちづくり 33.2%
伊賀地域	18. 医療体制 67.7%	31. 雇用 60.6%	30. 地域商工業 58.2%	38. 公共交通機関 54.7%	32. 職業能力開発 40.5%
中南勢地域	30. 地域商工業 60.3%	31. 雇用 53.9%	38. 公共交通機関 45.4%	12. 交通安全 38.4%	40. 快適なまちづくり 34.2%
伊勢志摩地域	31. 雇用 65.6%	30. 地域商工業 61.3%	38. 公共交通機関 50.6%	18. 医療体制 48.0%	32. 職業能力開発 43.1%
東紀州地域	31. 雇用 78.4%	30. 地域商工業 68.9%	18. 医療体制 66.9%	38. 公共交通機関 66.7%	32. 職業能力開発 58.5%

<平成22年度>

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	30. 地域商工業 58.0%	31. 雇用 53.0%	38. 公共交通機関 44.1%	18. 医療体制 37.3%	12. 交通安全 37.2%
北勢地域	30. 地域商工業 50.9%	31. 雇用 42.6%	38. 公共交通機関 38.3%	12. 交通安全 36.0%	13. 防犯 31.1%
伊賀地域	18. 医療体制 58.7%	31. 雇用 57.9%	30. 地域商工業 57.7%	38. 公共交通機関 54.3%	12. 交通安全 40.5%
中南勢地域	30. 地域商工業 64.3%	31. 雇用 58.3%	38. 公共交通機関 43.2%	12. 交通安全 38.9%	32. 職業能力開発 36.3%
伊勢志摩地域	30. 地域商工業 66.1%	31. 雇用 64.7%	38. 公共交通機関 51.0%	18. 医療体制 50.9%	32. 職業能力開発 43.6%
東紀州地域	31. 雇用 74.6%	30. 地域商工業 66.7%	38. 公共交通機関 63.8%	18. 医療体制 63.2%	36. 高速交通網 57.1%

<平成23年度>

- ・ 全体の上位5項目では、「地域商工業」「雇用」「公共交通機関」が全地域で上位5位までに入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「医療体制」「職業能力開発」が3地域で、「交通安全」「快適なまちづくり」が2地域でそれぞれ上位5位までに入っている。

<平成22年度との比較>

- ・ 各地域の4位までの項目に変化はなく、順位に関しても大きな変化はみられない。
- ・ 5位については北勢地域で「防犯」、中南勢地域で「職業能力開発」が上位5位から外れ、「快適なまちづくり」がそれぞれ第5位に入っている。また、伊賀地域で「交通安全」、東紀州地域で「高速交通網」が上位5位から外れ、「職業能力開発」がそれぞれ第5位に入っている。

○地域別不満意識一覧

※網掛け部分は、各地域別の上位5項目を示す

	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域	県全体
01. 人権尊重	15.5%	16.6%	18.7%	17.2%	18.1%	16.8%
02. 生涯学習	20.0%	27.5%	18.2%	23.5%	29.7%	21.1%
03. 学校教育	25.9%	29.7%	24.0%	22.8%	28.7%	25.4%
04. 青少年の健全育成	27.3%	26.1%	25.3%	22.7%	25.1%	25.8%
05. 高等教育機関	20.3%	29.6%	21.2%	22.6%	29.6%	22.1%
06. 市民活動	14.9%	15.1%	12.9%	16.2%	15.8%	14.6%
07. 文化・芸術	23.9%	27.3%	23.8%	27.0%	32.7%	25.0%
08. 歴史・文化遺産	13.2%	14.2%	13.1%	13.9%	15.3%	13.4%
09. スポーツ・レクリエーション	25.3%	30.8%	30.8%	30.8%	35.1%	28.5%
10. 地域での防災の取組	23.9%	27.1%	29.9%	30.5%	28.0%	27.0%
11. 災害対策	18.7%	23.2%	22.9%	28.0%	27.4%	22.0%
12. 交通安全	38.6%	37.3%	38.4%	37.0%	28.7%	37.7%
13. 防犯	29.8%	25.8%	25.6%	21.5%	16.9%	26.5%
14. 食の安全	8.9%	8.9%	10.4%	9.0%	7.1%	9.2%
15. 高齢者、障がい者の社会参加	19.5%	19.4%	19.0%	17.4%	18.9%	19.1%
16. 保健予防体制	11.2%	18.0%	13.0%	11.6%	14.6%	12.5%
17. 子育て環境	23.7%	37.3%	23.2%	28.3%	36.6%	26.0%
18. 医療体制	30.0%	67.7%	29.9%	48.0%	66.9%	37.4%
19. 福祉サービス	23.1%	29.6%	23.0%	22.4%	27.5%	23.8%
20. 自然環境との共生	13.8%	8.0%	12.9%	8.7%	7.1%	12.1%
21. 希少な生物	8.7%	10.8%	9.5%	9.1%	9.1%	9.2%
22. ごみの減量	25.1%	19.6%	22.6%	20.9%	16.8%	22.9%
23. きれいな空気	17.4%	9.6%	11.3%	8.7%	5.9%	13.3%
24. 川や海の水質	24.3%	23.2%	25.1%	19.8%	15.7%	23.4%
25. 地球温暖化防止	25.7%	18.5%	19.3%	19.4%	14.0%	21.9%
26. 農林水産業の振興	28.2%	33.1%	33.1%	37.2%	43.0%	31.9%
27. 産業振興	23.3%	31.8%	30.2%	38.1%	50.1%	29.2%
28. 観光	20.2%	23.0%	22.8%	23.8%	32.3%	22.2%
29. 技術開発	15.7%	18.1%	19.7%	21.1%	30.9%	18.3%
30. 地域商工業	50.4%	58.2%	60.3%	61.3%	68.9%	56.2%
31. 雇用	50.3%	60.6%	53.9%	65.6%	78.4%	55.5%
32. 職業能力開発	30.4%	40.5%	33.8%	43.1%	58.5%	35.2%
33. 国際化	16.3%	17.9%	15.3%	16.8%	20.2%	16.5%
34. 広域交流・連携	13.4%	17.2%	13.4%	13.3%	18.7%	14.0%
35. 情報ネットワーク	10.5%	12.7%	11.9%	11.2%	15.8%	11.4%
36. 高速交通網	26.3%	39.1%	27.8%	34.9%	58.4%	30.4%
37. 道路の整備	25.6%	37.1%	25.0%	32.6%	49.2%	28.4%
38. 公共交通機関	40.4%	54.7%	45.4%	50.6%	66.7%	45.6%
39. 港の整備	15.2%	6.2%	13.4%	21.0%	23.4%	15.0%
40. 快適なまちづくり	33.2%	35.9%	34.2%	36.9%	40.2%	34.6%
41. 農山漁村づくり	22.0%	26.4%	27.5%	33.9%	40.6%	26.3%
42. 過疎地域等の振興	20.3%	29.9%	29.1%	35.2%	48.6%	26.9%
43. エネルギー	26.4%	26.4%	22.0%	30.4%	36.3%	26.1%
44. 飲料水の供給	6.5%	10.2%	7.4%	7.9%	5.6%	7.3%

#### (4) 個別項目ごとの重要意識・満足意識（年齢層別、地域別）

44 項目それぞれについて、年齢層別・地域別の重要意識・満足意識と、重要意識・満足意識・不満意識の過去 12 回（一部項目を除く）の調査の経年変化を図示した。

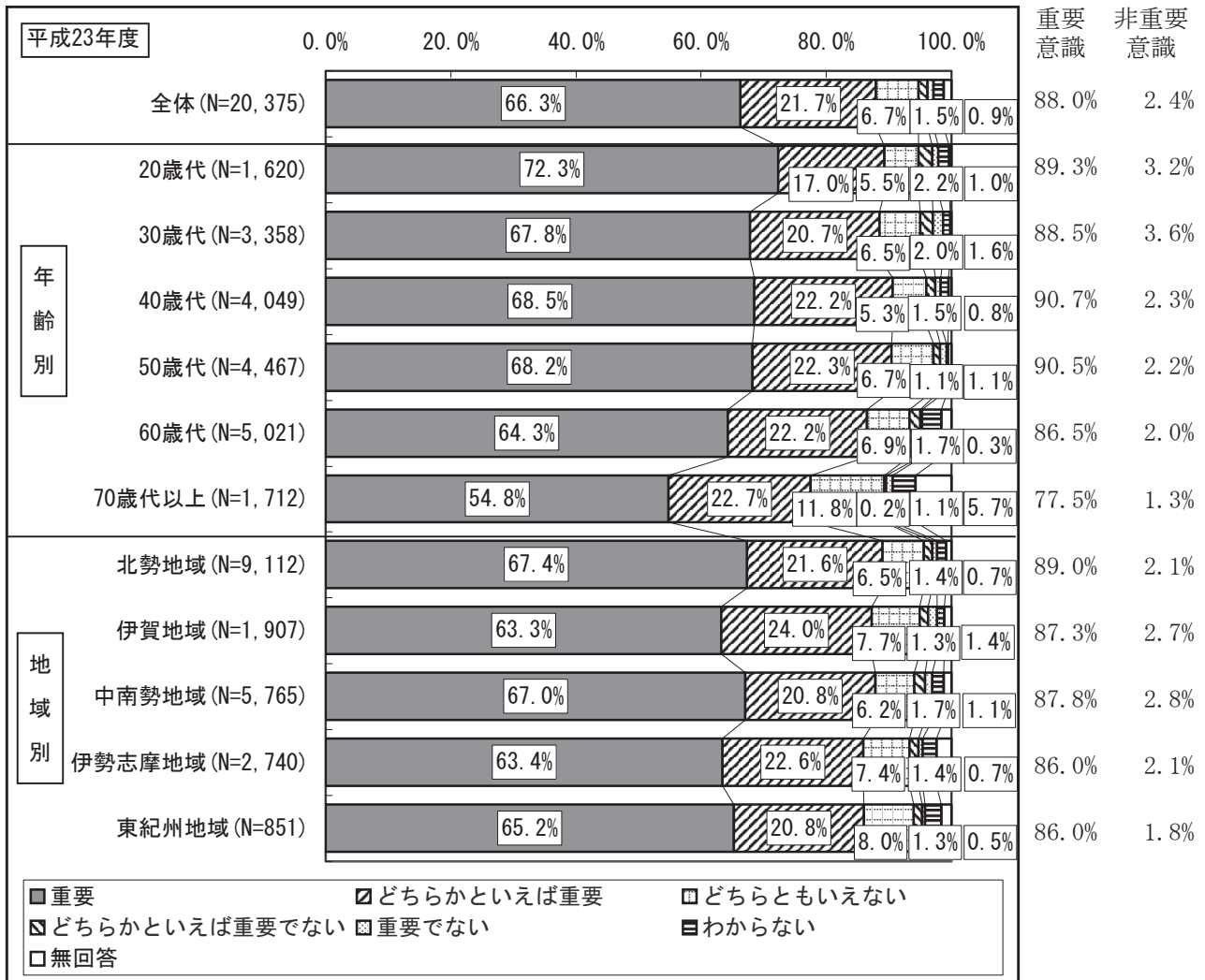
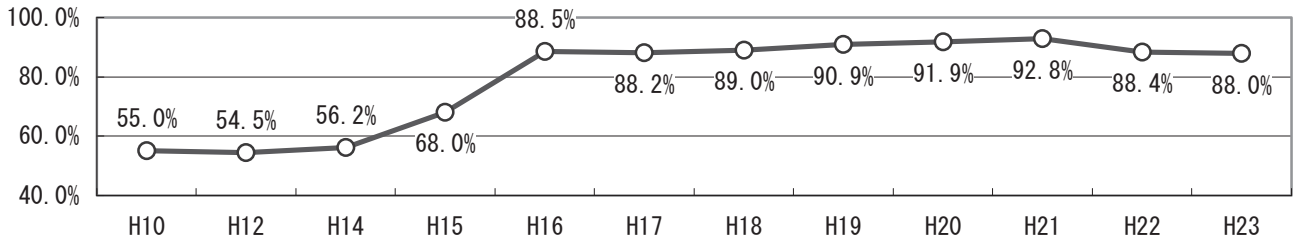
各選択肢について、平成 15 年度までの表現も併せて掲載している他、複数の項目が統合された等過去に変更があった項目については個別に補足を行っている。

1) 人権尊重

平成 15 年度までの表現	人権侵害や差別をなくすための取組
平成 16 年度以降の表現	性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力が十分発揮できること。

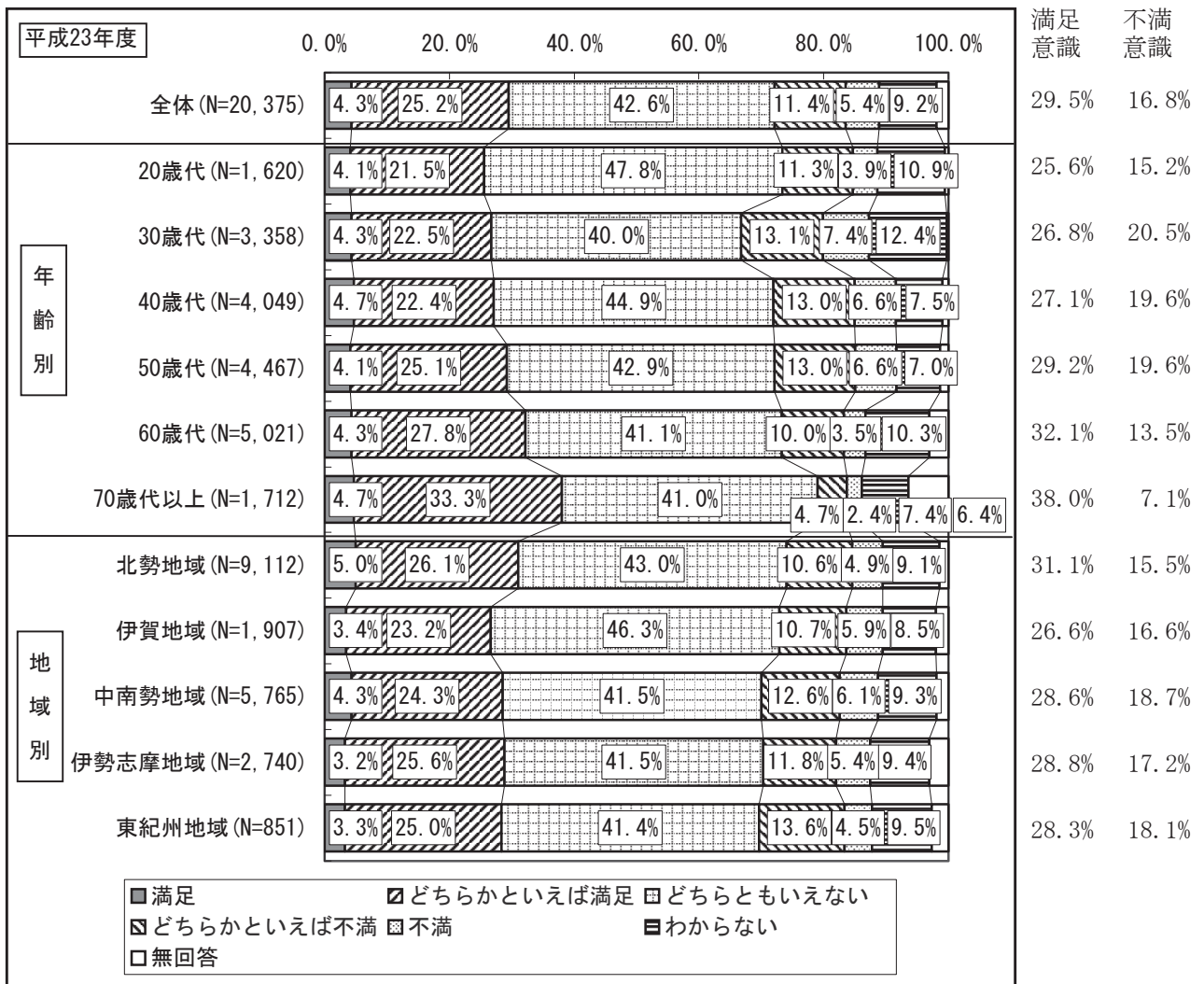
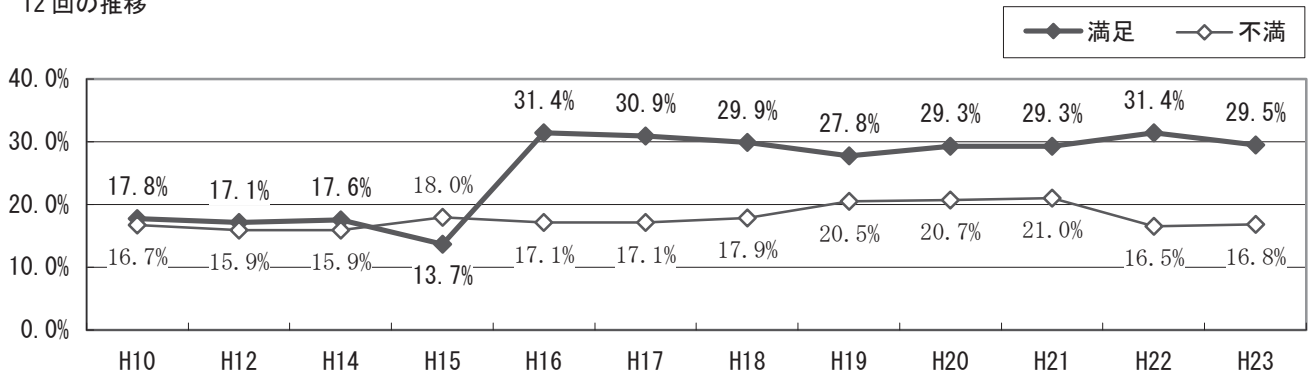
**重要意識** (集計資料 p.33)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.34)

12回の推移

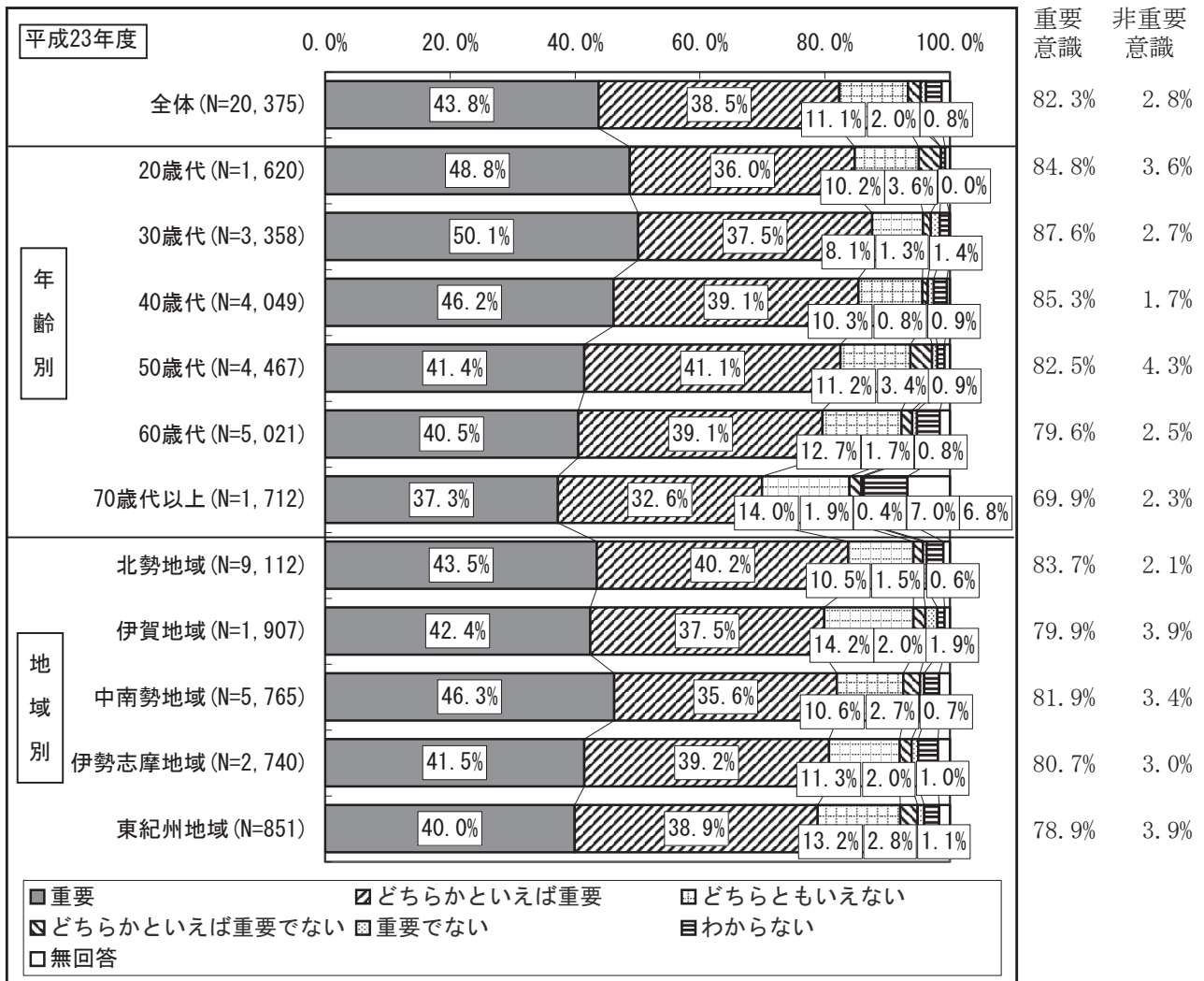
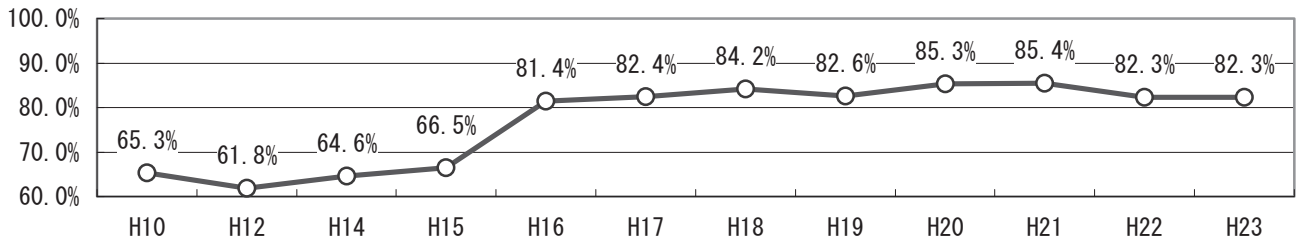


## 2) 生涯学習

平成 15 年度までの表現	生涯学習の場と機会の提供
平成 16 年度以降の表現	誰もが興味や必要に応じて、図書館や博物館、講座などで学ぶことができる環境が整っていること。

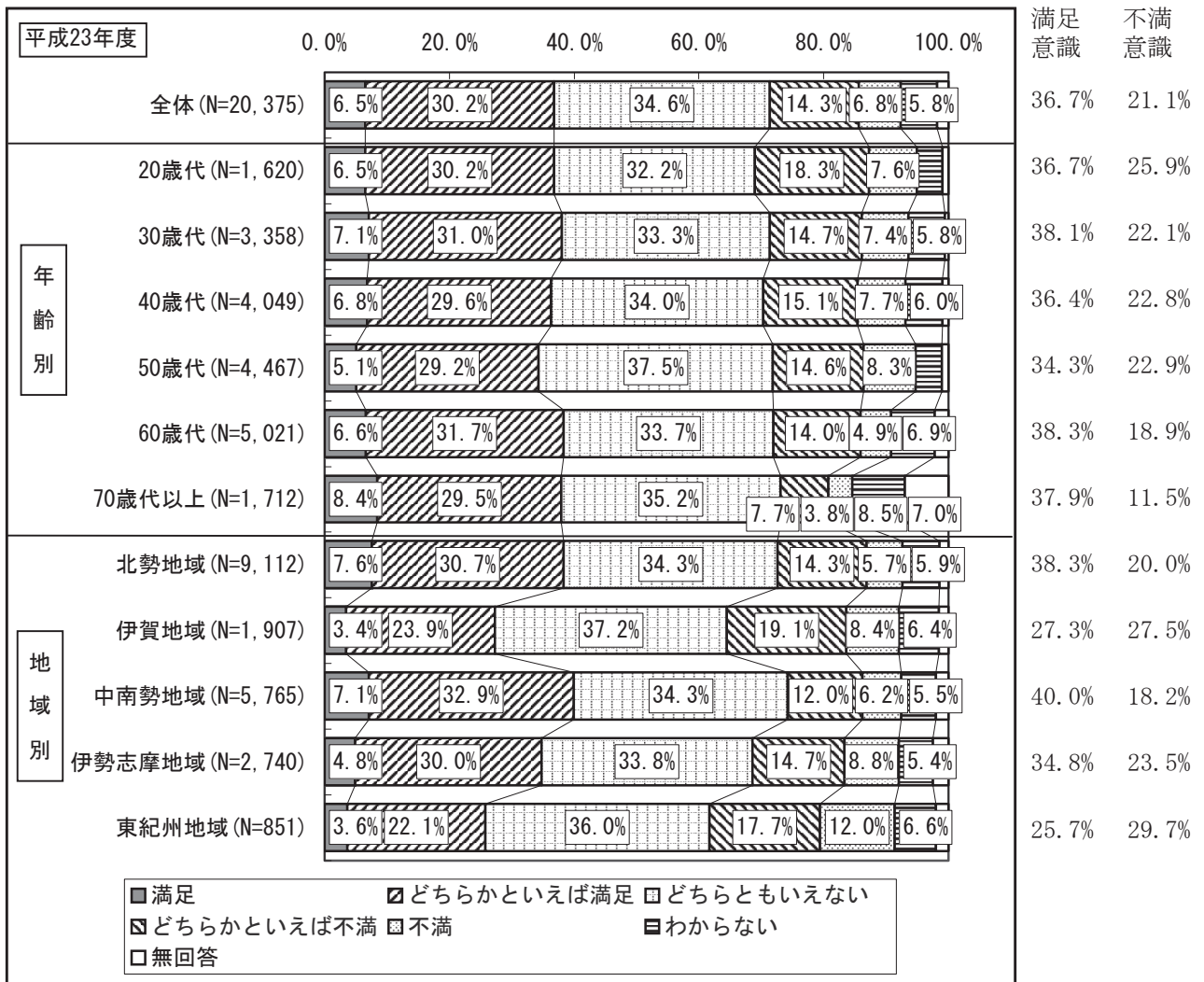
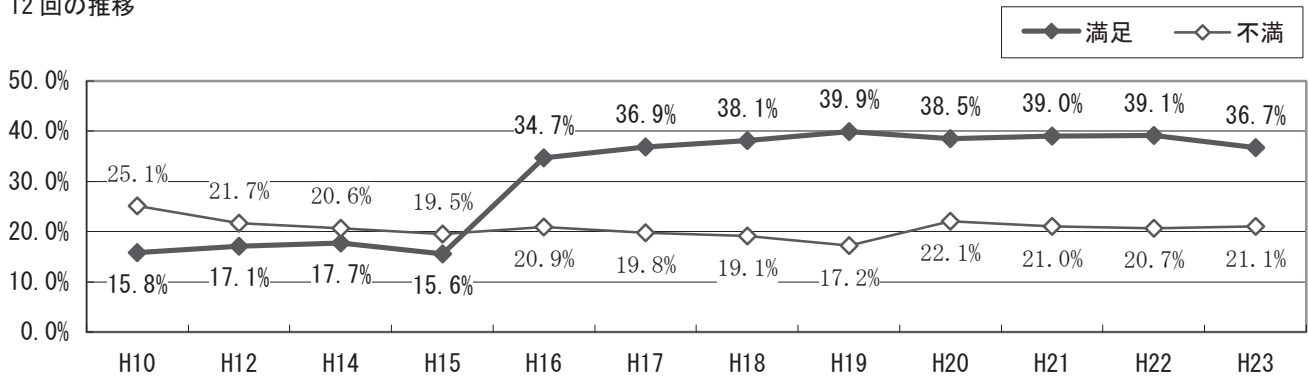
**重要意識** (集計資料 p.35)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.36)

12回の推移

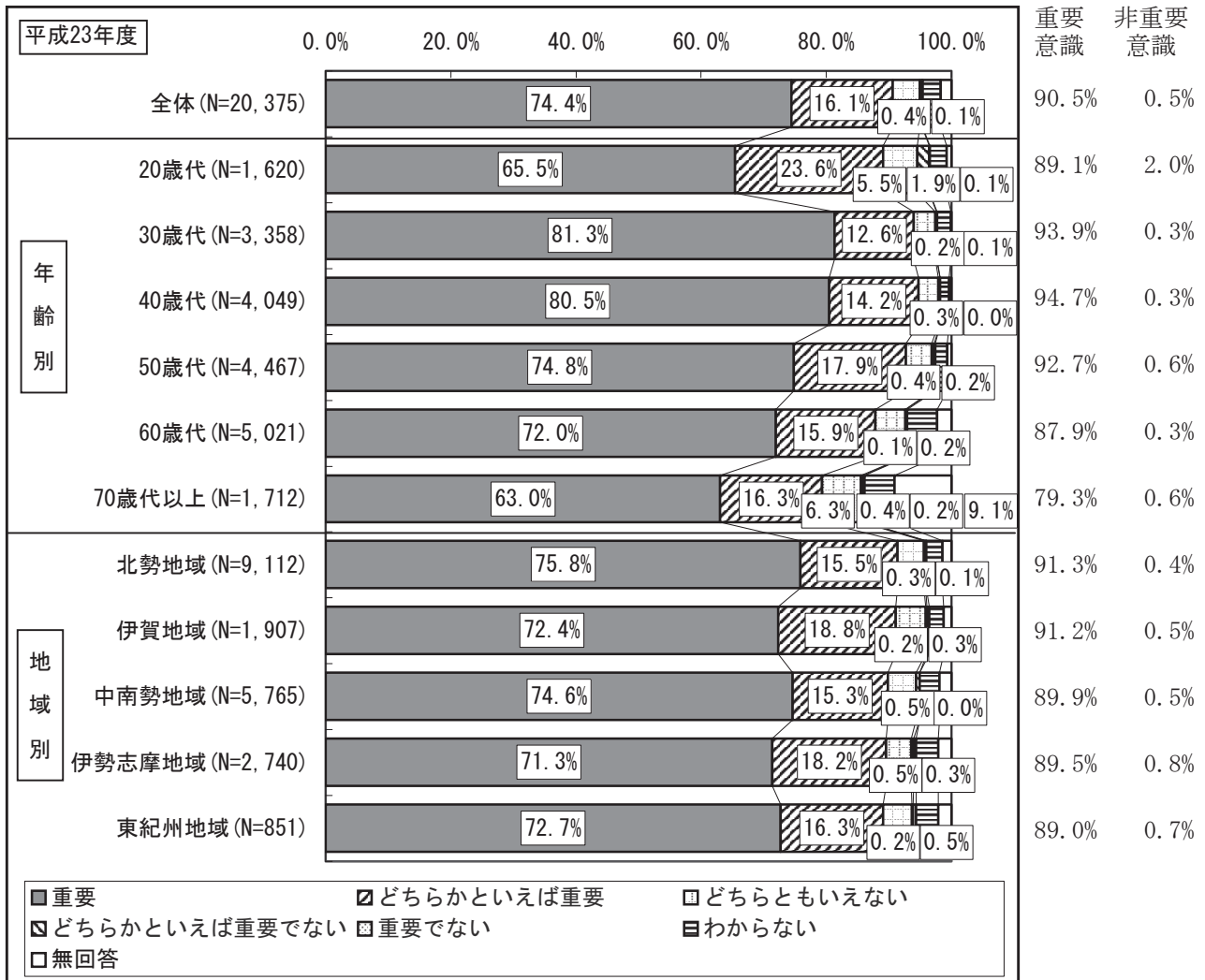
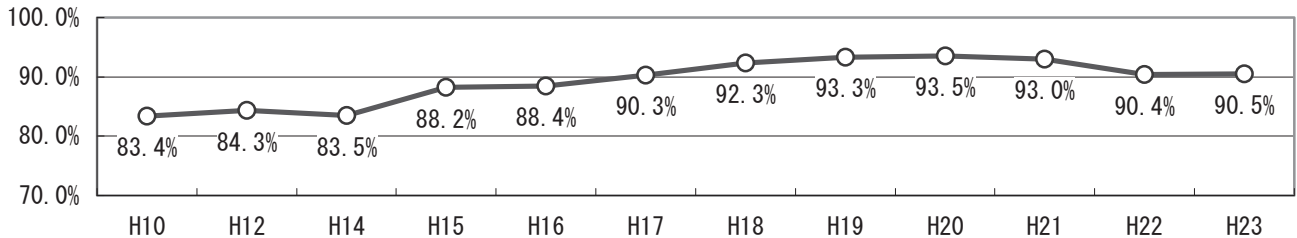


### 3) 学校教育

平成 15 年度までの表現	学校教育への取組
平成 16 年度以降の表現	児童生徒一人ひとりに基礎・基本の学力が定着し、自ら学び、考え、判断する力が身に付いていること。

**重要意識** (集計資料 p.37)

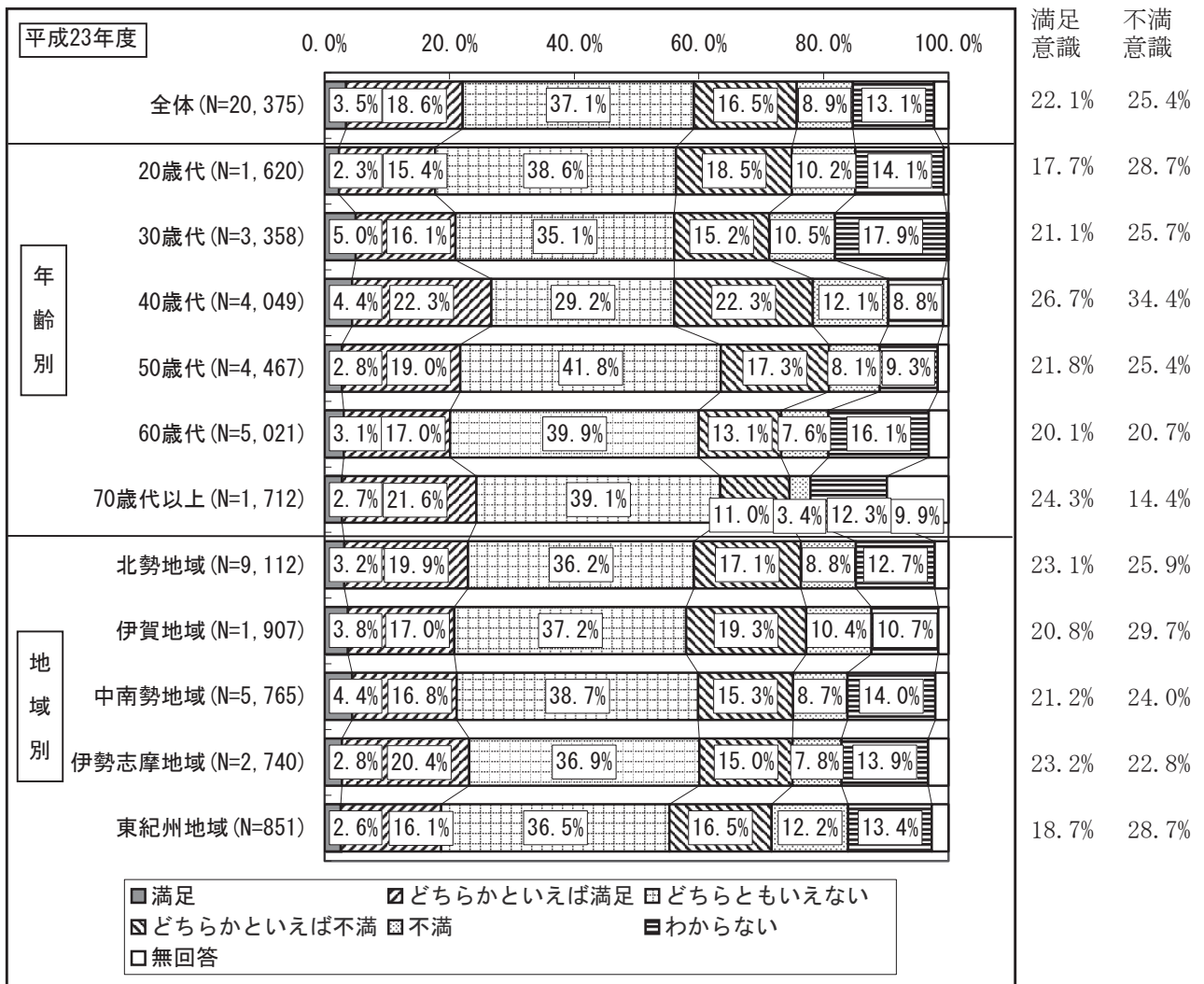
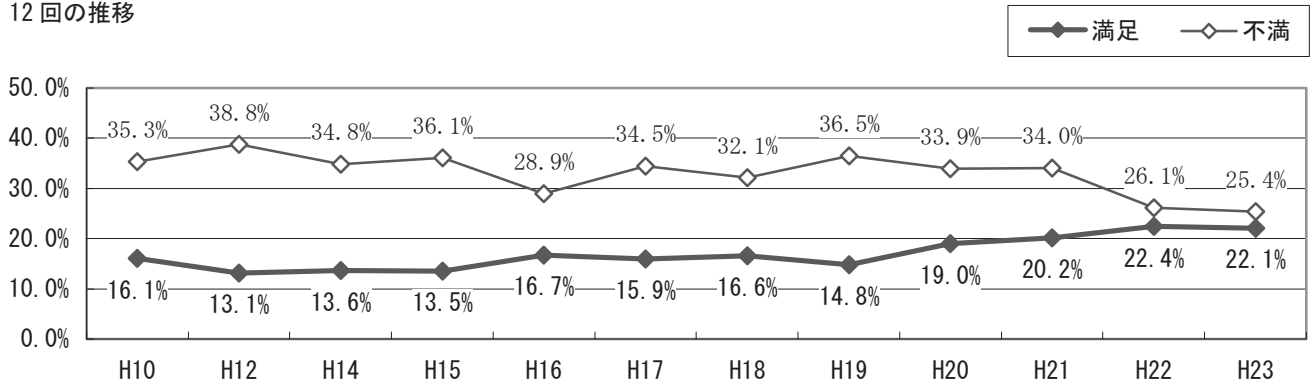
12 回の推移





満足意識 (集計資料 p.38)

12回の推移

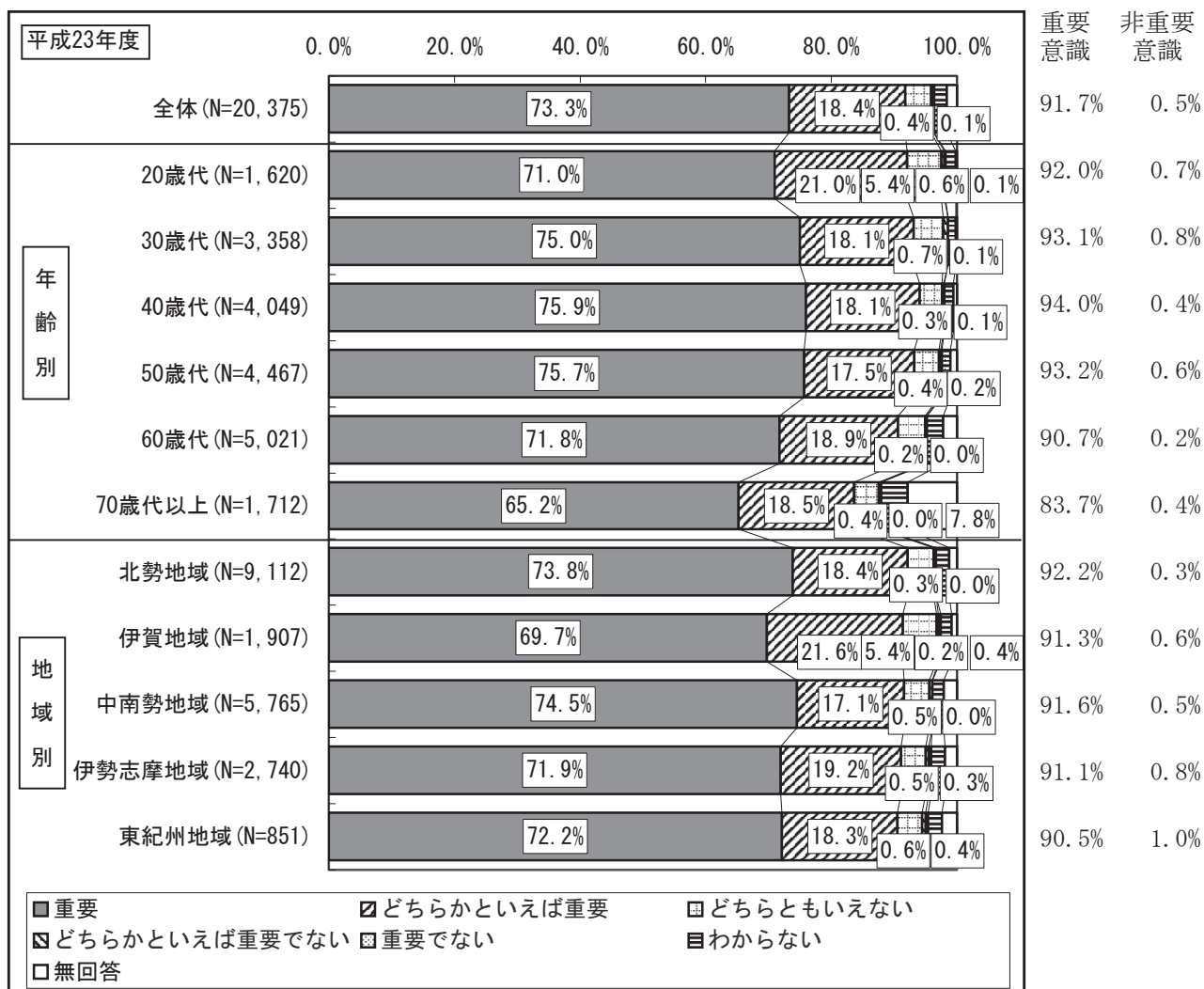
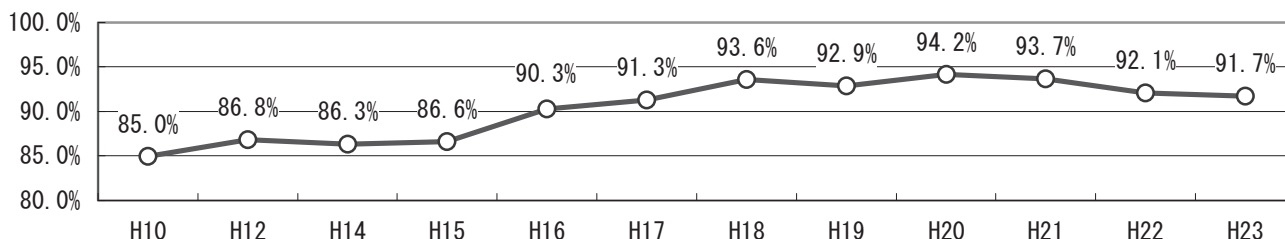


4) 青少年の健全育成

平成 15 年度までの表現	青少年の健全育成
平成 16 年度以降の表現	青少年が犯罪や非行に走ることなく、自立性や社会性を身につけ健全に育っていること。

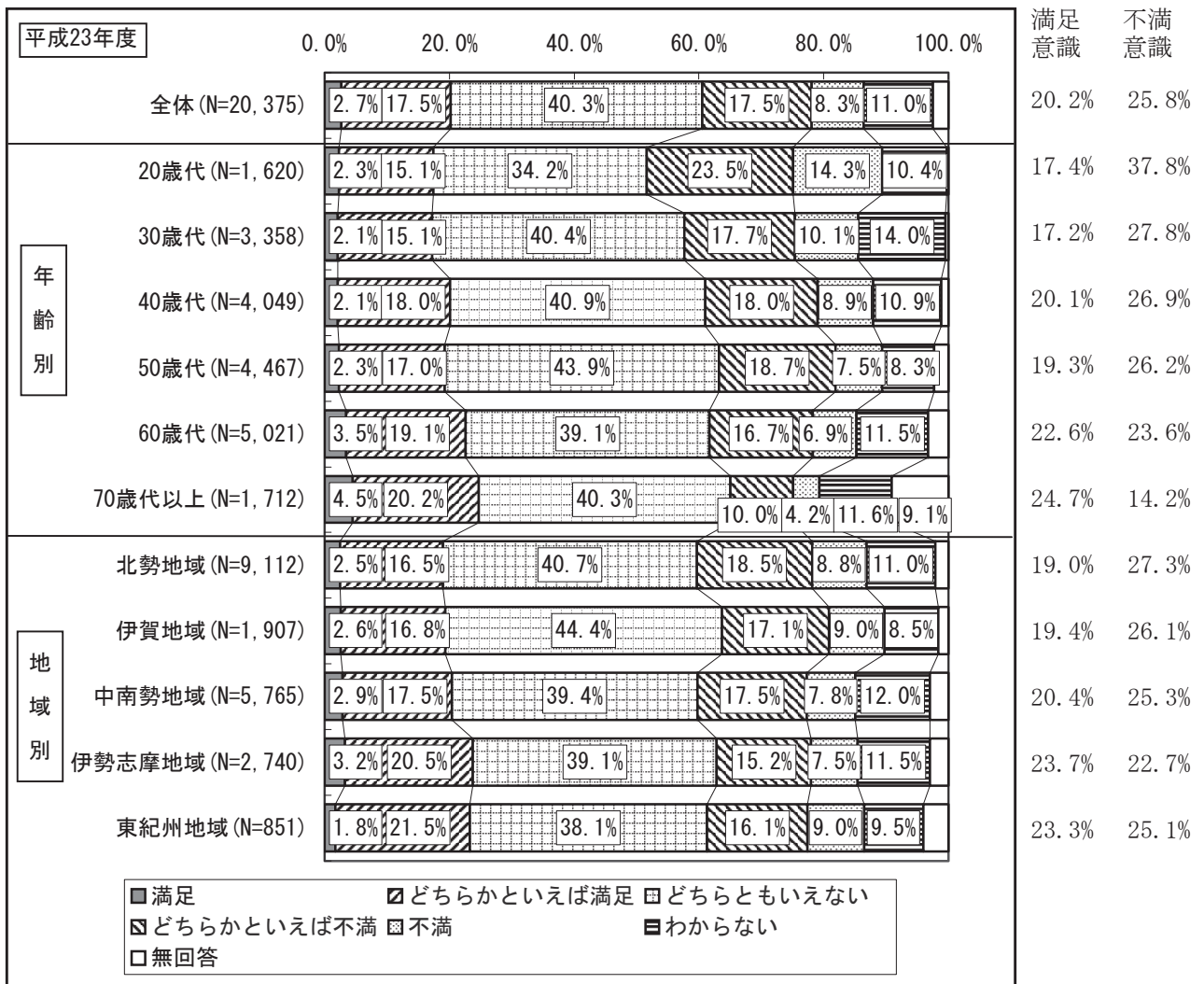
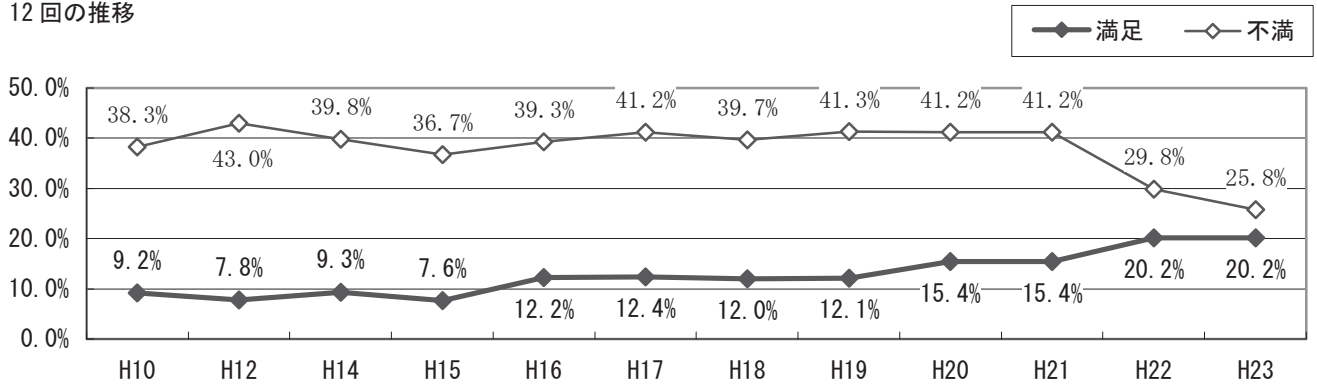
重要意識 (集計資料 p.39)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p. 40)

12回の推移

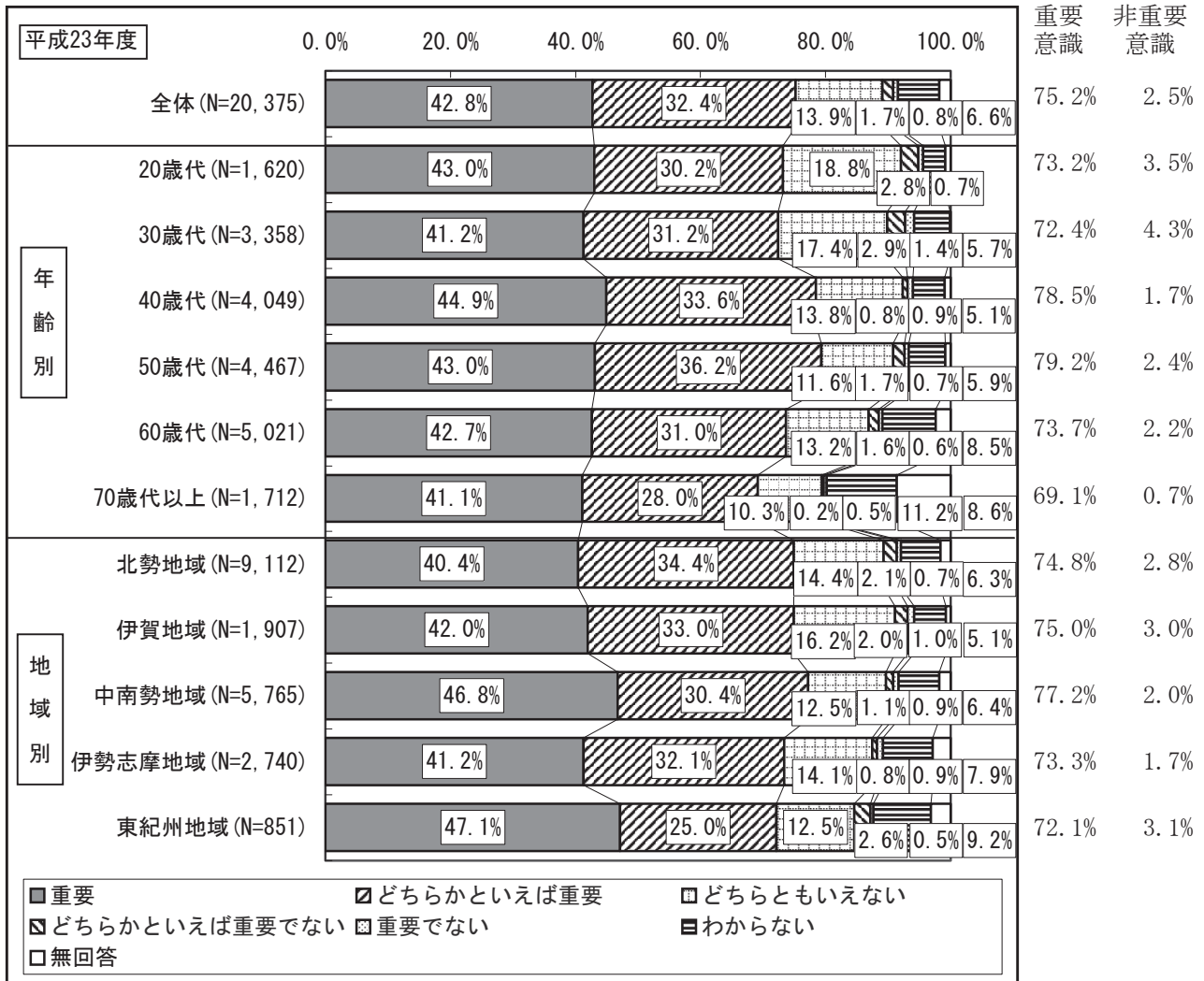
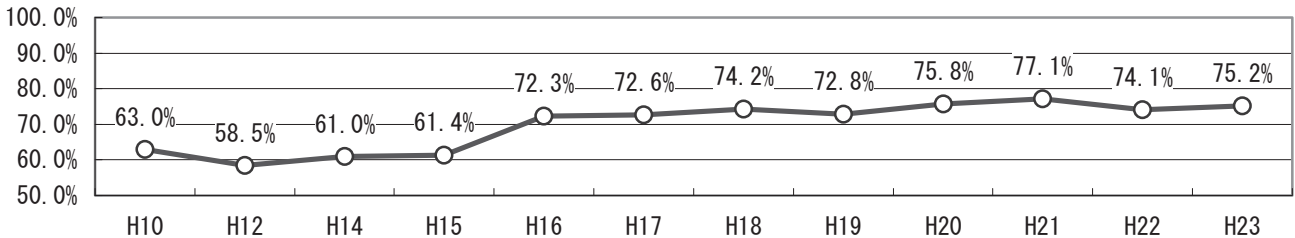


5) 高等教育機関

平成 15 年度までの表現	大学などの高等教育機関の充実
平成 16 年度以降の表現	県内の大学など高等教育機関において、魅力ある教育や研究が行われていること。

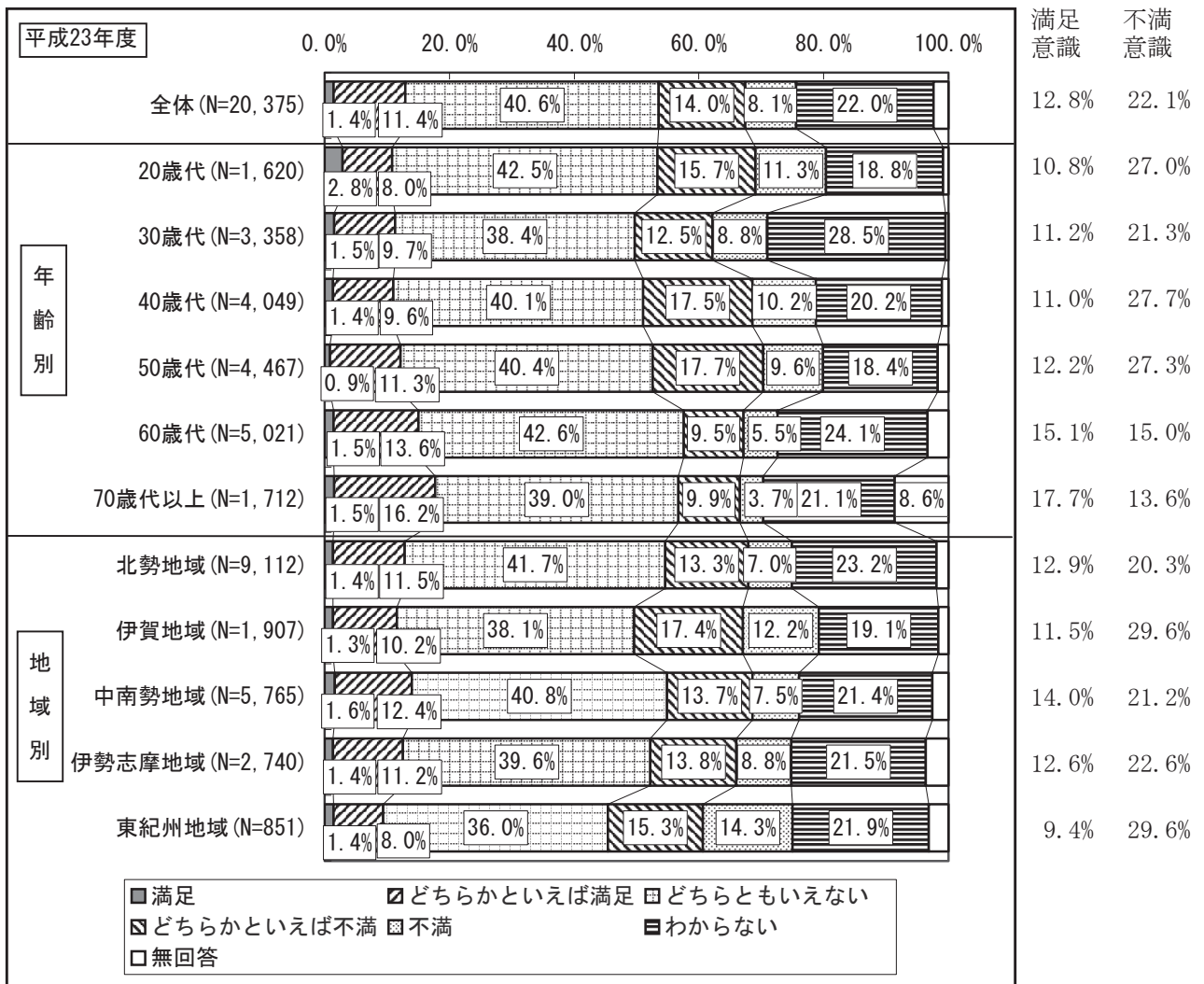
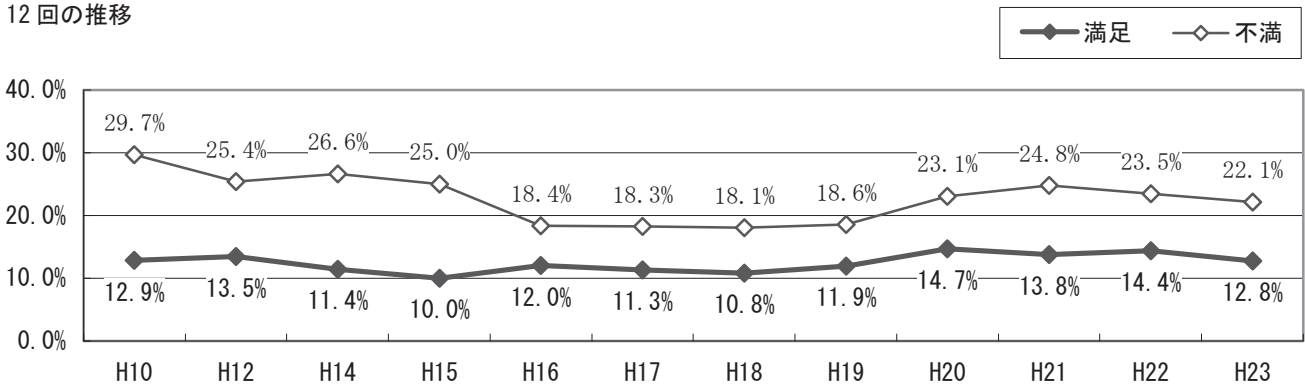
重要意識 (集計資料 p.41)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p. 42)

12回の推移

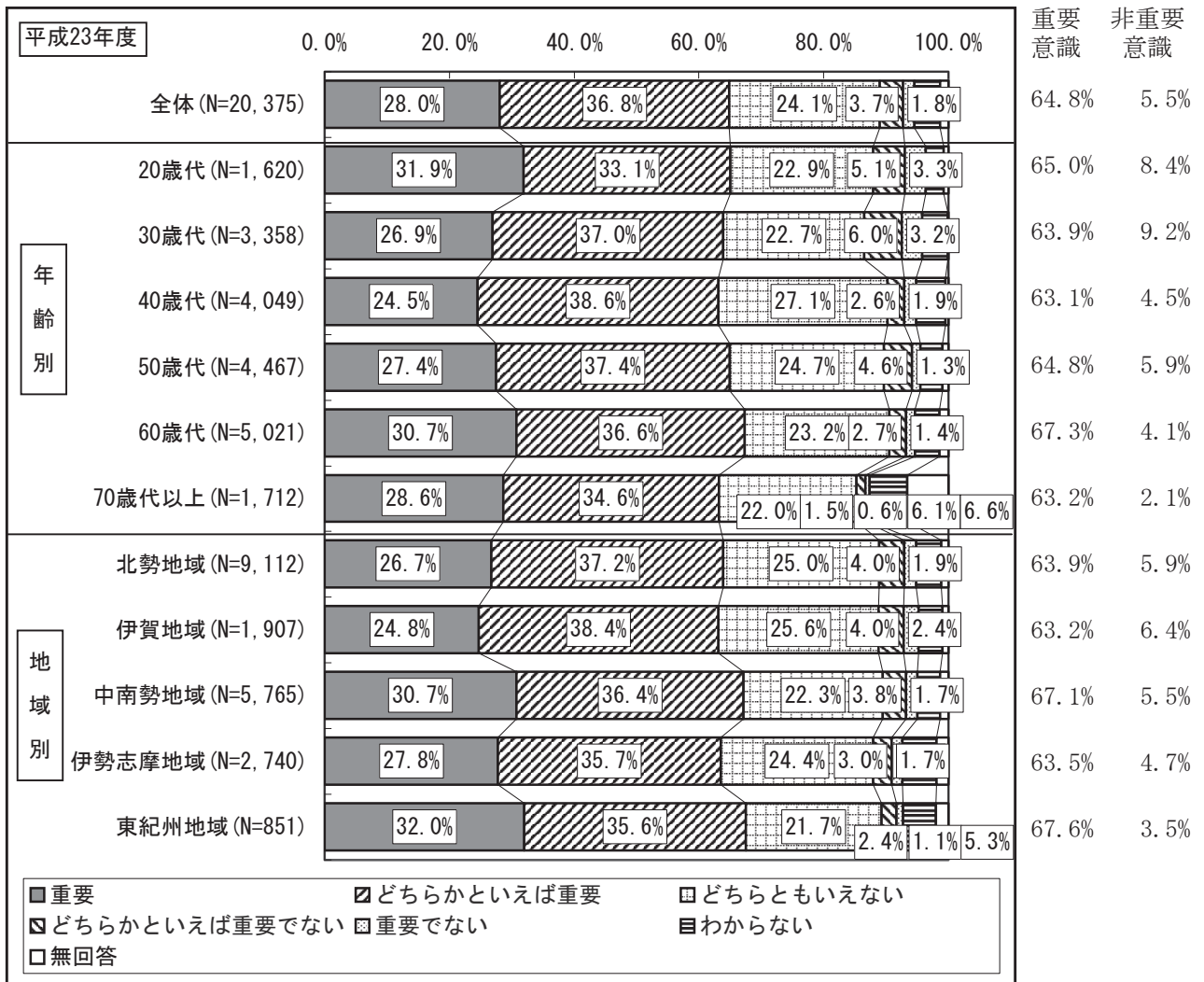
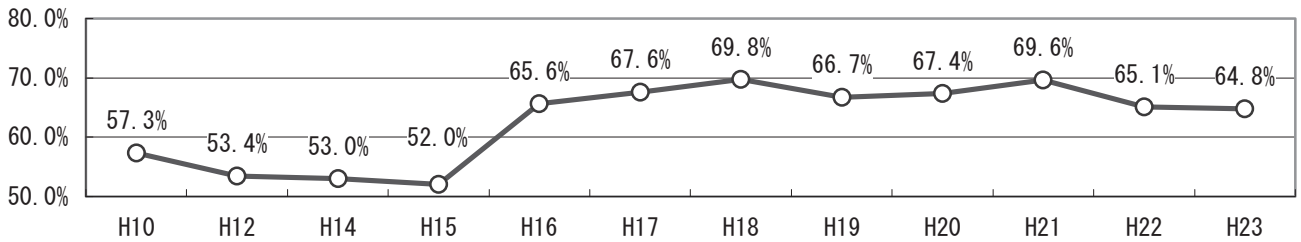


6) 市民活動

平成 15 年度までの表現	職場へのボランティア休暇の導入など、住民が市民活動に参加しやすい条件の整備
平成 16 年度以降の表現	NPOやボランティアなどの活動、自治会やPTA等の地域活動など、様々な社会活動に参加しやすいこと。

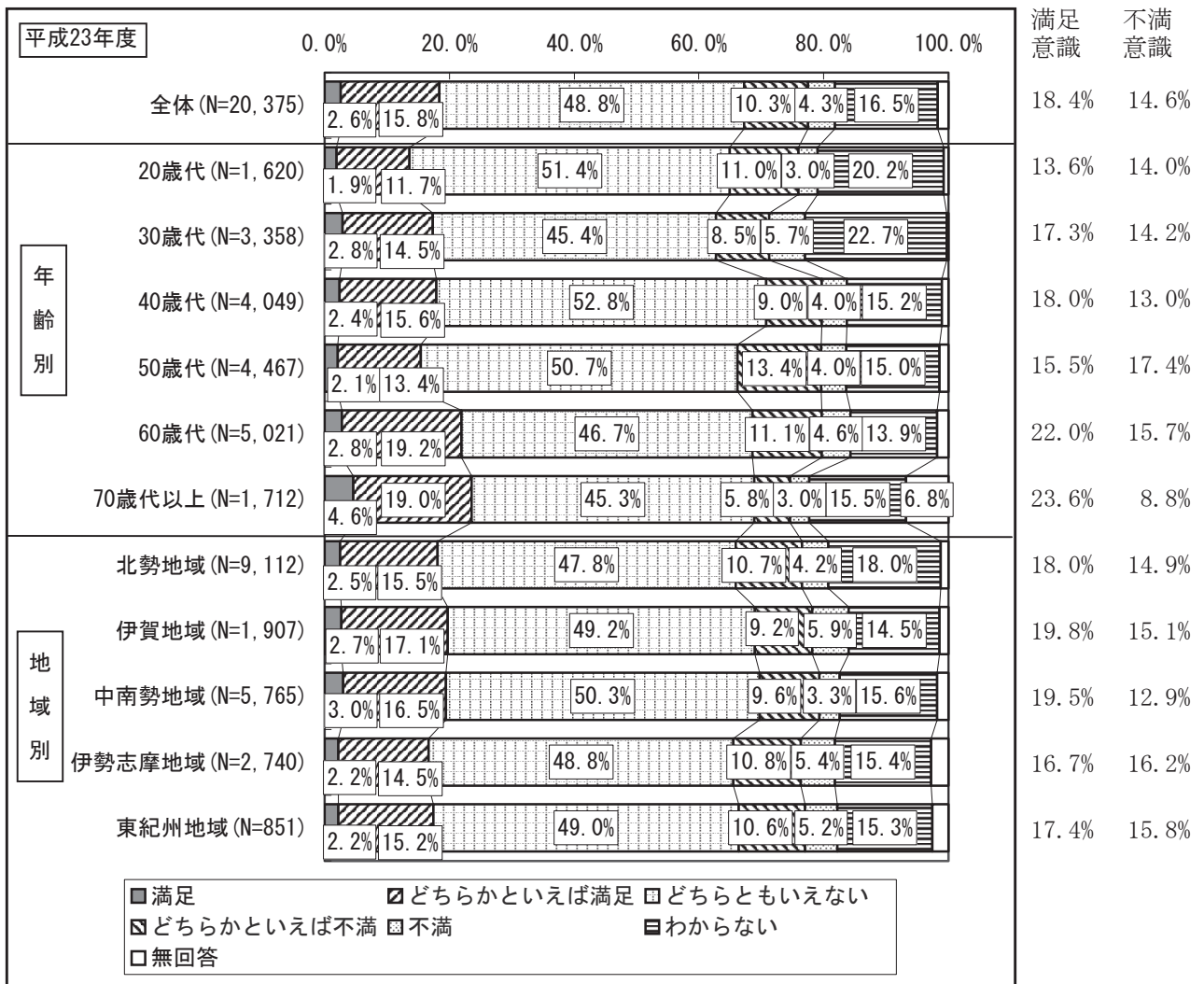
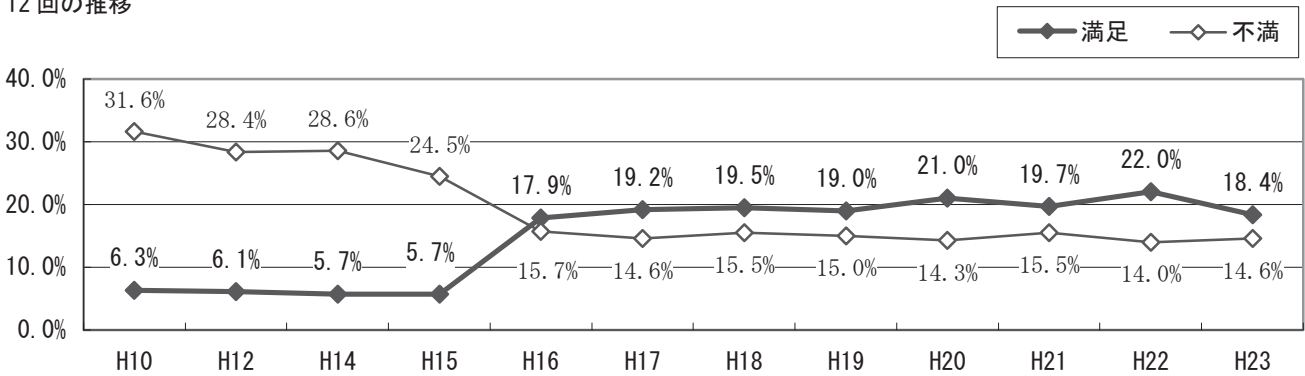
重要意識 (集計資料 p. 43)

12回の推移



満足意識 (集計資料 p.44)

12回の推移



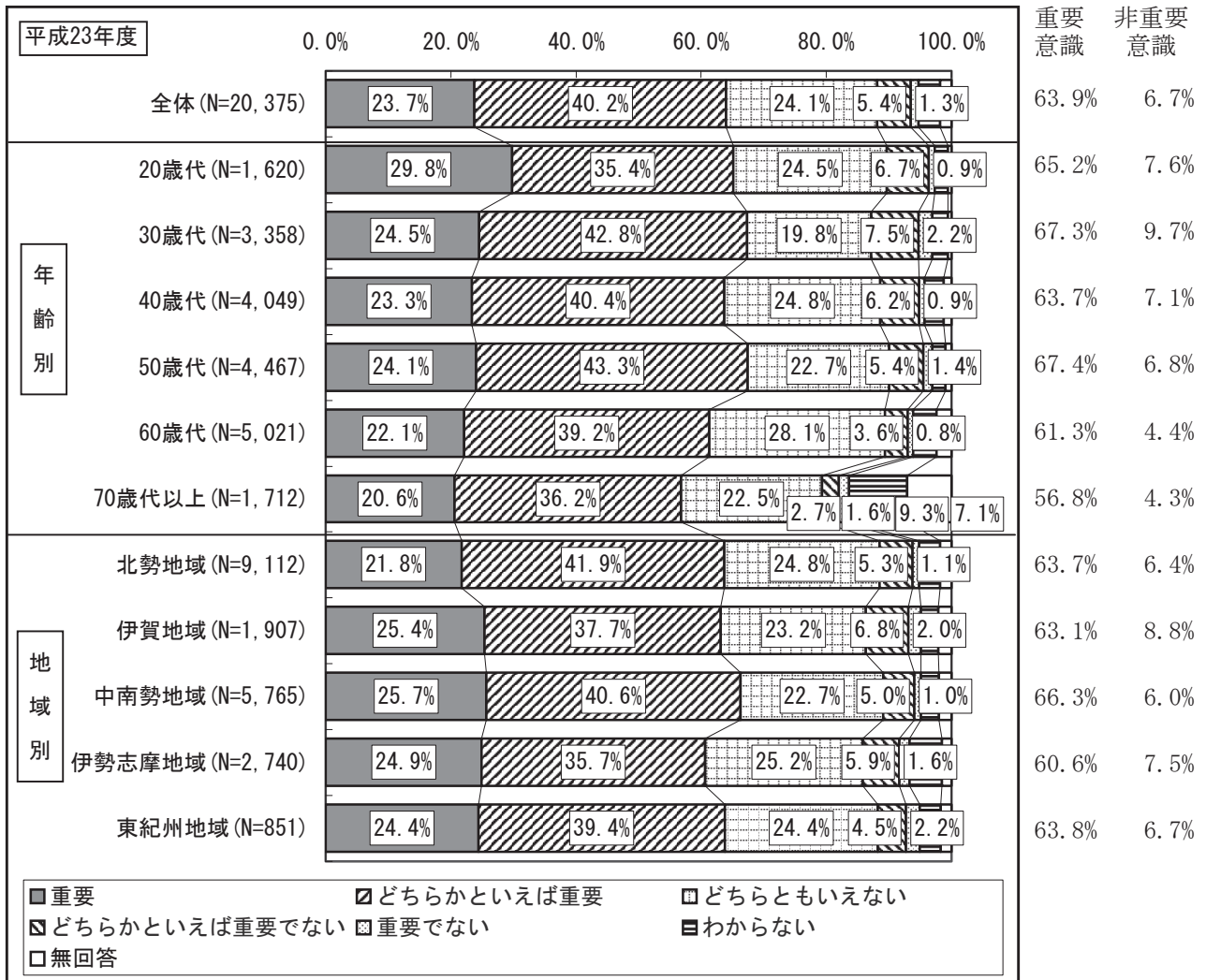
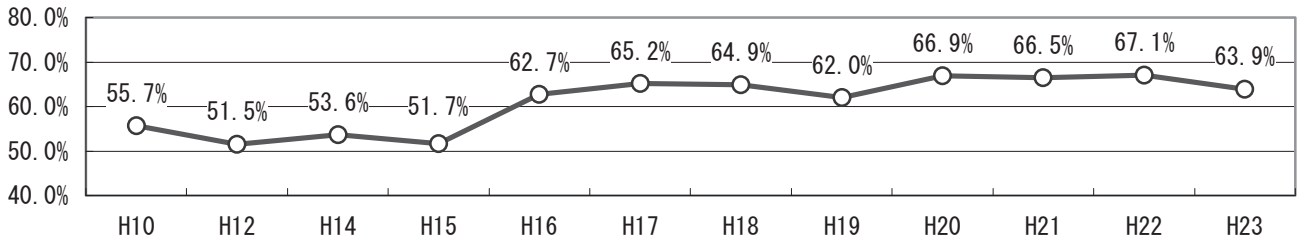
7) 文化・芸術

平成 15 年度までの表現	芸術文化にふれあう機会の提供
平成 16 年度以降の表現	音楽、美術などの様々な芸術や文化と直接触れ親しめる機会が多いこと。

重要意識

(集計資料 p. 45)

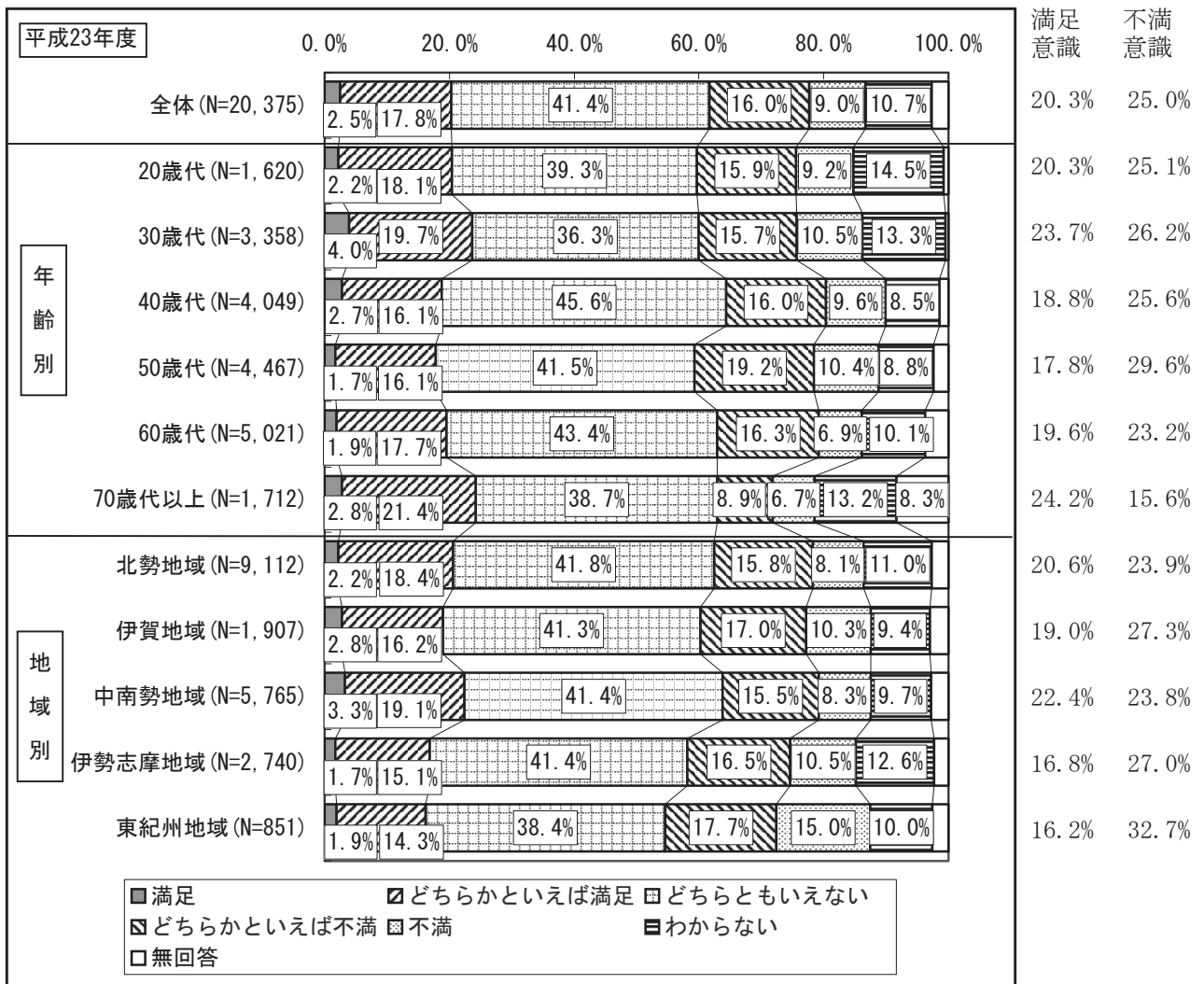
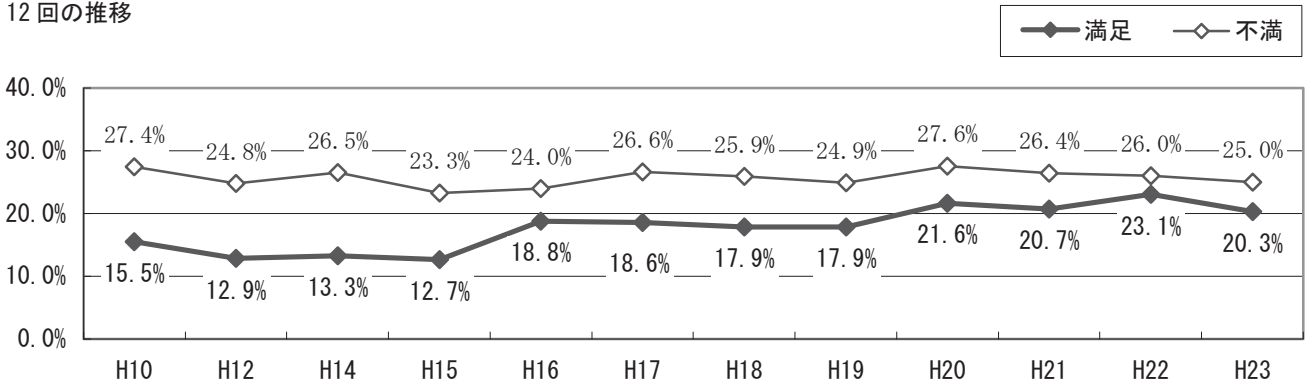
12 回の推移





満足意識 (集計資料 p.46)

12回の推移

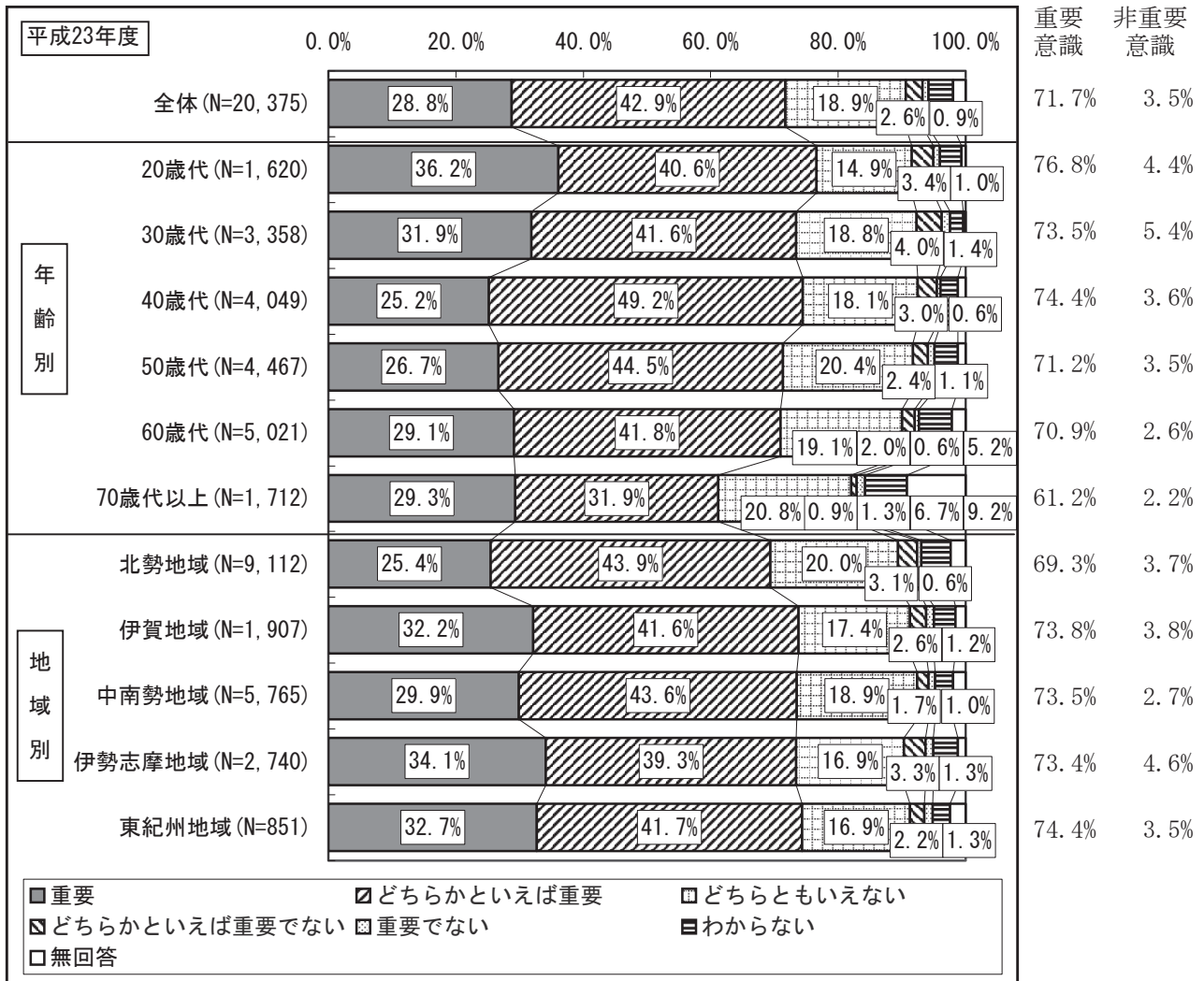
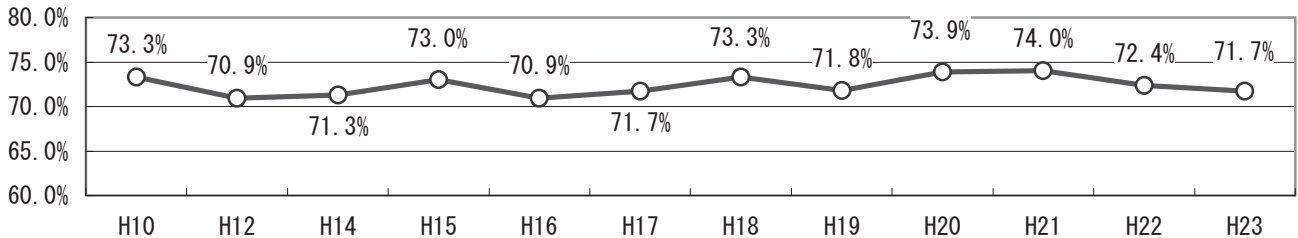


8) 歴史・文化遺産

平成 15 年度までの表現	文化遺産、史跡、天然記念物などの保存
平成 16 年度以降の表現	文化財や伝統行事などの様々な文化遺産が守られ、地域づくり等に積極的に活用されていること。

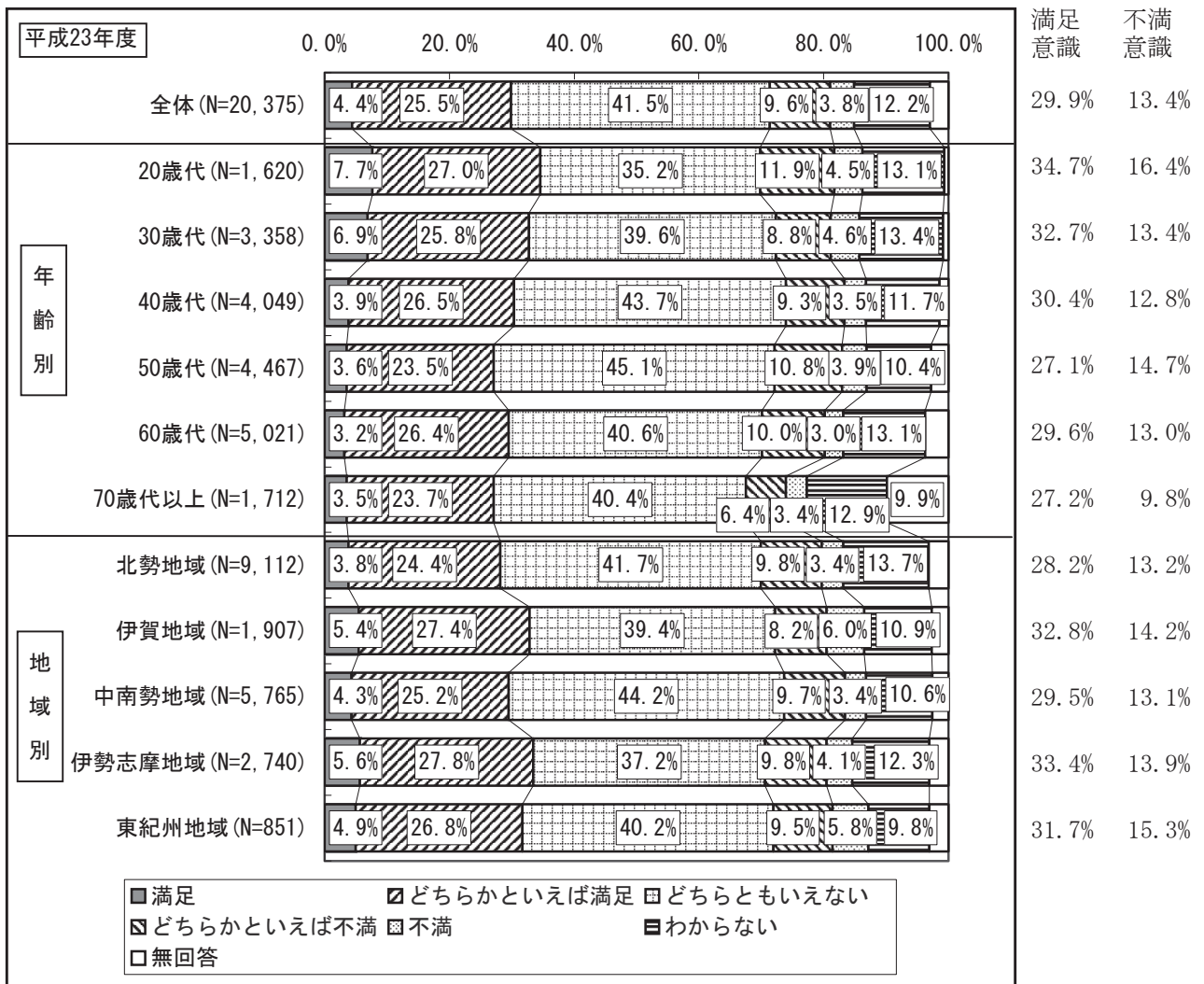
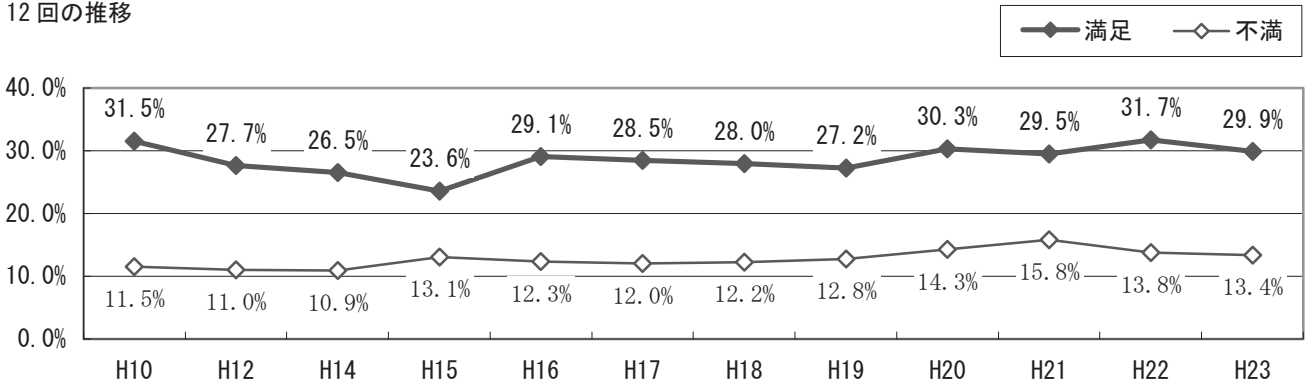
**重要意識** (集計資料 p. 47)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p. 48)

12回の推移

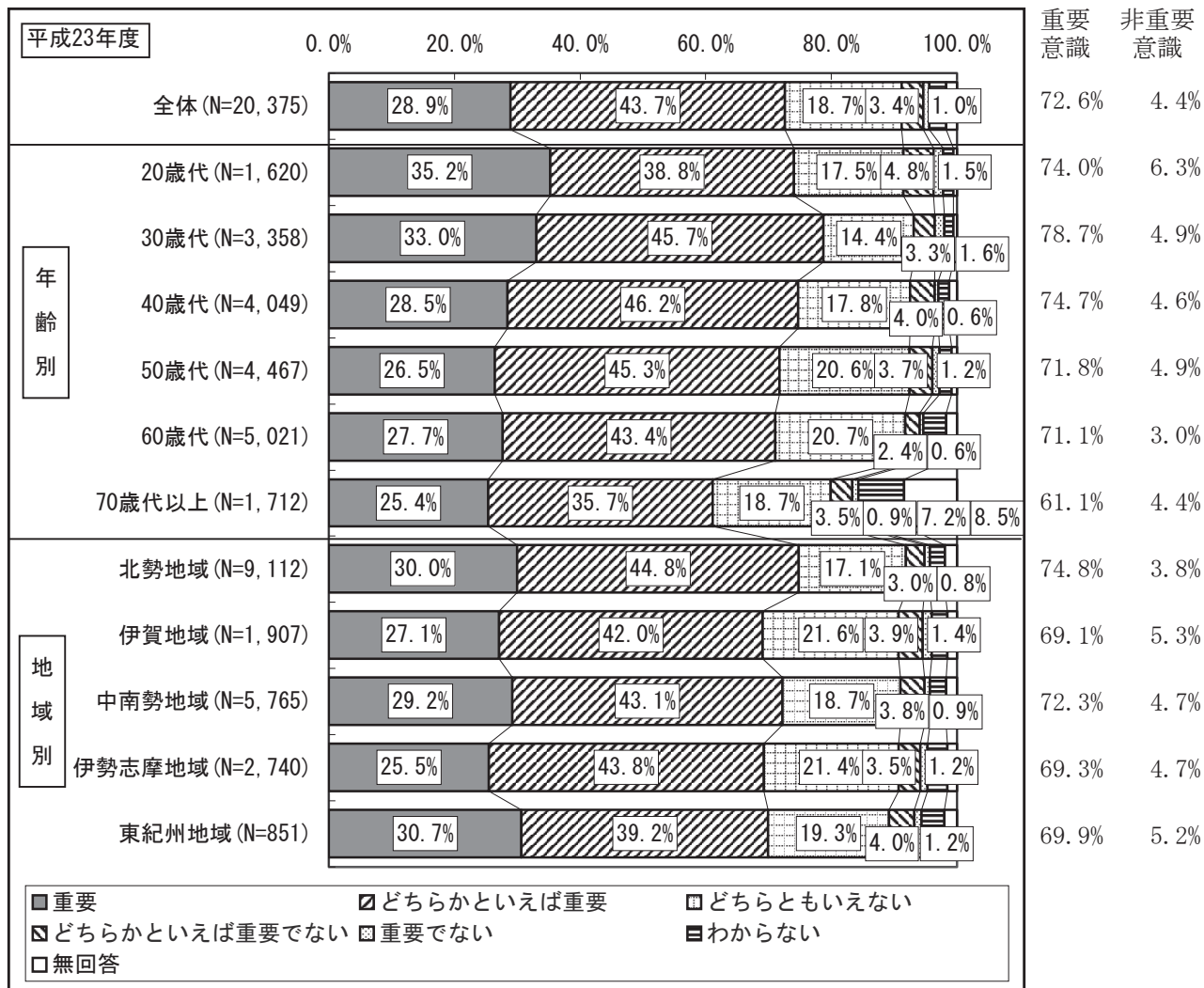
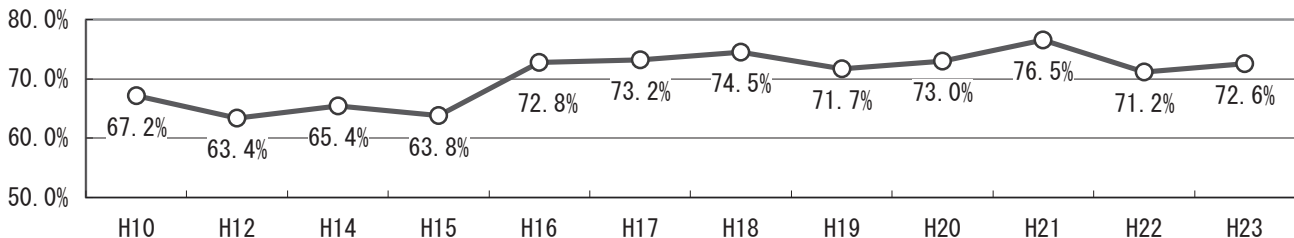


9) スポーツ・レクリエーション

平成 15 年度までの表現	スポーツ・レクリエーション施設の整備
平成 16 年度以降の表現	スポーツやレクリエーションを楽しむための機会や施設が充実していること。

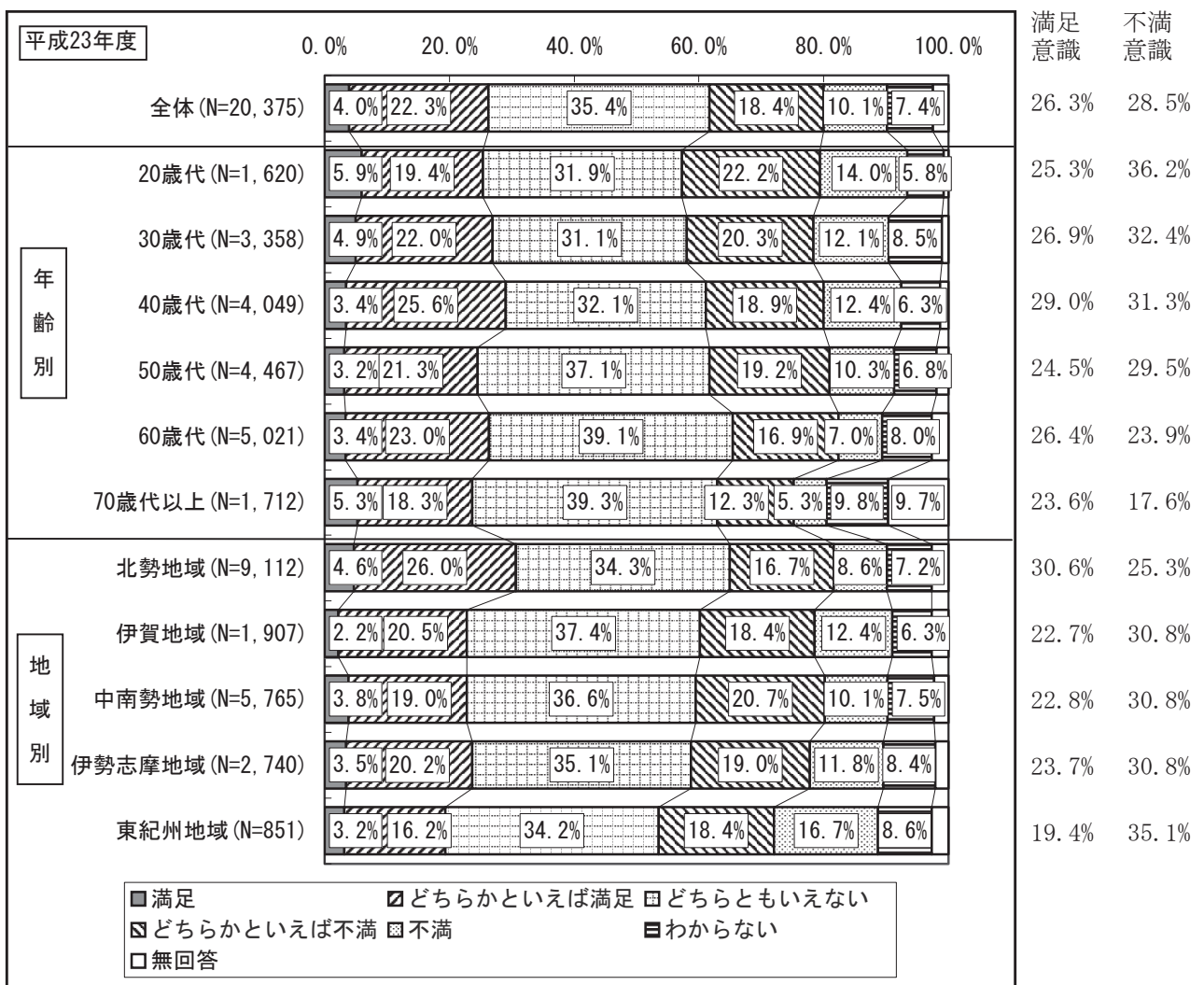
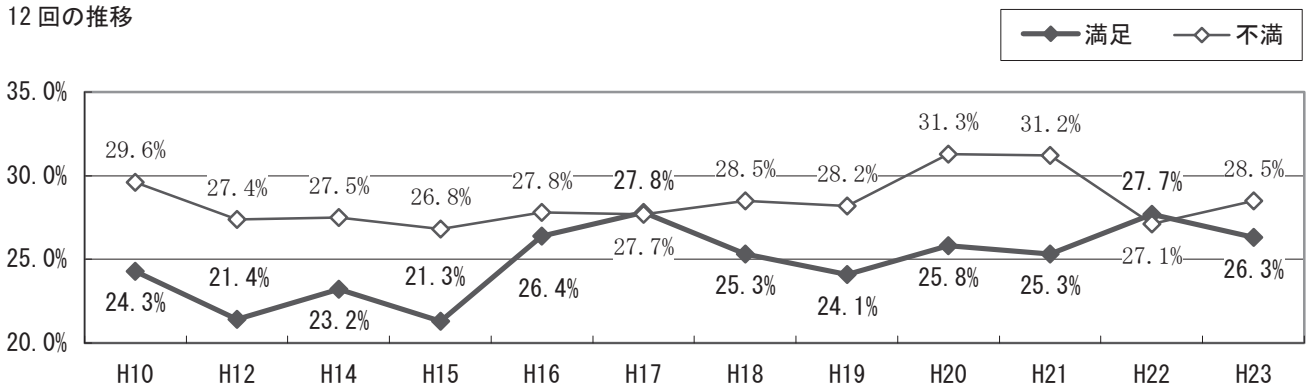
重要意識 (集計資料 p. 49)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.50)

12回の推移

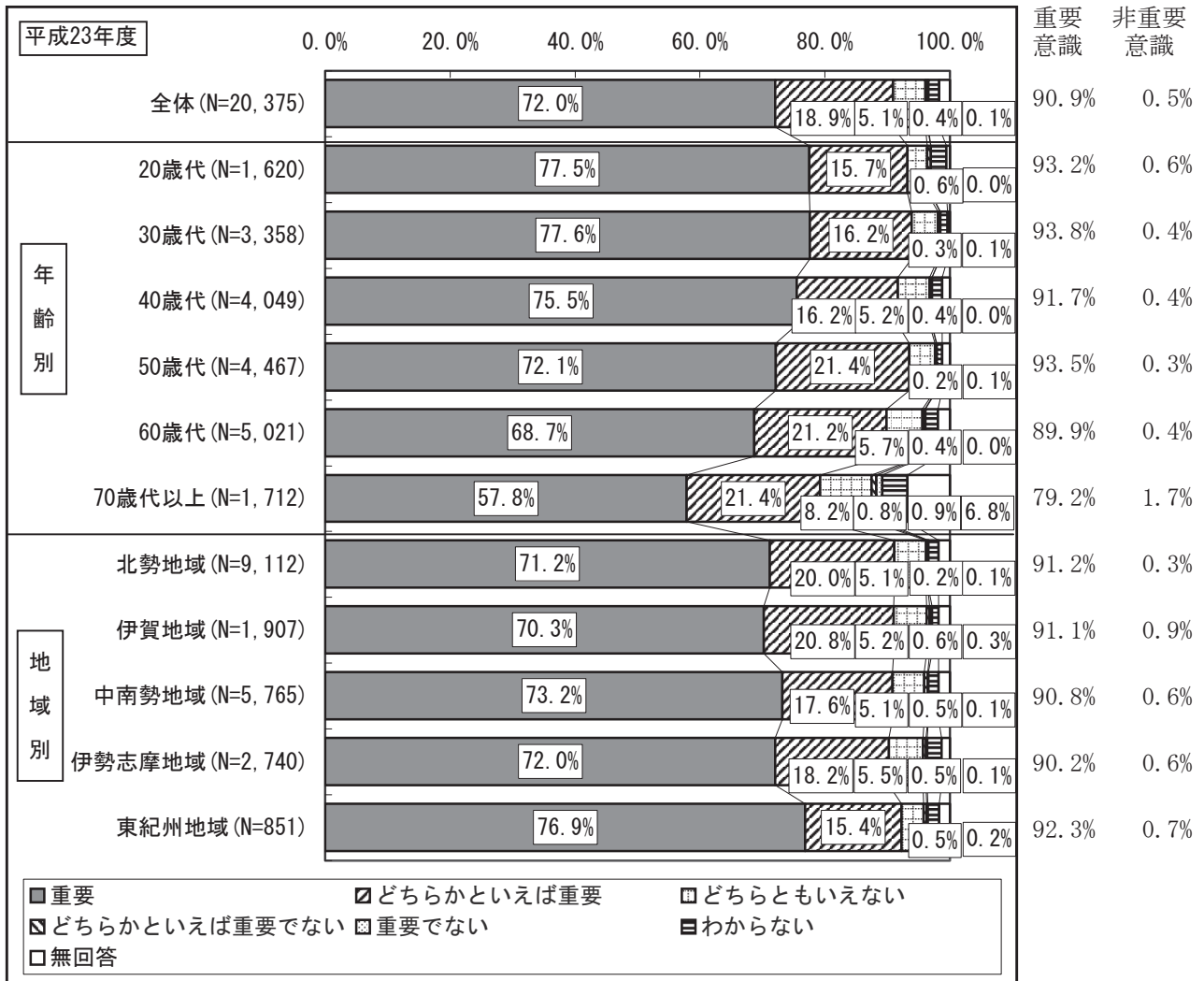
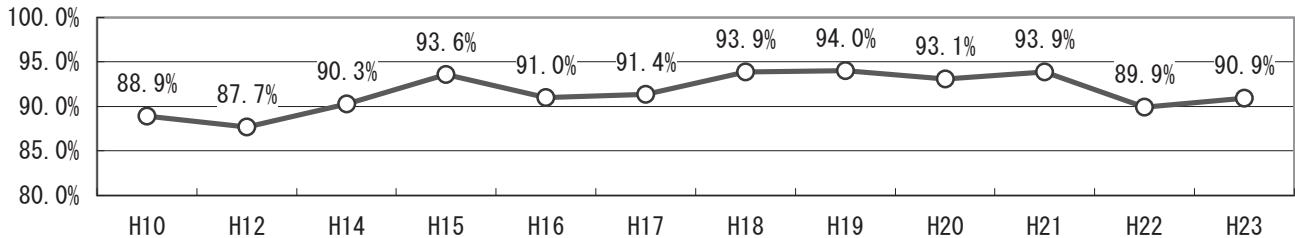


10) 地域での防災の取組

平成 15 年度までの表現	防災対策への取組
平成 16 年度以降の表現	地震・津波、風水害などの自然災害に対して地域での自主的な備えができてきていること。

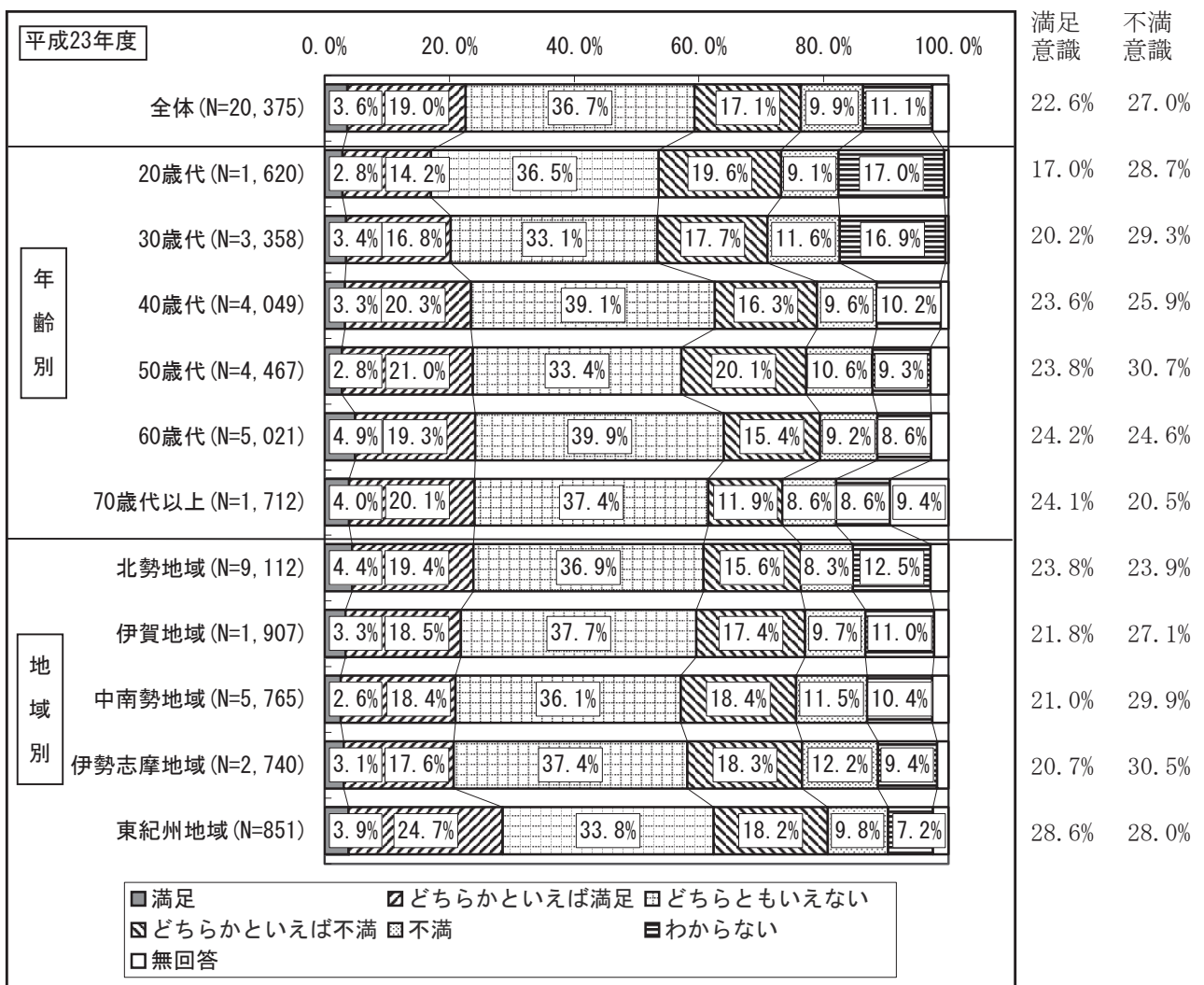
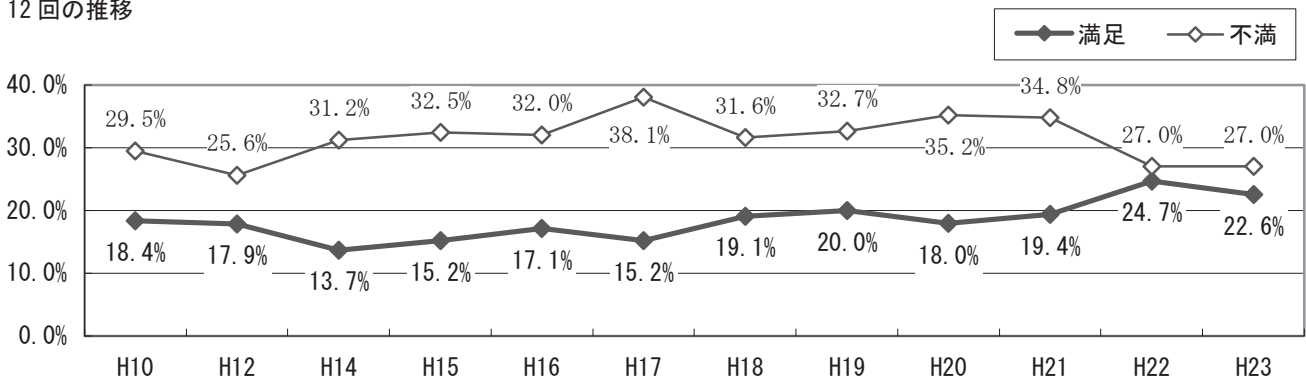
**重要意識** (集計資料 p.51)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.52)

12回の推移

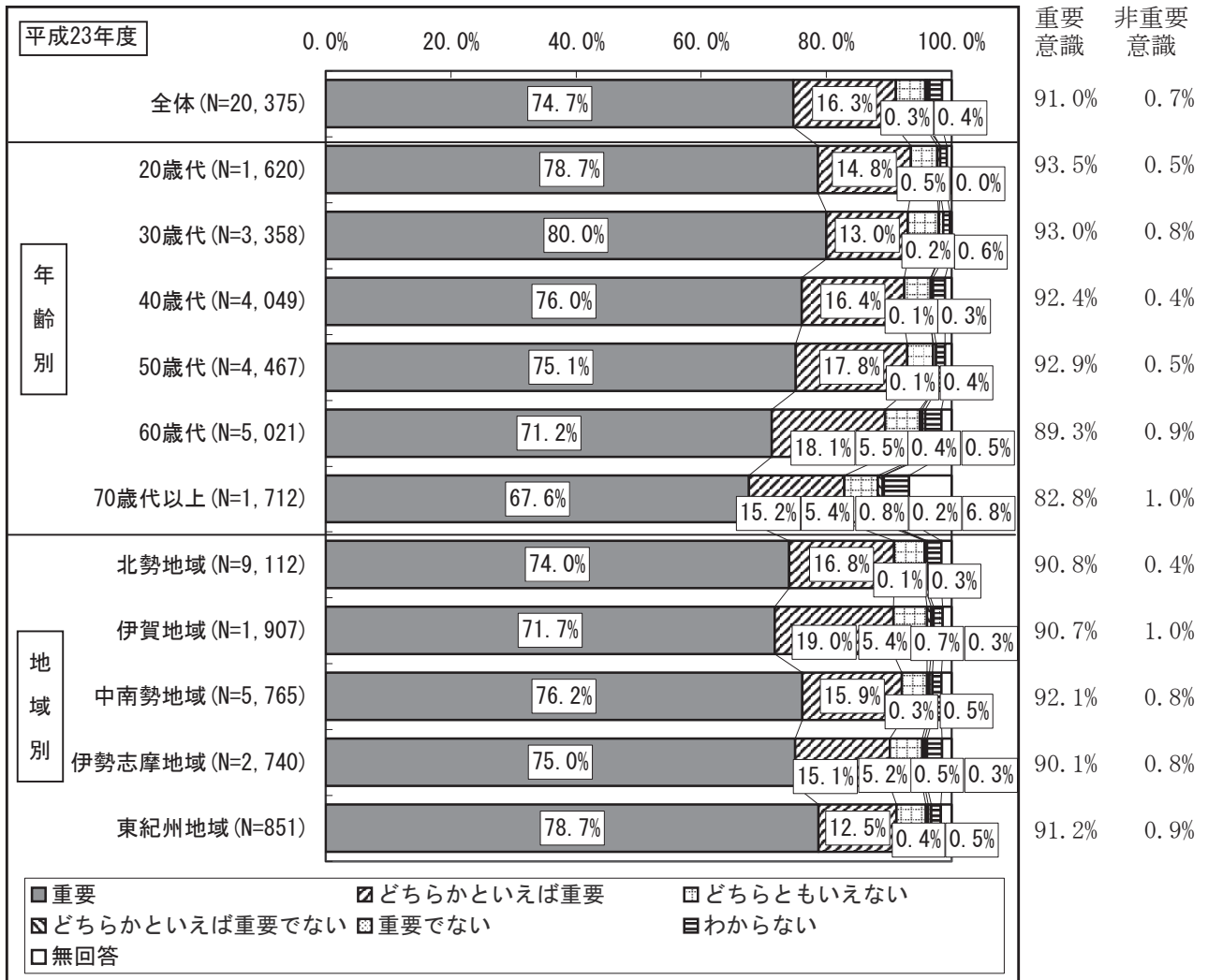
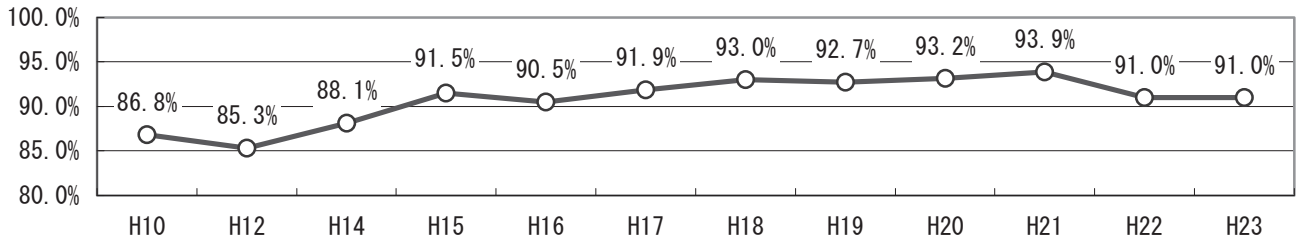


11) 災害対策

平成 15 年度までの表現	洪水や高潮、土砂災害などへの対策
平成 16 年度以降の表現	洪水や高潮、土砂災害などに備える堤防や砂防ダムなどの施設が整備され、自然災害による被害を最小限におさえられること。

重要意識 (集計資料 p.53)

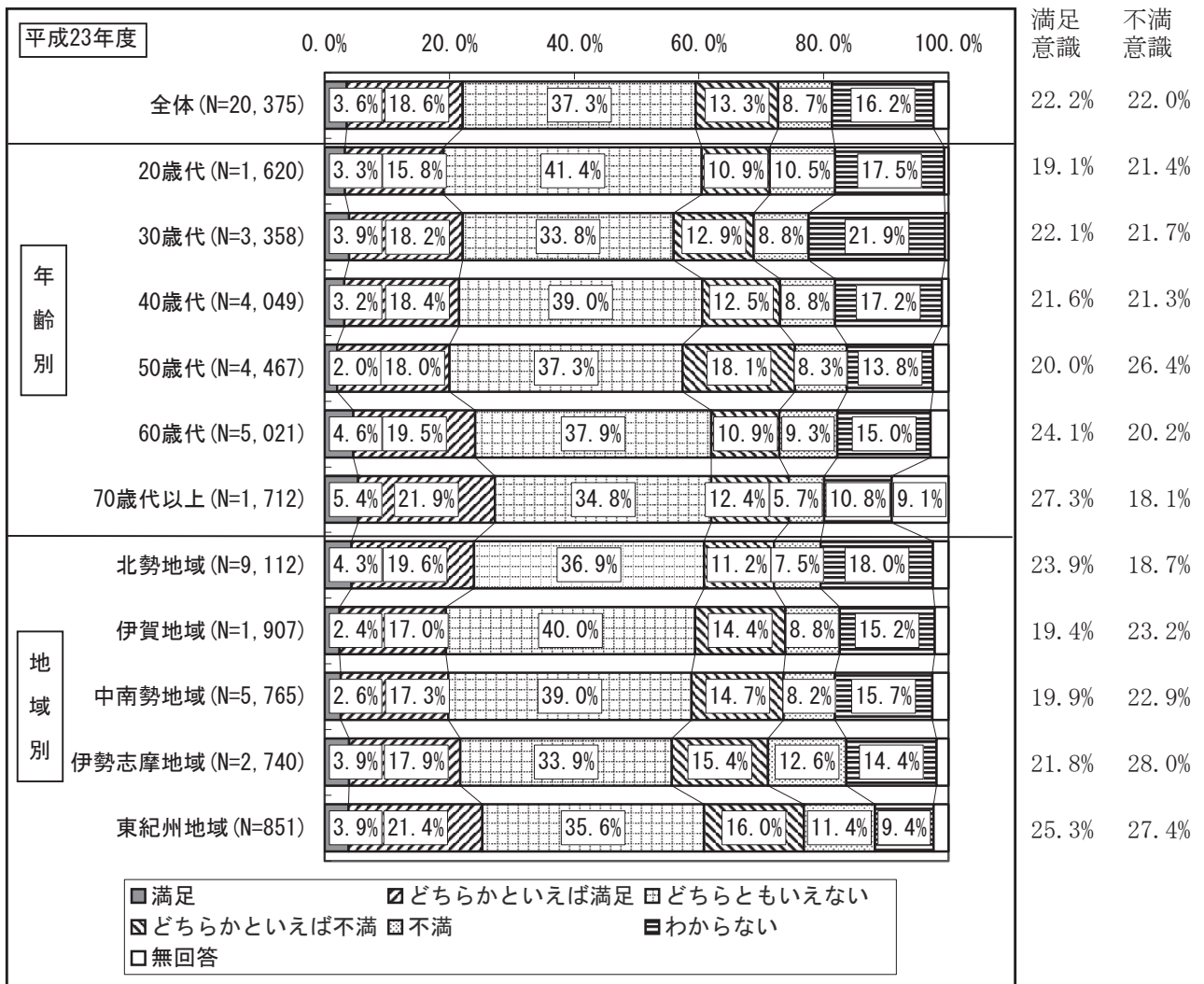
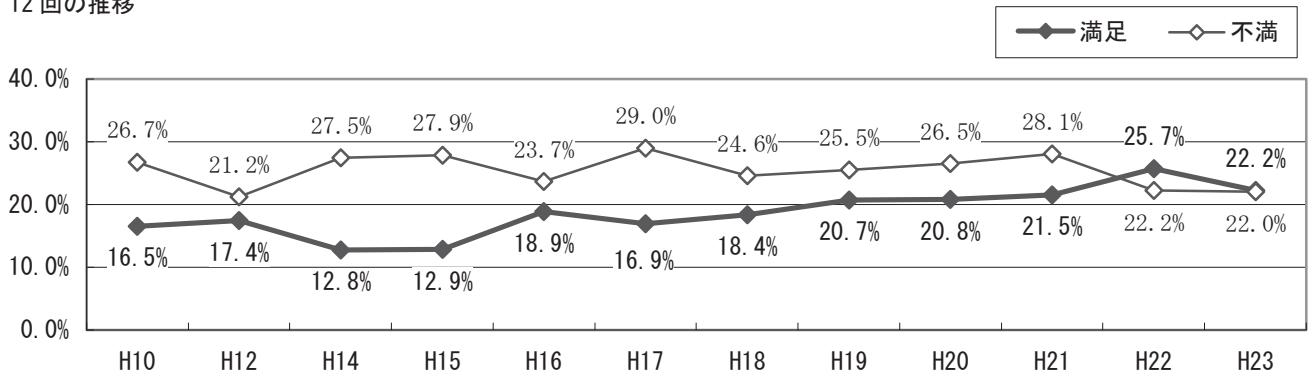
12 回の推移





満足意識 (集計資料 p.54)

12回の推移

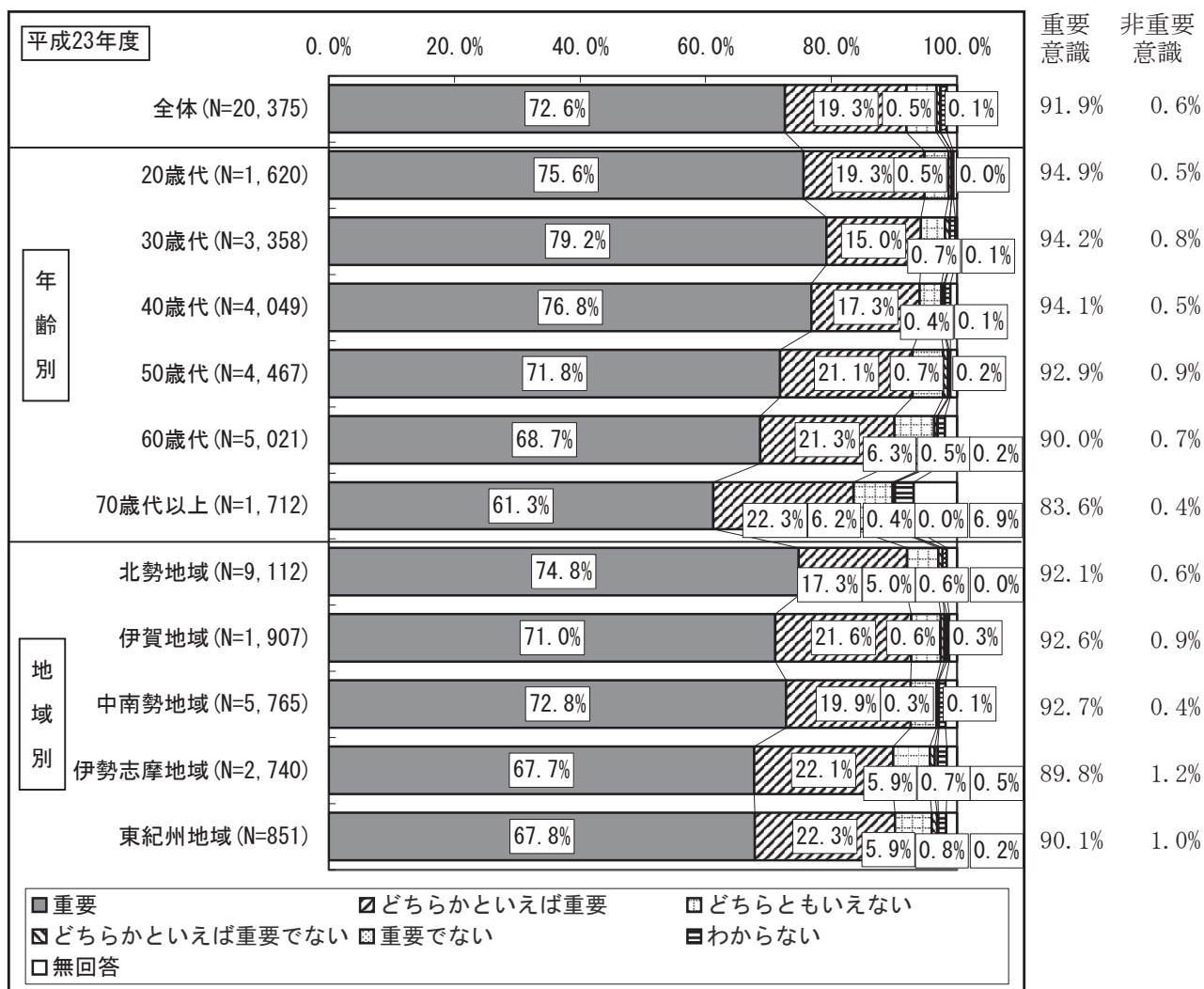
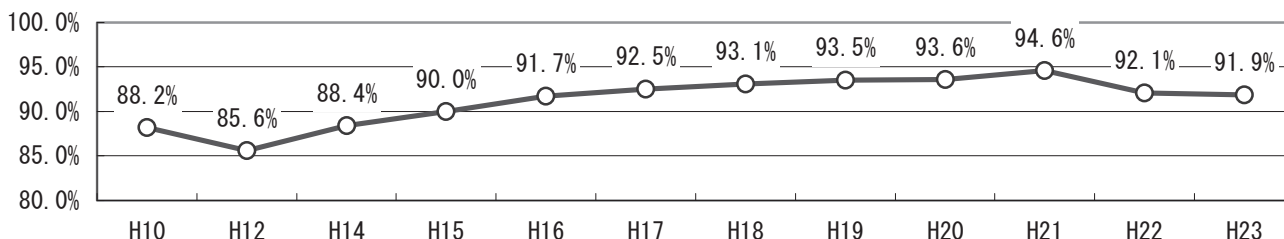


12) 交通安全

平成 15 年度までの表現	交通安全対策の推進
平成 16 年度以降の表現	交通ルールが守られ、誰もが安全にかつ安心して道路を通行できる環境になっていること。

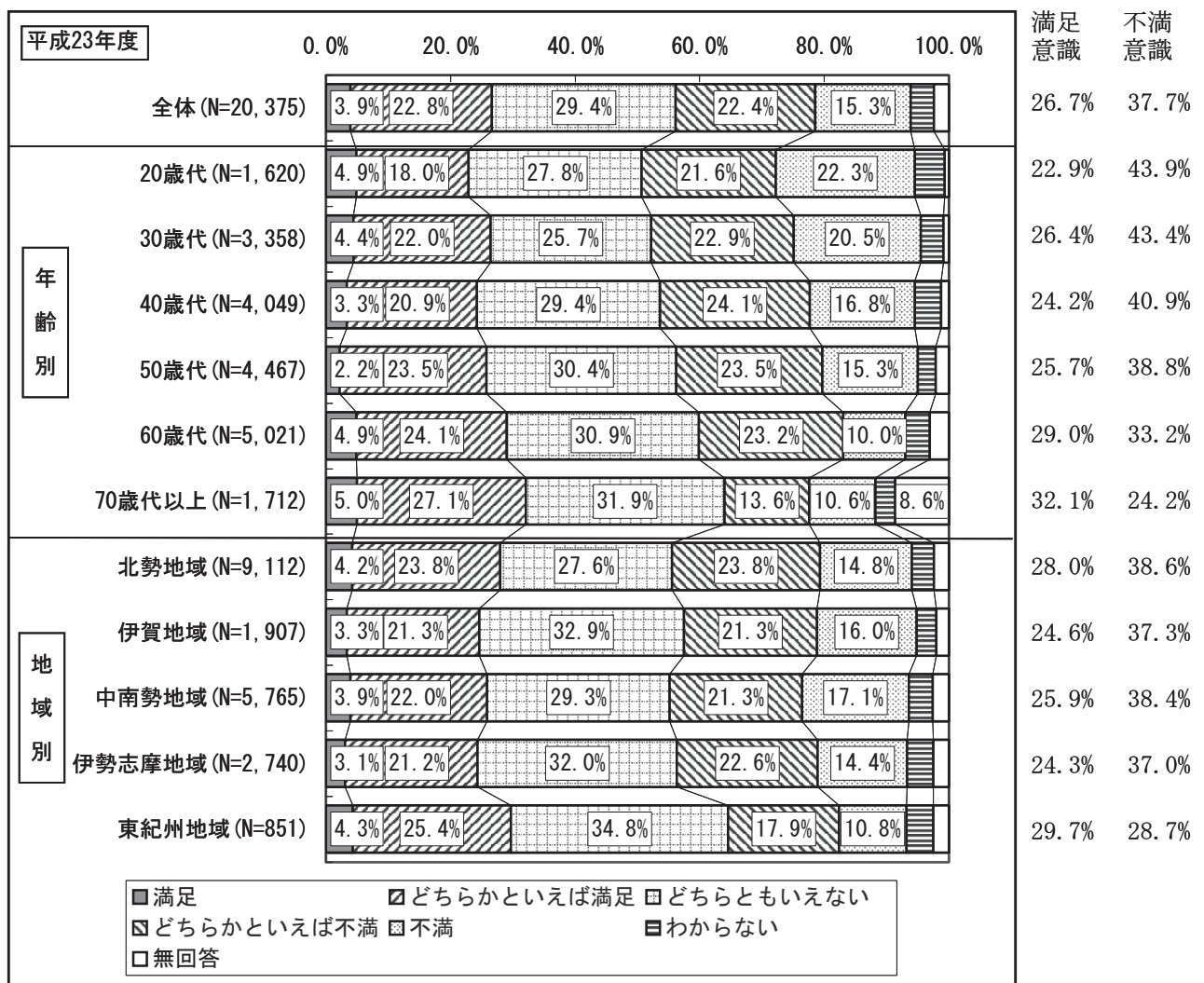
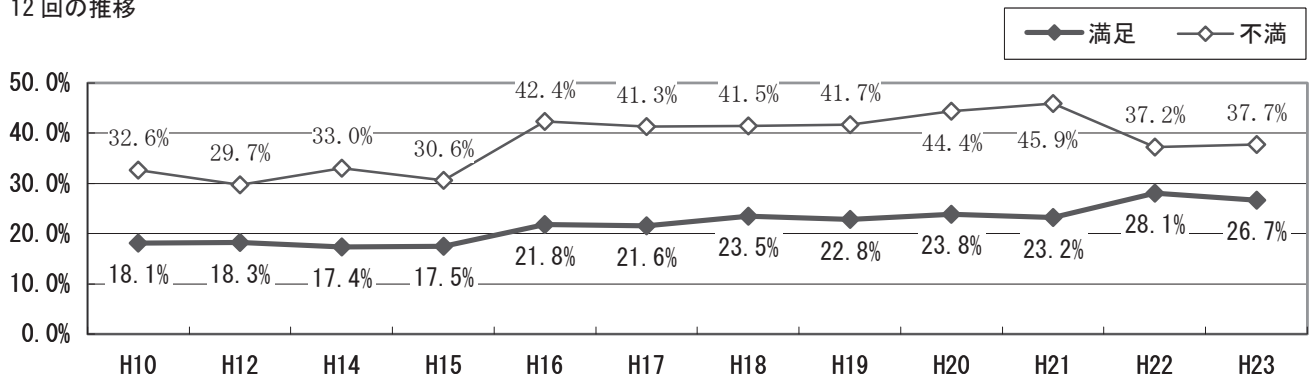
重要意識 (集計資料 p.55)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.56)

12回の推移



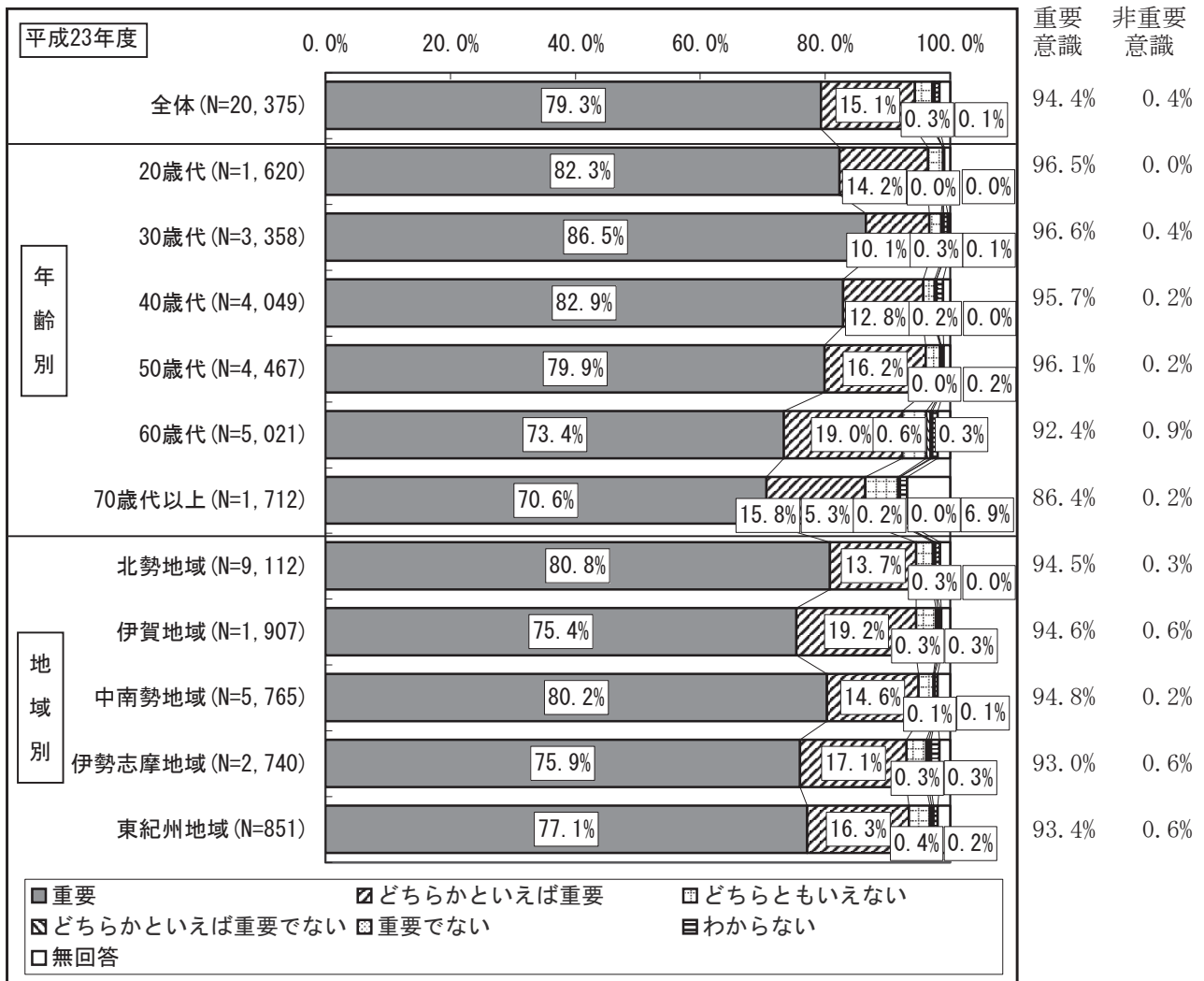
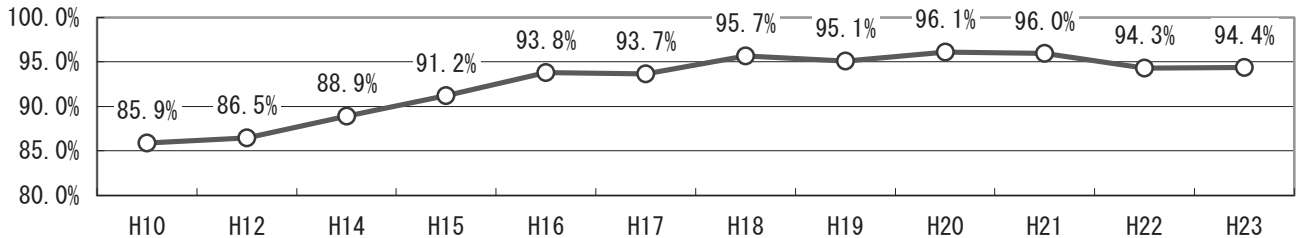
13) 防犯

平成 15 年度までの表現	防犯活動の強化
平成 16 年度以降の表現	犯罪などに対する不安を感じることなく、安心して生活ができること。

重要意識

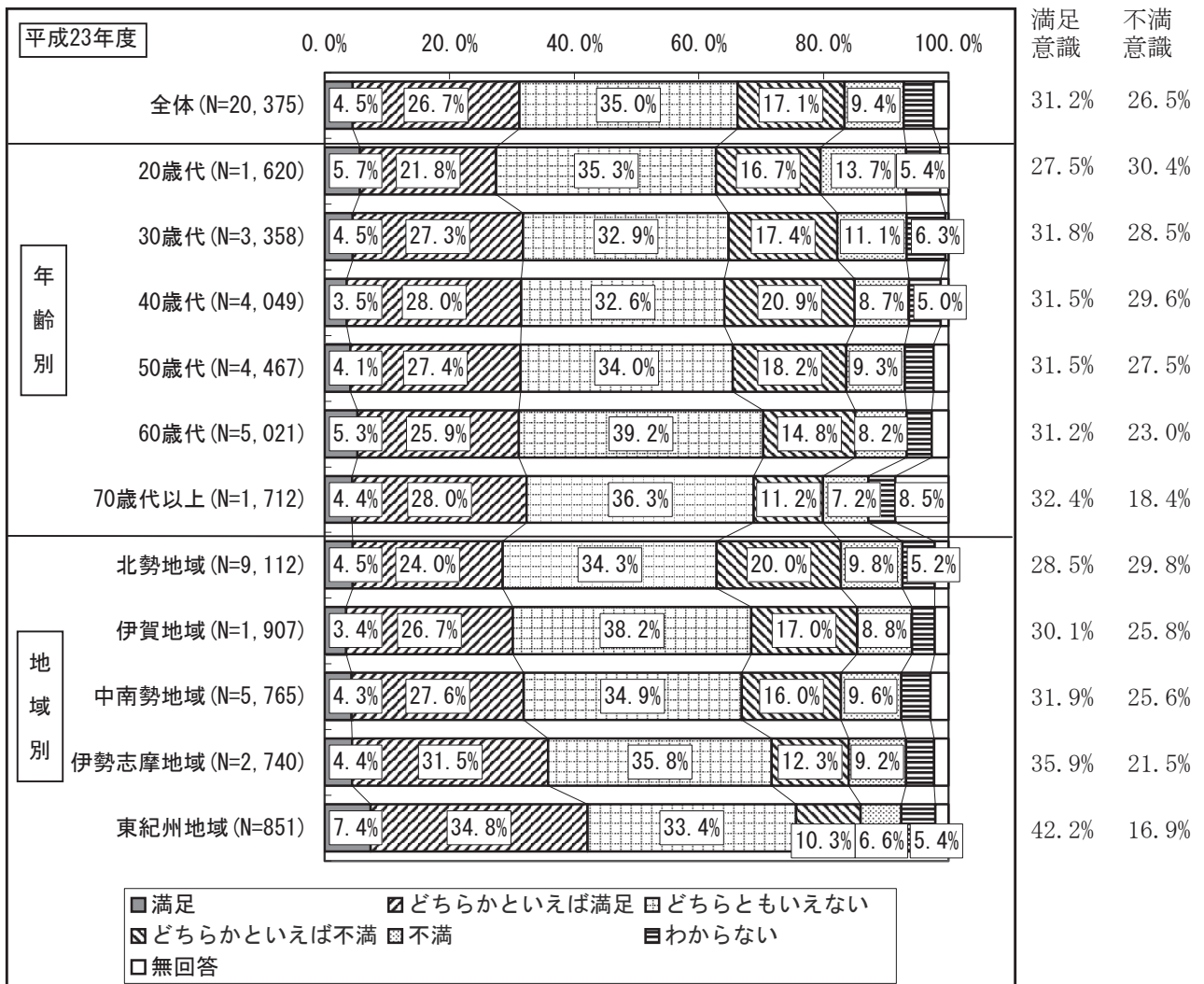
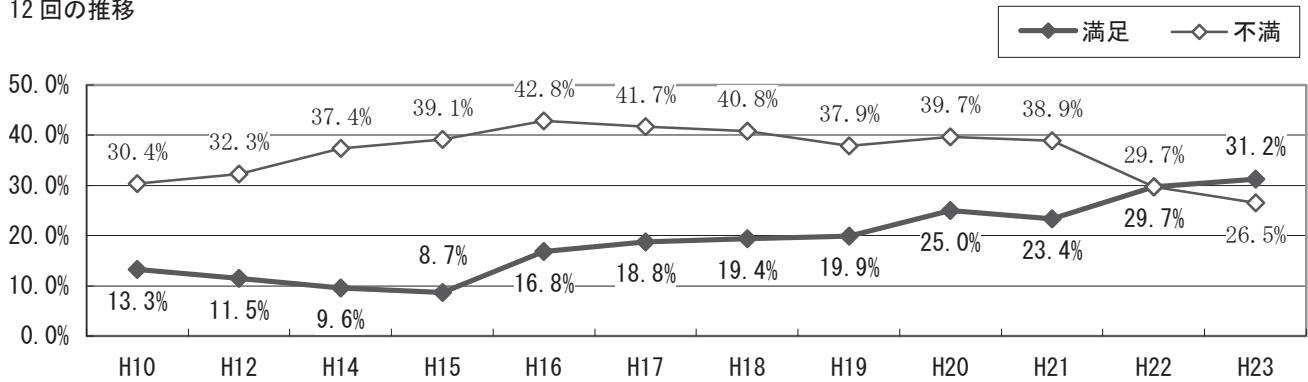
(集計資料 p. 57)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.58)

12回の推移

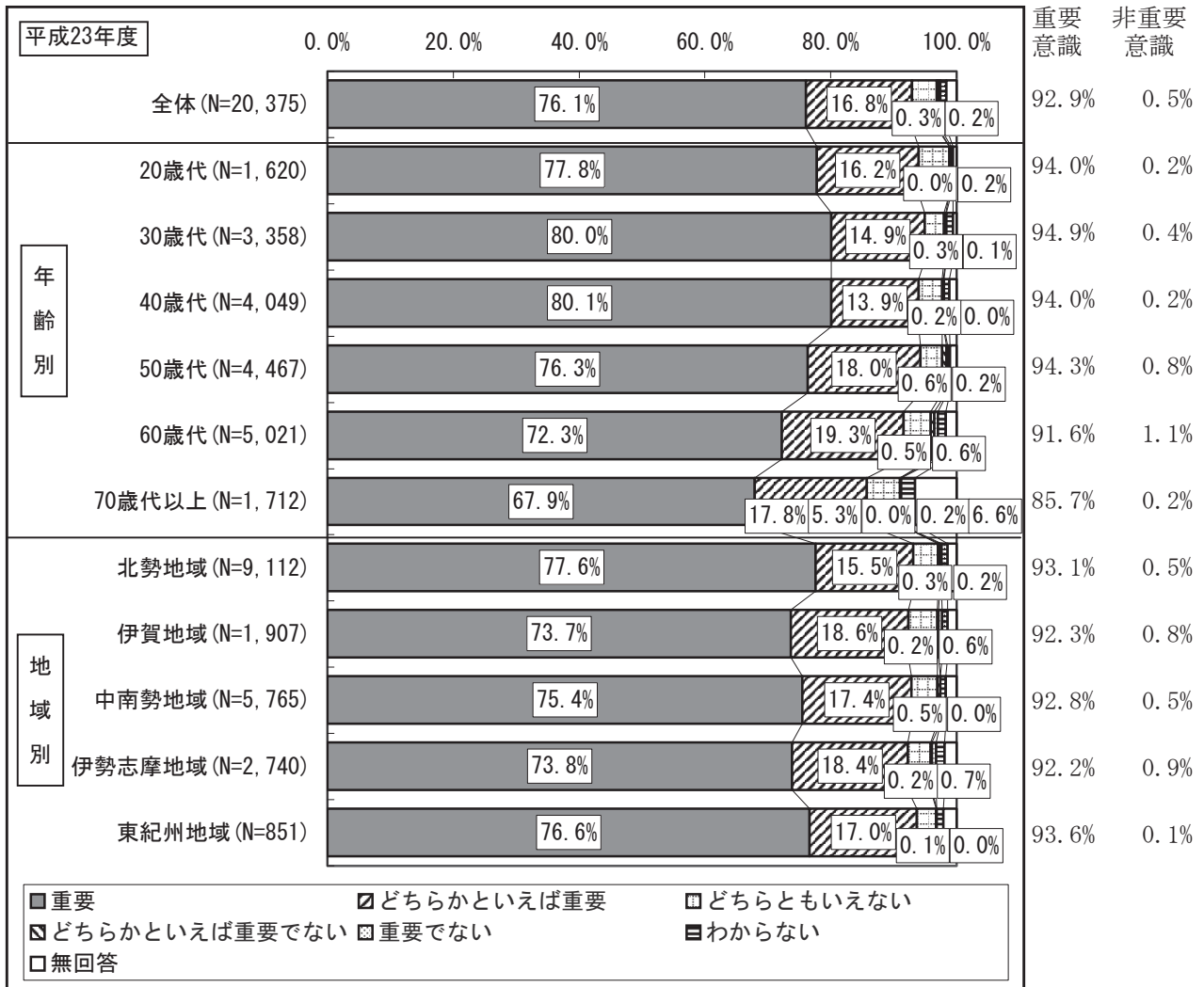
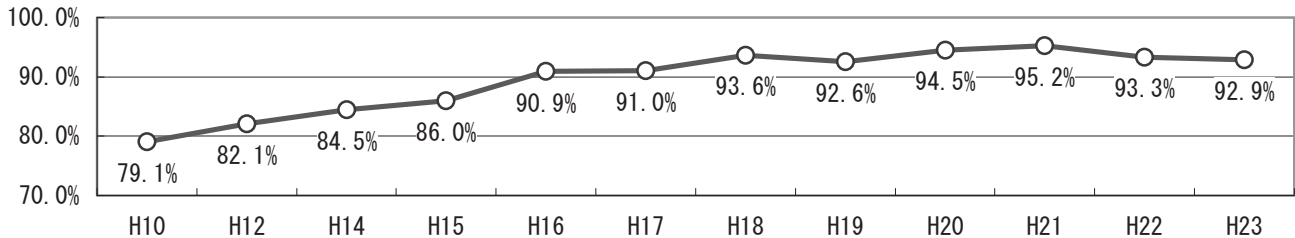


14) 食の安全

平成 15 年度までの表現	食品の安全性確保のための衛生管理指導體制の整備
平成 16 年度以降の表現	安心して食べられる食品が安定的に供給されていること。

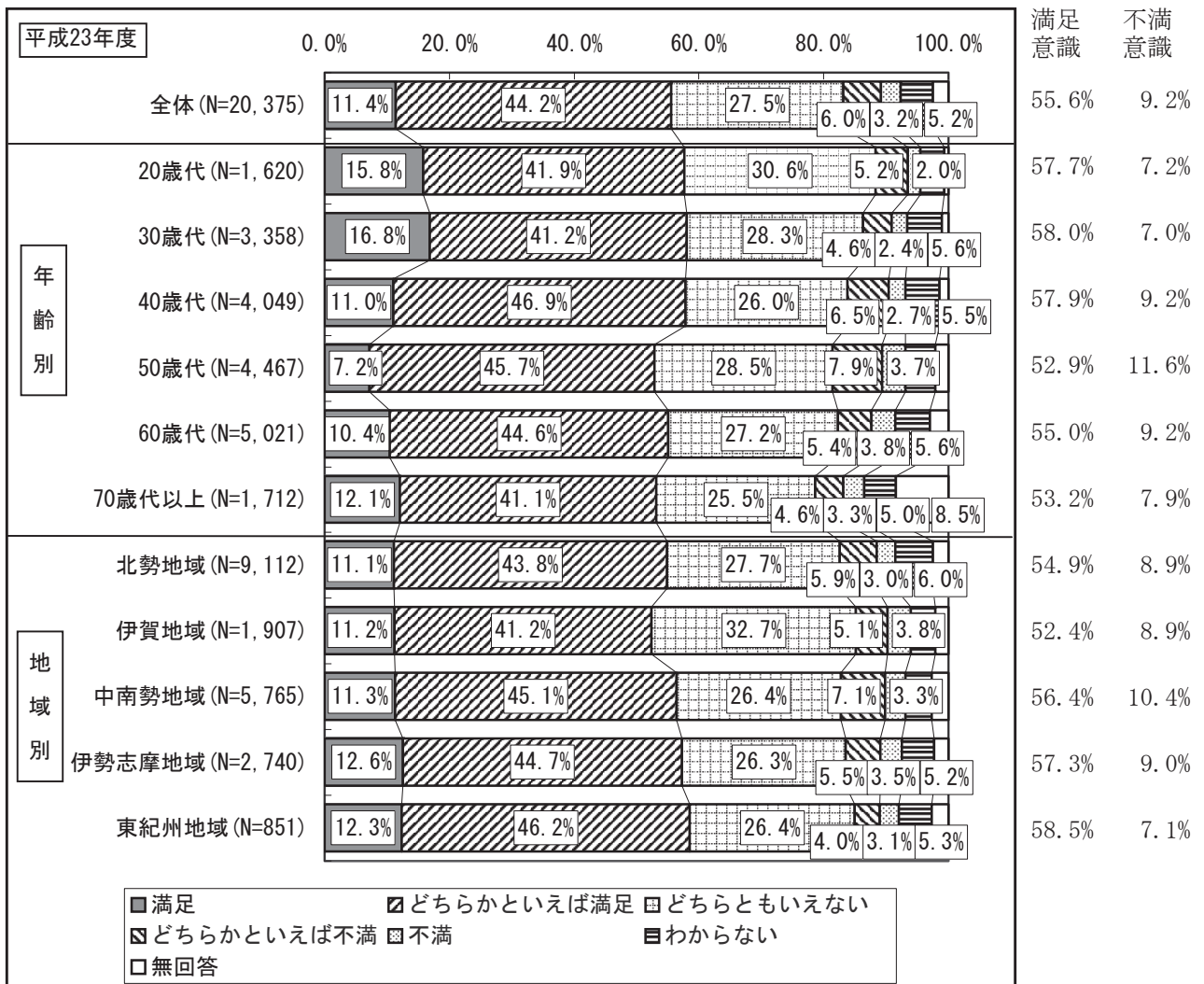
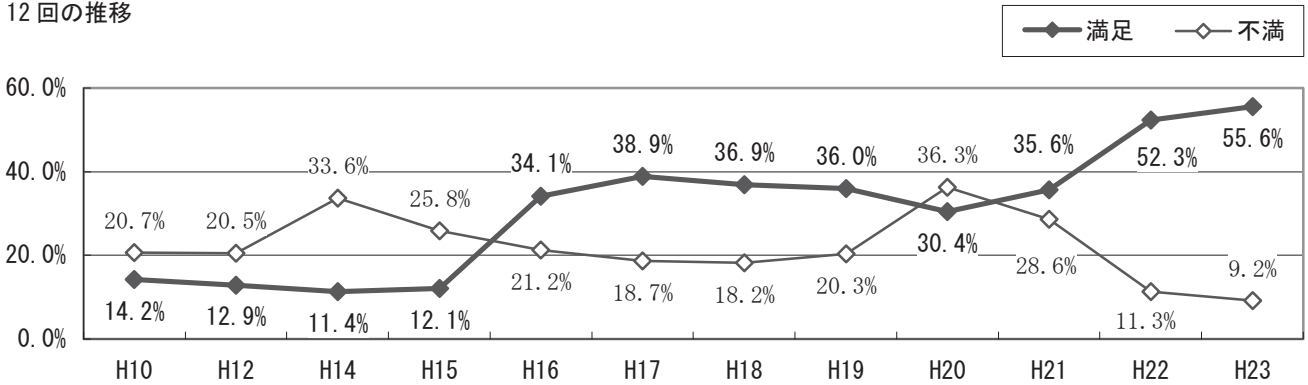
**重要意識** (集計資料 p. 59)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p. 60)

12回の推移

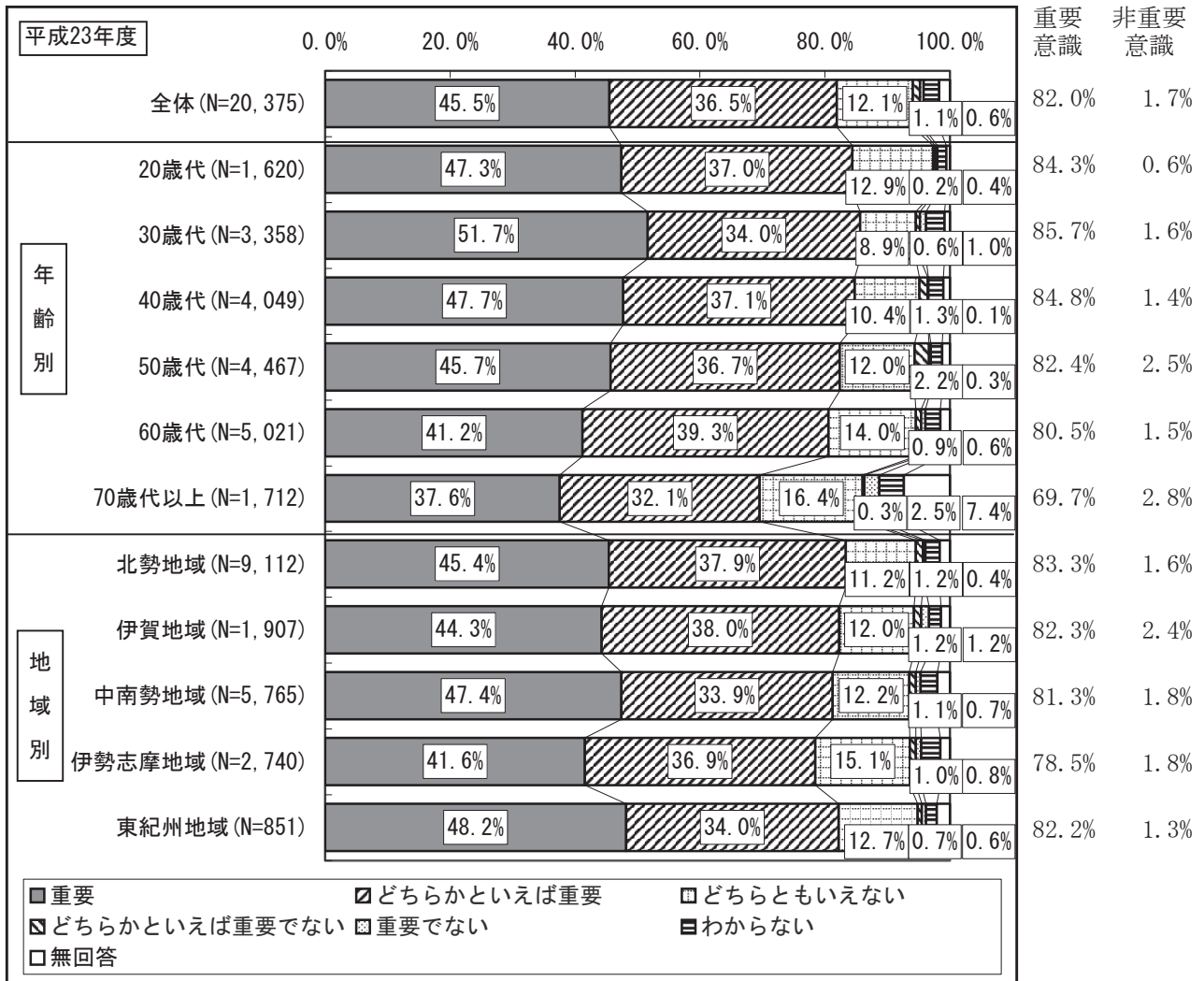
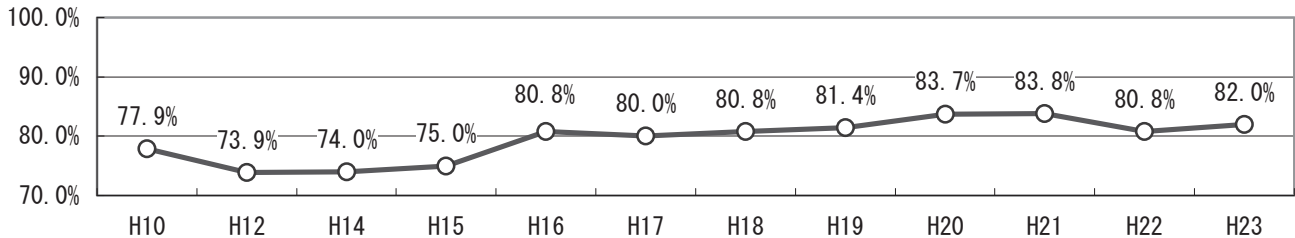


15) 高齢者、障がい者の社会参加

平成 15 年度までの表現	高齢者や障がい者の就労条件などの整備
平成 16 年度以降の表現	高齢者や障がい者が就労や趣味の集いなど、様々な社会参加ができること。

**重要意識** (集計資料 p.61)

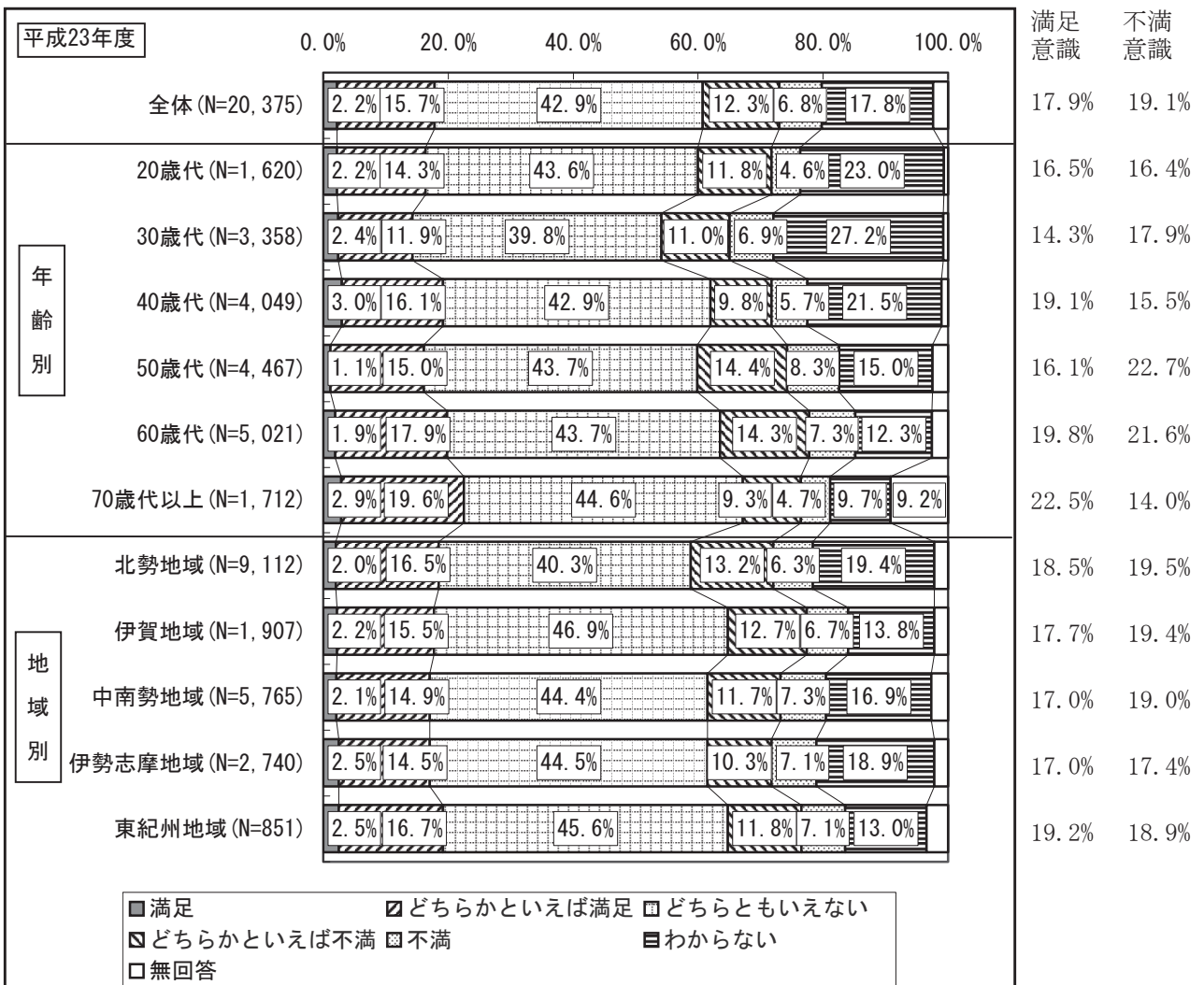
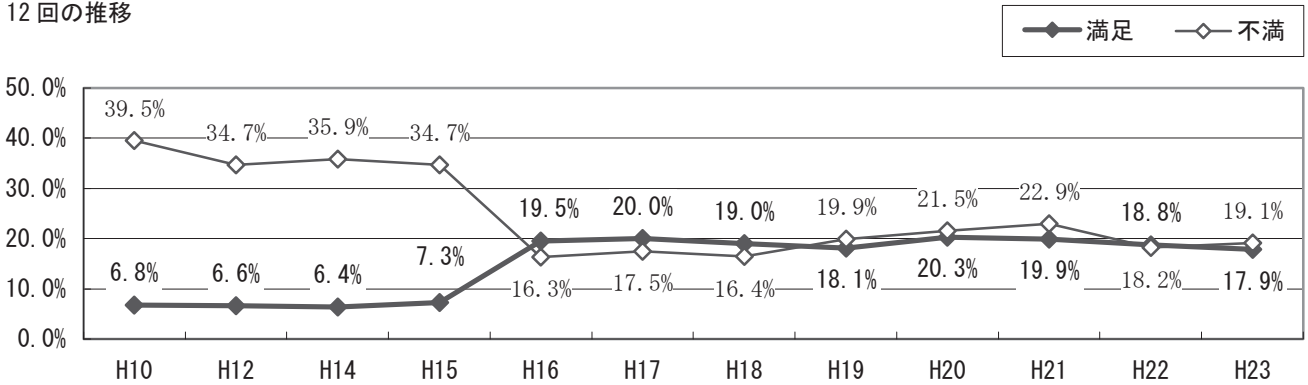
12 回の推移





満足意識 (集計資料 p.62)

12回の推移

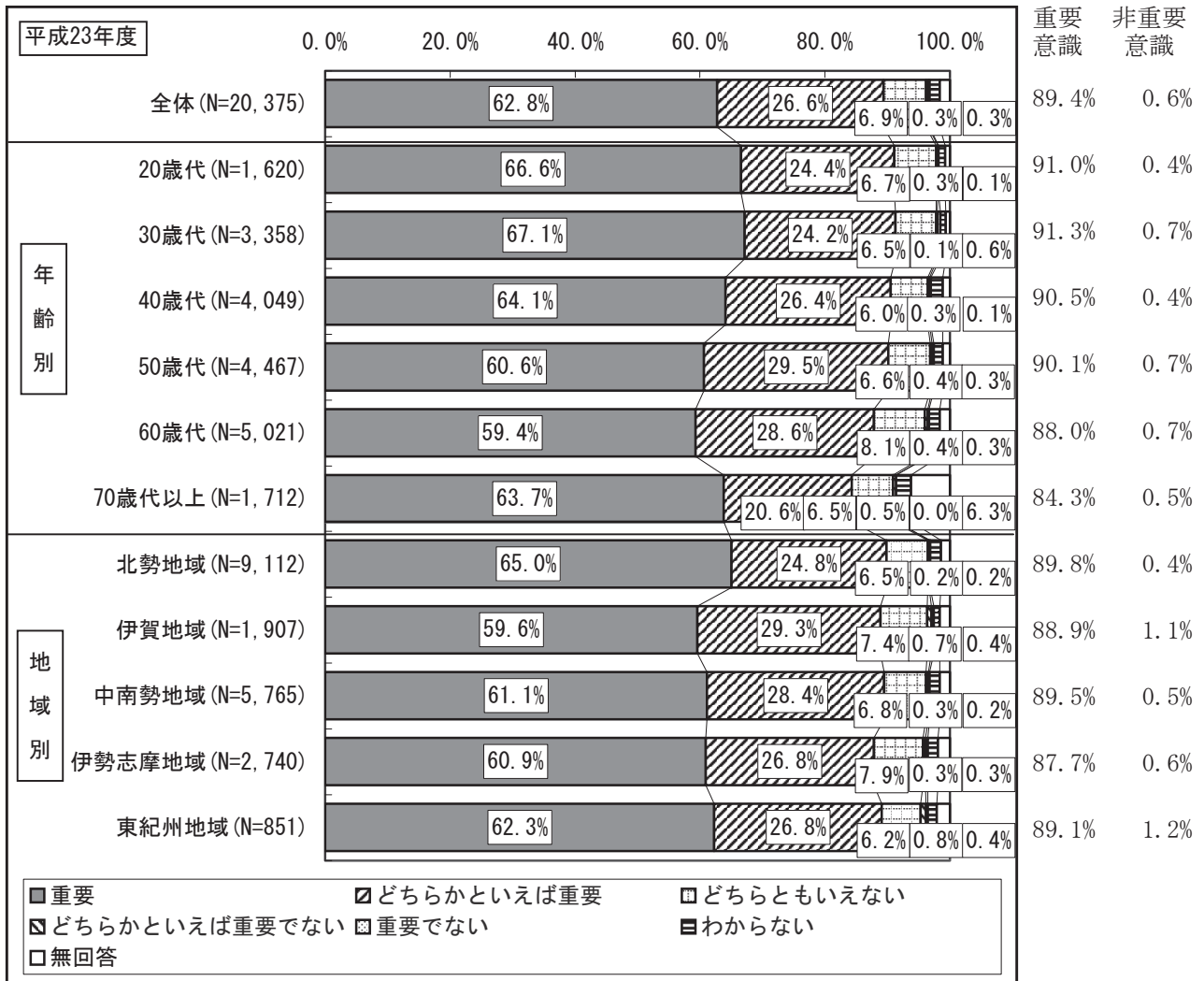
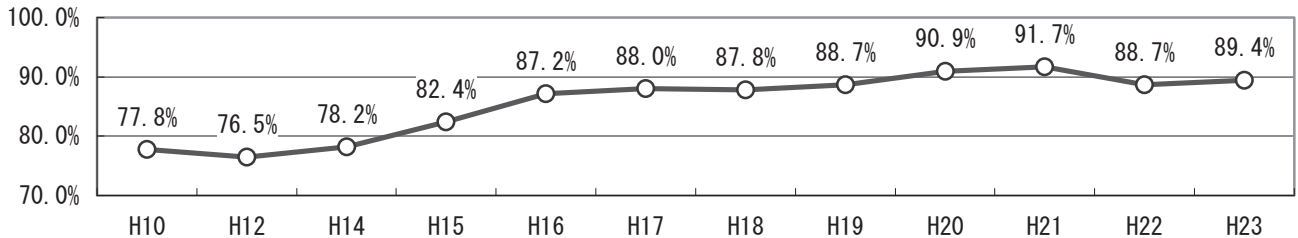


16) 保健予防体制

平成 15 年度までの表現	生活習慣病や感染症の予防など保健予防体制の確保
平成 16 年度以降の表現	感染症の発生、まん延や生活習慣病の不安を感じることなく生活できること。

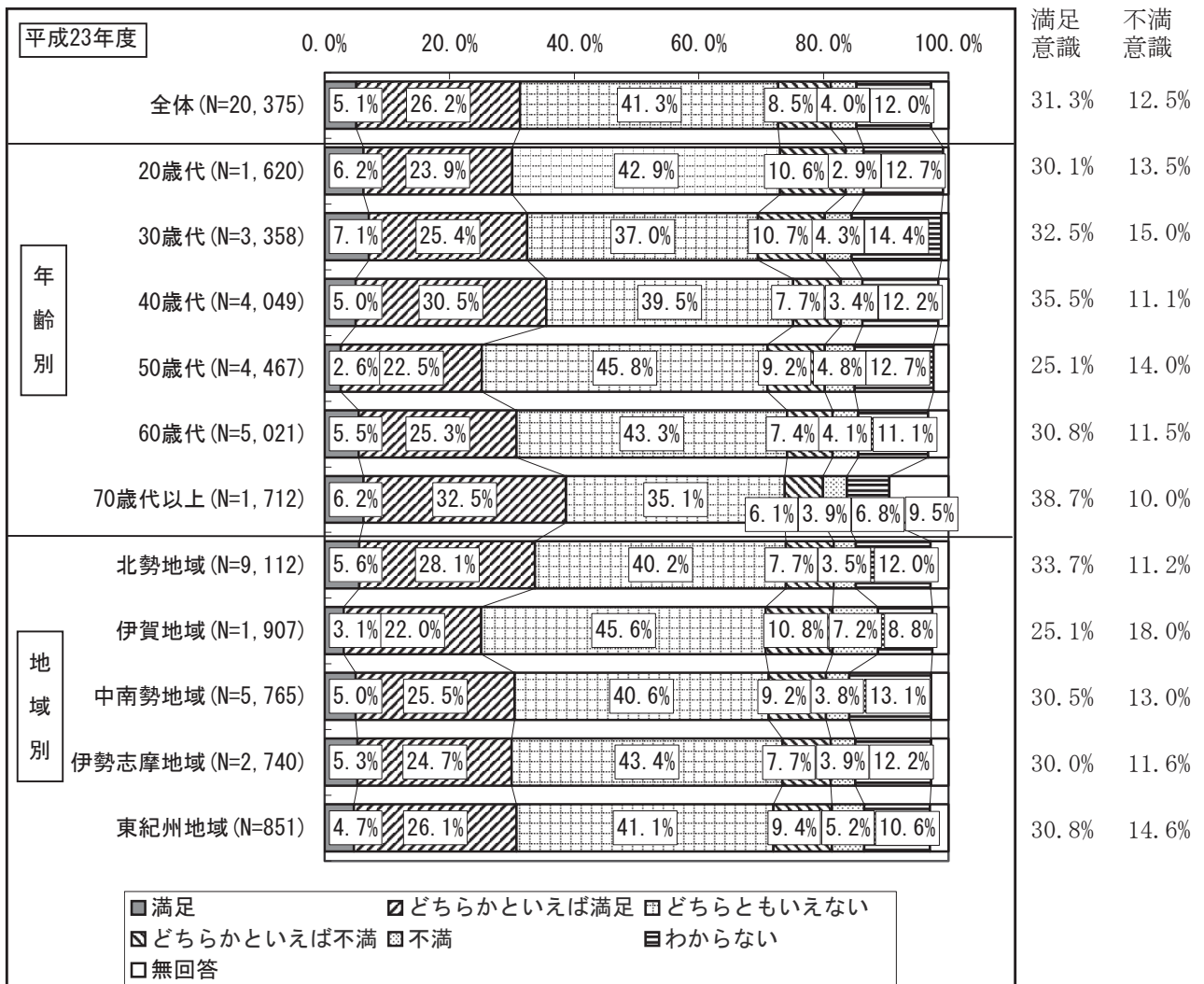
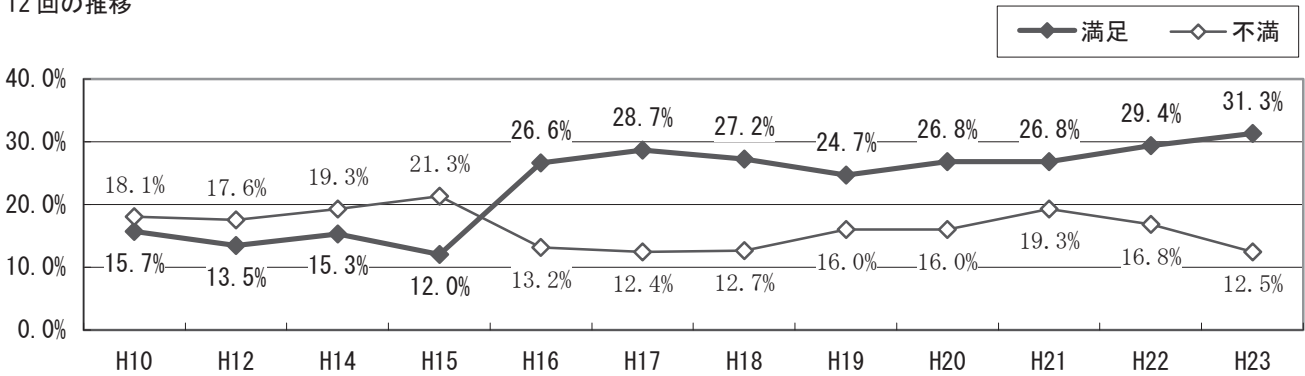
重要意識 (集計資料 p.63)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.64)

12回の推移

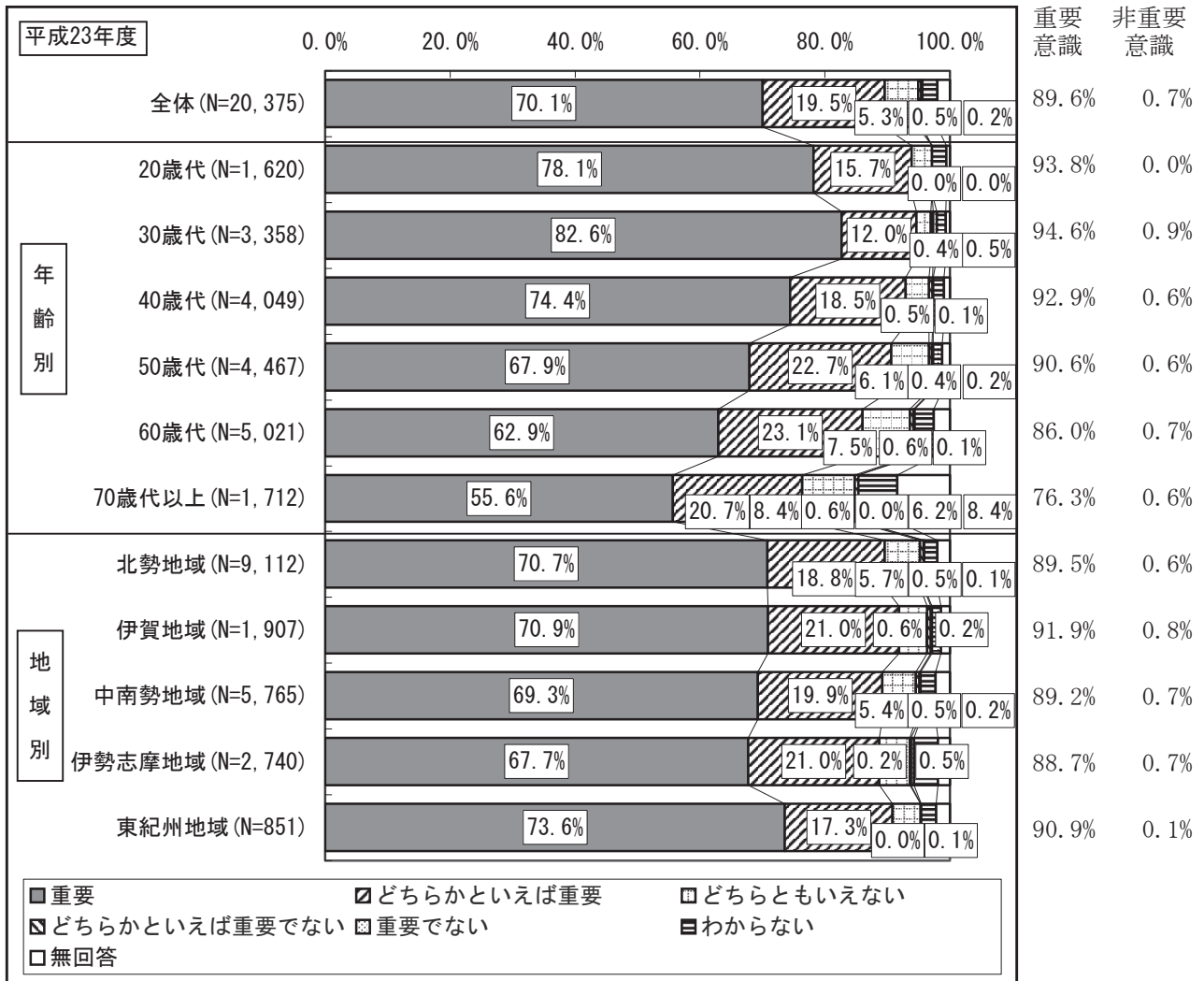
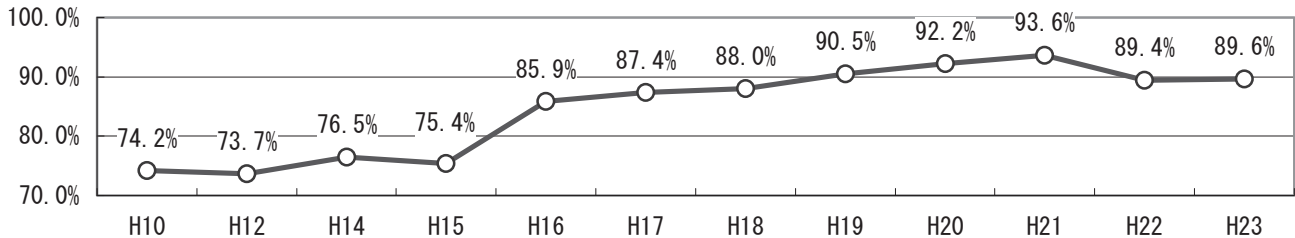


17) 子育て環境

平成 15 年度までの表現	母子保健対策、保育サービスなど子育て環境の整備
平成 16 年度以降の表現	子どもを安心して産み育てられる環境が充実していること。

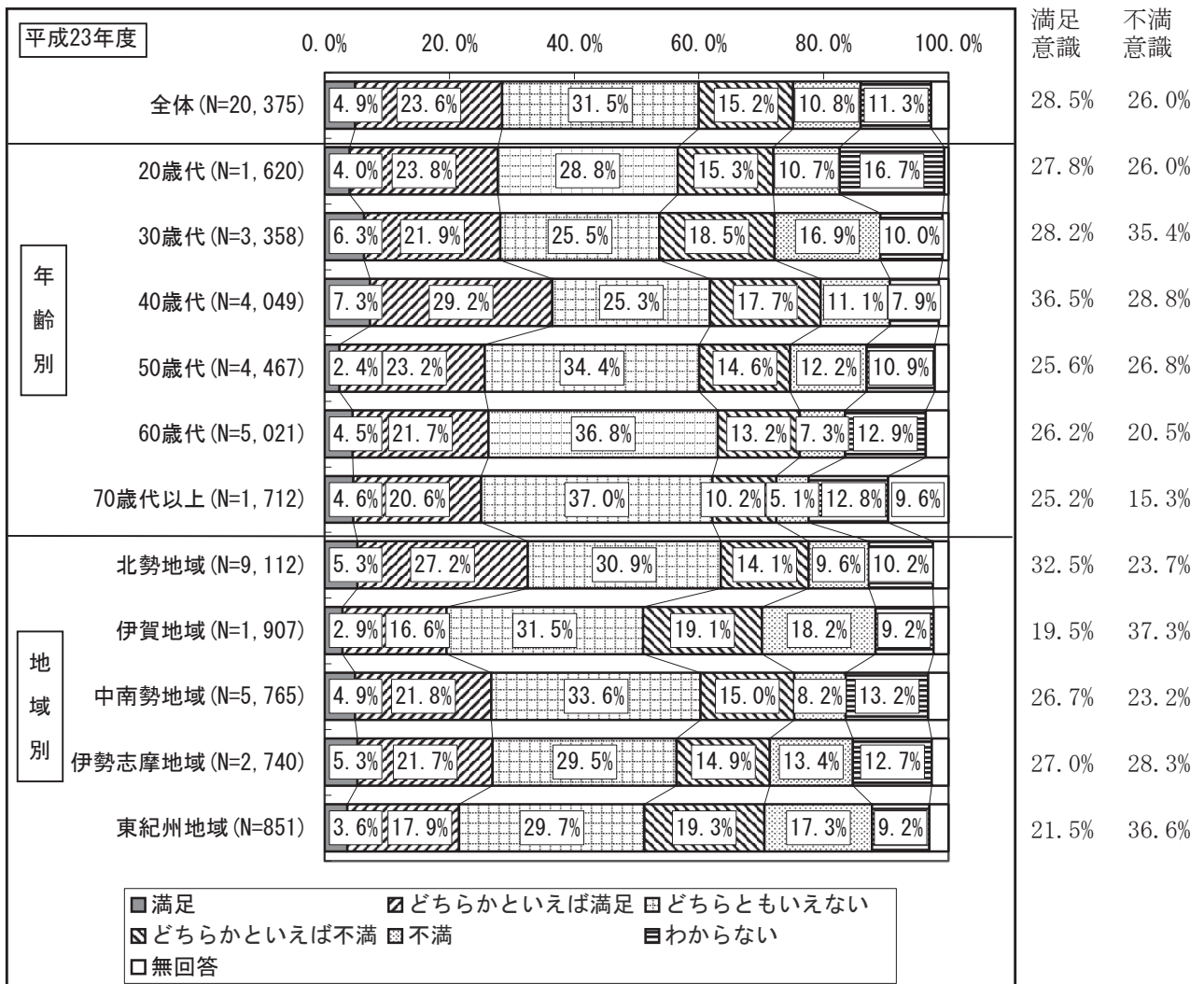
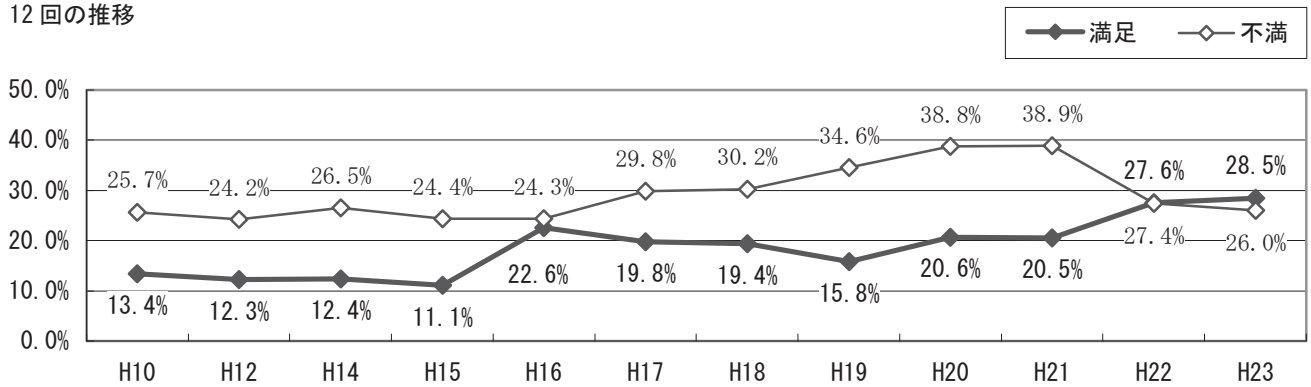
**重要意識** (集計資料 p. 65)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.66)

12回の推移

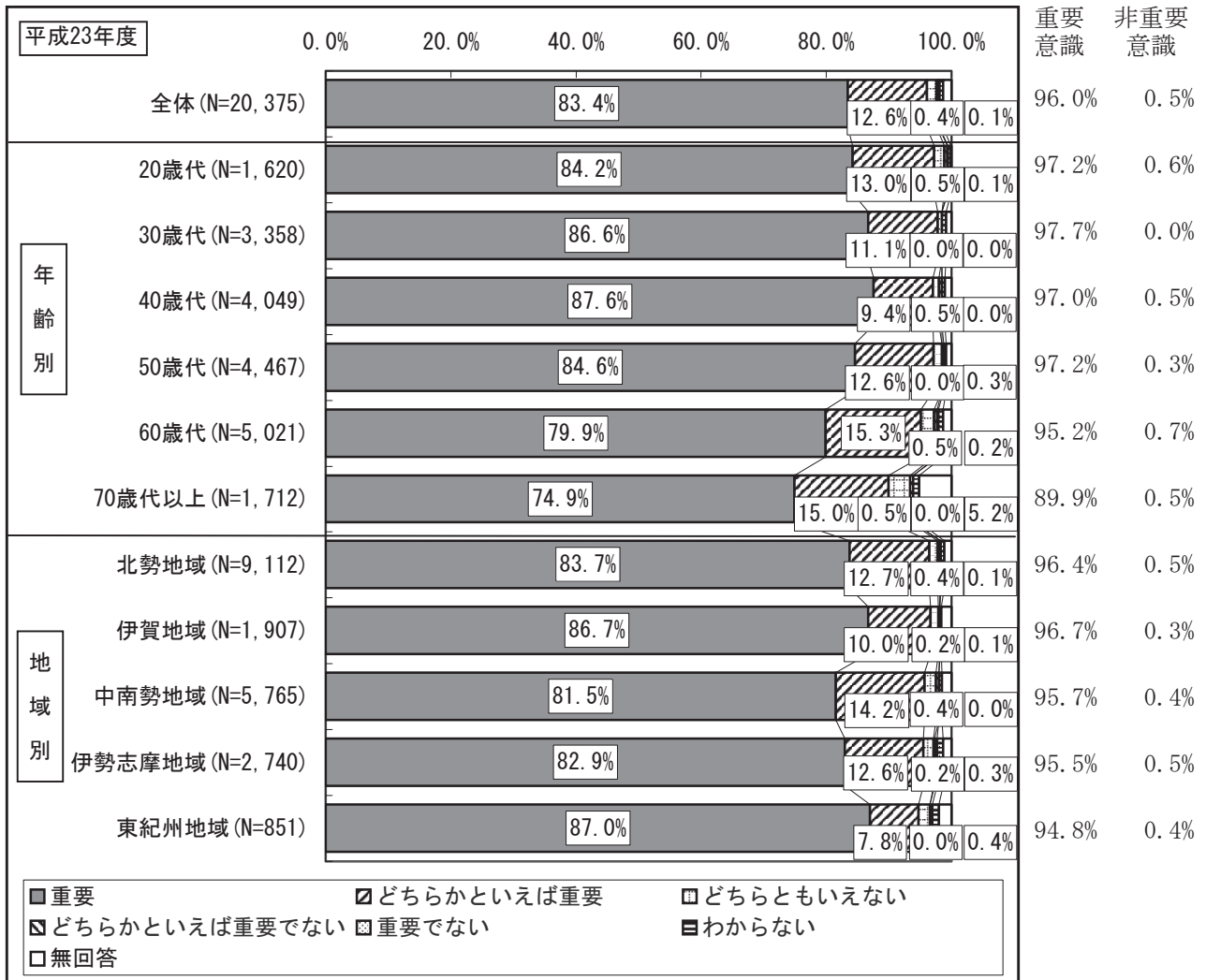
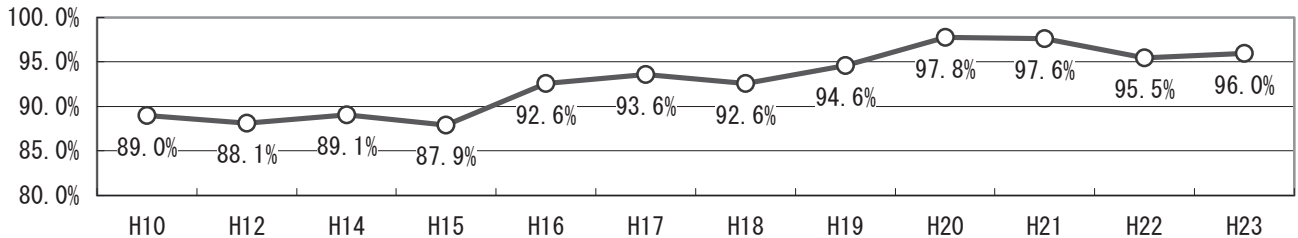


18) 医療体制

平成 15 年度までの表現	病状に応じて、適切な医療が受けられる患者本位の医療体制の確保
平成 16 年度以降の表現	病状に応じて、身近なところで適切な医療が受けられること。

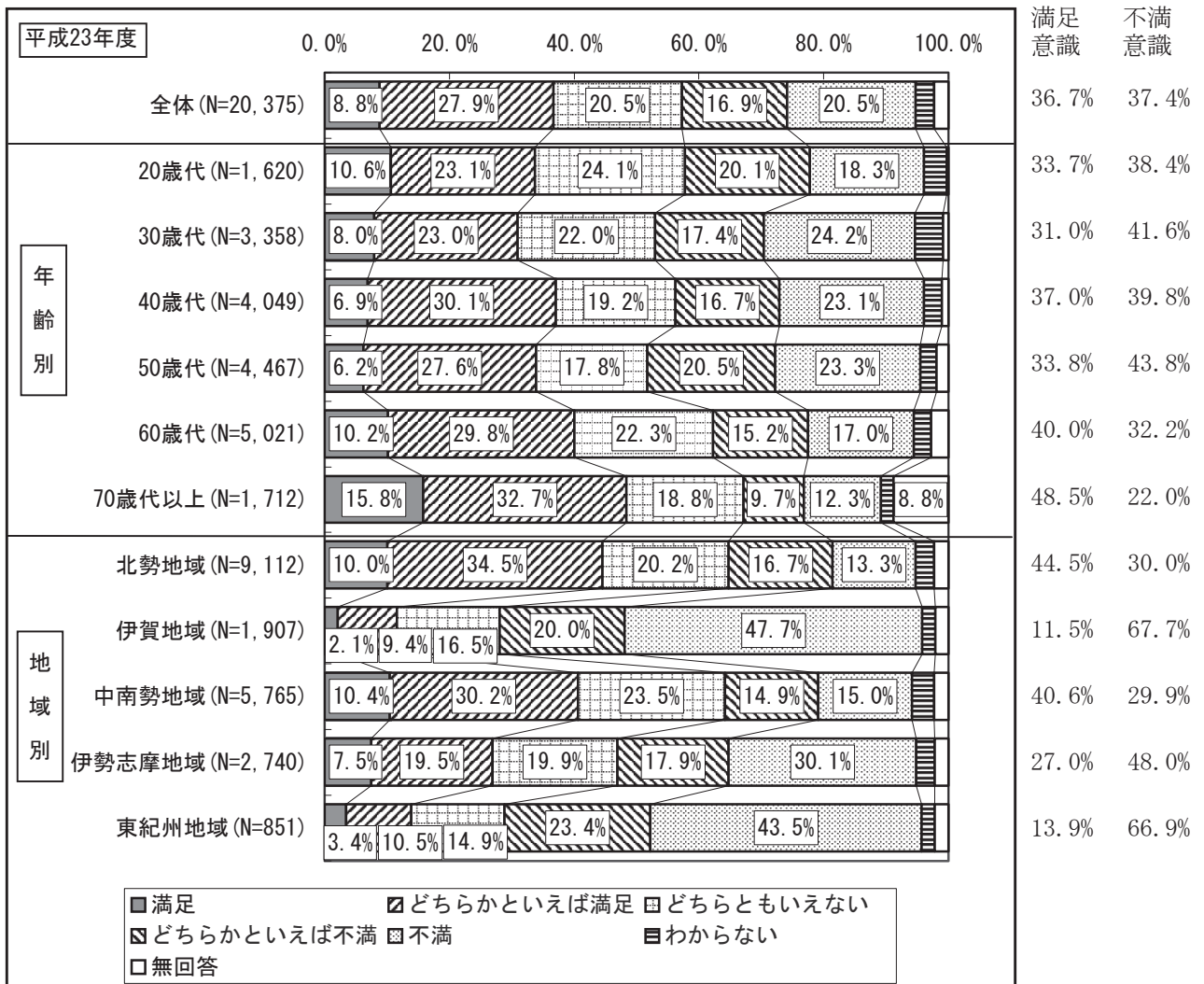
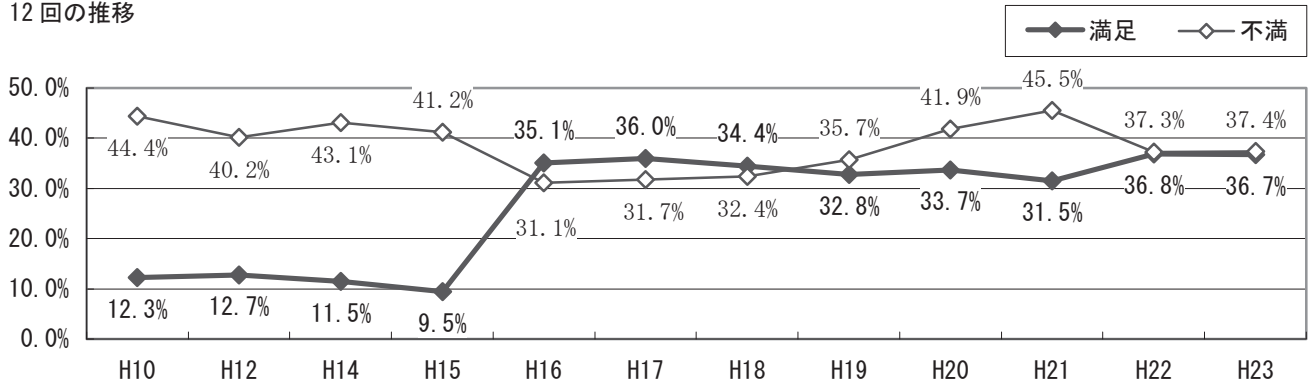
重要意識 (集計資料 p. 67)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.68)

12回の推移

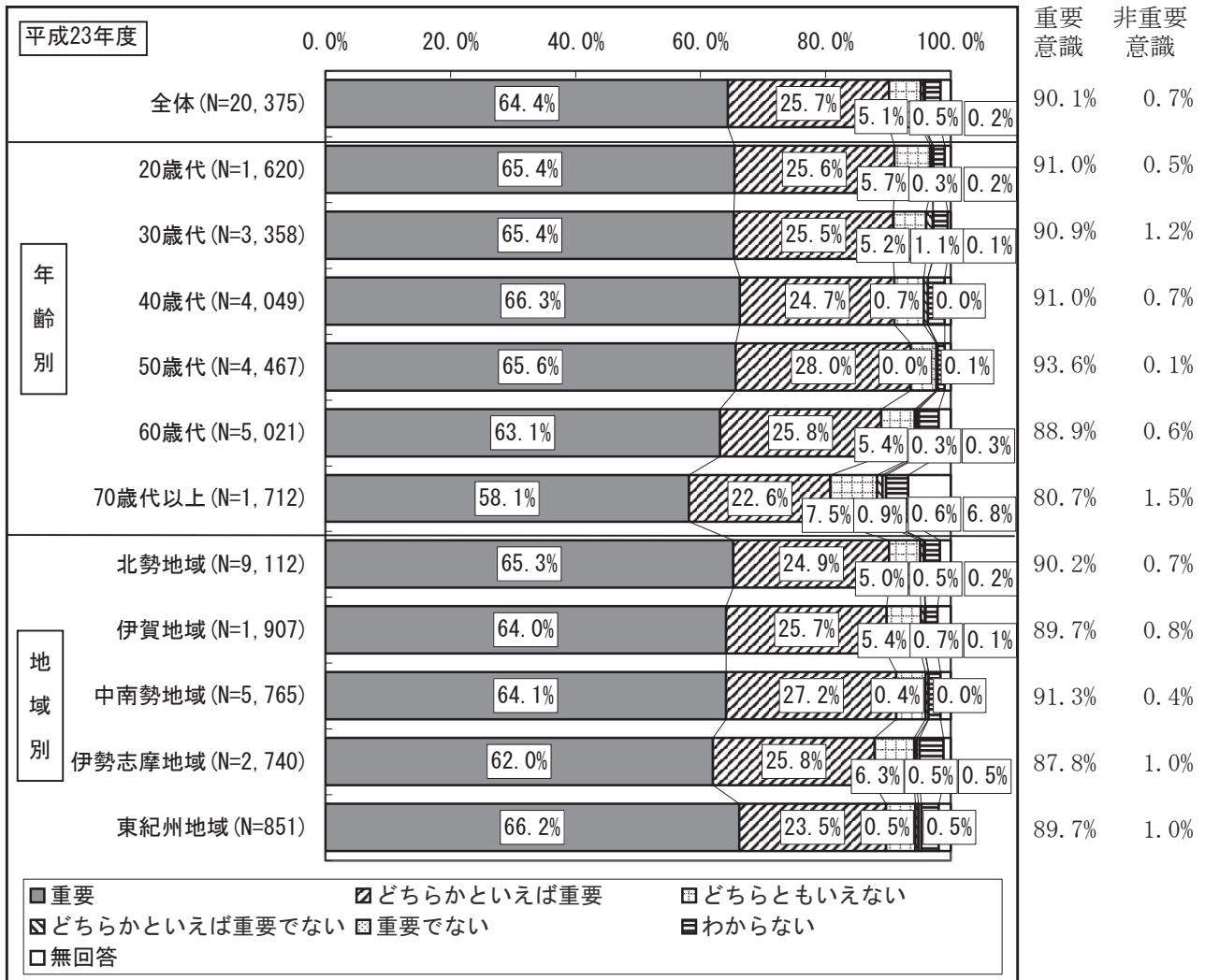
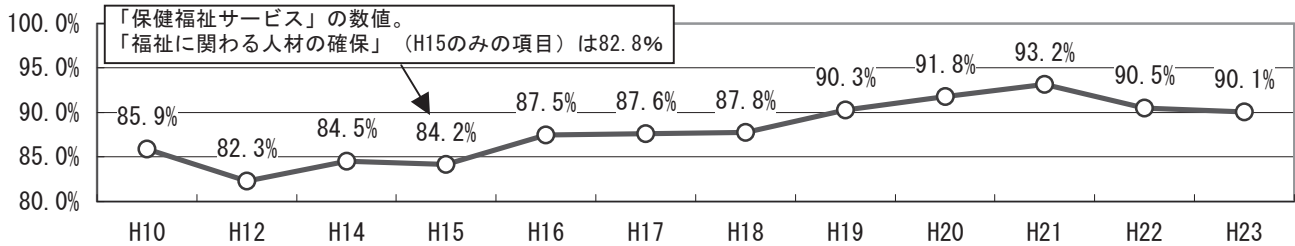


19) 福祉サービス

平成 15 年度までの表現	訪問介護など保健・福祉サービスの提供（保健福祉サービス） 看護職員、福祉ボランティア等の保健・医療・福祉や地域福祉活動に携わる人材の確保（福祉に関わる人材の確保）
平成 16 年度以降の表現	高齢者・障がい者の介護、在宅支援などの福祉サービスが利用しやすいこと。

重要意識 (集計資料 p.69)

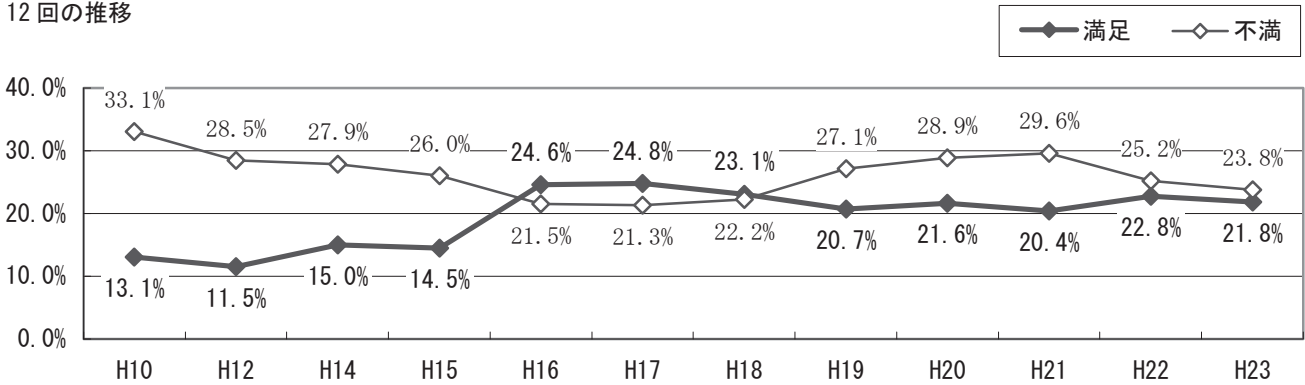
12 回の推移



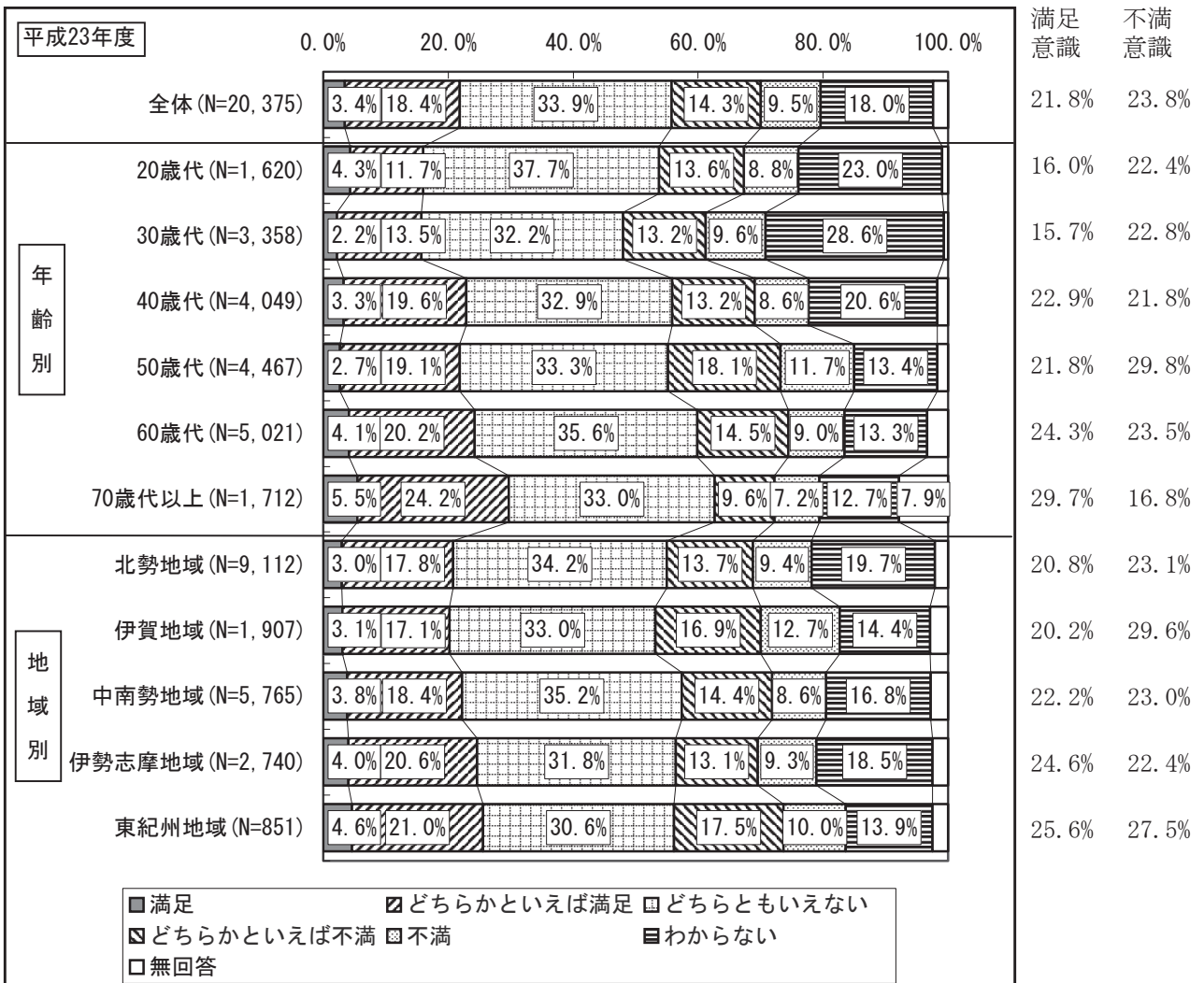


満足意識 (集計資料 p.70)

12回の推移



※H15は「保健福祉サービス」の数値。「福祉に関わる人材の確保」(H15のみの項目)の満足意識、不満意識は、9.5%、27.2%

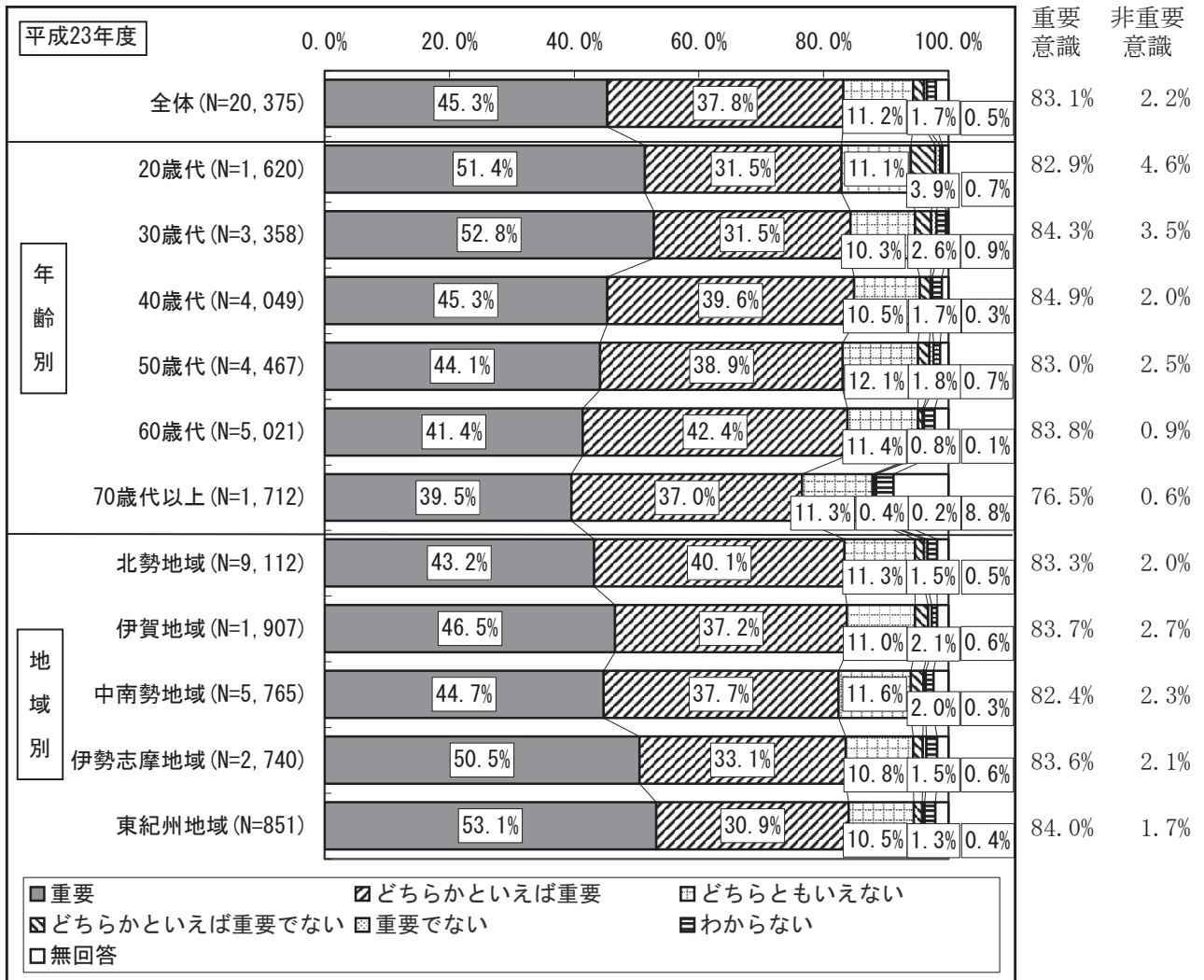
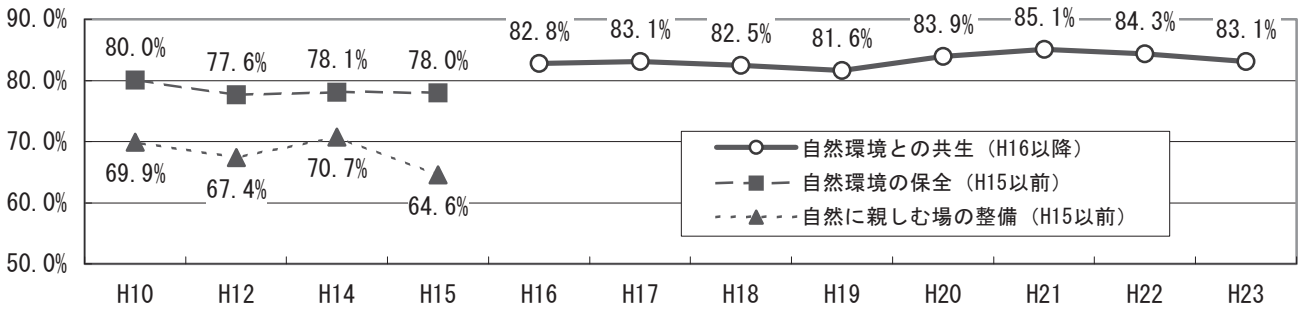


20) 自然環境との共生

平成 15 年度までの表現	自然環境の保全 ----- 自然に親しむ場の整備
平成 16 年度以降の表現	身近に触れあうことのできる豊かな自然環境があること。

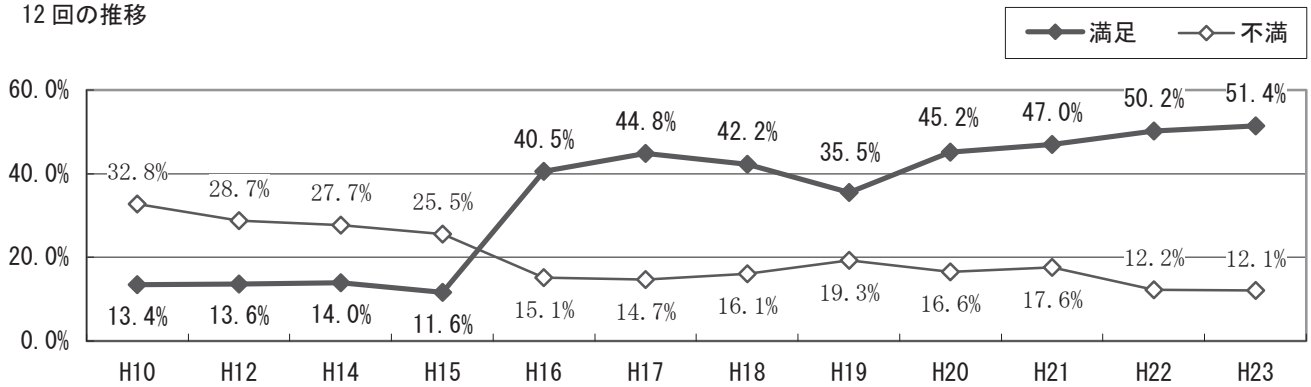
重要意識 (集計資料 p.71)

12 回の推移



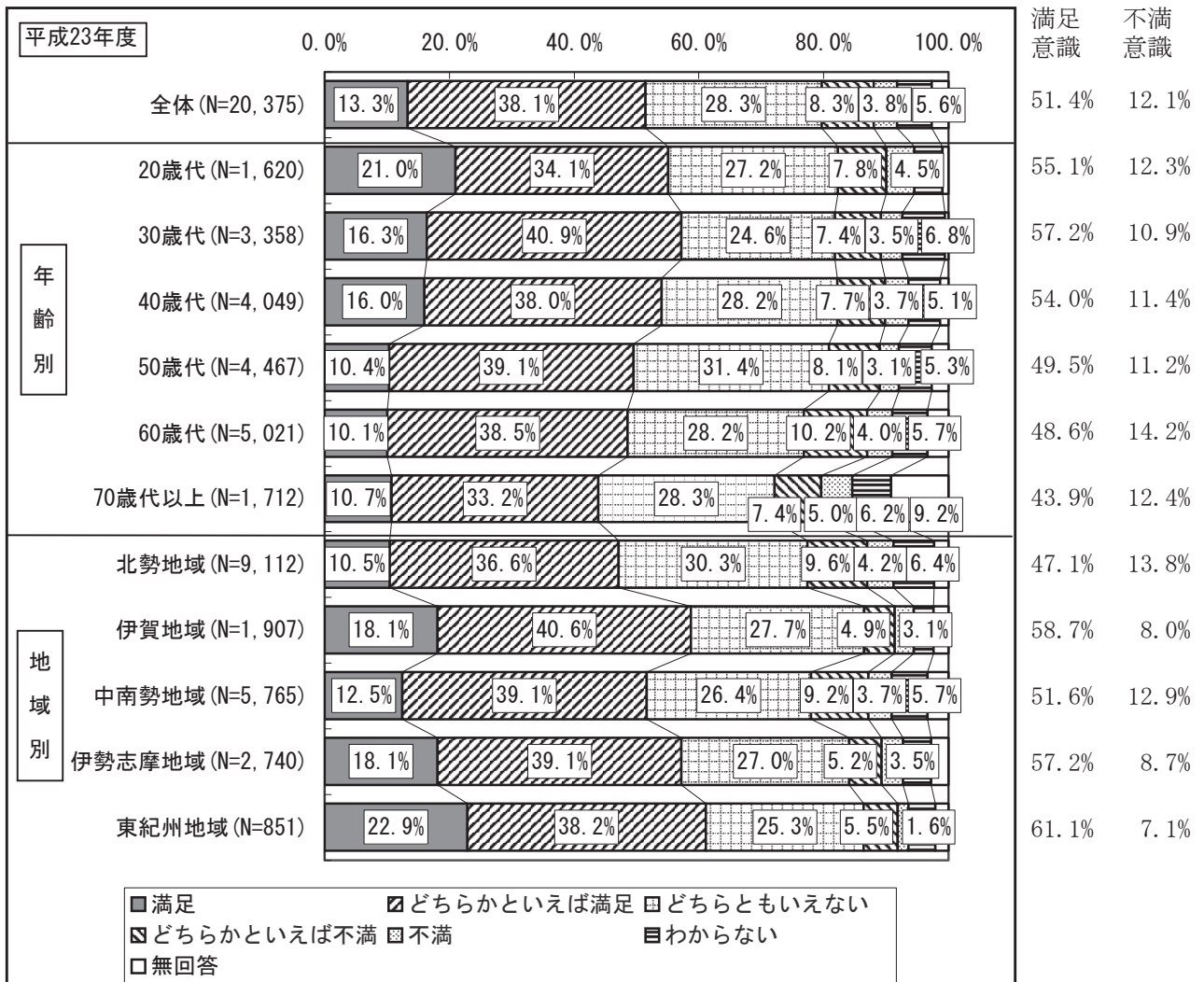
満足意識 (集計資料 p.72)

12回の推移



※H15以前は「自然環境の保全」の値。「自然に親しむ場の整備」の数値は以下の通り。

	H10	H12	H14	H15
満足意識	17.4%	15.4%	18.0%	14.7%
不満足意識	26.7%	25.6%	23.8%	21.7%

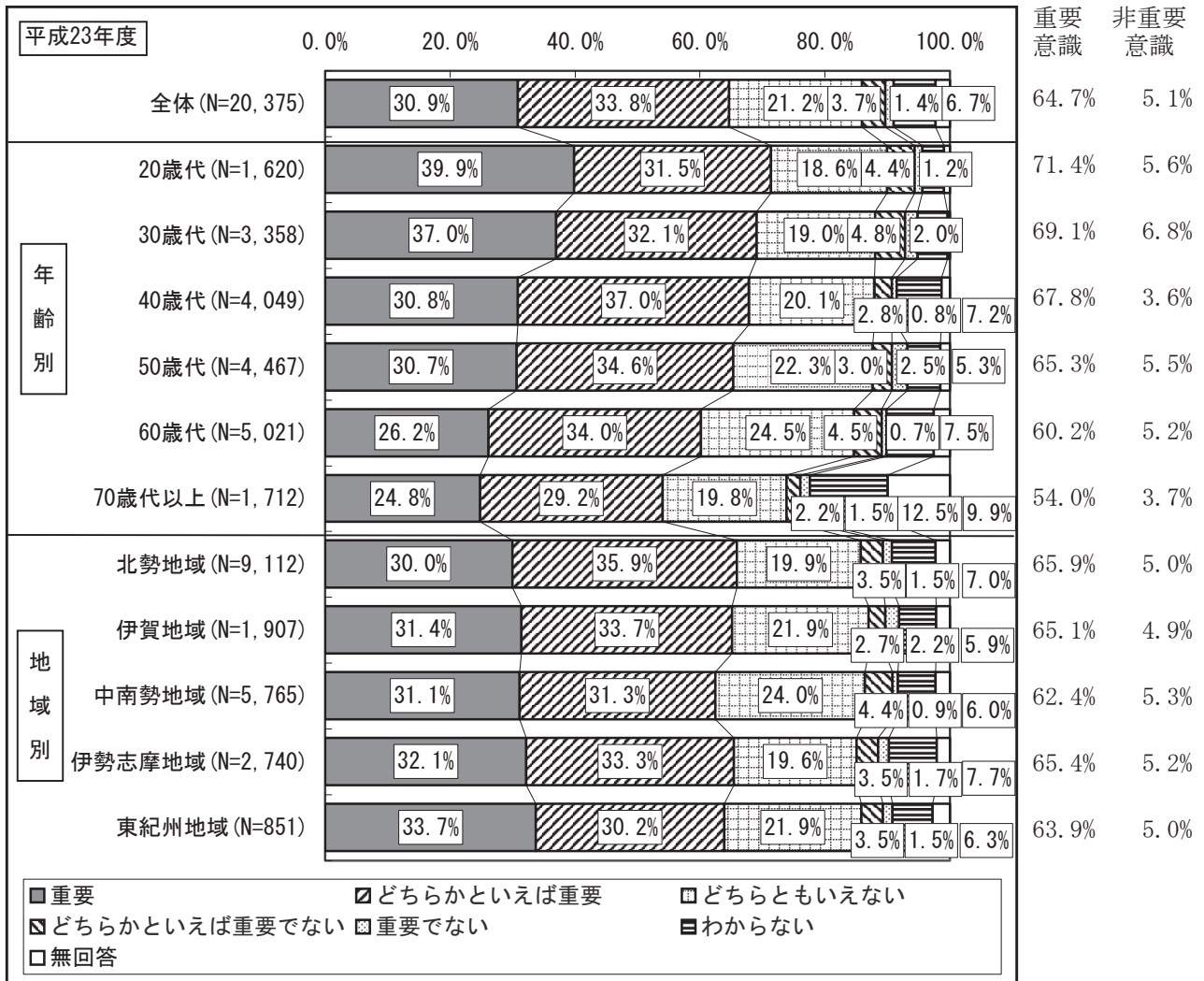
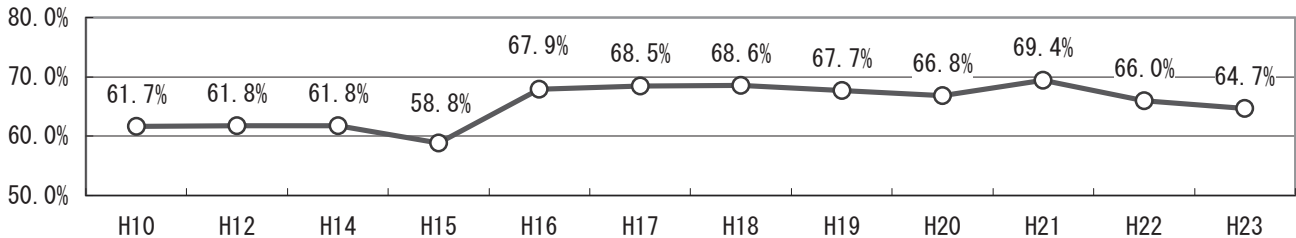


21) 希少な生物

平成 15 年度までの表現	希少な野生生物の保護
平成 16 年度以降の表現	希少な野生動物や植物が保護されていること。

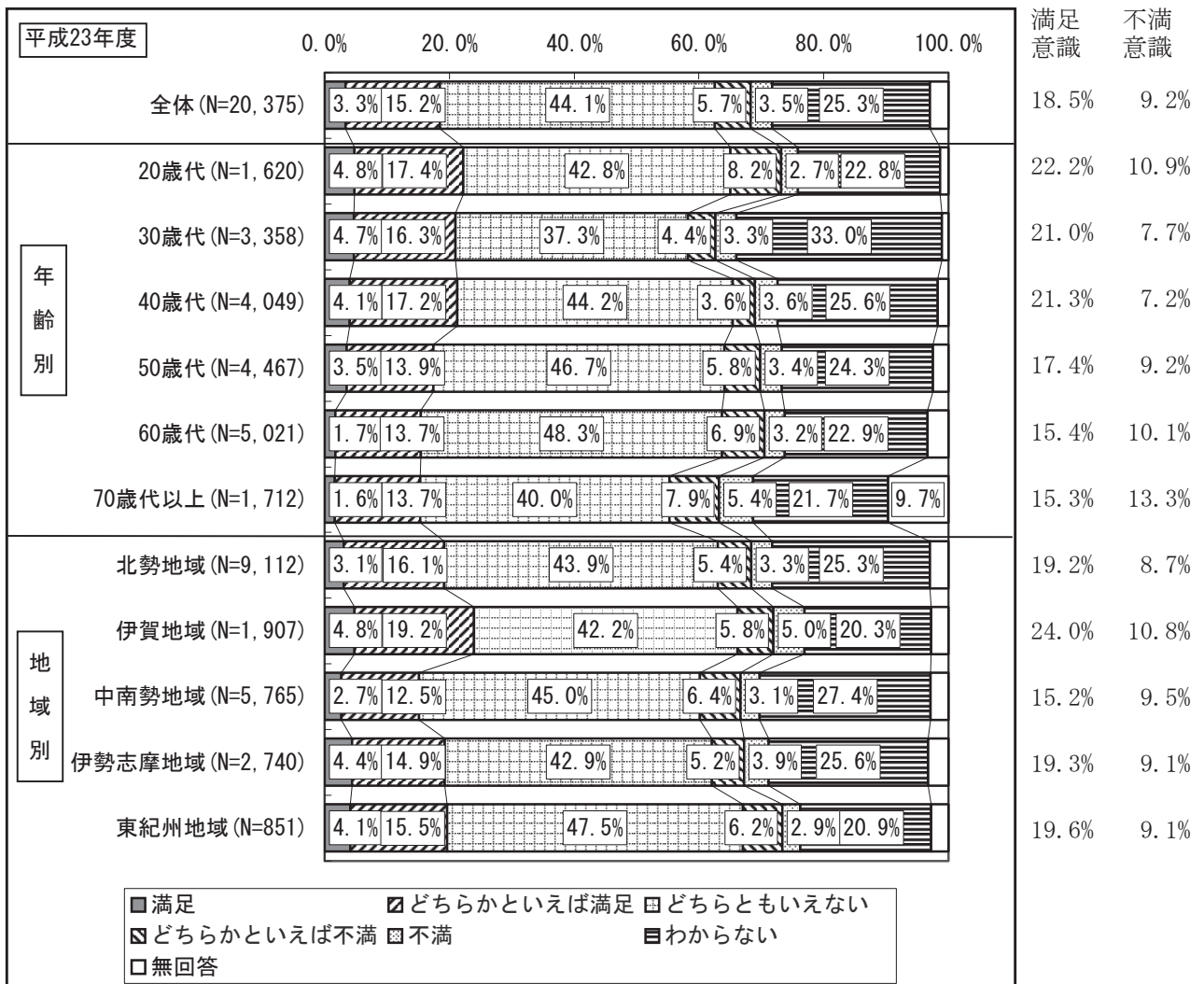
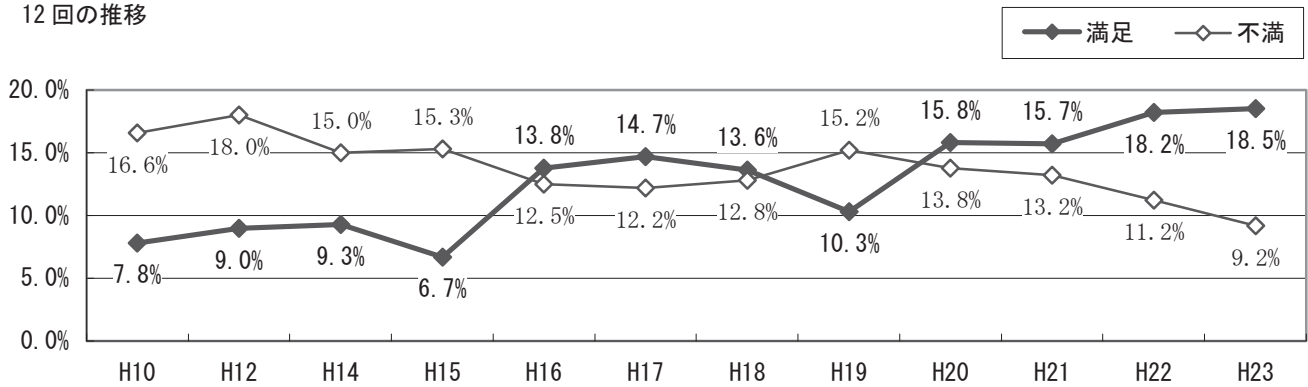
**重要意識** (集計資料 p.73)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.74)

12回の推移

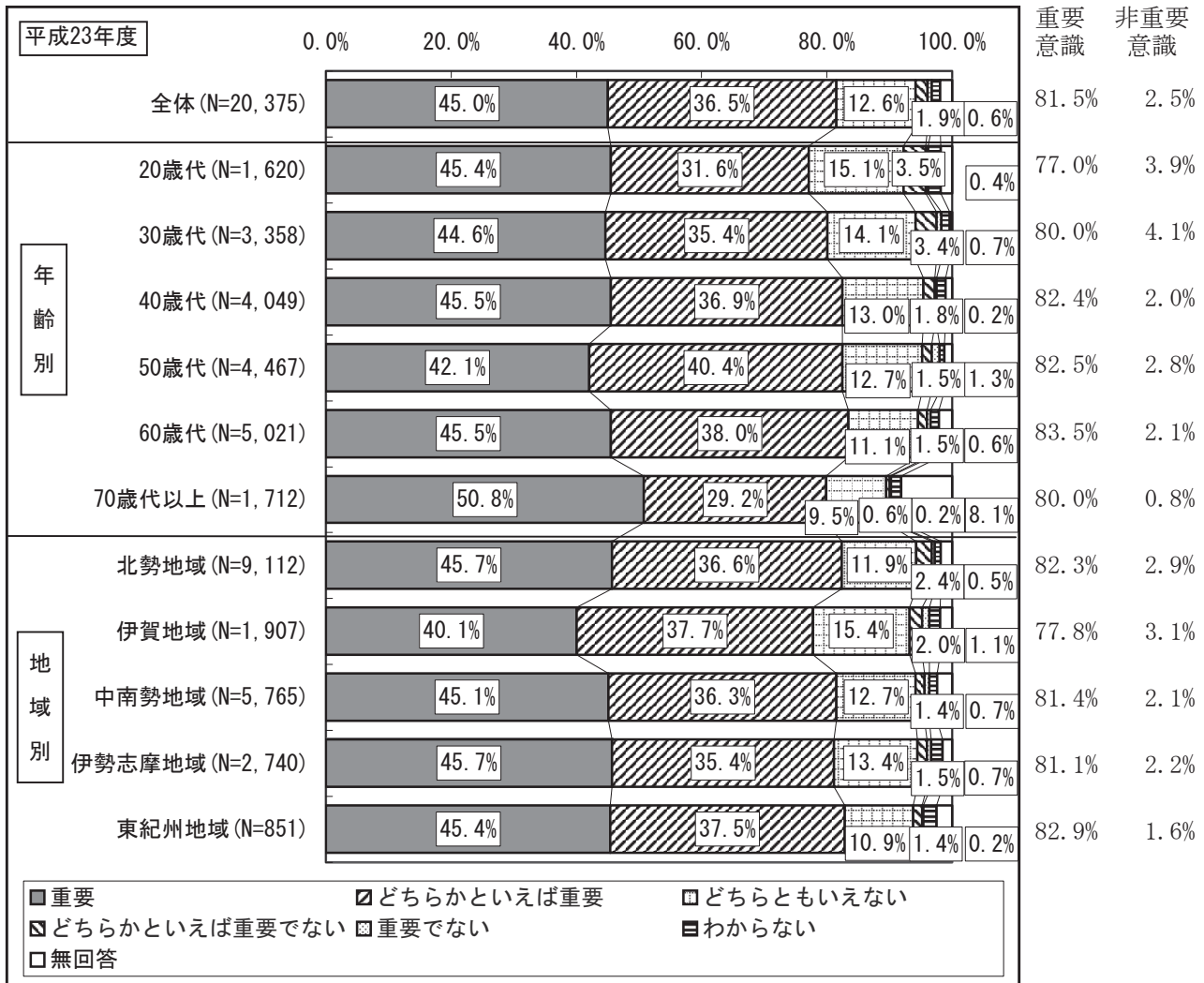
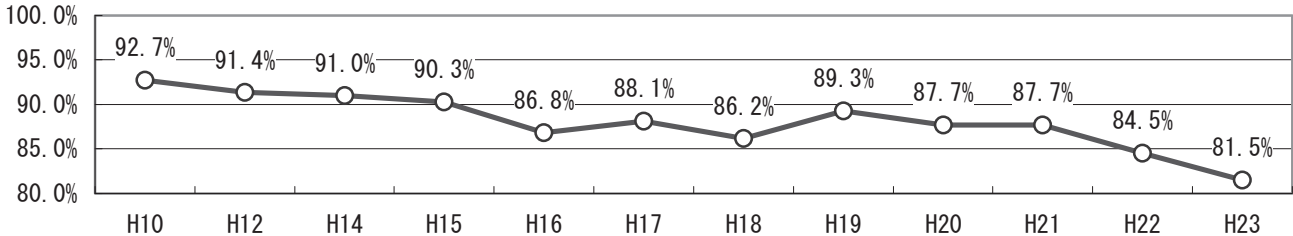


22) ごみの減量

平成 15 年度までの表現	ごみの減量化
平成 16 年度以降の表現	職場や家庭から出るゴミが少ないこと。

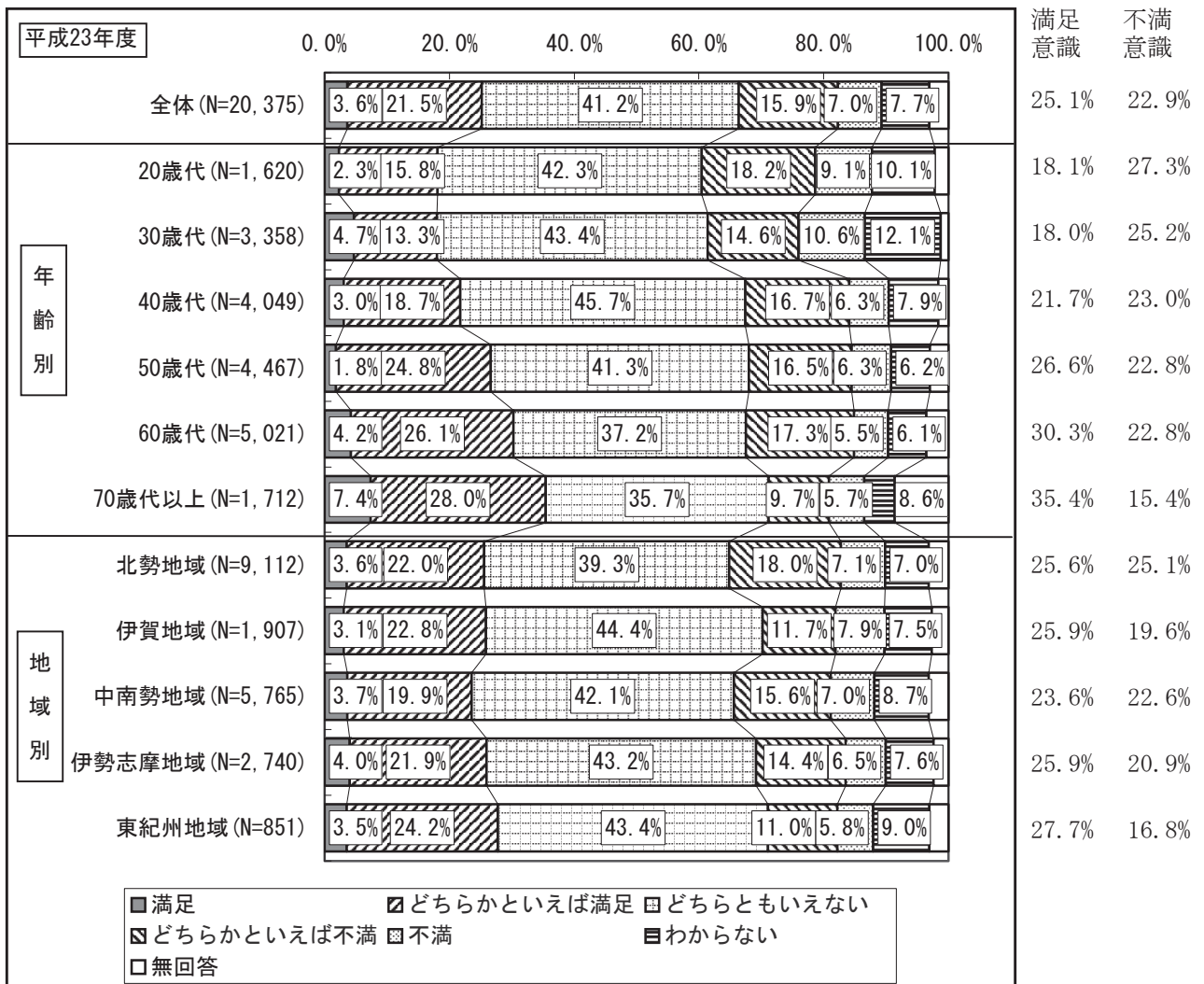
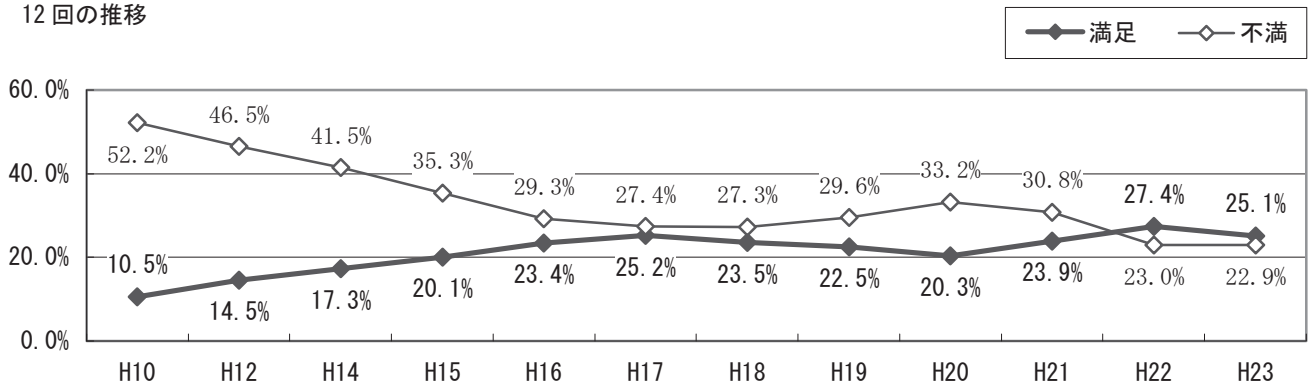
重要意識 (集計資料 p.75)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.76)

12回の推移

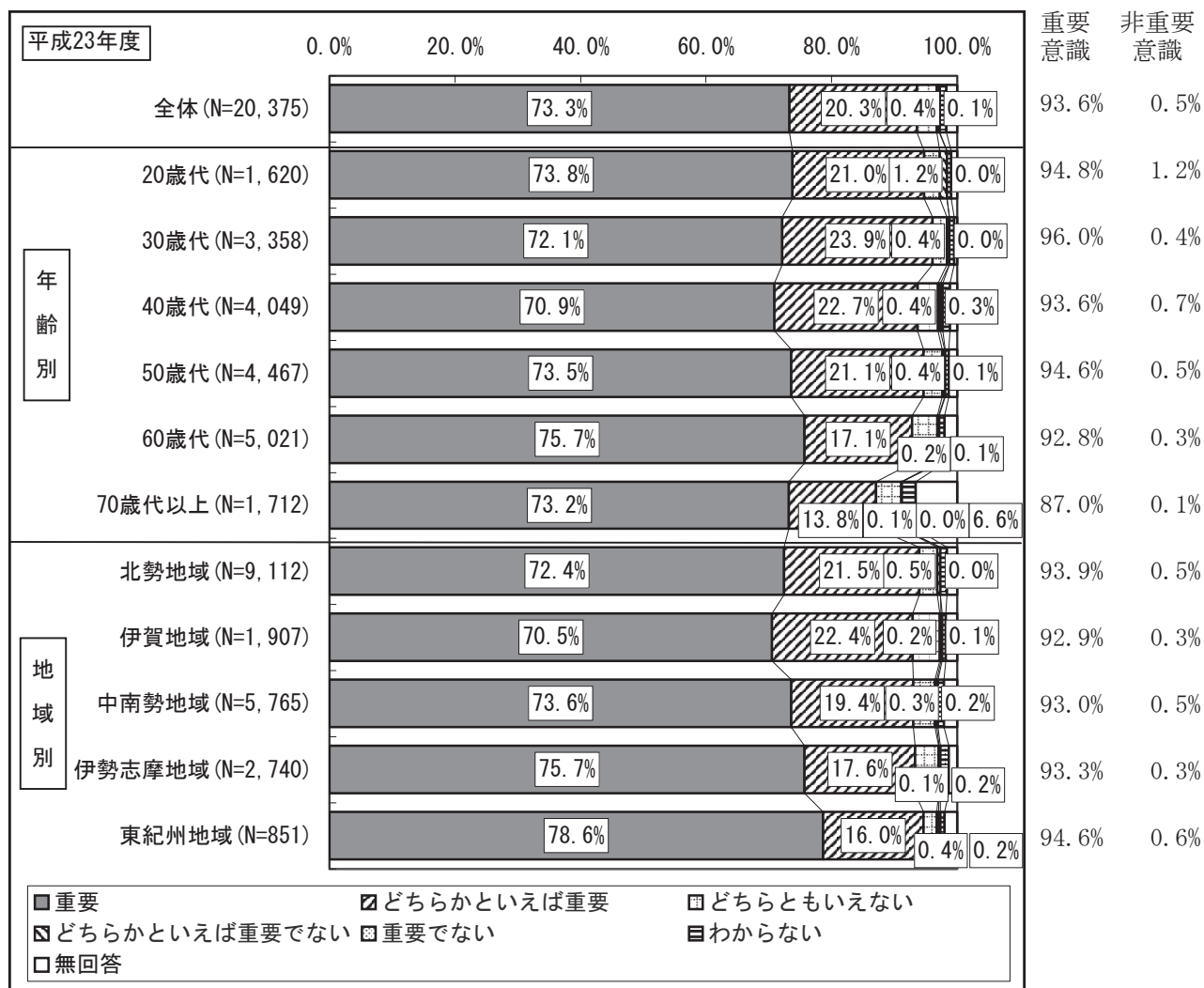
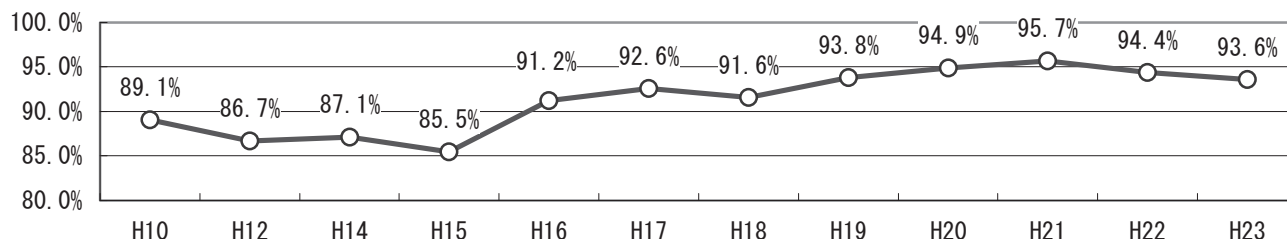


23) きれいな空気

平成 15 年度までの表現	大気汚染防止対策の強化
平成 16 年度以降の表現	空気が汚染されておらず、きれいであること。

**重要意識** (集計資料 p. 77)

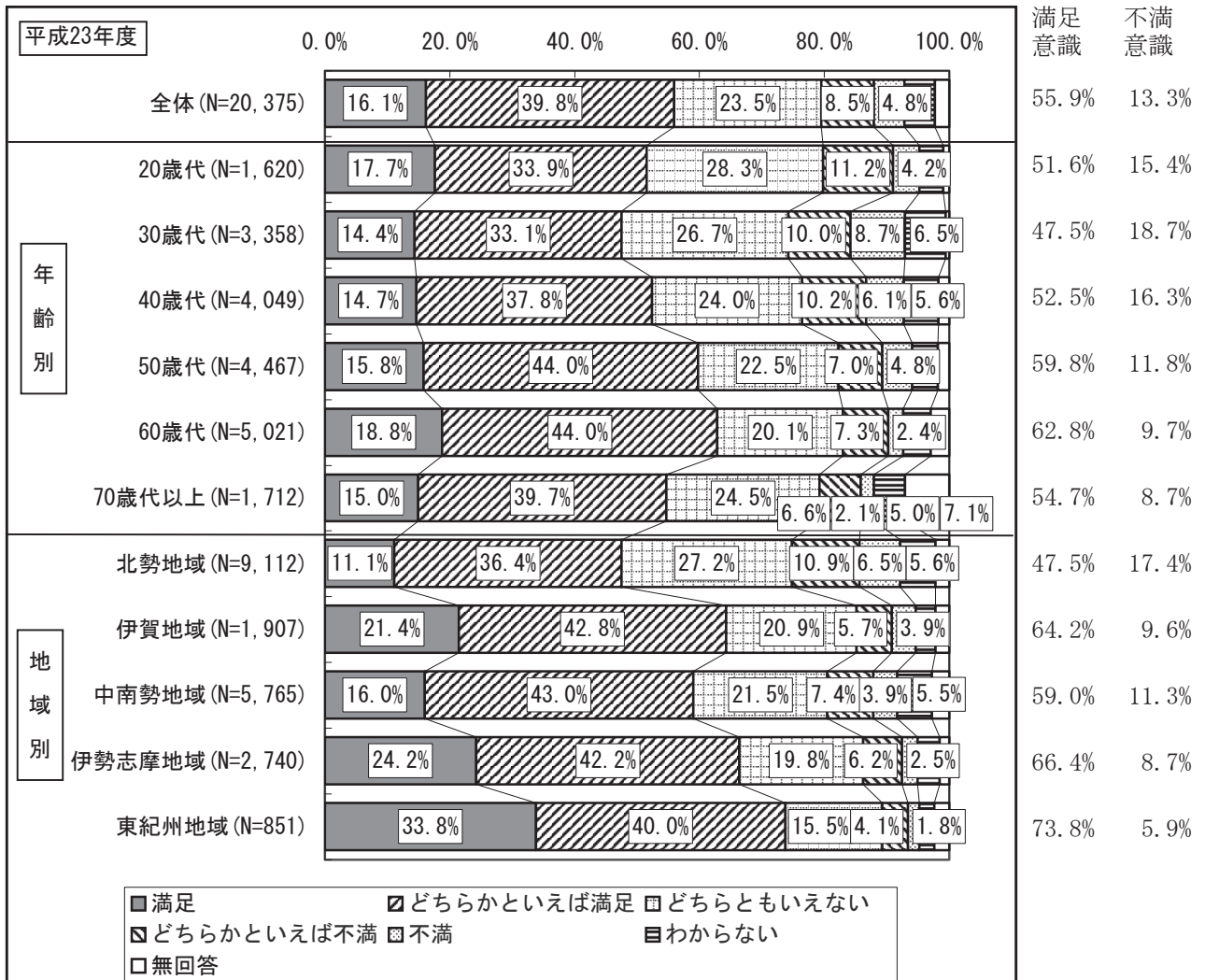
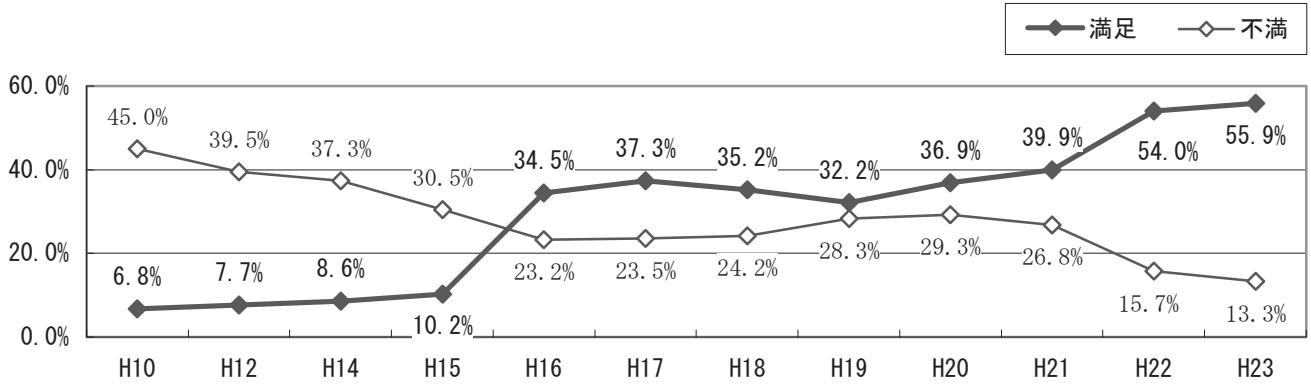
12 回の推移





満足意識 (集計資料 p.78)

12回の推移

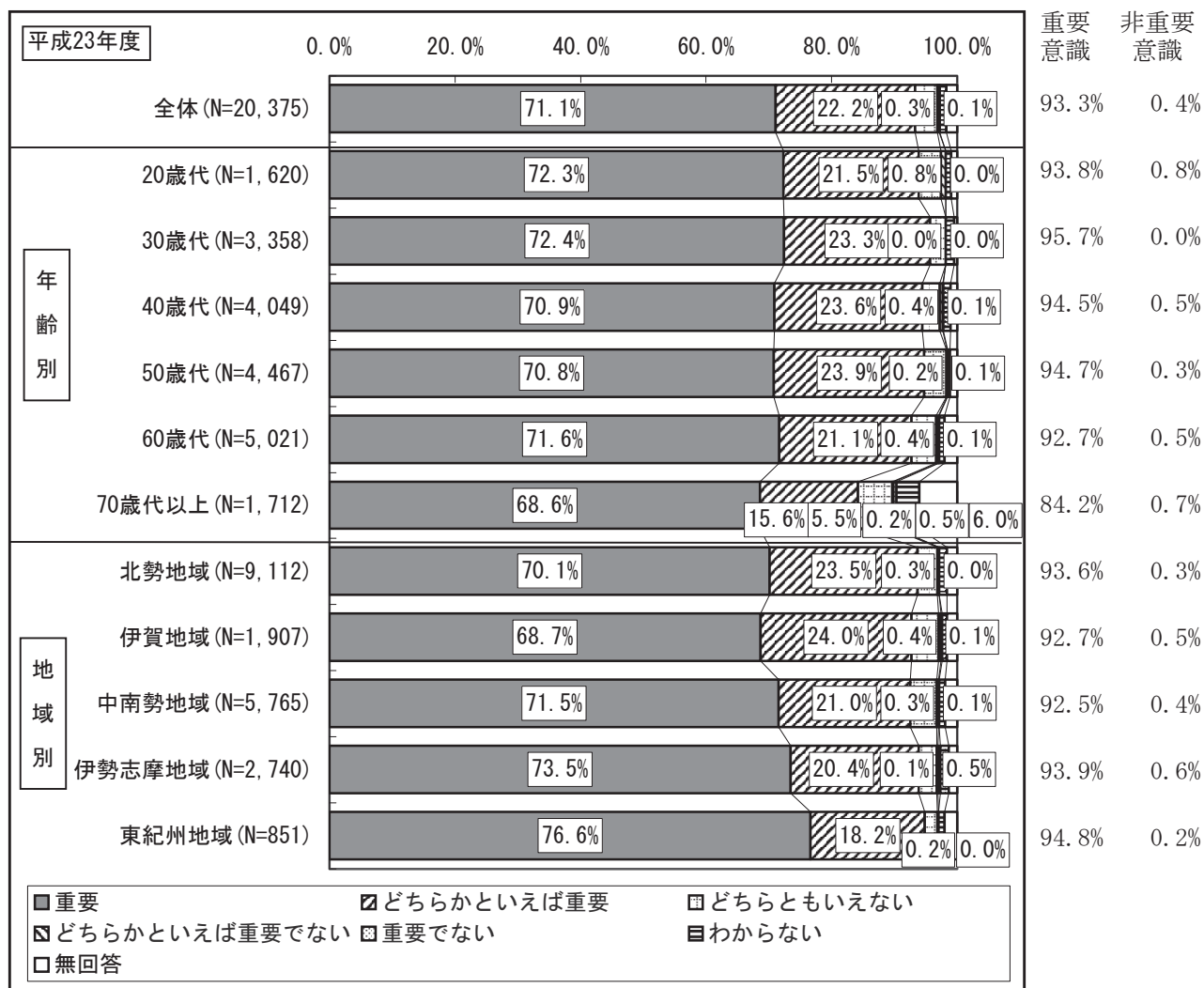
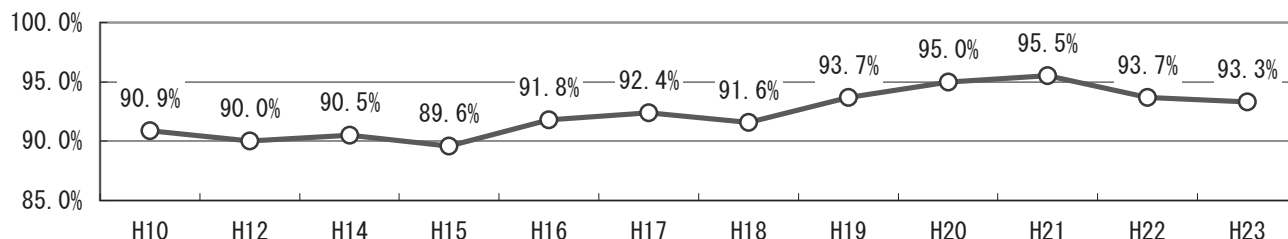


24) 川や海の水質

平成 15 年度までの表現	川や海の水質浄化
平成 16 年度以降の表現	川や海などの水が汚染されておらず、きれいであること。

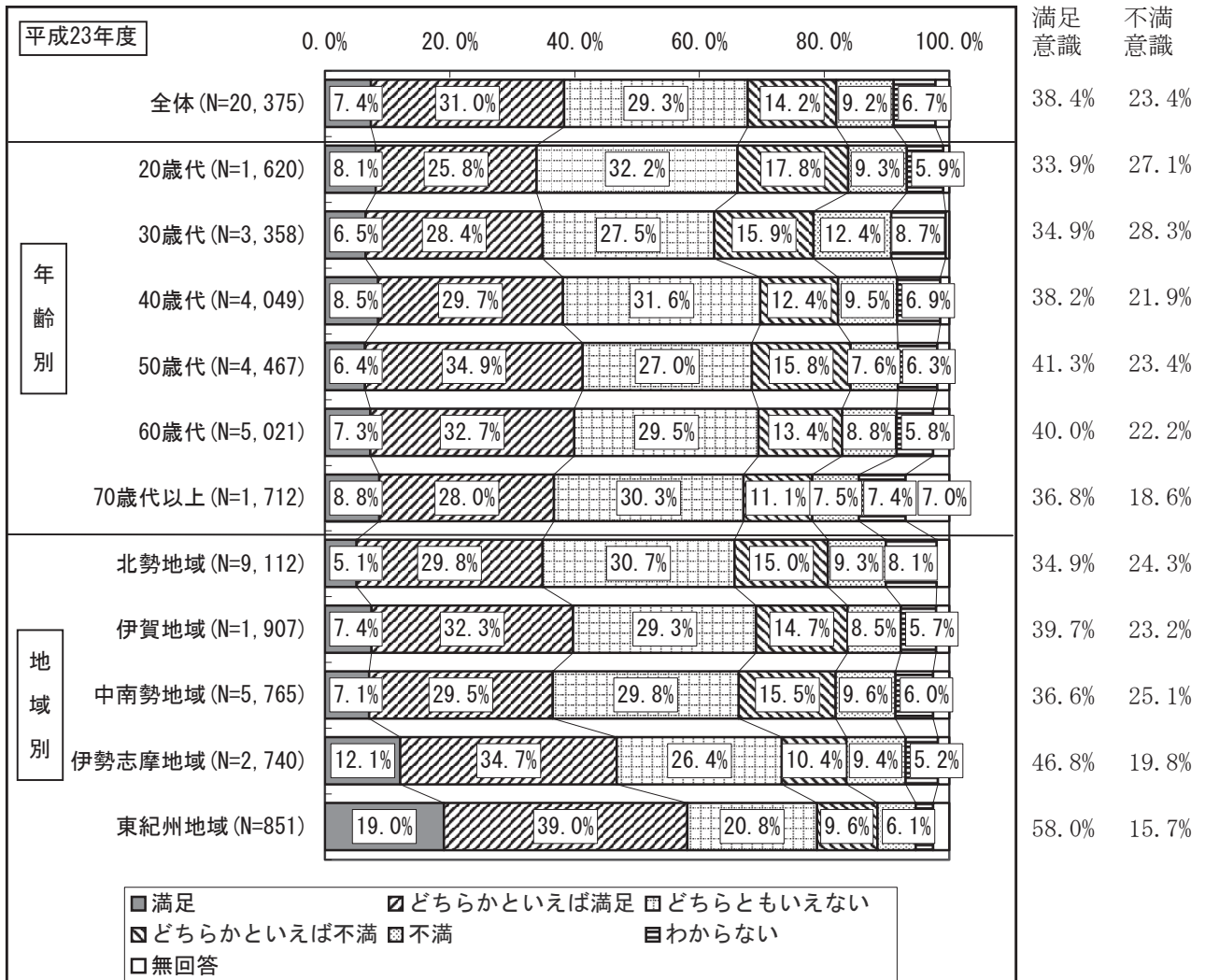
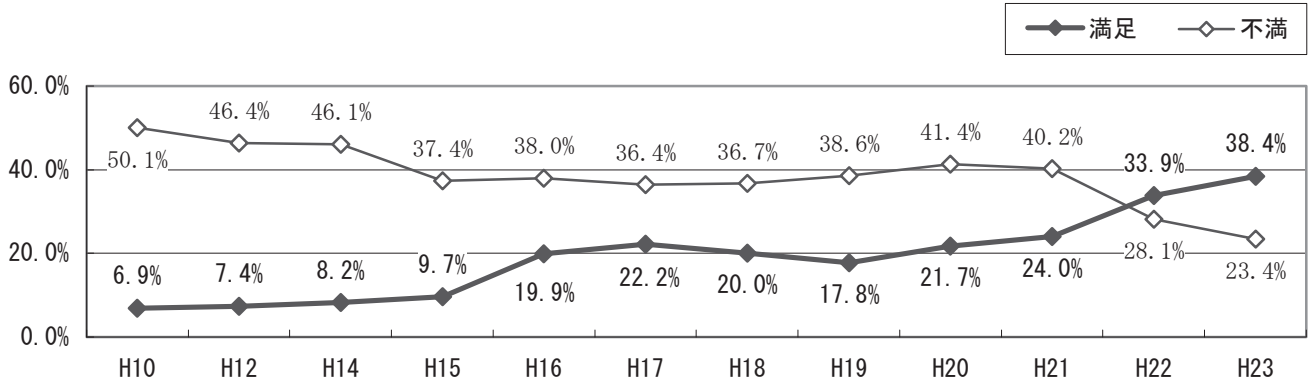
**重要意識** (集計資料 p. 79)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.80)

12回の推移

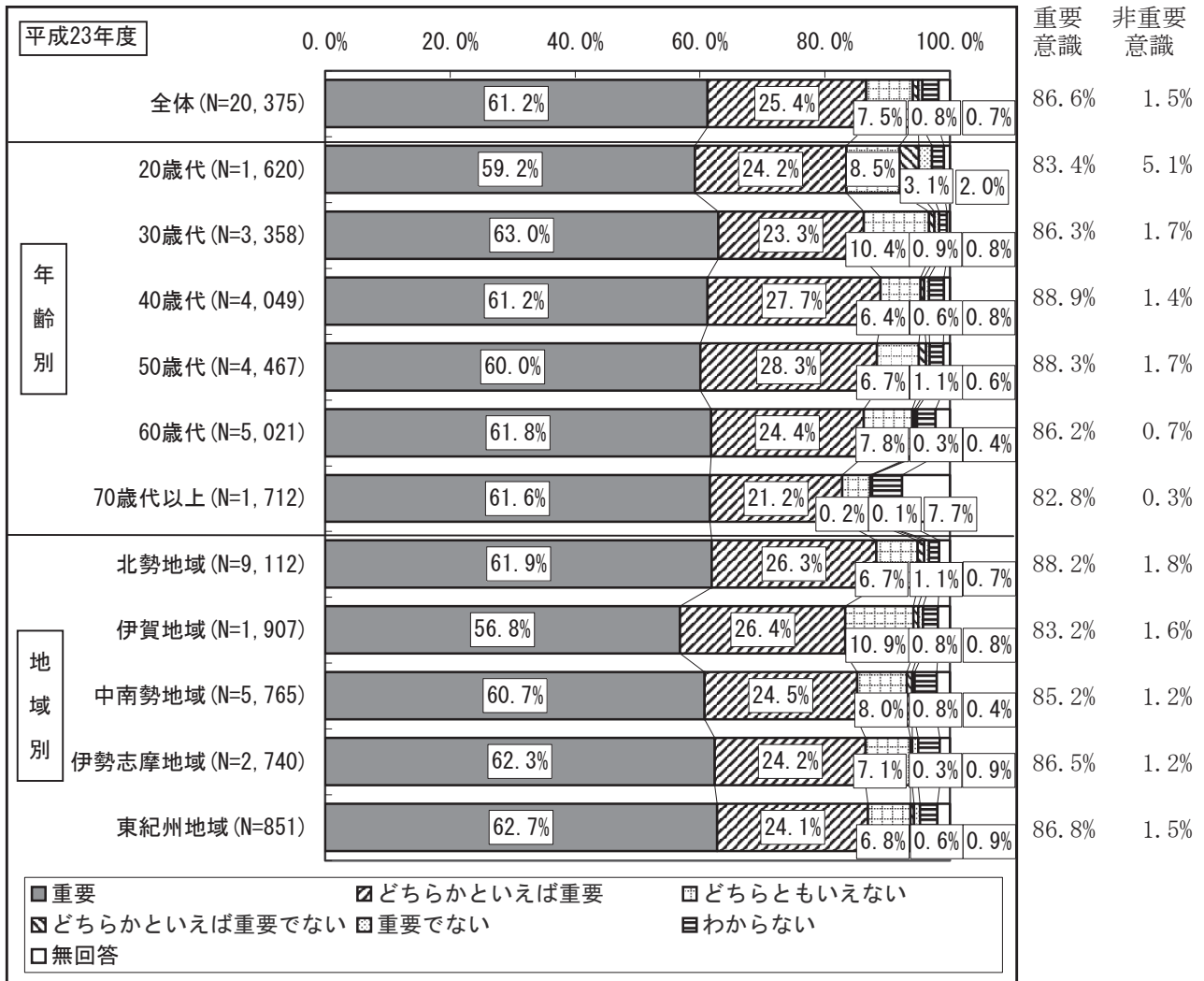
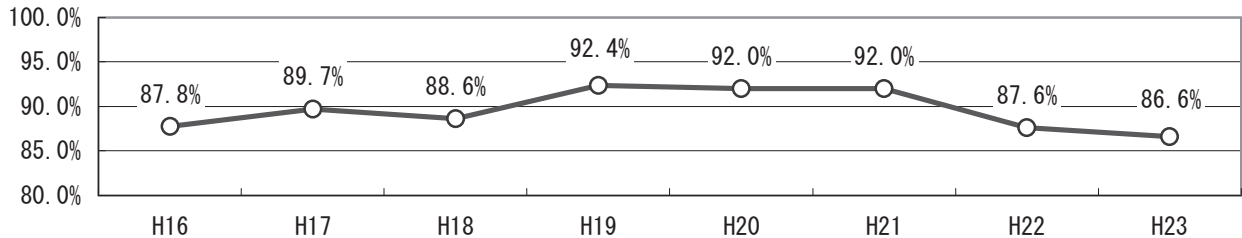


25) 地球温暖化防止

平成 16 年度に追加された項目	温暖化の原因となる二酸化炭素などのガスについて、企業や家庭からの排出が抑えられたり、森林による吸収が高められていること。
------------------	--

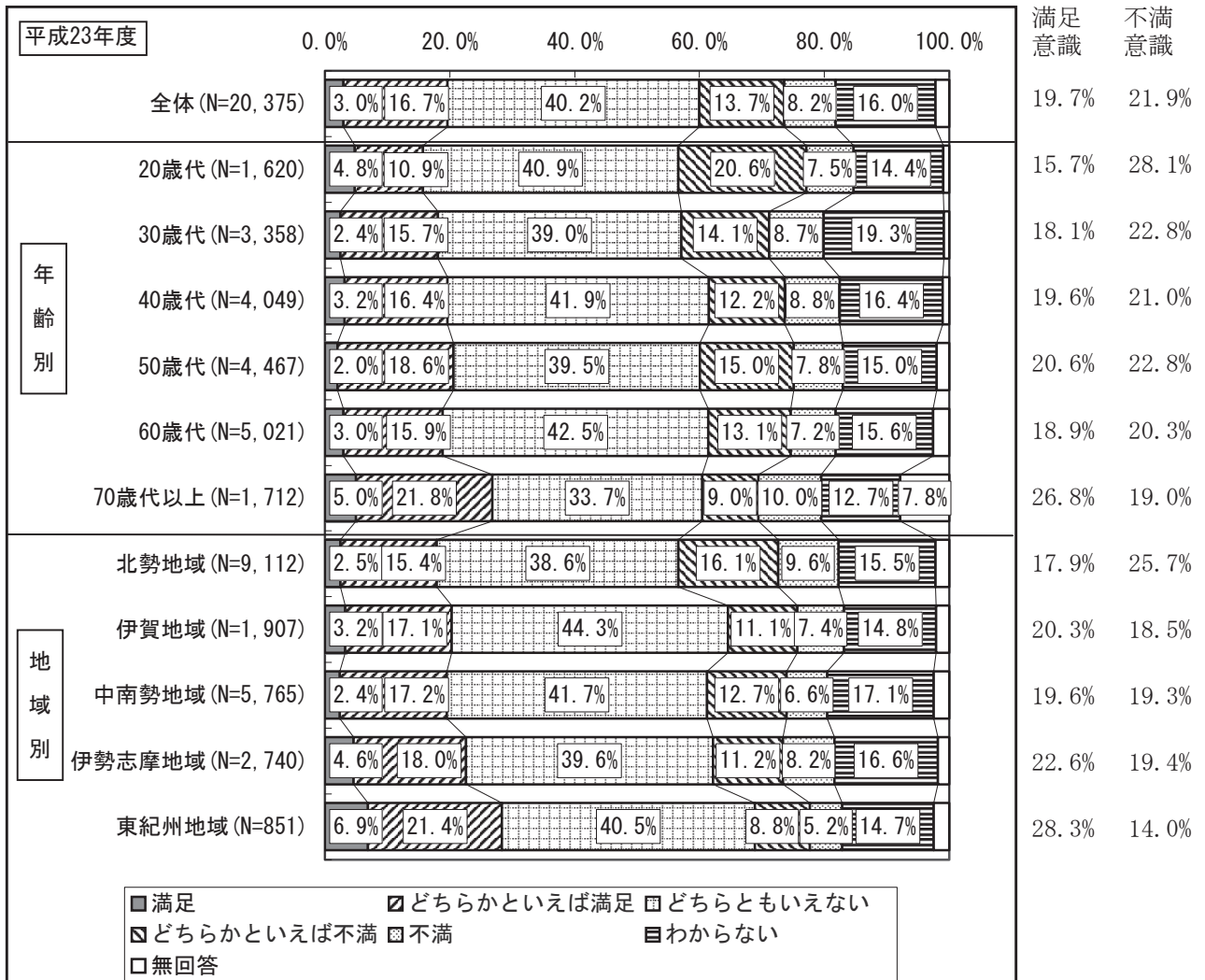
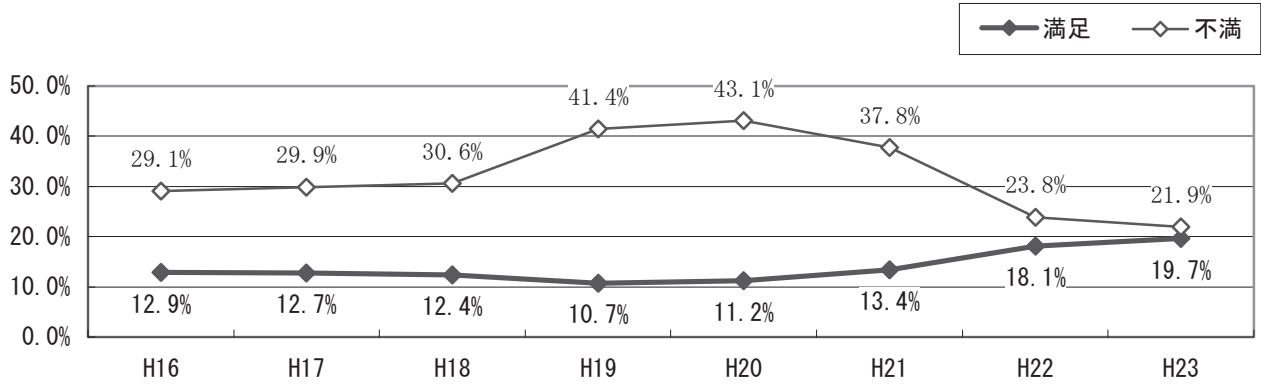
重要意識 (集計資料 p. 81)

8 回の推移



満足意識 (集計資料 p.82)

8回の推移

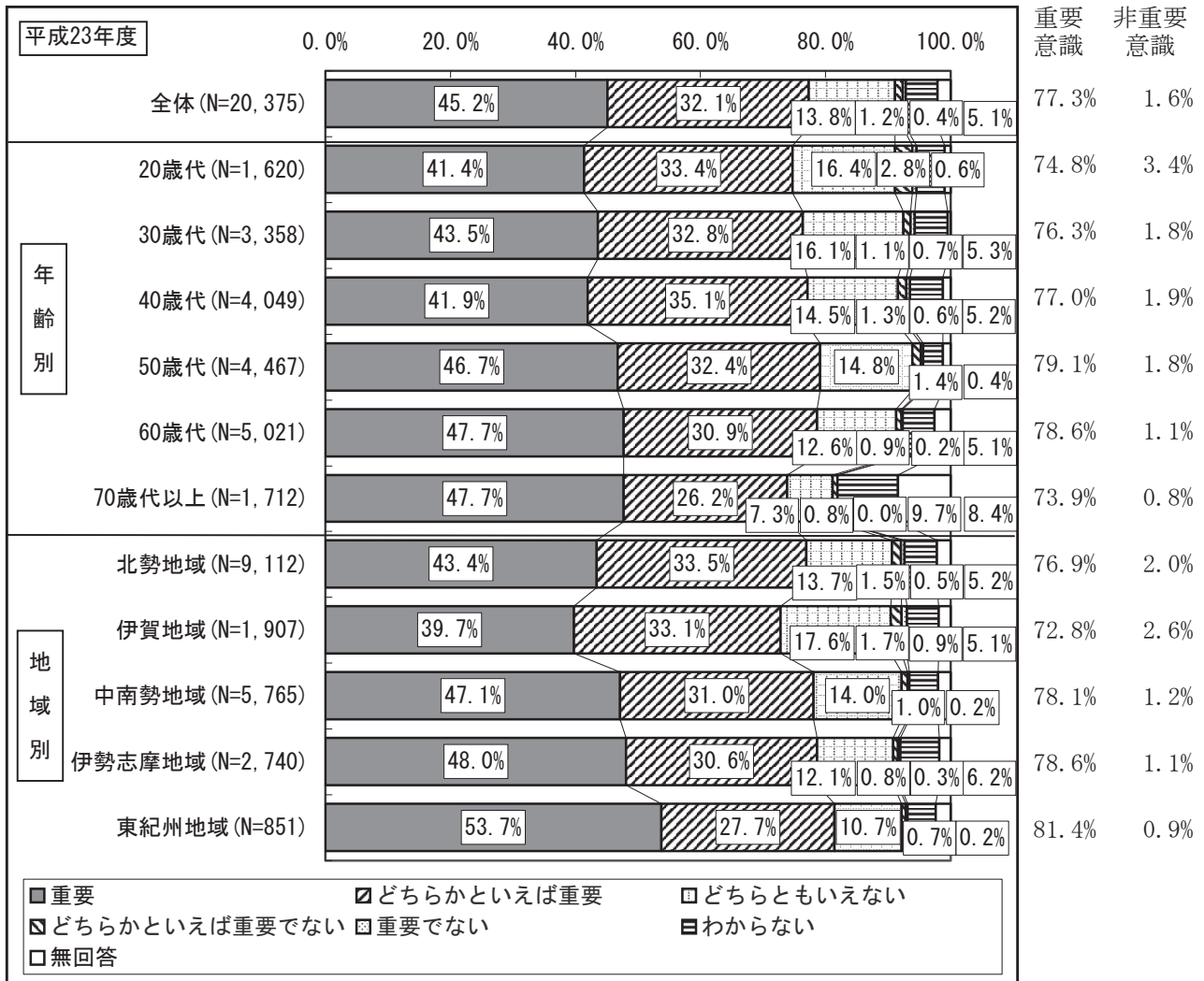
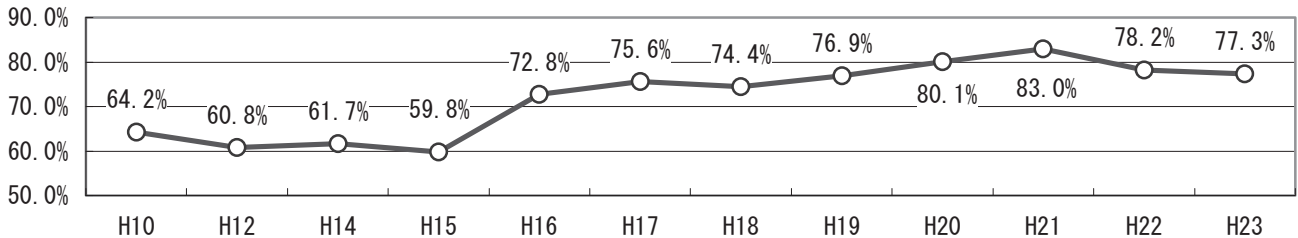


26) 農林水産業の振興

平成 15 年度までの表現	農林水産業の活発化
平成 16 年度以降の表現	農林水産業の担い手が育ち、産業として活発であること。

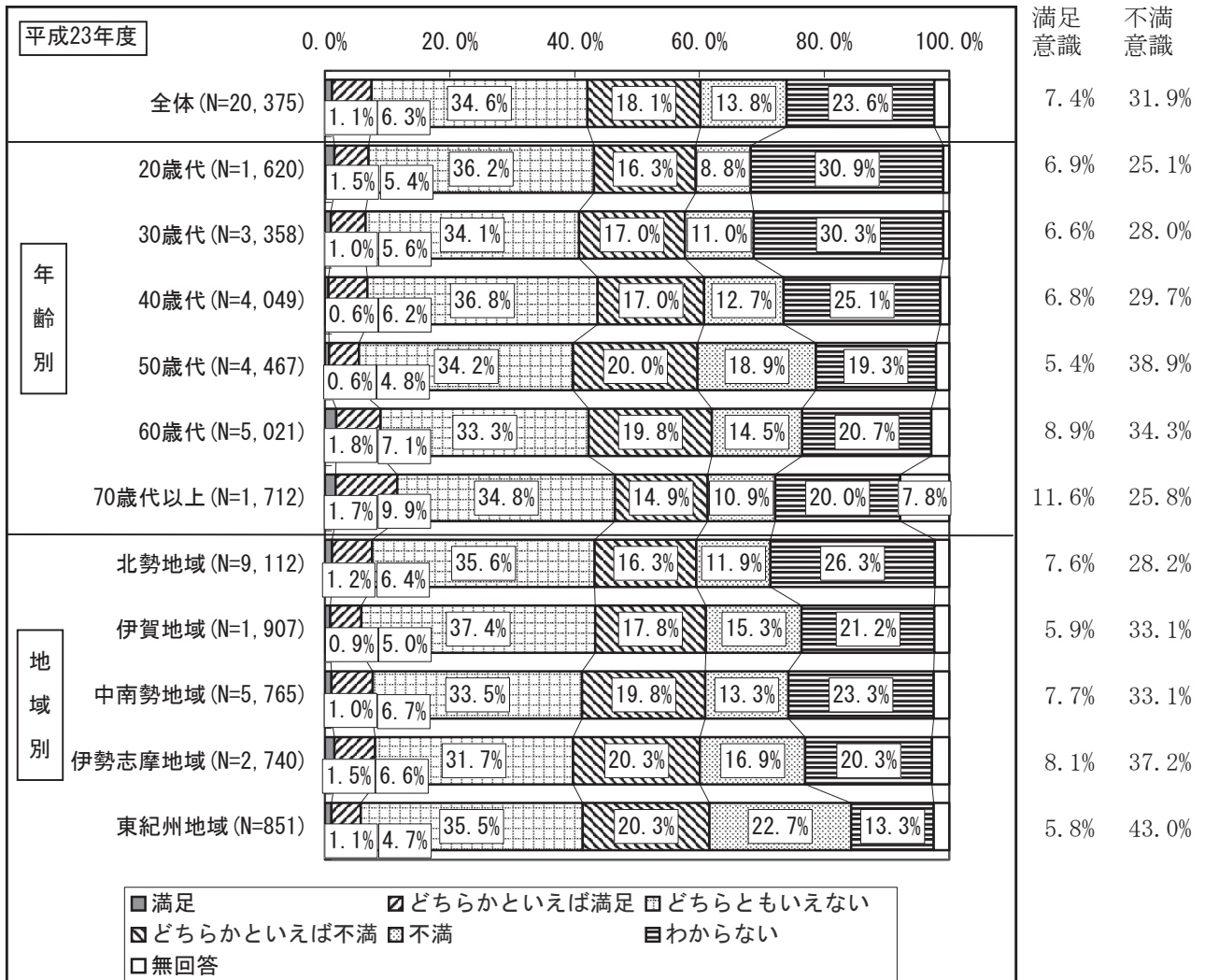
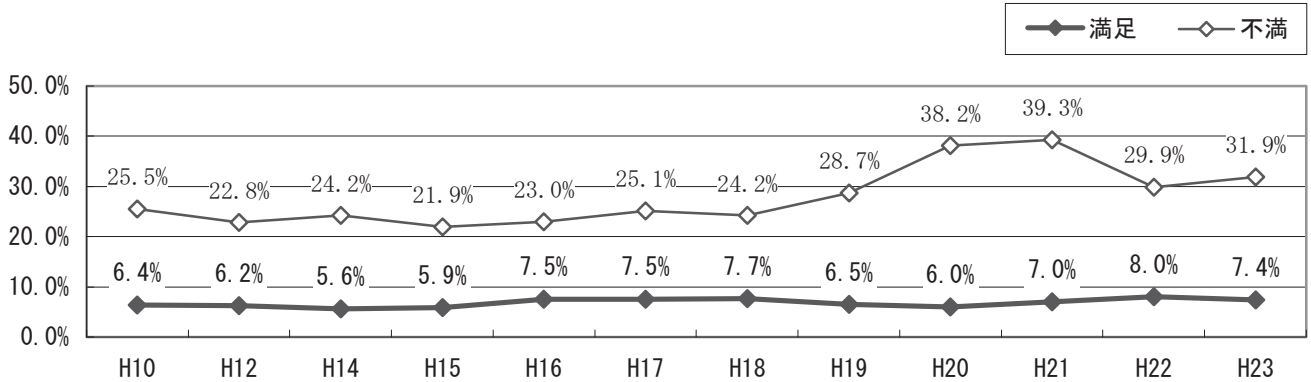
重要意識 (集計資料 p.83)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.84)

12回の推移

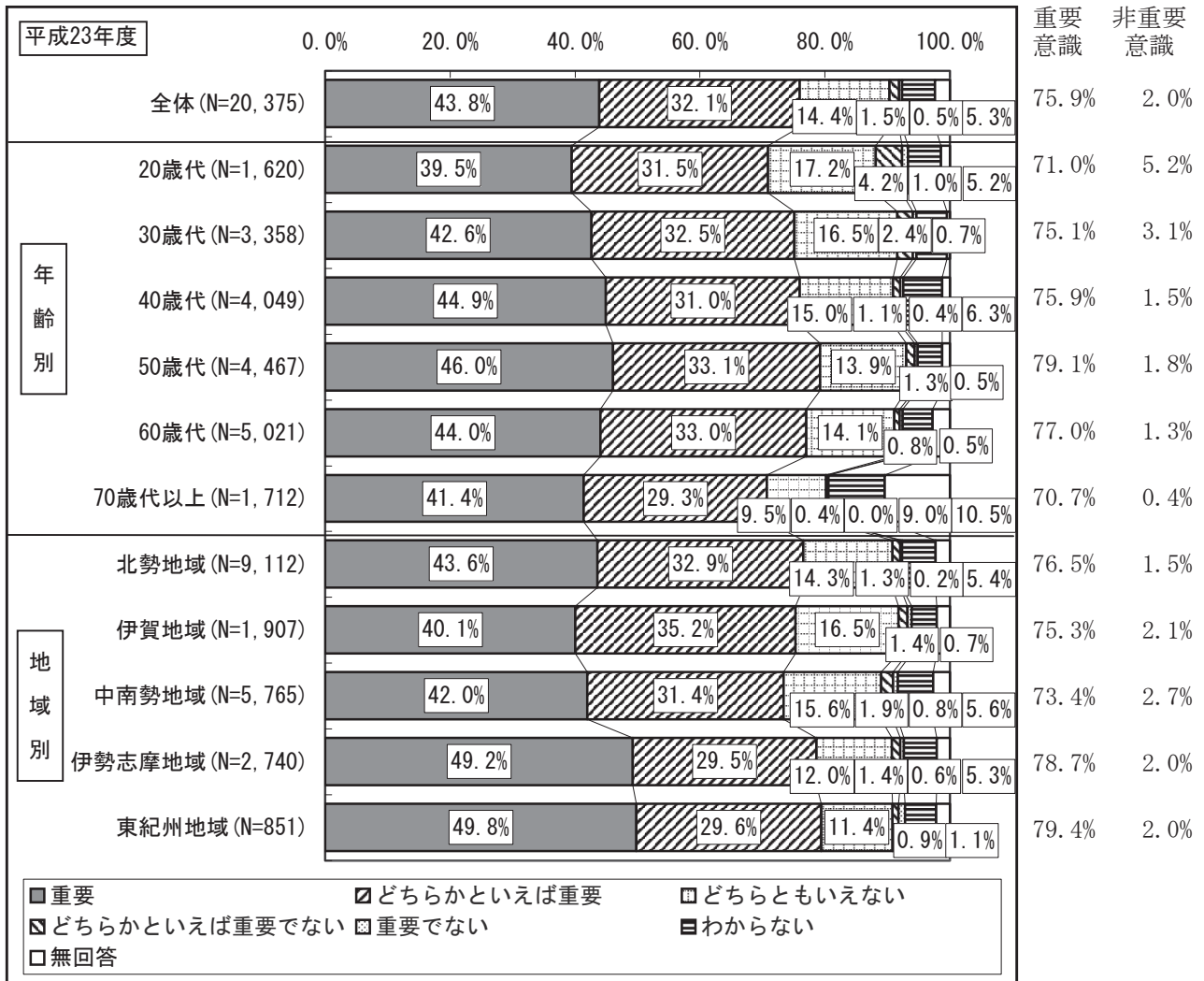
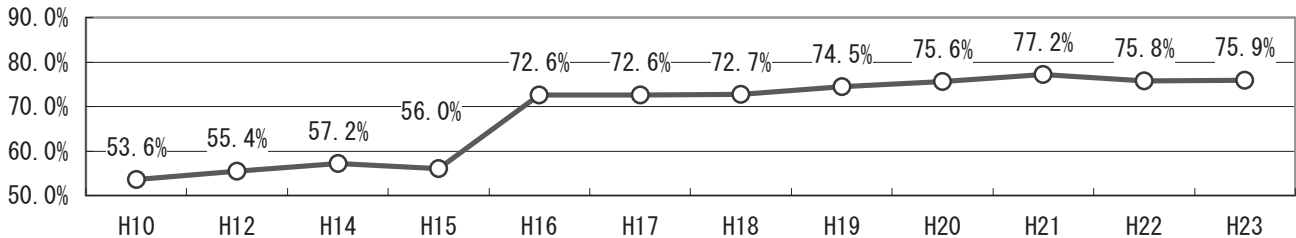


27) 産業振興

平成 15 年度までの表現	新しい分野の産業の育成や先端的企業の誘致
平成 16 年度以降の表現	新しい分野の産業や企業の育成、先端企業の誘致などにより県内産業が活性化していること。

**重要意識** (集計資料 p.85)

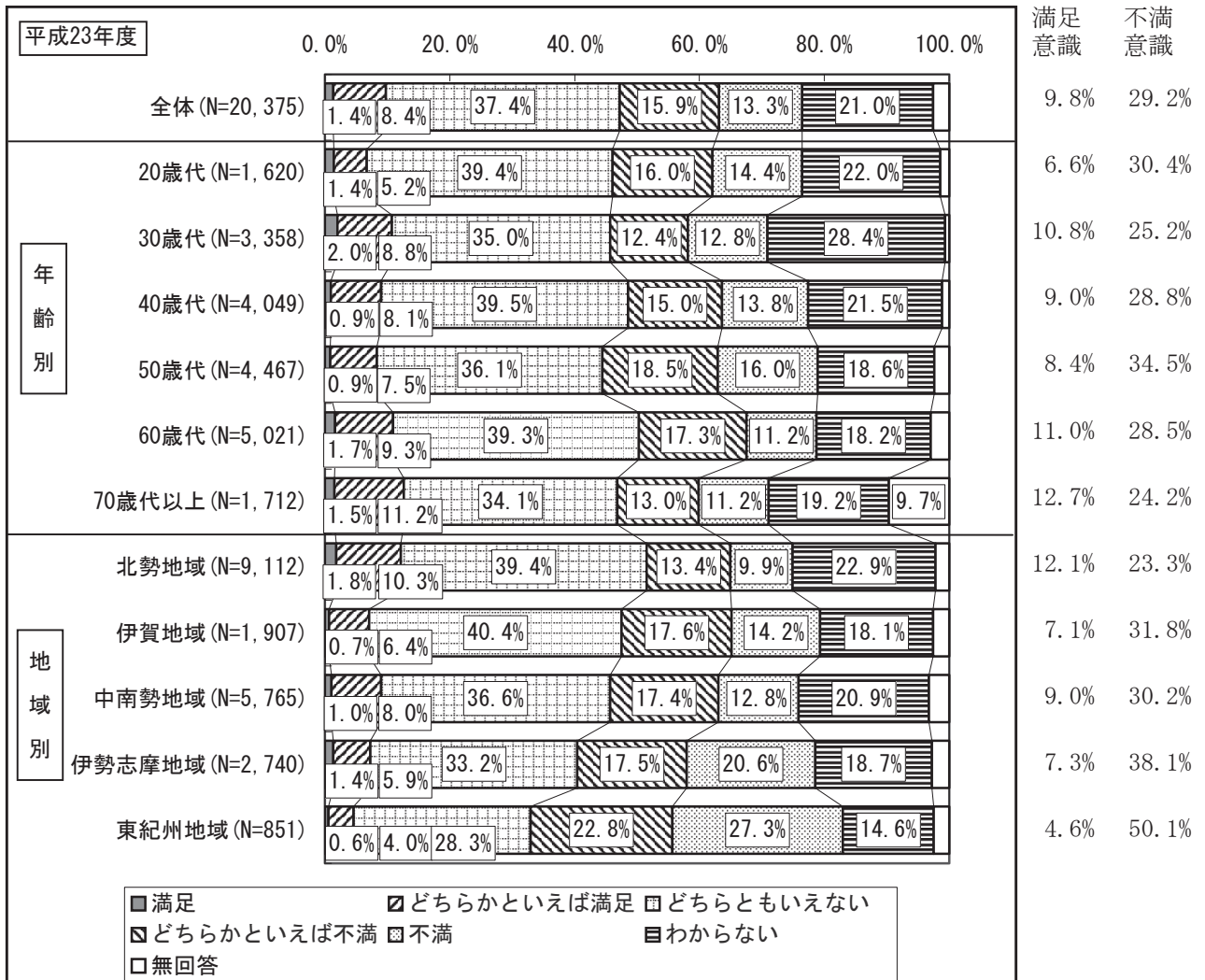
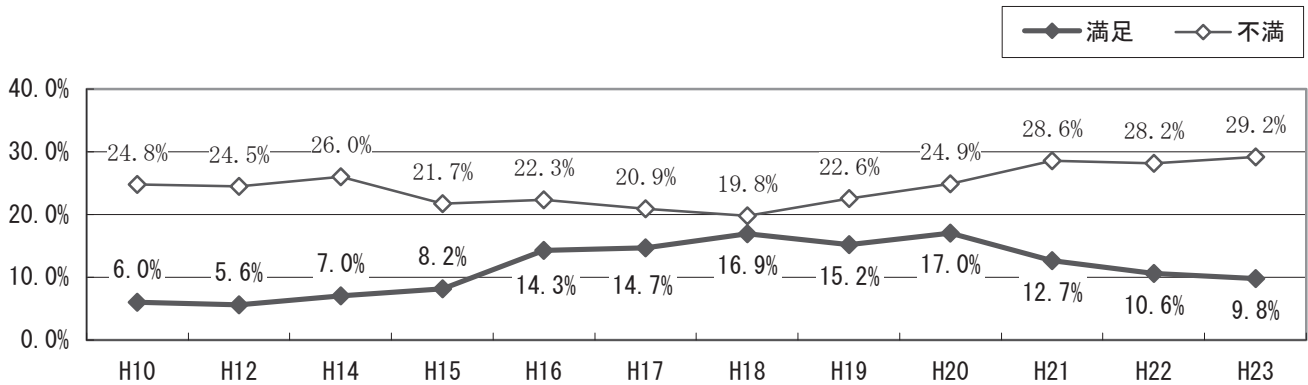
12回の推移





満足意識 (集計資料 p.86)

12回の推移



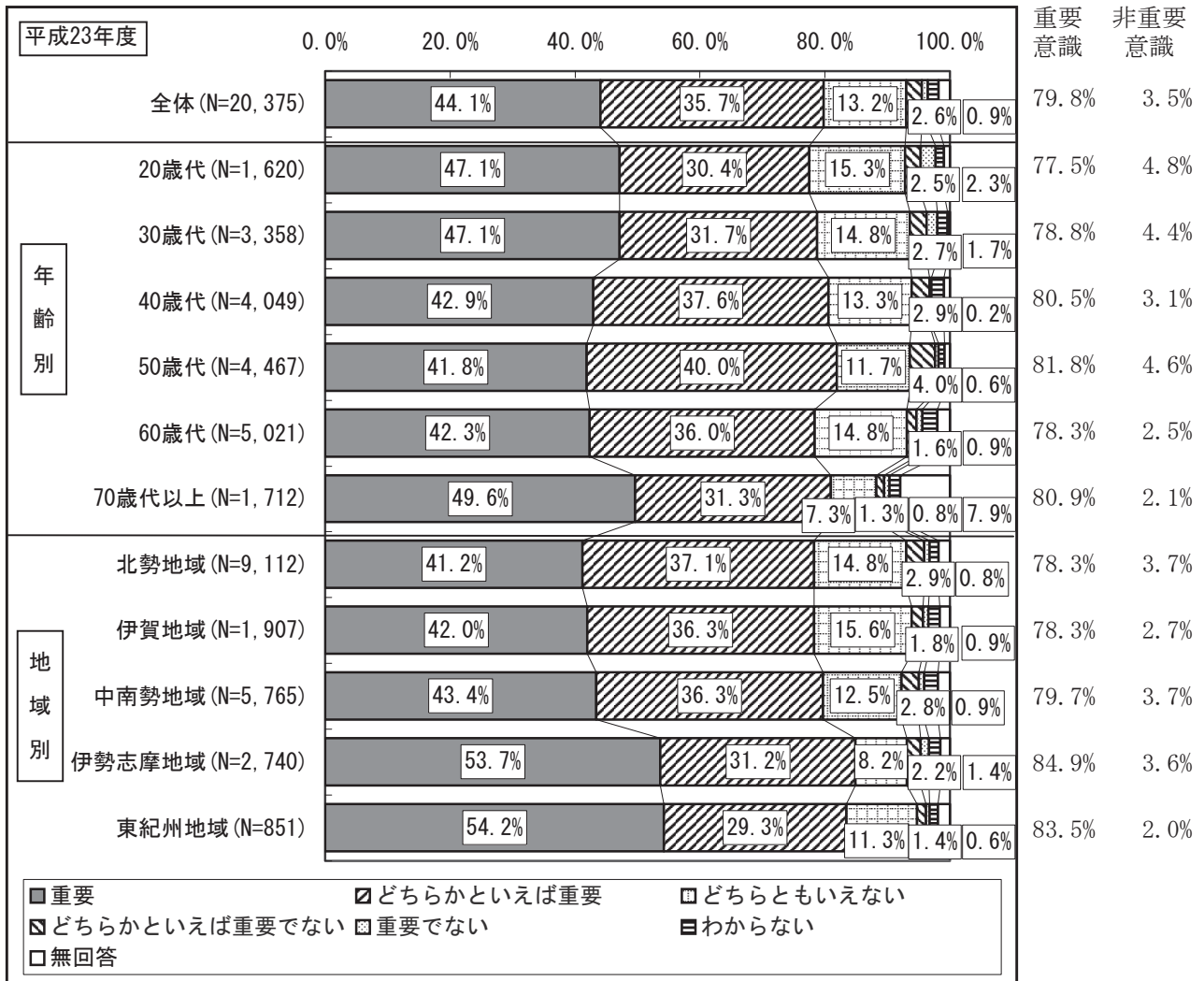
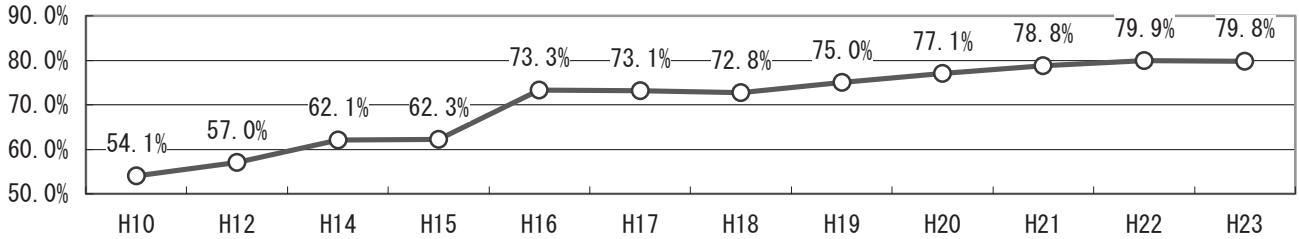
28) 観光

平成 15 年度までの表現	三重県を訪れる人が増加するような観光施設や地域づくり
平成 16 年度以降の表現	地域の名勝や特産品などの観光資源に魅力を感じてたくさんの人が三重県を訪れること。

重要意識

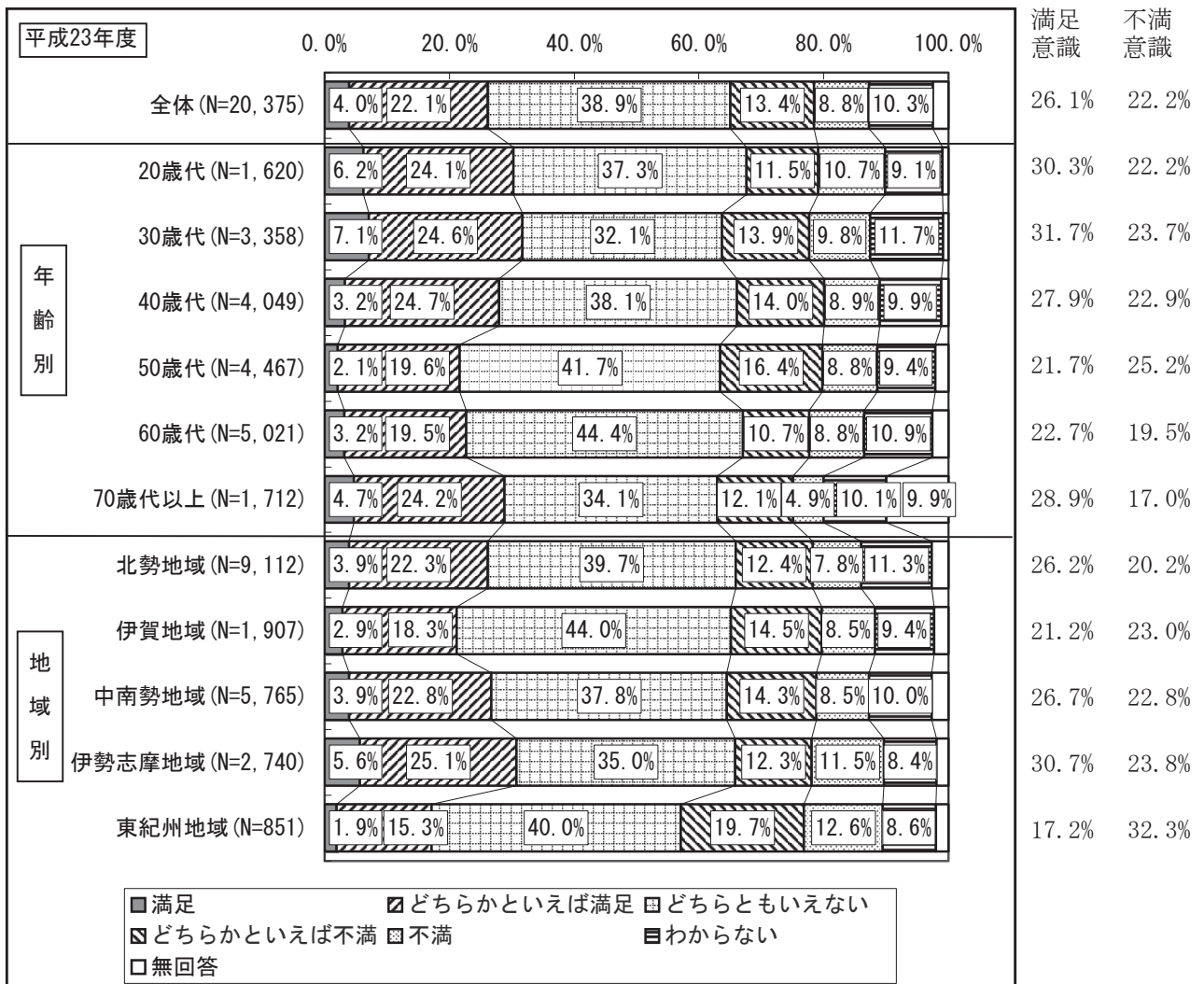
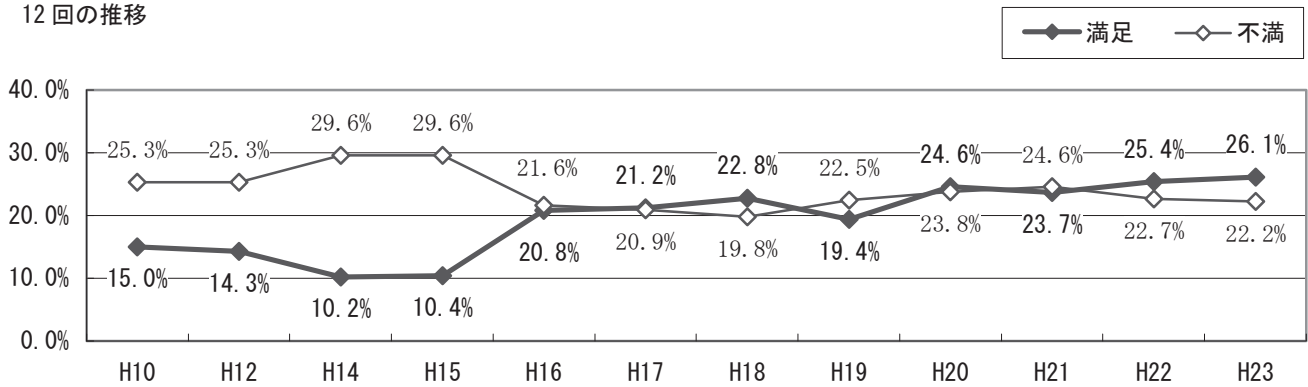
(集計資料 p.87)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.88)

12回の推移

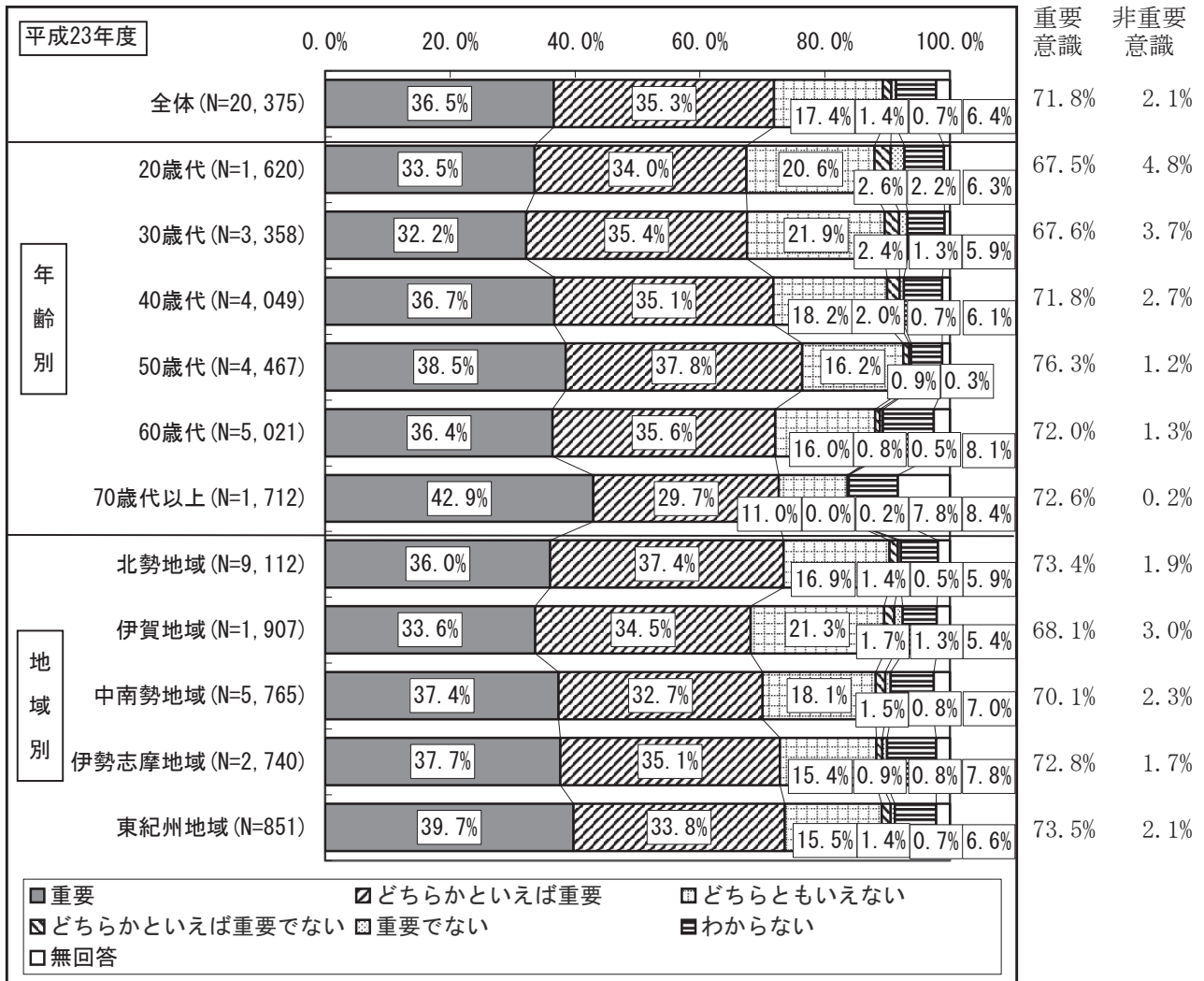
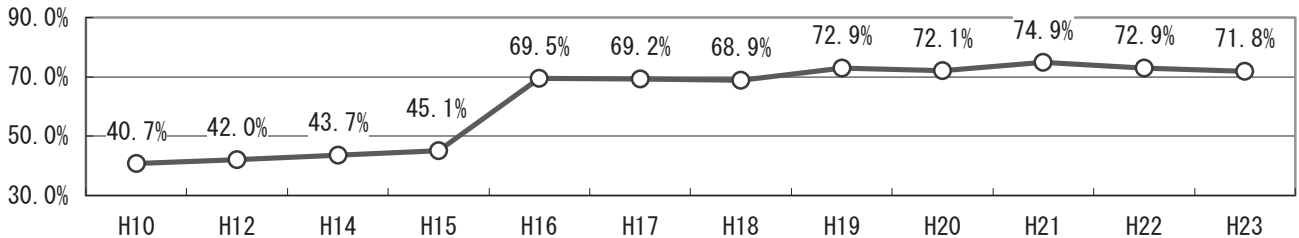


29) 技術開発

平成 15 年度までの表現	科学技術の振興
平成 16 年度以降の表現	県内産業の発展のため、様々な分野での研究開発が進んでいること。

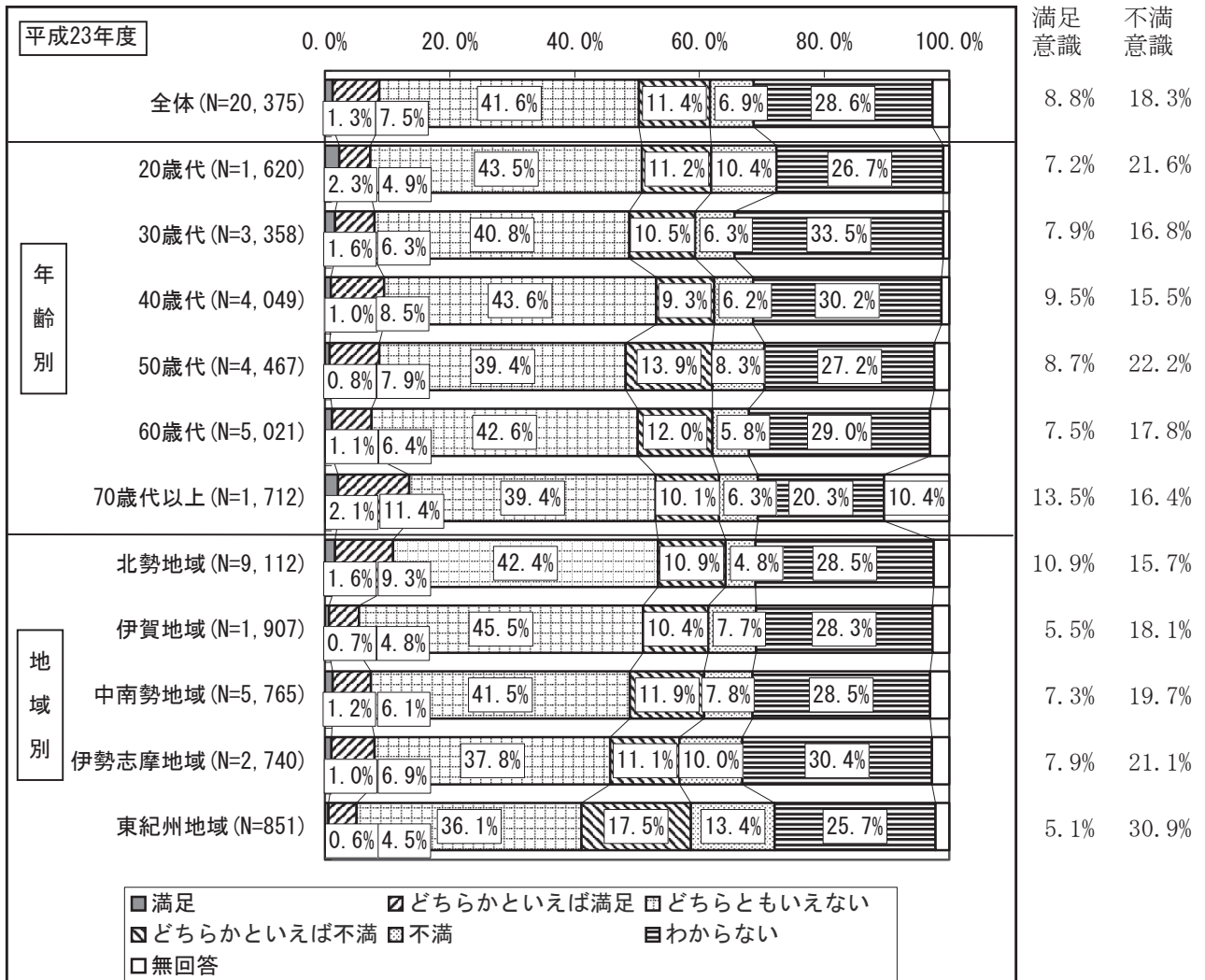
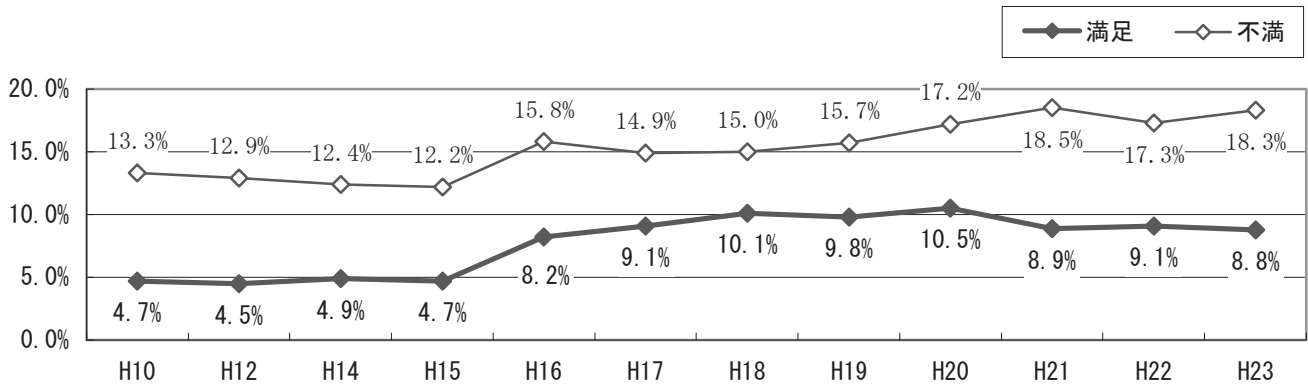
重要意識 (集計資料 p. 89)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.90)

12回の推移

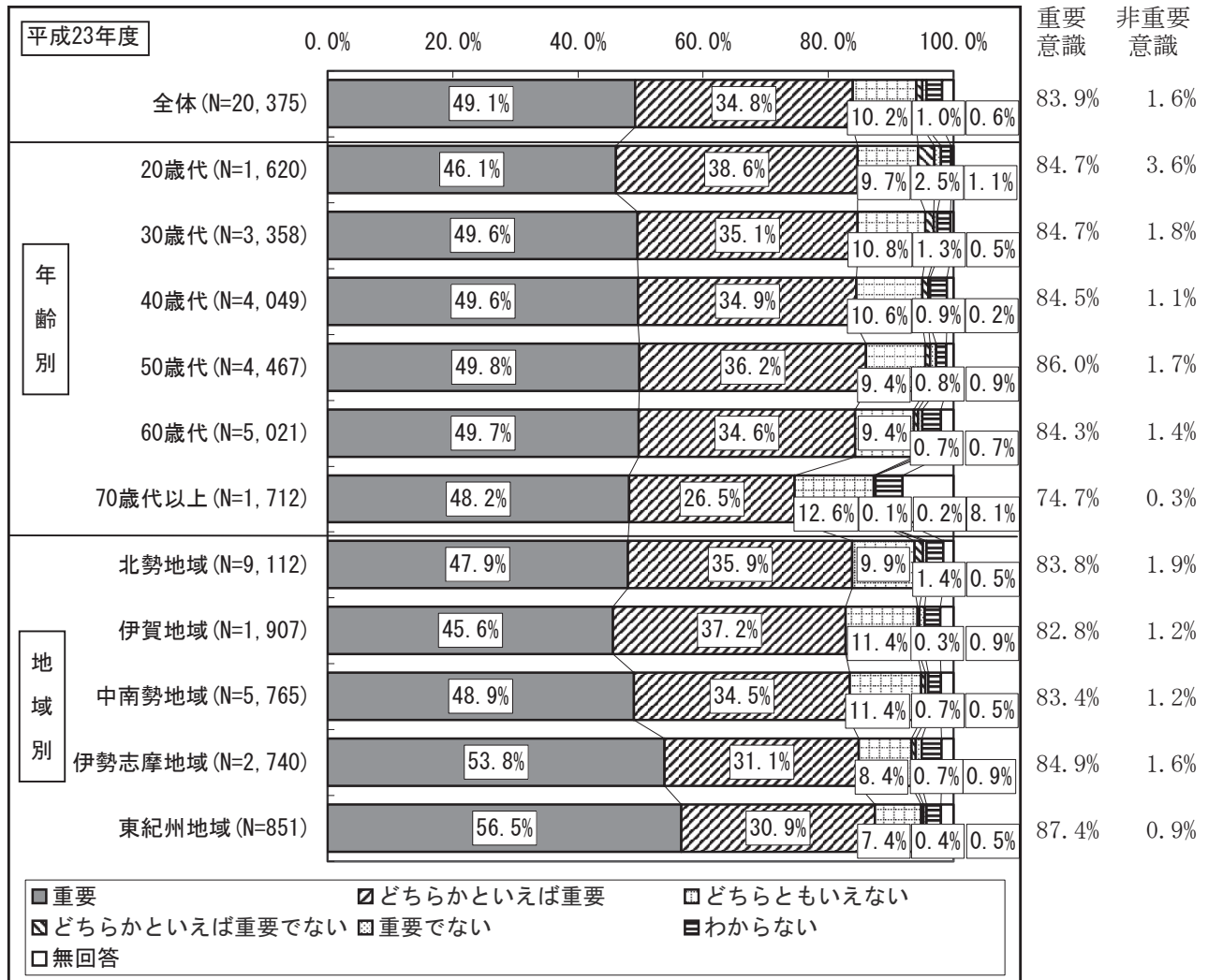
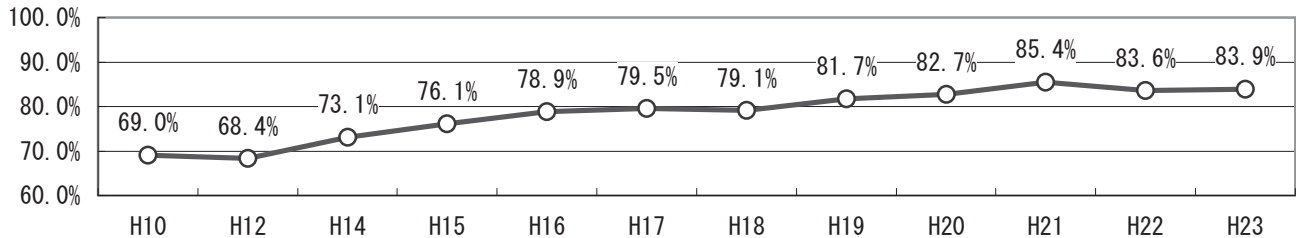


30) 地域商工業

平成 15 年度までの表現	中小企業の支援や商店街づくりなど地域商工業の活発化
平成 16 年度以降の表現	地域の中小企業や商店街が活気に満ちていること。

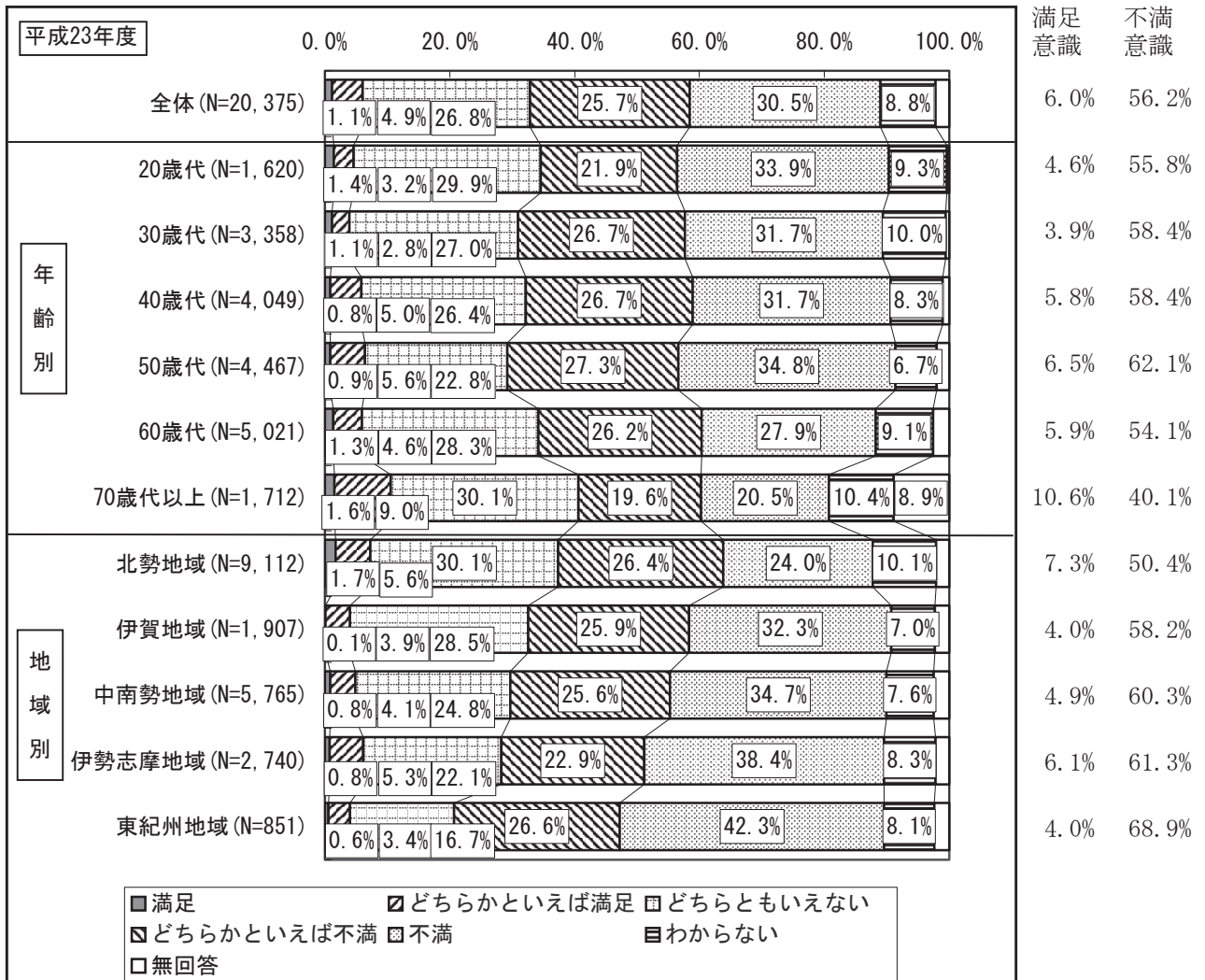
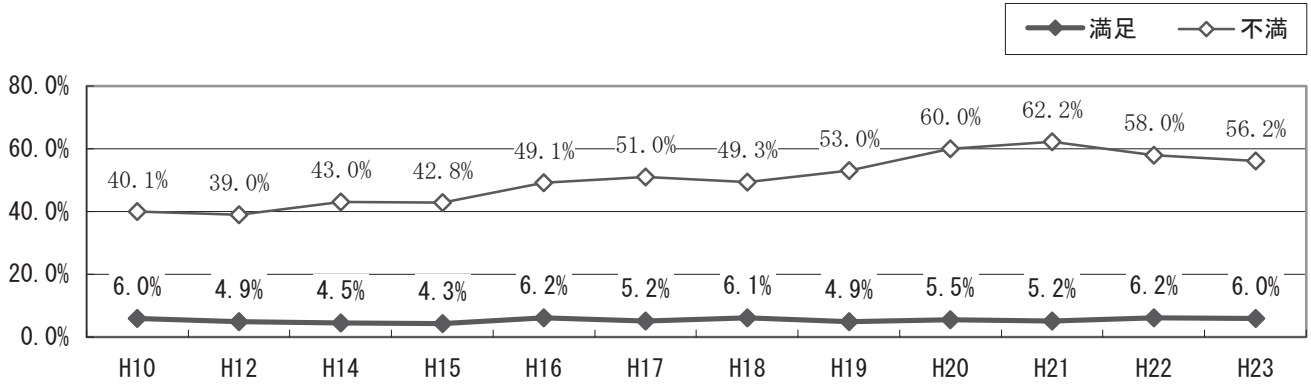
重要意識 (集計資料 p.91)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.92)

12回の推移



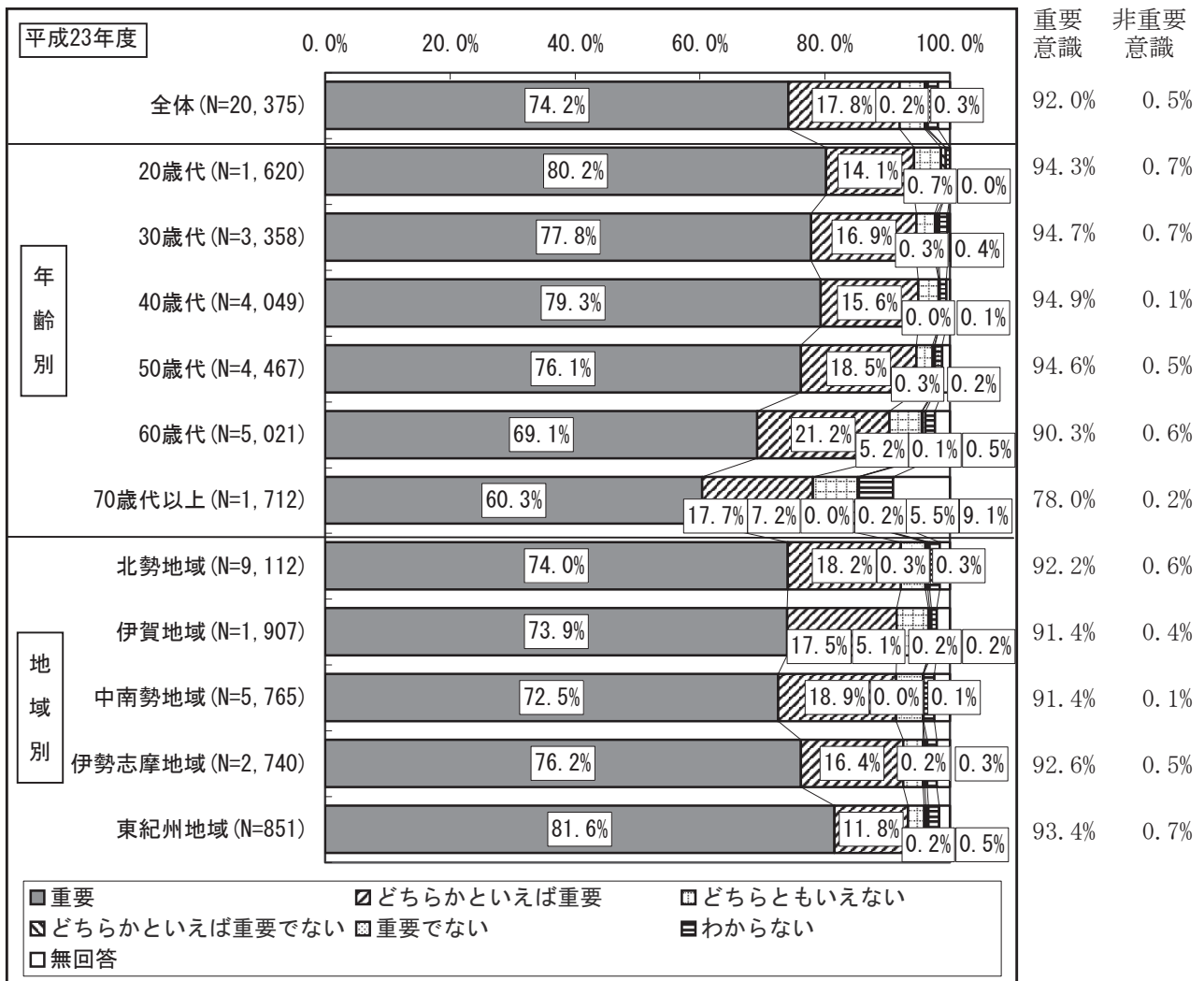
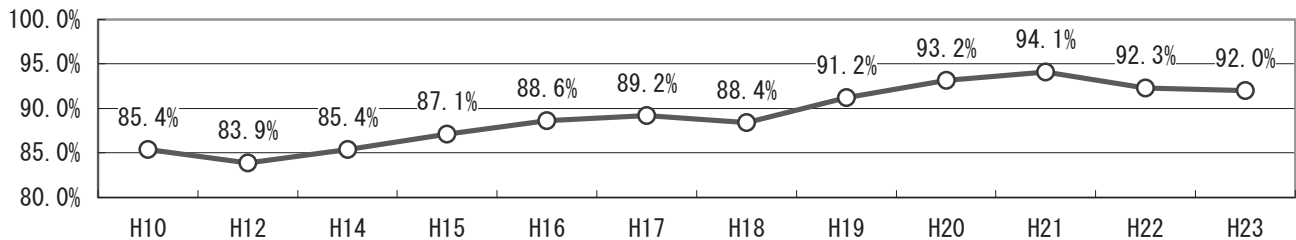
31) 雇用

平成 15 年度までの表現	働く場の確保と勤労者福祉の向上
平成 16 年度以降の表現	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていること。

重要意識

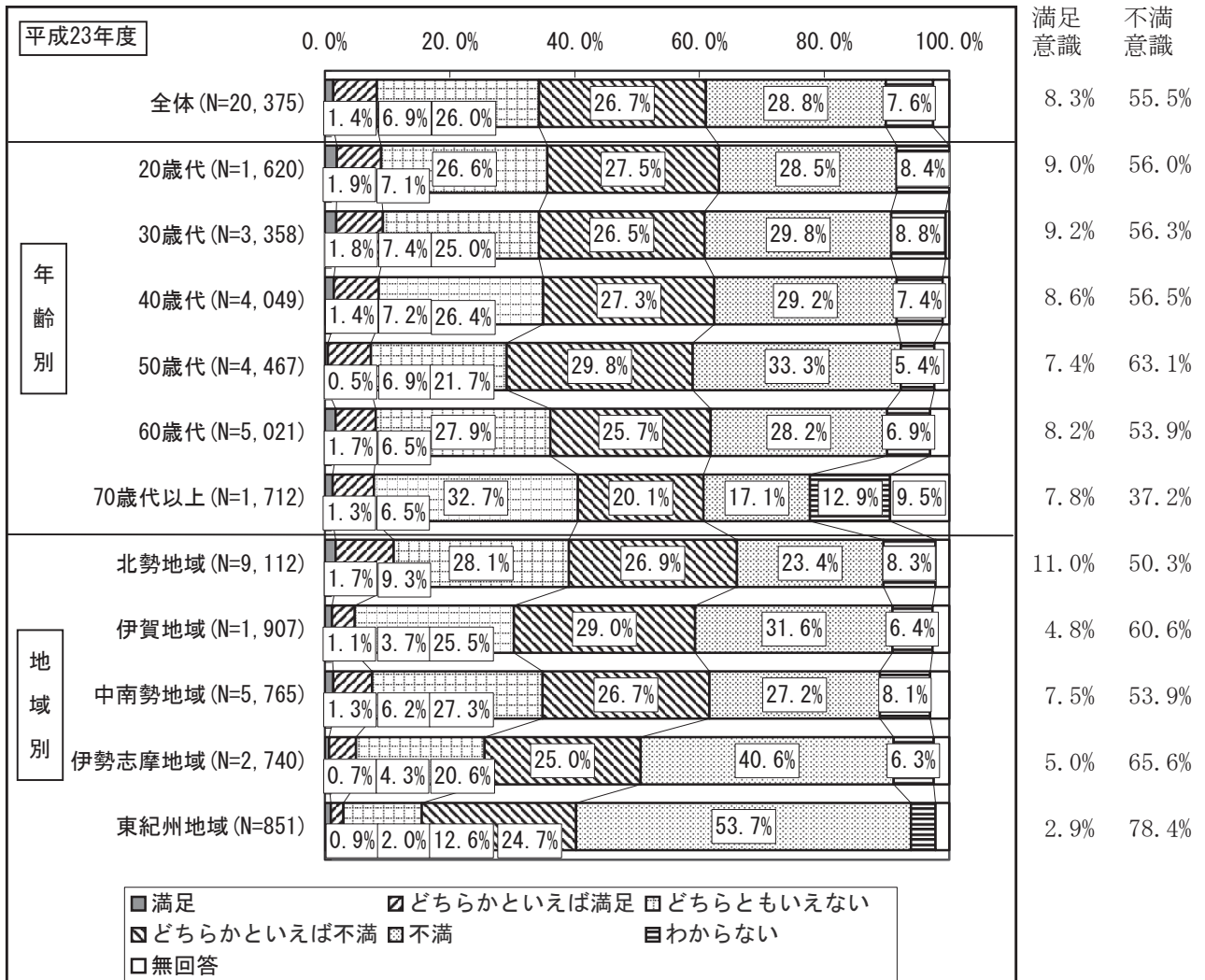
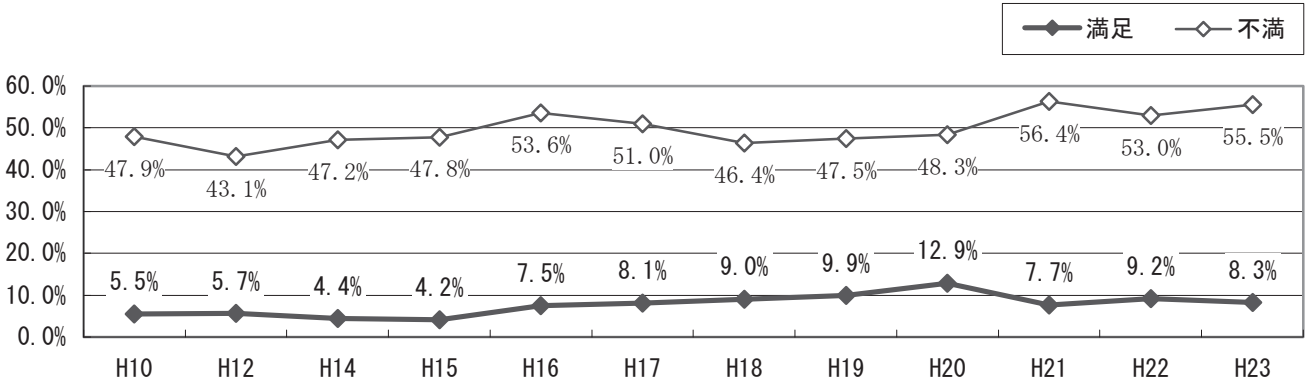
(集計資料 p.93)

12 回の推移





12回の推移

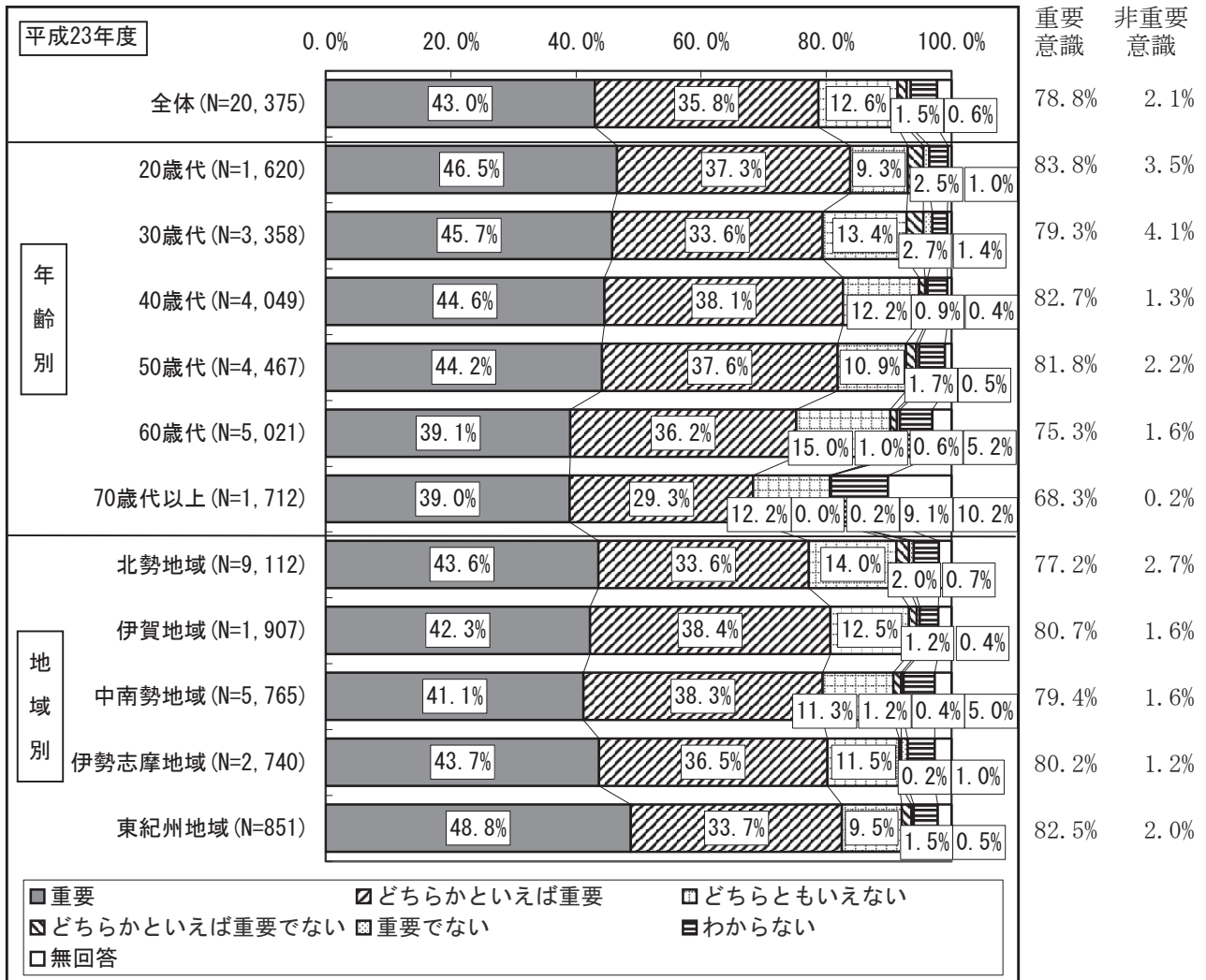
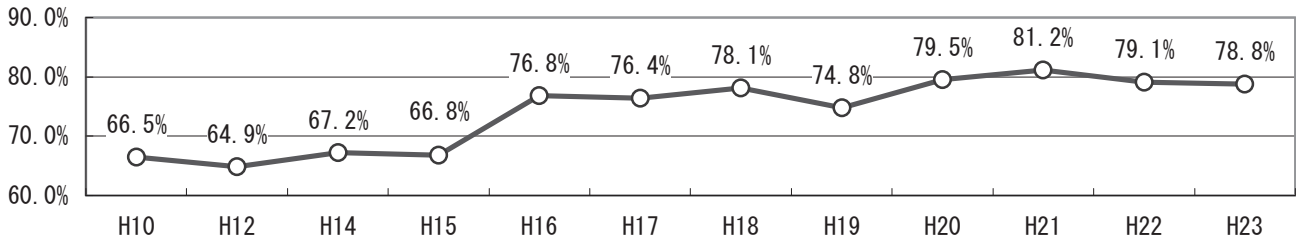


32) 職業能力開発

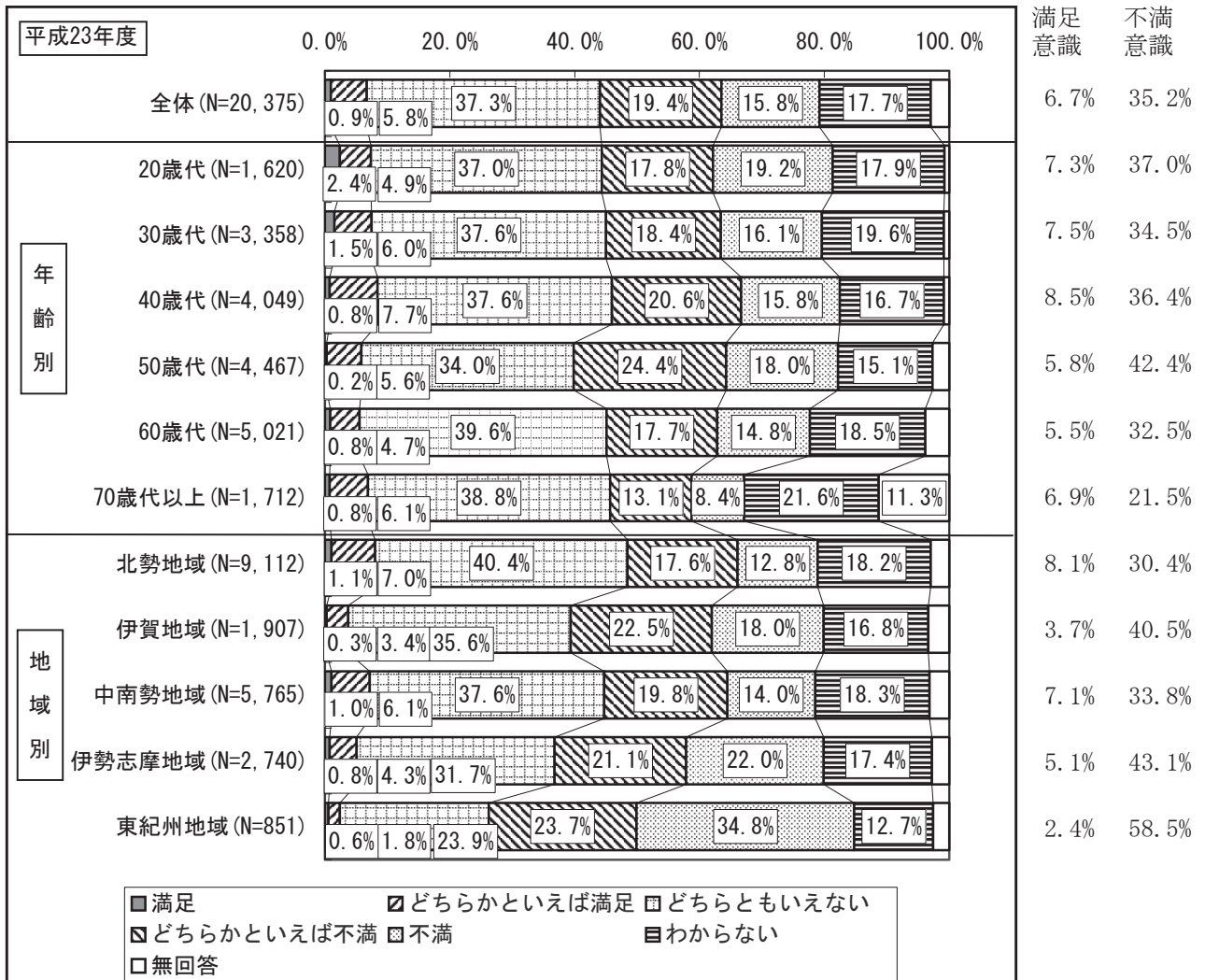
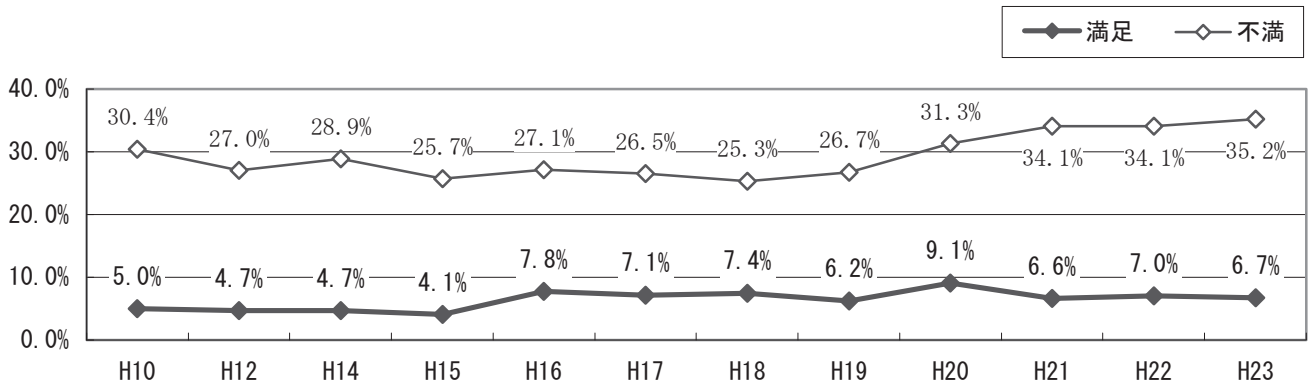
平成 15 年度までの表現	社会の変化に対応した職業能力の開発訓練体制の充実
平成 16 年度以降の表現	社会の変化に対応した職業能力を身につける機会が確保されていること。

重要意識 (集計資料 p.95)

12 回の推移



12回の推移



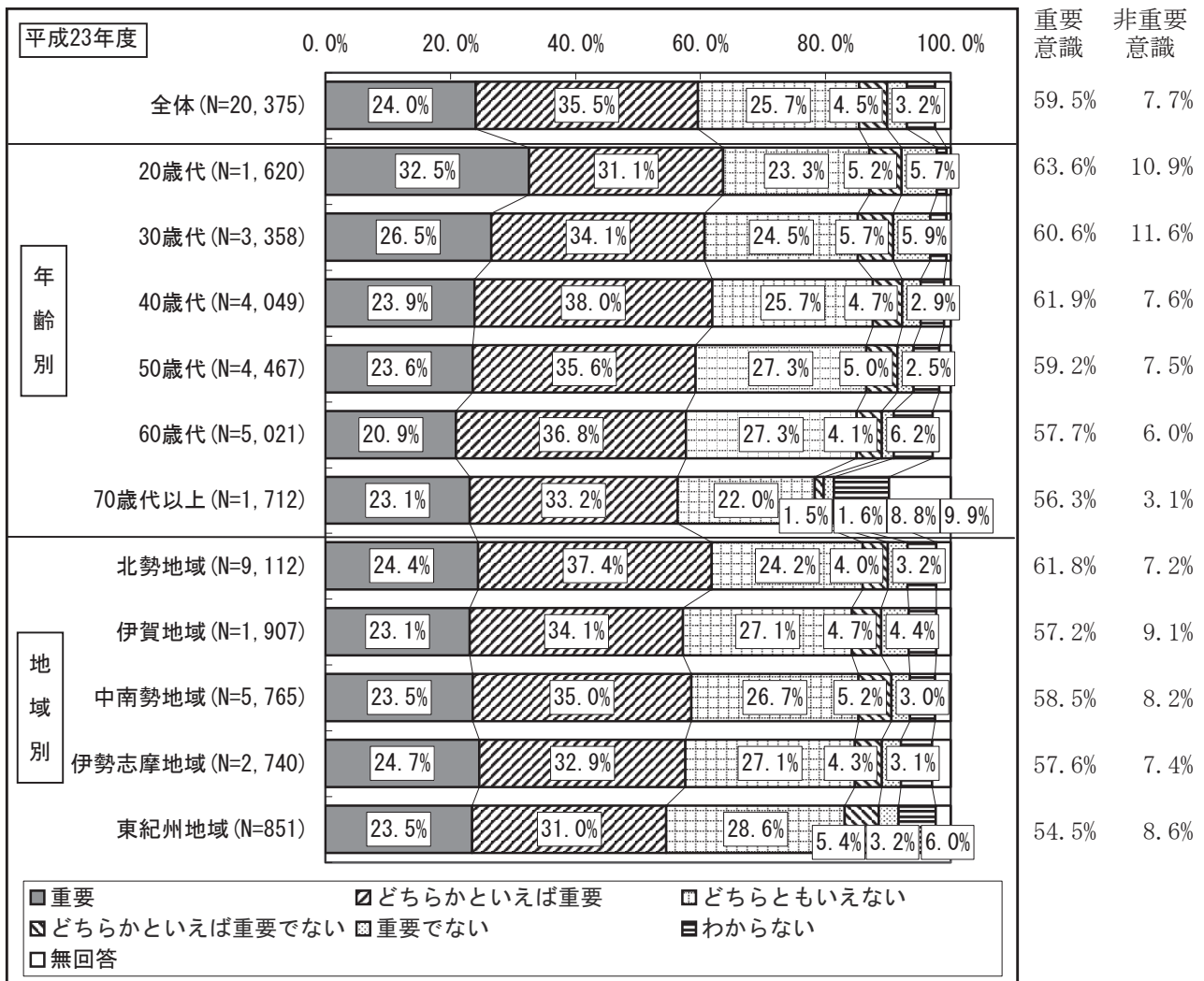
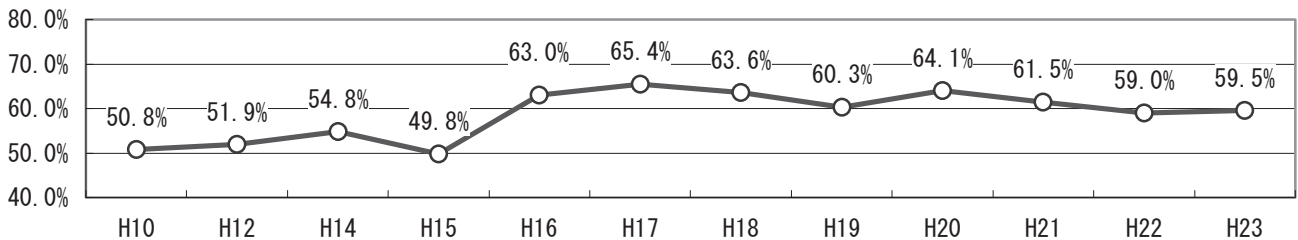
33) 国際化

平成 15 年度までの表現	海外の学校との提携校の拡大など国際化社会に対応できる人材の育成
平成 16 年度以降の表現	様々な国の人々と互いに理解し合いながら、交流、共生できること。

重要意識

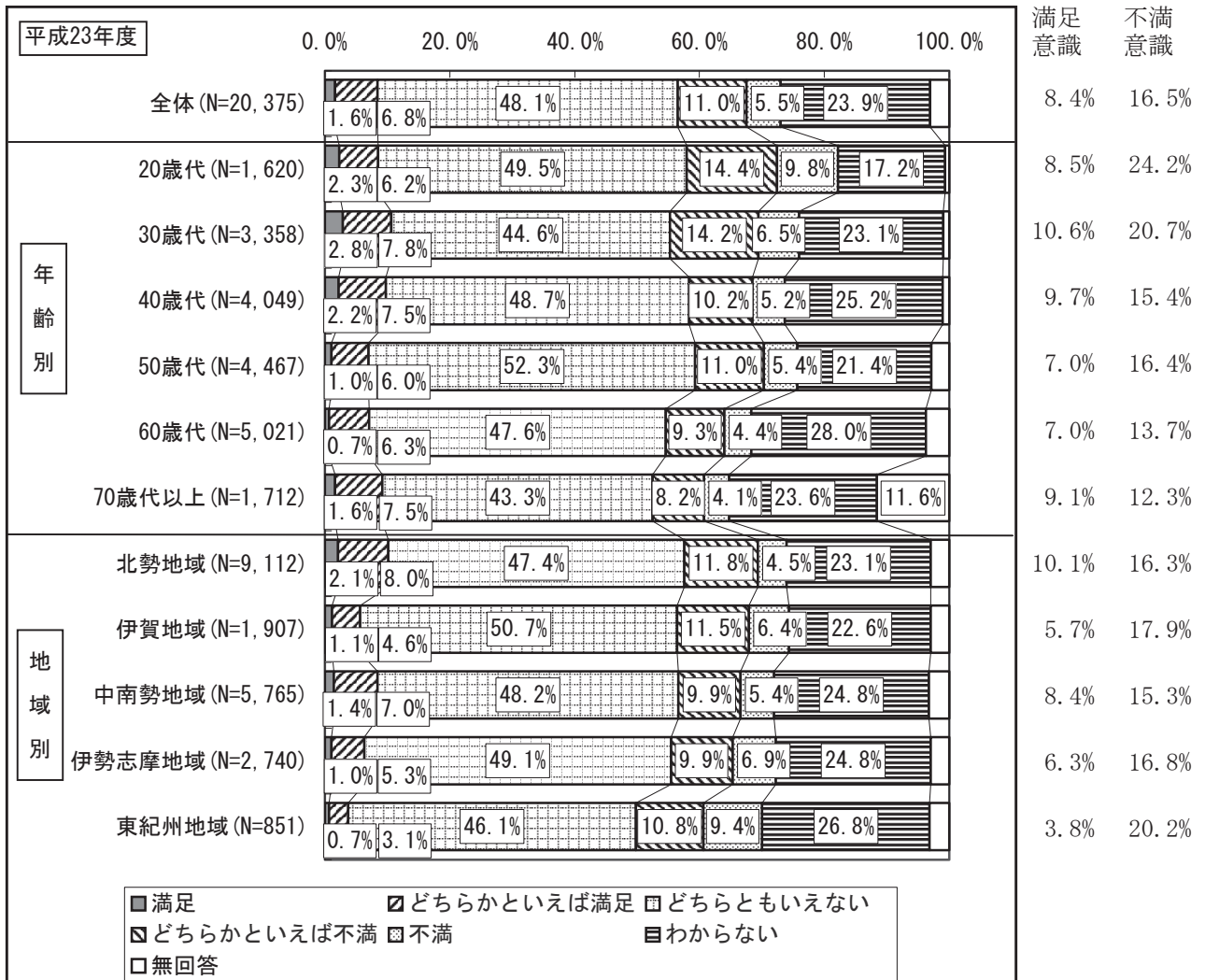
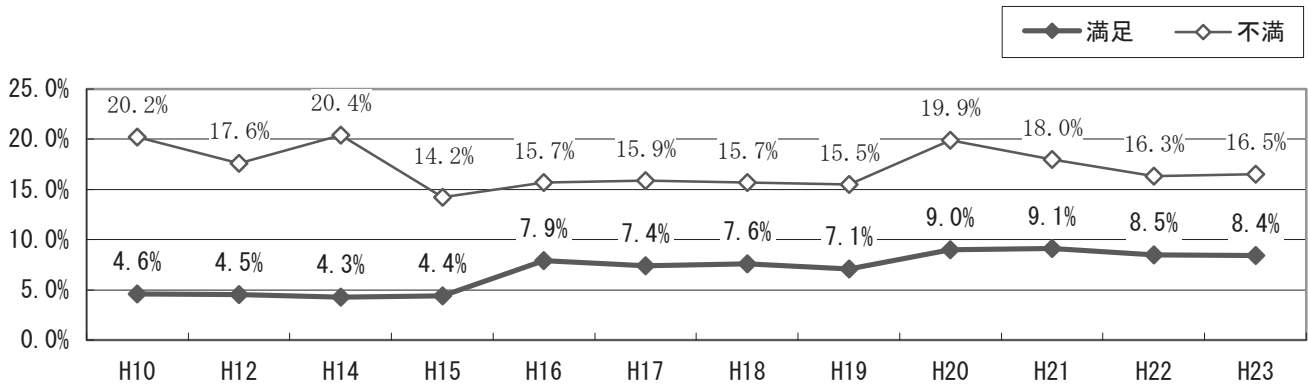
(集計資料 p.97)

12回の推移



満足意識 (集計資料 p.98)

12回の推移

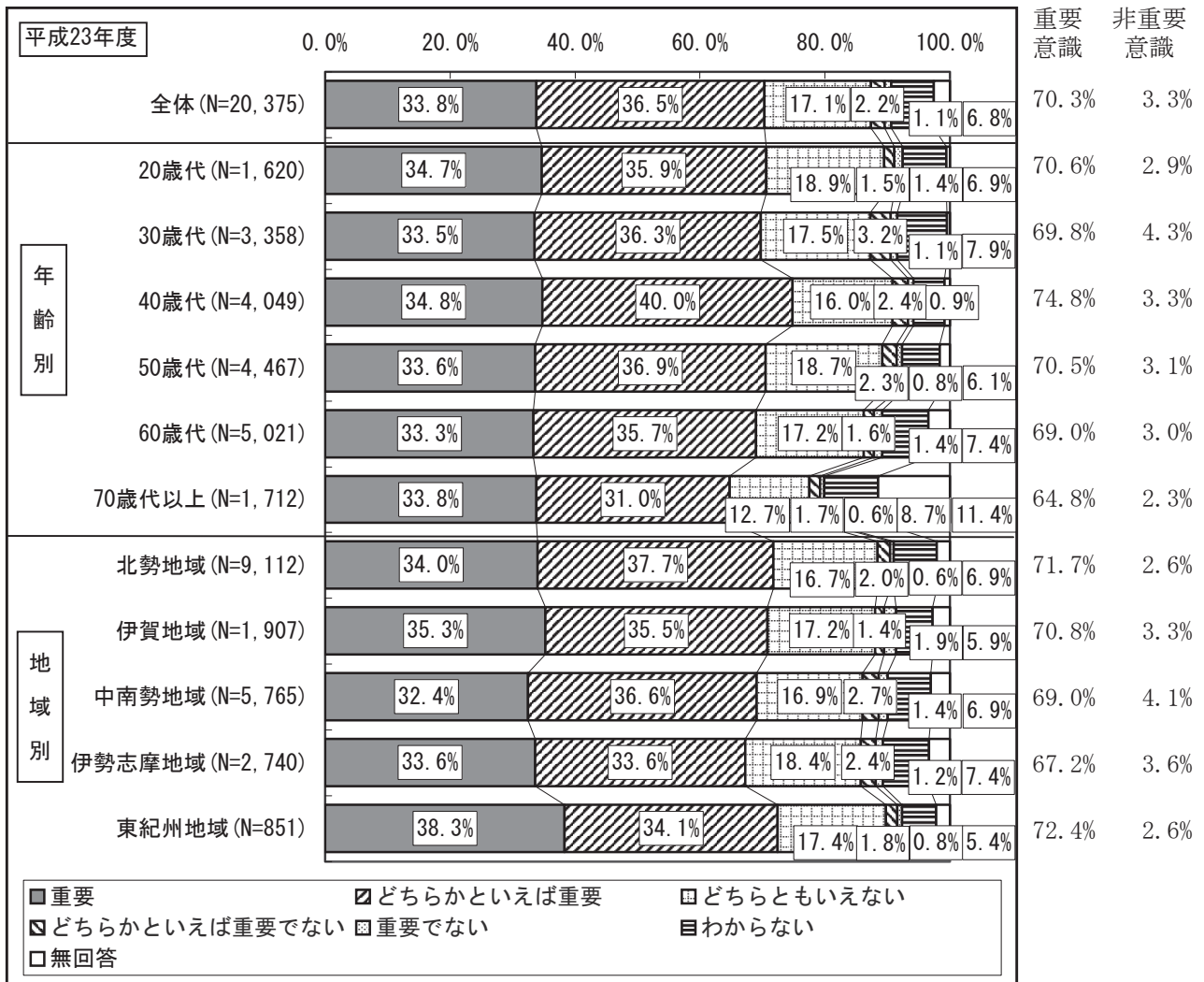
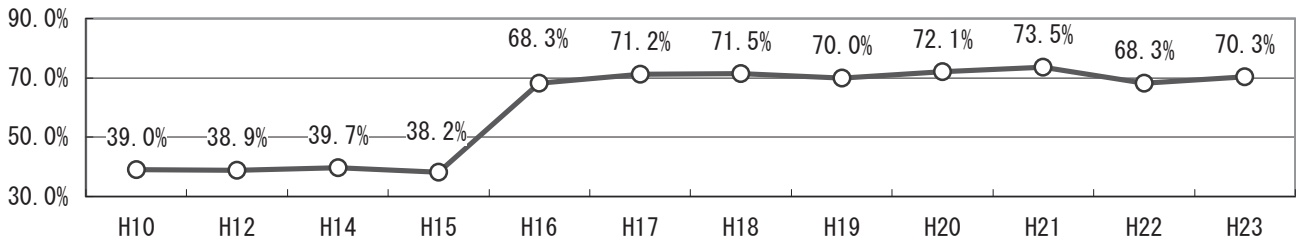


34) 広域交流・連携

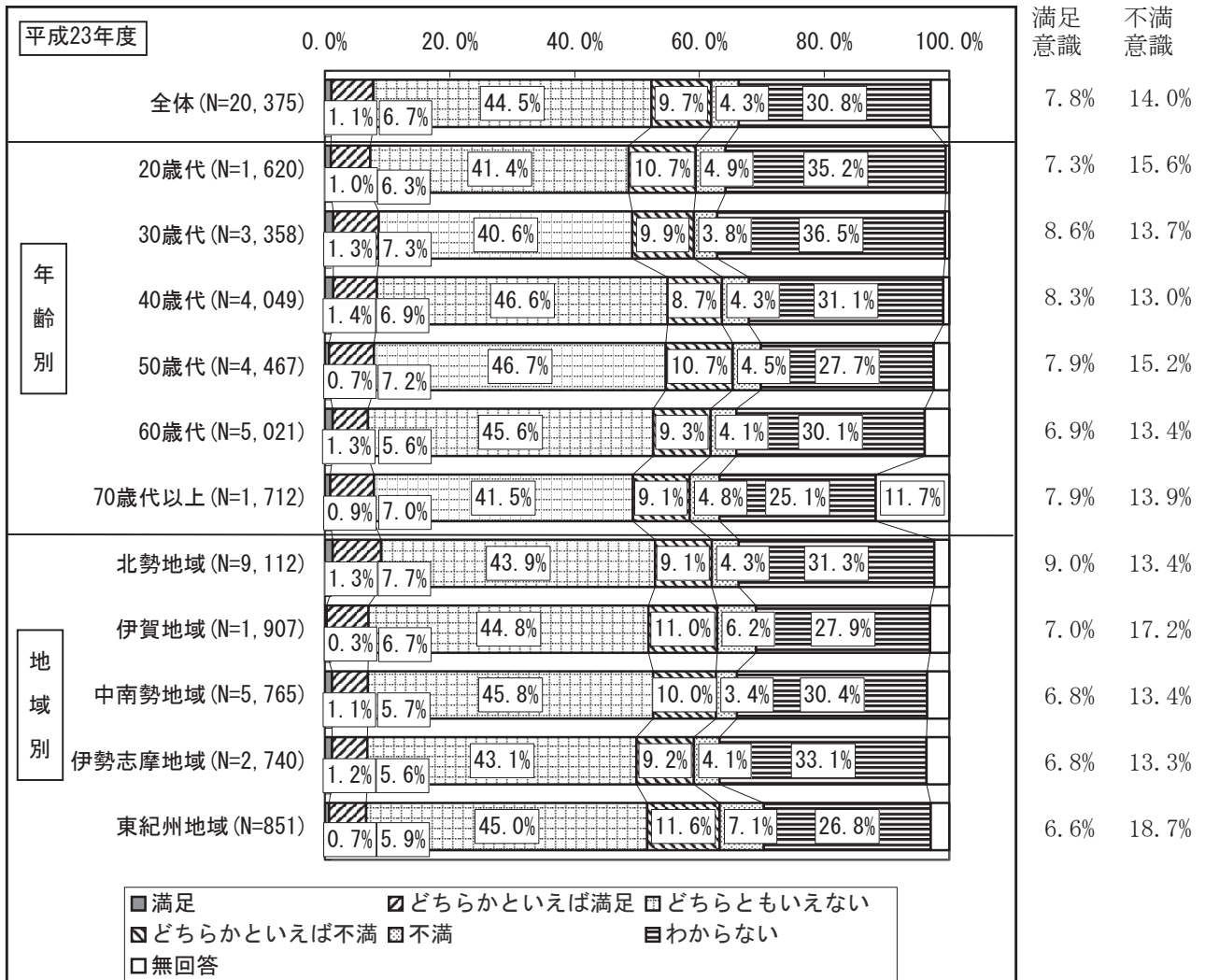
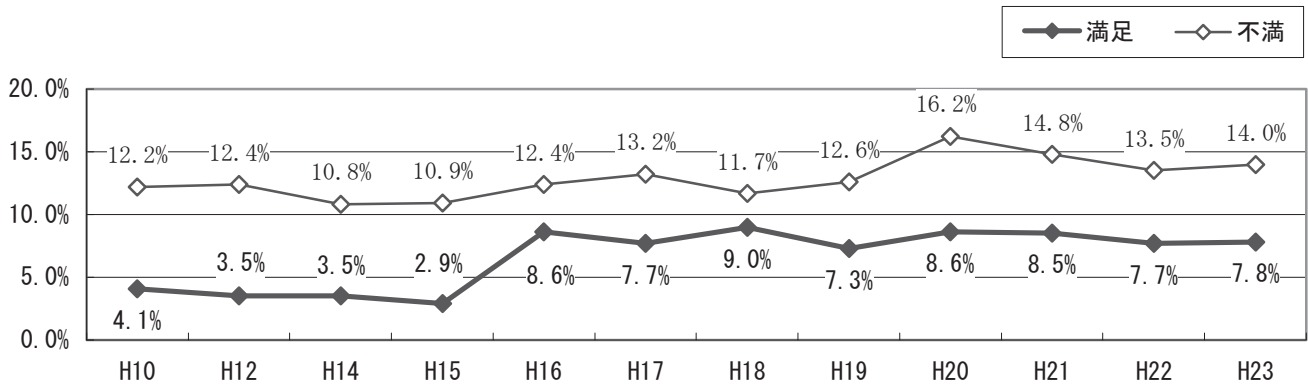
平成 15 年度までの表現	県境を越えた児童生徒の受入れの弾力化など、他府県との共同事業の推進
平成 16 年度以降の表現	環境や防災など近隣府県等と共同で取り組むことが効果的な分野において、県境を越えた様々な交流・連携が行われていること。

**重要意識** (集計資料 p.99)

12回の推移



12回の推移



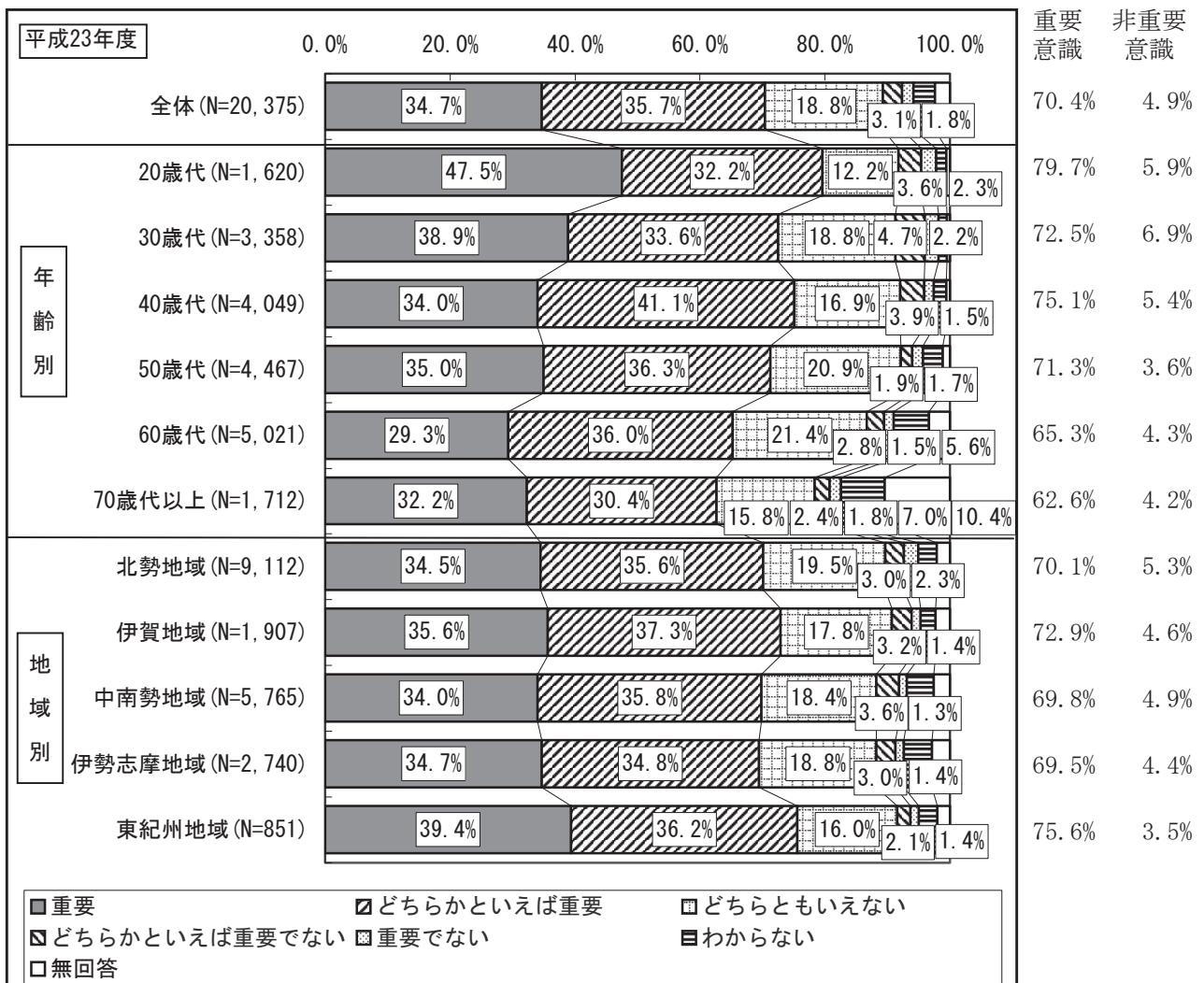
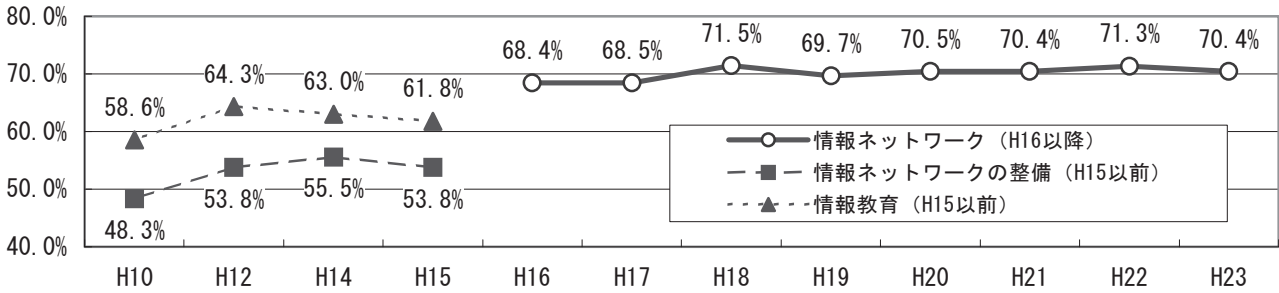
### 35) 情報ネットワーク

平成 15 年度までの表現	ケーブルテレビの普及など情報ネットワークの整備 (情報ネットワークの整備)
平成 16 年度以降の表現	インターネットなどの新しい情報手段に対応できるような情報教育の推進 (情報教育)

#### 重要意識

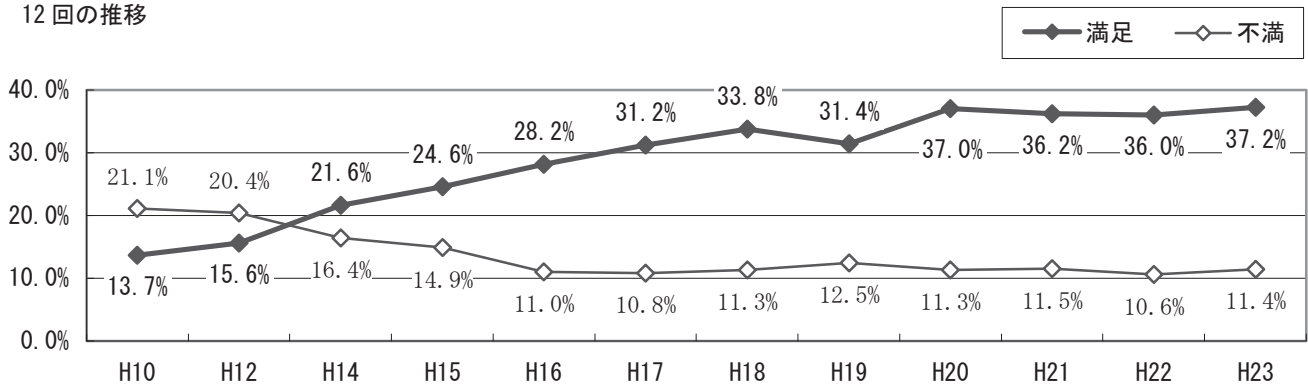
(集計資料 p.101)

#### 12 回の推移



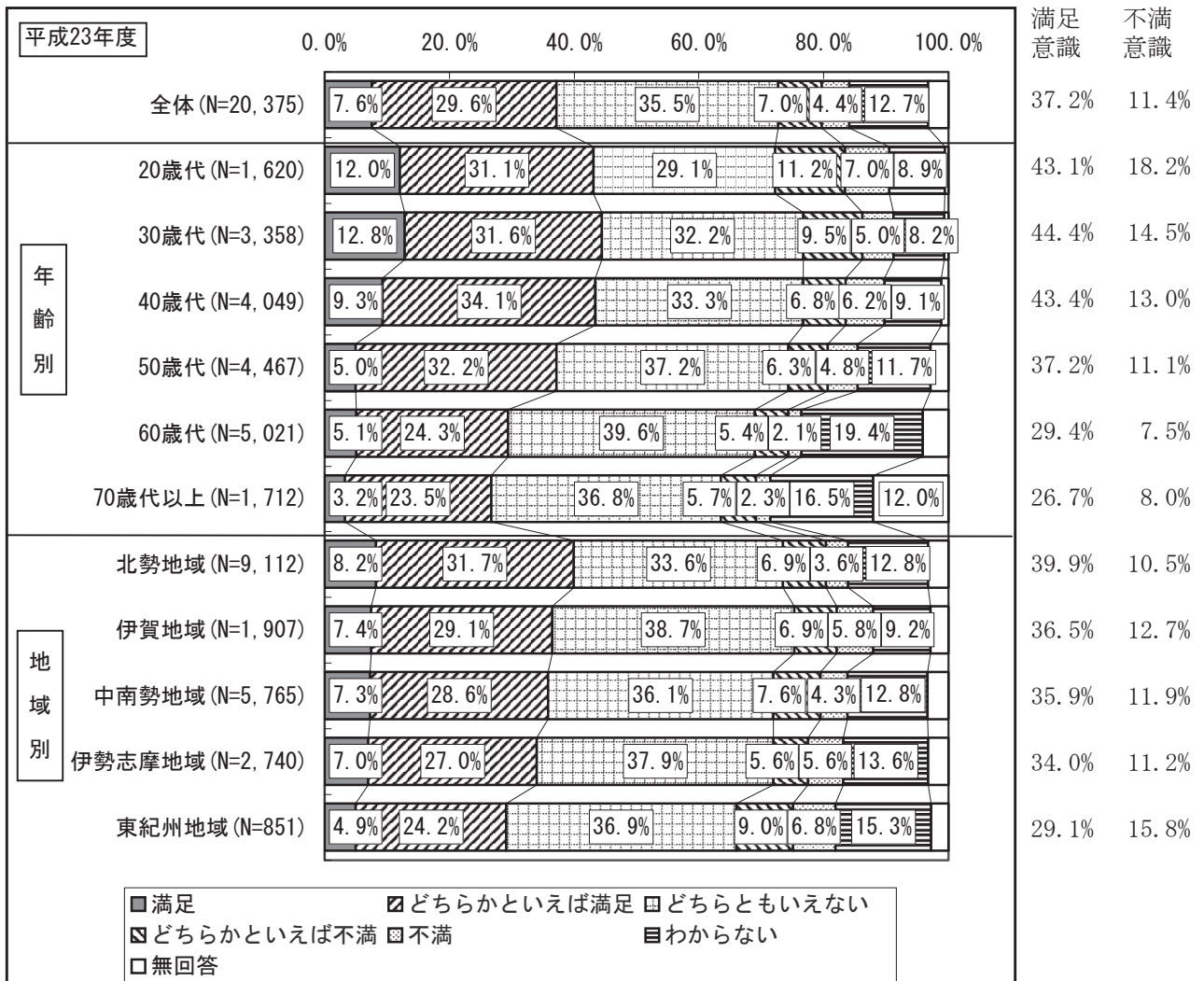


12回の推移



※H15以前は「情報ネットワークの整備」の値。「情報教育」の数値は以下の通り。

	H10	H12	H14	H15
満足意識	5.8%	7.2%	10.5%	13.4%
不満意識	23.9%	24.8%	19.6%	16.4%



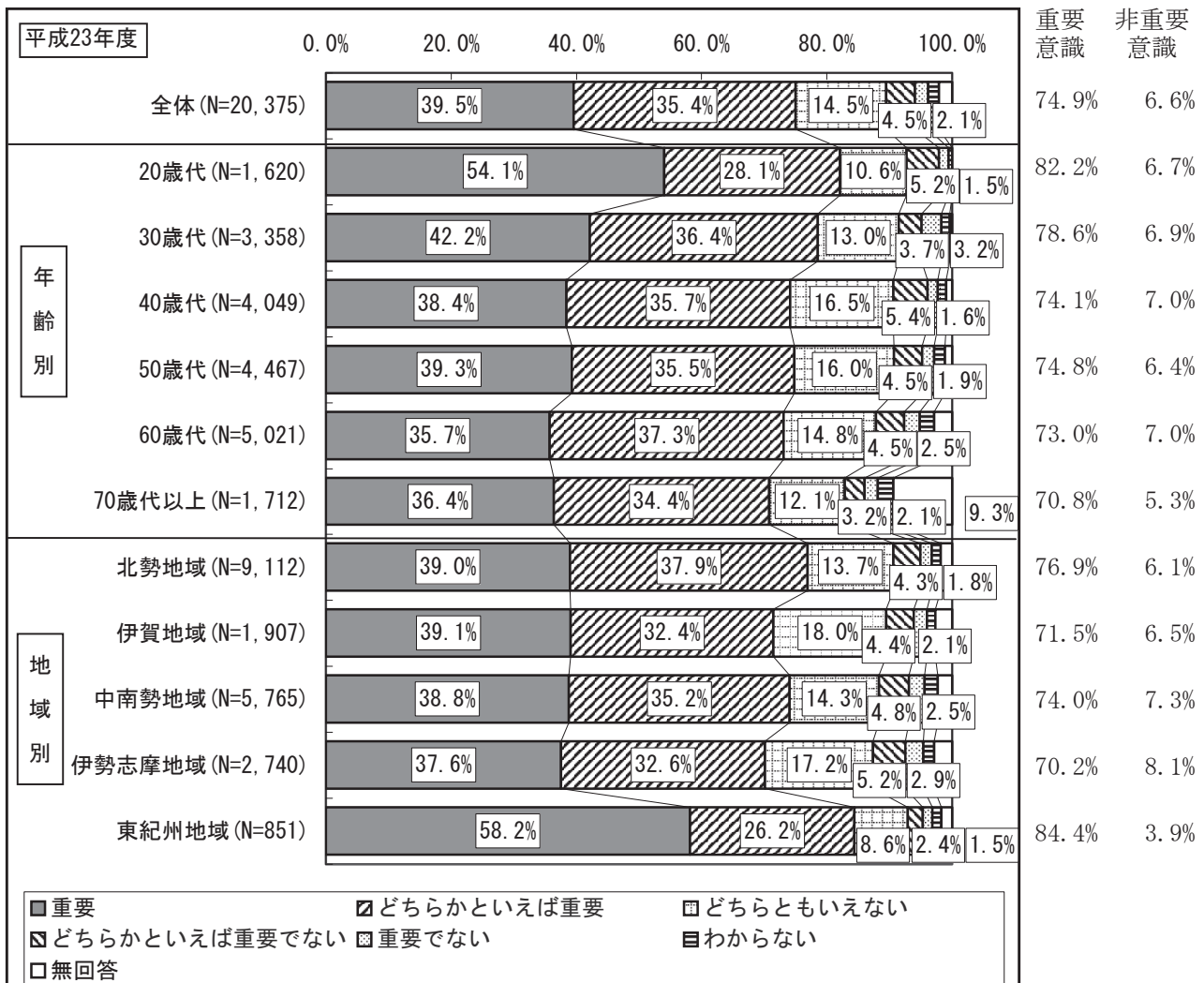
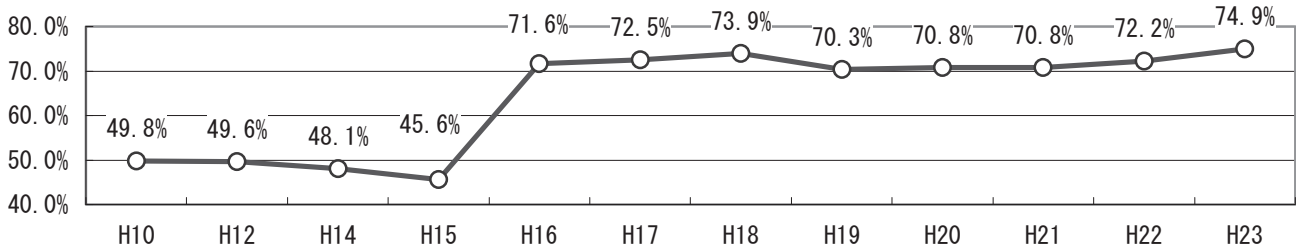
36) 高速交通網

平成 15 年度までの表現	空港、新幹線、高速道路など高速交通機関までおおむね 30 分で到達できる地域の拡大
平成 16 年度以降の表現	空港、新幹線、高速道路などの高速交通機関が利用しやすくなり、遠くの地域へ短時間で移動できること。

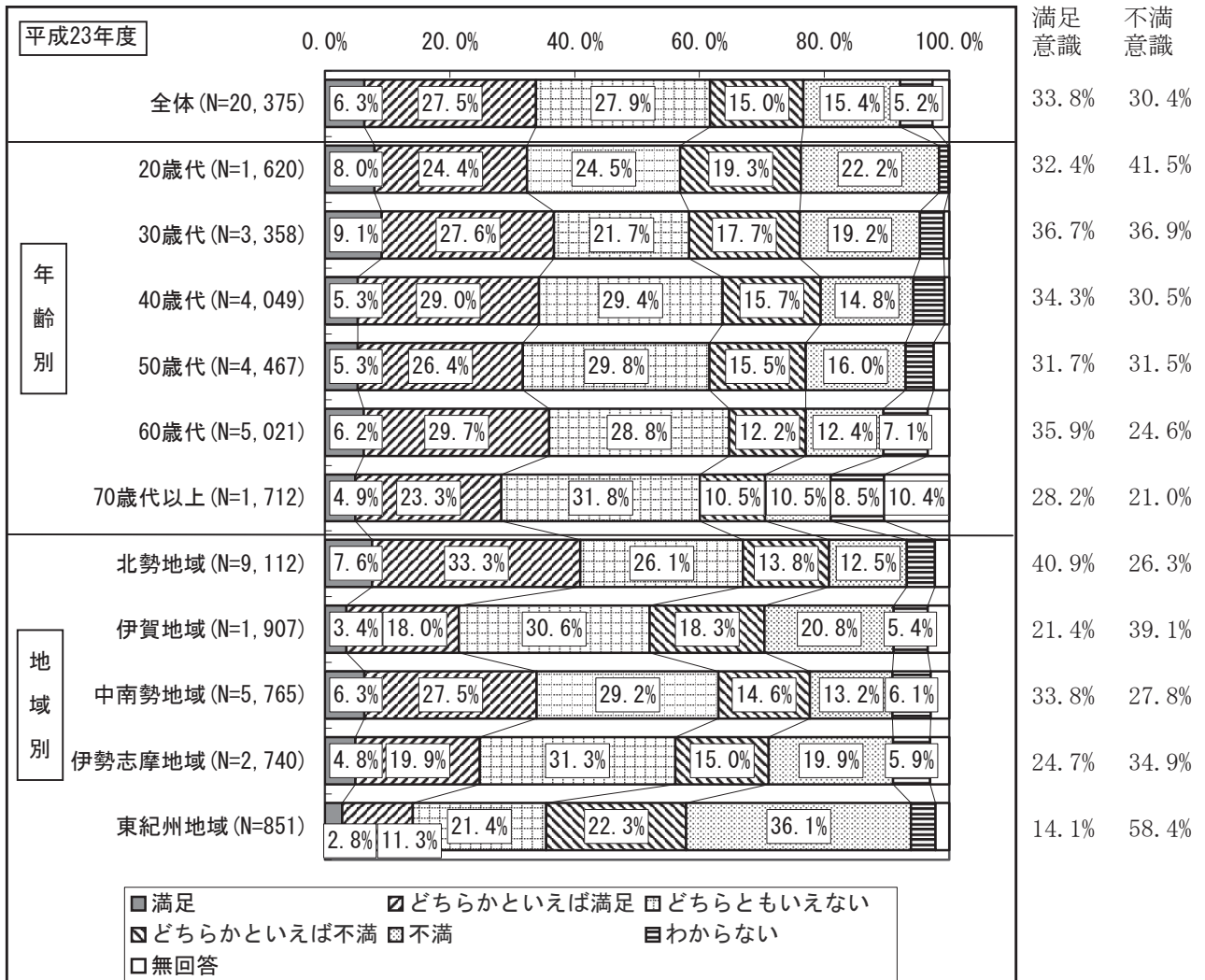
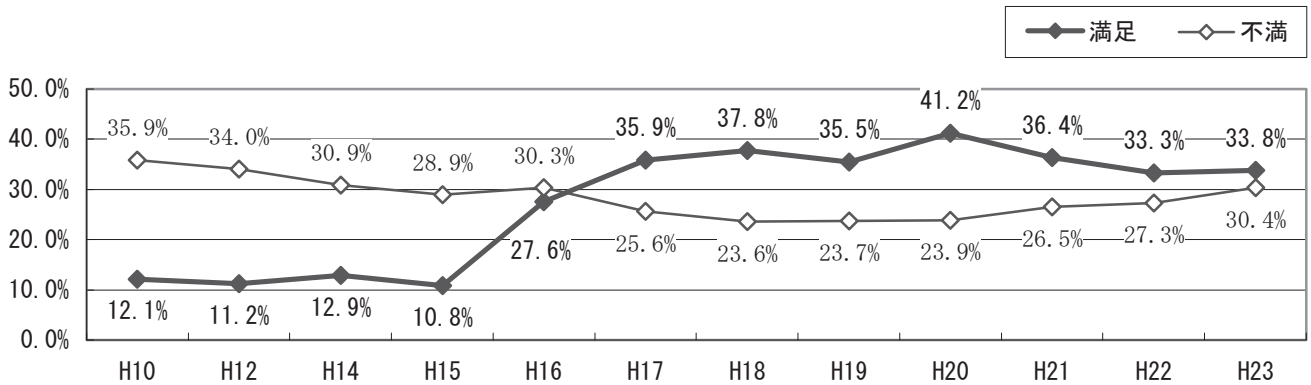
重要意識

(集計資料 p.103)

12 回の推移



12回の推移

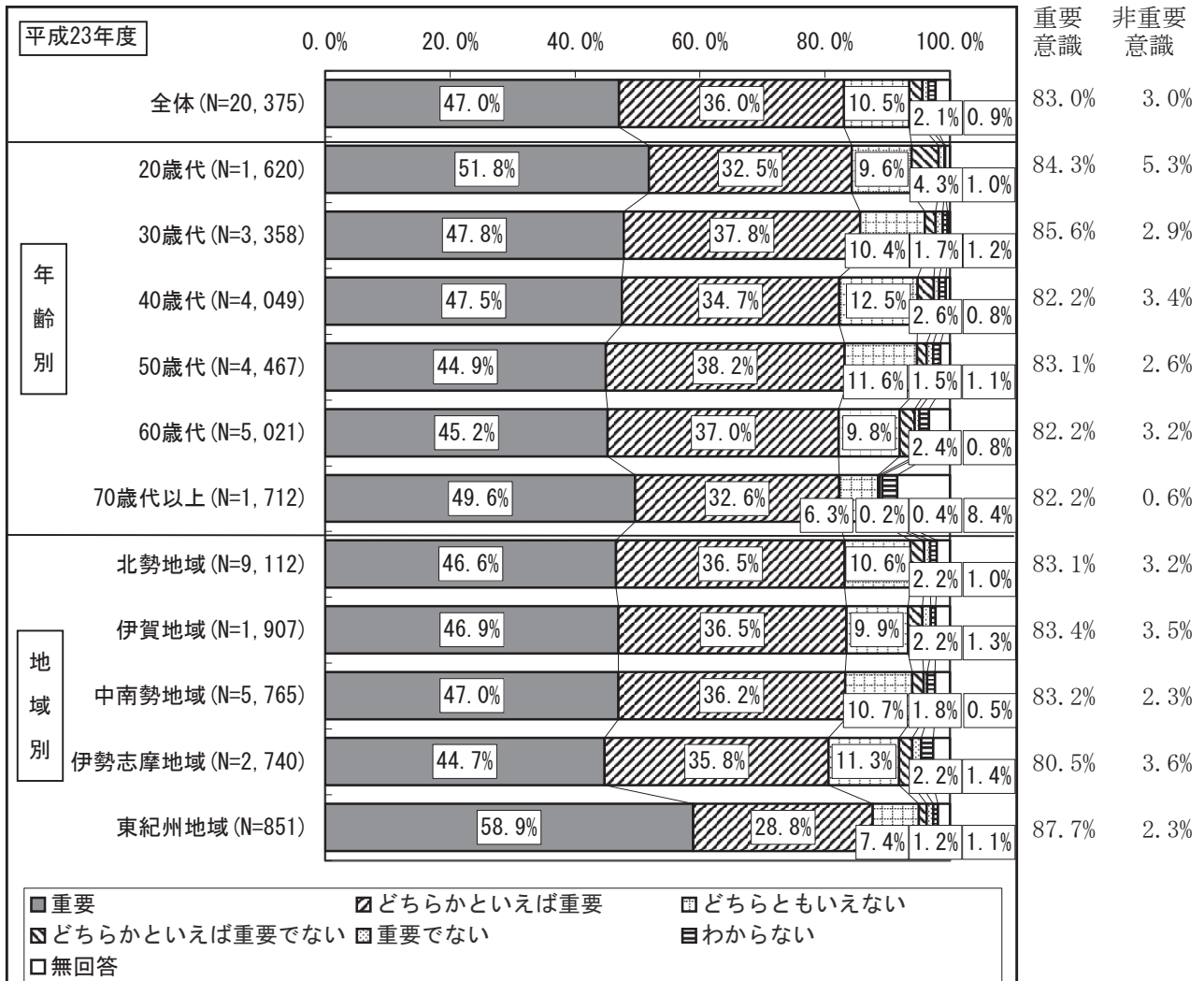
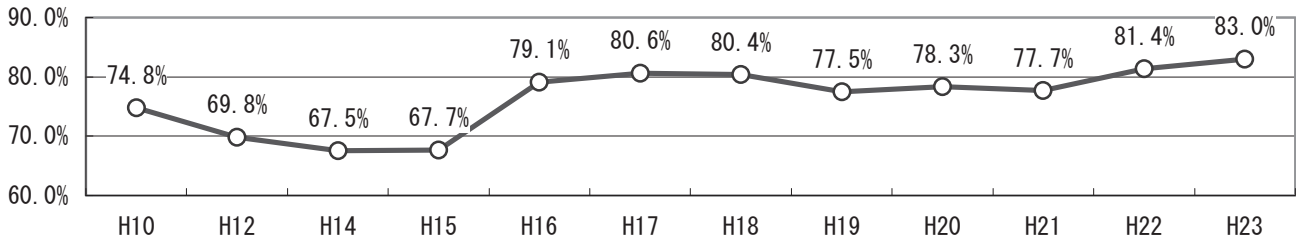


37) 道路の整備

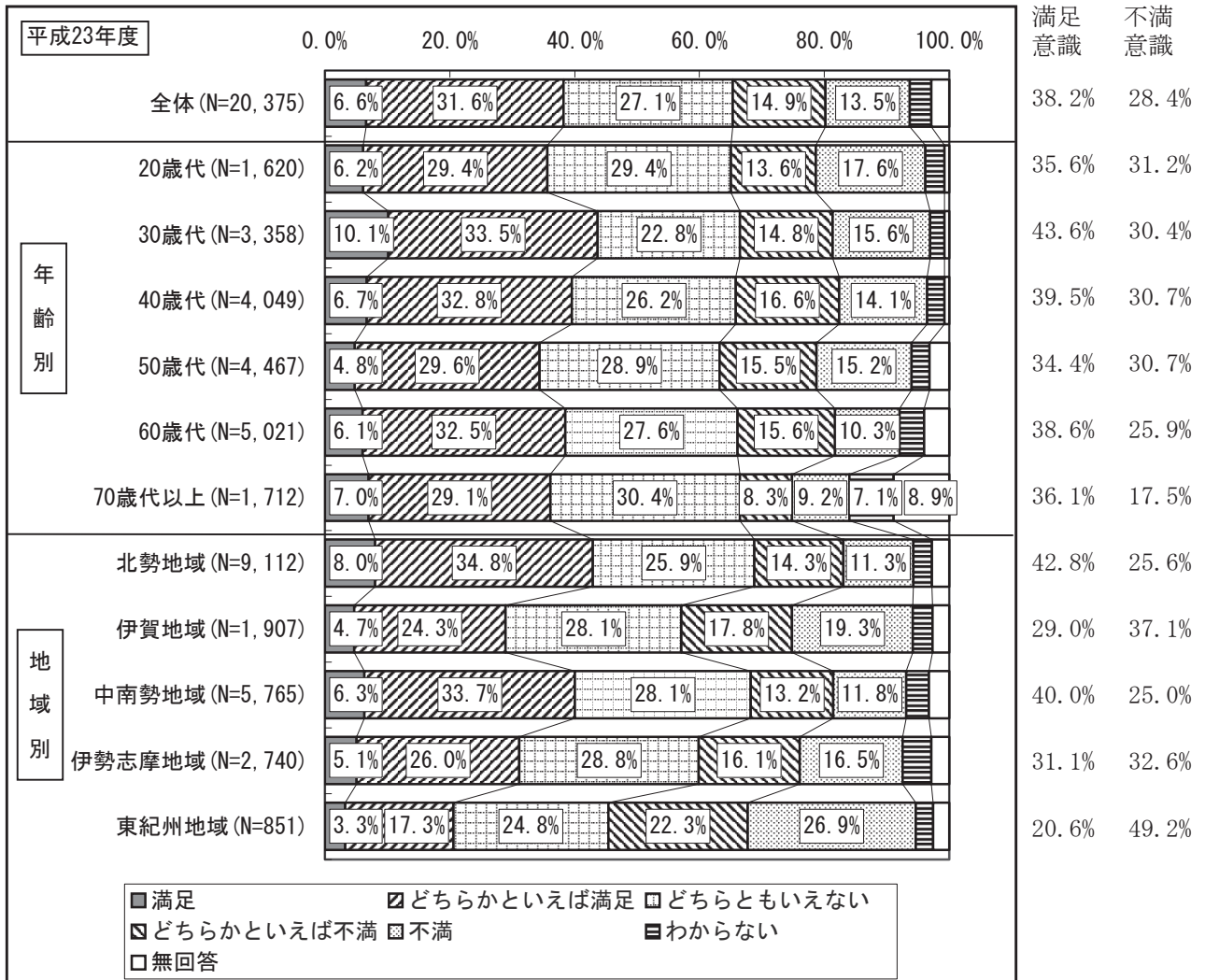
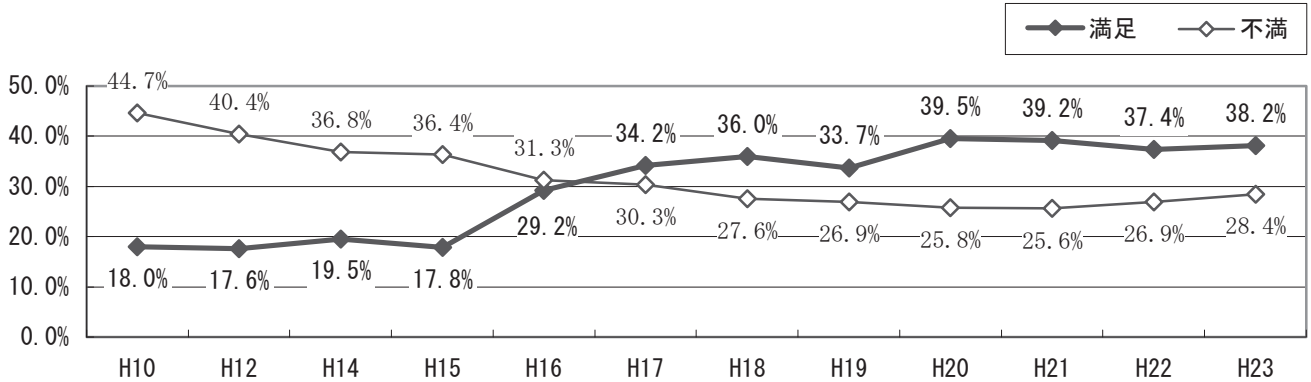
平成 15 年度までの表現	国道や県道の改良・整備
平成 16 年度以降の表現	道路が整備され、快適に移動できること。

重要意識 (集計資料 p.105)

12 回の推移



12回の推移



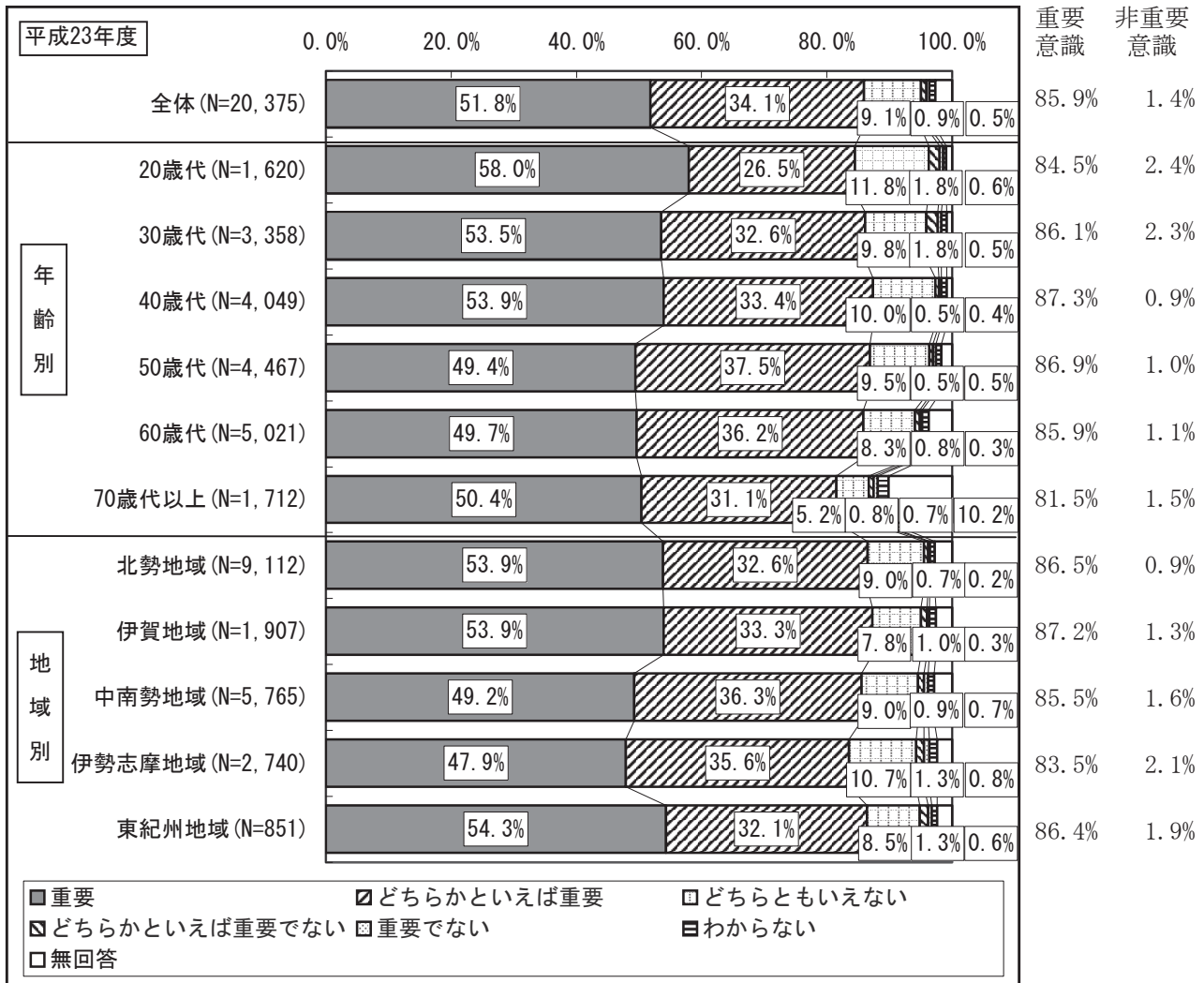
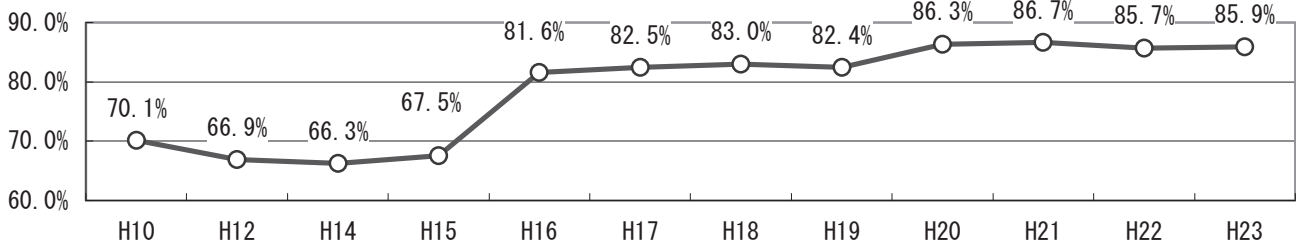
38) 公共交通機関

平成 15 年度までの表現	鉄道やバスなど公共交通機関の整備
平成 16 年度以降の表現	バス、鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと。

重要意識

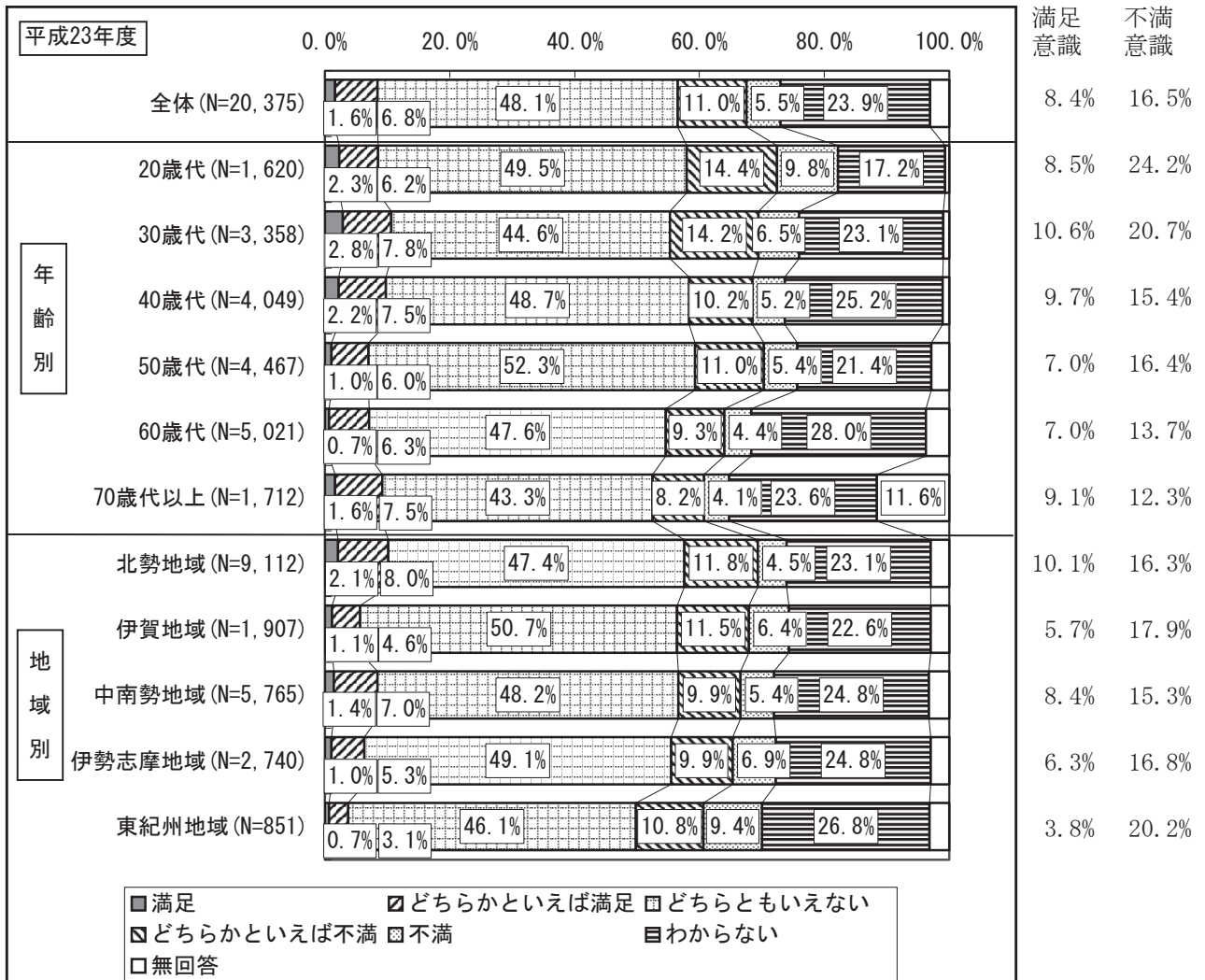
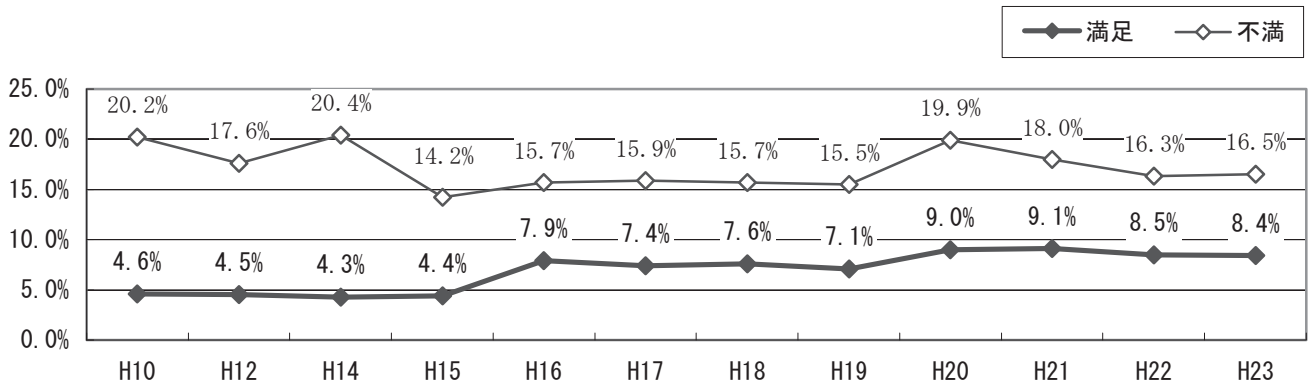
(集計資料 p.107)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.98)

12回の推移



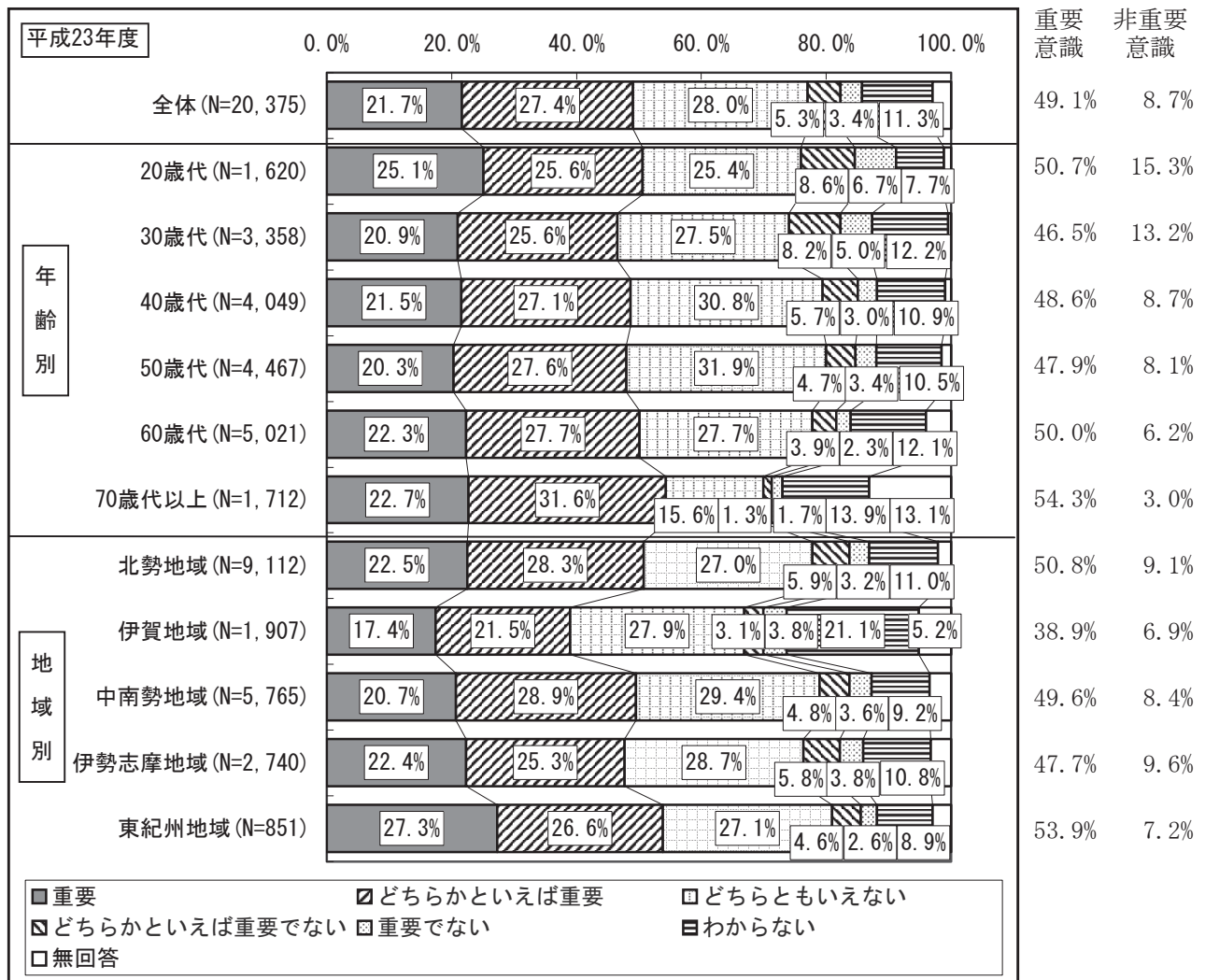
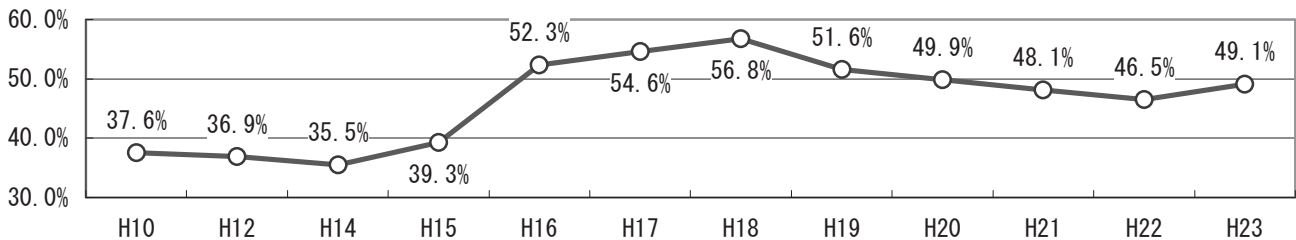
39) 港の整備

平成 15 年度までの表現	港湾の整備
平成 16 年度以降の表現	港が整備され、多くの船や人々が利用していること。

重要意識

(集計資料 p.109)

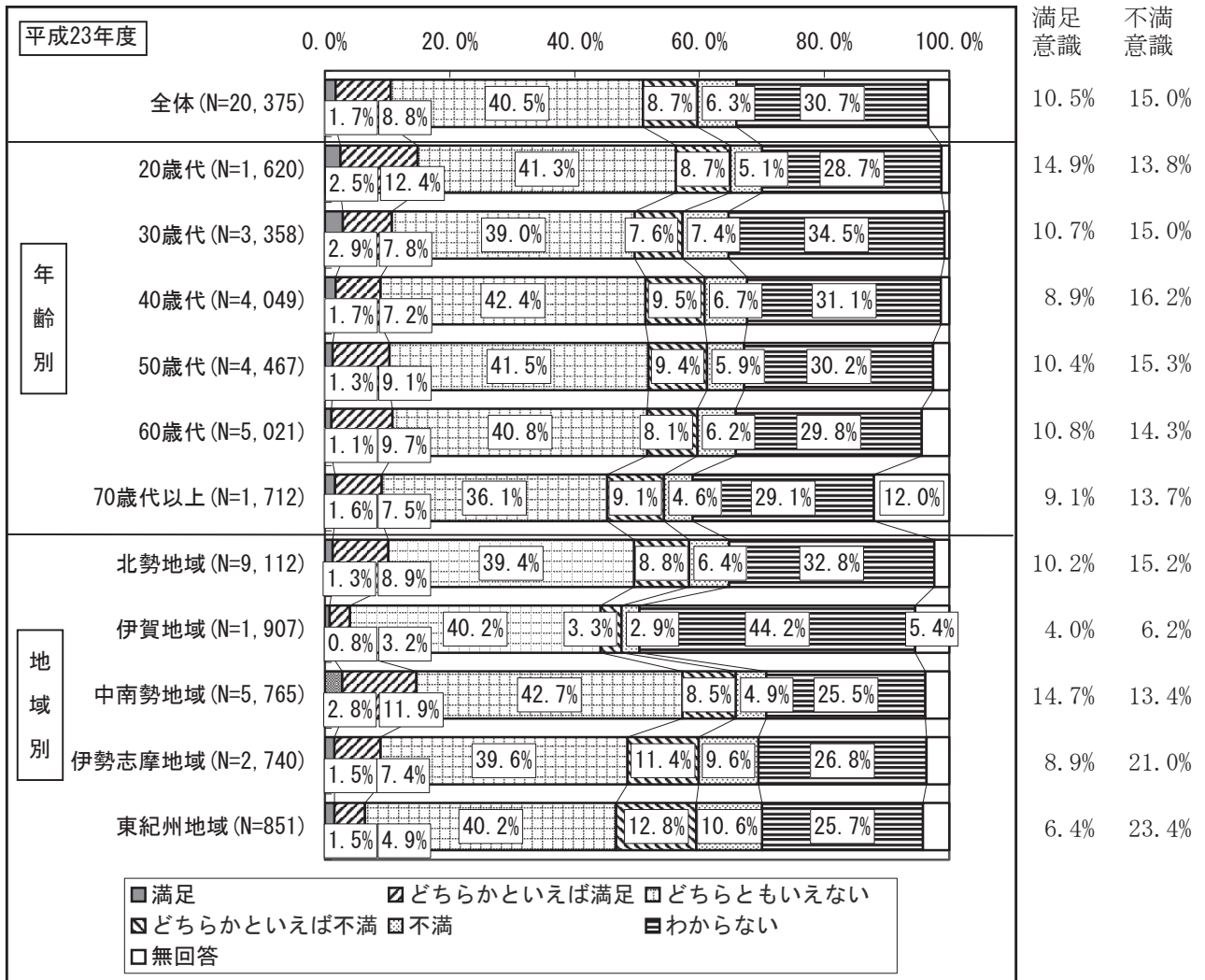
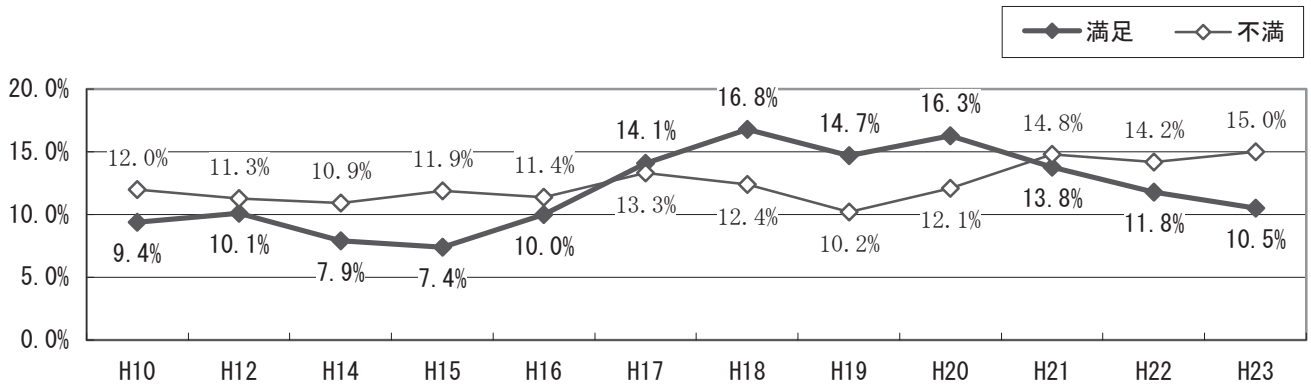
12 回の推移





満足意識 (集計資料 p.110)

12回の推移

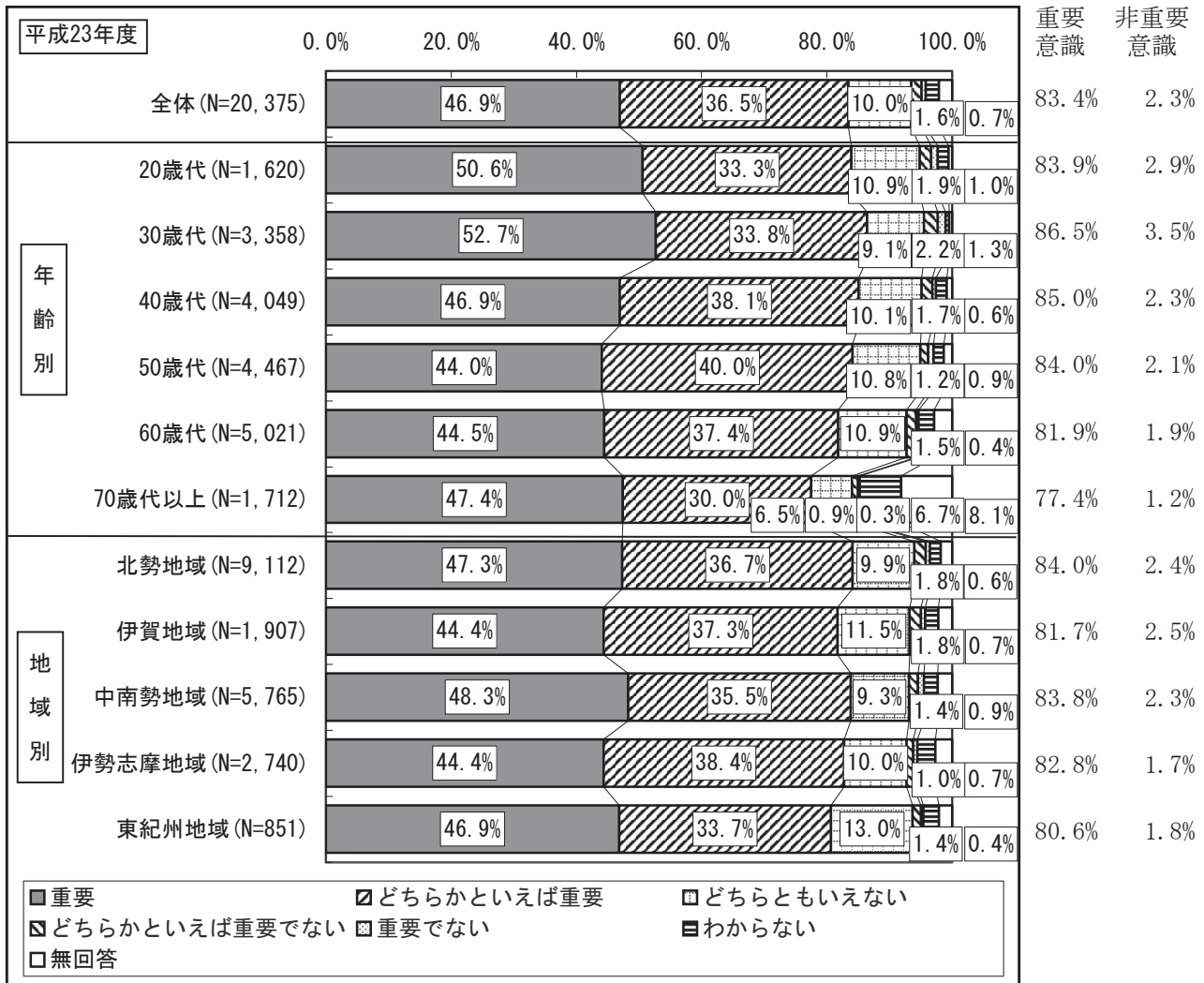
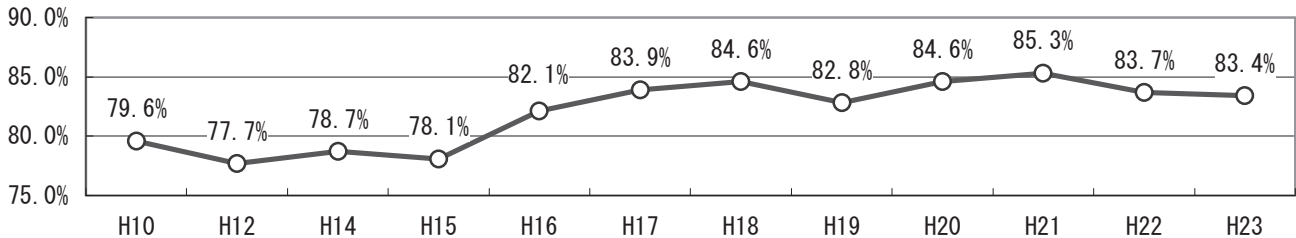


40) 快適なまちづくり

平成 15 年度までの表現	公園や歩道、段差のない公共的施設など快適なまちづくり
平成 16 年度以降の表現	段差のない公共的施設、公園や歩道など、快適で暮らしやすいまちづくりが行われていること。

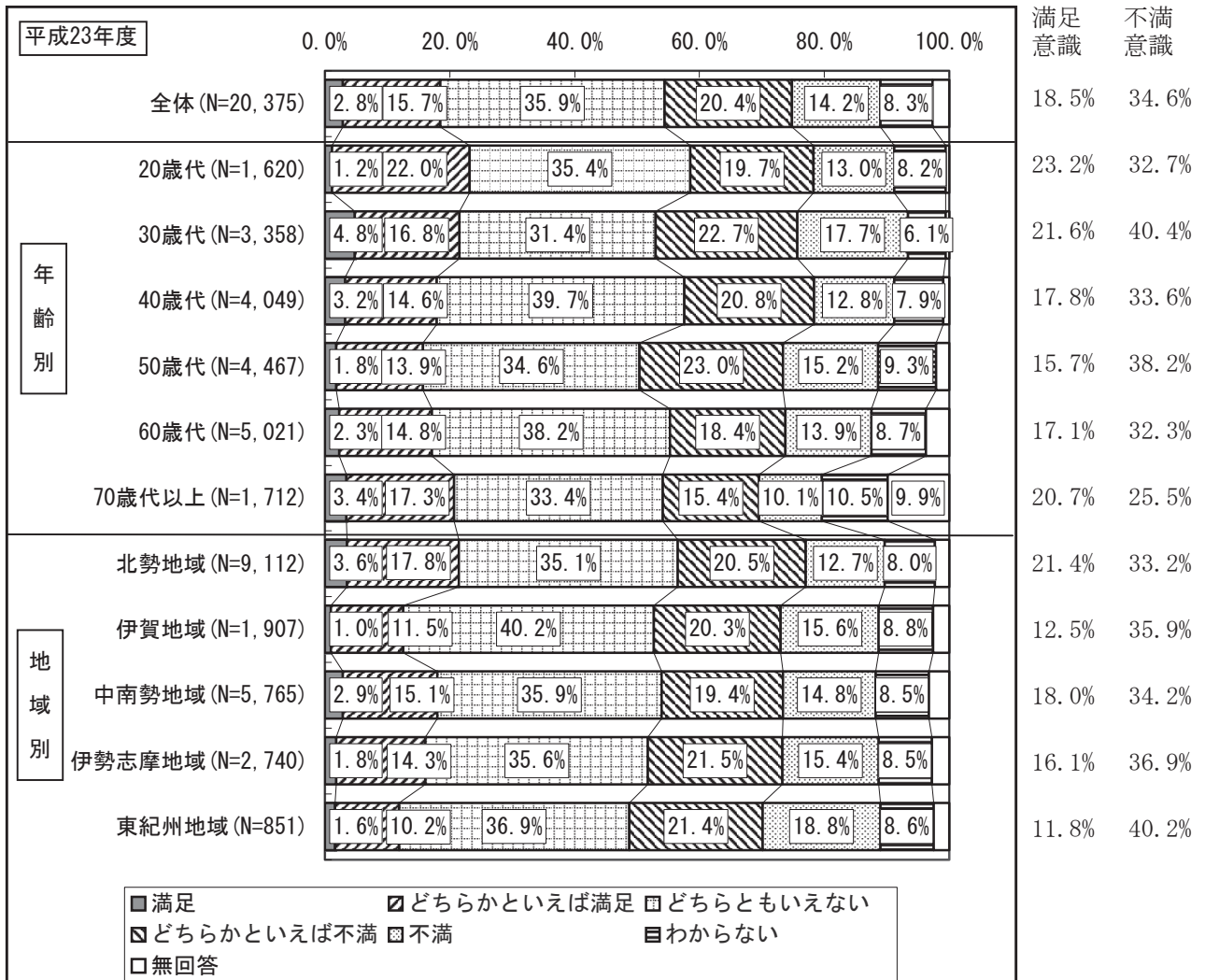
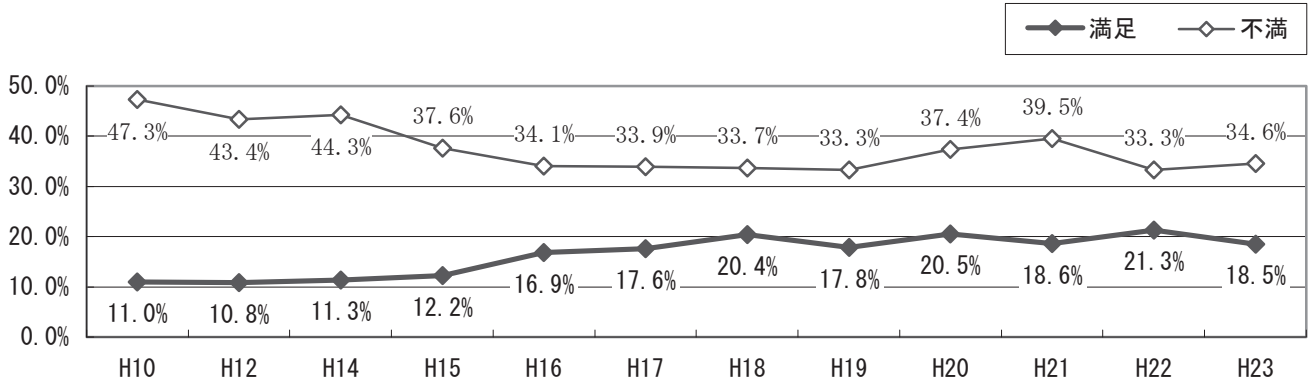
**重要意識** (集計資料 p.111)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.112)

12回の推移

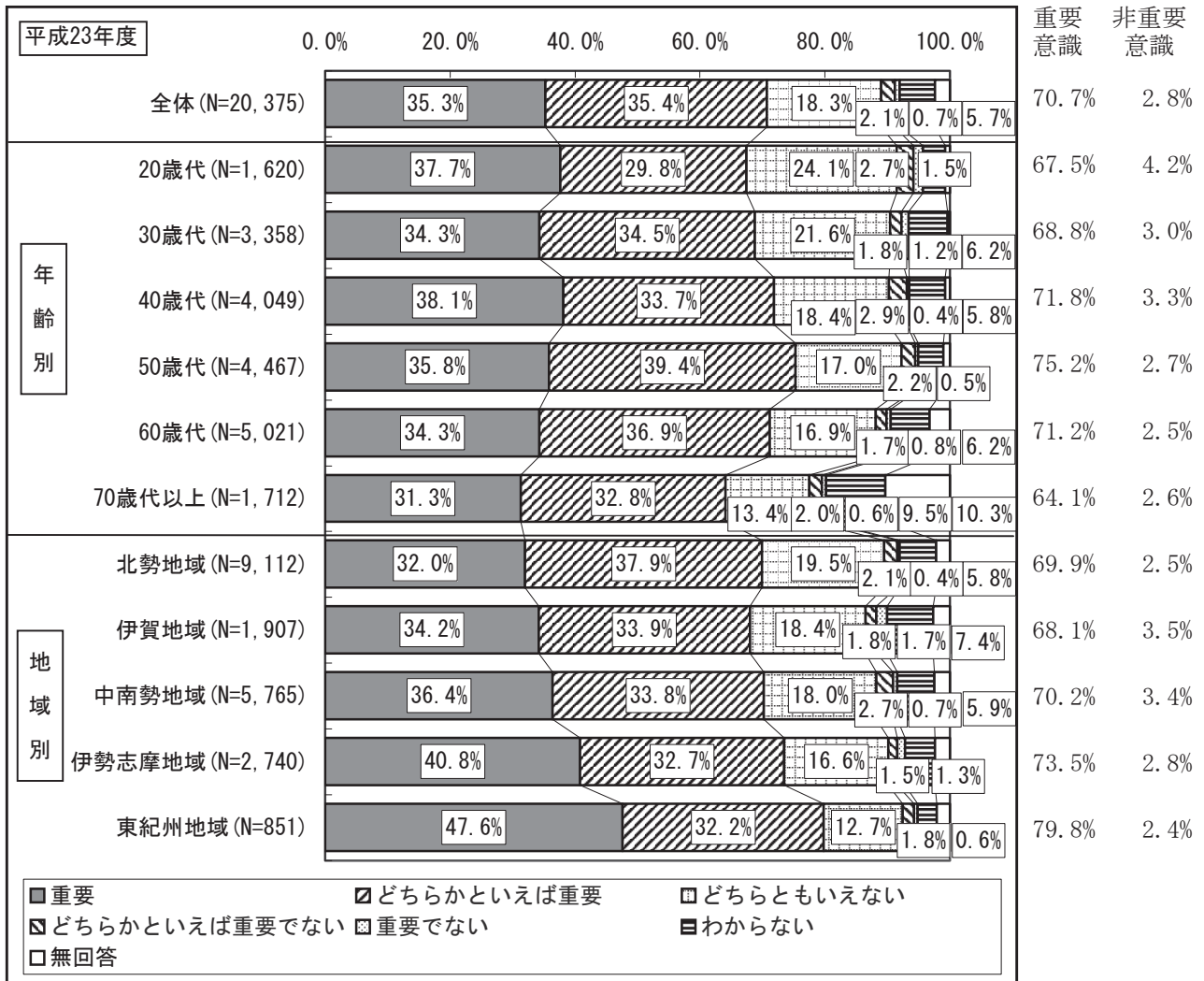
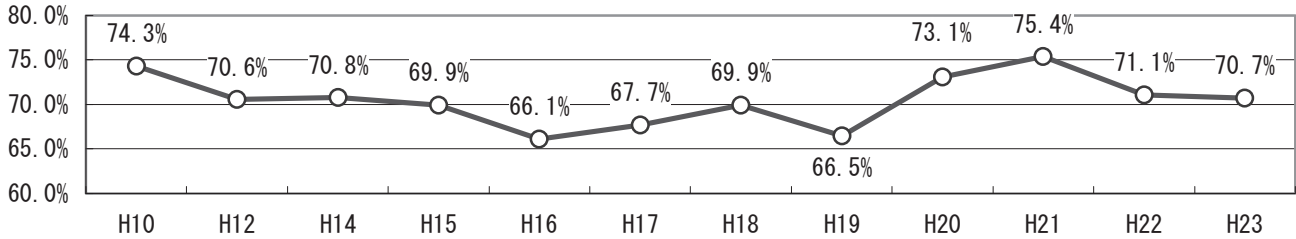


41) 農山漁村づくり

平成 15 年度までの表現	道路、生活排水処理施設の整備など若者が定住する農山漁村づくり
平成 16 年度以降の表現	農山漁村の生活基盤が整備され、住民や訪れた人々にとって魅力がある地域になっていること。

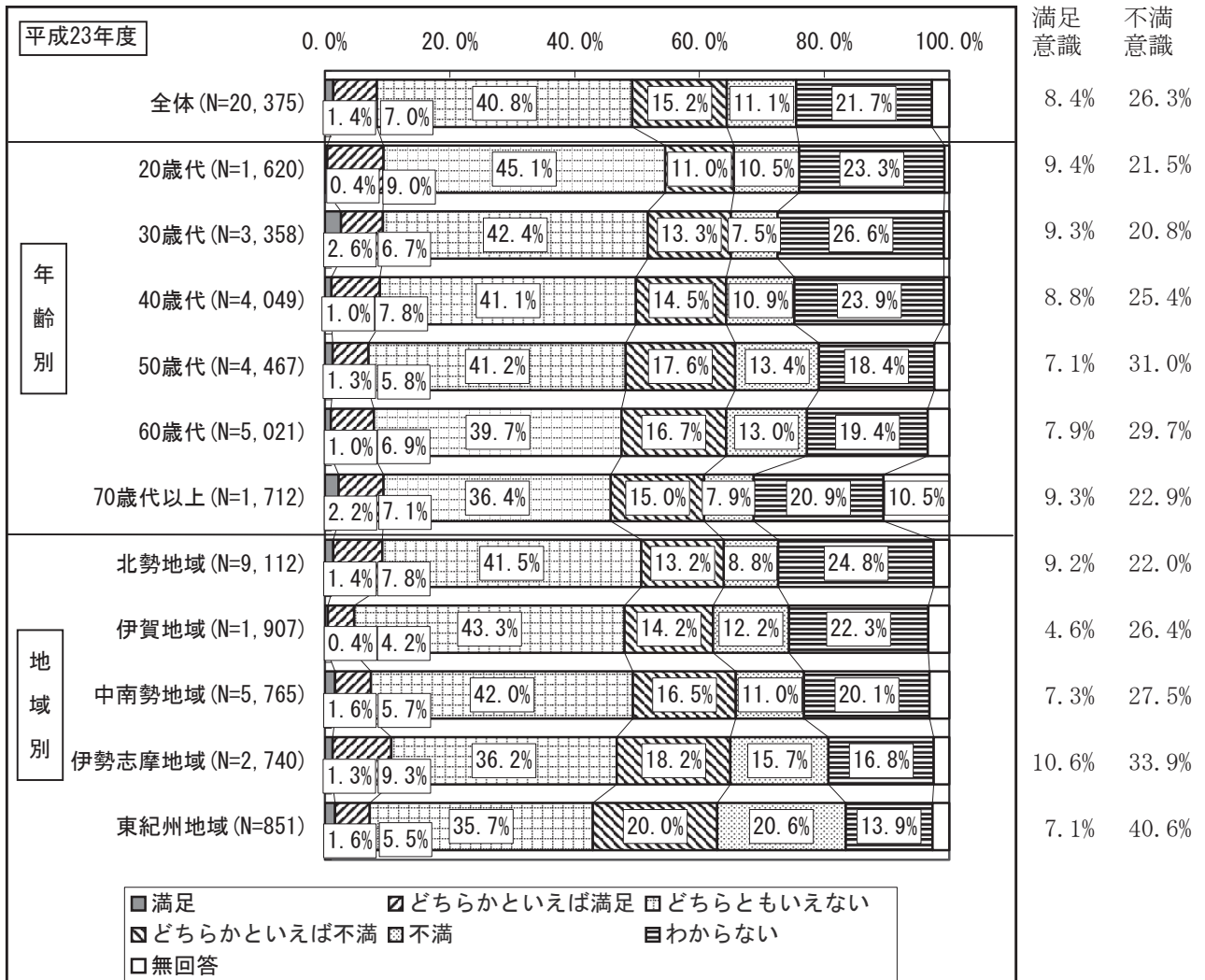
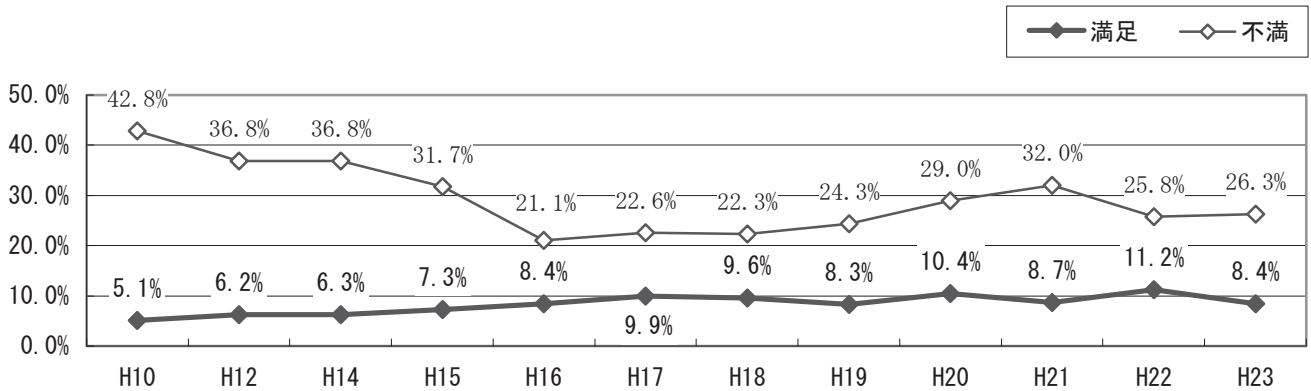
**重要意識** (集計資料 p.113)

12 回の推移



満足意識 (集計資料 p.114)

12回の推移

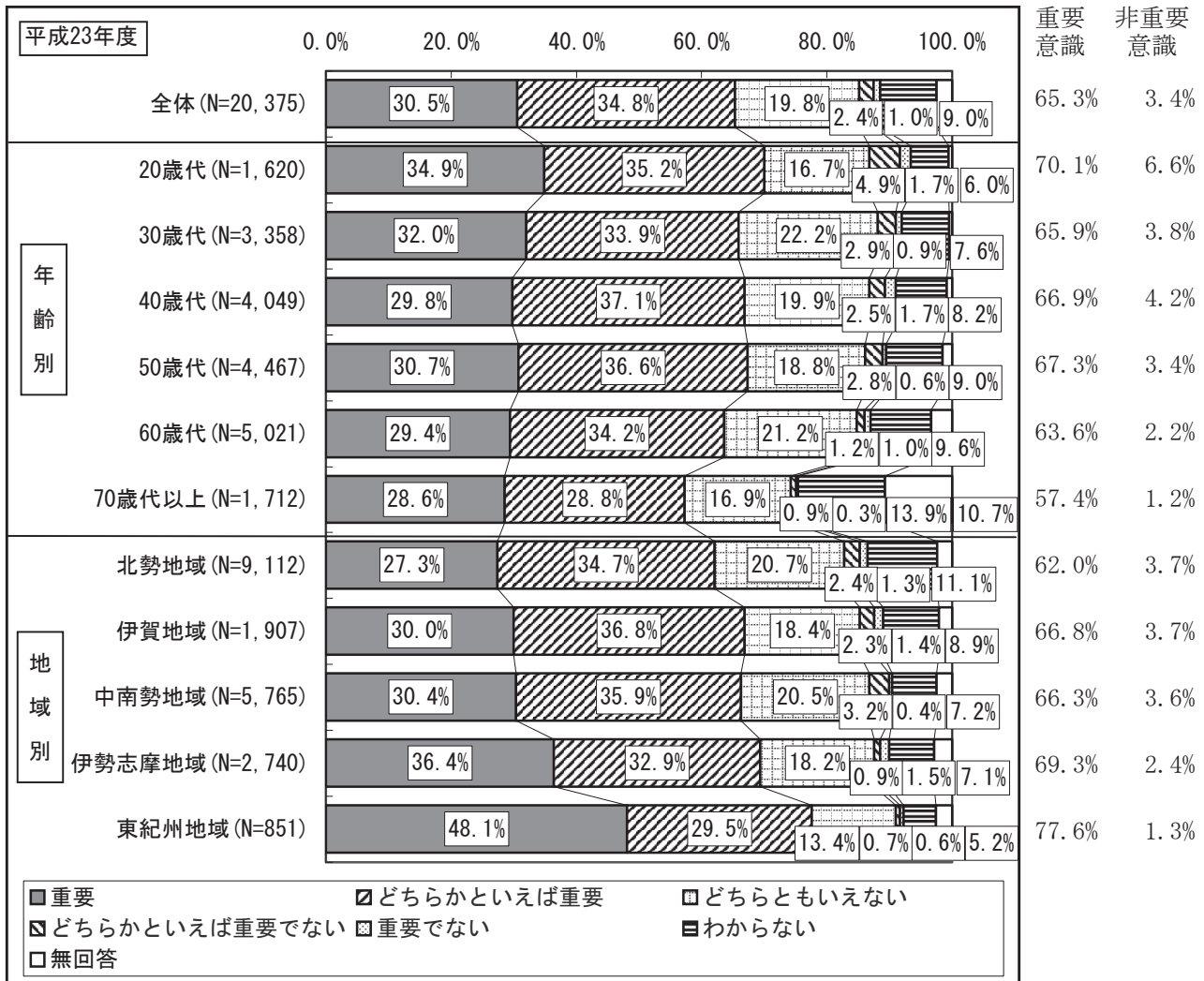
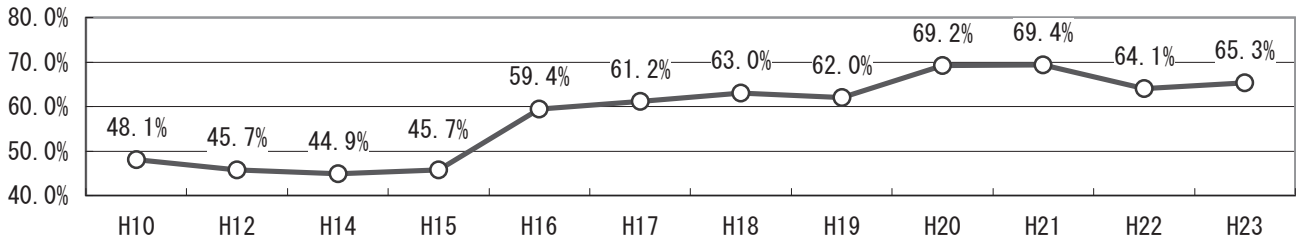


42) 過疎地域等の振興

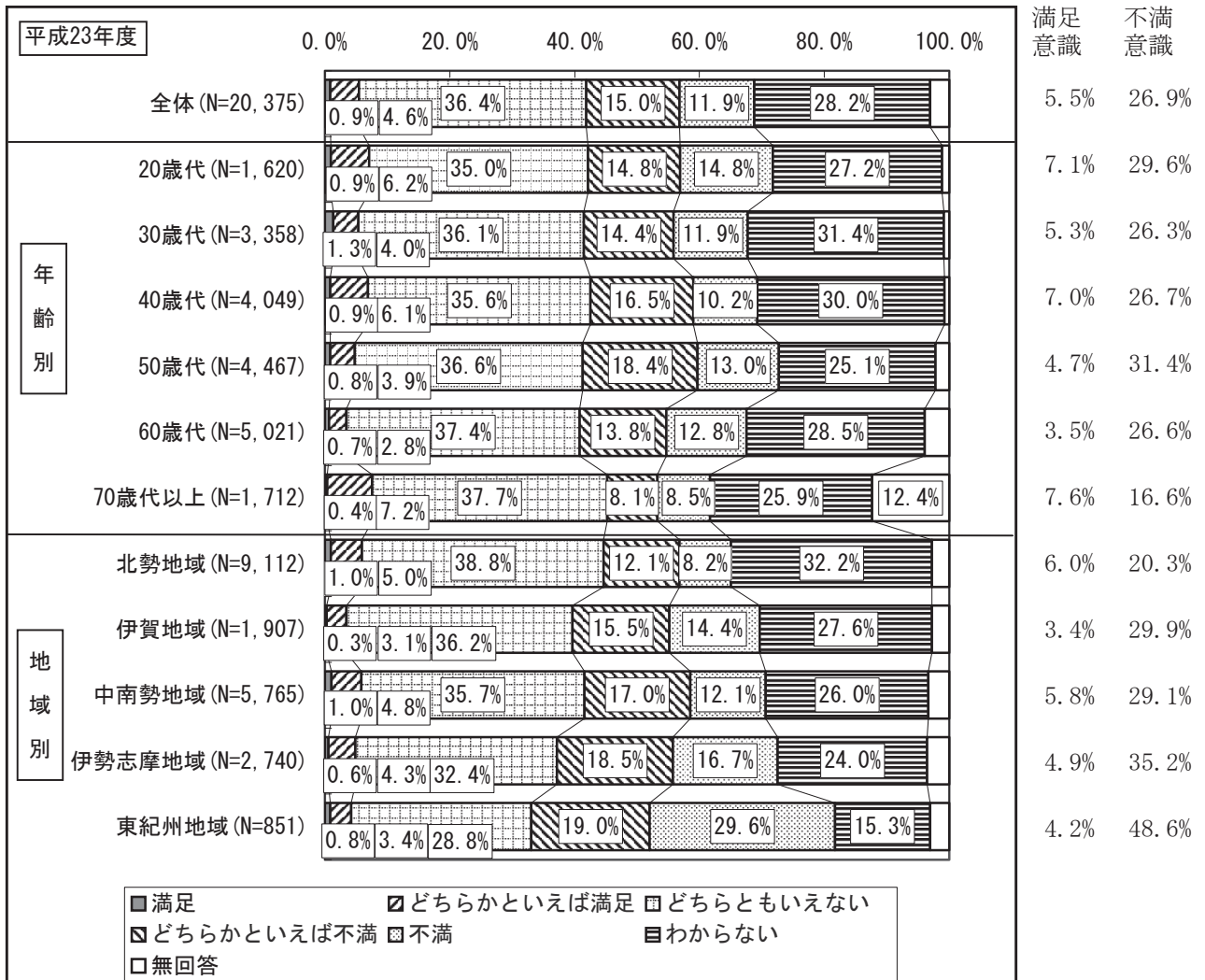
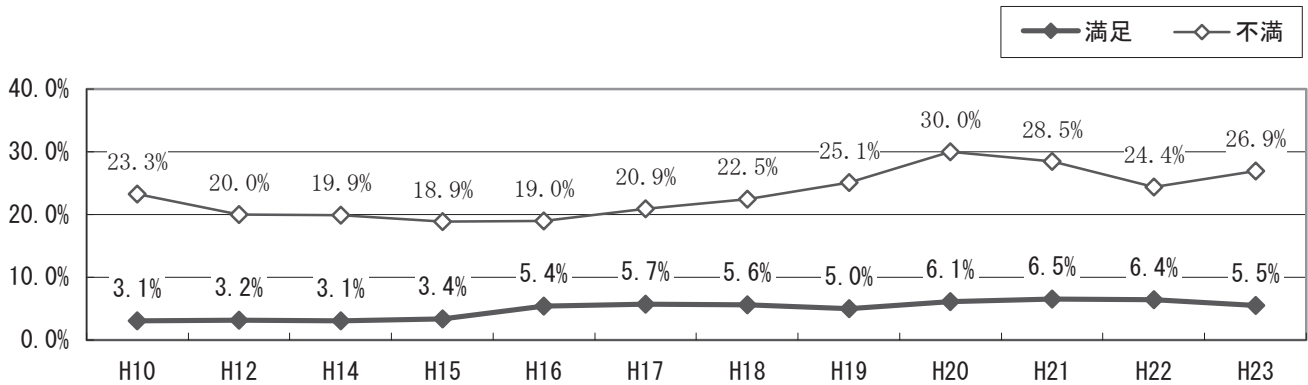
平成 15 年度までの表現	過疎地域や離島、半島地域の活性化
平成 16 年度以降の表現	過疎地域や離島等が活性化や地域おこしの取組を通じて魅力のある地域になっていること。

**重要意識** (集計資料 p.115)

12 回の推移



12回の推移



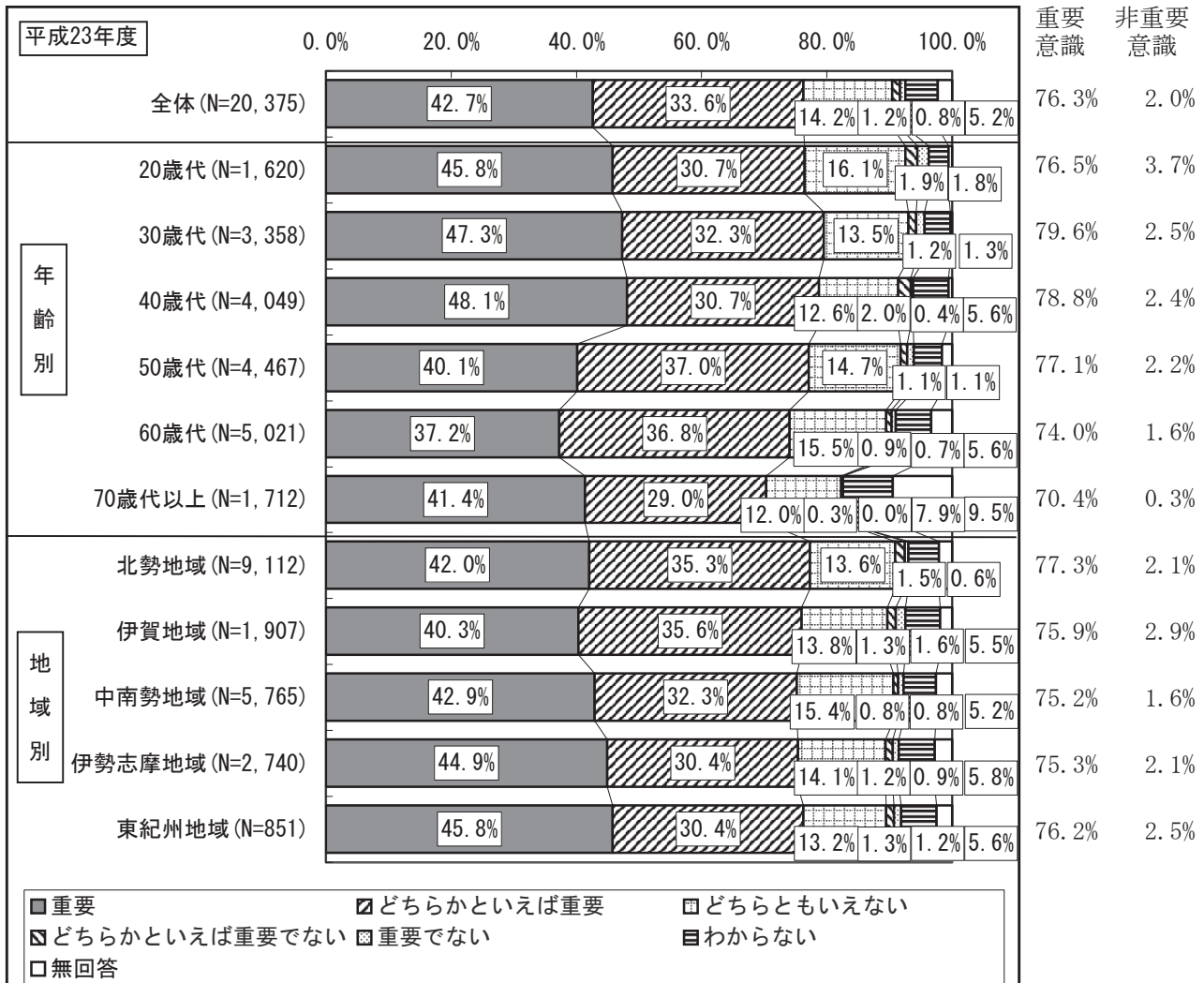
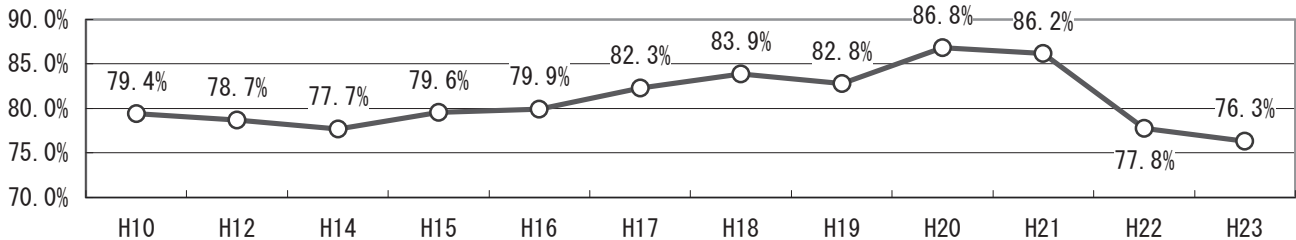
43) エネルギー

平成 15 年度までの表現	省エネルギー対策の推進、太陽光発電の普及など地球に優しいエネルギー対策
平成 16 年度以降の表現	省エネルギーの意識や、太陽光発電の普及など地球にやさしいエネルギー対策が進んでいること。

重要意識

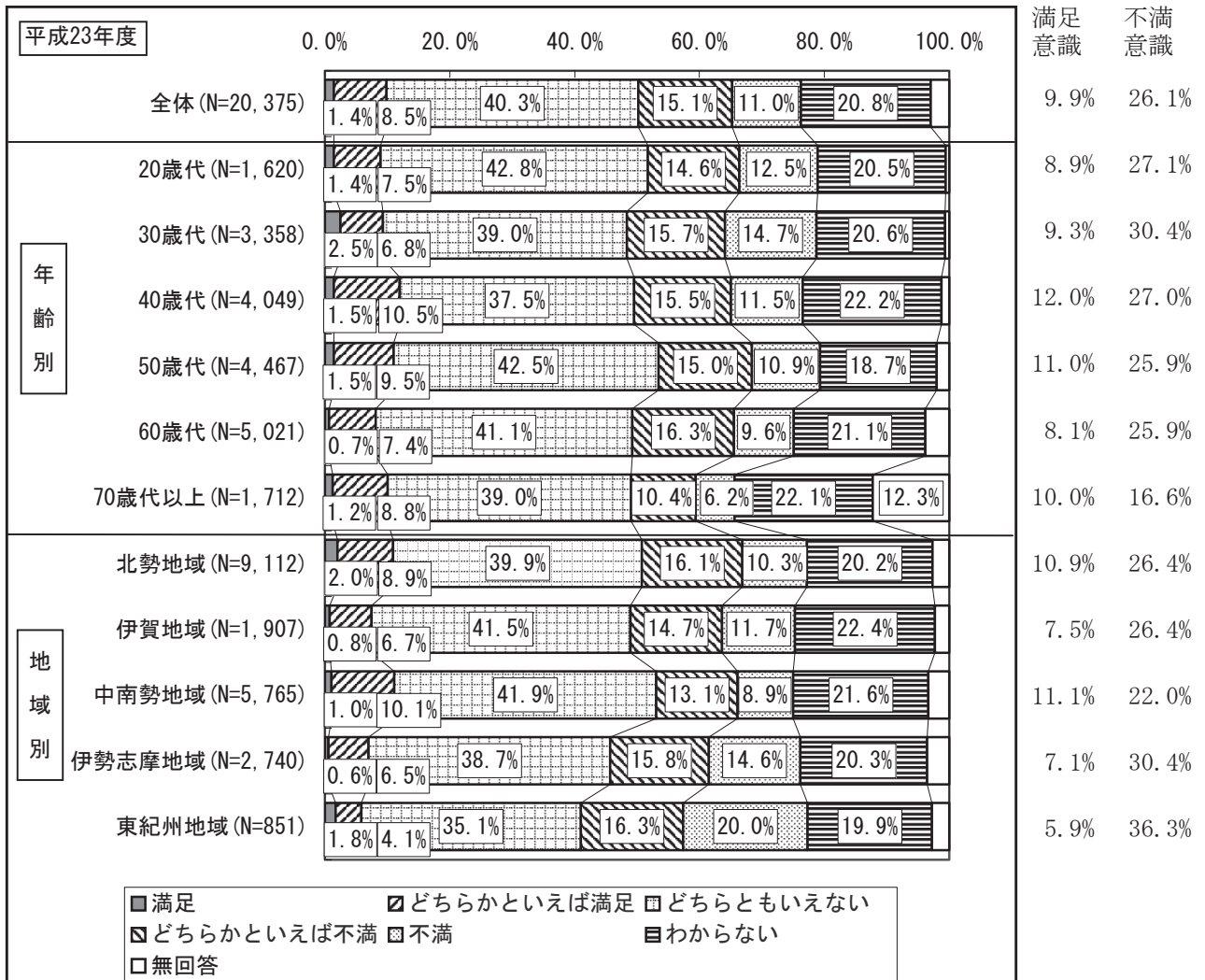
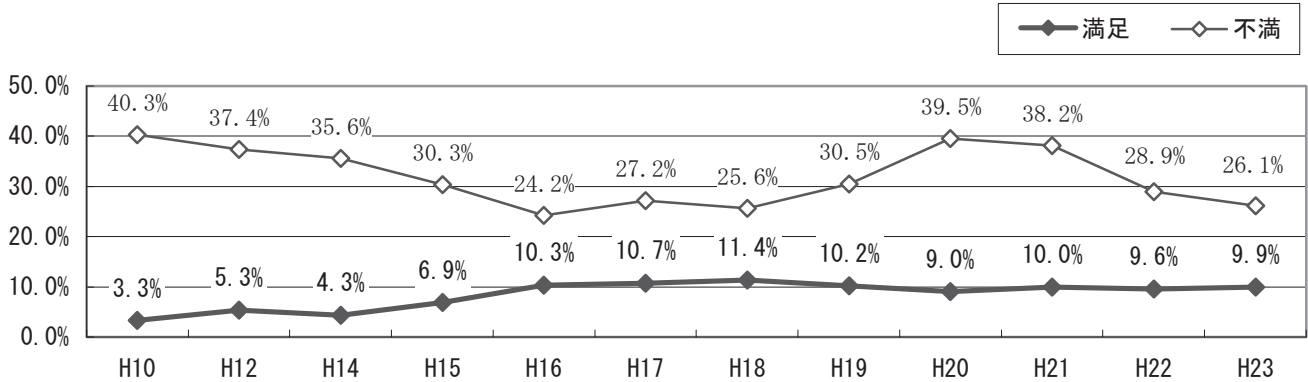
(集計資料 p.117)

12 回の推移





12回の推移

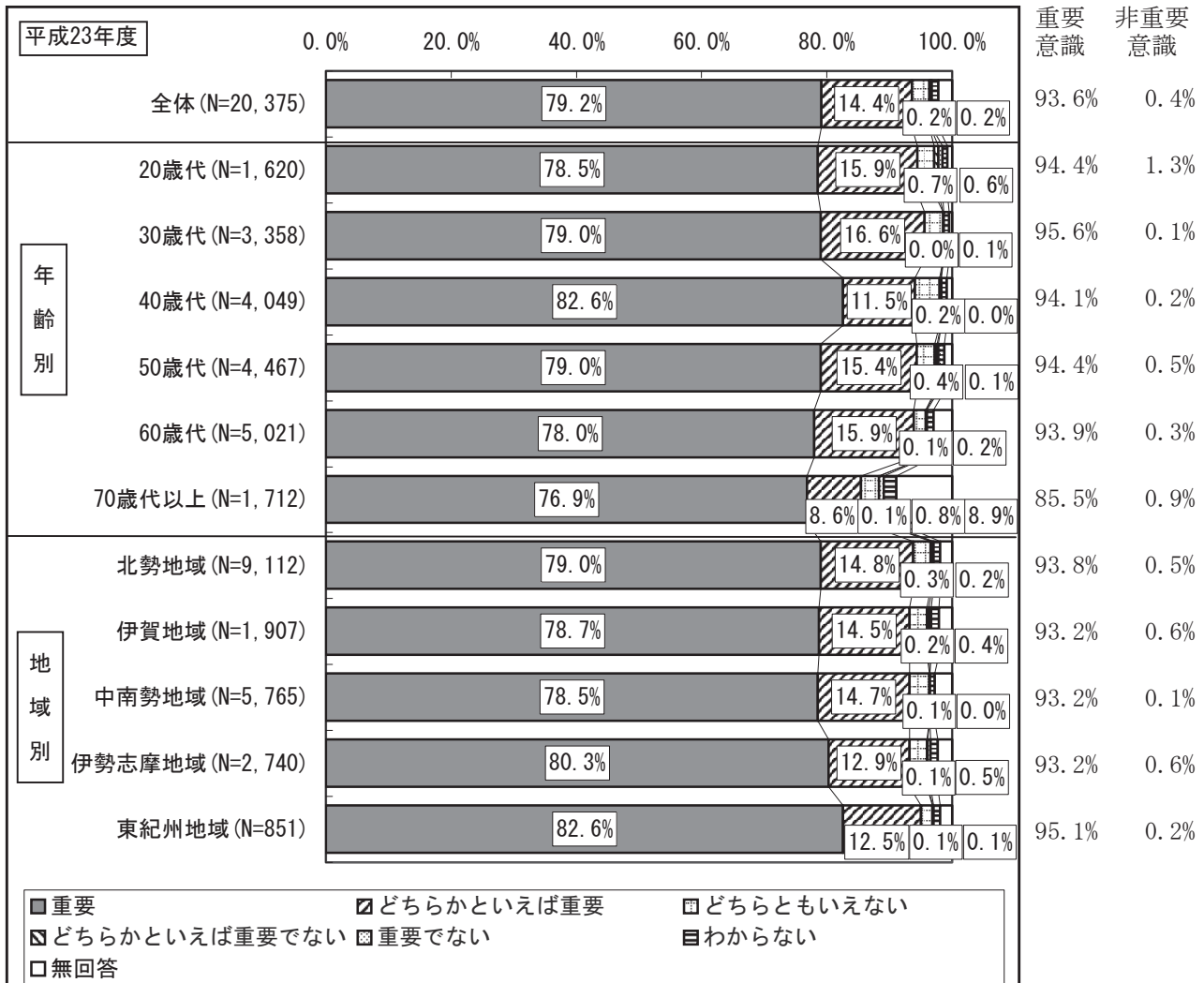
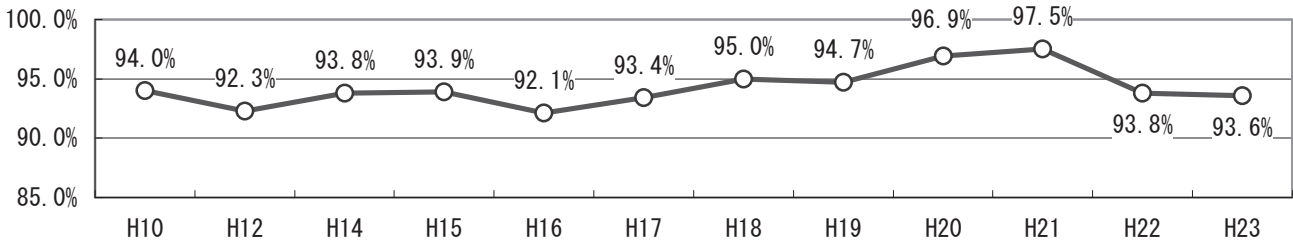


44) 飲料水の供給

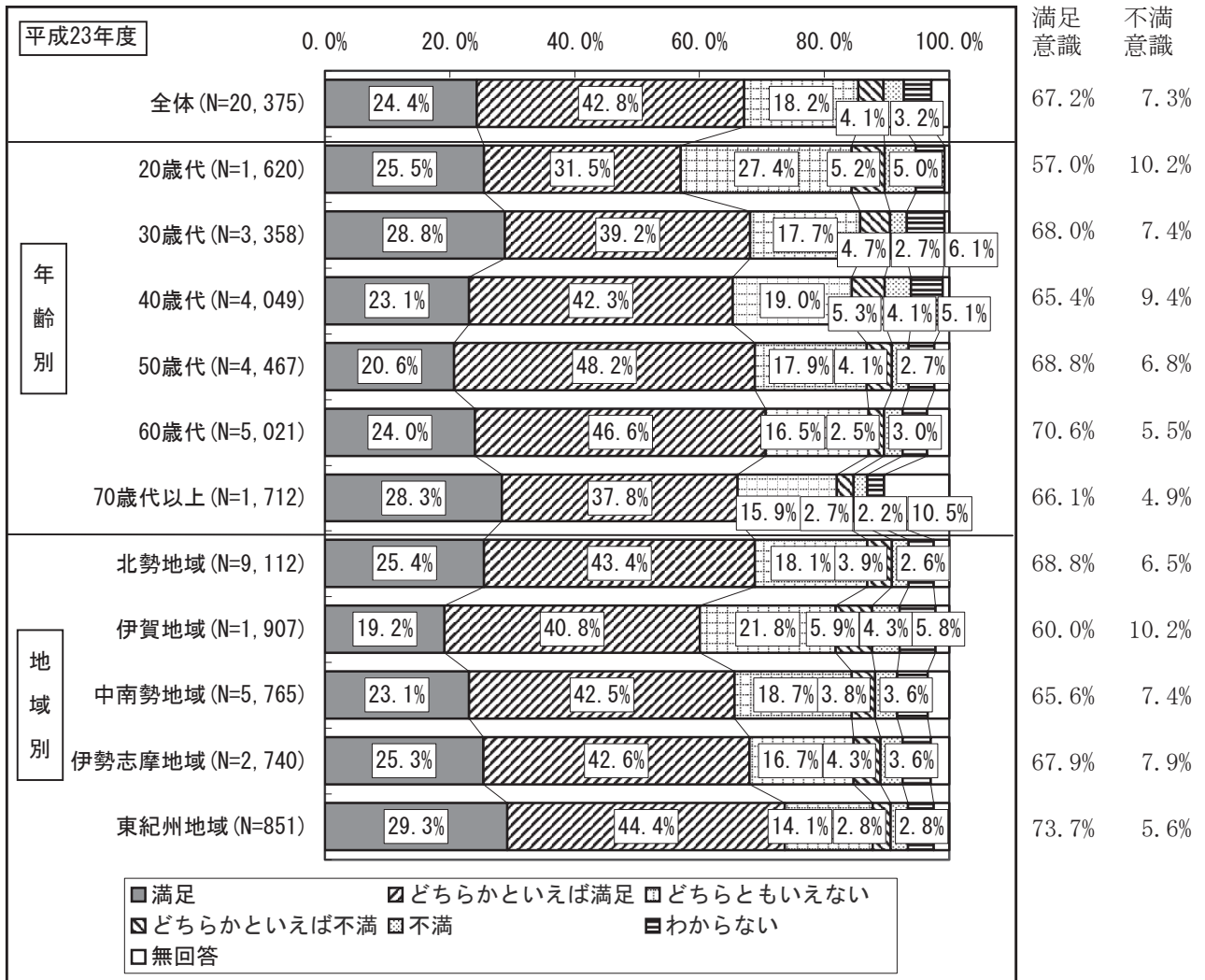
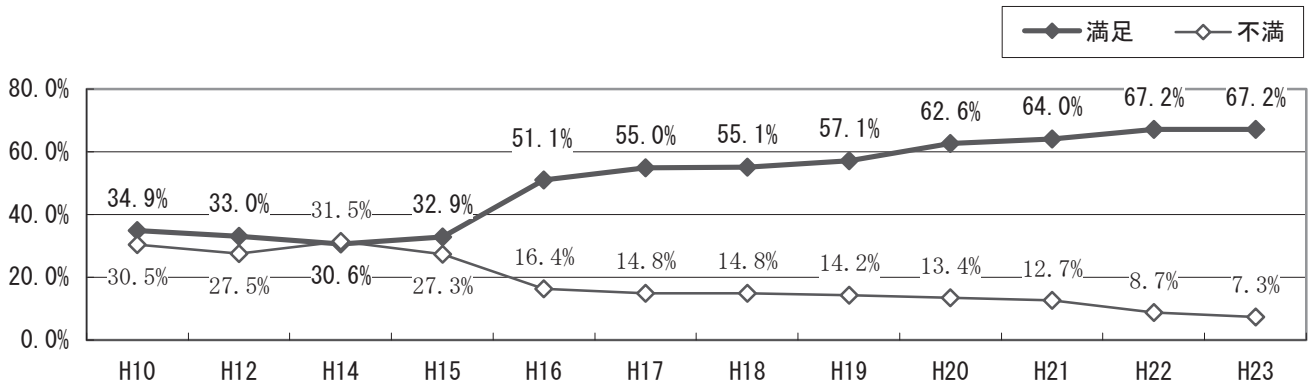
平成15年度までの表現	安心して飲める水の安定確保
平成16年度以降の表現	安心して飲める水が安定的に供給されること。

**重要意識** (集計資料 p.119)

12回の推移



12回の推移



## 2. 重要度、満足度について

### (1) 重要度と満足度の算出方法について

項目間の比較や、地域ごとの傾向の比較を容易にするため、各選択肢の構成比を1つの指標に置き換えることを考える。具体的には、各分野の取組の重要意識及び満足意識の各選択肢に重みをつけて得点化し、加重平均を算出したものをそれぞれ重要度・満足度とする。

表 得点配分

選択肢	得点
重要・満足	+2
どちらかといえば重要・どちらかといえば満足	+1
どちらともいえない	±0
どちらかといえば重要でない・どちらかといえば不満	-1
重要でない・不満	-2

$$\text{重要度 (満足度)} = \frac{\Sigma (\text{選択肢の回答数}) \times (\text{選択肢の得点})}{\text{「わからない」「無回答」を除く有効回答者数}}$$

この結果を基に44項目の重要度・満足度の現状や、重要度と満足度の関係等を分析する。

## (2) 重要度、満足度のプロット図について

重要度を縦軸に、満足度を横軸にとりて 44 項目の回答結果をプロットした。

44 項目の重要度と満足度のそれぞれの平均値 (重要度県平均値 1.35、満足度県平均値-0.08) によって分けられた 4 つのグループについて以下のように分類している。

なお、地域別による違い等を分析する際、県全体や他地域との比較を分かりやすくするため、ゾーン分けは県全体の平均ラインを用い、参考として図中に地域の重要度、満足度の平均ラインを一点鎖線で示している。

重要度	Bゾーン	Aゾーン
	<p>重要度：平均値より高い 満足度：平均値より高い</p> <p>今後も現在の水準を維持するため、着実に取組を推進する必要がある。</p>	<p>重要度：平均値より高い 満足度：平均値より低い</p> <p>特に取組の推進や改善に対する県民のニーズ（必要性）が高い項目と考えられ、従来の施策の取組方向について、さらに改善を検討する必要がある。</p>
	Dゾーン	Cゾーン
	<p>重要度：平均値より低い 満足度：平均値より高い</p> <p>現状どおりの着実な取組の推進とともに、施策の重要性についてさらに認知してもらえらる取組を進める必要があると考えられる。</p>	<p>重要度：平均値より低い 満足度：平均値より低い</p> <p>施策の重要性をさらに認知してもらえらるような取組とともに、従来の施策の取組方向の改善を検討する必要があると考えられる。</p>

満足度

### 3. 行政の取組 44 項目に対する重要度、満足度

平成 23 年度における行政の取組に対する重要度、満足度の結果は、以下のようになった。

重要度については、全ての項目でゼロ以上となっており、県民は 44 項目のいずれについても重要だと感じていることがわかる。また、満足度については多くの項目が負（マイナス）の値を示しており、特に「地域商工業」「雇用」の満足度は低くなっている。

表 平成 23 年度の重要度、満足度

順位	項目	重要度	前年比
1位	医療体制【くらし】	1.82	0.01
2位	飲料水の供給【くらし】	1.78	-0.02
3位	防犯【くらし】	1.77	0.00
4位	食の安全【くらし】	1.73	0.01
5位	学校教育【元気】	1.72	0.02
	雇用【元気】	1.72	0.02
7位	青少年の健全育成【元気】	1.71	-0.01
	災害対策【くらし】	1.71	0.02
10位	きれいな空気【くらし】	1.71	-0.01
	川や海の水質【くらし】	1.69	0.02
11位	地域での防災の取組【くらし】	1.68	0.03
	交通安全【くらし】	1.68	0.02
13位	子育て環境【くらし】	1.66	0.00
14位	福祉サービス【くらし】	1.60	0.00
15位	保健予防体制【くらし】	1.56	0.02
16位	人権尊重【元気】	1.55	0.01
17位	地球温暖化防止【くらし】	1.52	-0.01
18位	公共交通機関【絆】	1.41	0.04
19位	地域商工業【元気】	1.37	0.00
20位	快適なまちづくり【絆】	1.33	0.00
21位	道路の整備【絆】	1.31	0.06
22位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	1.30	0.03
	自然環境との共生【くらし】	1.30	-0.03
	農林水産業の振興【元気】	1.30	0.01
25位	生涯学習【元気】	1.27	0.01
	ごみの減量【くらし】	1.27	-0.06
	産業振興【元気】	1.27	0.03
29位	職業能力開発【元気】	1.27	0.01
	高等教育機関【絆】	1.25	0.03
31位	エネルギー【くらし】	1.25	-0.02
	観光【元気】	1.24	-0.02
32位	技術開発【元気】	1.16	0.01
33位	農山漁村づくり【絆】	1.12	-0.01
34位	広域交流・連携【絆】	1.10	0.04
	高速交通網【絆】	1.10	0.07
36位	情報ネットワーク【絆】	1.05	0.01
37位	過疎地域等の振興【絆】	1.03	0.03
38位	歴史・文化遺産【元気】	1.02	-0.01
39位	スポーツ・レクリエーション【元気】	1.00	0.01
40位	希少な生物【くらし】	0.98	-0.02
41位	市民活動【絆】	0.90	-0.01
42位	文化・芸術【元気】	0.84	-0.05
43位	国際化【絆】	0.78	0.01
44位	港の整備【絆】	0.68	0.05
	重要度平均	1.35	0.01

順位	項目	満足度	前年比
1位	飲料水の供給【くらし】	0.87	0.02
2位	食の安全【くらし】	0.59	0.07
	きれいな空気【くらし】	0.59	0.08
4位	自然環境との共生【くらし】	0.54	0.03
5位	情報ネットワーク【絆】	0.34	0.00
6位	保健予防体制【くらし】	0.23	0.09
7位	歴史・文化遺産【元気】	0.20	-0.03
8位	生涯学習【元気】	0.16	-0.13
9位	川や海の水質【くらし】	0.15	0.13
10位	人権尊重【元気】	0.13	-0.03
	希少な生物【くらし】	0.13	0.05
12位	市民活動【絆】	0.02	-0.06
	道路の整備【絆】	0.02	-0.03
14位	防犯【くらし】	0.00	0.06
15位	ごみの減量【くらし】	-0.01	-0.01
	観光【元気】	-0.01	0.01
17位	子育て環境【くらし】	-0.04	0.05
18位	災害対策【くらし】	-0.06	-0.05
19位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	-0.07	-0.04
	高速交通網【絆】	-0.07	-0.07
21位	地球温暖化防止【くらし】	-0.09	0.06
22位	学校教育【元気】	-0.10	0.01
	スポーツ・レクリエーション【元気】	-0.10	-0.05
	福祉サービス【くらし】	-0.10	0.01
25位	地域での防災の取組【くらし】	-0.12	-0.04
26位	青少年の健全育成【元気】	-0.13	0.07
	文化・芸術【元気】	-0.13	-0.03
28位	医療体制【くらし】	-0.14	-0.02
	広域交流・連携【絆】	-0.14	0.00
31位	港の整備【絆】	-0.14	-0.05
	国際化【絆】	-0.17	0.00
32位	高等教育機関【絆】	-0.21	0.01
33位	技術開発【元気】	-0.23	-0.03
34位	交通安全【くらし】	-0.24	-0.02
35位	快適なまちづくり【絆】	-0.31	-0.05
36位	エネルギー【くらし】	-0.34	0.04
37位	農山漁村づくり【絆】	-0.37	-0.07
38位	産業振興【元気】	-0.41	-0.04
39位	公共交通機関【絆】	-0.43	-0.04
40位	過疎地域等の振興【絆】	-0.47	-0.09
41位	農林水産業の振興【元気】	-0.50	-0.03
42位	職業能力開発【元気】	-0.55	-0.03
43位	雇用【元気】	-0.84	-0.06
44位	地域商工業【元気】	-0.89	0.04
	満足度平均	-0.08	-0.01

## 4. 重要度、満足度プロット図

### (1) 重要度、満足度プロット図

図 重要度と満足度の関係（平成 23 年度）

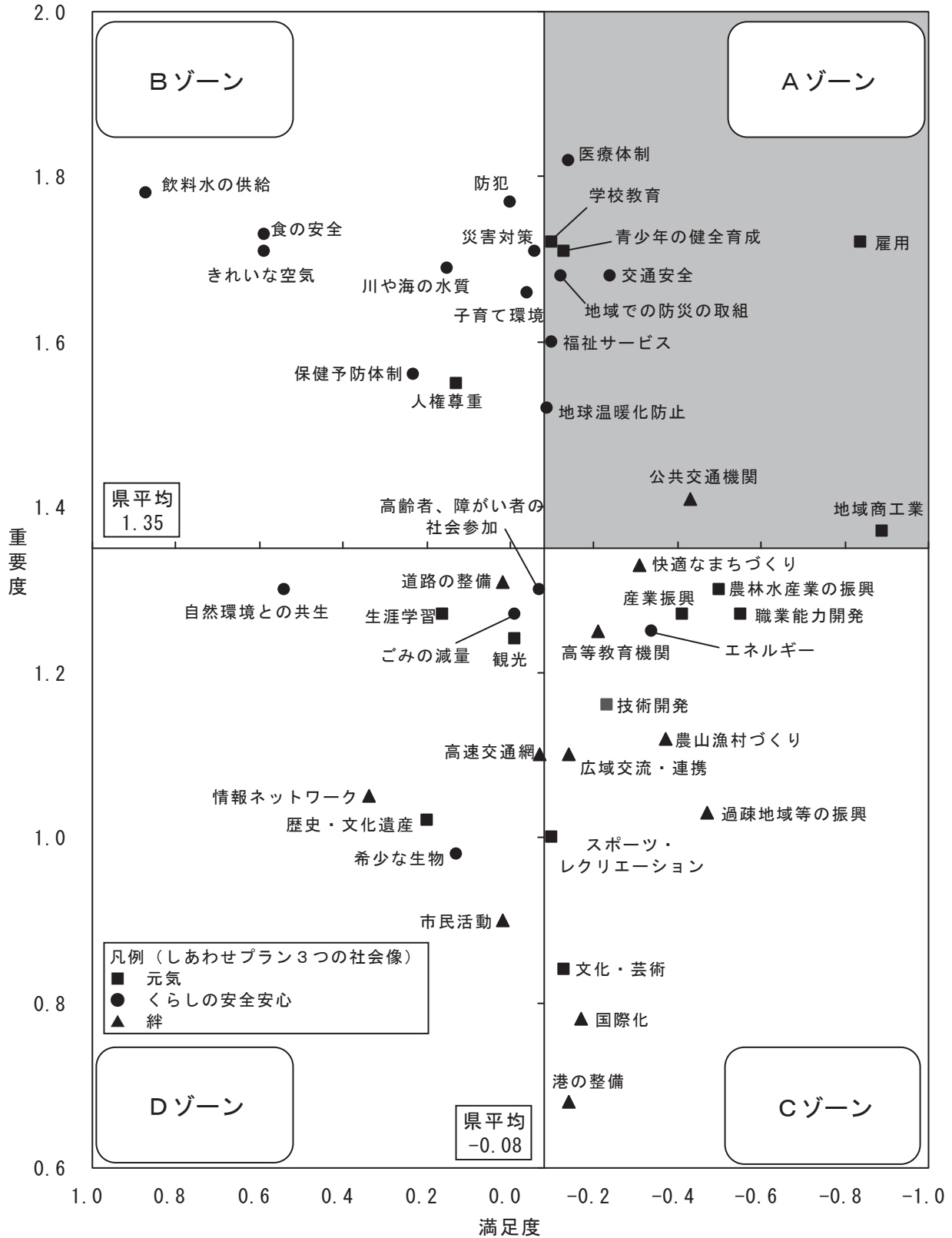
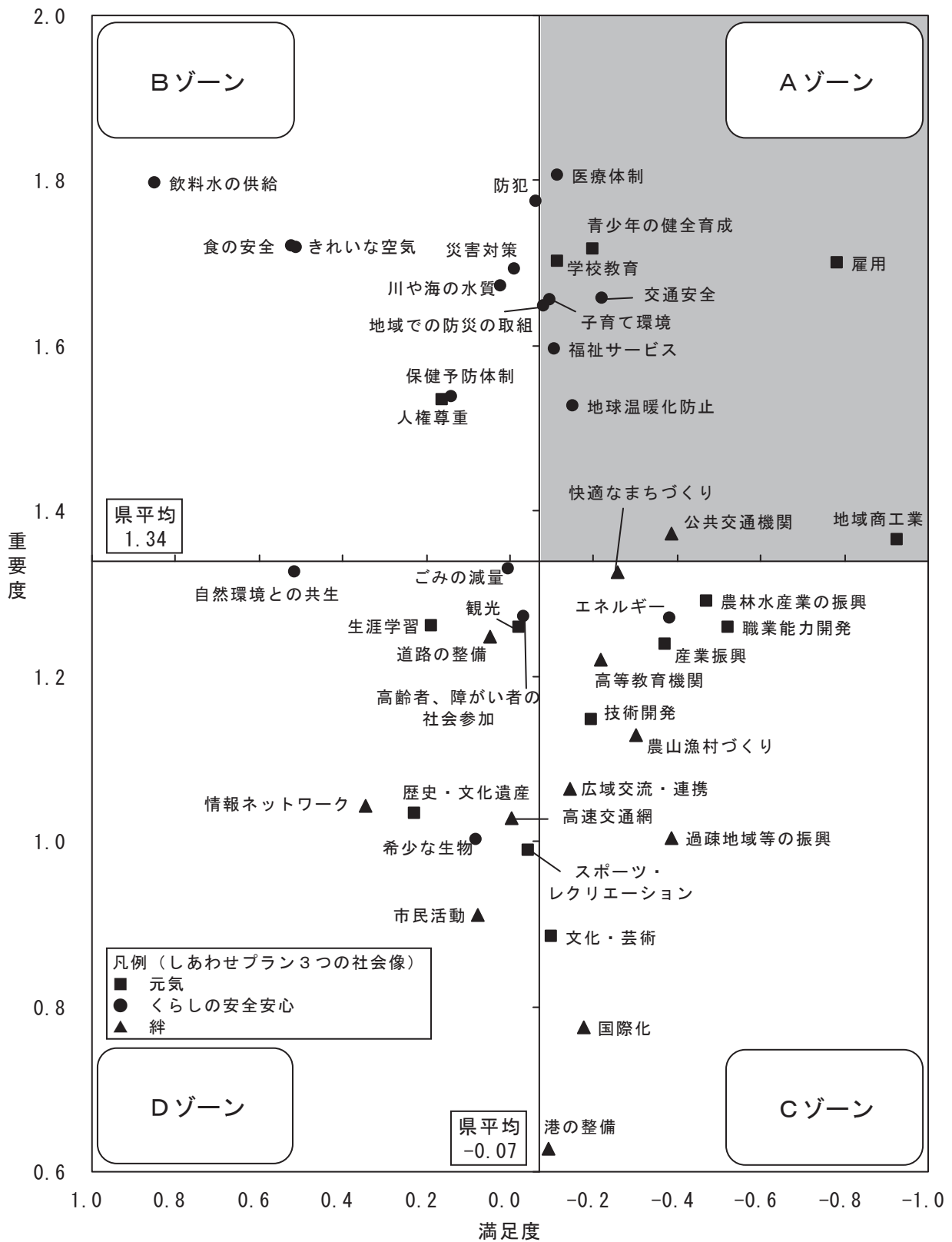


図 重要度と満足度の関係（平成 22 年度）





図は縦軸に重要度、横軸に満足度をとって、各項目をプロットしたものである。この中で特に注目すべき部分は、重要度が高く満足度が低い（不満足度が高い）項目であり、これらはグラフの右上方に位置している（Aゾーン）。これらの取組については特に推進や改善に対する住民のニーズが高いものである。

今回調査における県民ニーズの高い項目（Aゾーンに位置する項目）は、「医療体制」「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」「雇用」「福祉サービス」「地球温暖化防止」「公共交通機関」「地域商工業」の10項目である。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する18項目のうち13項目が重要度の平均値以上の位置にあり、県民が安全や安心に非常に関心を持っていることがうかがえる。その中で、満足度が低い項目は「福祉サービス」「医療体制」「地域での防災の取組」「交通安全」などとなっている。

「元気」に関する項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「雇用」「地域商工業」がAゾーンに位置し、県民ニーズが高いと考えられる。

また、「人権尊重」「災害対策」「食の安全」「保健予防体制」「きれいな空気」「飲料水の供給」「川や海の水質」「防犯」「子育て環境」は、重要度、満足度ともに平均値以上であるBゾーンに位置しており、今後も着実に推進していく必要がある。

## （２）平成22年度との比較

平成22年度の重要度、満足度と比較すると、重要度の平均値は0.01ポイント高く、満足度の平均値は0.01ポイント低くなった。

各項目のゾーンの移動については、次の表の通り。

ゾーンの移動	項目
重要度が高く、満足度が平均値より高くなった項目 (Aゾーン→Bゾーン)	「子育て環境」
重要度が低く、満足度が平均値より低くなった項目 (Dゾーン→Cゾーン)	「スポーツ・レクリエーション」

重要度の増加の幅が大きい項目は、「高速交通網」（0.07ポイント増加）、「道路の整備」（0.06ポイント増加）、「港の整備」（0.05ポイント増加）などとなっている。また、重要度の減少の幅が大きい項目は、「ごみの減量」（0.06ポイント減少）、「文化・芸術」（0.05ポイント減少）などとなっている。

満足度の増加の幅が大きい項目は、「川や海の水質」（0.13ポイント増加）、「保健予防体制」（0.09ポイント増加）、「きれいな空気」（0.08ポイント増加）などとなっている。また、満足度が0.1ポイント以上減少した項目はなかった。

重要度・満足度のいずれかで変化が大きい上位5位までに入っている項目について、推移を図示する。

図 平成22年度から平成23年度の推移で変化の大きい項目

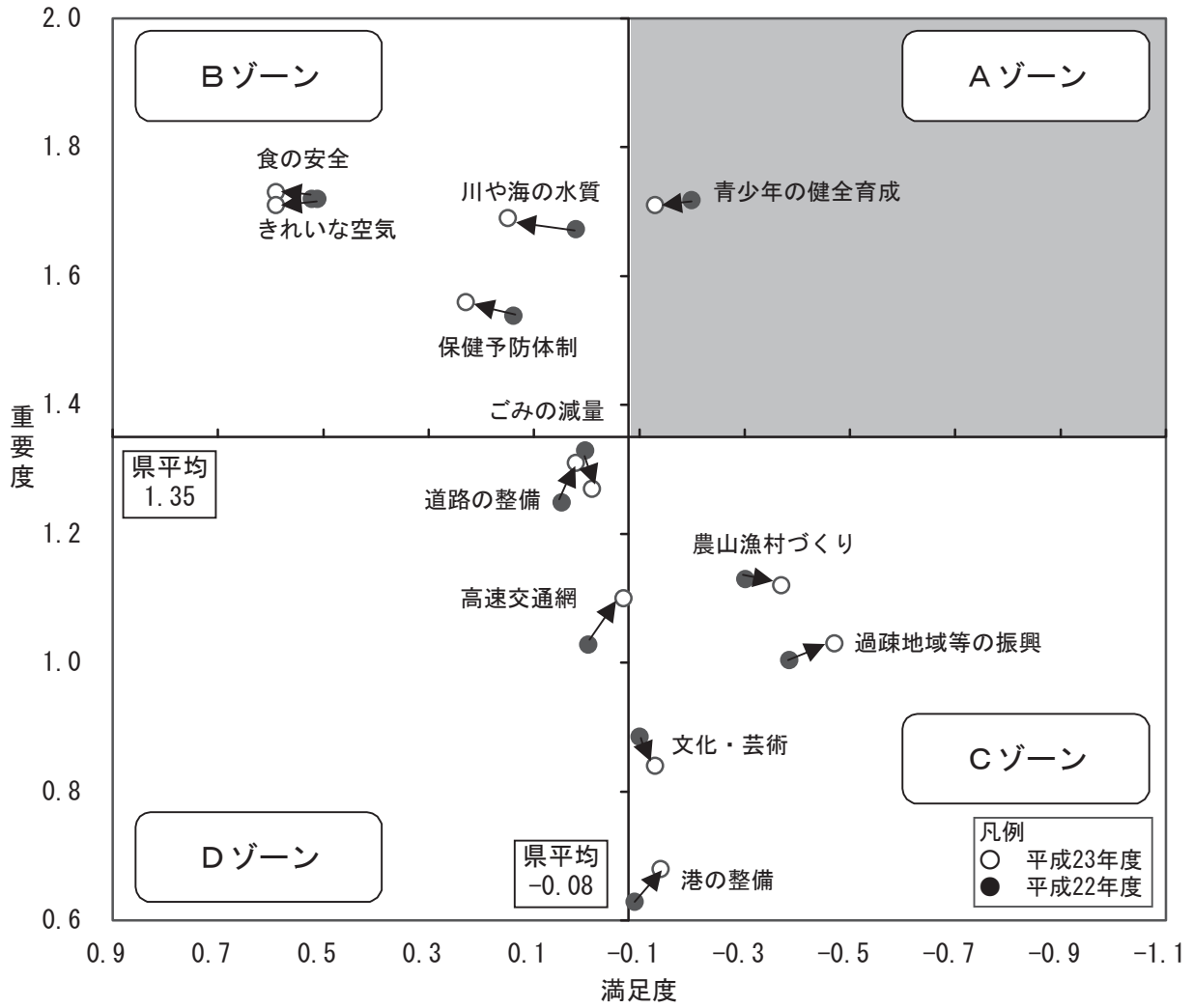


表 重要度の変化が大きい項目

	重要度		増減
	H23	H22	
36. 高速交通網	1.10	1.03	0.07
37. 道路の整備	1.31	1.25	0.06
22. ごみの減量	1.27	1.33	-0.06
39. 港の整備	0.68	0.63	0.05
07. 文化・芸術	0.84	0.89	-0.05

表 満足度の変化が大きい項目

	満足度		増減
	H23	H22	
24. 川や海の水質	0.15	0.02	0.13
16. 保健予防体制	0.23	0.14	0.09
42. 過疎地域等の振興	-0.47	-0.38	-0.09
23. きれいな空気	0.59	0.51	0.08
04. 青少年の健全育成	-0.13	-0.20	0.07
41. 農山漁村づくり	-0.37	-0.30	-0.07
14. 食の安全	0.59	0.52	0.07
36. 高速交通網	-0.07	0.00	-0.07

### (3) 重要度と満足度の関係の推移（地域別）

重要度と満足度について、今回と前回（平成 22 年度）、さらに 5 年前の平成 18 年度の 3 カ年について各地域ごとに比較を行った。以下は分析結果の概要である。

重要度・満足度の増減のある項目が多い場合は、0.1 ポイント以上の増減がある項目のみを記載している。

#### <県全体の重要度と満足度の推移>

- ・「きれいな空気」「川や海の水質」「食の安全」「防犯」「飲料水の供給」「青少年の健全育成」「地球温暖化防止」「子育て環境」「自然環境との共生」「学校教育」「希少な生物」等では、一貫して満足度が上がっている。
- ・「産業振興」「職業能力開発」「高速交通網」「港の整備」「農林水産業の振興」「雇用」「過疎地域等の振興」「農山漁村づくり」「技術開発」「公共交通機関」等では、一貫して満足度が下がっている。
- ・一貫して重要度が上がっている項目で、0.1 ポイント以上の変化がある項目はない。
- ・「ごみの減量」「エネルギー」「地球温暖化防止」では、一貫して重要度が下がっている。

#### <地域別の重要度と満足度の推移>（集計資料 p. 136～140）

##### 【北勢地域】

満足度が上がっているもの……「川や海の水質」「きれいな空気」「飲料水の供給」「食の安全」「防犯」「青少年の健全育成」「地球温暖化防止」「自然環境との共生」「希少な生物」「保健予防体制」「情報ネットワーク」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
24. 川や海の水質	1.75	1.65	1.68	-0.45	-0.07	0.07	0.52
23. きれいな空気	1.78	1.72	1.70	-0.13	0.30	0.38	0.51
44. 飲料水の供給	1.86	1.79	1.77	0.44	0.85	0.91	0.47
14. 食の安全	1.73	1.71	1.74	0.15	0.48	0.59	0.44
13. 防犯	1.85	1.76	1.79	-0.46	-0.11	-0.07	0.39
04. 青少年の健全育成	1.74	1.71	1.71	-0.48	-0.19	-0.17	0.31
25. 地球温暖化防止	1.71	1.53	1.53	-0.42	-0.20	-0.18	0.24
20. 自然環境との共生	1.36	1.30	1.28	0.22	0.41	0.43	0.21
21. 希少な生物	1.09	1.02	0.99	-0.05	0.10	0.14	0.19
16. 保健予防体制	1.58	1.53	1.59	0.14	0.19	0.29	0.15
35. 情報ネットワーク	1.06	1.01	1.02	0.27	0.37	0.41	0.14

満足度が下がっているもの……「産業振興」「港の整備」「高速交通網」「職業能力開発」「農林水産業の振興」「農山漁村づくり」「地域商工業」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
27. 産業振興	1.18	1.21	1.28	0.04	-0.15	-0.26	-0.30
39. 港の整備	0.78	0.64	0.70	0.05	-0.07	-0.16	-0.21
36. 高速交通網	1.09	1.00	1.12	0.29	0.12	0.10	-0.19
32. 職業能力開発	1.22	1.23	1.25	-0.26	-0.35	-0.43	-0.17
26. 農林水産業の振興	1.19	1.26	1.27	-0.27	-0.34	-0.44	-0.17
41. 農山漁村づくり	1.02	1.08	1.08	-0.15	-0.16	-0.28	-0.13
30. 地域商工業	1.29	1.33	1.35	-0.64	-0.73	-0.74	-0.10

重要度が上がっているもの……「産業振興」「公共交通機関」「農林水産業の振興」「地域商工業」「技術開発」「職業能力開発」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
27. 産業振興	1.18	1.21	1.28	0.04	-0.15	-0.26	0.10
38. 公共交通機関	1.36	1.39	1.44	-0.21	-0.22	-0.26	0.08
26. 農林水産業の振興	1.19	1.26	1.27	-0.27	-0.34	-0.44	0.08
30. 地域商工業	1.29	1.33	1.35	-0.64	-0.73	-0.74	0.06
29. 技術開発	1.11	1.14	1.16	-0.05	-0.04	-0.11	0.05
32. 職業能力開発	1.22	1.23	1.25	-0.26	-0.35	-0.43	0.03

重要度が下がっているもの……「ごみの減量」「エネルギー」「地球温暖化防止」「市民活動」「希少な生物」「歴史・文化遺産」「国際化」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
22. ごみの減量	1.51	1.32	1.28	-0.15	0.02	-0.03	-0.23
43. エネルギー	1.47	1.27	1.25	-0.28	-0.33	-0.31	-0.22
25. 地球温暖化防止	1.71	1.53	1.53	-0.42	-0.20	-0.18	-0.18
06. 市民活動	0.99	0.94	0.87	0.04	0.13	0.02	-0.12
21. 希少な生物	1.09	1.02	0.99	-0.05	0.10	0.14	-0.10
08. 歴史・文化遺産	1.07	0.99	0.97	0.14	0.23	0.19	-0.10
33. 国際化	0.91	0.79	0.81	-0.15	-0.11	-0.12	-0.10

#### 【伊賀地域】

満足度が上がっているもの……「きれいな空気」「食の安全」「川や海の水質」「青少年の健全育成」「自然環境との共生」「交通安全」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
23. きれいな空気	1.76	1.73	1.67	0.31	0.74	0.76	0.45
14. 食の安全	1.73	1.72	1.69	0.14	0.52	0.54	0.40
24. 川や海の水質	1.76	1.68	1.65	-0.17	0.15	0.17	0.34
04. 青少年の健全育成	1.76	1.73	1.64	-0.47	-0.18	-0.15	0.32
20. 自然環境との共生	1.31	1.33	1.30	0.54	0.69	0.70	0.16
12. 交通安全	1.74	1.66	1.65	-0.39	-0.27	-0.27	0.12

満足度が下がっているもの……「医療体制」「産業振興」「雇用」「過疎地域等の振興」「保健予防体制」「公共交通機関」「農山漁村づくり」「福祉サービス」「高速交通網」「農林水産業の振興」「広域交流・連携」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
18. 医療体制	1.83	1.86	1.86	-0.44	-0.73	-1.06	-0.62
27. 産業振興	1.13	1.26	1.20	-0.23	-0.42	-0.48	-0.25
31. 雇用	1.69	1.74	1.70	-0.72	-0.94	-0.95	-0.23
42. 過疎地域等の振興	0.96	1.09	1.03	-0.41	-0.46	-0.58	-0.17
16. 保健予防体制	1.59	1.59	1.51	0.20	0.05	0.03	-0.17
38. 公共交通機関	1.36	1.44	1.45	-0.54	-0.70	-0.70	-0.16
41. 農山漁村づくり	1.10	1.21	1.08	-0.29	-0.39	-0.45	-0.16
19. 福祉サービス	1.59	1.63	1.59	-0.07	-0.21	-0.23	-0.16
36. 高速交通網	1.05	1.05	1.06	-0.26	-0.31	-0.38	-0.12
26. 農林水産業の振興	1.22	1.28	1.17	-0.43	-0.53	-0.55	-0.12
34. 広域交流・連携	1.22	1.19	1.10	-0.13	-0.22	-0.23	-0.10

重要度が上がっているもの……「公共交通機関」「道路の整備」「医療体制」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
38. 公共交通機関	1.36	1.44	1.45	-0.54	-0.70	-0.70	0.09
37. 道路の整備	1.23	1.29	1.30	-0.22	-0.11	-0.24	0.07
18. 医療体制	1.83	1.86	1.86	-0.44	-0.73	-1.06	0.03

重要度が下がっているもの……「ごみの減量」「エネルギー」「地球温暖化防止」「スポーツ・レクリエーション」「市民活動」「青少年の健全育成」「広域交流・連携」「川や海の水質」「人権尊重」「生涯学習」「港の整備」「国際化」「歴史・文化遺産」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
22. ごみの減量	1.50	1.32	1.18	-0.11	0.05	0.02	-0.32
43. エネルギー	1.44	1.26	1.21	-0.35	-0.42	-0.40	-0.23
25. 地球温暖化防止	1.65	1.49	1.44	-0.32	-0.01	-0.03	-0.21
09. スポーツ・レクリエーション	1.13	1.02	0.93	-0.21	-0.07	-0.20	-0.20
06. 市民活動	1.00	0.95	0.83	-0.02	0.11	0.02	-0.17
04. 青少年の健全育成	1.76	1.73	1.64	-0.47	-0.18	-0.15	-0.12
34. 広域交流・連携	1.22	1.19	1.10	-0.13	-0.22	-0.23	-0.12
24. 川や海の水質	1.76	1.68	1.65	-0.17	0.15	0.17	-0.11
01. 人権尊重	1.61	1.54	1.50	0.08	0.17	0.09	-0.11
02. 生涯学習	1.30	1.22	1.19	0.02	0.05	-0.06	-0.11
39. 港の整備	0.73	0.69	0.62	-0.03	-0.01	-0.09	-0.11
33. 国際化	0.82	0.79	0.71	-0.19	-0.19	-0.24	-0.11
08. 歴史・文化遺産	1.16	1.11	1.06	0.17	0.30	0.21	-0.10

#### 【中南勢地域】

満足度が上がっているもの……「きれいな空気」「川や海の水質」「防犯」「食の安全」「青少年の健全育成」「飲料水の供給」「地球温暖化防止」「自然環境との共生」「学校教育」「交通安全」「希少な生物」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
23. きれいな空気	1.79	1.69	1.71	0.14	0.53	0.65	0.51
24. 川や海の水質	1.78	1.67	1.68	-0.31	-0.06	0.10	0.41
13. 防犯	1.83	1.79	1.79	-0.38	-0.13	0.01	0.39
14. 食の安全	1.74	1.72	1.72	0.21	0.53	0.58	0.37
04. 青少年の健全育成	1.79	1.73	1.72	-0.44	-0.29	-0.12	0.32
44. 飲料水の供給	1.83	1.81	1.78	0.57	0.84	0.85	0.28
25. 地球温暖化防止	1.69	1.50	1.53	-0.30	-0.19	-0.05	0.25
20. 自然環境との共生	1.37	1.30	1.29	0.32	0.47	0.52	0.20
03. 学校教育	1.76	1.69	1.73	-0.26	-0.22	-0.08	0.18
12. 交通安全	1.73	1.69	1.70	-0.39	-0.29	-0.27	0.12
21. 希少な生物	1.07	0.96	0.95	-0.04	-0.02	0.07	0.11

満足度が下がっているもの……「高速交通網」「技術開発」「公共交通機関」「港の整備」「農山漁村づくり」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
36. 高速交通網	1.09	1.01	1.08	0.20	0.15	-0.01	-0.21
29. 技術開発	1.19	1.11	1.15	-0.12	-0.27	-0.28	-0.16
38. 公共交通機関	1.30	1.33	1.38	-0.28	-0.33	-0.41	-0.13
39. 港の整備	0.76	0.58	0.67	0.11	0.00	-0.01	-0.12
41. 農山漁村づくり	1.13	1.10	1.12	-0.26	-0.37	-0.38	-0.12

重要度が上がっているもの……「公共交通機関」「職業能力開発」「雇用」「観光」「産業振興」「文化・芸術」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
38. 公共交通機関	1.30	1.33	1.38	-0.28	-0.33	-0.41	0.08
32. 職業能力開発	1.21	1.24	1.28	-0.33	-0.53	-0.50	0.07
31. 雇用	1.66	1.71	1.71	-0.69	-0.90	-0.81	0.05
28. 観光	1.19	1.23	1.24	-0.02	-0.11	-0.01	0.05
27. 産業振興	1.19	1.21	1.22	-0.09	-0.47	-0.43	0.03
07. 文化・芸術	0.87	0.88	0.89	-0.10	-0.01	-0.07	0.02

重要度が下がっているもの……「ごみの減量」「エネルギー」「希少な生物」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
22. ごみの減量	1.54	1.33	1.28	-0.10	-0.06	-0.03	-0.26
43. エネルギー	1.48	1.26	1.25	-0.17	-0.35	-0.25	-0.23
21. 希少な生物	1.07	0.96	0.95	-0.04	-0.02	0.07	-0.12

### 【伊勢志摩地域】

満足度が上がっているもの……「川や海の水質」「きれいな空気」「防犯」「食の安全」「青少年の健全育成」「観光」「地球温暖化防止」「学校教育」「希少な生物」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
24. 川や海の水質	1.77	1.73	1.71	-0.10	0.21	0.32	0.42
23. きれいな空気	1.77	1.75	1.73	0.43	0.80	0.83	0.40
13. 防犯	1.85	1.77	1.73	-0.25	0.06	0.10	0.35
14. 食の安全	1.76	1.75	1.70	0.27	0.58	0.62	0.35
04. 青少年の健全育成	1.73	1.71	1.69	-0.36	-0.11	-0.04	0.32
28. 観光	1.40	1.42	1.38	-0.29	-0.10	0.01	0.30
25. 地球温暖化防止	1.68	1.57	1.54	-0.19	-0.13	0.00	0.19
03. 学校教育	1.70	1.69	1.69	-0.19	-0.09	-0.06	0.13
21. 希少な生物	1.01	1.06	1.01	0.04	0.08	0.15	0.11

満足度が下がっているもの……「雇用」「高速交通網」「過疎地域等の振興」「道路の整備」「生涯学習」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
31. 雇用	1.73	1.78	1.74	-0.86	-1.09	-1.10	-0.24
36. 高速交通網	1.07	1.02	1.01	-0.06	-0.23	-0.28	-0.22
42. 過疎地域等の振興	1.01	1.11	1.13	-0.45	-0.57	-0.64	-0.19
37. 道路の整備	1.28	1.25	1.26	-0.01	-0.11	-0.14	-0.13
02. 生涯学習	1.23	1.31	1.24	0.18	0.13	0.08	-0.10

重要度が上がっているもの……「過疎地域等の振興」「情報ネットワーク」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
42. 過疎地域等の振興	1.01	1.11	1.13	-0.45	-0.57	-0.64	0.12
35. 情報ネットワーク	1.02	1.04	1.06	0.20	0.31	0.29	0.04

重要度が下がっているもの……「ごみの減量」「エネルギー」「スポーツ・レクリエーション」「地球温暖化防止」「防犯」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
22. ごみの減量	1.49	1.34	1.28	-0.04	0.00	0.03	-0.21
43. エネルギー	1.45	1.31	1.28	-0.34	-0.55	-0.49	-0.17
09. スポーツ・レクリエーション	1.08	1.00	0.93	-0.09	-0.12	-0.17	-0.15
25. 地球温暖化防止	1.68	1.57	1.54	-0.19	-0.13	0.00	-0.14
13. 防犯	1.85	1.77	1.73	-0.25	0.06	0.10	-0.12

【東紀州地域】

満足度が上がっているもの……「地球温暖化防止」「飲料水の供給」「子育て環境」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
25. 地球温暖化防止	1.69	1.60	1.55	-0.18	0.18	0.19	0.37
44. 飲料水の供給	1.85	1.80	1.83	0.66	0.96	1.01	0.35
17. 子育て環境	1.69	1.70	1.72	-0.48	-0.36	-0.33	0.15

満足度が下がっているもの……「職業能力開発」「産業振興」「公共交通機関」「技術開発」「雇用」「過疎地域等の振興」「高等教育機関」「福祉サービス」「国際化」「地域商工業」「医療体制」「観光」「エネルギー」等

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
32. 職業能力開発	1.22	1.36	1.37	-0.59	-0.97	-1.07	-0.48
27. 産業振興	1.30	1.41	1.36	-0.56	-0.81	-0.87	-0.31
38. 公共交通機関	1.39	1.42	1.43	-0.82	-1.01	-1.04	-0.22
29. 技術開発	1.15	1.22	1.21	-0.32	-0.49	-0.54	-0.22
31. 雇用	1.73	1.79	1.80	-1.18	-1.31	-1.37	-0.19
42. 過疎地域等の振興	1.23	1.33	1.34	-0.72	-0.80	-0.90	-0.18
05. 高等教育機関	1.24	1.30	1.32	-0.27	-0.32	-0.44	-0.17
19. 福祉サービス	1.52	1.58	1.62	0.07	-0.01	-0.09	-0.16
33. 国際化	0.78	0.77	0.72	-0.20	-0.30	-0.36	-0.16
30. 地域商工業	1.46	1.50	1.49	-1.03	-1.16	-1.19	-0.16
18. 医療体制	1.83	1.85	1.87	-0.82	-0.89	-0.97	-0.15
28. 観光	1.23	1.39	1.40	-0.14	-0.25	-0.29	-0.15
43. エネルギー	1.44	1.30	1.29	-0.53	-0.54	-0.63	-0.10

重要度が上がっているもの……「観光」「職業能力開発」「市民活動」「過疎地域等の振興」「福祉サービス」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
28. 観光	1.23	1.39	1.40	-0.14	-0.25	-0.29	0.17
32. 職業能力開発	1.22	1.36	1.37	-0.59	-0.97	-1.07	0.15
06. 市民活動	0.91	0.96	1.03	0.01	0.09	-0.02	0.12
42. 過疎地域等の振興	1.23	1.33	1.34	-0.72	-0.80	-0.90	0.11
19. 福祉サービス	1.52	1.58	1.62	0.07	-0.01	-0.09	0.10

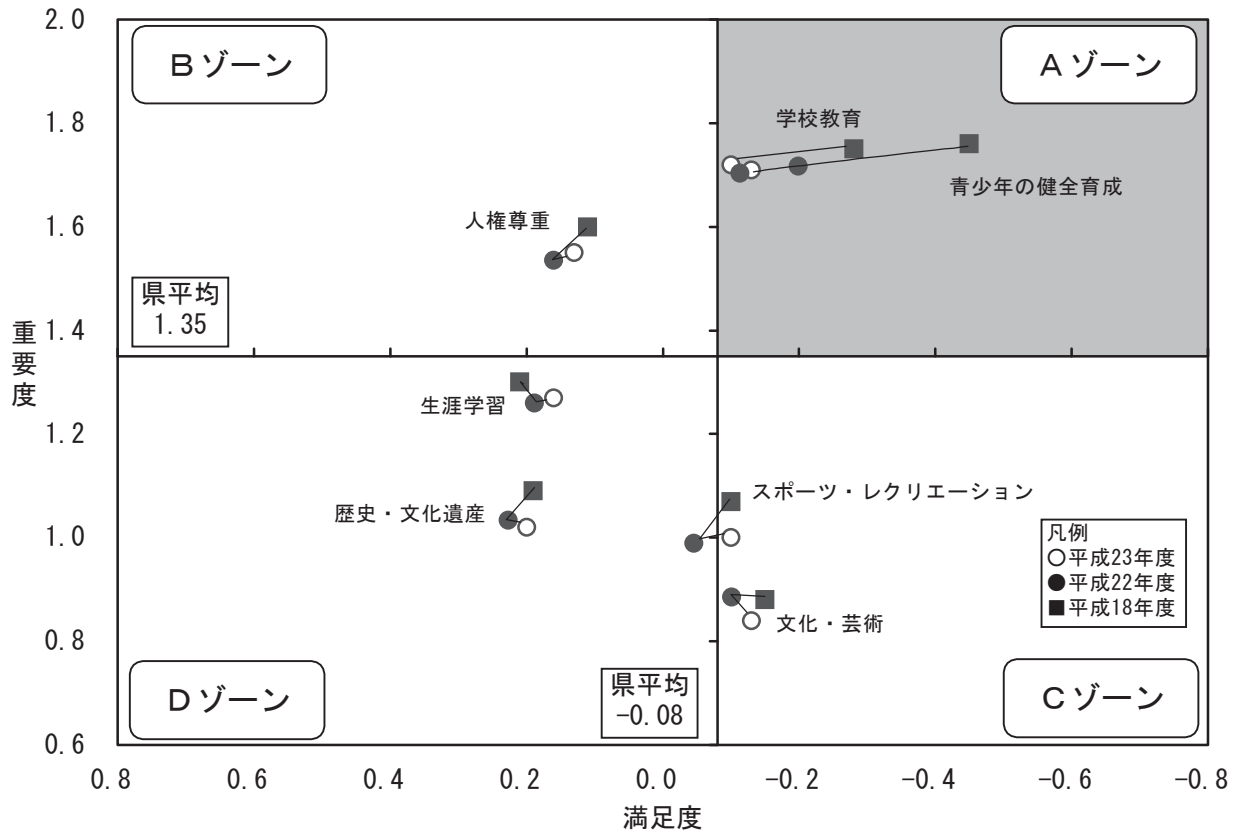
重要度が下がっているもの……「エネルギー」「地球温暖化防止」「ごみの減量」等

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
43. エネルギー	1.44	1.30	1.29	-0.53	-0.54	-0.63	-0.15
25. 地球温暖化防止	1.69	1.60	1.55	-0.18	0.18	0.19	-0.14
22. ごみの減量	1.45	1.38	1.32	0.01	0.16	0.10	-0.13

#### (4) 重要度と満足度の関係の推移（県民しあわせプラン柱別）

現在の行政の44項目の取組を「県民しあわせプラン」のめざすべき社会を実現するための五つの柱ごとにまとめ、各分野における施策の平成18年度・平成22～23年度の重要度、満足度のポイントの推移を図にプロットした。重要度が高く満足度が低い（不満足度が高い）方向への移動（グラフの右上方向）は、住民からのニーズが高まっていることを表している。また、グラフ中の「県平均」は23年度のものを示している。

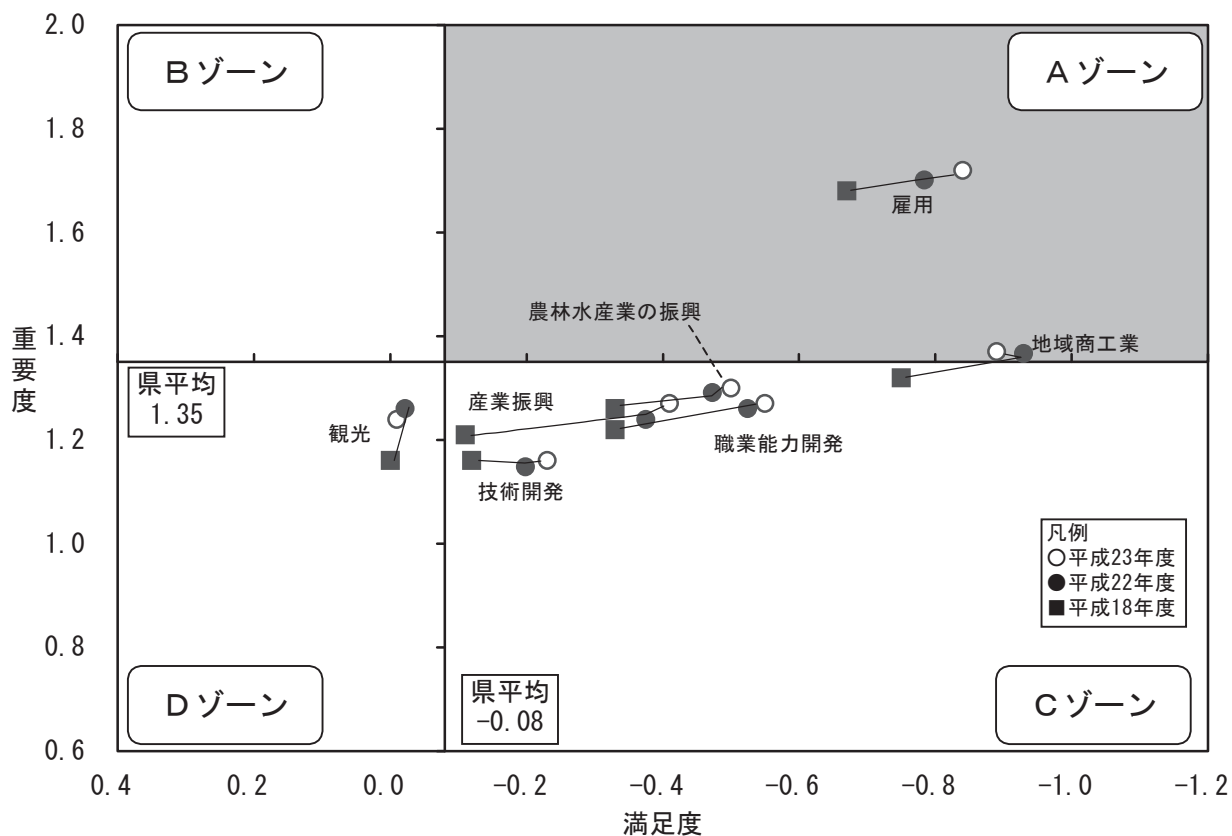
##### ①一人ひとりの思いを支える社会環境の創造と人づくり〔元気（その1）〕



	重要度			満足度		
	H18	H22	H23	H18	H22	H23
01. 人権尊重	1.60	1.54	1.55	0.11	0.16	0.13
02. 生涯学習	1.30	1.26	1.27	0.21	0.19	0.16
03. 学校教育	1.75	1.70	1.72	-0.28	-0.11	-0.10
04. 青少年の健全育成	1.76	1.72	1.71	-0.45	-0.20	-0.13
07. 文化・芸術	0.88	0.89	0.84	-0.15	-0.10	-0.13
08. 歴史・文化遺産	1.09	1.03	1.02	0.19	0.23	0.20
09. スポーツ・レクリエーション	1.07	0.99	1.00	-0.10	-0.05	-0.10

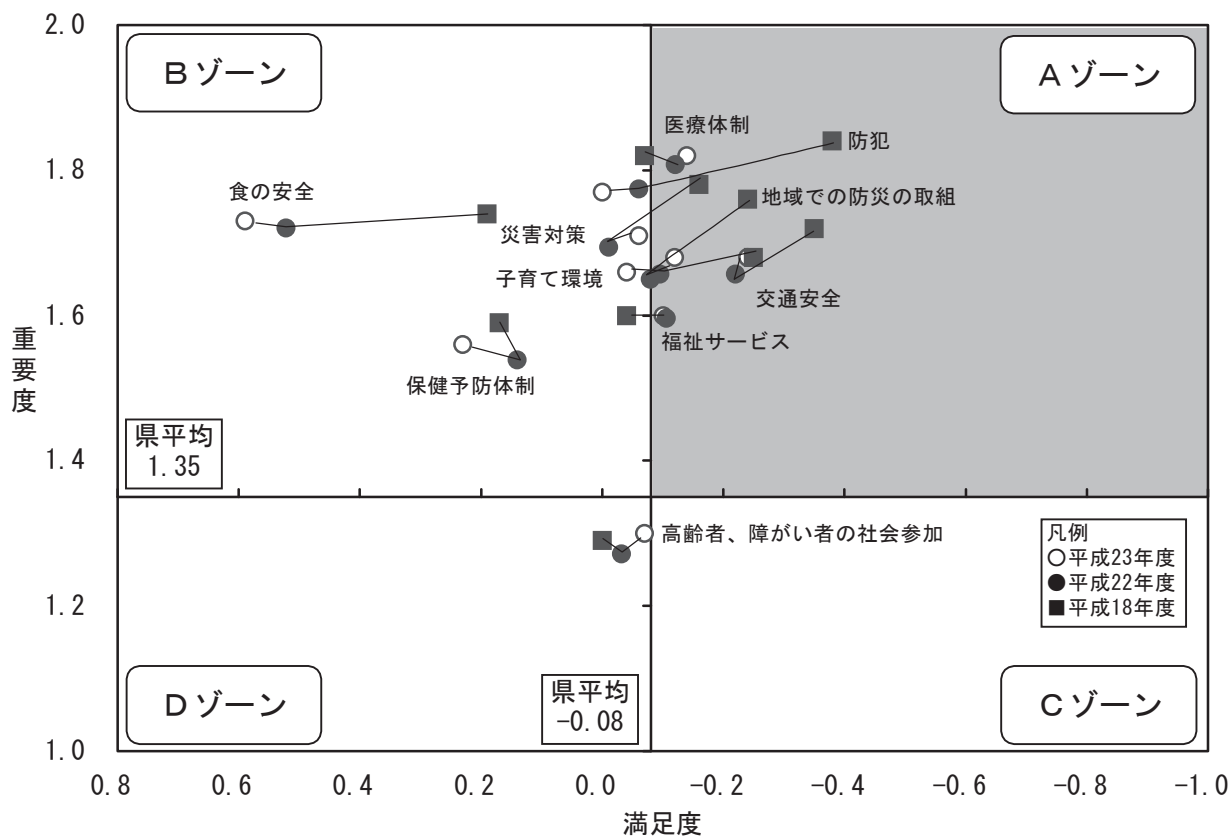


②安心を支える雇用・就業環境づくりと元気な産業づくり〔元気（その2）〕



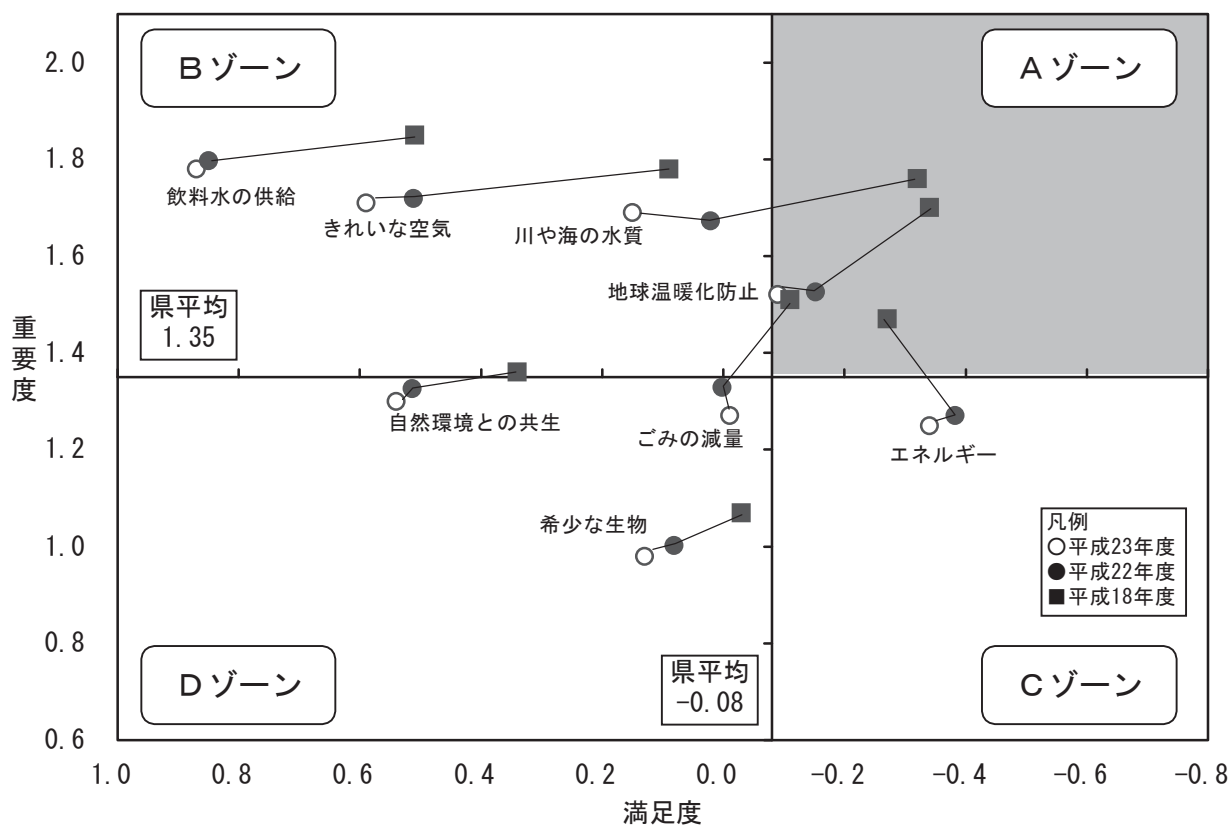
	重要度			満足度		
	H18	H22	H23	H18	H22	H23
26. 農林水産業の振興	1.26	1.29	1.30	-0.33	-0.47	-0.50
27. 産業振興	1.21	1.24	1.27	-0.11	-0.37	-0.41
28. 観光	1.16	1.26	1.24	0.00	-0.02	-0.01
29. 技術開発	1.16	1.15	1.16	-0.12	-0.20	-0.23
30. 地域商工業	1.32	1.37	1.37	-0.75	-0.93	-0.89
31. 雇用	1.68	1.70	1.72	-0.67	-0.78	-0.84
32. 職業能力開発	1.22	1.26	1.27	-0.33	-0.52	-0.55

③安全なくらしの確保と安心できる生活環境の創造 [くらしの安全安心 (その1)]



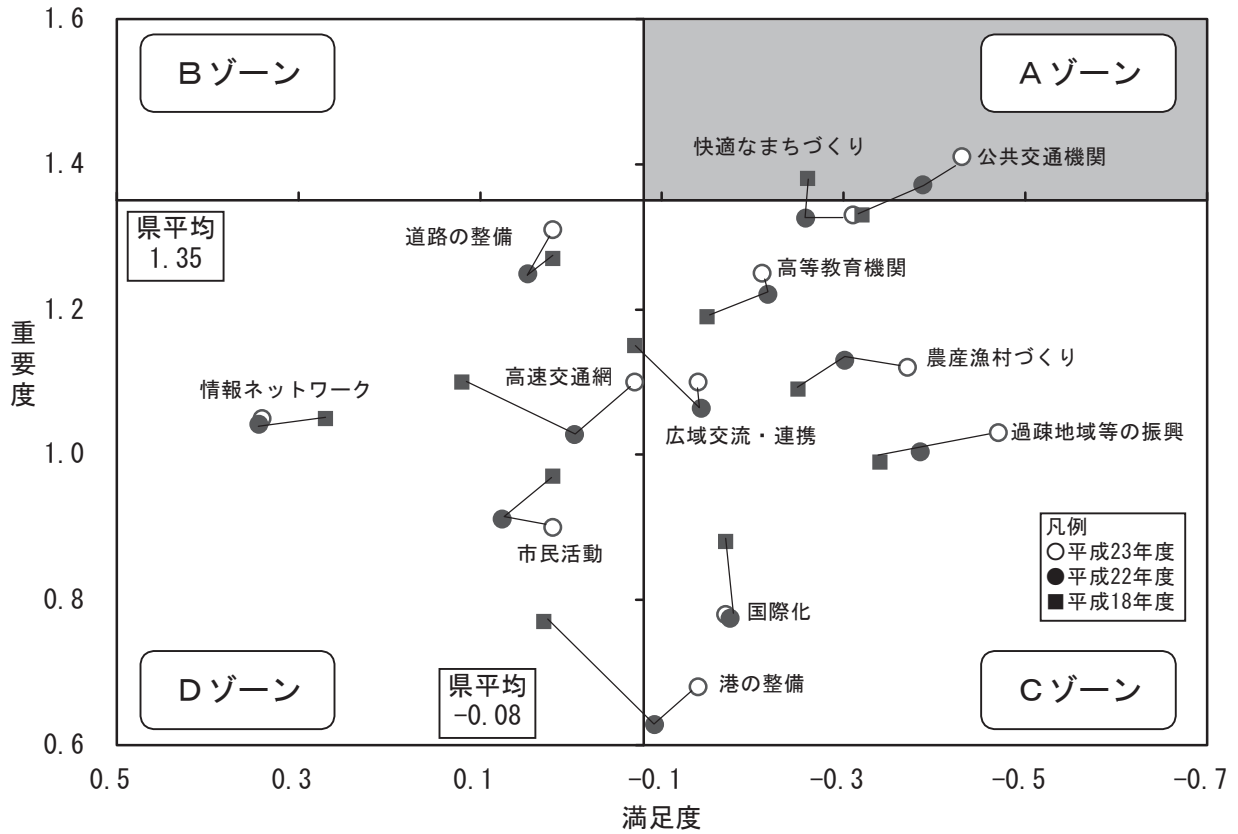
	重要度			満足度		
	H18	H22	H23	H18	H22	H23
10. 地域での防災の取組	1.76	1.65	1.68	-0.24	-0.08	-0.12
11. 災害対策	1.78	1.69	1.71	-0.16	-0.01	-0.06
12. 交通安全	1.72	1.66	1.68	-0.35	-0.22	-0.24
13. 防犯	1.84	1.77	1.77	-0.38	-0.06	0.00
14. 食の安全	1.74	1.72	1.73	0.19	0.52	0.59
15. 高齢者、障がい者の社会参加	1.29	1.27	1.30	0.00	-0.03	-0.07
16. 保健予防体制	1.59	1.54	1.56	0.17	0.14	0.23
17. 子育て環境	1.68	1.66	1.66	-0.25	-0.09	-0.04
18. 医療体制	1.82	1.81	1.82	-0.07	-0.12	-0.14
19. 福祉サービス	1.60	1.60	1.60	-0.04	-0.11	-0.10

④持続可能な循環型社会の創造〔くらしの安全安心（その2）〕



	重要度			満足度		
	H18	H22	H23	H18	H22	H23
20. 自然環境との共生	1.36	1.33	1.30	0.34	0.51	0.54
21. 希少な生物	1.07	1.00	0.98	-0.03	0.08	0.13
22. ごみの減量	1.51	1.33	1.27	-0.11	0.00	-0.01
23. きれいな空気	1.78	1.72	1.71	0.09	0.51	0.59
24. 川や海の水質	1.76	1.67	1.69	-0.32	0.02	0.15
25. 地球温暖化防止	1.70	1.53	1.52	-0.34	-0.15	-0.09
43. エネルギー	1.47	1.27	1.25	-0.27	-0.38	-0.34
44. 飲料水の供給	1.85	1.80	1.78	0.51	0.85	0.87

⑤人と地域の絆づくりと魅力あふれるふるさと創造〔絆〕



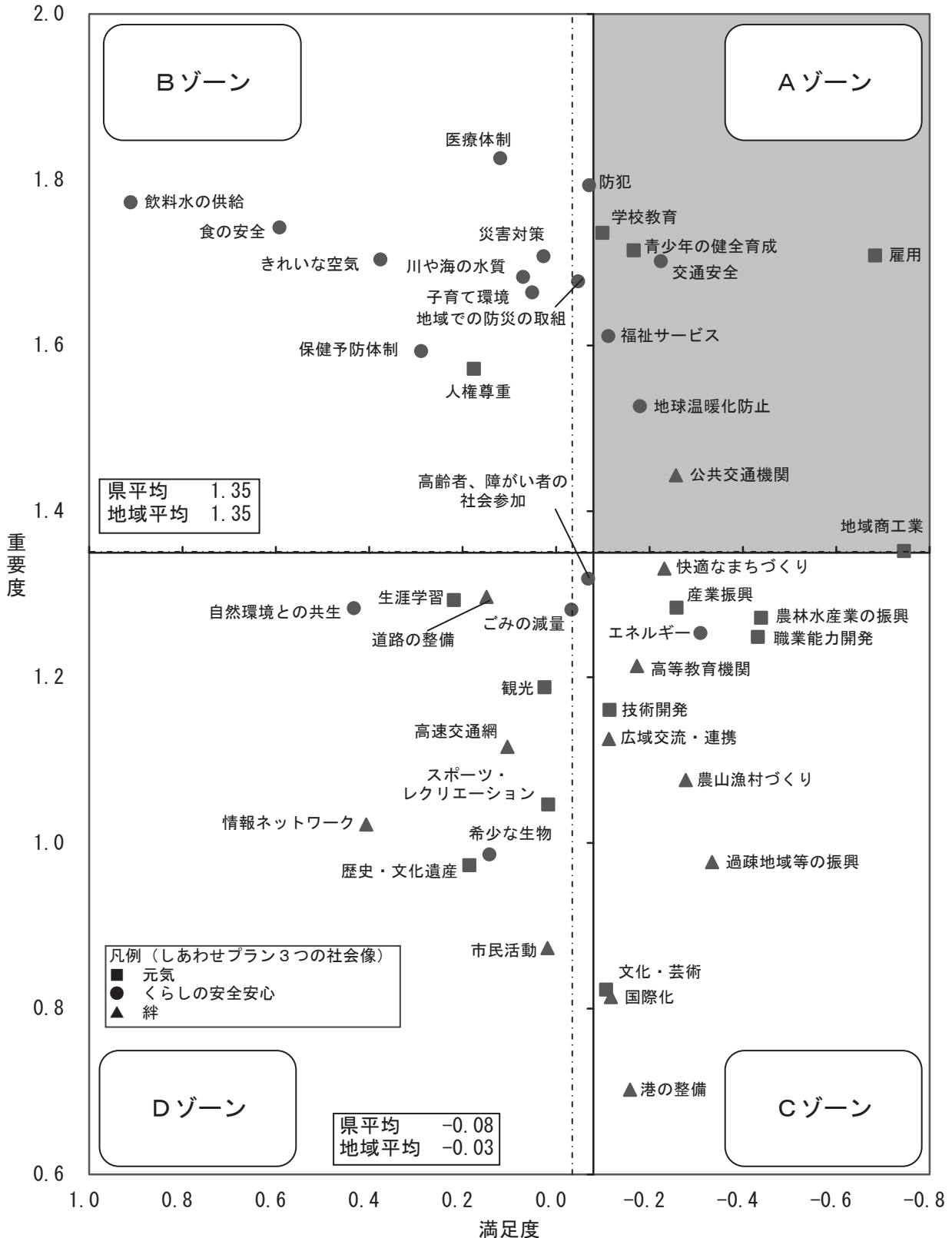
	重要度			満足度		
	H18	H22	H23	H18	H22	H23
05. 高等教育機関	1.19	1.22	1.25	-0.15	-0.22	-0.21
06. 市民活動	0.97	0.91	0.90	0.02	0.08	0.02
33. 国際化	0.88	0.77	0.78	-0.17	-0.17	-0.17
34. 広域交流・連携	1.15	1.06	1.10	-0.07	-0.14	-0.14
35. 情報ネットワーク	1.05	1.04	1.05	0.27	0.34	0.34
36. 高速交通網	1.10	1.03	1.10	0.12	0.00	-0.07
37. 道路の整備	1.27	1.25	1.31	0.02	0.05	0.02
38. 公共交通機関	1.33	1.37	1.41	-0.32	-0.39	-0.43
39. 港の整備	0.77	0.63	0.68	0.03	-0.09	-0.14
40. 快適なまちづくり	1.38	1.33	1.33	-0.26	-0.26	-0.31
41. 農山漁村づくり	1.09	1.13	1.12	-0.25	-0.30	-0.37
42. 過疎地域等の振興	0.99	1.00	1.03	-0.34	-0.38	-0.47

### (5) 重要度、満足度の地域特性

5つの地域について、それぞれ重要度、満足度の関係を図にプロットして地域的な特性をつかむ。県全体の場合と比較するため、県全体の場合の平均値ラインを実線「——」で、各地域の平均値ラインを一点鎖線「- - - - -」で示す。

#### ①北勢地域

図 重要度と満足度の関係（北勢）



県全体の場合と比較して、平均値では重要度は同じ、満足度はやや高くなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「雇用」「交通安全」「福祉サービス」「地球温暖化防止」「公共交通機関」「地域商工業」の8項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っている「医療体制」「地域での防災の取組」が北勢地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「交通安全」「福祉サービス」「地球温暖化防止」があげられている。

また、「元気」に関する項目では「学校教育」「青少年の健全育成」「雇用」「地域商工業」があげられている。さらに「絆」に関する項目では「公共交通機関」があげられている。

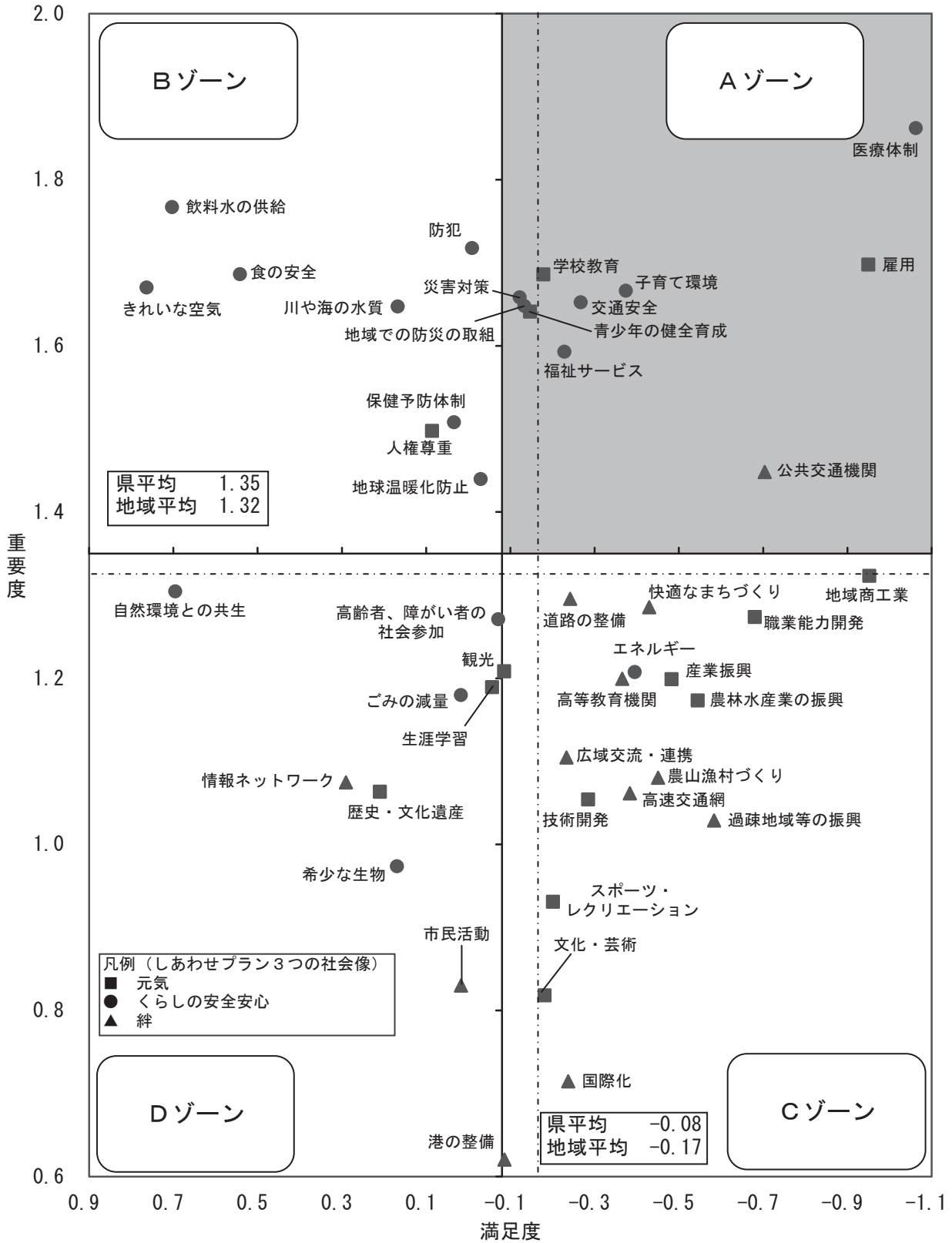
なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「医療体制」「高速交通網」「公共交通機関」「雇用」等があげられているのに対し、満足度が低い項目としては「きれいな空気」「自然環境との共生」「地球温暖化防止」「川や海の水質」等があげられている。

表 北勢地域の重要度、満足度

	重要度		満足度			重要度		満足度	
	北勢地域	県全体	北勢地域	県全体		北勢地域	県全体	北勢地域	県全体
01. 人権尊重	1.57	1.55	0.18	0.13	23. きれいな空気	1.70	1.71	0.38	0.59
02. 生涯学習	1.29	1.27	0.22	0.16	24. 川や海の水質	1.68	1.69	0.07	0.15
03. 学校教育	1.74	1.72	-0.10	-0.10	25. 地球温暖化防止	1.53	1.52	-0.18	-0.09
04. 青少年の健全育成	1.71	1.71	-0.17	-0.13	26. 農林水産業の振興	1.27	1.30	-0.44	-0.50
05. 高等教育機関	1.21	1.25	-0.17	-0.21	27. 産業振興	1.28	1.27	-0.26	-0.41
06. 市民活動	0.87	0.90	0.02	0.02	28. 観光	1.19	1.24	0.02	-0.01
07. 文化・芸術	0.82	0.84	-0.11	-0.13	29. 技術開発	1.16	1.16	-0.11	-0.23
08. 歴史・文化遺産	0.97	1.02	0.19	0.20	30. 地域商工業	1.35	1.37	-0.74	-0.89
09. スポーツ・レクリエーション	1.05	1.00	0.02	-0.10	31. 雇用	1.71	1.72	-0.68	-0.84
10. 地域での防災の取組	1.68	1.68	-0.05	-0.12	32. 職業能力開発	1.25	1.27	-0.43	-0.55
11. 災害対策	1.71	1.71	0.03	-0.06	33. 国際化	0.81	0.78	-0.12	-0.17
12. 交通安全	1.70	1.68	-0.22	-0.24	34. 広域交流・連携	1.13	1.10	-0.11	-0.14
13. 防犯	1.79	1.77	-0.07	0.00	35. 情報ネットワーク	1.02	1.05	0.41	0.34
14. 食の安全	1.74	1.73	0.59	0.59	36. 高速交通網	1.12	1.10	0.10	-0.07
15. 高齢者、障がい者の社会参加	1.32	1.30	-0.07	-0.07	37. 道路の整備	1.30	1.31	0.15	0.02
16. 保健予防体制	1.59	1.56	0.29	0.23	38. 公共交通機関	1.44	1.41	-0.26	-0.43
17. 子育て環境	1.66	1.66	0.05	-0.04	39. 港の整備	0.70	0.68	-0.16	-0.14
18. 医療体制	1.83	1.82	0.12	-0.14	40. 快適なまちづくり	1.33	1.33	-0.23	-0.31
19. 福祉サービス	1.61	1.60	-0.11	-0.10	41. 農山漁村づくり	1.08	1.12	-0.28	-0.37
20. 自然環境との共生	1.28	1.30	0.43	0.54	42. 過疎地域等の振興	0.98	1.03	-0.33	-0.47
21. 希少な生物	0.99	0.98	0.14	0.13	43. エネルギー	1.25	1.25	-0.31	-0.34
22. ごみの減量	1.28	1.27	-0.03	-0.01	44. 飲料水の供給	1.77	1.78	0.91	0.87
					平均	1.35	1.35	-0.03	-0.08

②伊賀地域

図 重要度と満足度の関係（伊賀）



県全体の場合と比較して、重要度と満足度の平均値はやや低くなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「医療体制」「雇用」「学校教育」「子育て環境」「災害対策」「交通安全」「地域での防災の取組」「青少年の健全育成」「福祉サービス」「公共交通機関」の10項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「子育て環境」「災害対策」が伊賀地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「地球温暖化防止」「地域商工業」が伊賀地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「医療体制」「子育て環境」「災害対策」「交通安全」「地域での防災の取組」「福祉サービス」があげられている。

また、「元気」に関する項目では「学校教育」「青少年の健全育成」といった次世代を育む取組や、「雇用」があげられている。さらに、「絆」に関する項目は「公共交通機関」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「きれいな空気」「自然環境との共生」「地球温暖化防止」「港の整備」「希少な生物」等があげられているのに対し、満足度が低い項目としては「医療体制」「子育て環境」「高速交通網」「公共交通機関」等があげられている。

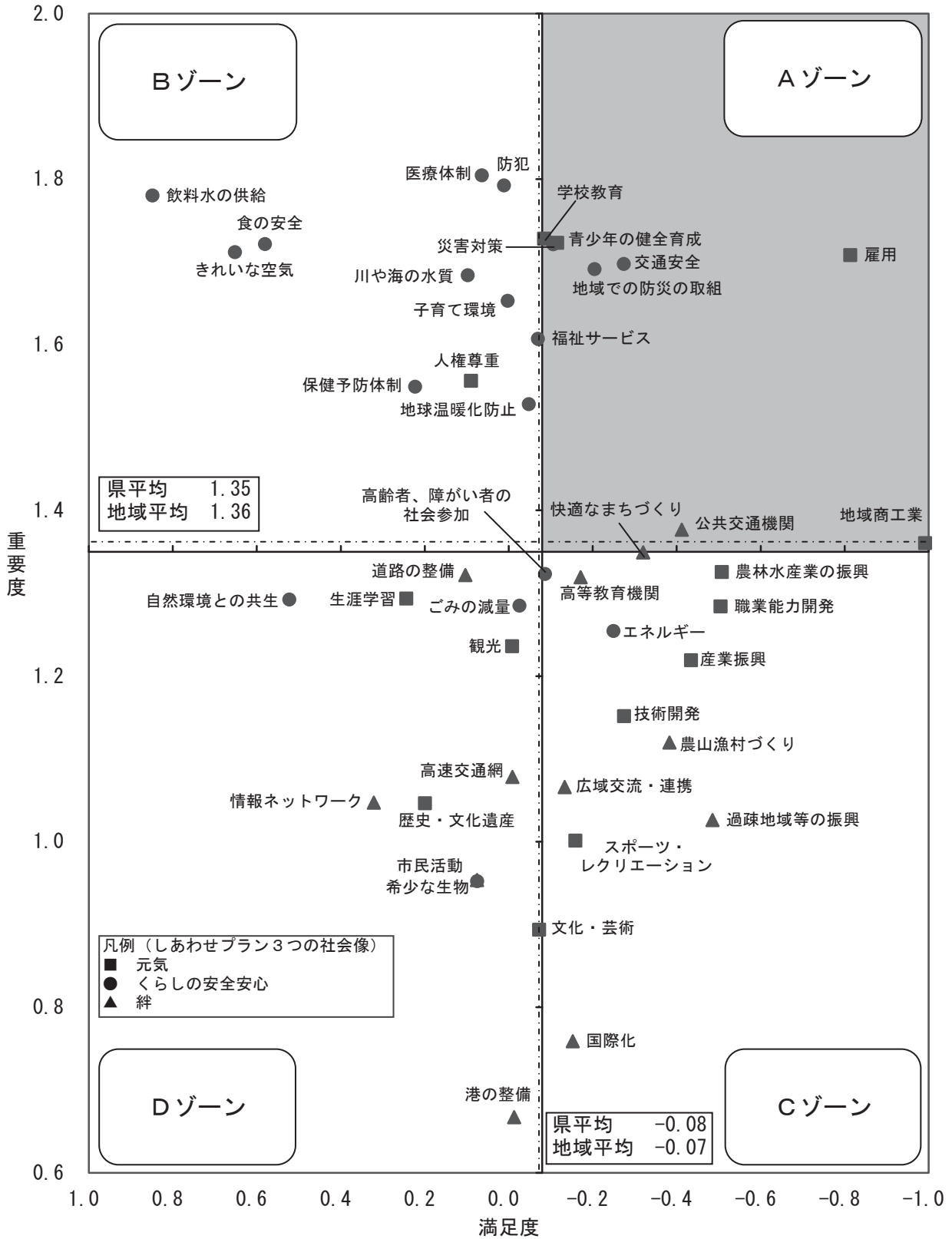
表 伊賀地域の重要度、満足度

	重要度		満足度			重要度		満足度	
	伊賀地域	県全体	伊賀地域	県全体		伊賀地域	県全体	伊賀地域	県全体
01. 人権尊重	1.50	1.55	0.09	0.13	23. きれいな空気	1.67	1.71	0.76	0.59
02. 生涯学習	1.19	1.27	-0.06	0.16	24. 川や海の水質	1.65	1.69	0.17	0.15
03. 学校教育	1.69	1.72	-0.18	-0.10	25. 地球温暖化防止	1.44	1.52	-0.03	-0.09
04. 青少年の健全育成	1.64	1.71	-0.15	-0.13	26. 農林水産業の振興	1.17	1.30	-0.55	-0.50
05. 高等教育機関	1.20	1.25	-0.37	-0.21	27. 産業振興	1.20	1.27	-0.48	-0.41
06. 市民活動	0.83	0.90	0.02	0.02	28. 観光	1.21	1.24	-0.09	-0.01
07. 文化・芸術	0.82	0.84	-0.18	-0.13	29. 技術開発	1.05	1.16	-0.28	-0.23
08. 歴史・文化遺産	1.06	1.02	0.21	0.20	30. 地域商工業	1.32	1.37	-0.95	-0.89
09. スポーツ・レクリエーション	0.93	1.00	-0.20	-0.10	31. 雇用	1.70	1.72	-0.95	-0.84
10. 地域での防災の取組	1.65	1.68	-0.13	-0.12	32. 職業能力開発	1.27	1.27	-0.68	-0.55
11. 災害対策	1.66	1.71	-0.12	-0.06	33. 国際化	0.71	0.78	-0.24	-0.17
12. 交通安全	1.65	1.68	-0.27	-0.24	34. 広域交流・連携	1.10	1.10	-0.23	-0.14
13. 防犯	1.72	1.77	-0.01	0.00	35. 情報ネットワーク	1.07	1.05	0.29	0.34
14. 食の安全	1.69	1.73	0.54	0.59	36. 高速交通網	1.06	1.10	-0.38	-0.07
15. 高齢者、障がい者の社会参加	1.27	1.30	-0.07	-0.07	37. 道路の整備	1.30	1.31	-0.24	0.02
16. 保健予防体制	1.51	1.56	0.03	0.23	38. 公共交通機関	1.45	1.41	-0.70	-0.43
17. 子育て環境	1.67	1.66	-0.37	-0.04	39. 港の整備	0.62	0.68	-0.09	-0.14
18. 医療体制	1.86	1.82	-1.06	-0.14	40. 快適なまちづくり	1.29	1.33	-0.43	-0.31
19. 福祉サービス	1.59	1.60	-0.23	-0.10	41. 農山漁村づくり	1.08	1.12	-0.45	-0.37
20. 自然環境との共生	1.30	1.30	0.70	0.54	42. 過疎地域等の振興	1.03	1.03	-0.58	-0.47
21. 希少な生物	0.97	0.98	0.17	0.13	43. エネルギー	1.21	1.25	-0.40	-0.34
22. ごみの減量	1.18	1.27	0.02	-0.01	44. 飲料水の供給	1.77	1.78	0.70	0.87
					平均	1.32	1.35	-0.17	-0.08



③中南勢地域

図 重要度と満足度の関係（中南勢）



県全体の場合と比較して、重要度の平均値と満足度の平均値はほぼ同じとなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「災害対策」「雇用」「交通安全」「地域での防災の取組」「公共交通機関」「地域商工業」の8項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「災害対策」が中南勢地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「医療体制」「福祉サービス」「地球温暖化防止」が中南勢地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「災害対策」「交通安全」「地域での防災の取組」があげられている。

また、「元気」に関する項目では「学校教育」「青少年の健全育成」の次世代を育む取組や、「雇用」「地域商工業」があげられている。さらに、「絆」に関する項目は「公共交通機関」があげられている。

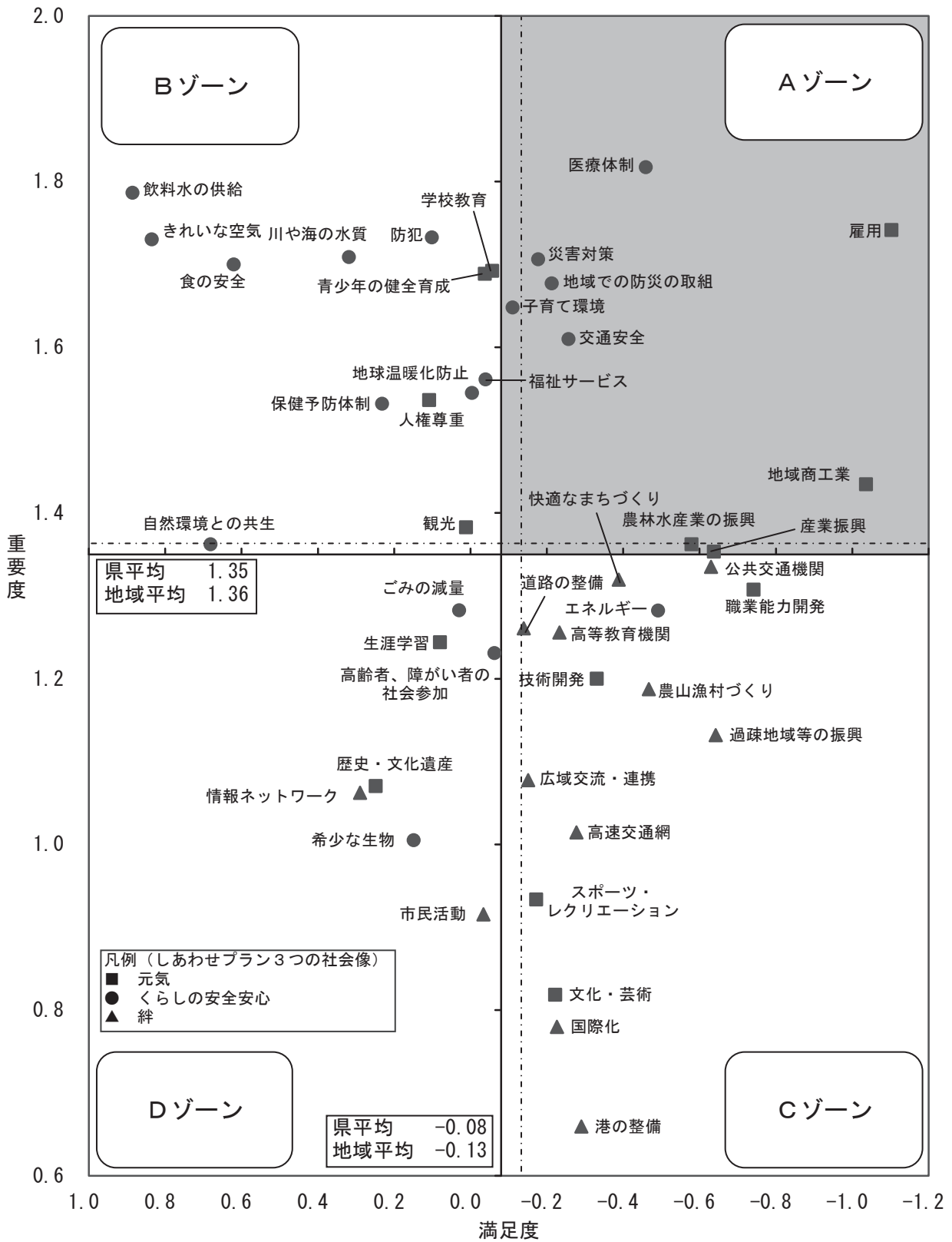
なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「医療体制」「港の整備」等があげられているのに対し、満足度が低い項目としては「地域商工業」「地域での防災の取組」「スポーツ・レクリエーション」「希少な生物」等があげられている。

表 中南勢地域の重要度、満足度

	重要度		満足度			重要度		満足度	
	中南勢地域	県全体	中南勢地域	県全体		中南勢地域	県全体	中南勢地域	県全体
01. 人権尊重	1.56	1.55	0.09	0.13	23. きれいな空気	1.71	1.71	0.65	0.59
02. 生涯学習	1.29	1.27	0.24	0.16	24. 川や海の水質	1.68	1.69	0.10	0.15
03. 学校教育	1.73	1.72	-0.08	-0.10	25. 地球温暖化防止	1.53	1.52	-0.05	-0.09
04. 青少年の健全育成	1.72	1.71	-0.12	-0.13	26. 農林水産業の振興	1.33	1.30	-0.51	-0.50
05. 高等教育機関	1.32	1.25	-0.17	-0.21	27. 産業振興	1.22	1.27	-0.43	-0.41
06. 市民活動	0.95	0.90	0.08	0.02	28. 観光	1.24	1.24	-0.01	-0.01
07. 文化・芸術	0.89	0.84	-0.07	-0.13	29. 技術開発	1.15	1.16	-0.28	-0.23
08. 歴史・文化遺産	1.05	1.02	0.20	0.20	30. 地域商工業	1.36	1.37	-0.99	-0.89
09. スポーツ・レクリエーション	1.00	1.00	-0.16	-0.10	31. 雇用	1.71	1.72	-0.81	-0.84
10. 地域での防災の取組	1.69	1.68	-0.20	-0.12	32. 職業能力開発	1.28	1.27	-0.50	-0.55
11. 災害対策	1.72	1.71	-0.11	-0.06	33. 国際化	0.76	0.78	-0.15	-0.17
12. 交通安全	1.70	1.68	-0.27	-0.24	34. 広域交流・連携	1.07	1.10	-0.13	-0.14
13. 防犯	1.79	1.77	0.01	0.00	35. 情報ネットワーク	1.05	1.05	0.32	0.34
14. 食の安全	1.72	1.73	0.58	0.59	36. 高速交通網	1.08	1.10	-0.01	-0.07
15. 高齢者、障がい者の社会参加	1.32	1.30	-0.09	-0.07	37. 道路の整備	1.32	1.31	0.10	0.02
16. 保健予防体制	1.55	1.56	0.22	0.23	38. 公共交通機関	1.38	1.41	-0.41	-0.43
17. 子育て環境	1.65	1.66	0.00	-0.04	39. 港の整備	0.67	0.68	-0.01	-0.14
18. 医療体制	1.80	1.82	0.06	-0.14	40. 快適なまちづくり	1.35	1.33	-0.32	-0.31
19. 福祉サービス	1.61	1.60	-0.07	-0.10	41. 農山漁村づくり	1.12	1.12	-0.38	-0.37
20. 自然環境との共生	1.29	1.30	0.52	0.54	42. 過疎地域等の振興	1.03	1.03	-0.49	-0.47
21. 希少な生物	0.95	0.98	0.07	0.13	43. エネルギー	1.25	1.25	-0.25	-0.34
22. ごみの減量	1.28	1.27	-0.03	-0.01	44. 飲料水の供給	1.78	1.78	0.85	0.87
					平均	1.36	1.35	-0.07	-0.08

④伊勢志摩地域

図 重要度と満足度の関係（伊勢志摩）



県全体の場合と比較して、重要度の平均値はやや高く、満足度の平均値はやや低くなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「医療体制」「雇用」「災害対策」「地域での防災の取組」「子育て環境」「交通安全」「地域商工業」「農林水産業の振興」「産業振興」の9項目があげられ、県全体では入っていない「災害対策」「子育て環境」「農林水産業の振興」「産業振興」が伊勢志摩地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「青少年の健全育成」「学校教育」「地球温暖化防止」「福祉サービス」「公共交通機関」が伊勢志摩地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「医療体制」「災害対策」「地域での防災の取組」「子育て環境」「交通安全」があげられている。

また、「元気」に関する項目では「雇用」「地域商工業」「農林水産業の振興」「産業振興」があげられている。さらに、「絆」に関する項目はあげられていない。

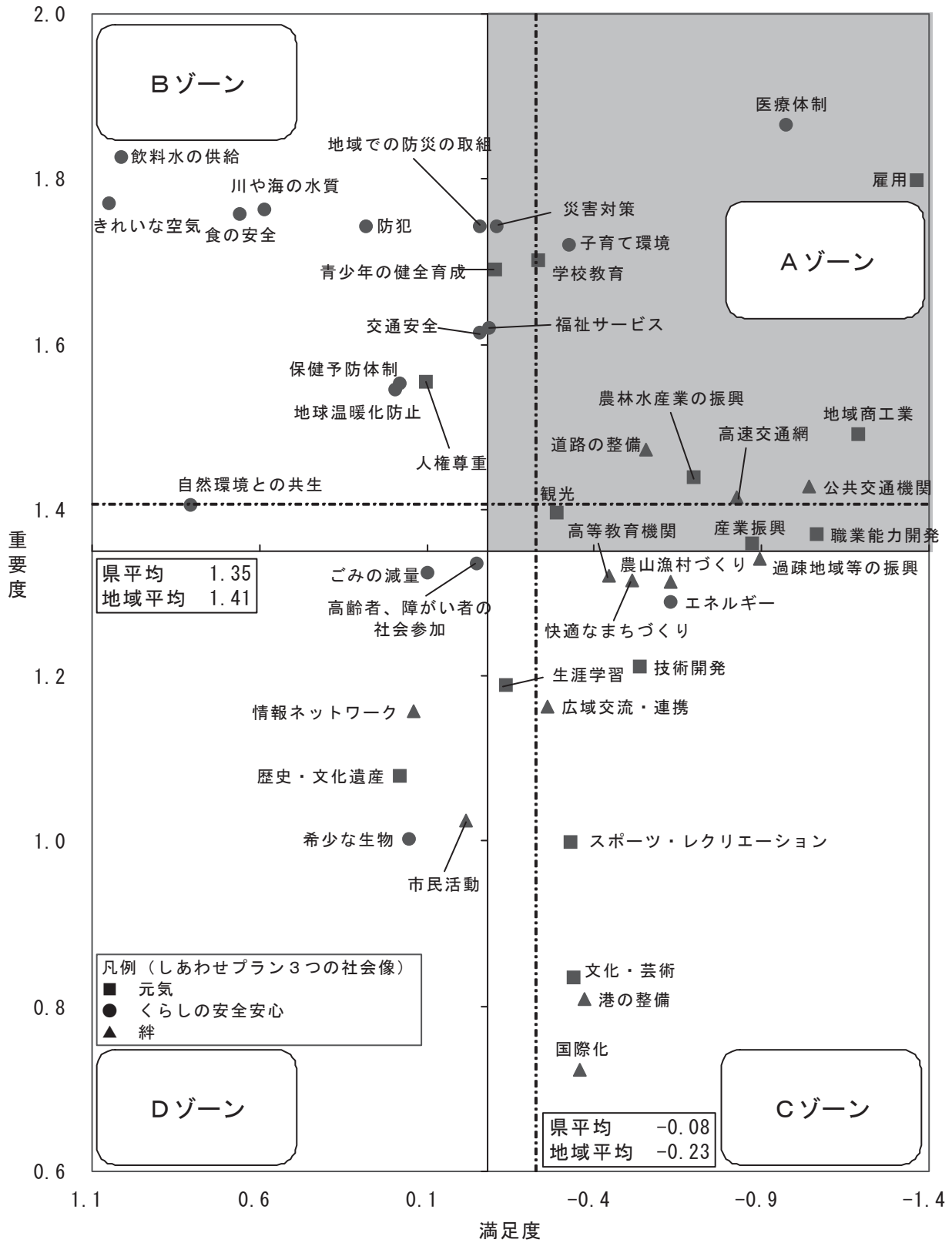
なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「きれいな空気」「川や海の水質」「自然環境との共生」「防犯」等があげられているのに対し、満足度が低い項目としては、「医療体制」「雇用」「産業振興」「高速交通網」「公共交通機関」「職業能力開発」「過疎地域等の振興」「道路の整備」等があげられている。

表 伊勢志摩地域の重要度、満足度

	重要度		満足度			重要度		満足度	
	伊勢志摩地域	県全体	伊勢志摩地域	県全体		伊勢志摩地域	県全体	伊勢志摩地域	県全体
01. 人権尊重	1.54	1.55	0.11	0.13	23. きれいな空気	1.73	1.71	0.83	0.59
02. 生涯学習	1.24	1.27	0.08	0.16	24. 川や海の水質	1.71	1.69	0.32	0.15
03. 学校教育	1.69	1.72	-0.06	-0.10	25. 地球温暖化防止	1.54	1.52	0.00	-0.09
04. 青少年の健全育成	1.69	1.71	-0.04	-0.13	26. 農林水産業の振興	1.36	1.30	-0.58	-0.50
05. 高等教育機関	1.26	1.25	-0.23	-0.21	27. 産業振興	1.35	1.27	-0.64	-0.41
06. 市民活動	0.92	0.90	-0.03	0.02	28. 観光	1.38	1.24	0.01	-0.01
07. 文化・芸術	0.82	0.84	-0.22	-0.13	29. 技術開発	1.20	1.16	-0.33	-0.23
08. 歴史・文化遺産	1.07	1.02	0.25	0.20	30. 地域商工業	1.43	1.37	-1.04	-0.89
09. スポーツ・レクリエーション	0.93	1.00	-0.17	-0.10	31. 雇用	1.74	1.72	-1.10	-0.84
10. 地域での防災の取組	1.68	1.68	-0.21	-0.12	32. 職業能力開発	1.31	1.27	-0.74	-0.55
11. 災害対策	1.71	1.71	-0.18	-0.06	33. 国際化	0.78	0.78	-0.23	-0.17
12. 交通安全	1.61	1.68	-0.26	-0.24	34. 広域交流・連携	1.08	1.10	-0.15	-0.14
13. 防犯	1.73	1.77	0.10	0.00	35. 情報ネットワーク	1.06	1.05	0.29	0.34
14. 食の安全	1.70	1.73	0.62	0.59	36. 高速交通網	1.01	1.10	-0.28	-0.07
15. 高齢者、障がい者の社会参加	1.23	1.30	-0.06	-0.07	37. 道路の整備	1.26	1.31	-0.14	0.02
16. 保健予防体制	1.53	1.56	0.23	0.23	38. 公共交通機関	1.33	1.41	-0.63	-0.43
17. 子育て環境	1.65	1.66	-0.11	-0.04	39. 港の整備	0.66	0.68	-0.29	-0.14
18. 医療体制	1.82	1.82	-0.46	-0.14	40. 快適なまちづくり	1.32	1.33	-0.39	-0.31
19. 福祉サービス	1.56	1.60	-0.04	-0.10	41. 農山漁村づくり	1.19	1.12	-0.47	-0.37
20. 自然環境との共生	1.36	1.30	0.68	0.54	42. 過疎地域等の振興	1.13	1.03	-0.64	-0.47
21. 希少な生物	1.01	0.98	0.15	0.13	43. エネルギー	1.28	1.25	-0.49	-0.34
22. ごみの減量	1.28	1.27	0.03	-0.01	44. 飲料水の供給	1.79	1.78	0.89	0.87
					平均	1.36	1.35	-0.13	-0.08

⑤東紀州地域

図 重要度と満足度の関係（東紀州）



県全体の場合と比較して、重要度の平均値は高く、満足度の平均値は低くなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「医療体制」「雇用」「災害対策」「子育て環境」「学校教育」「青少年の健全育成」「福祉サービス」「地域商工業」「道路の整備」「農林水産業の振興」「公共交通機関」「高速交通網」「観光」「職業能力開発」「産業振興」の15項目があげられ、県全体では入っていない「災害対策」「子育て環境」「道路の整備」「農林水産業の振興」「高速交通網」「観光」「職業能力開発」「産業振興」が東紀州地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「地域での防災の取組」「交通安全」「地球温暖化防止」は東紀州地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「医療体制」「災害対策」「子育て環境」「福祉サービス」があげられている。

また、「元気」に関する項目では「雇用」「学校教育」「青少年の健全育成」「地域商工業」「農林水産業の振興」「観光」「職業能力開発」「産業振興」があげられている。さらに、「絆」に関する項目では「道路の整備」「公共交通機関」「高速交通網」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「防犯」「自然環境との共生」等があげられている。一方、県全体と比べて満足度が低い項目のうち、0.4ポイント以上の開きがみられるのは、「医療体制」「高速交通網」「公共交通機関」「道路の整備」「雇用」「職業能力開発」「産業振興」「過疎地域等の振興」で、中でも「医療体制」は0.83ポイントの開きがある。

表 東紀州地域の重要度、満足度

	重要度		満足度			重要度		満足度	
	東紀州地域	県全体	東紀州地域	県全体		東紀州地域	県全体	東紀州地域	県全体
01. 人権尊重	1.56	1.55	0.10	0.13	23. きれいな空気	1.77	1.71	1.05	0.59
02. 生涯学習	1.19	1.27	-0.13	0.16	24. 川や海の水質	1.76	1.69	0.58	0.15
03. 学校教育	1.70	1.72	-0.23	-0.10	25. 地球温暖化防止	1.55	1.52	0.19	-0.09
04. 青少年の健全育成	1.69	1.71	-0.11	-0.13	26. 農林水産業の振興	1.44	1.30	-0.70	-0.50
05. 高等教育機関	1.32	1.25	-0.44	-0.21	27. 産業振興	1.36	1.27	-0.87	-0.41
06. 市民活動	1.03	0.90	-0.02	0.02	28. 観光	1.40	1.24	-0.29	-0.01
07. 文化・芸術	0.84	0.84	-0.34	-0.13	29. 技術開発	1.21	1.16	-0.54	-0.23
08. 歴史・文化遺産	1.08	1.02	0.18	0.20	30. 地域商工業	1.49	1.37	-1.19	-0.89
09. スポーツ・レクリエーション	1.00	1.00	-0.33	-0.10	31. 雇用	1.80	1.72	-1.37	-0.84
10. 地域での防災の取組	1.74	1.68	-0.06	-0.12	32. 職業能力開発	1.37	1.27	-1.07	-0.55
11. 災害対策	1.74	1.71	-0.11	-0.06	33. 国際化	0.72	0.78	-0.36	-0.17
12. 交通安全	1.61	1.68	-0.06	-0.24	34. 広域交流・連携	1.16	1.10	-0.26	-0.14
13. 防犯	1.74	1.77	0.28	0.00	35. 情報ネットワーク	1.16	1.05	0.14	0.34
14. 食の安全	1.76	1.73	0.66	0.59	36. 高速交通網	1.42	1.10	-0.83	-0.07
15. 高齢者、障がい者の社会参加	1.34	1.30	-0.05	-0.07	37. 道路の整備	1.47	1.31	-0.55	0.02
16. 保健予防体制	1.55	1.56	0.18	0.23	38. 公共交通機関	1.43	1.41	-1.04	-0.43
17. 子育て環境	1.72	1.66	-0.33	-0.04	39. 港の整備	0.81	0.68	-0.37	-0.14
18. 医療体制	1.87	1.82	-0.97	-0.14	40. 快適なまちづくり	1.31	1.33	-0.51	-0.31
19. 福祉サービス	1.62	1.60	-0.09	-0.10	41. 農山漁村づくり	1.31	1.12	-0.63	-0.37
20. 自然環境との共生	1.41	1.30	0.80	0.54	42. 過疎地域等の振興	1.34	1.03	-0.90	-0.47
21. 希少な生物	1.00	0.98	0.15	0.13	43. エネルギー	1.29	1.25	-0.63	-0.34
22. ごみの減量	1.32	1.27	0.10	-0.01	44. 飲料水の供給	1.83	1.78	1.01	0.87
					平均	1.41	1.35	-0.23	-0.08

## <地域特性の総括>

地域別にみると、Aゾーンに入っている項目は東紀州地域では15個、伊賀地域では10個であるのに対し、伊勢志摩地域では9個、北勢地域と中南勢地域では8個と全体（10個）よりも少なくなっている。また、全体ではAゾーンに入っていないが各地域ではAゾーンに入っている項目は、東紀州地域が8項目で最も多くなっている。

また、すべての地域でAゾーンに入っている項目は「雇用」の1項目となっている。

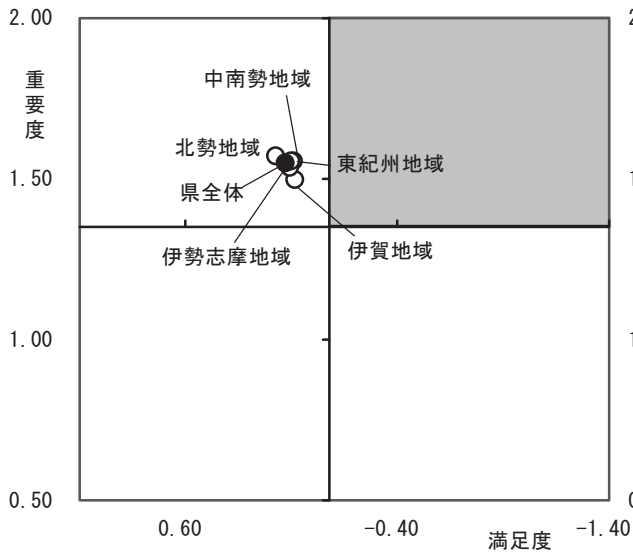
表 地域別 各項目の県民ニーズ

	全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
01. 人権尊重	B	B	B	B	B	B
02. 生涯学習	D	D	D	D	D	C
03. 学校教育	A	A	A	A	B	A
04. 青少年の健全育成	A	A	A	A	B	A
05. 高等教育機関	C	C	C	C	C	C
06. 市民活動	D	D	D	D	D	D
07. 文化・芸術	C	C	C	D	C	C
08. 歴史・文化遺産	D	D	D	D	D	D
09. スポーツ・レクリエーション	C	D	C	C	C	C
10. 地域での防災の取組	A	B	A	A	A	B
11. 災害対策	B	B	A	A	A	A
12. 交通安全	A	A	A	A	A	B
13. 防犯	B	B	B	B	B	B
14. 食の安全	B	B	B	B	B	B
15. 高齢者、障がい者の社会参加	D	D	D	C	D	D
16. 保健予防体制	B	B	B	B	B	B
17. 子育て環境	B	B	A	B	A	A
18. 医療体制	A	B	A	B	A	A
19. 福祉サービス	A	A	A	B	B	A
20. 自然環境との共生	D	D	D	D	B	B
21. 希少な生物	D	D	D	D	D	D
22. ごみの減量	D	D	D	D	D	D
23. きれいな空気	B	B	B	B	B	B
24. 川や海の水質	B	B	B	B	B	B
25. 地球温暖化防止	A	A	B	B	B	B
26. 農林水産業の振興	C	C	C	C	A	A
27. 産業振興	C	C	C	C	A	A
28. 観光	D	D	C	D	B	A
29. 技術開発	C	C	C	C	C	C
30. 地域商工業	A	A	C	A	A	A
31. 雇用	A	A	A	A	A	A
32. 職業能力開発	C	C	C	C	C	A
33. 国際化	C	C	C	C	C	C
34. 広域交流・連携	C	C	C	C	C	C
35. 情報ネットワーク	D	D	D	D	D	D
36. 高速交通網	D	D	C	D	C	A
37. 道路の整備	D	D	C	D	C	A
38. 公共交通機関	A	A	A	A	C	A
39. 港の整備	C	C	C	D	C	C
40. 快適なまちづくり	C	C	C	C	C	C
41. 農山漁村づくり	C	C	C	C	C	C
42. 過疎地域等の振興	C	C	C	C	C	C
43. エネルギー	C	C	C	C	C	C
44. 飲料水の供給	B	B	B	B	B	B

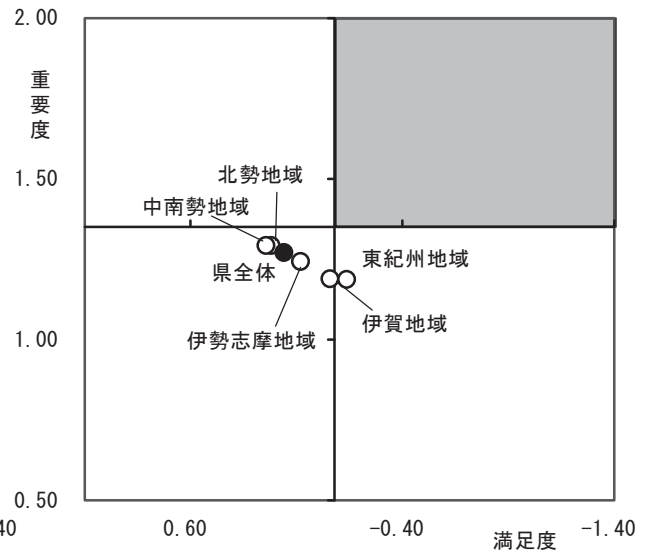
※網掛けの項目は、Aゾーンに挙げられている項目

各項目について、地域別にプロットした。図中の座標軸(+)は県平均(重要度平均1.35、満足度平均-0.08)を示している。

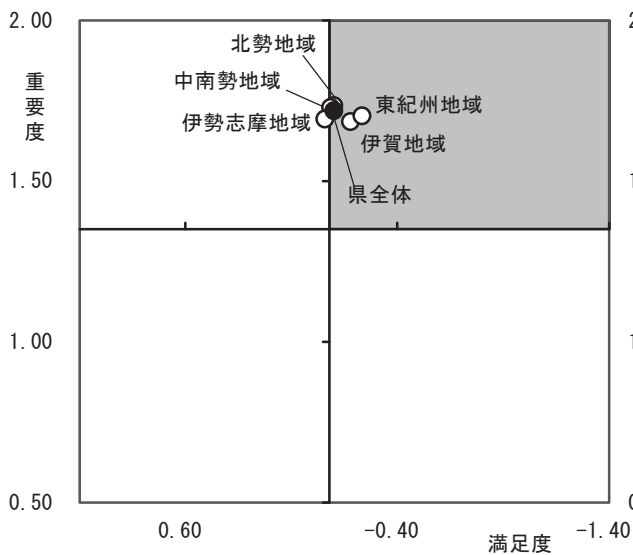
1 【人権尊重】



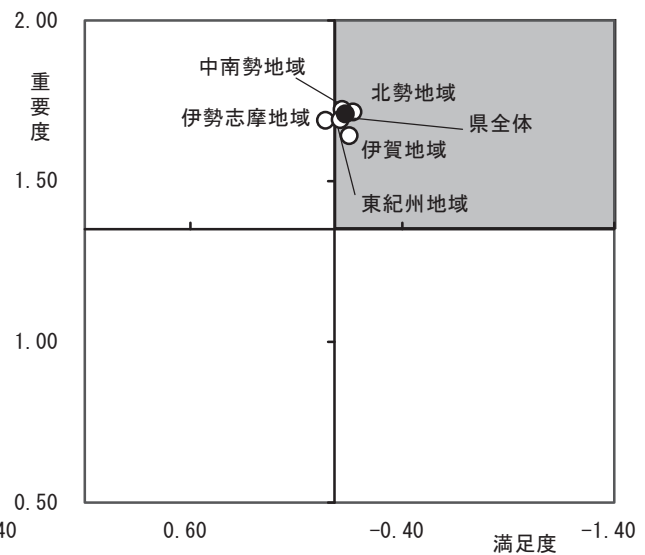
2 【生涯学習】



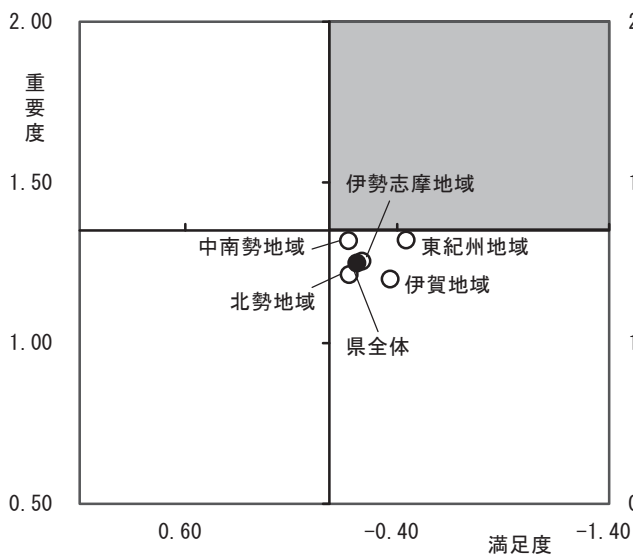
3 【学校教育】



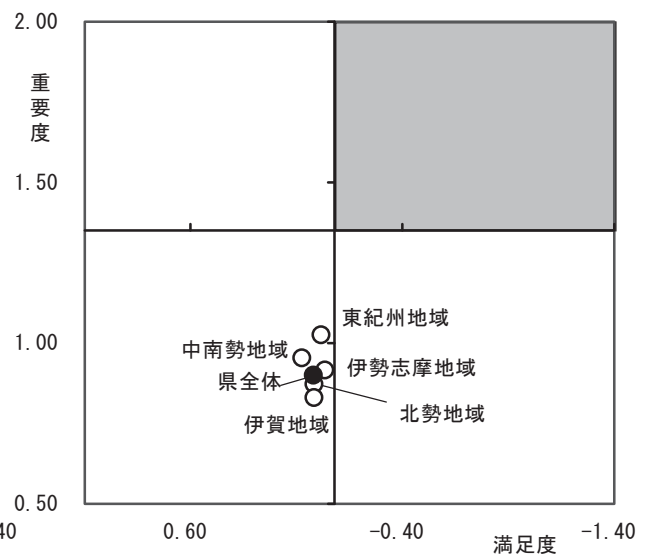
4 【青少年の健全育成】



5 【高等教育機関】

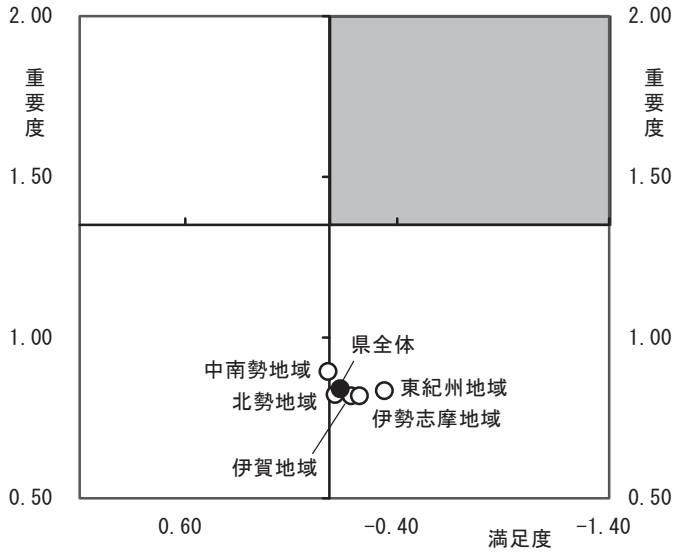


6 【市民活動】

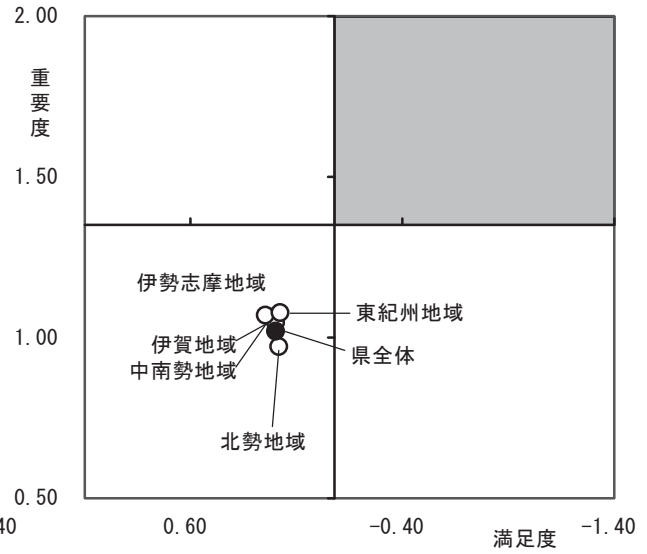




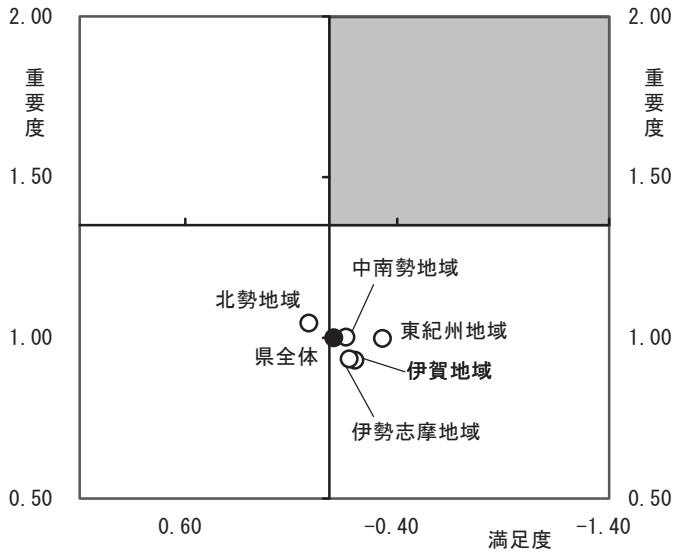
7 【文化・芸術】



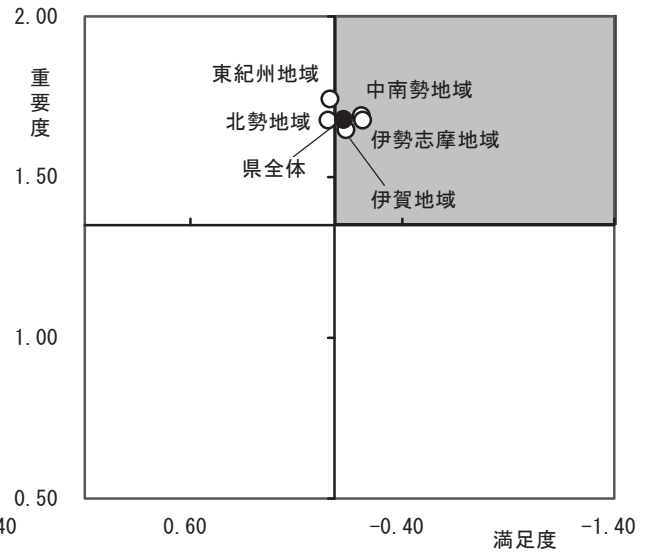
8 【歴史・文化遺産】



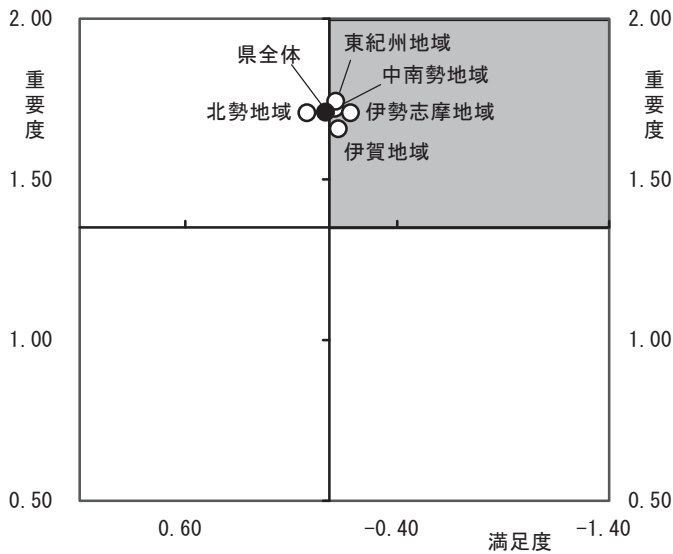
9 【スポーツ・レクリエーション】



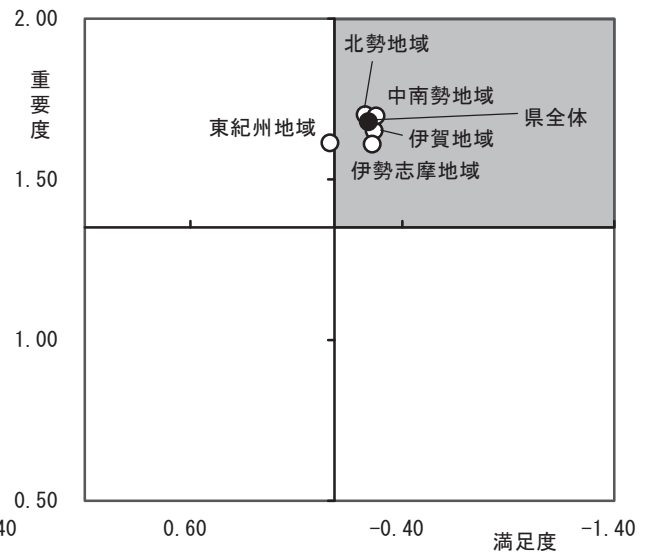
10 【地域での防災の取組】



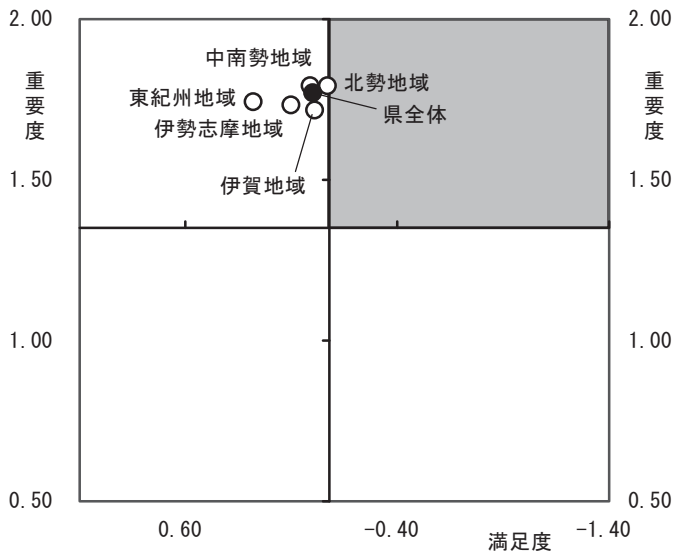
11 【災害対策】



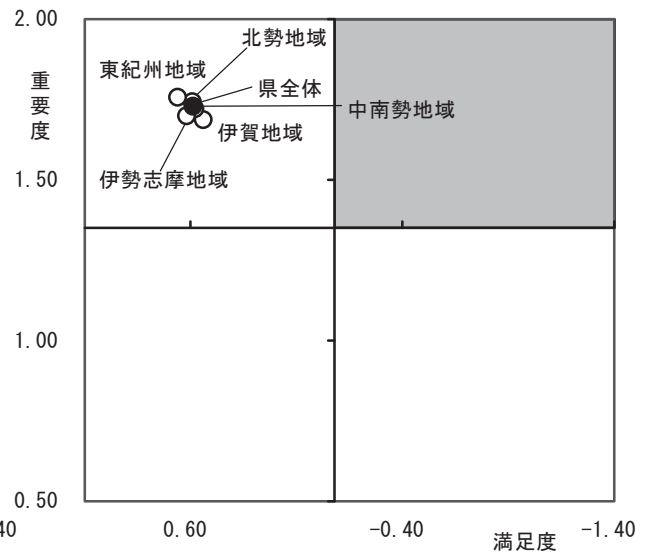
12 【交通安全】



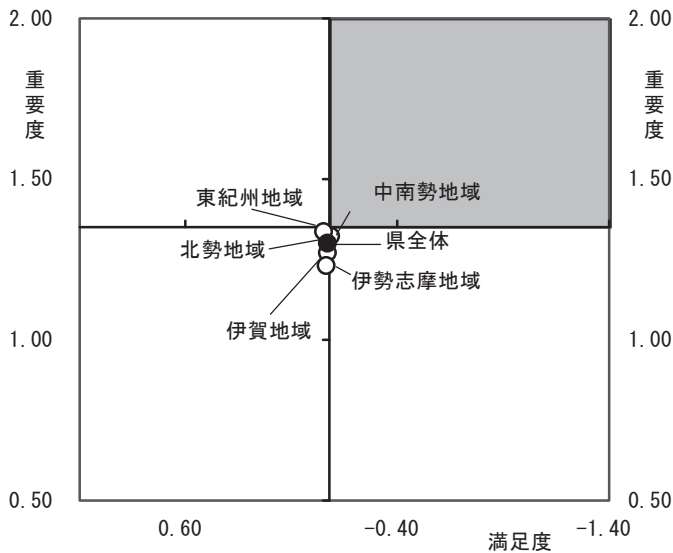
13 【防犯】



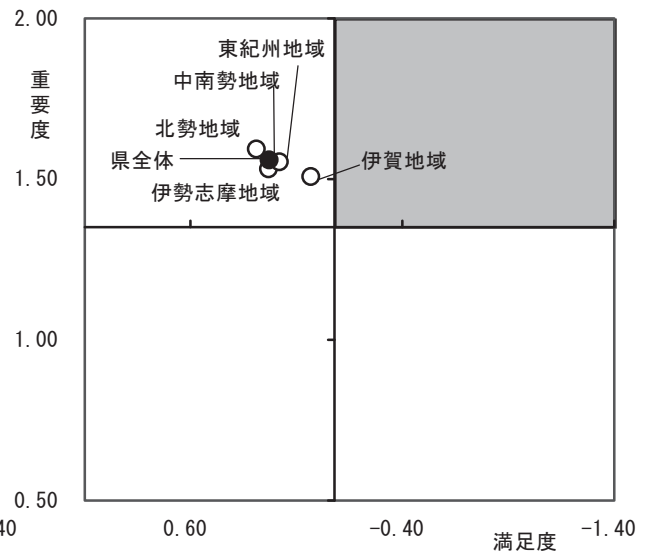
14 【食の安全】



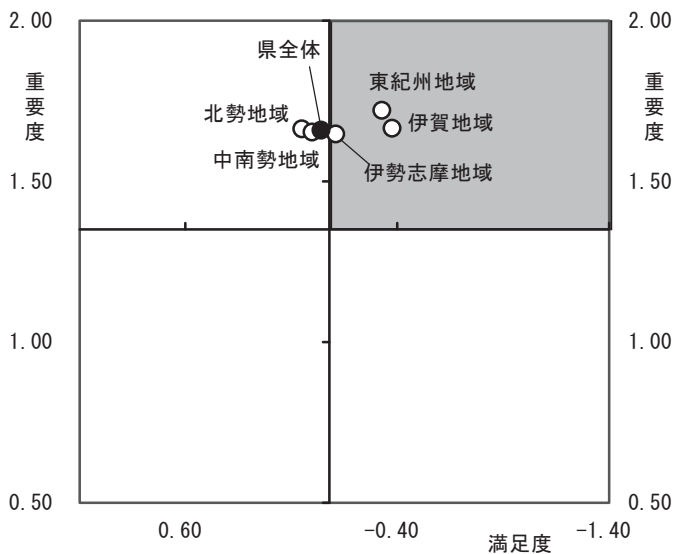
15 【高齢者、障がい者の社会参加】



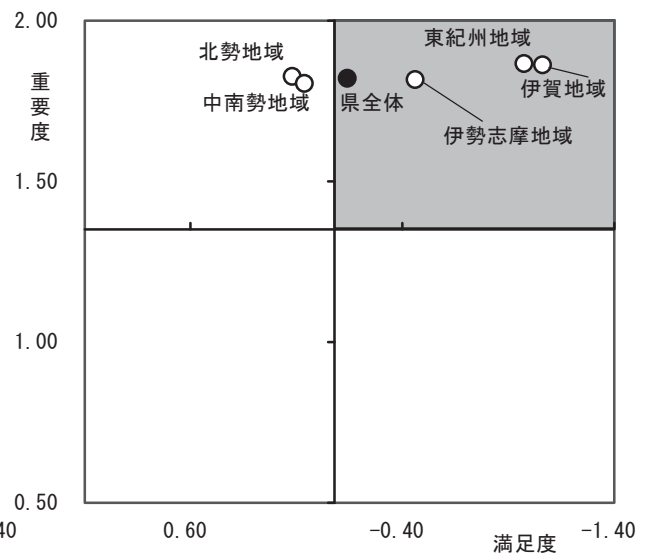
16 【保健予防体制】



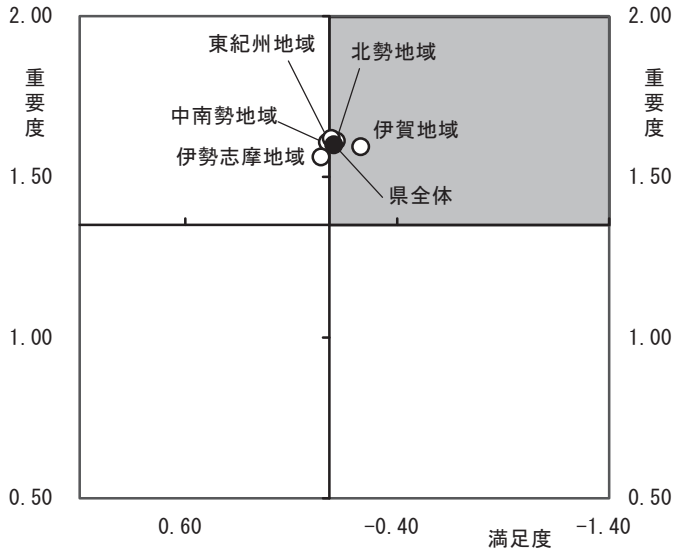
17 【子育て環境】



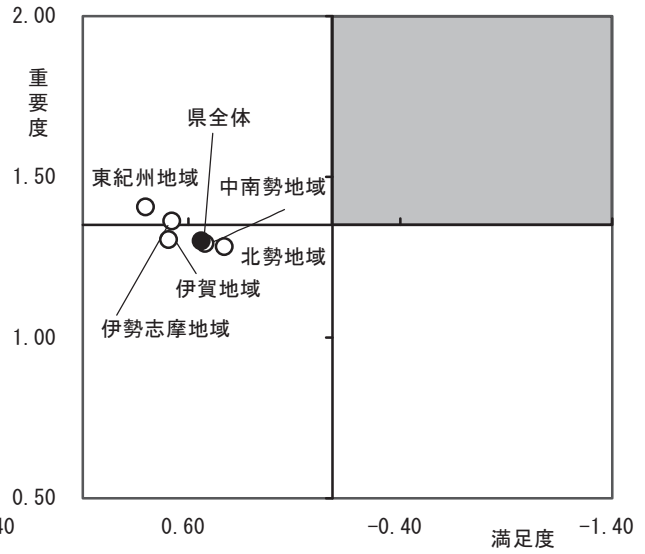
18 【医療体制】



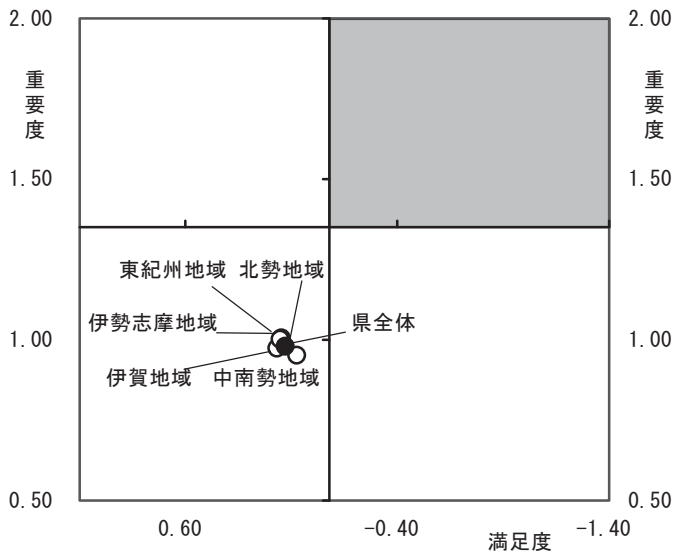
19 【福祉サービス】



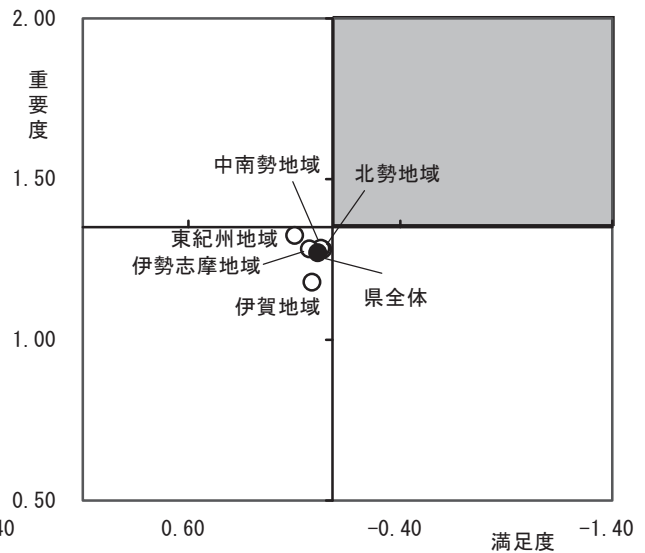
20 【自然環境との共生】



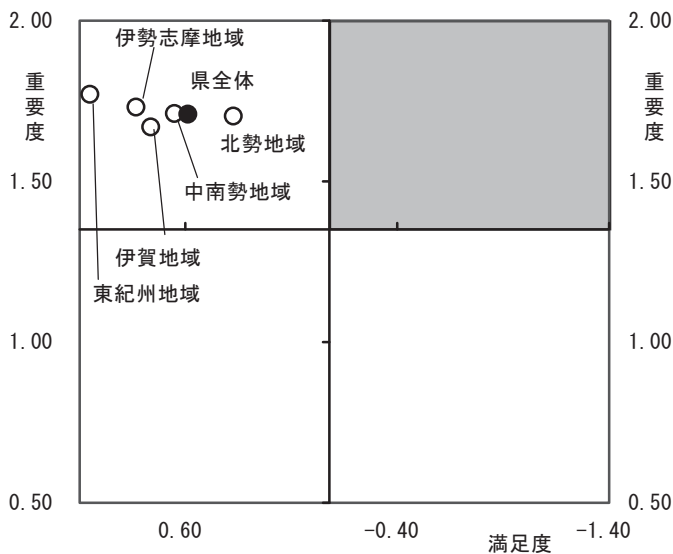
21 【希少な生物】



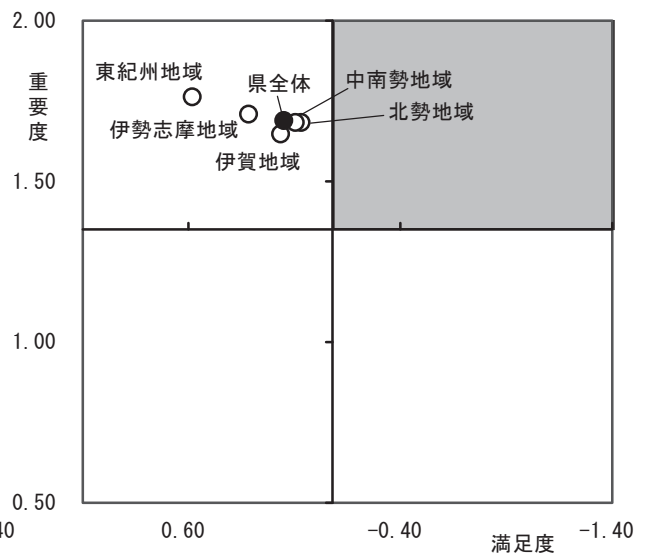
22 【ごみの減量】



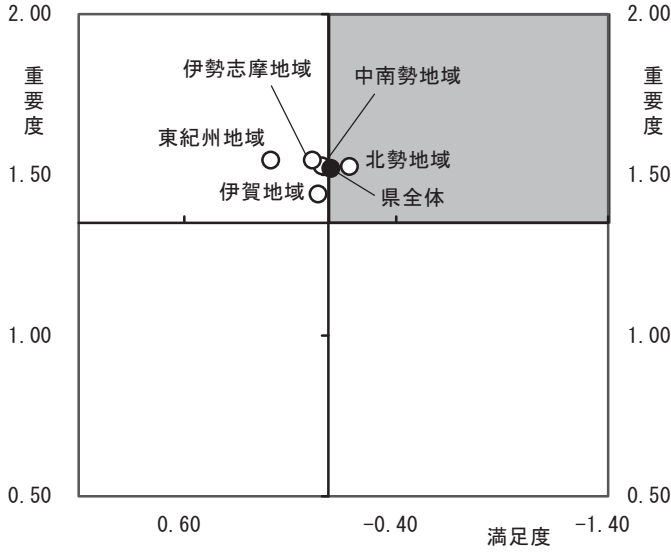
23 【きれいな空気】



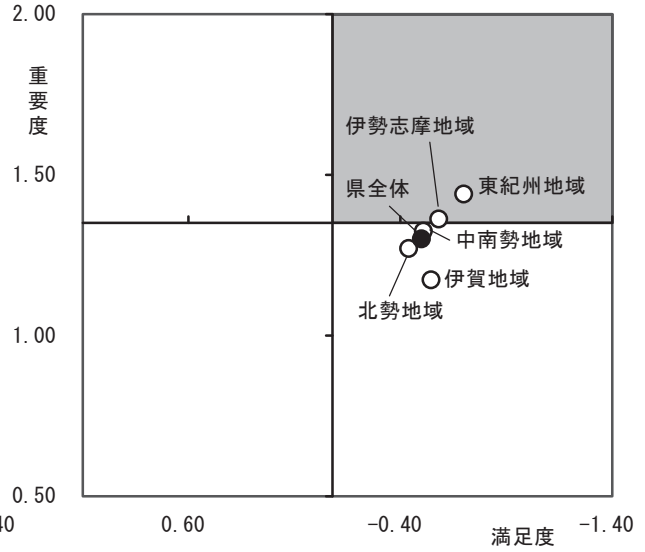
24 【川や海の水質】



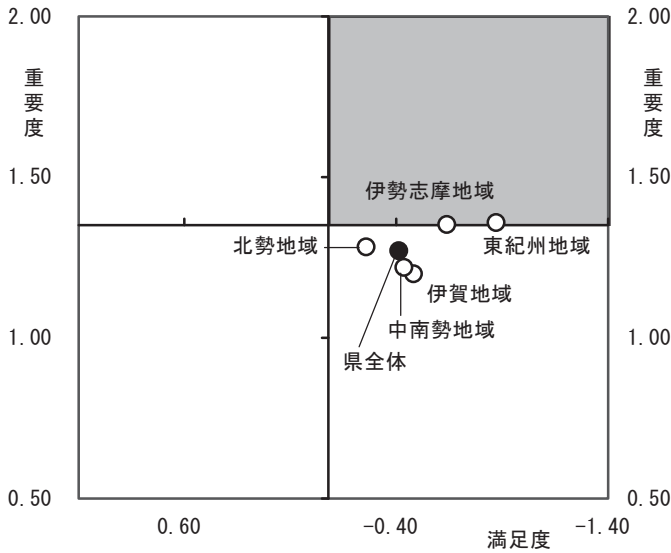
25 【地球温暖化防止】



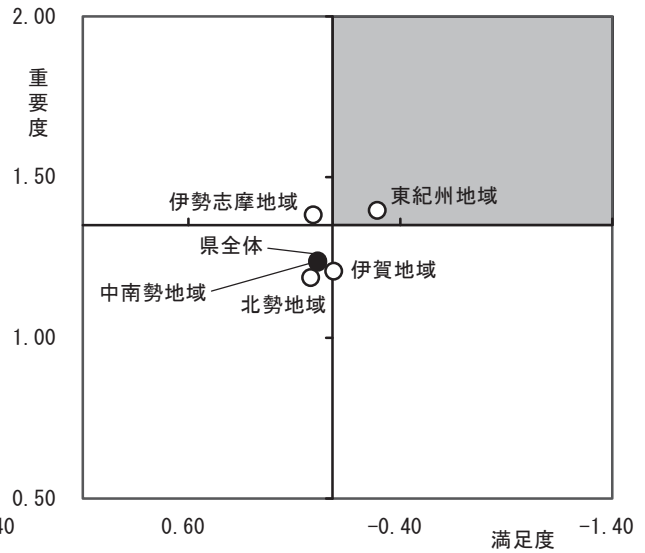
26 【農林水産業の振興】



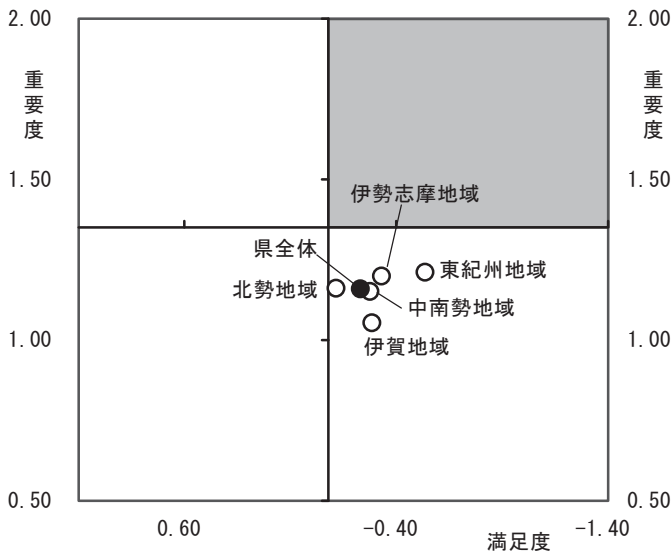
27 【産業振興】



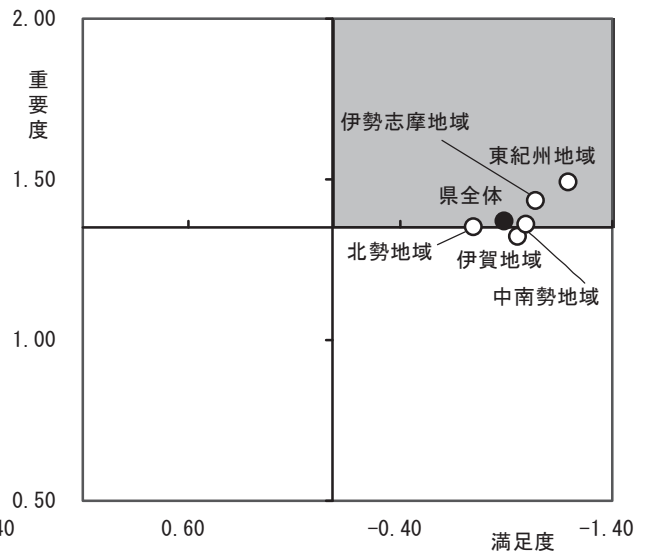
28 【観光】



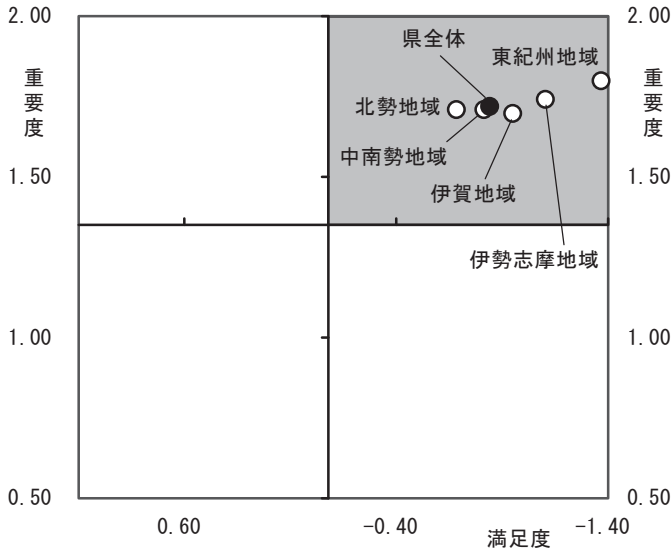
29 【技術開発】



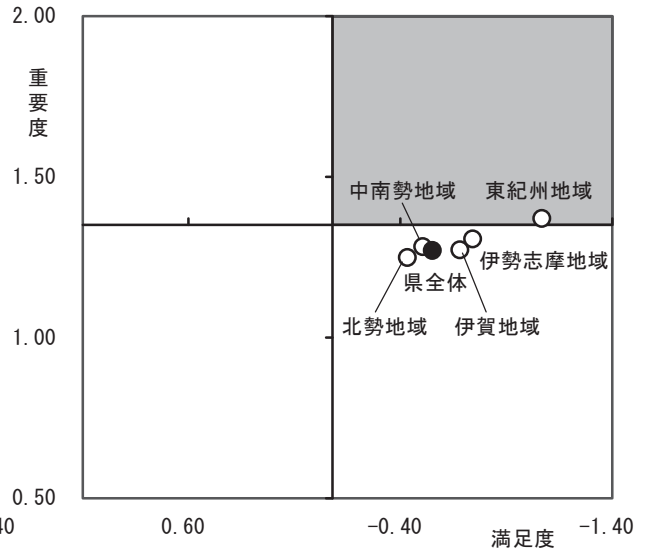
30 【地域商工業】



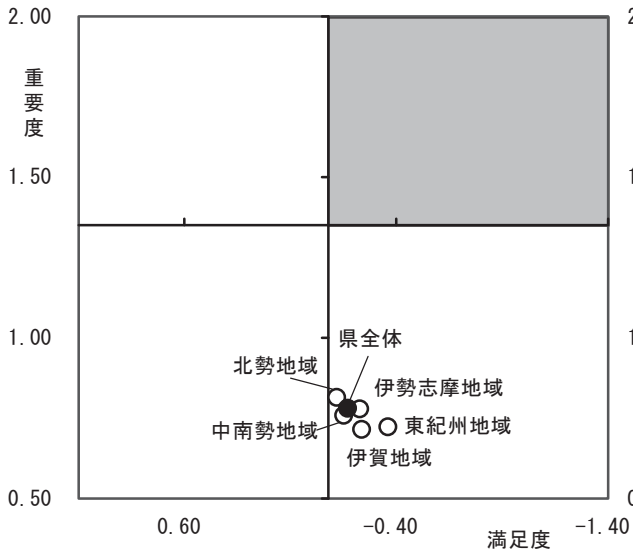
31 【雇用】



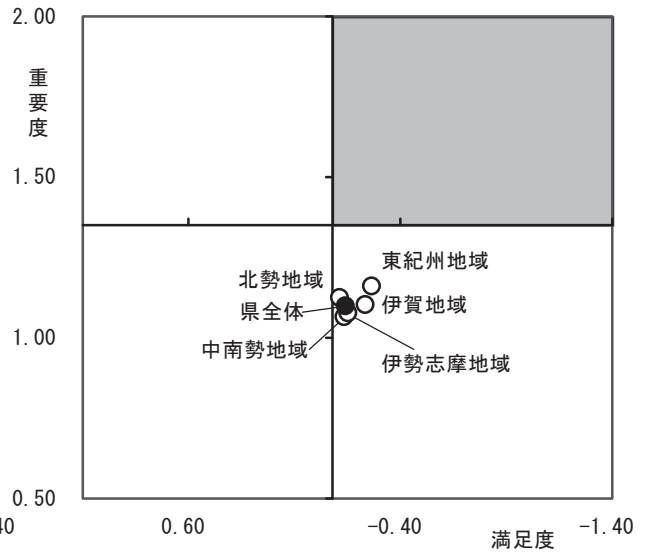
32 【職業能力開発】



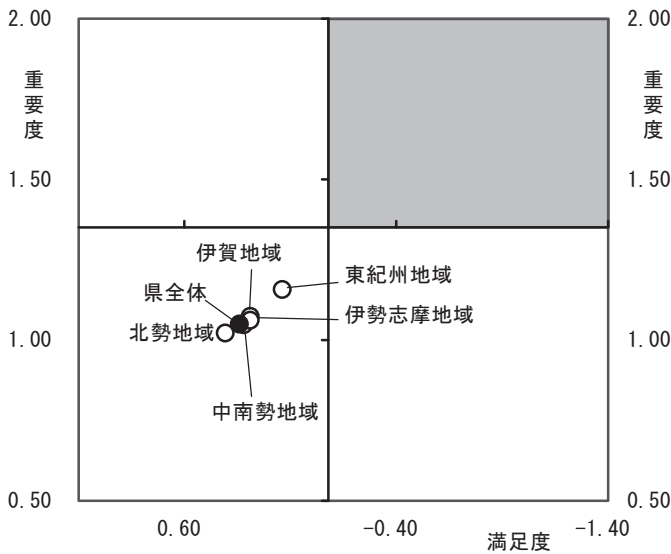
33 【国際化】



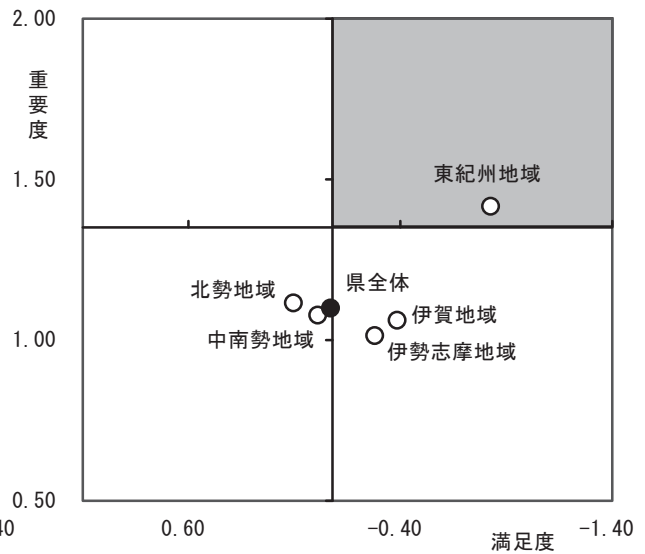
34 【広域交流・連携】



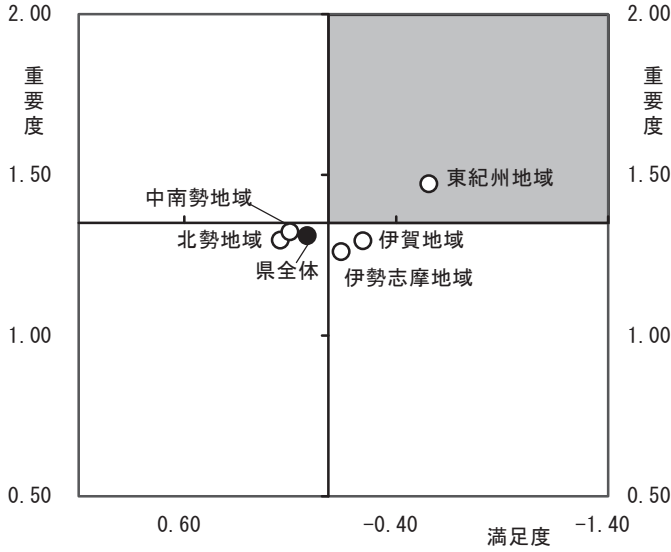
35 【情報ネットワーク】



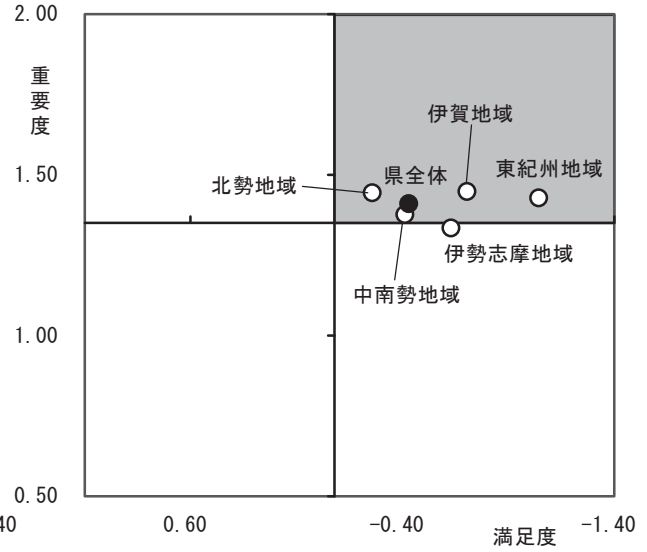
36 【高速交通網】



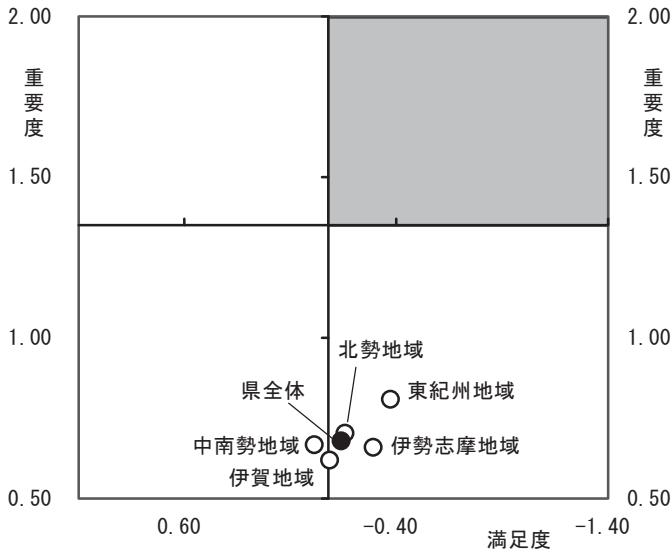
37 【道路の整備】



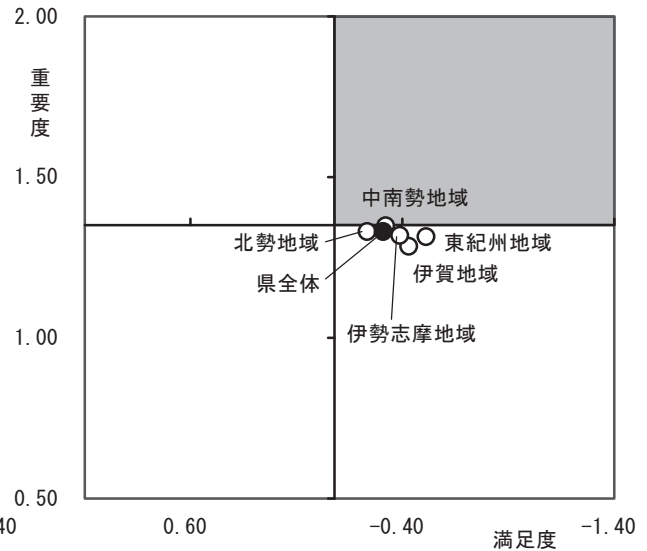
38 【公共交通機関】



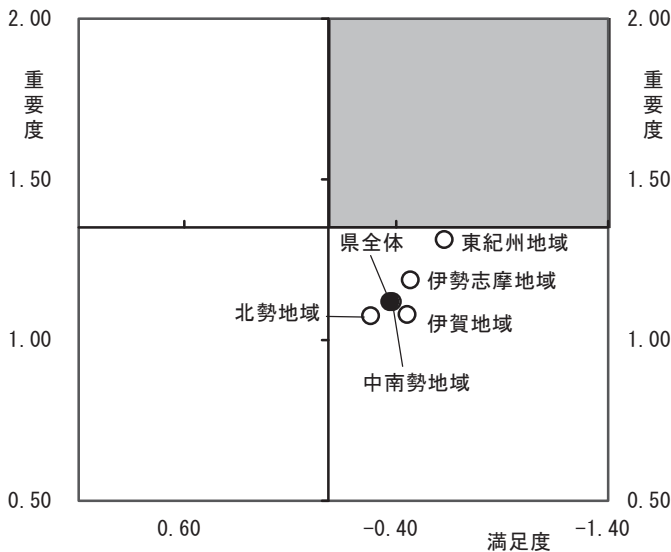
39 【港の整備】



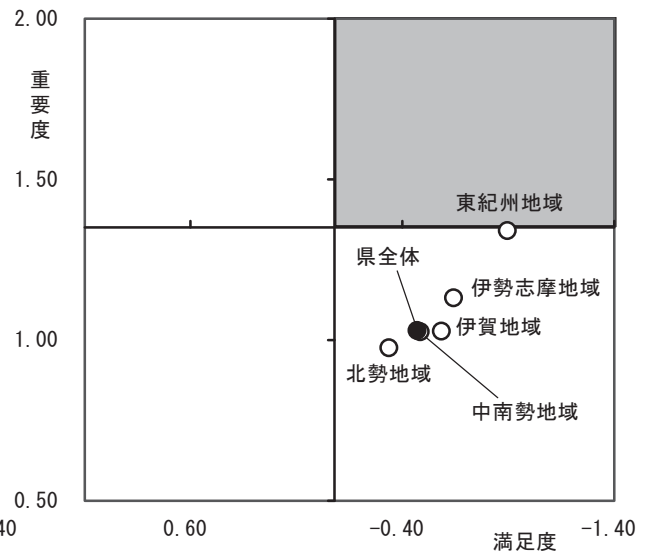
40 【快適なまちづくり】



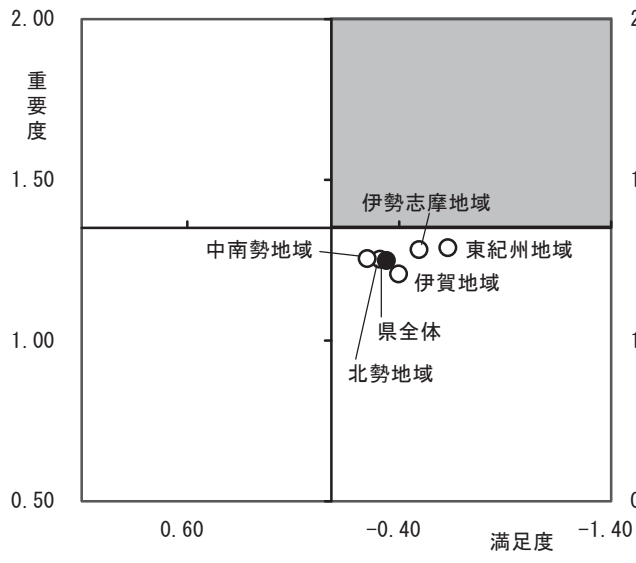
41 【農山漁村づくり】



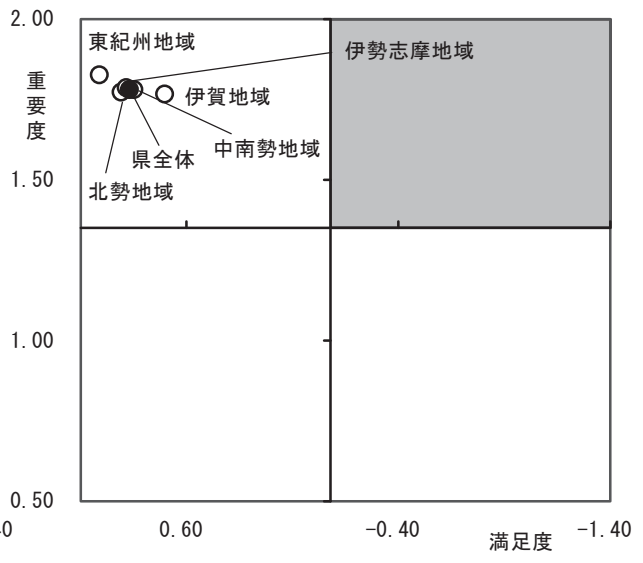
42 【過疎地域等の振興】



43 【エネルギー】



44 【飲料水の供給】



## 5. 各項目の地域によるばらつき

前節では地域ごとにその特徴を把握したが、本節では項目の視点から地域の特徴を明らかにする。44項目について5つの地域の標準偏差を算出して、どれくらいのばらつきがみられるかを分析することで、項目の地域特性を明らかにする。標準偏差とは、データの平均からの離れ具合を表した数値であり、ばらつき具合を表す。標準偏差が大きいほど、地域によるばらつきが大きいといえる。

この結果、地域によるばらつきは項目によって違いが大きいこととともに、重要度の地域によるばらつきに比べ、満足度の地域によるばらつきが大きいことがわかる。

### (1) 各項目の重要度の地域によるばらつき

「高速交通網」「過疎地域等の振興」「農林水産業の振興」「観光」「農山漁村づくり」等の標準偏差が高く、ばらつきがみられる。(図参照) また、上位5項目について、全項目の重要度が東紀州地域で高くなっている。

一方、標準偏差が低くばらつきの少ない項目は「希少な生物」「学校教育」「福祉サービス」「快適なまちづくり」「飲料水の供給」等で、これらの項目の重要度は、地域でそれほど差がみられないといえる。

図 重要度の標準偏差(地域)

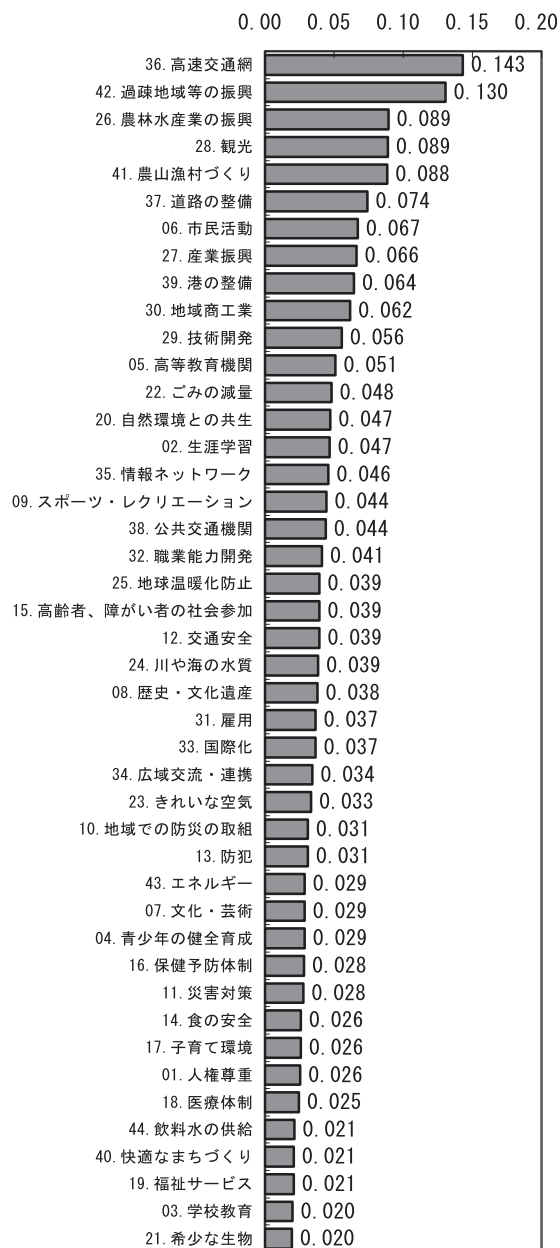


表 各地域の重要度と標準偏差

順位	項目	重要度					標準偏差	
		全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域		東紀州地域
1位	36. 高速交通網	1.10	1.12	1.06	1.08	1.01	1.42	0.143
2位	42. 過疎地域等の振興	1.03	0.98	1.03	1.03	1.13	1.34	0.130
3位	26. 農林水産業の振興	1.30	1.27	1.17	1.33	1.36	1.44	0.089
	28. 観光	1.24	1.19	1.21	1.24	1.38	1.40	0.089
5位	41. 農山漁村づくり	1.12	1.08	1.08	1.12	1.19	1.31	0.088



## (2) 各項目の満足度の地域によるばらつき

「医療体制」の標準偏差が最も高く、次いで「高速交通網」「公共交通機関」となっている。また、上位5項目について各地域の満足度の内訳を下表に示す。伊賀地域では「医療体制」の満足度が他地域に比べて低く、東紀州地域では、「医療体制」を除く4項目の満足度が他地域と比べて低くなっている。

一方、標準偏差が低くばらつきの少ない項目は「高齢者、障がい者の社会参加」「歴史・文化遺産」「希少な生物」「人権尊重」「市民活動」等で、これらの項目の満足度は、地域でそれほど差がみられないといえる。

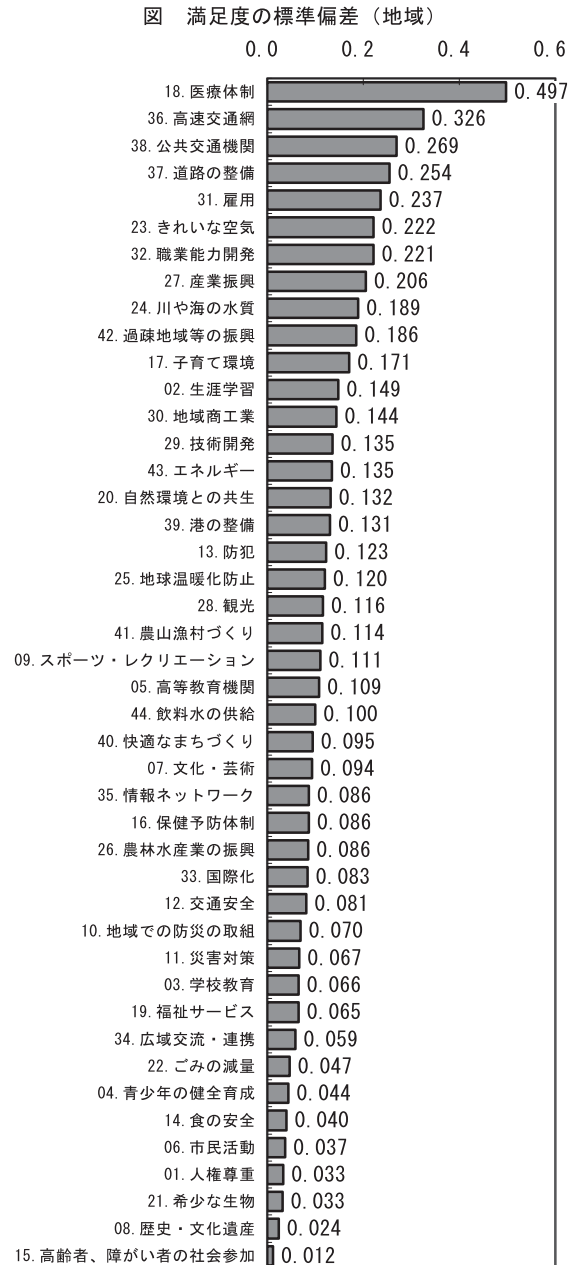


表 各地域の満足度と標準偏差

順位	項目	満足度					標準偏差	
		全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域		東紀州地域
1位	18. 医療体制	-0.14	0.12	-1.06	0.06	-0.46	-0.97	0.497
2位	36. 高速交通網	-0.07	0.10	-0.38	-0.01	-0.28	-0.83	0.326
3位	38. 公共交通機関	-0.43	-0.26	-0.70	-0.41	-0.63	-1.04	0.269
4位	37. 道路の整備	0.02	0.15	-0.24	0.10	-0.14	-0.55	0.254
5位	31. 雇用	-0.84	-0.68	-0.95	-0.81	-1.10	-1.37	0.237

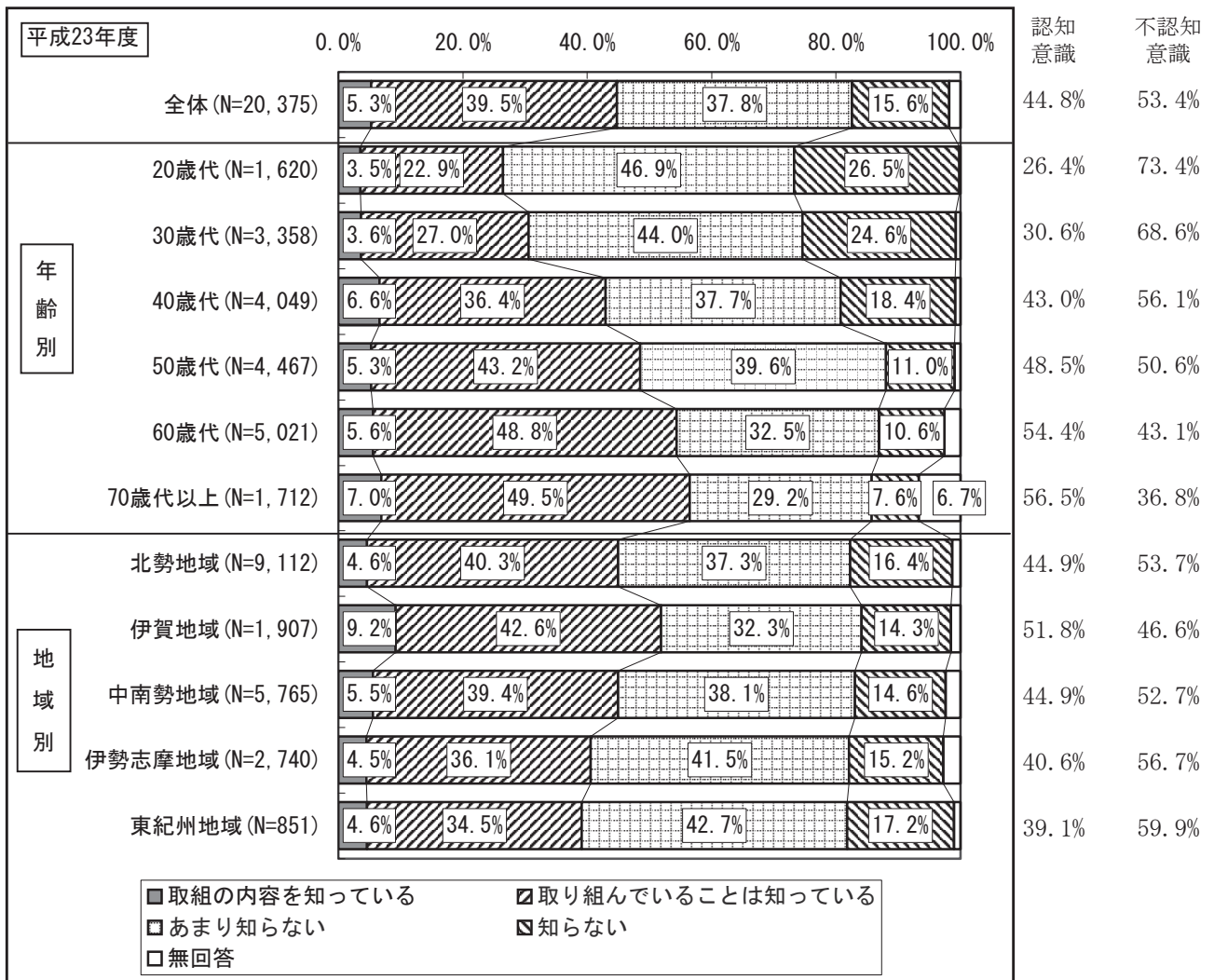
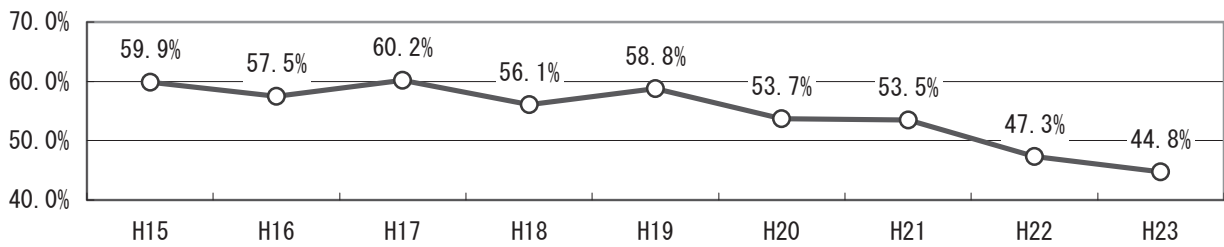
## 6. 人権尊重、食の安全における認知意識（年齢層別、地域別）

問5-2 あなたは、以下の目指すべき社会の状態について、現在の行政の具体的な取組をどの程度ご存知ですか。

### 1) 人権尊重

平成15年度までの表現	人権侵害や差別をなくすための取組
平成16年度以降の表現	性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力が十分発揮できること。

認知意識（集計資料 p.121）



### 平成 23 年度

「取組の内容を知っている」(5.3%)と「取り組んでいることは知っている」(39.5%)を合わせた認知意識は、44.8%となっている。

### 8 年間の推移

認知意識を調査しはじめた平成 15 年度からの推移をみると、19 年度までは増減を繰り返していたが、それ以降は減少が続いている。

### 年齢層別

年齢層別でみると、年齢が高いほど認知意識は高く、60 歳代以上では過半数を占めている。

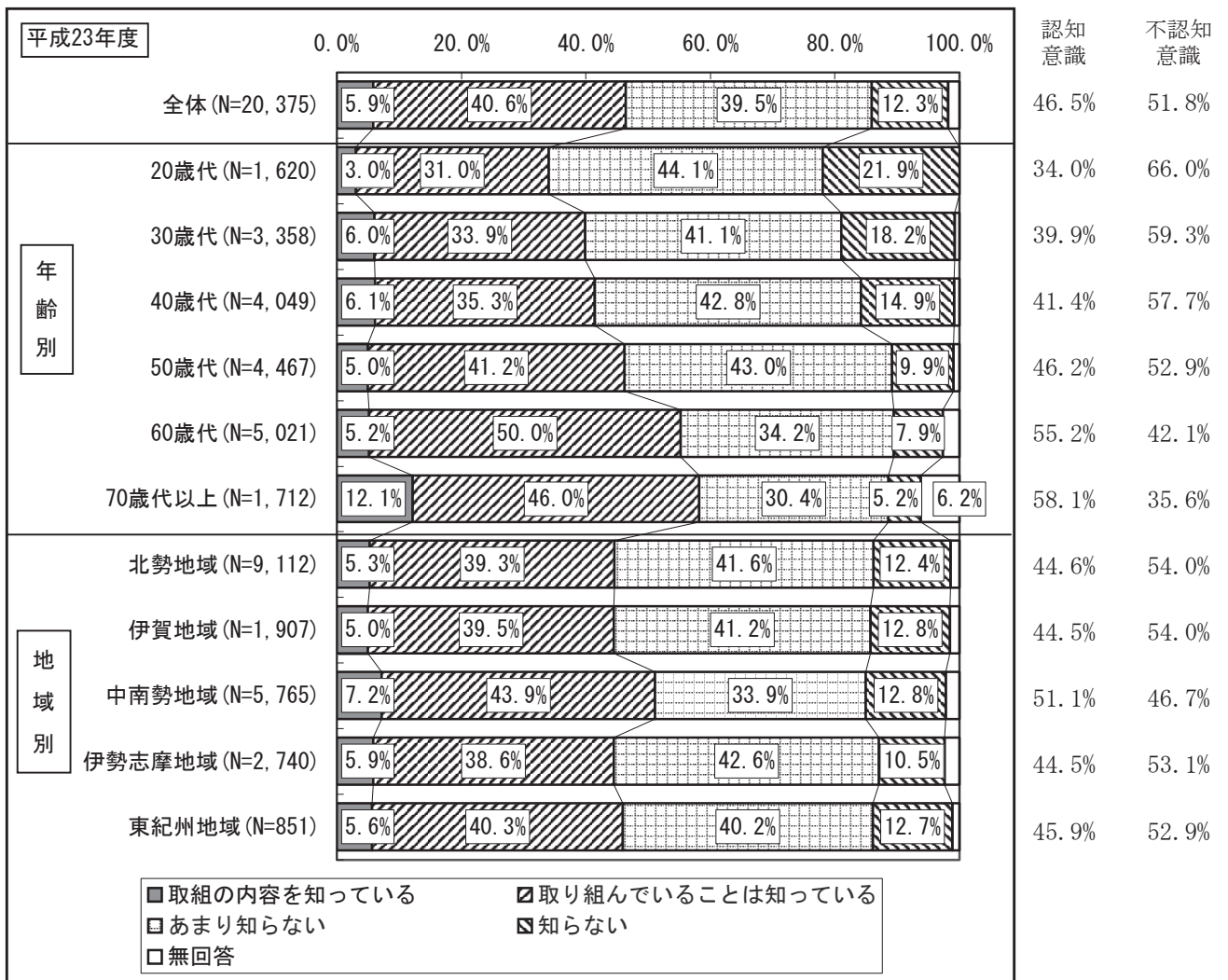
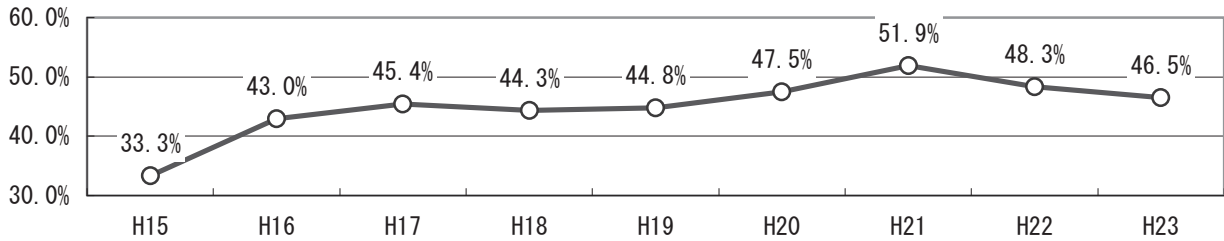
### 地域別

地域別でみると、認知意識は伊賀地域で特に高くなっている。

14) 食の安全

平成 15 年度までの表現	食品の安全性確保のための衛生管理指導體制の整備
平成 16 年度以降の表現	安心して食べられる食品が安定的に供給されていること。

認知意識 (集計資料 p. 122)



### 平成 23 年度

「取組の内容を知っている」(5.9%)と「取り組んでいることは知っている」(40.6%)を合わせた認知意識は46.5%となっている。

### 8年間の推移

平成15年度からの推移をみると、21年度までは増加傾向であったが、22年度以降は減少に転じている。

### 年齢層別

年齢層別でみると、年齢が高いほど認知意識は高く、60歳代以上では6割弱を占めている。

### 地域別

地域別でみると、中南勢地域では5割台、その他の地域では4割台となっている。

## 7. お住まいの地域の住みやすさについての評価・愛着及び今後の定住意向

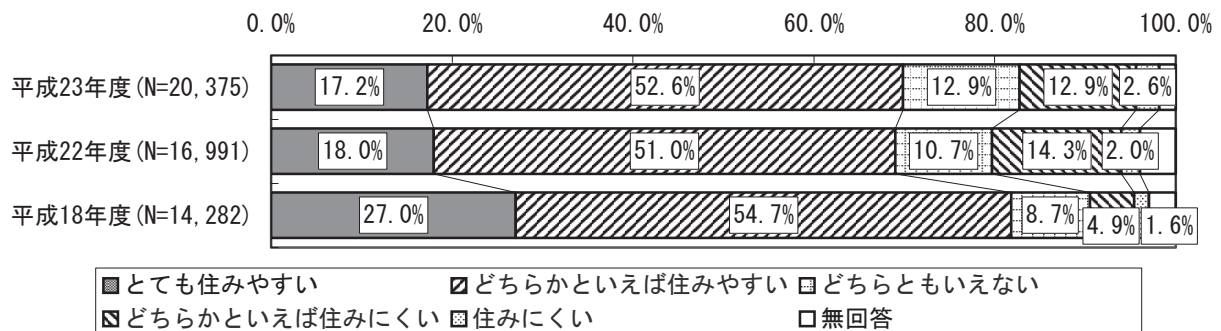
### (1) お住まいの地域の住みやすさについての評価

問1-1 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。

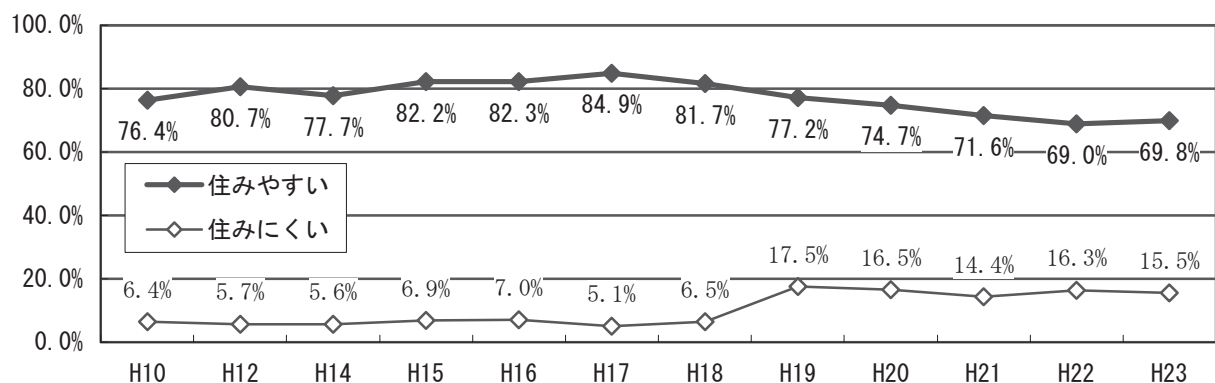
(回答は単一選択式)

#### ○全体

(集計資料 p.1)



#### ○経年



#### 平成23年度

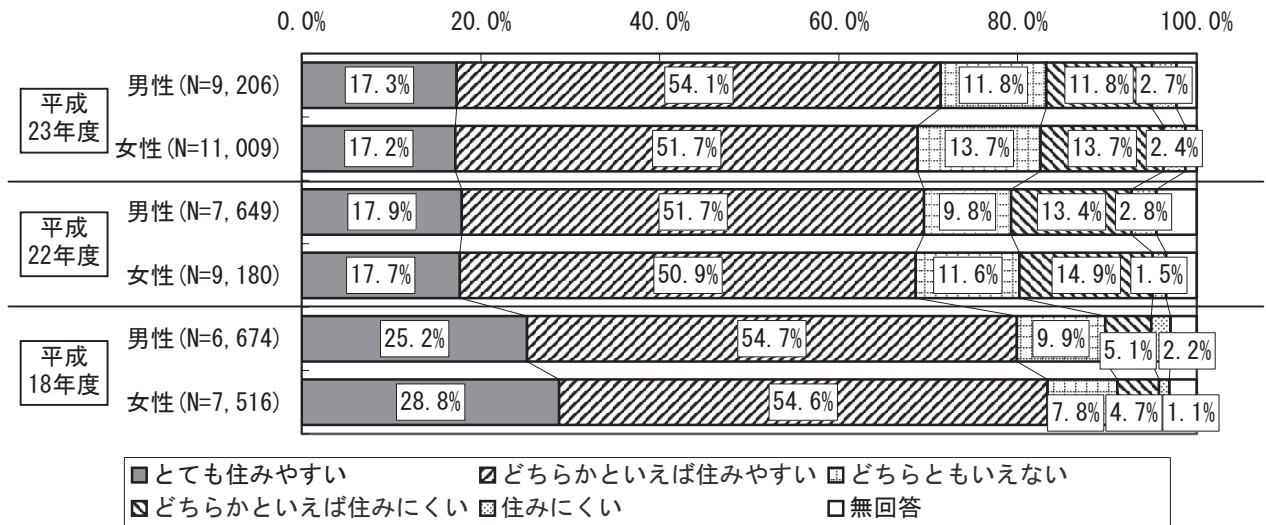
全体では、「どちらかといえば住みやすい」が5割以上(52.6%)を占め、これに「とても住みやすい」(17.2%)を合わせた“住みやすい”と答えた人は69.8%となっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(12.9%)と「住みにくい」(2.6%)を合わせた“住みにくい”と答えた人は15.5%となっている。

#### 平成18年度、平成22年度との比較

「とても住みやすい」と答えた人は22年度より0.8ポイント、18年度からは9.8ポイント減少しているが、17年度以降減少が続いていた“住みやすい”と答えた人は22年度より0.8ポイント増加と、6年ぶりに増加に転じている。また、「どちらともいえない」は増加傾向にある。

○性別

(集計資料 p.1)



平成23年度

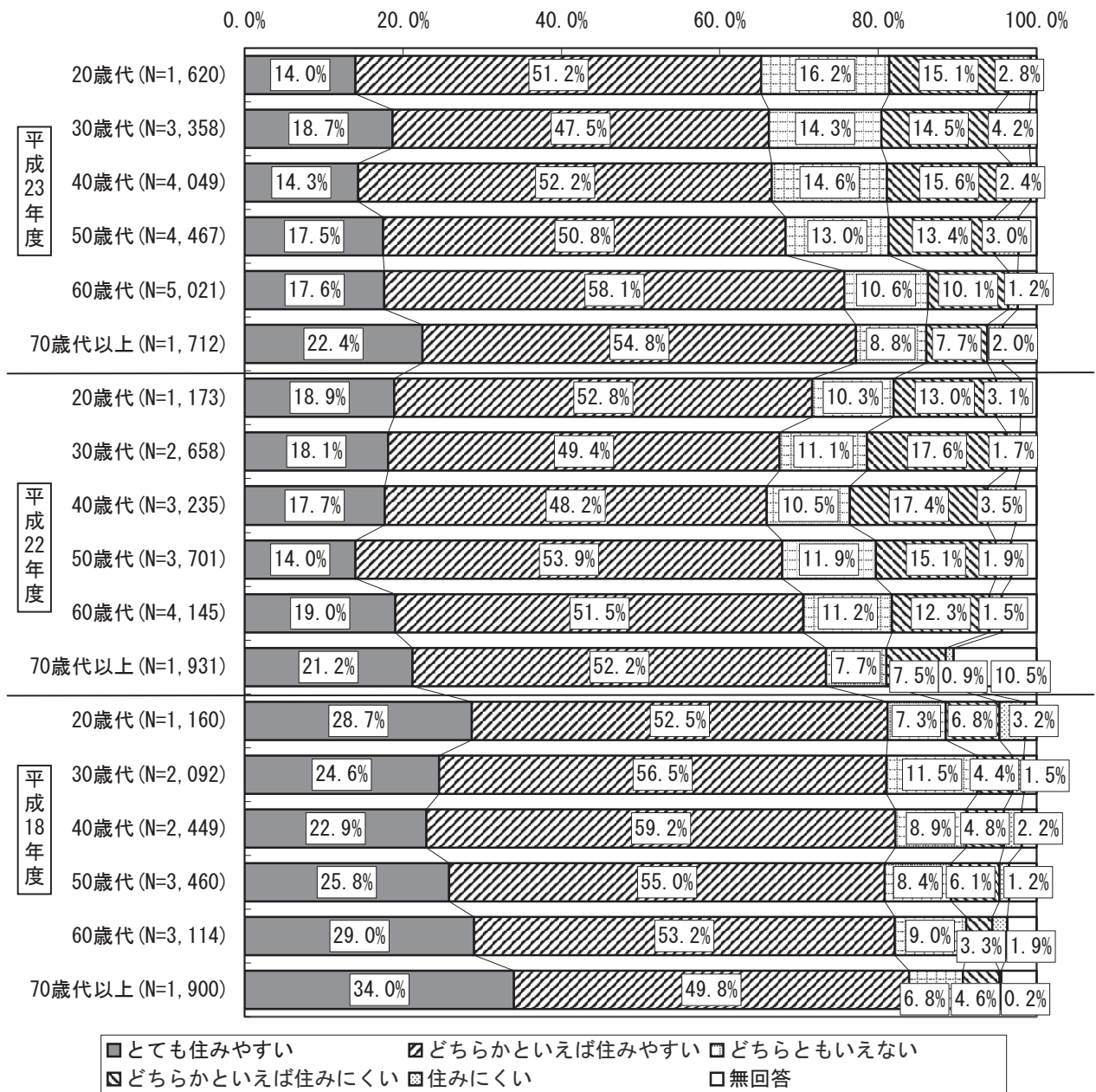
“住みやすい”と答えた人は、男性が71.4%、女性が68.9%と男性の方がやや多くなっている。

平成18年度、平成22年度との比較

18年度では“住みやすい”は女性の方が多くなっているが、22年度には男性の方が多くなっており、23年度は22年度よりも差が大きくなっている。

○年齢層別

(集計資料 p.1)



平成23年度

“住みやすい”と答えた人は、年齢層が高いほど多くなっており、70歳代以上（77.2%）で最も多くなっている。

平成18年度、平成22年度との比較

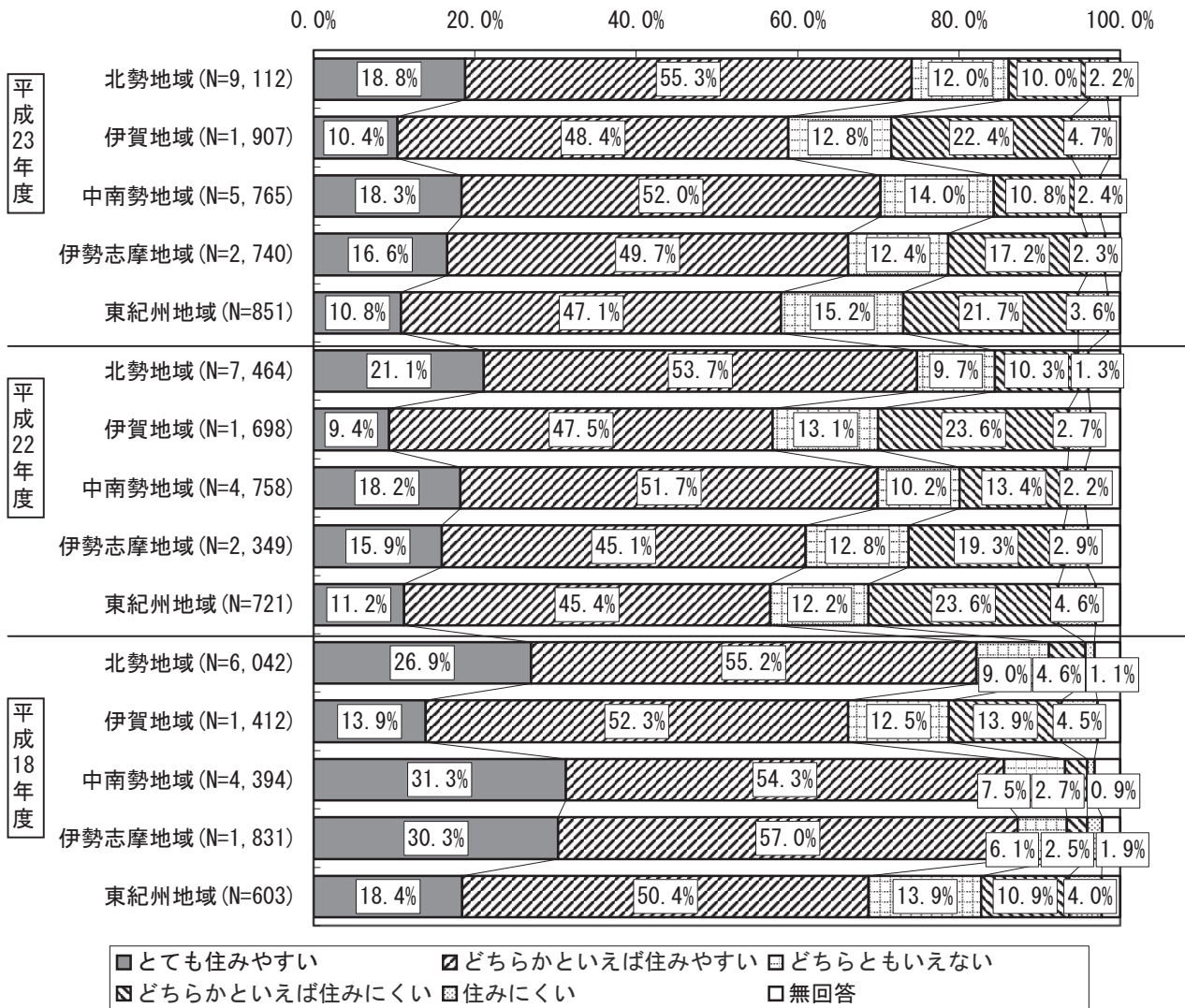
“住みやすい”と答えた人は、20歳代と30歳代では22年度より減少しているが、40歳代以上では増加している。また、18年度と比較すると年齢層による差が大きくなっている。

“住みにくい”は22年度では40歳代が最も多かったが、23年度では30歳代が最も多くなっている。



○地域別

(集計資料 p.1)



平成23年度

「とても住みやすい」と答えた人は、北勢地域（18.8%）、中南勢地域（18.3%）、伊勢志摩地域（16.6%）で15%以上となっているのに対し、伊賀地域、東紀州地域では1割強となっている。

また、「住みやすい」は、北勢地域と中南勢地域は7割を越えているが、伊勢志摩地域は6割台、伊賀地域、東紀州地域は6割に満たない。

一方、「住みにくい」と答えた人は伊賀地域、東紀州地域では2割を超えている。

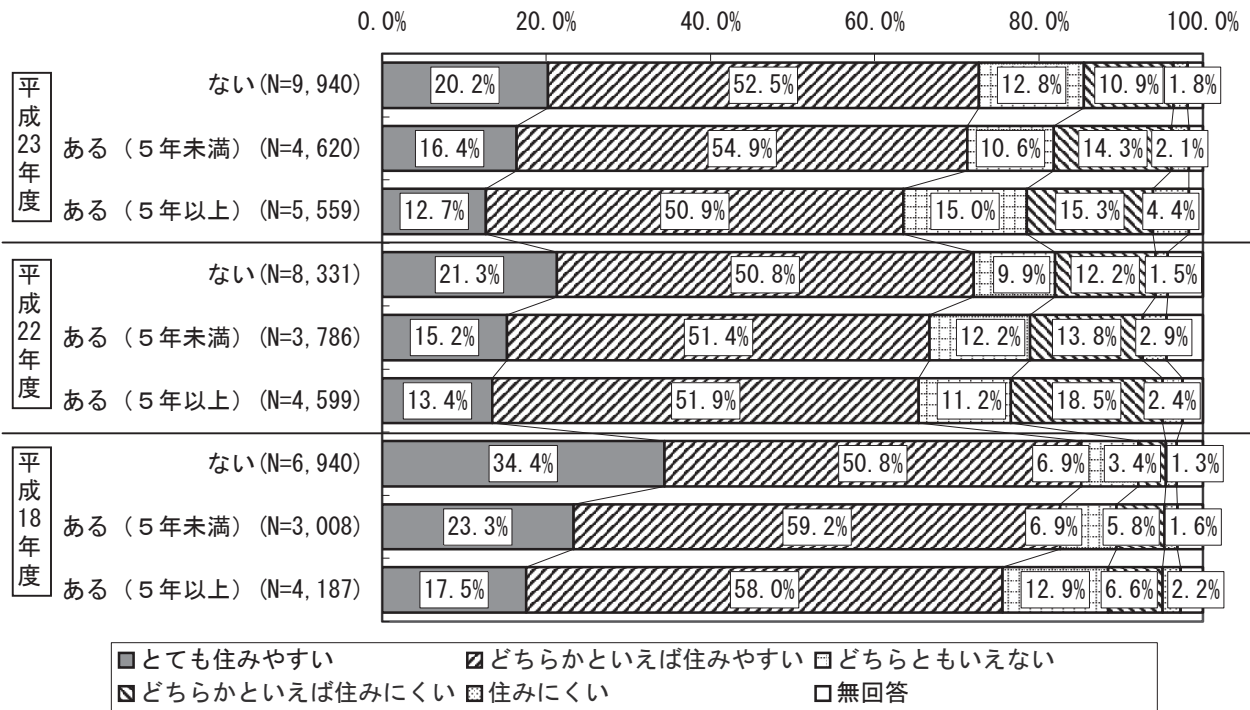
平成18年度、平成22年度との比較

「住みやすい」と答えた人は、22年から23年にかけて北勢地域を除いた4地域で増加している。

18年度と比較すると、「住みやすい」と答えた人は、全ての地域で減少しており、最も減少幅が大きいのは伊勢志摩地域で、21ポイント減少している。また、18年度では伊賀地域と東紀州地域を除いた3地域は8割台であったのに比べると、地域による差が大きくなっている傾向がみられる。

## ○県外在住の経験別

(集計資料 p.1)



### 平成23年度

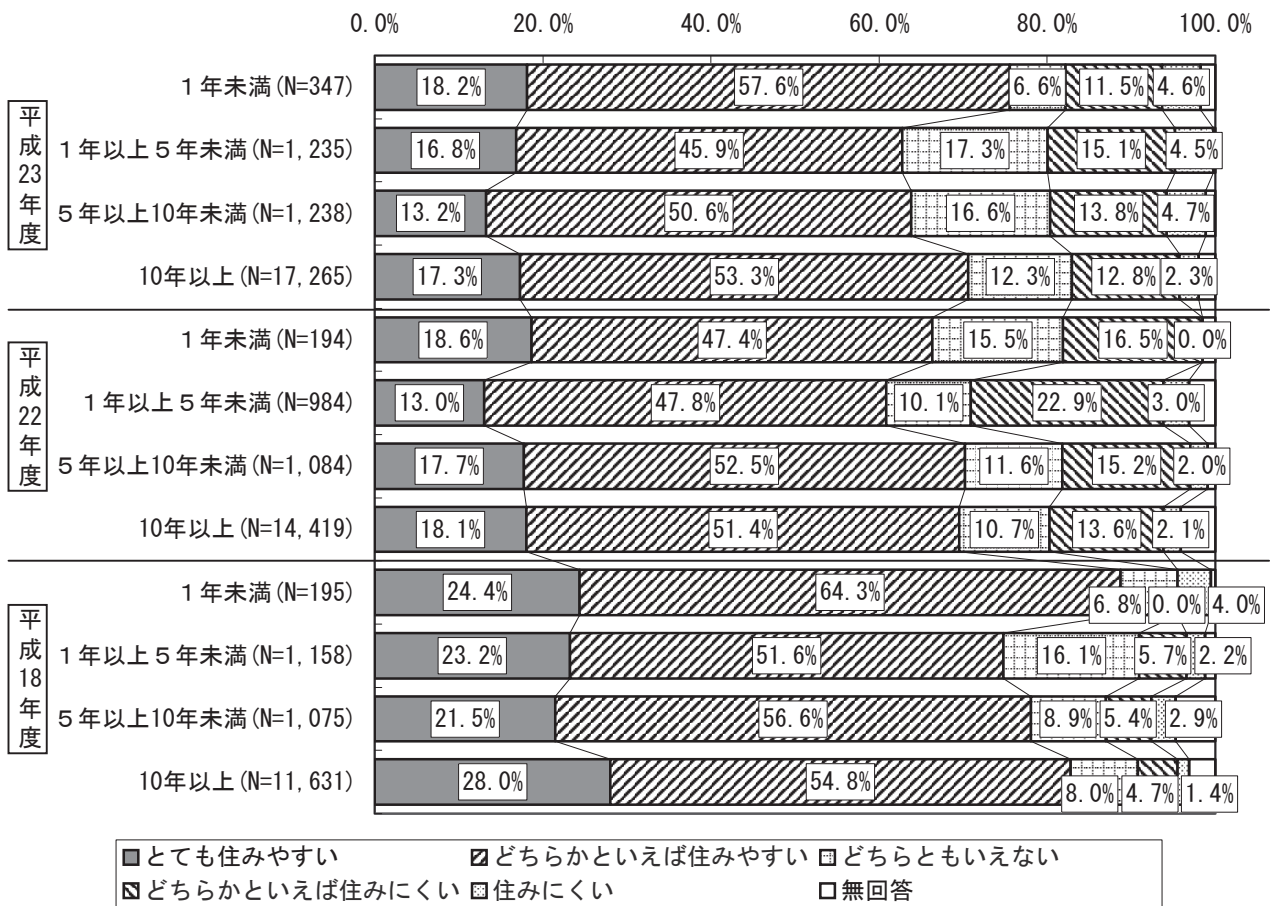
“住みやすい”と答えた人は、県外在住経験が「ない」人が72.7%、「ある（5年未満）」の人は71.3%、「ある（5年以上）」の人は63.6%とやや少なくなっている。

### 平成18年度、平成22年度との比較

22年度と比較すると、“住みやすい”と感じている人は「ある（5年以上）」では減少しているが、「ない」および「ある（5年未満）」ではやや増加している。  
 18年度と比較すると、いずれの階層においても“住みやすい”は減少している。特に「ない」での「とても住みやすい」の減少幅が大きい。

## ○居住年数別

(集計資料 p.1)



### 平成23年度

“住みやすい”と答えた人は、居住年数が1年未満の人が75.8%で最も多く、1年以上5年未満の人が62.7%で最も少なくなっている。“住みにくい”と答えた人は、1年以上5年未満(19.6%)で最も多くなっている。

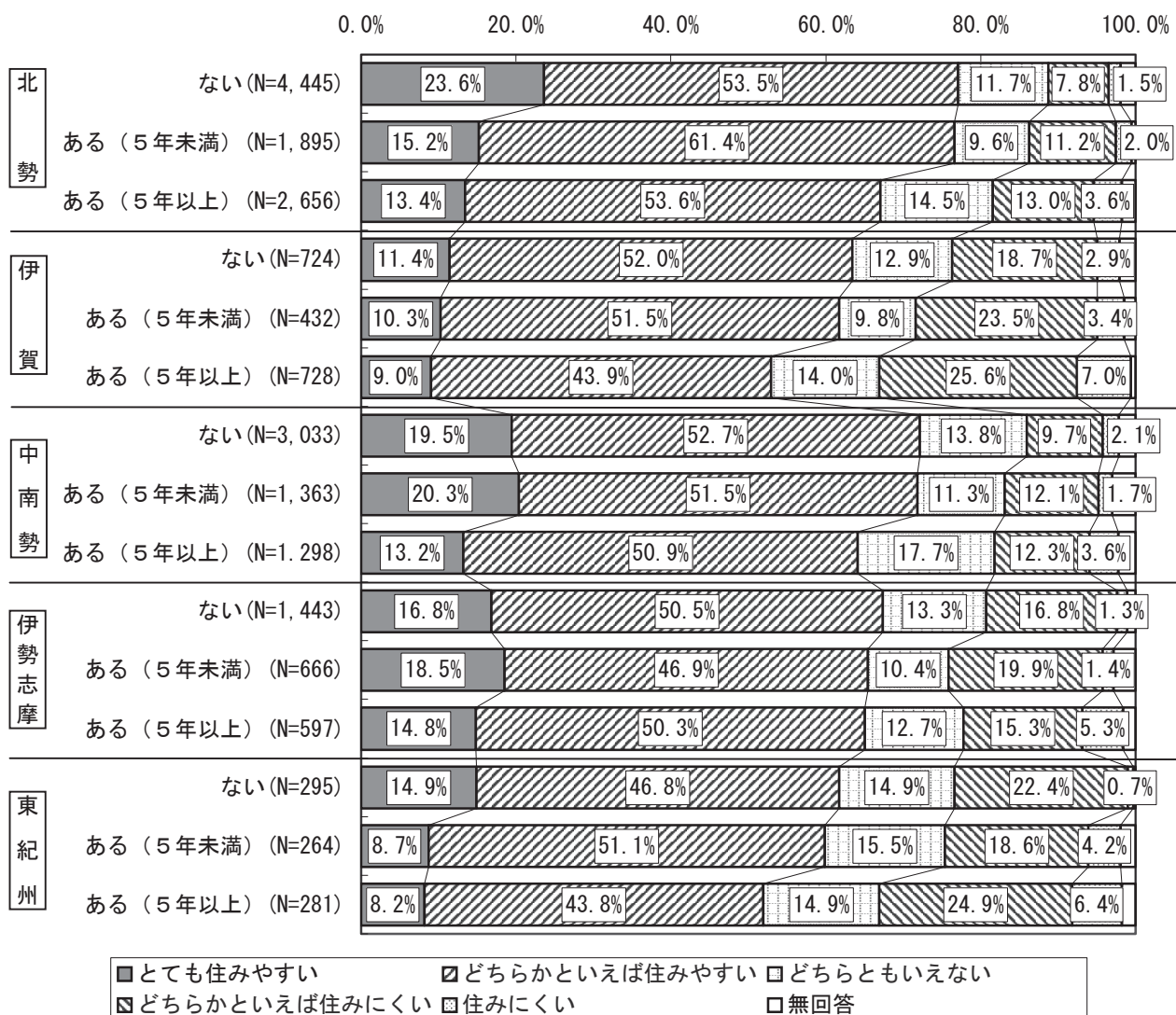
### 平成18年度、平成22年度との比較

22年度と比較すると、“住みやすい”と答えた人は5年以上10年未満では減少しているが、それ以外では増加しており、1年未満では9.8ポイントの増加となっている。

18年度と比較すると、“住みやすい”と答えた人は全ての階層で10ポイント以上減少している。いずれの年度でも、1年以上5年未満で一度大きく減少し、あとは居住年数が長くなるにつれて増加していくという傾向は一致している。

○地域・県外在住経験別

(集計資料 p.2)



“住みやすい”と答えた人は、全地域で県外在住経験が「ある」で長い人ほど少なくなっている。

(2) 住みやすいと感じている点

【問1-1で、1または2に○をつけた方だけにおうかがいします】

問1-2 現在お住まいの地域が住みやすいと感じになるのは、問1の44項目のうち、どの部分に満足されているからですか。(回答は3つ選択式)

○全体

(集計資料 p.3~7)

順位	平成23年度		前年比	順位	平成22年度	
	項目	構成比			項目	構成比
第1位	きれいな空気【くらし】	36.9%	←	第1位	きれいな空気【くらし】	37.2%
第2位	自然環境との共生【くらし】	26.5%	←	第2位	自然環境との共生【くらし】	26.2%
第3位	公共交通機関【絆】	19.2%	←	第3位	公共交通機関【絆】	17.6%
第4位	医療体制【くらし】	17.5%	↑	第4位	道路の整備【絆】	15.7%
第5位	道路の整備【絆】	14.9%	↓	第5位	医療体制【くらし】	15.0%
第6位	子育て環境【くらし】	14.6%	←	第6位	子育て環境【くらし】	14.7%
第7位	飲料水の供給【くらし】	14.0%	←	第7位	飲料水の供給【くらし】	14.2%
第8位	食の安全【くらし】	13.9%	←	第8位	食の安全【くらし】	11.6%
第9位	防犯【くらし】	11.8%	←	第9位	防犯【くらし】	10.8%
第10位	高速交通網【絆】	10.3%	←	第10位	高速交通網【絆】	10.2%
第11位	川や海の水質【くらし】	8.4%	↑	第11位	快適なまちづくり【絆】	7.9%
第12位	快適なまちづくり【絆】	6.7%	↓	第12位	川や海の水質【くらし】	7.2%
第13位	学校教育【元気】	5.7%	↑	第13位	福祉サービス【くらし】	6.5%
第14位	歴史・文化遺産【元気】	5.4%	←	第14位	歴史・文化遺産【元気】	6.3%
第15位	市民活動【絆】	4.9%	↑	第15位	学校教育【元気】	6.3%
第16位	福祉サービス【くらし】	4.6%	↓	第16位	市民活動【絆】	5.6%
第17位	スポーツ・レクリエーション【元気】	4.1%	↑	第17位	地域商工業【元気】	5.5%
第18位	地域での防災の取組【くらし】	3.8%	←	第18位	地域での防災の取組【くらし】	4.2%
	観光【元気】		↑	第20位	観光【元気】	4.1%
	人権尊重【元気】		↑			
	交通安全【くらし】		↑			
第22位	生涯学習【元気】	3.2%	↑	第22位	交通安全【くらし】	3.9%
第23位	地域商工業【元気】	3.1%	↓	第23位	人権尊重【元気】	3.4%
第24位	ごみの減量【くらし】	2.9%	↓	第24位	生涯学習【元気】	3.2%
第25位	雇用【元気】	2.7%	↑		文化・芸術【元気】	
第26位	文化・芸術【元気】	2.3%	↓	第26位	雇用【元気】	2.5%
第27位	保健予防体制【くらし】	2.0%	↑	第27位	青少年の健全育成【元気】	2.1%
第28位	青少年の健全育成【元気】	1.8%	↓	第28位	情報ネットワーク【絆】	1.6%
第29位	広域交流・連携【絆】	1.7%	↑		災害対策【くらし】	
第30位	災害対策【くらし】	1.5%	↓		保健予防体制【くらし】	
第31位	情報ネットワーク【絆】	1.4%	↓	第31位	広域交流・連携【絆】	1.4%
第32位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	1.2%	←	第32位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	1.3%
第33位	農林水産業の振興【元気】	0.9%	↑	第33位	港の整備【絆】	1.1%
第34位	産業振興【元気】	0.8%	←	第34位	産業振興【元気】	1.0%
	高等教育機関【絆】		↑		希少な生物【くらし】	
	農山漁村づくり【絆】		↑		第36位	
第37位	港の整備【絆】	0.6%	↓	第38位	農山漁村づくり【絆】	0.6%
	希少な生物【くらし】		↓		高等教育機関【絆】	
第39位	職業能力開発【元気】	0.4%	↑	第39位	エネルギー【くらし】	0.4%
第40位	国際化【絆】	0.3%	↑	第41位	地球温暖化防止【くらし】	0.3%
	過疎地域等の振興【絆】		↑		国際化【絆】	
第42位	エネルギー【くらし】	0.2%	↓	第42位	職業能力開発【元気】	0.2%
第43位	技術開発【元気】	0.1%	↑	第43位	過疎地域等の振興【絆】	0.2%
第44位	地球温暖化防止【くらし】	0.0%	↓	第44位	技術開発【元気】	0.1%
	その他	6.3%			その他	5.8%

住みやすいと感じている点については、「きれいな空気」が36.9%と最も多く、次いで「自然環境との共生」(26.5%)、「公共交通機関」(19.2%)、「医療体制」(17.5%)、「道路の整備」(14.9%)、「子育て環境」(14.6%)、「飲料水の供給」(14.0%)、「食の安全」(13.9%)などとなっている。  
22年度と比較しても、大きな変化はみられない。

### ○年齢層別 上位5項目

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 36.9%	20.自然環境との共生 26.5%	38.公共交通機関 19.2%	18.医療体制 17.5%	37.道路の整備 14.9%
20歳代	23.きれいな空気 38.6%	20.自然環境との共生 23.0%	17.子育て環境 17.5%	14.食の安全 16.0%	38.公共交通機関 15.3%
30歳代	23.きれいな空気 30.9%	17.子育て環境 23.0%	20.自然環境との共生 22.7%	38.公共交通機関 21.3%	36.高速交通網 14.3%
40歳代	23.きれいな空気 30.0%	20.自然環境との共生 24.0%	17.子育て環境 23.2%	38.公共交通機関 20.7%	37.道路の整備 15.4%
50歳代	23.きれいな空気 38.4%	20.自然環境との共生 31.0%	38.公共交通機関 18.6%	37.道路の整備 17.5%	44.飲料水の供給 17.1%
60歳代	23.きれいな空気 43.5%	20.自然環境との共生 30.1%	18.医療体制 21.5%	44.飲料水の供給 19.0%	38.公共交通機関 18.0%
70歳代以上	23.きれいな空気 35.4%	18.医療体制 29.1%	38.公共交通機関 21.1%	20.自然環境との共生 19.4%	14.食の安全 19.1%

- ・県全体の上位5項目のうち、「きれいな空気」が全ての年齢層で1位となっているほか、「自然環境との共生」「公共交通機関」が全ての年齢層で上位5項目としてあげられている。「医療体制」は60歳代以上で、「道路の整備」は40歳代、50歳代で上位5項目にあげられている。
- ・上記以外の項目では、「子育て環境」が子育て世代である20～40歳代で、「食の安全」が20歳代と70歳代以上で、「高速交通網」が30歳代で、「飲料水の供給」が50歳代、60歳代でそれぞれ上位5項目に入っている。

### ○地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 36.9%	20.自然環境との共生 26.5%	38.公共交通機関 19.2%	18.医療体制 17.5%	37.道路の整備 14.9%
北勢地域	38.公共交通機関 25.8%	23.きれいな空気 25.6%	20.自然環境との共生 22.8%	18.医療体制 22.2%	37.道路の整備 16.8%
伊賀地域	23.きれいな空気 58.3%	20.自然環境との共生 37.2%	14.食の安全 14.9%	17.子育て環境 12.8%	38.公共交通機関 12.8%
中南勢地域	23.きれいな空気 39.7%	20.自然環境との共生 27.1%	18.医療体制 19.4%	38.公共交通機関 18.8%	37.道路の整備 16.6%
伊勢志摩地域	23.きれいな空気 50.1%	20.自然環境との共生 29.6%	14.食の安全 21.6%	24.川や海の水質 16.7%	13.防犯 13.9%
東紀州地域	23.きれいな空気 70.4%	20.自然環境との共生 38.3%	24.川や海の水質 34.9%	44.飲料水の供給 16.6%	13.防犯 15.8%

- ・県全体の上位5項目のうち、「きれいな空気」、「自然環境との共生」は全地域で上位5項目としてあげられている。「公共交通機関」は北勢地域での1位をはじめ3地域で、「道路の整備」、「医療体制」は2地域で上位5項目に入っている。
- ・上記以外の項目では、「川や海の水質」、「食の安全」、「防犯」が2地域で、「飲料水の供給」が東紀州地域で、「子育て環境」が伊賀地域で上位5項目に入っている。

(3) 住みにくいと感じている点

【問1-1で、3または4に○をつけた方だけにおうかがいします】

問1-3 現在お住まいの地域が住みにくいとお感じになるのは、問1の44項目のうち、どの部分が不足しているからですか。(回答は3つ選択式)

○全体

(集計資料 p.8~12)

順位	平成23年度		前年比	順位	平成22年度	
	項目	構成比			項目	構成比
第1位	公共交通機関【絆】	45.5%	↑	第1位	医療体制【くらし】	36.8%
第2位	医療体制【くらし】	38.6%	↓	第2位	公共交通機関【絆】	34.2%
第3位	雇用【元気】	30.1%	←	第3位	雇用【元気】	28.0%
第4位	道路の整備【絆】	15.6%	←	第4位	道路の整備【絆】	15.3%
第5位	子育て環境【くらし】	10.8%	←	第5位	子育て環境【くらし】	12.0%
第6位	快適なまちづくり【絆】	10.2%	↑	第6位	福祉サービス【くらし】	10.3%
第7位	地域商工業【元気】	10.1%	↑	第7位	快適なまちづくり【絆】	9.0%
第8位	過疎地域等の振興【絆】	9.4%	↑	第8位	防犯【くらし】	8.7%
第9位	人権尊重【元気】	8.4%	↑	第9位	地域商工業【元気】	8.4%
第10位	福祉サービス【くらし】	8.2%	↓	第10位	過疎地域等の振興【絆】	7.8%
第11位	学校教育【元気】	8.1%	↑	第11位	交通安全【くらし】	7.0%
第12位	交通安全【くらし】	6.2%	↓	第12位	文化・芸術【元気】	6.7%
第13位	防犯【くらし】	5.7%	↓	第13位	災害対策【くらし】	6.4%
第14位	災害対策【くらし】	5.6%	↓	第14位	学校教育【元気】	6.1%
第15位	文化・芸術【元気】	5.1%	↓	第15位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	5.2%
第16位	産業振興【元気】	4.4%	↑	第16位	高等教育機関【絆】	4.7%
第17位	高等教育機関【絆】	4.2%	↓	第17位	産業振興【元気】	4.6%
第18位	高速交通網【絆】	4.1%	↑	第18位	きれいな空気【くらし】	4.5%
第19位	農林水産業の振興【元気】	3.5%	↑	第20位	人権尊重【元気】	4.2%
第21位	きれいな空気【くらし】	3.4%	↓	第21位	自然環境との共生【くらし】	4.2%
第22位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	3.4%	↓	第22位	観光【元気】	3.8%
第23位	スポーツ・レクリエーション【元気】	2.7%	↑	第23位	川や海の水質【くらし】	3.6%
第24位	川や海の水質【くらし】	2.4%	↑	第24位	高速交通網【絆】	3.4%
第25位	広域交流・連携【絆】	2.4%	↓	第25位	農林水産業の振興【元気】	3.4%
第26位	自然環境との共生【くらし】	2.1%	↑	第26位	農山漁村づくり【絆】	3.3%
第27位	ごみの減量【くらし】	2.1%	↑	第27位	スポーツ・レクリエーション【元気】	3.1%
第28位	農山漁村づくり【絆】	2.0%	↓	第28位	青少年の健全育成【元気】	2.7%
第29位	生涯学習【元気】	1.9%	↑	第29位	情報ネットワーク【絆】	2.6%
第30位	観光【元気】	1.9%	↓	第30位	市民活動【絆】	2.6%
第31位	青少年の健全育成【元気】	1.6%	↓	第31位	生涯学習【元気】	2.3%
第32位	市民活動【絆】	1.4%	↓	第32位	職業能力開発【元気】	1.7%
第33位	職業能力開発【元気】	1.2%	↓	第33位	広域交流・連携【絆】	1.5%
第34位	情報ネットワーク【絆】	1.2%	↓	第34位	ごみの減量【くらし】	1.2%
第35位	国際化【絆】	0.9%	↑	第35位	希少な生物【くらし】	1.2%
第36位	保健予防体制【くらし】	0.8%	↑	第36位	飲料水の供給【くらし】	0.9%
第37位	地球温暖化防止【くらし】	0.6%	↑	第37位	食の安全【くらし】	0.9%
第38位	地域での防災の取組【くらし】	0.5%	↑	第38位	国際化【絆】	0.9%
第39位	飲料水の供給【くらし】	0.5%	↓	第39位	歴史・文化遺産【元気】	0.6%
第40位	食の安全【くらし】	0.4%	↓	第40位	地球温暖化防止【くらし】	0.6%
第41位	歴史・文化遺産【元気】	0.4%	↓	第41位	地域での防災の取組【くらし】	0.5%
第42位	希少な生物【くらし】	0.3%	↓	第42位	保健予防体制【くらし】	0.5%
第43位	エネルギー【くらし】	0.3%	↑	第43位	エネルギー【くらし】	0.4%
第44位	港の整備【絆】	0.1%	↑	第44位	技術開発【元気】	0.1%
その他	技術開発【元気】	0.1%	↓	その他	港の整備【絆】	0.1%
		11.5%				12.4%

住みにくいと感じている点については、「公共交通機関」(45.5%)が最も多く、次いで「医療体制」(38.6%)、「雇用」(30.1%)が3割以上、「道路の整備」(15.6%)、「子育て環境」(10.8%)、「快適なまちづくり」(10.2%)、「地域商工業」(10.1%)が1割台となっている。

22年度と比較すると、「公共交通機関」が11.3ポイントと大きく増加している。次いで、「人権尊重」(3.9ポイント増加)、「雇用」(2.1ポイント増加)、「学校教育」(2.0ポイント増加)などの増加幅が大きくなっている。一方、減少幅が大きいのは「防犯」(3.0ポイント減少)、「福祉サービス」(2.1ポイント減少)などとなっている。

### ○年齢層別 上位5項目

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	38. 公共交通機関 45.5%	18. 医療体制 38.6%	31. 雇用 30.1%	37. 道路の整備 15.6%	17. 子育て環境 10.8%
20歳代	38. 公共交通機関 59.2%	31. 雇用 37.4%	18. 医療体制 31.8%	37. 道路の整備 24.6%	30. 地域商工業 14.5%
30歳代	38. 公共交通機関 45.1%	18. 医療体制 36.4%	17. 子育て環境 29.7%	31. 雇用 26.5%	37. 道路の整備 15.5%
40歳代	38. 公共交通機関 55.1%	18. 医療体制 41.8%	31. 雇用 29.9%	03. 学校教育 13.0%	37. 道路の整備 12.8%
50歳代	38. 公共交通機関 41.3%	31. 雇用 37.2%	18. 医療体制 36.6%	40. 快適なまちづくり 17.6%	01. 人権尊重 13.5%
60歳代	18. 医療体制 39.8%	38. 公共交通機関 35.1%	31. 雇用 24.7%	37. 道路の整備 17.2%	07. 文化・芸術 11.8%
70歳代以上	18. 医療体制 51.8%	38. 公共交通機関 31.3%	37. 道路の整備 22.3%	31. 雇用 16.9%	42. 過疎地域等の振興 15.7%

- ・県全体の上位5項目のうち、「公共交通機関」「医療体制」「雇用」が全ての年齢層で上位5項目にあげられている。また、「子育て環境」は30歳代で、「道路の整備」は50歳代以外で上位5項目にあげられている。
- ・上記以外の項目では、「地域商工業」が20歳代で、「学校教育」が40歳代で、「快適なまちづくり」、「人権尊重」が50歳代で、「文化・芸術」が60歳代で、「過疎地域等の振興」が70歳代以上で、それぞれ上位5位までに入っている。

### ○地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	38. 公共交通機関 45.5%	18. 医療体制 38.6%	31. 雇用 30.1%	37. 道路の整備 15.6%	17. 子育て環境 10.8%
北勢地域	38. 公共交通機関 53.4%	18. 医療体制 25.0%	37. 道路の整備 16.4%	31. 雇用 12.9%	40. 快適なまちづくり 12.1%
伊賀地域	18. 医療体制 59.8%	38. 公共交通機関 38.9%	31. 雇用 36.1%	37. 道路の整備 15.6%	42. 過疎地域等の振興 14.3%
中南勢地域	38. 公共交通機関 47.3%	18. 医療体制 32.6%	31. 雇用 28.7%	37. 道路の整備 14.0%	17. 子育て環境 13.2%
伊勢志摩地域	31. 雇用 49.1%	18. 医療体制 47.9%	38. 公共交通機関 37.9%	37. 道路の整備 18.3%	01. 人権尊重 42. 過疎地域等の振興 10.7%
東紀州地域	31. 雇用 63.0%	18. 医療体制 56.0%	38. 公共交通機関 32.4%	36. 高速交通網 21.8%	42. 過疎地域等の振興 16.2%

- ・県全体の上位5項目のうち、「公共交通機関」「医療体制」「雇用」が全地域で上位5項目としてあげられており、「道路の整備」が東紀州地域を除いた4地域で、「子育て環境」が中南勢地域で上位5位までに入っている。
- ・上記以外の項目では、「過疎地域等の振興」が3地域で、「快適なまちづくり」が北勢地域で、「人権尊重」が伊勢志摩地域で、「高速交通網」が東紀州地域で上位5位までに入っている。

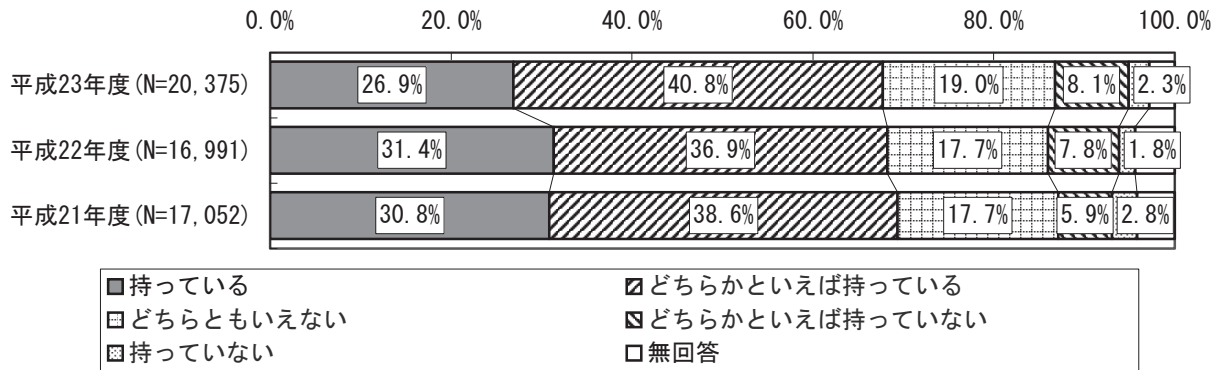


(4) お住まいの地域の愛着についての評価

問2-1 現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。(回答は単一選択式)

○全体

(集計資料 p.13)



平成23年度

「持っている」(26.9%)、「どちらかといえば持っている」(40.8%)を合わせた“持っている”と答えた人が約7割(67.7%)を占めている。

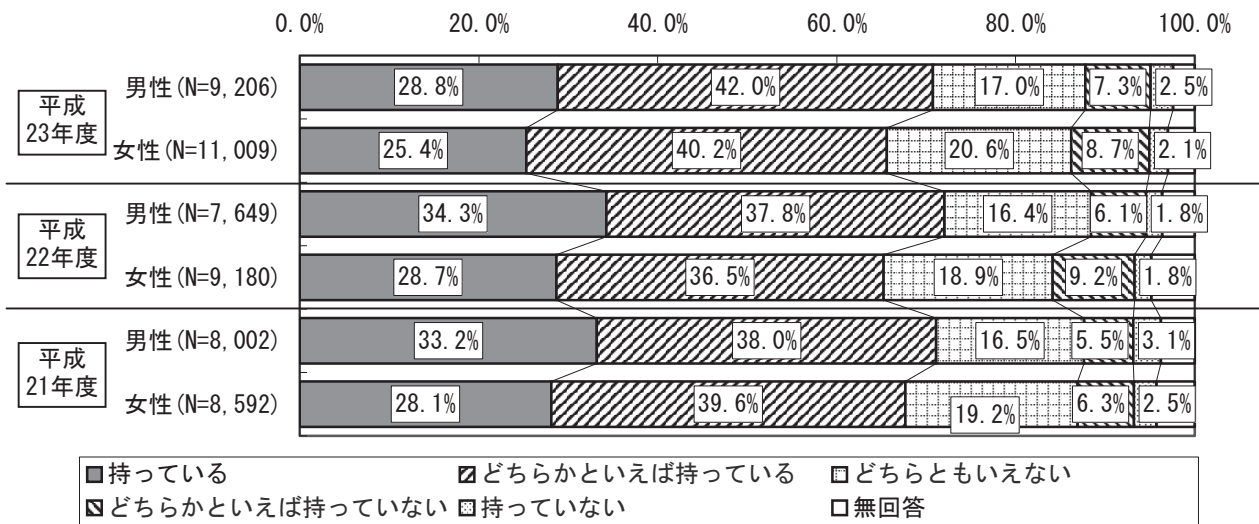
一方、「持っていない」(2.3%)、「どちらかといえば持っていない」(8.1%)を合わせた“持っていない”と答えた人は1割強(10.4%)である。

平成21年度、平成22年度との比較

“持っている”は前回(68.3%)より0.6ポイント減少しており、平成21年度から年々減少傾向がみられる。

○性別

(集計資料 p.13)



平成23年度

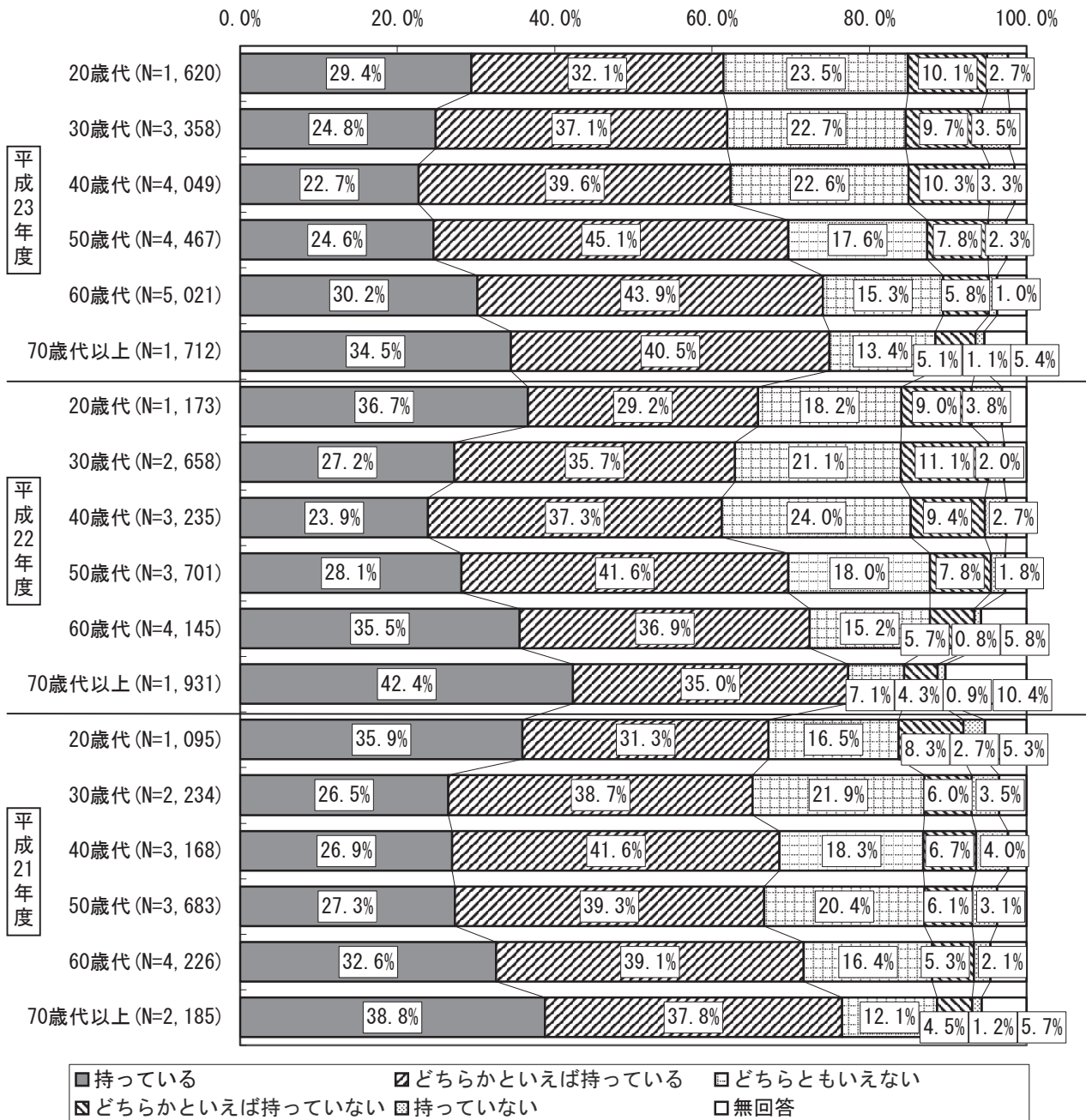
“持っている”と答えた人は、男性が70.8%、女性が65.6%と男性の方がやや多くなっている。

平成21年度、平成22年度との比較

“持っている”は男性では前回(72.1%)より1.3ポイント減少しているのに対し、女性では前回(65.2%)より0.4ポイント増加している。“持っている”の性別による差が平成21年度(3.5ポイント)から平成22年度(6.9ポイント)にかけて大きくなっていたが、今回は5.2ポイントとやや減少している。

○年齢層別

(集計資料 p.13)



平成23年度

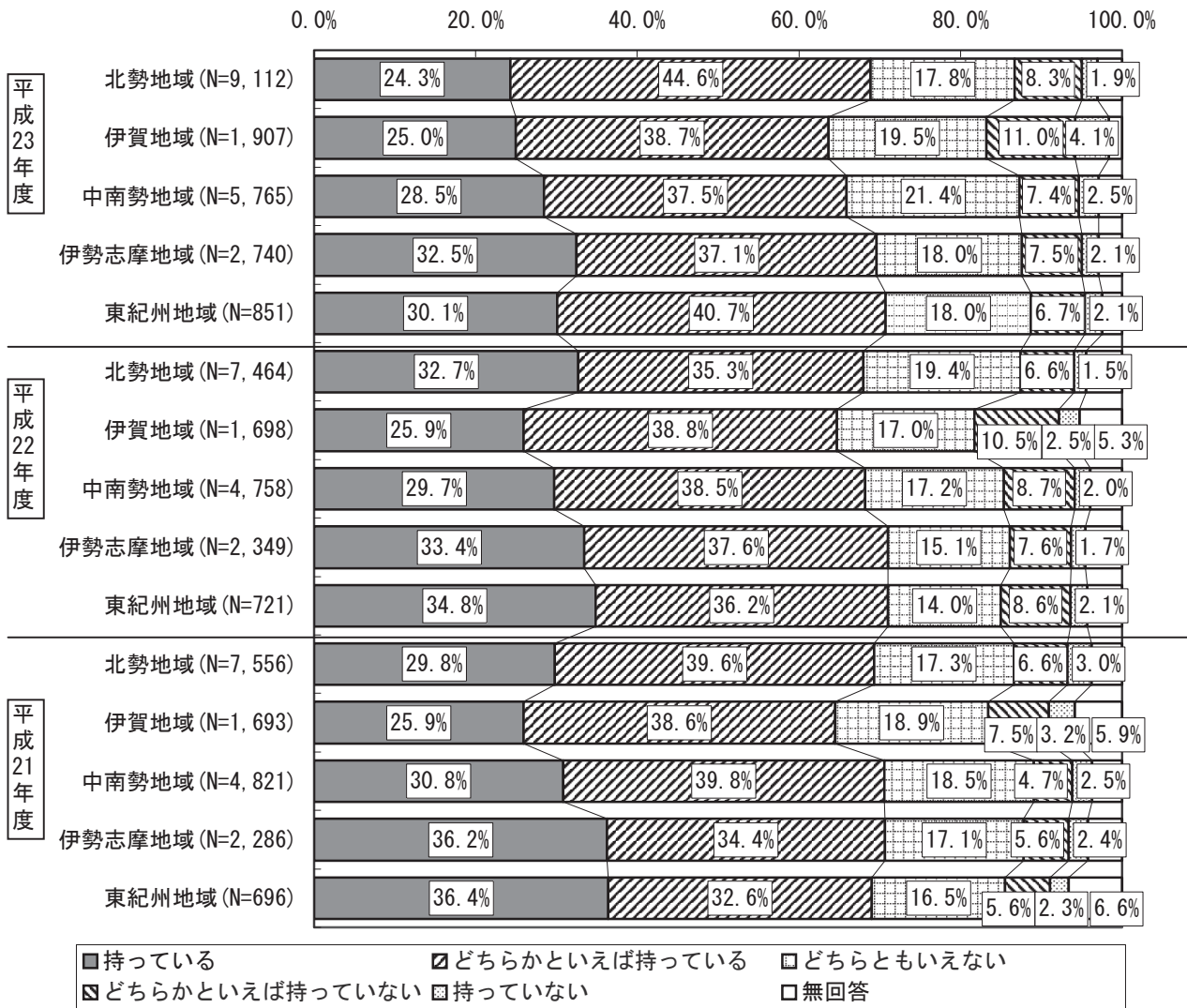
「持っている」と答えた人は、60歳代（30.2%）、70歳代以上（34.5%）で3割以上となっている。また、「持っている」と答えた人は、20～40歳代では6割強でほぼ同じとなっているが、50歳代以上では7割前後となっており、年齢層が高いほど多くなっている。

平成21年度、平成22年度との比較

平成21年度から平成22年度にかけては大きな変化はなかったが、今回は「持っている」と答えた人が、70歳代以上で前回（42.4%）から7.9ポイント減少、20歳代で前回（36.7%）から7.3ポイント減少しており、減少幅が大きくなっている。

○地域別

(集計資料 p.13)



平成23年度

「持っている」と答えた人は、伊勢志摩地域（32.5%）、東紀州地域（30.1%）で多くなっている。「持っている」と答えた人は、ほとんどの地域で7割前後だが、伊賀地域はやや低くなっている。

平成21年度、平成22年度との比較

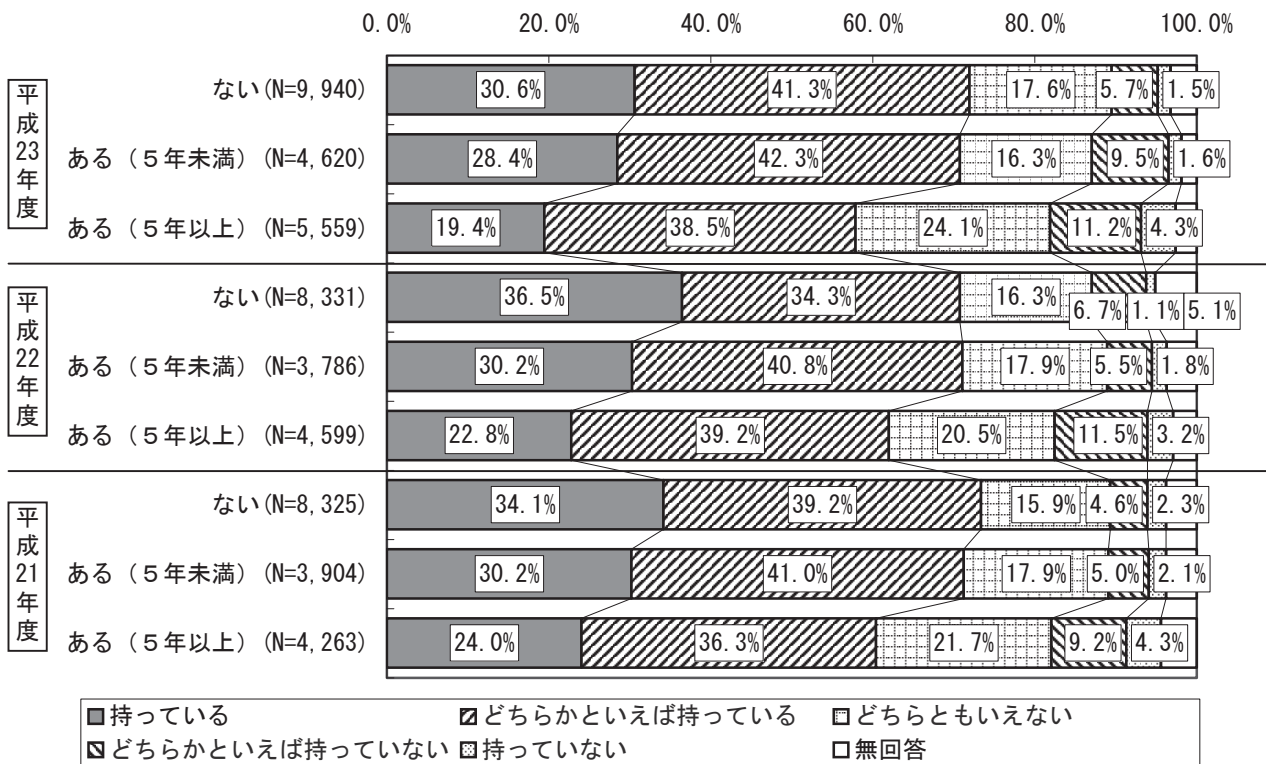
“持っている”と答えた人は、全地域で変化が少なくなっているが、北勢地域で「持っている」が前回（32.7%）より8.4ポイント減となっているのに対し、「どちらかといえば持っている」が前回（35.3%）より9.3ポイント増となっている。

また、東紀州地域においても「持っている」が前回（34.8%）より4.7ポイント減となっているのに対し、「どちらかといえば持っている」が前回（36.2%）より4.5ポイント増となっている。

中南勢地域では平成21年度から一貫して“持っている”と答えた人が減少している。

## ○県外在住の経験別

(集計資料 p.13)



### 平成23年度

“持っている”と答えた人は、県外在住経験が「ない」人が71.9%で最も多く、「ある(5年未満)」「ある(5年以上)」の順で少なくなっている。

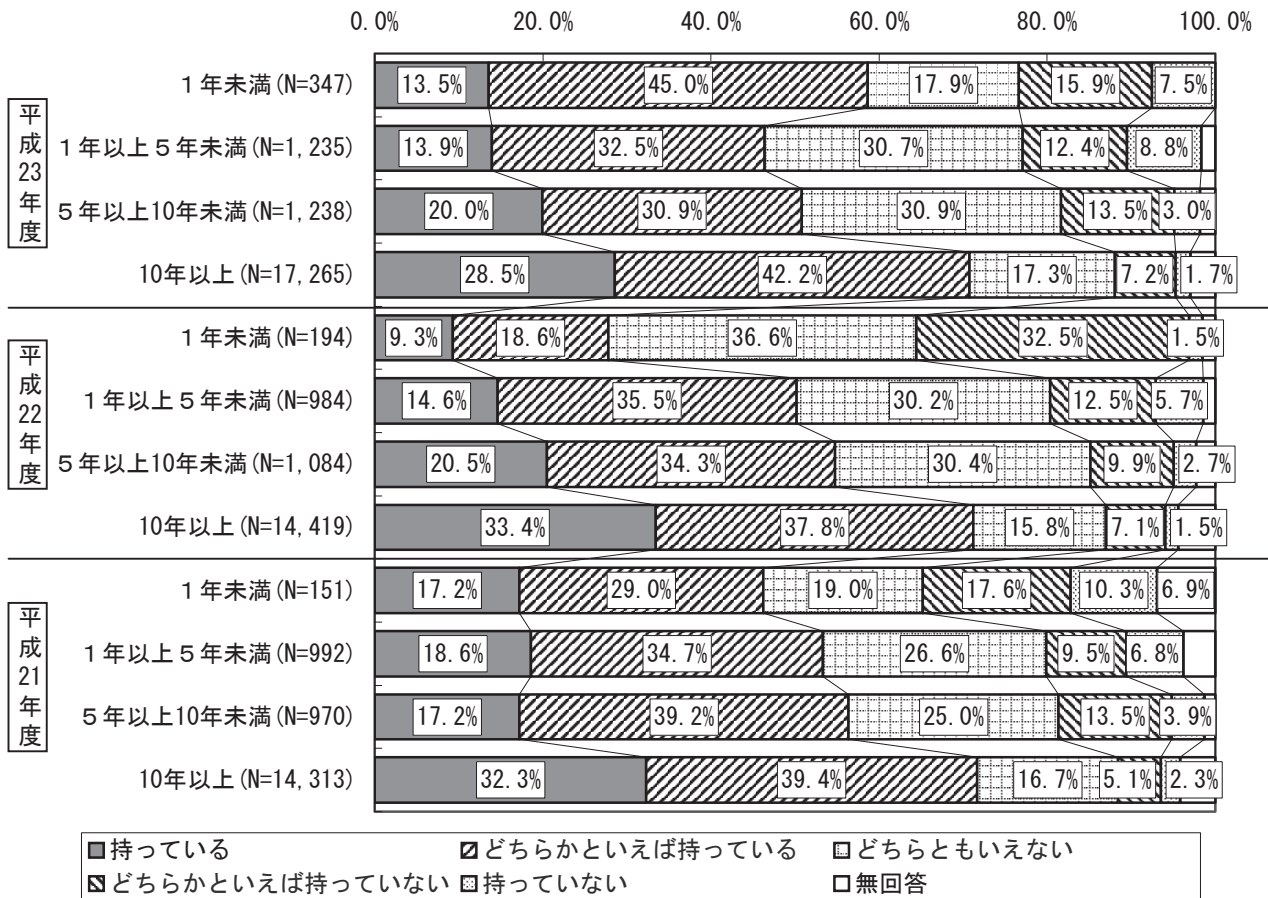
### 平成21年度、平成22年度との比較

“持っている”と答えた人は、前年度から変化が少なくなっているが、「ない」人の「持っている」は前回(36.5%)より5.9ポイント減となっているのに対し、「どちらかといえば持っている」は前回(34.3%)より7.0ポイント増となっている。

平成21年度と比べると、「ない」人の“持っている”と答えた人の割合がやや減少している。

## ○居住年数別

(集計資料 p.13)



### 平成23年度

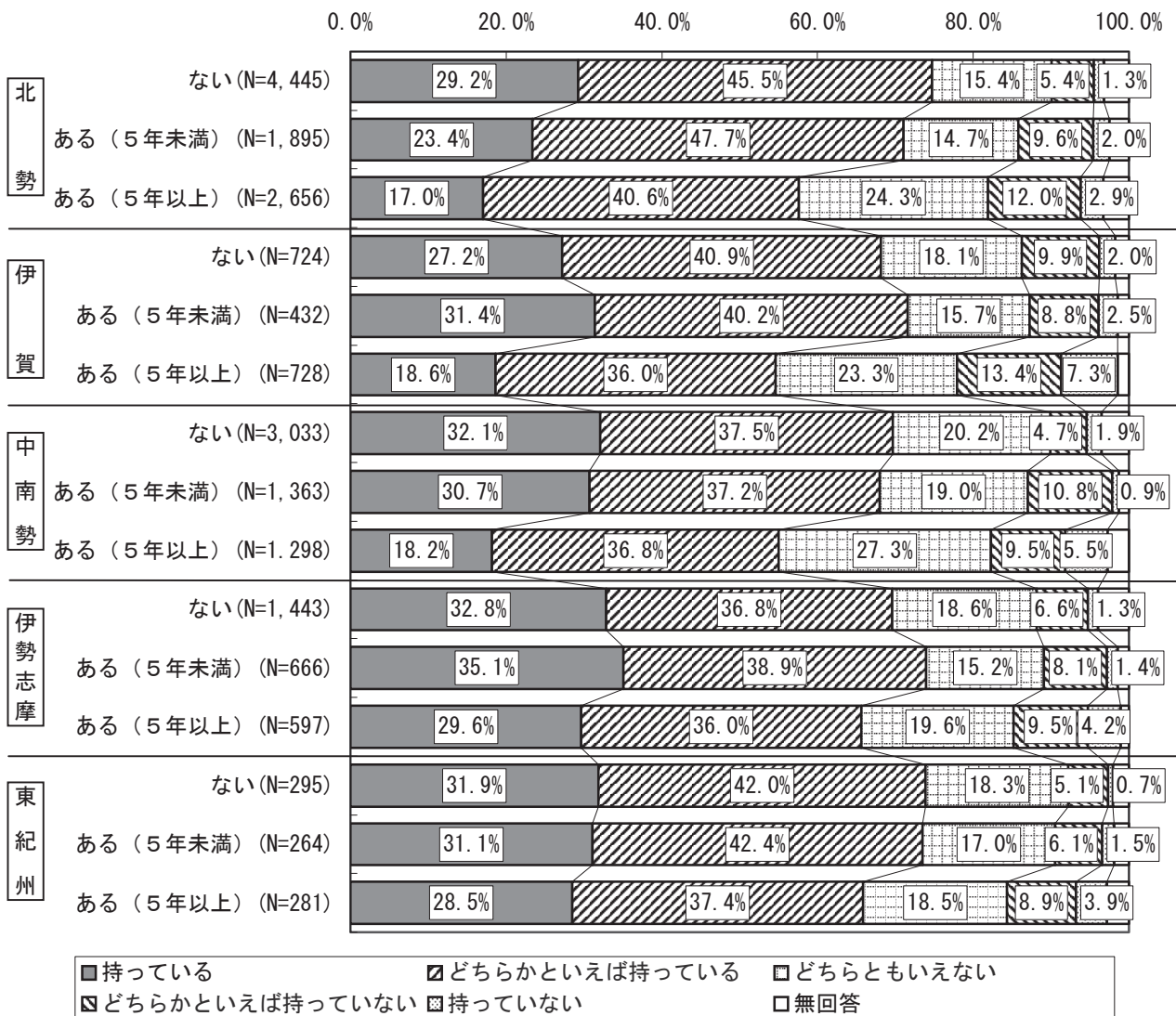
“持っている”と答えた人は、居住年数が「10年以上」「1年未満」で多くなっている。また、最も少ない「1年以上5年未満」(46.4%)は最も多い「10年以上」(70.7%)より24.3ポイント少なくなっている。

### 平成21年度、平成22年度との比較

居住年数が「1年未満」では、“持っている”と答えた人が平成21年度(46.2%)から平成22年度(27.9%)にかけて18.3ポイント減少しているが、今回は30.6ポイントと、大きく増加しており、年度によって変動が激しい。

○地域・県外在住経験別

(集計資料 p.14)



「持っている」と答えた人は、北勢地域、中南勢地域、東紀州地域で、県外在住経験が「ない」人が最も多く、「ある(5年未満)」「ある(5年以上)」の順で少なくなっている。

また、「持っている」と答えた人は、北勢地域、伊賀地域、中南勢地域で、県外在住経験が「ある(5年以上)」で6割弱と少なくなっている。

(5) 愛着を持っていると感じる点

【問2-1で、1または2に○をつけた方だけにおうかがいします】

問2-2 現在お住まいの地域に愛着を持っていると感じになるのは、問1の44項目のうち、どの項目によるものですか。(回答は複数選択式)

○全体

(集計資料 p.15~19)

順位	平成23年度		前年比	順位	平成22年度	
	項目	構成比			項目	構成比
第1位	きれいな空気【くらし】	48.3%	←	第1位	きれいな空気【くらし】	47.4%
第2位	自然環境との共生【くらし】	35.8%	←	第2位	自然環境との共生【くらし】	34.3%
第3位	食の安全【くらし】	22.1%	↑	第3位	飲料水の供給【くらし】	20.3%
第4位	飲料水の供給【くらし】	19.6%	↓	第4位	子育て環境【くらし】	19.1%
第5位	子育て環境【くらし】	18.5%	↓	第5位	食の安全【くらし】	19.0%
第6位	医療体制【くらし】	18.0%	↑	第6位	道路の整備【絆】	18.7%
第7位	歴史・文化遺産【元気】	17.6%	←	第7位	歴史・文化遺産【元気】	18.4%
第8位	川や海の水質【くらし】	17.4%	←	第8位	川や海の水質【くらし】	16.3%
第9位	道路の整備【絆】	16.9%	↓	第9位	医療体制【くらし】	16.2%
第10位	公共交通機関【絆】	16.8%	←	第10位	公共交通機関【絆】	15.3%
第11位	防犯【くらし】	14.8%	←	第11位	防犯【くらし】	14.2%
第12位	快適なまちづくり【絆】	13.3%	←	第12位	快適なまちづくり【絆】	13.3%
第13位	観光【元気】	11.4%	↑	第13位	市民活動【絆】	11.9%
第14位	学校教育【元気】	11.3%	←	第14位	学校教育【元気】	11.6%
	高速交通網【絆】		↑	第15位	観光【元気】	11.5%
第16位	市民活動【絆】	10.7%	↓	第16位	福祉サービス【くらし】	10.9%
第17位	スポーツ・レクリエーション【元気】	10.4%	←	第17位	スポーツ・レクリエーション【元気】	10.3%
第18位	交通安全【くらし】	9.0%	↑	第18位	文化・芸術【元気】	10.1%
第19位	地域での防災の取組【くらし】	8.8%	↑	第19位	高速交通網【絆】	10.0%
第20位	文化・芸術【元気】	8.7%	↓	第20位	地域での防災の取組【くらし】	9.9%
第21位	福祉サービス【くらし】	8.5%	↓	第21位	交通安全【くらし】	9.6%
第22位	ごみの減量【くらし】	7.5%	←	第22位	ごみの減量【くらし】	9.3%
第23位	人権尊重【元気】	7.2%	←	第23位	人権尊重【元気】	8.0%
第24位	生涯学習【元気】	5.9%	←	第24位	生涯学習【元気】	7.9%
第25位	保健予防体制【くらし】	5.4%	↑	第25位	災害対策【くらし】	5.6%
	青少年の健全育成【元気】		↑	第26位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	5.3%
第27位	災害対策【くらし】	4.4%	↓		青少年の健全育成【元気】	
第28位	地域商工業【元気】	4.0%	←	第28位	保健予防体制【くらし】	5.2%
第29位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	3.7%	↓		地域商工業【元気】	
第30位	雇用【元気】	3.5%	↑	第30位	希少な生物【くらし】	4.4%
第31位	農林水産業の振興【元気】	3.2%	←	第31位	農林水産業の振興【元気】	3.9%
	広域交流・連携【絆】		↑	第32位	広域交流・連携【絆】	3.5%
第33位	情報ネットワーク【絆】	3.1%	↑	第33位	雇用【元気】	3.4%
	高等教育機関【絆】		↑	第34位	情報ネットワーク【絆】	3.3%
	希少な生物【くらし】		↓	第35位	産業振興【元気】	2.6%
第36位	農山漁村づくり【絆】	2.5%	←	第36位	農山漁村づくり【絆】	2.5%
第37位	産業振興【元気】	2.3%	↓		高等教育機関【絆】	
第38位	港の整備【絆】	1.9%	←	第38位	港の整備【絆】	2.3%
第39位	地球温暖化防止【くらし】	1.3%	↑	第39位	エネルギー【くらし】	1.7%
第40位	国際化【絆】	1.0%	↑	第40位	地球温暖化防止【くらし】	1.4%
	エネルギー【くらし】		↓	第41位	過疎地域等の振興【絆】	1.0%
第42位	過疎地域等の振興【絆】	0.9%	↓	第42位	技術開発【元気】	0.9%
第43位	技術開発【元気】	0.6%	↓		国際化【絆】	
第44位	職業能力開発【元気】	0.5%	←	第44位	職業能力開発【元気】	0.7%
	その他	9.4%			その他	9.3%



愛着を持っていると感じる点については、「きれいな空気」(48.3%)が最も多く、次いで「自然環境との共生」(35.8%)、「食の安全」(22.1%)、「飲料水の供給」(19.6%)、「子育て環境」(18.5%)と続いている。上位に特に大きな変動はみられない。

### ○年齢層別 上位5項目

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 48.3%	20.自然環境との共生 35.8%	14.食の安全 22.1%	44.飲料水の供給 19.6%	17.子育て環境 18.5%
20歳代	23.きれいな空気 48.3%	20.自然環境との共生 33.6%	14.食の安全 22.2%	28.観光 21.3%	17.子育て環境 20.0%
30歳代	23.きれいな空気 39.9%	20.自然環境との共生 30.0%	17.子育て環境 26.2%	08.歴史・文化遺産 17.3%	24.川や海の水質 16.4%
40歳代	23.きれいな空気 43.1%	20.自然環境との共生 35.4%	17.子育て環境 24.6%	08.歴史・文化遺産 19.0%	24.川や海の水質 16.8%
50歳代	23.きれいな空気 51.7%	20.自然環境との共生 39.1%	14.食の安全 20.7%	24.川や海の水質 19.9%	44.飲料水の供給 19.4%
60歳代	23.きれいな空気 53.9%	20.自然環境との共生 39.0%	14.食の安全 27.9%	44.飲料水の供給 26.4%	18.医療体制 23.9%
70歳代以上	23.きれいな空気 47.1%	44.飲料水の供給 34.7%	18.医療体制 33.6%	14.食の安全 32.4%	20.自然環境との共生 30.1%

- ・ 全体の上位5項目をみると、全ての年齢層で「きれいな空気」が第1位となっている。「自然環境との共生」は全ての年齢層で上位5項目としてあげられており、「食の安全」は20歳代、50歳代以上、「飲料水の供給」は50歳代以上、「子育て環境」は20～40歳代で上位5項目にあげられている。
- ・ 上記以外の項目では、20歳代で「観光」、30歳代、40歳代で「歴史・文化遺産」、30～50歳代で「川や海の水質」、60歳代以上で「医療体制」が上位5項目にあげられている。

### ○地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 48.3%	20.自然環境との共生 35.8%	14.食の安全 22.1%	44.飲料水の供給 19.6%	17.子育て環境 18.5%
北勢地域	23.きれいな空気 35.7%	20.自然環境との共生 32.4%	38.公共交通機関 23.3%	18.医療体制 22.9%	44.飲料水の供給 21.6%
伊賀地域	23.きれいな空気 62.9%	20.自然環境との共生 45.1%	08.歴史・文化遺産 22.3%	14.食の安全 21.8%	24.川や海の水質 14.1%
中南勢地域	23.きれいな空気 52.5%	20.自然環境との共生 34.2%	14.食の安全 26.9%	18.医療体制 20.3%	17.子育て環境 37.道路の整備 18.2%
伊勢志摩地域	23.きれいな空気 62.7%	20.自然環境との共生 40.6%	24.川や海の水質 30.1%	14.食の安全 29.3%	28.観光 26.5%
東紀州地域	23.きれいな空気 77.4%	24.川や海の水質 48.7%	20.自然環境との共生 47.8%	44.飲料水の供給 23.8%	14.食の安全 23.4%

- ・ 全体の上位5項目をみると、「きれいな空気」は全地域で第1位となっている。「自然環境との共生」は東紀州地域の3位以外は2位となっている。「食の安全」は北勢地域を除いた4地域で、「飲料水の供給」は2地域で、また、「子育て環境」は1地域で上位5項目に入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「川や海の水質」が3地域、「医療体制」が2地域、「公共交通機関」は北勢地域で、「歴史・文化遺産」は伊賀地域で、「道路の整備」は中南勢地域で、「観光」は伊勢志摩地域で、それぞれ上位5項目に入っている。

(6) 愛着を持ってないと感じる点

【問2-1で、4または5に○をつけた方だけにおうかがいします】

問2-3 現在お住まいの地域に愛着を持ってないと感じになるのは、問1の44項目のうち、どの項目によるものですか。(回答は複数選択式)

○全体

(集計資料 p.20~24)

順位	平成23年度		前年比	順位	平成22年度	
	項目	構成比			項目	構成比
第1位	医療体制【くらし】	38.4%	↑	第1位	公共交通機関【絆】	35.9%
第2位	公共交通機関【絆】	38.3%	↓	第2位	医療体制【くらし】	33.4%
第3位	雇用【元気】	37.1%	←	第3位	雇用【元気】	26.5%
第4位	道路の整備【絆】	25.9%	←	第4位	道路の整備【絆】	25.6%
第5位	快適なまちづくり【絆】	25.7%	↑	第5位	子育て環境【くらし】	22.9%
第6位	子育て環境【くらし】	19.4%	↓	第6位	快適なまちづくり【絆】	22.4%
第7位	地域商工業【元気】	17.4%	↑	第7位	防犯【くらし】	20.1%
第8位	学校教育【元気】	16.1%	↑	第8位	地域商工業【元気】	16.2%
第9位	福祉サービス【くらし】	16.0%	↑	第9位	観光【元気】	14.9%
第10位	防犯【くらし】	14.5%	↓	第10位	学校教育【元気】	14.8%
第11位	人権尊重【元気】	14.2%	↑	第11位	交通安全【くらし】	14.5%
第12位	交通安全【くらし】	13.7%	↓	第12位	福祉サービス【くらし】	13.5%
第13位	高速交通網【絆】	13.0%	↑	第13位	過疎地域等の振興【絆】	13.3%
第14位	過疎地域等の振興【絆】	11.8%	↓	第14位	人権尊重【元気】	12.6%
第15位	市民活動【絆】	11.3%	↑	第15位	文化・芸術【元気】	12.5%
第17位	観光【元気】			第16位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	
第17位	文化・芸術【元気】	10.9%	↓	第17位	川や海の水質【くらし】	11.3%
第18位	高齢者、障がい者の社会参加【くらし】	10.3%	↓	第18位	災害対策【くらし】	10.8%
第19位	高等教育機関【絆】	10.2%	↑	第19位	市民活動【絆】	10.5%
第20位	広域交流・連携【絆】	9.3%	↑	第21位	青少年の健全育成【元気】	
第21位	産業振興【元気】	8.7%	↑	第21位	高速交通網【絆】	9.8%
第22位	スポーツ・レクリエーション【元気】	8.6%	↑	第22位	産業振興【元気】	8.9%
第23位	災害対策【くらし】	8.3%	↓	第22位	広域交流・連携【絆】	
第24位	職業能力開発【元気】	8.0%	↑	第24位	きれいな空気【くらし】	8.3%
第25位	情報ネットワーク【絆】	7.8%	↑	第24位	高等教育機関【絆】	
第26位	川や海の水質【くらし】	7.6%	↓	第26位	ごみの減量【くらし】	7.7%
第27位	保健予防体制【くらし】	7.1%	↑	第27位	スポーツ・レクリエーション【元気】	7.3%
第28位	ごみの減量【くらし】	6.7%	↓	第27位	職業能力開発【元気】	
第29位	国際化【絆】	6.3%	↑	第29位	情報ネットワーク【絆】	7.2%
第30位	青少年の健全育成【元気】	6.1%	↓	第29位	自然環境との共生【くらし】	
第31位	地域での防災の取組【くらし】	6.0%	↑	第31位	農林水産業の振興【元気】	6.8%
第32位	生涯学習【元気】	5.7%	↑	第32位	保健予防体制【くらし】	6.4%
第33位	農林水産業の振興【元気】	5.6%	↓	第33位	生涯学習【元気】	5.9%
第34位	自然環境との共生【くらし】	5.1%	↓	第34位	国際化【絆】	5.8%
第35位	きれいな空気【くらし】	4.3%	↓	第35位	農山漁村づくり【絆】	5.5%
第36位	歴史・文化遺産【元気】	4.1%	←	第36位	歴史・文化遺産【元気】	5.0%
第37位	農山漁村づくり【絆】	3.6%	↓	第37位	地域での防災の取組【くらし】	4.2%
第38位	技術開発【元気】	3.2%	↑	第38位	飲料水の供給【くらし】	3.7%
第39位	食の安全【くらし】	2.4%	↓	第38位	食の安全【くらし】	
第40位	飲料水の供給【くらし】	2.2%	↓	第40位	エネルギー【くらし】	3.2%
第41位	港の整備【絆】	2.0%	↑	第41位	技術開発【元気】	3.1%
第42位	エネルギー【くらし】	1.7%	↓	第42位	地球温暖化防止【くらし】	2.8%
第43位	地球温暖化防止【くらし】	1.3%	↓	第43位	希少な生物【くらし】	2.2%
第44位	希少な生物【くらし】	1.2%	↓	第44位	港の整備【絆】	0.8%
	その他	18.2%			その他	17.3%

愛着が持てないと感じる点については、「医療体制」(38.4%)、「公共交通機関」(38.3%)、「雇用」(37.1%)が3割以上を占め、これらに次いで、「道路の整備」(25.9%)、「快適なまちづくり」(25.7%)が2割台で続いている。前回と比較すると、「雇用」が前回の26.5%から10.6ポイントと大きく増加している。

### ○年齢層別 上位5項目

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 38.4%	38. 公共交通機関 38.3%	31. 雇用 37.1%	37. 道路の整備 25.9%	40. 快適なまちづくり 25.7%
20歳代	31. 雇用 44.7%	38. 公共交通機関 36.4%	12. 交通安全 27.7%	18. 医療体制 21.8%	30. 地域商工業 18.0%
30歳代	18. 医療体制 44.9%	38. 公共交通機関 42.0%	17. 子育て環境 37.7%	37. 道路の整備 29.6%	40. 快適なまちづくり 28.7%
40歳代	38. 公共交通機関 40.3%	18. 医療体制 36.9%	31. 雇用 33.8%	37. 道路の整備 26.3%	40. 快適なまちづくり 24.1%
50歳代	31. 雇用 39.8%	38. 公共交通機関 34.0%	18. 医療体制 31.8%	40. 快適なまちづくり 31.1%	37. 道路の整備 23.1%
60歳代	18. 医療体制 45.2%	31. 雇用 40.5%	38. 公共交通機関 38.2%	37. 道路の整備 29.7%	40. 快適なまちづくり 28.6%
70歳代以上	18. 医療体制 49.5%	31. 雇用 42.1%	38. 公共交通機関 37.4%	19. 福祉サービス 42. 過疎地域等の振興 30. 地域商工業	29.0%

・全体の上位5項目では、「医療体制」「公共交通機関」が全ての年齢層で上位5項目としてあげられており、「雇用」は30歳代以外で、「道路の整備」「快適なまちづくり」が30～60歳代でそれぞれ上位5項目にあげられている。

・上記以外の項目では、「子育て環境」が30歳代、「交通安全」が20歳代、「地域商工業」が20歳代と70歳代以上、「過疎地域等の振興」「福祉サービス」が70歳代以上でそれぞれ上位5項目にあげられている。

### ○地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 38.4%	38. 公共交通機関 38.3%	31. 雇用 37.1%	37. 道路の整備 25.9%	40. 快適なまちづくり 25.7%
北勢地域	38. 公共交通機関 37.1%	31. 雇用 35.1%	18. 医療体制 33.0%	37. 道路の整備 26.8%	17. 子育て環境 22.7%
伊賀地域	18. 医療体制 56.6%	31. 雇用 44.1%	38. 公共交通機関 41.9%	37. 道路の整備 30.1%	17. 子育て環境 25.0%
中南勢地域	38. 公共交通機関 40.6%	40. 快適なまちづくり 36.5%	18. 医療体制 33.3%	31. 雇用 29.2%	30. 地域商工業 20.8%
伊勢志摩地域	31. 雇用 47.0%	18. 医療体制 41.0%	38. 公共交通機関 34.9%	37. 道路の整備 32.5%	40. 快適なまちづくり 26.5%
東紀州地域	18. 医療体制 66.7%	31. 雇用 62.7%	42. 過疎地域等の振興 34.7%	38. 公共交通機関 33.3%	36. 高速交通網 29.3%

・全体の上位5項目では、「医療体制」「公共交通機関」「雇用」が全地域で上位5項目としてあげられており、「道路の整備」は3地域で、「快適なまちづくり」は2地域で上位5項目に入っている。

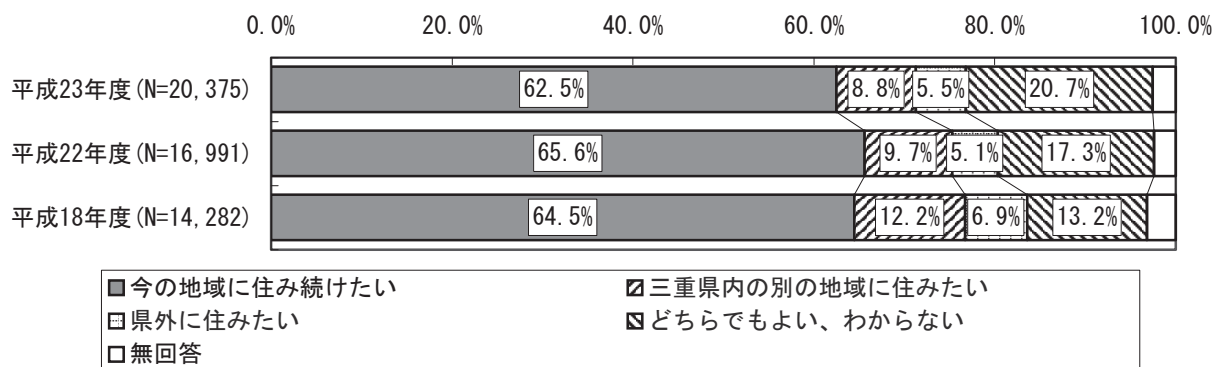
・上記以外の項目では、「子育て環境」は2地域で、「地域商工業」は中南勢地域で、「高速交通網」と「過疎地域等の振興」は東紀州地域で上位5項目にあげられている。

## (7) 今後の定住意向

問3 あなたは今後も現在の地域に住みたいと思いますか。(回答は単一選択式)

○全体

(集計資料 p.25)



### 平成23年度

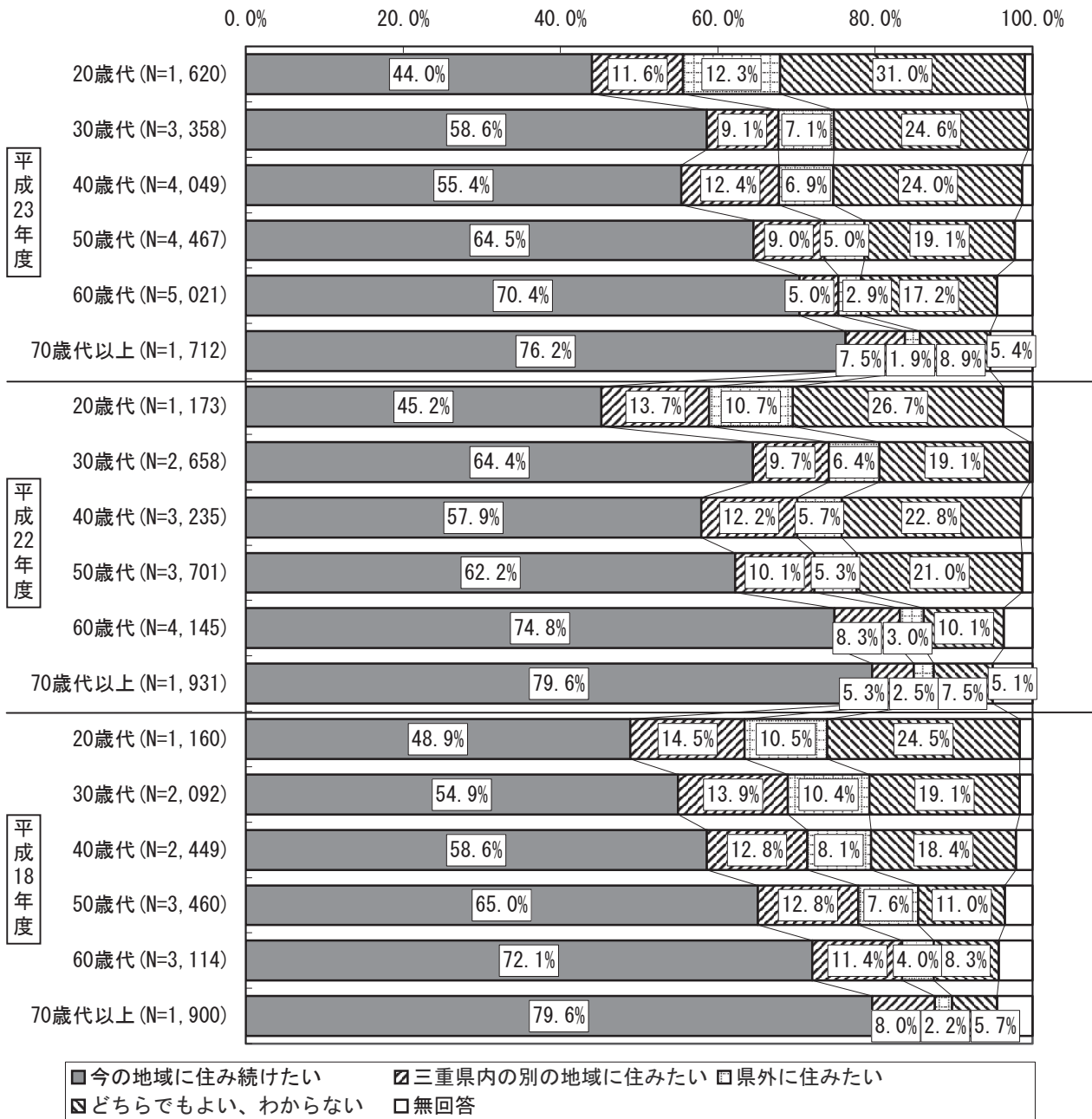
全体では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人が62.5%と最も多くなっている。また、「三重県内の別の地域に住みたい」が8.8%、「県外に住みたい」が5.5%となっている。

### 平成18年度、平成22年度との比較

「今の地域に住み続けたい」と「三重県内の別の地域に住みたい」を合わせた“今後も三重県に住みたい”人は71.3%で、22年度(75.3%)からは4.0ポイント、18年度(76.7%)からは5.4ポイントの減少となっている。

○年齢層別

(集計資料 p.25)



平成23年度

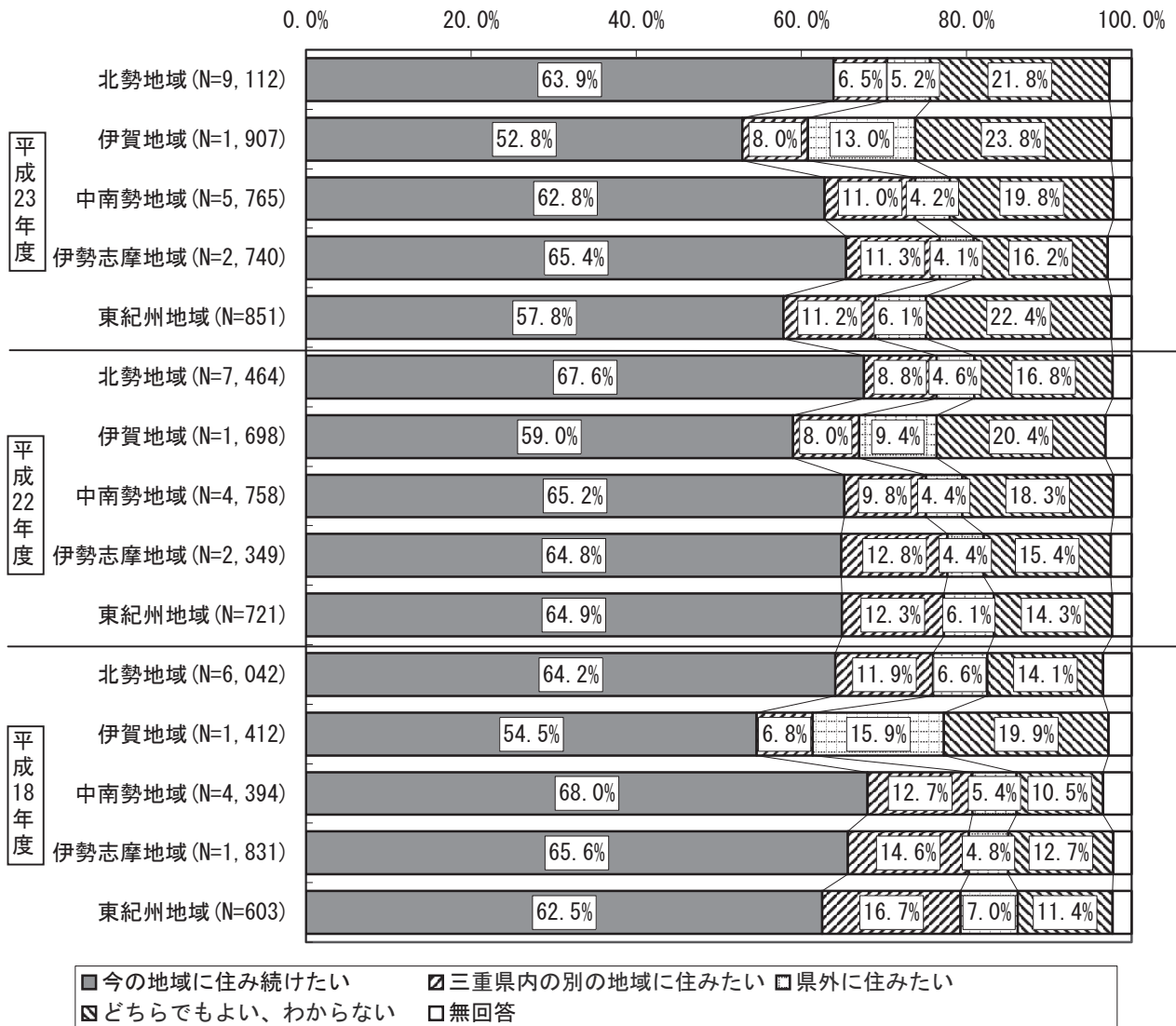
年齢層別では、「今の地域に住みたい」と答えた人は、60歳代以上で7割以上を占めているのに対し、30～50歳代では6割前後、20歳代では5割弱と少なくなっている。また、「県外に住みたい」と答えた人は20歳代で最も多く、年齢層が高くなるほど少なくなっている。

平成18年度、平成22年度との比較

22年度と比較すると、「今の地域に住みたい」と答えた人は、50歳代以外は減少している。また18年度と比較すると、30歳代以外は減少している。

○地域別

(集計資料 p.25)



平成23年度

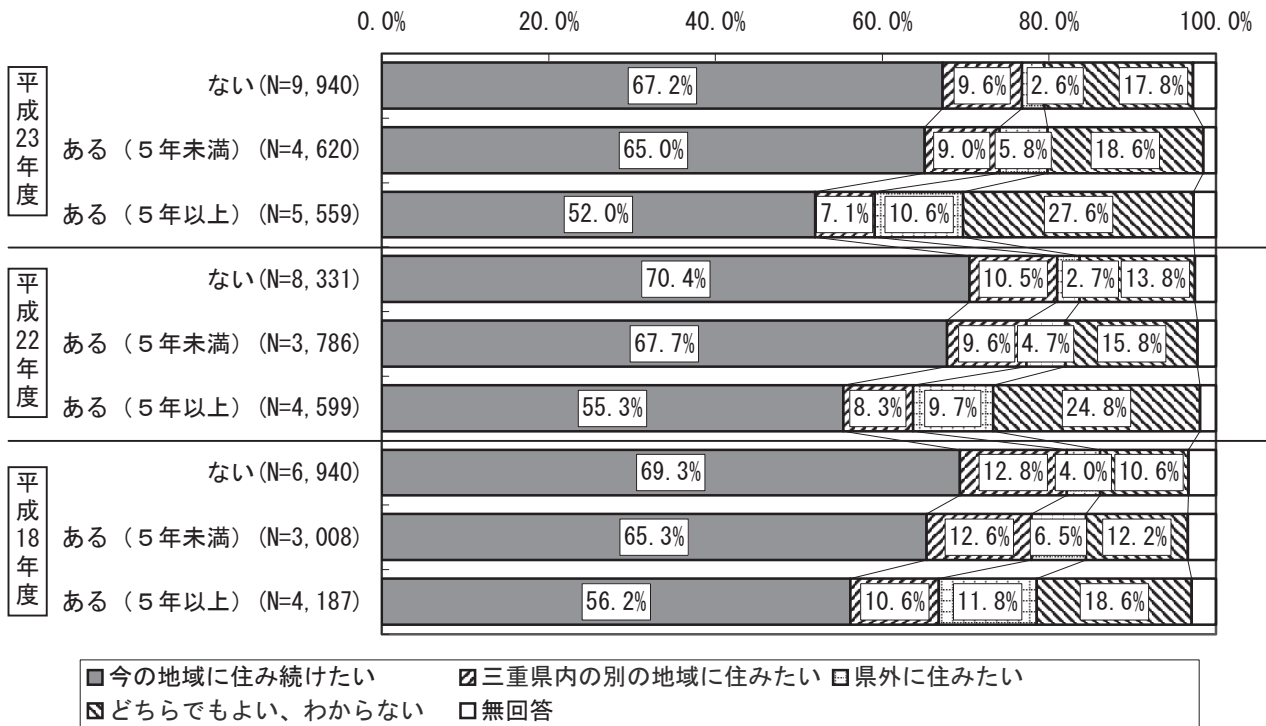
地域別では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、伊賀地域（52.8%）が他地域に比べやや少ないのに対し、「県外に住みたい」は伊賀地域（13.0%）で最も多くなっている。

平成18年度、平成22年度との比較

「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、各年度とも伊賀地域が最も少なくなっている。また、「県外に住みたい」と答えた人も、各年度とも伊賀地域が最も多くなっている。

## ○県外在住の経験別

(集計資料 p.25)



### 平成23年度

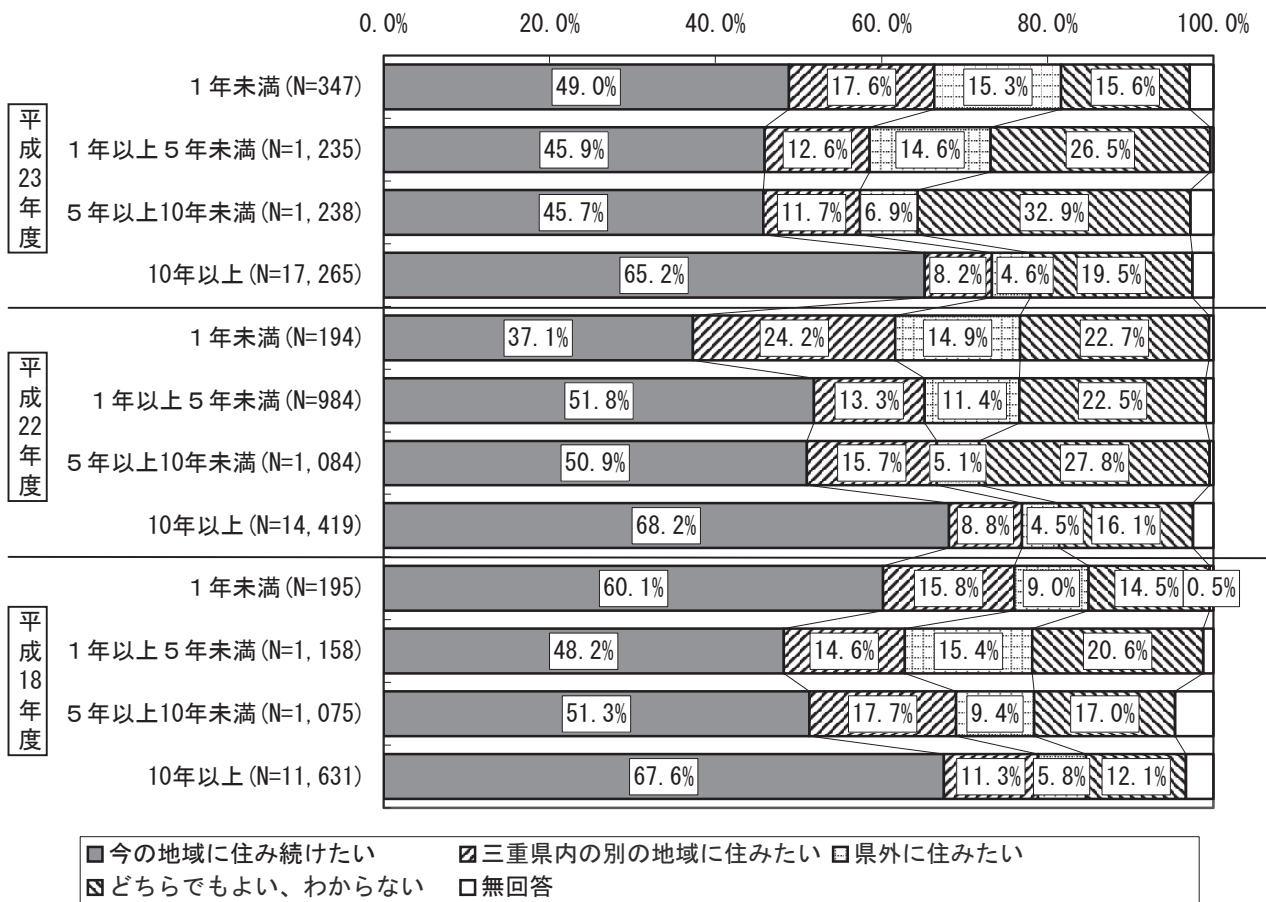
県外在住の経験別では、「今の地域に住みたい」と答えた人は、県外在住経験が「ある」人に比べ「ない」人の方が多くなっており、7割弱となっている。

### 平成18年度、平成22年度との比較

「今の地域に住みたい」と「三重県内の別の地域に住みたい」を合わせた“今後も三重県に住みたい”人は「ない」「ある(5年未満)」「ある(5年以上)」とも減少傾向となっている。

## ○居住年数別

(集計資料 p.25)



### 平成23年度

居住年数別では、「今の地域に住みたい」と答えた人は「10年以上」が65.2%と最も多く、次いで「1年未満」(49.0%)「1年以上5年未満」(45.9%)、「5年以上10年未満」(45.7%)、となっている。

### 平成18年度、平成22年度との比較

18年度から23年度にかけて「今の地域に住みたい」と答えた人は、1年以上居住されている人の変化は少ないが、「1年未満」の人は18年度から22年度にかけては23.0ポイント減少し、22年度から23年度にかけては逆に11.9ポイント増加しており、年度により増減が激しくなっている。



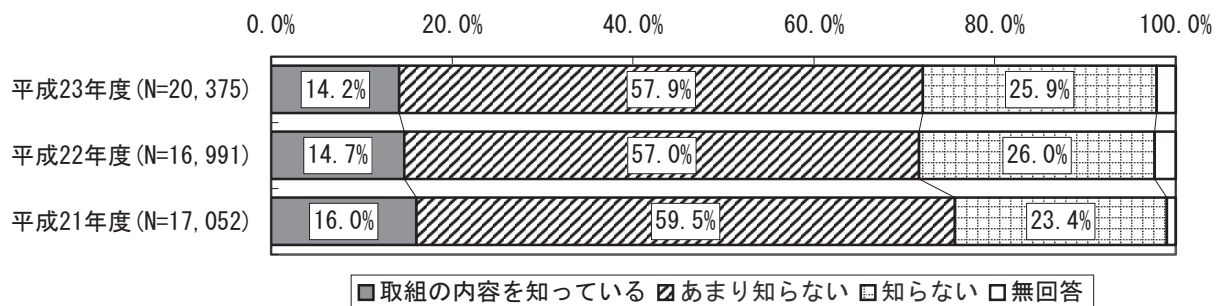
(8) 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の認知度

問4 三重県では、2009年（平成21年）から2014年（平成26年）までの6年間にわたって、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組を展開していきます。あなたは、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組をどの程度ご存知ですか。

（回答は単一選択式）

○全体

（集計資料 p.27）



平成23年度

全体では、「取組の内容を知っている」が14.2%となっている。

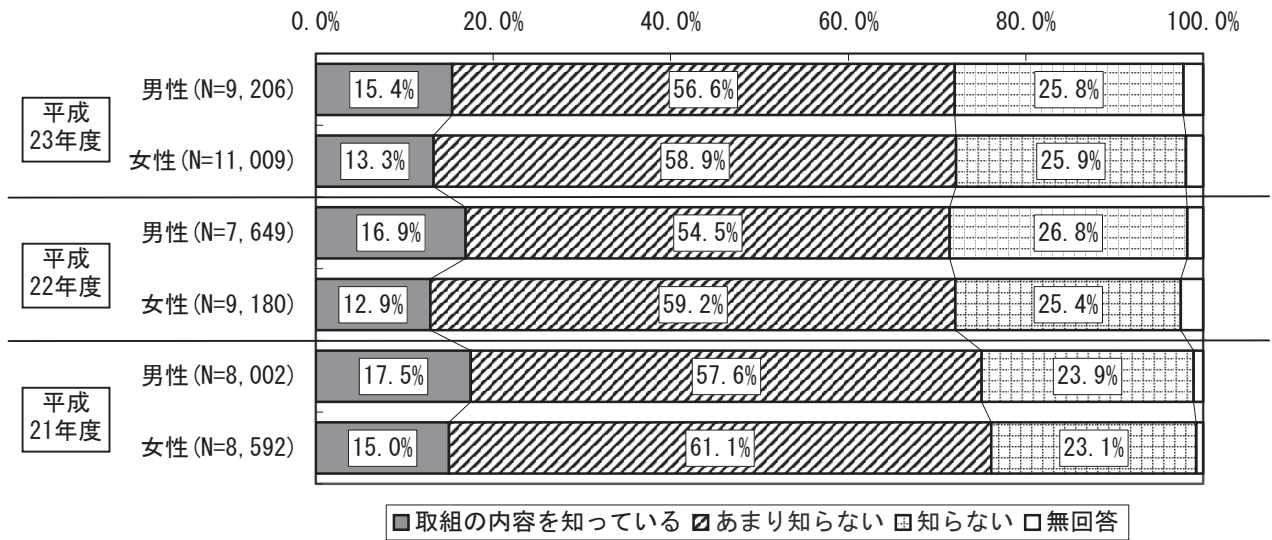
一方、「あまり知らない」と答えた人が57.9%と最も多く、「知らない」（25.9%）を合わせると8割以上を占めている。

平成21年度、平成22年度との比較

「取組の内容を知っている」は22年度より0.5ポイント減少しており、21年度から一貫して減少している。

○性別

(集計資料 p.27)



平成23年度

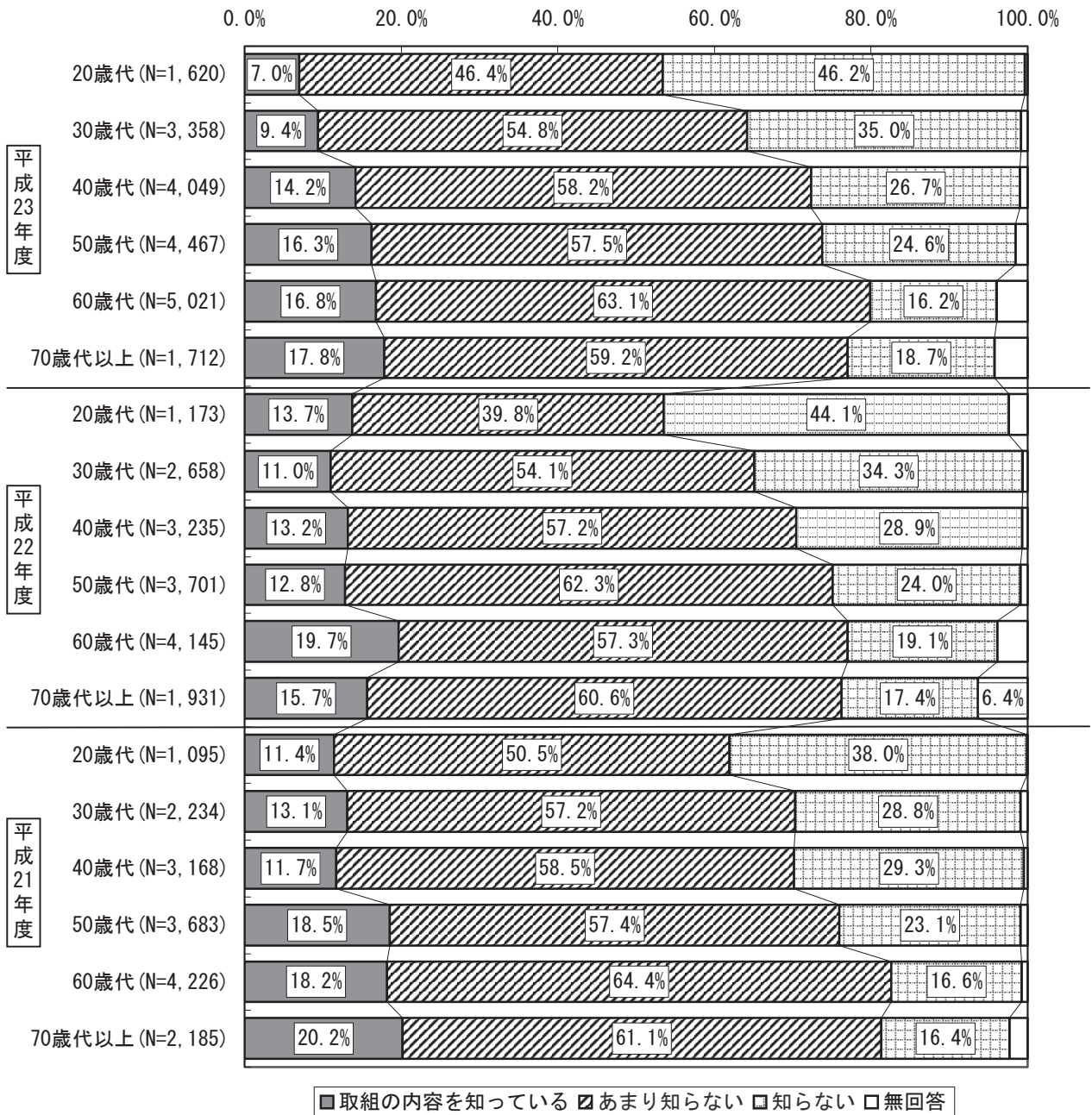
「取組の内容を知っている」と答えた人は、男性 15.4%、女性 13.3%と男性の方がやや多くなっている。

平成21年度、平成22年度との比較

「取組の内容を知っている」は男性では22年度より1.5ポイント減少しており、21年度から一貫して減少している。

○年齢層別

(集計資料 p.27)



平成23年度

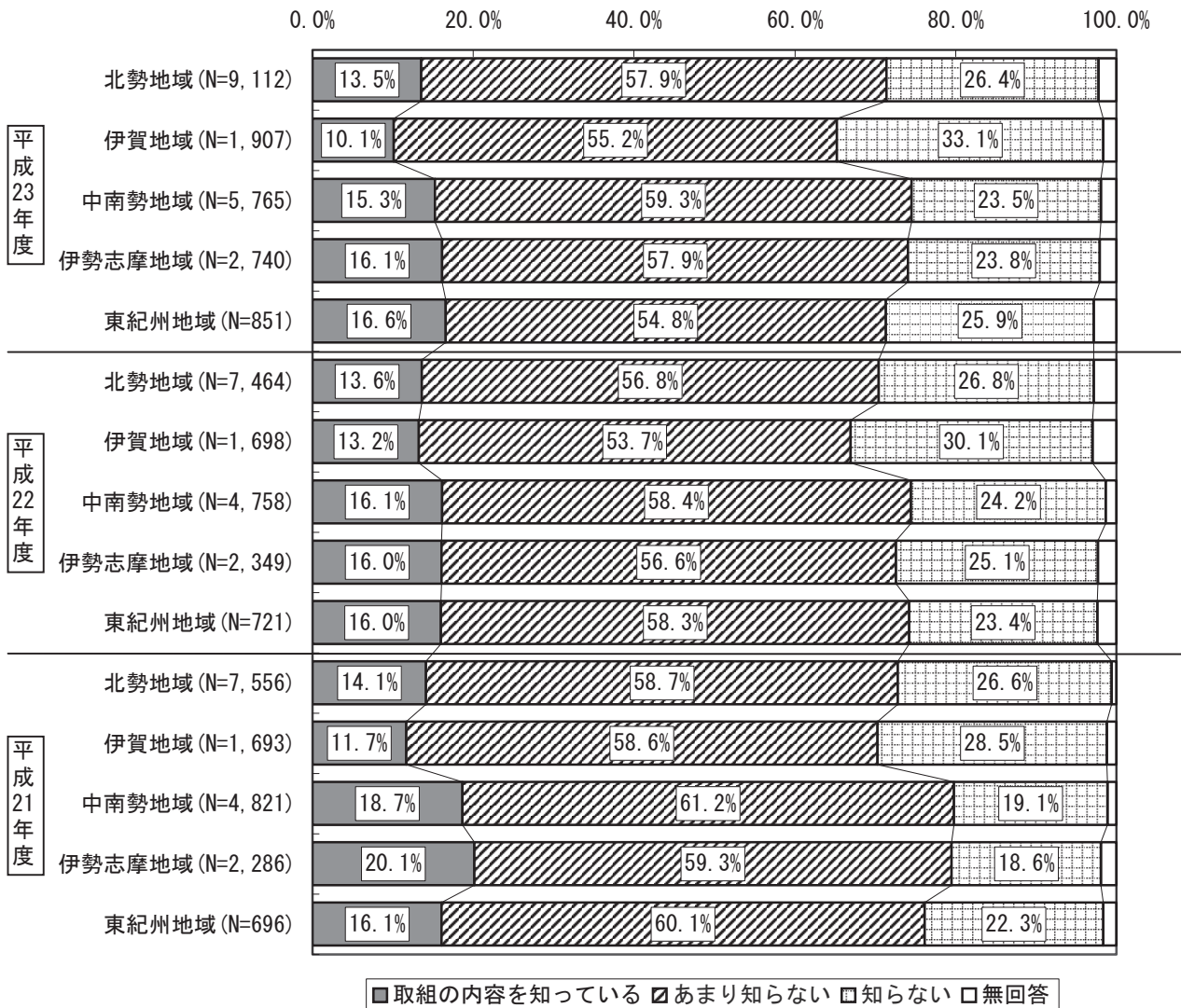
「取組の内容を知っている」と答えた人は、年齢層が高くなるほど多くなっている。

平成21年度、平成22年度との比較

「知らない」と答えた人は、20歳代、30歳代、50歳代、70歳代以上で21年度から増加傾向となっている。

○地域別

(集計資料 p.27)



平成23年度

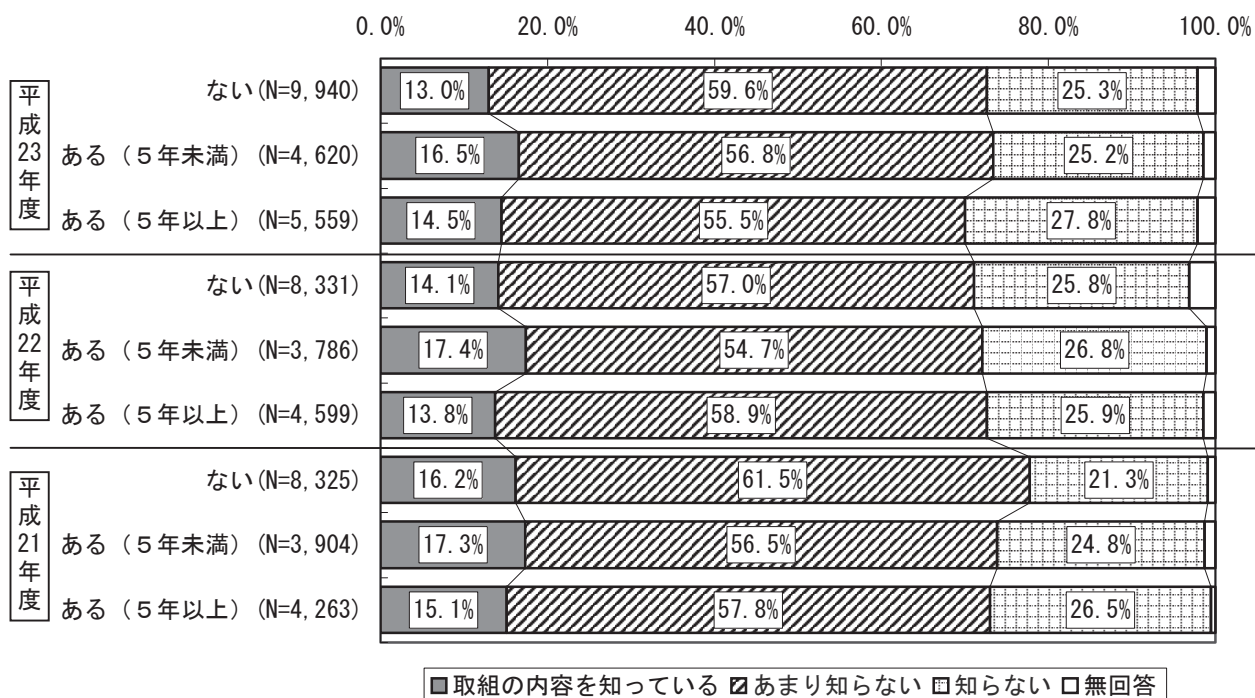
「取組の内容を知っている」と答えた人は、東紀州地域（16.6%）が最も多く、次いで伊勢志摩地域、中南勢地域の順で、最も低い伊賀地域では10.1%となっている。

平成21年度、平成22年度との比較

「知らない」と答えた人は、伊賀地域、東紀州地域で21年度から増加傾向となっている。

## ○県外在住の経験別

(集計資料 p.27)



### 平成23年度

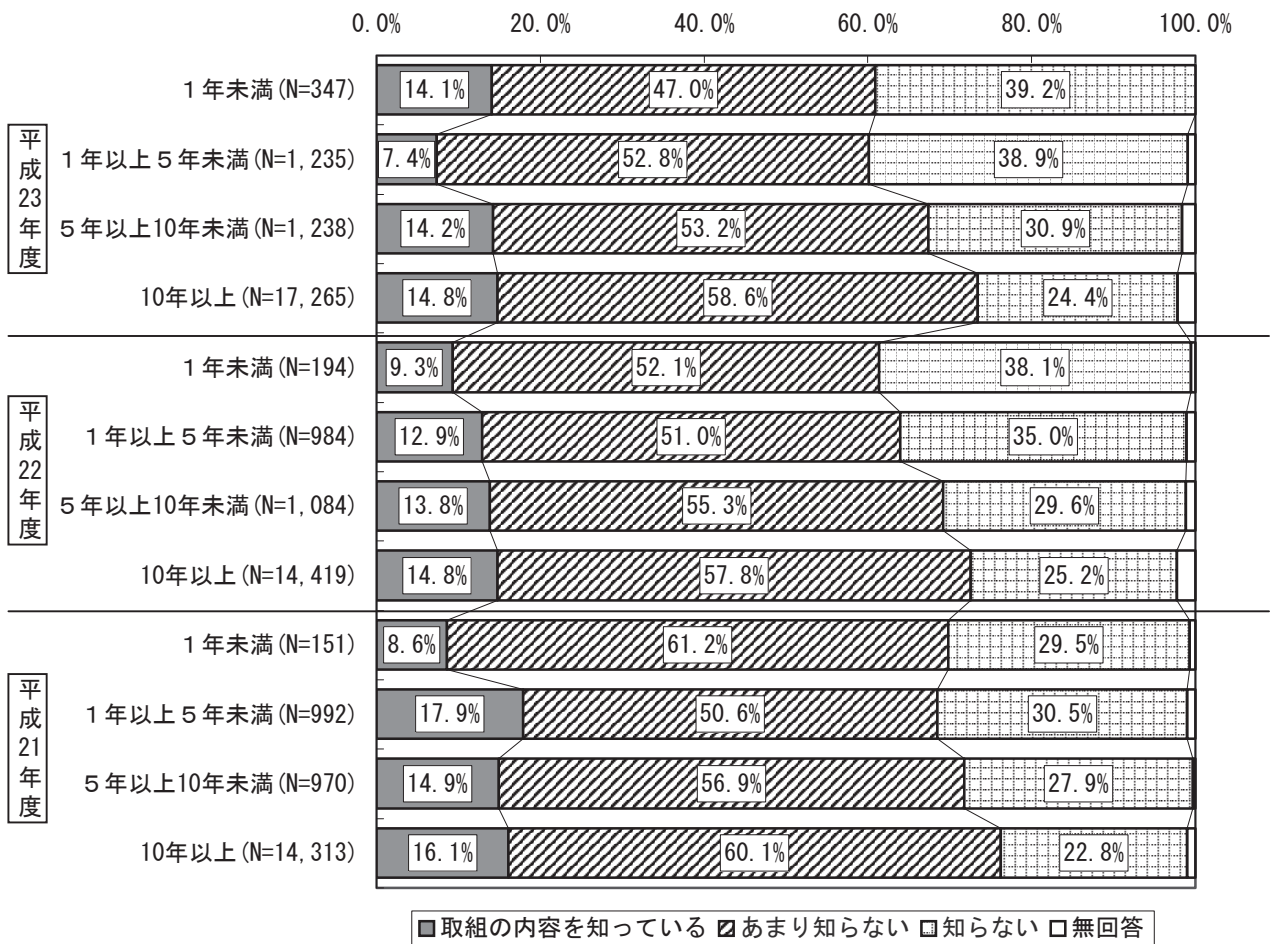
「取組の内容を知っている」と答えた人は、県外在住経験が「ある（5年未満）」（16.5%）が最も多く、次いで「ある（5年以上）」（14.5%）、「ない」（13.0%）となっている。

### 平成21年度、平成22年度との比較

県外在住の経験による傾向は、21年度、22年度と比べて大きな変化はみられない。

○居住年数別

(集計資料 p.27)



平成23年度

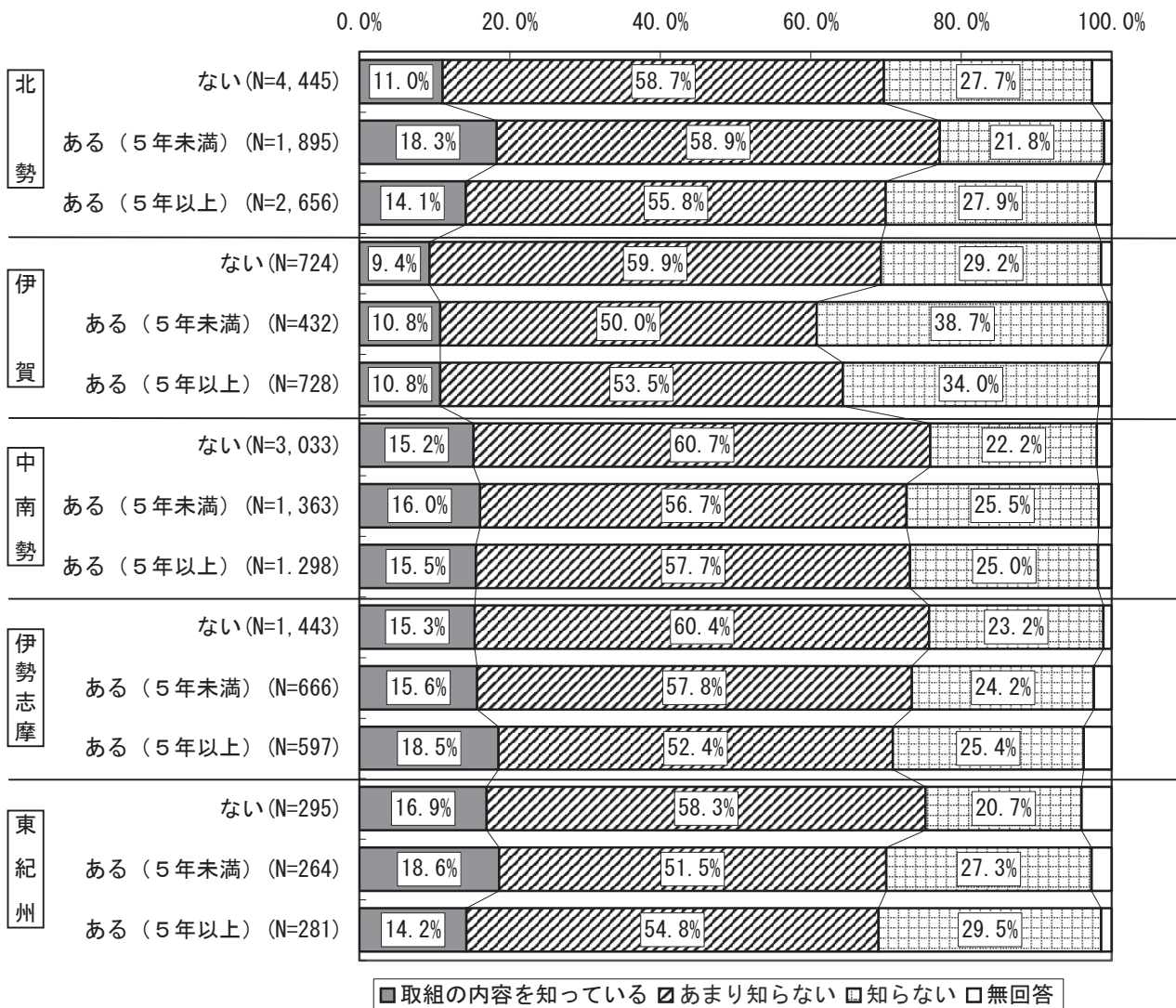
「取組の内容を知っている」と答えた人は、「10年以上」「5年以上10年未満」「1年未満」は14%台であるが、「1年以上5年未満」は7.4%と低くなっている。

平成21年度、平成22年度との比較

「知らない」と答えた人で、「1年未満」「1年以上5年未満」「5年以上10年未満」の人は、21年度から増加傾向となっている。

○地域・県外在住経験別

(集計資料 p.28)



「取組の内容を知っている」と答えた人は、伊賀地域では県外在住経験にかかわらず他地域に比べ低くなっている。また、伊賀地域では「知らない」についても「ある(5年未満)」「ある(5年以上)」で3割以上となっている。

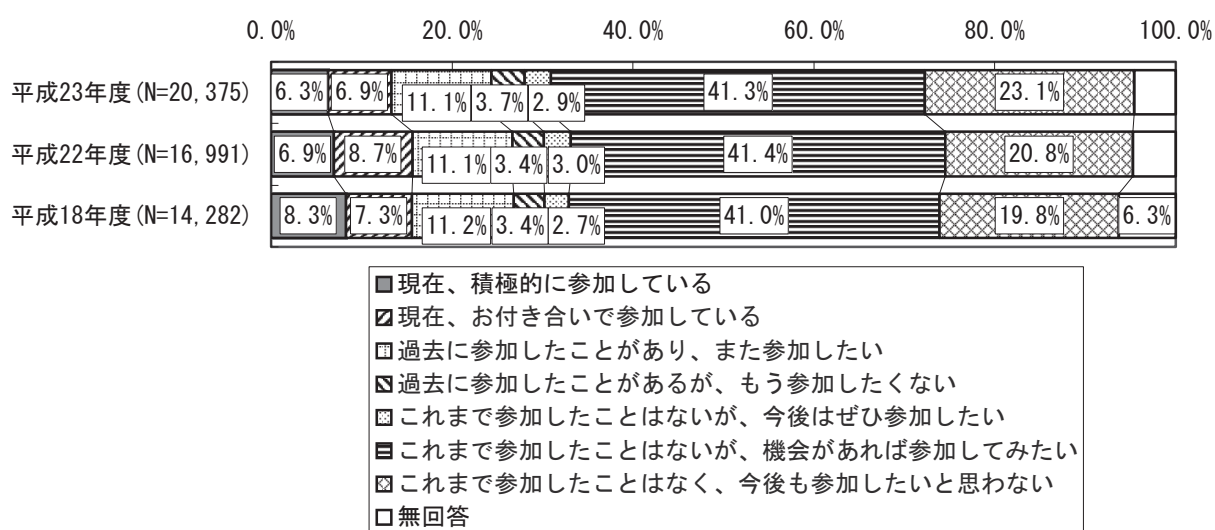
## 8. 地域の活動についての質問

### (1) 活動への参加状況

問6-1 近年、NPO（民間非営利団体）と呼ばれる、営利を目的としないボランティア団体や市民団体の活動が盛んになっていますが、あなたは、NPOやボランティア、地域の活動などに参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。（回答は単一選択式）

#### ○全体

（集計資料 p.123）



#### 平成23年度

NPOやボランティア、地域の活動への参加状況や今後の意向については、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」が41.3%と最も多くなっている。

また、「現在、積極的に参加している」（6.3%）、「現在、お付き合いで参加している」（6.9%）を合わせた“現在、活動に参加している人”は13.2%となっている。

なお、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」（41.3%）に「過去に参加したことがあります、また参加したい」（11.1%）と「これまで参加したことはないが、今後はぜひ参加したい」（2.9%）を合わせた“活動への参加意欲を持つ人”は55.3%を占めている。

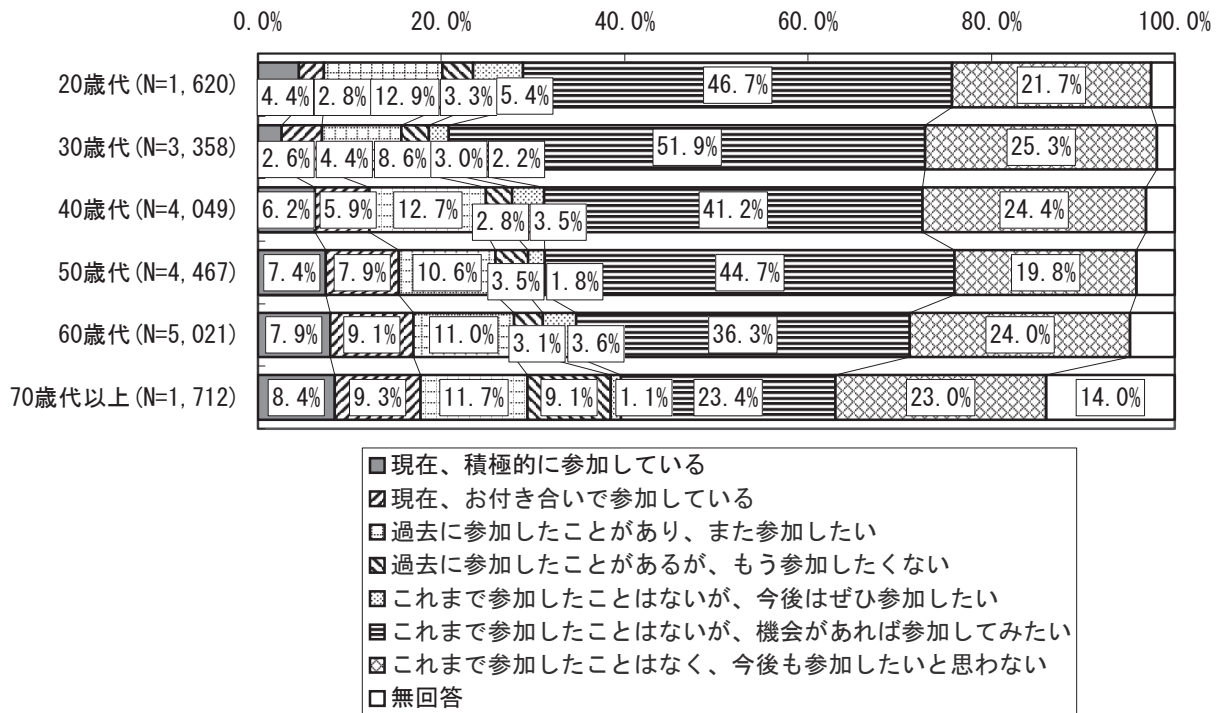
#### 平成18年度、平成22年度との比較

「現在、積極的に参加している」人は年度毎に減少している。また、「過去に参加したことがあるが、もう参加したくない」「これまで参加したことはなく、今後も参加したいと思わない」は、増加傾向となっている。



○年齢層別

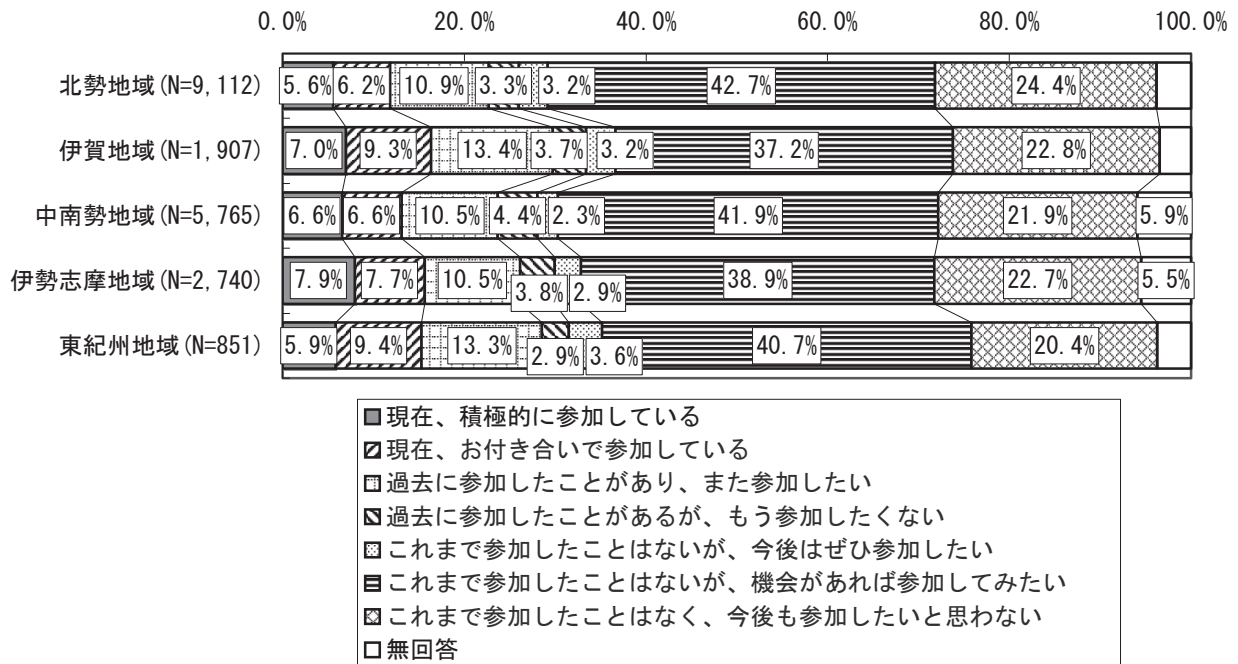
(集計資料 p.123)



年齢層別でみると、“現在、活動に参加している人”は70歳代以上が17.7%で最も多く、年齢が下がるにしたがって少なくなり、30歳代が7.0%と最も低くなっている。なお、30歳代については「これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」が51.9%で5割を超えている。

○地域別

(集計資料 p.123)



地域別でみると、“現在、活動に参加している人”は伊賀地域（16.3%）が最も多くなっている。続いて、伊勢志摩地域（15.6%）、東紀州地域（15.3%）、中南勢地域（13.2%）、北勢地域（11.8%）の順となっている。

また、“活動への参加意欲を持つ人”は東紀州地域（57.6%）で最も多く、次いで、北勢地域（56.8%）、中南勢地域（54.7%）、伊賀地域（53.8%）、伊勢志摩地域（52.3%）で、いずれも5割台となっている。

## (2) 参加している（した）活動

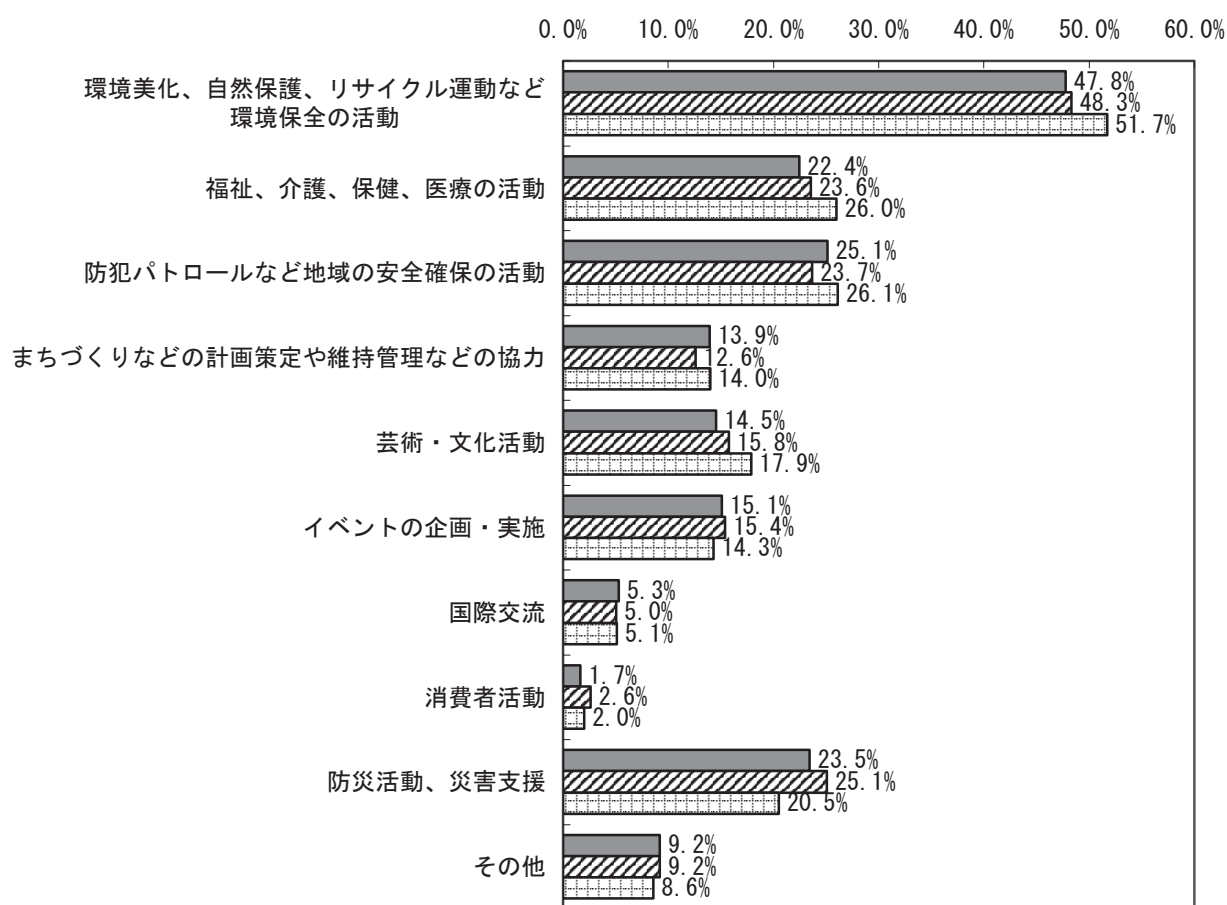
【問6-1で、1～4に○をつけた方だけにおうかがいします】

問6-2 どのような活動に参加されていますか。あるいは、参加されましたか。

(回答は複数選択式)

### ○全体

(集計資料 p.124～125)



■平成23年度 (N=5,710) ▨平成22年度 (N=5,116) ▤平成18年度 (N=4,317)

#### 平成23年度

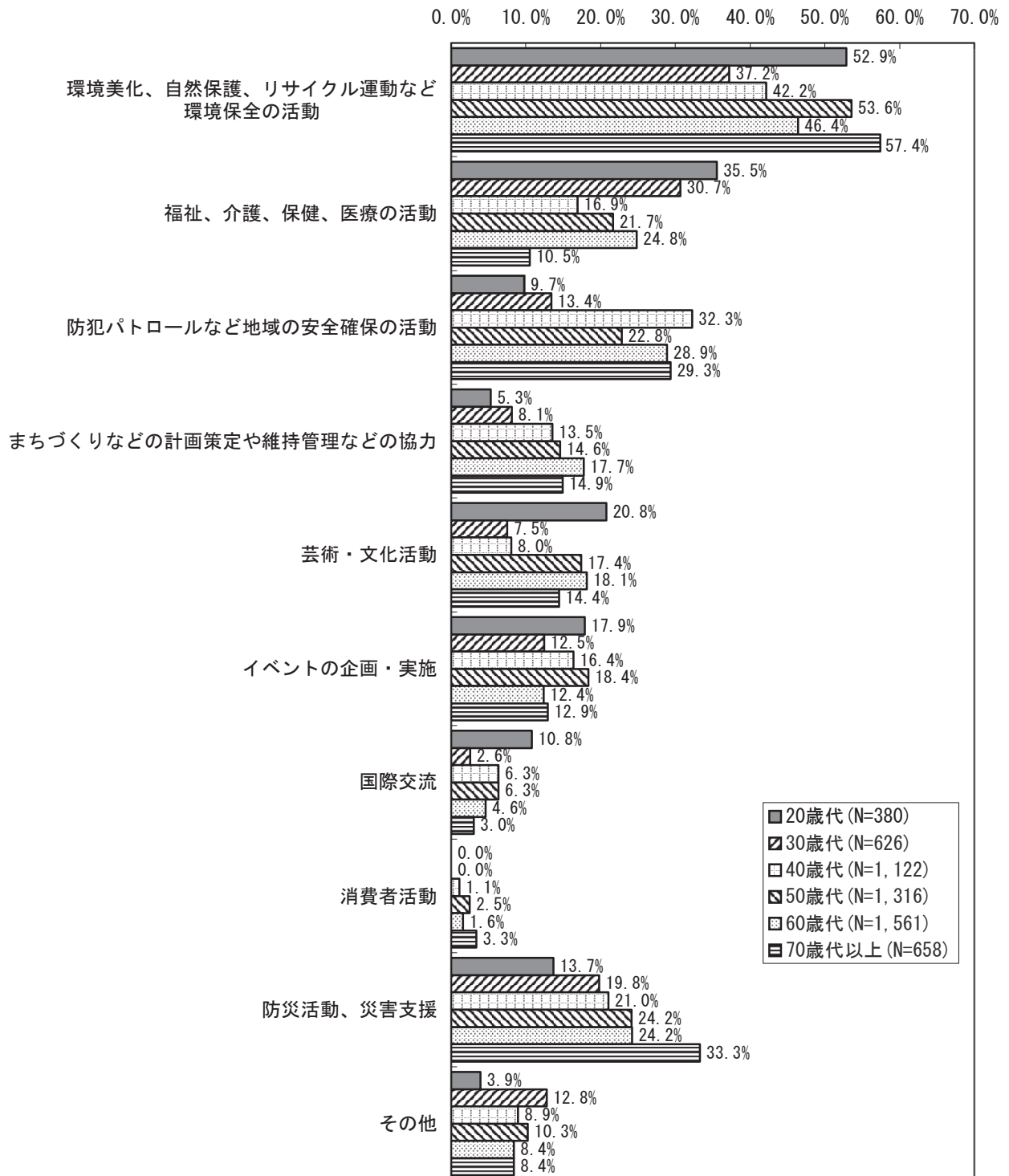
参加している、または参加した活動については、「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」(47.8%)が他の項目を20ポイント以上離して最も多くなっている。次いで「防犯パトロールなど地域の安全確保の活動」が25.1%、「防災活動、災害支援」が23.5%、「福祉、介護、保健、医療の活動」が22.4%となっている。

#### 平成18年度、平成22年度との比較

「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」「福祉、介護、保健、医療の活動」「芸術・文化活動」は減少傾向となっている。

○年齢層別

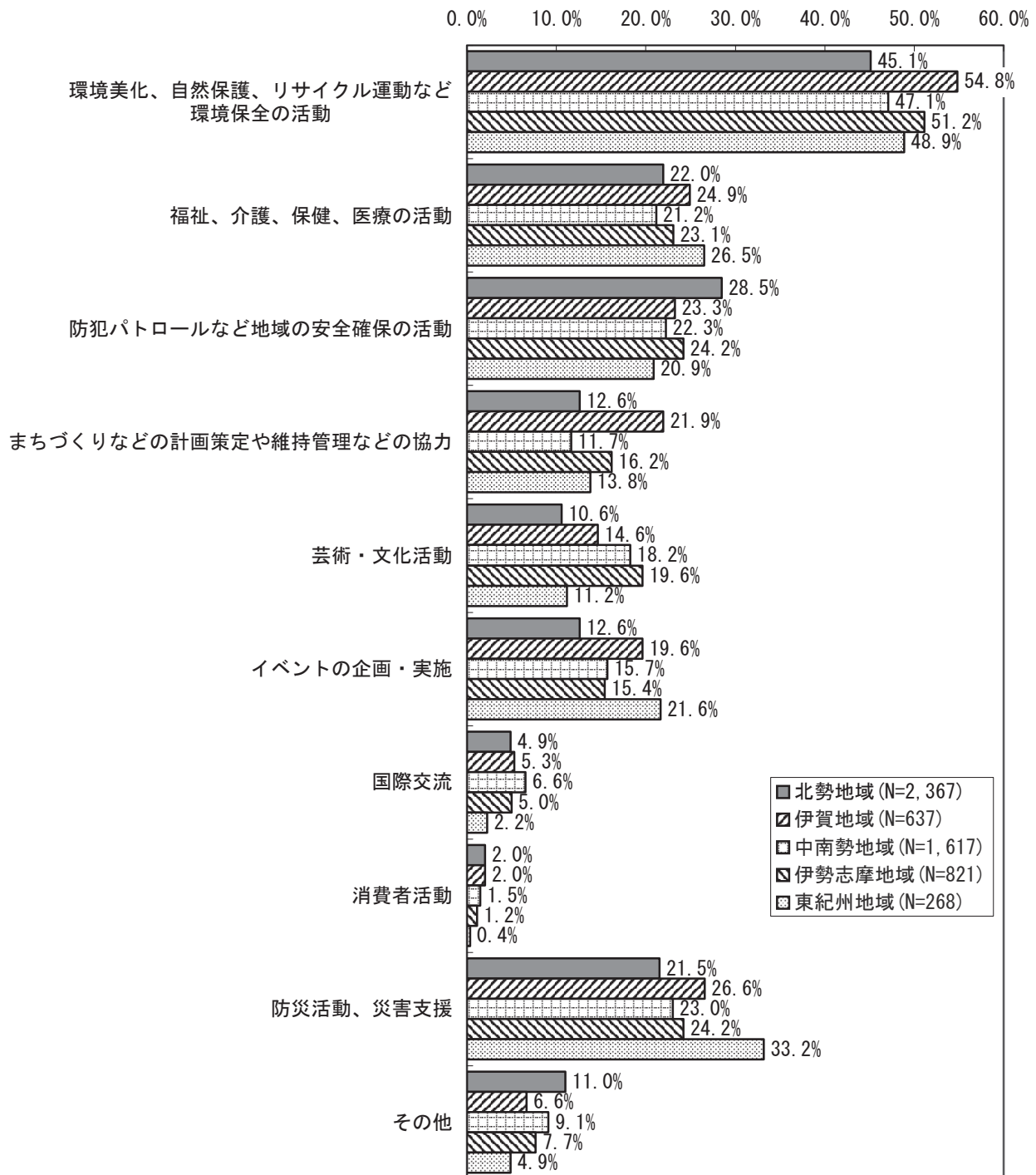
(集計資料 p.124~125)



年齢層別でみると、全ての年齢層で「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」が最も多くなっており、20歳代、50歳代、70歳代以上では5割を越えている。次いで多いのが、20歳代、30歳代は「福祉、介護、保健、医療の活動」、40歳代、60歳代は「防犯パトロールなど地域の安全確保の活動」、50歳代、70歳代以上は「防災活動、災害支援」となっている。

○地域別

(集計資料 p.124~125)



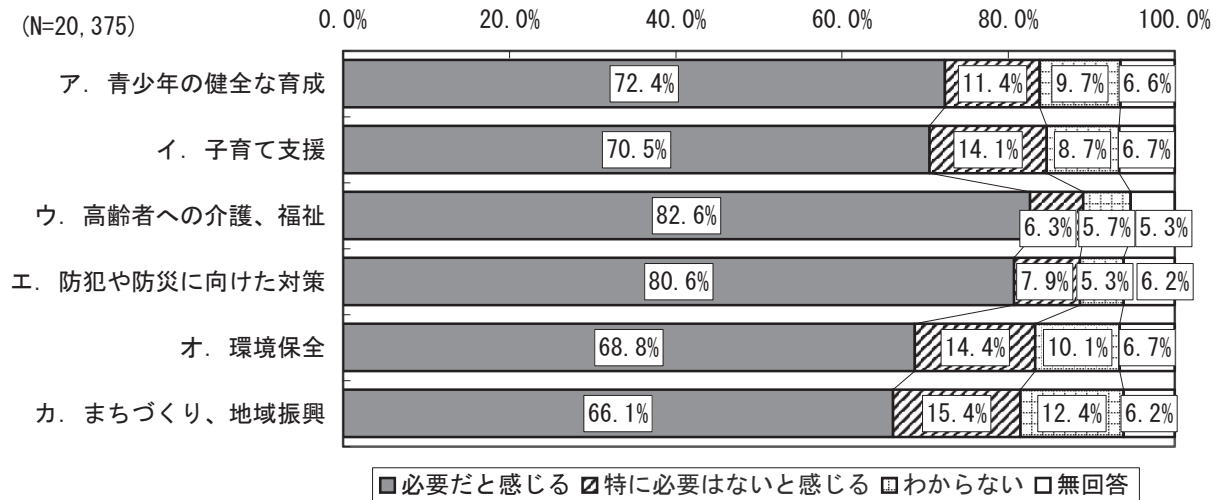
地域別で見ると、全地域で「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」が最も多く5割前後となっている。次いで多いのが、北勢地域は「防犯パトロールなど地域の安全確保の活動」、伊賀地域、中南勢地域、東紀州地域は「防災活動、災害支援」、伊勢志摩地域は同率で「防犯パトロールなど地域の安全確保の活動」と「防災活動、災害支援」となっている。

(3) 地域の人を中心となって積極的に取り組むことの必要性

問6-3 あなたは、次のア～カの項目について、あなたの住んでいる地域の人を中心となって積極的に取り組むことが必要だと感じますか。(回答は各単一選択式)

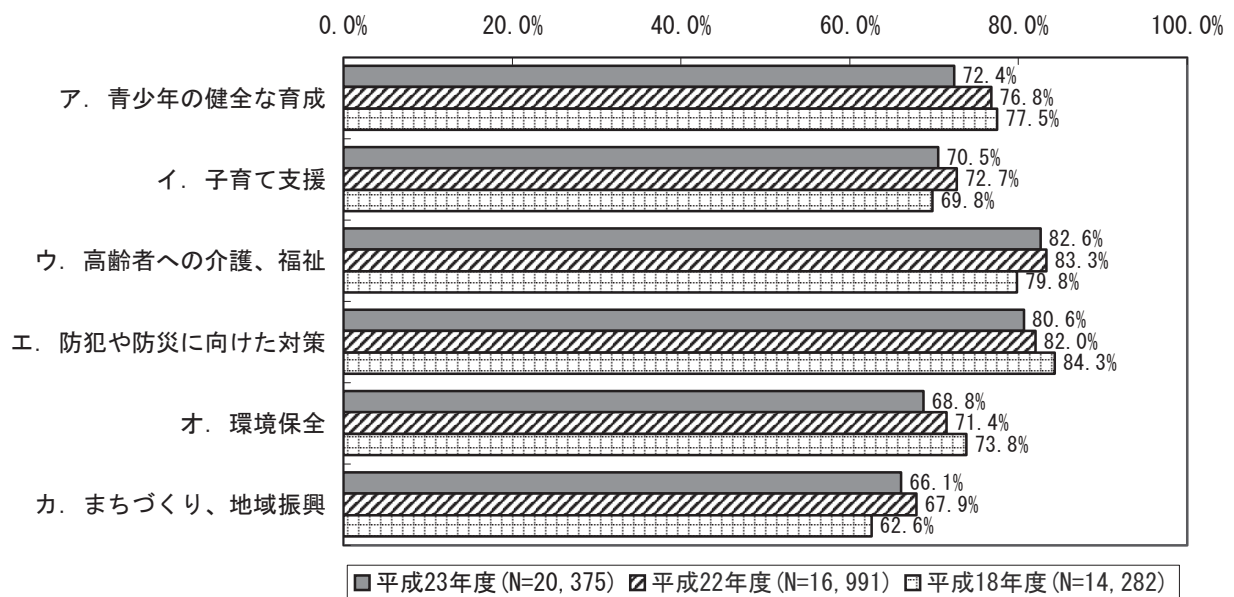
○全体

(集計資料 p.126～131)



地域の人を中心となって積極的に取り組むことが「必要だと感じる」と答えた人は、「ウ. 高齢者への介護、福祉」(82.6%)が最も多く、次いで、「エ. 防犯や防災に向けた対策」(80.6%)、「青少年の健全な育成」(72.4%)などとなっている。

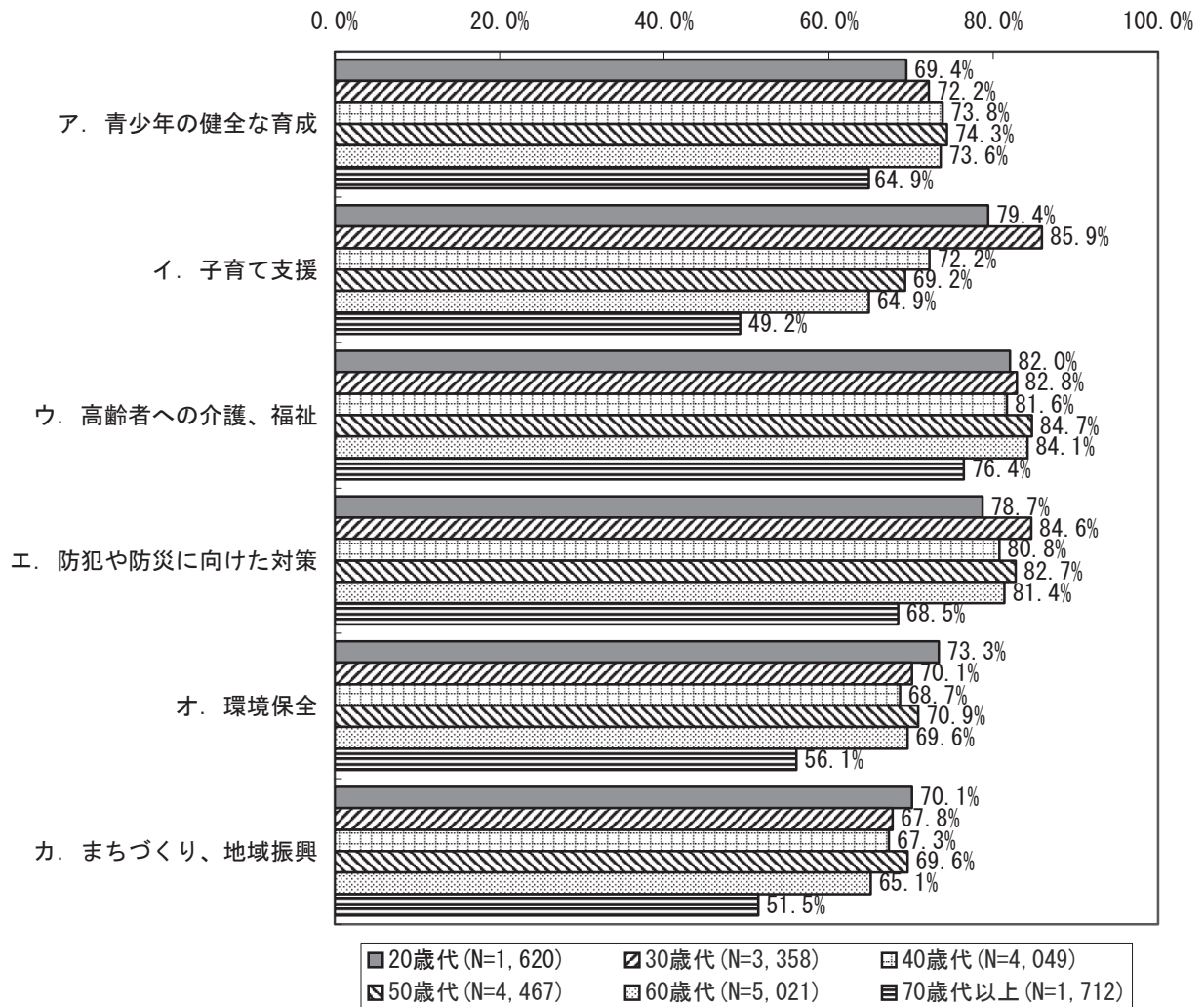
○「必要だと感じる」の前回調査及び平成18年度調査との比較



「必要だと感じる」と答えた人の割合を各年度で比較すると、「ア. 青少年の健全な育成」「エ. 防犯や防災に向けた対策」「オ. 環境保全」が減少傾向となっている。

○年齢層別

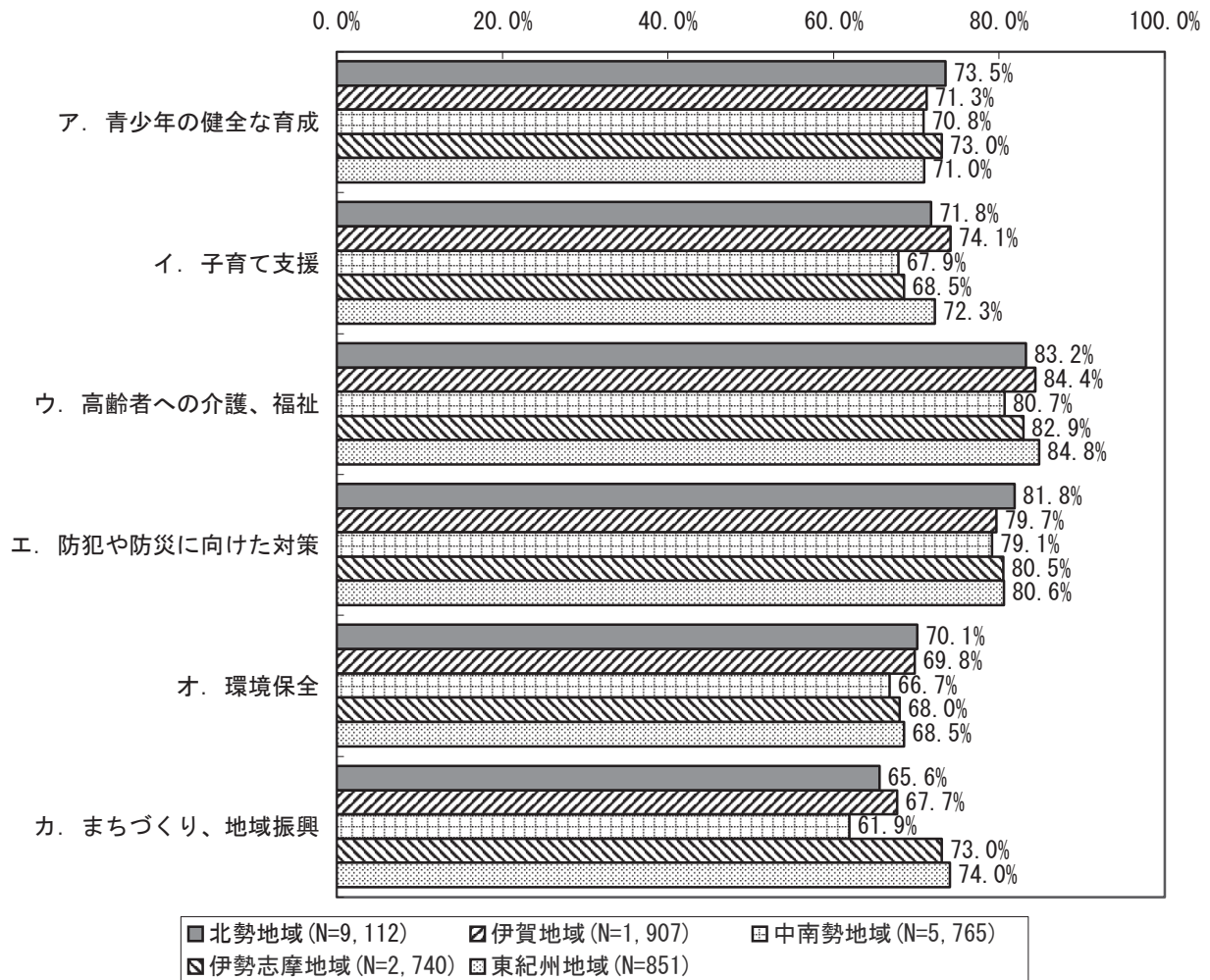
(集計資料 p.126～131)



「必要だと感じる」と答えた人の割合を年齢層別で見ると、「イ. 子育て支援」は 20 歳代、30 歳代で多く、「ウ. 高齢者への介護、福祉」は 50 歳代、60 歳代で多くなっている。また、全ての項目で 70 歳代以上は「必要だと感じる」の回答が他の年齢層に比べて少なくなっている。

○地域別

(集計資料 p.126～131)



「必要だと感じる」と答えた人の割合を地域別で見ると、「ウ. 高齢者への介護、福祉」「エ. 防犯や防災に向けた対策」は全地域で8割前後と多くなっている。「カ. まちづくり、地域振興」は伊勢志摩地域、東紀州地域で多い一方、北勢地域、中南勢地域では少なくなっており、最も多い東紀州地域（74.0%）と最も少ない中南勢地域（61.9%）では10ポイント以上の差がある。



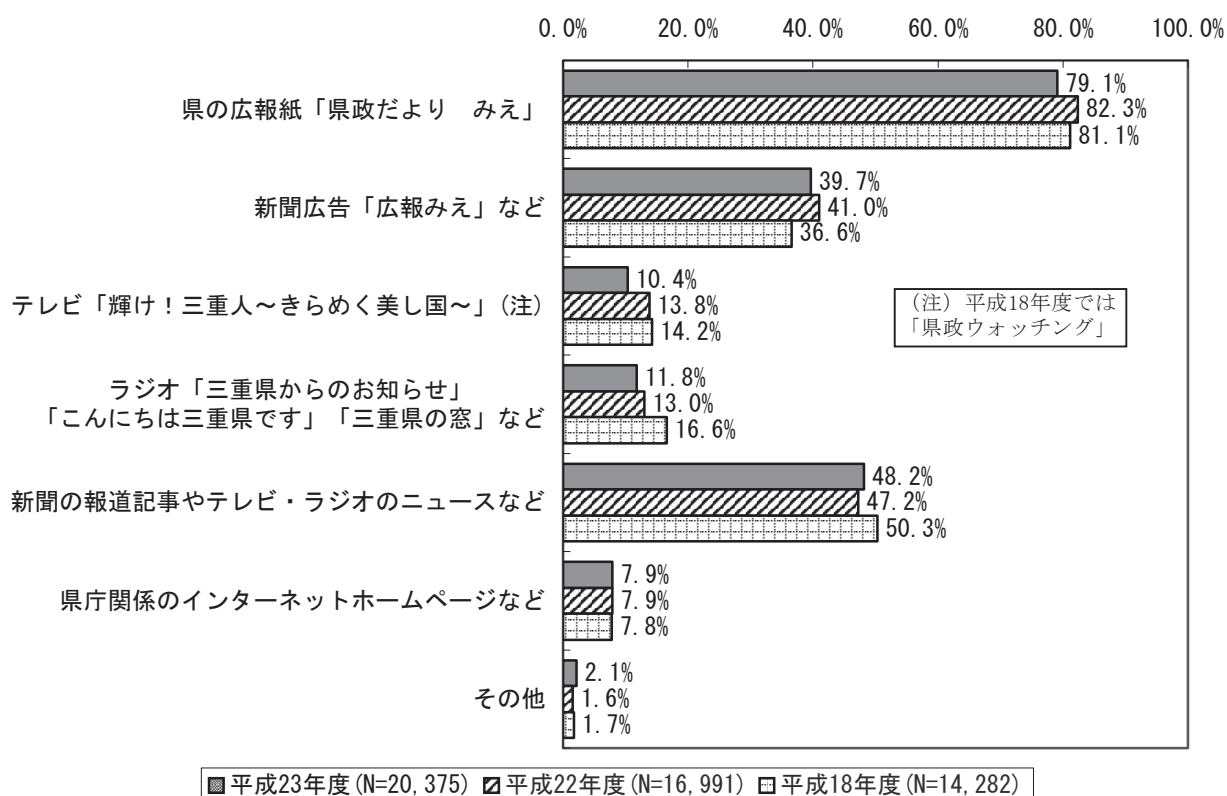
## 9. 県の広報広聴活動についての質問

### (1) 県の施策や事業についての情報入手先

問7-1 あなたは、県が行っている施策や事業について、どこから情報を得ていますか。(回答は複数選択式)

#### ○全体

(集計資料 p.132)



#### 平成23年度

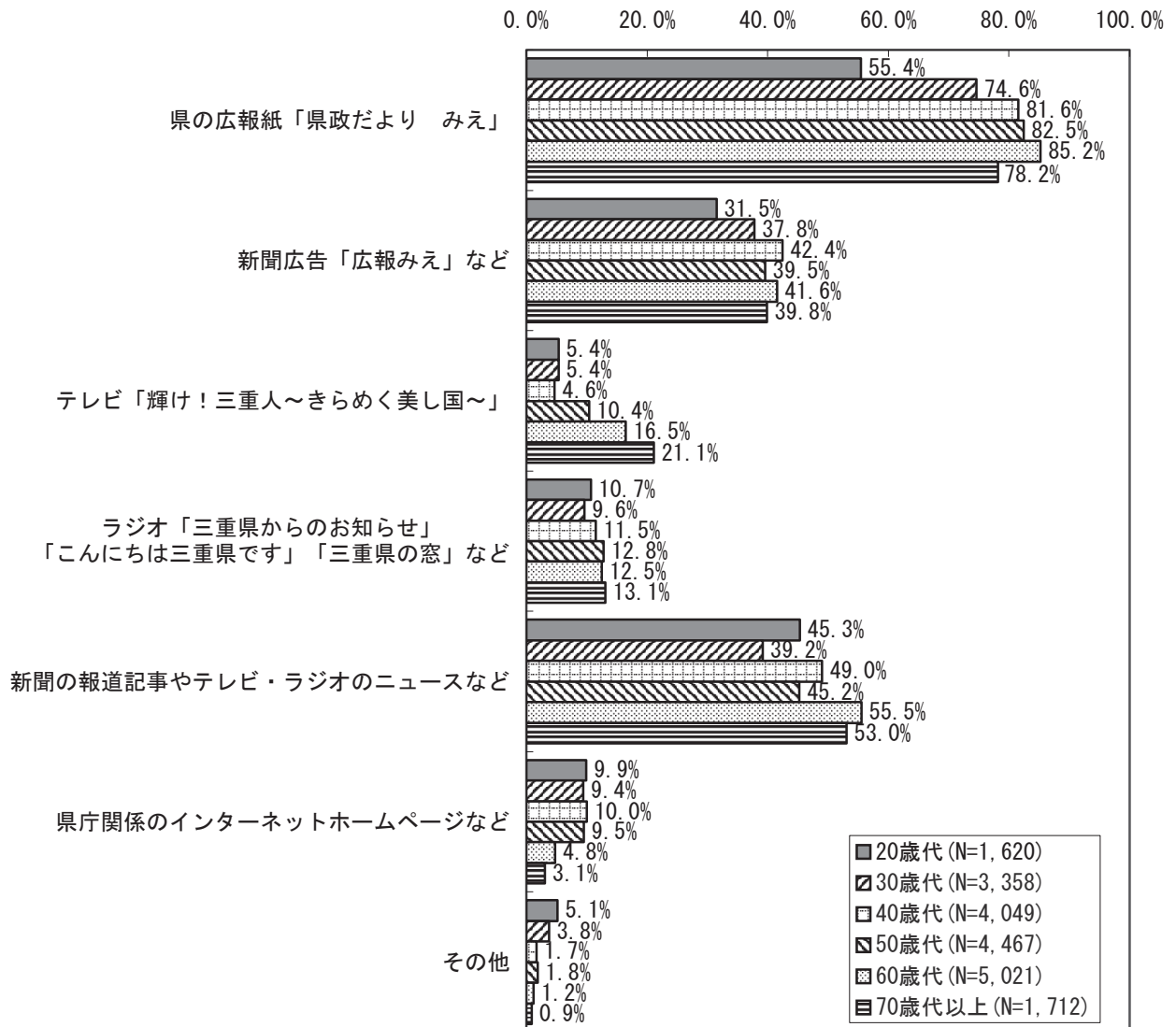
県の施策や事業についての情報入手先は、「県の広報紙『県政だより みえ』」が79.1%で最も多く、次いで、「新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュースなど」(48.2%)、「新聞広告『広報みえ』など」(39.7%)となっている。

#### 平成18年度、平成22年度との比較

各年度を比較すると、「ラジオ『三重県からのお知らせ』『こんにちは三重県です』『三重県の窓』など」「テレビ『輝け！三重人～きらめく美し国～』」は減少傾向となっている。

○年齢層別

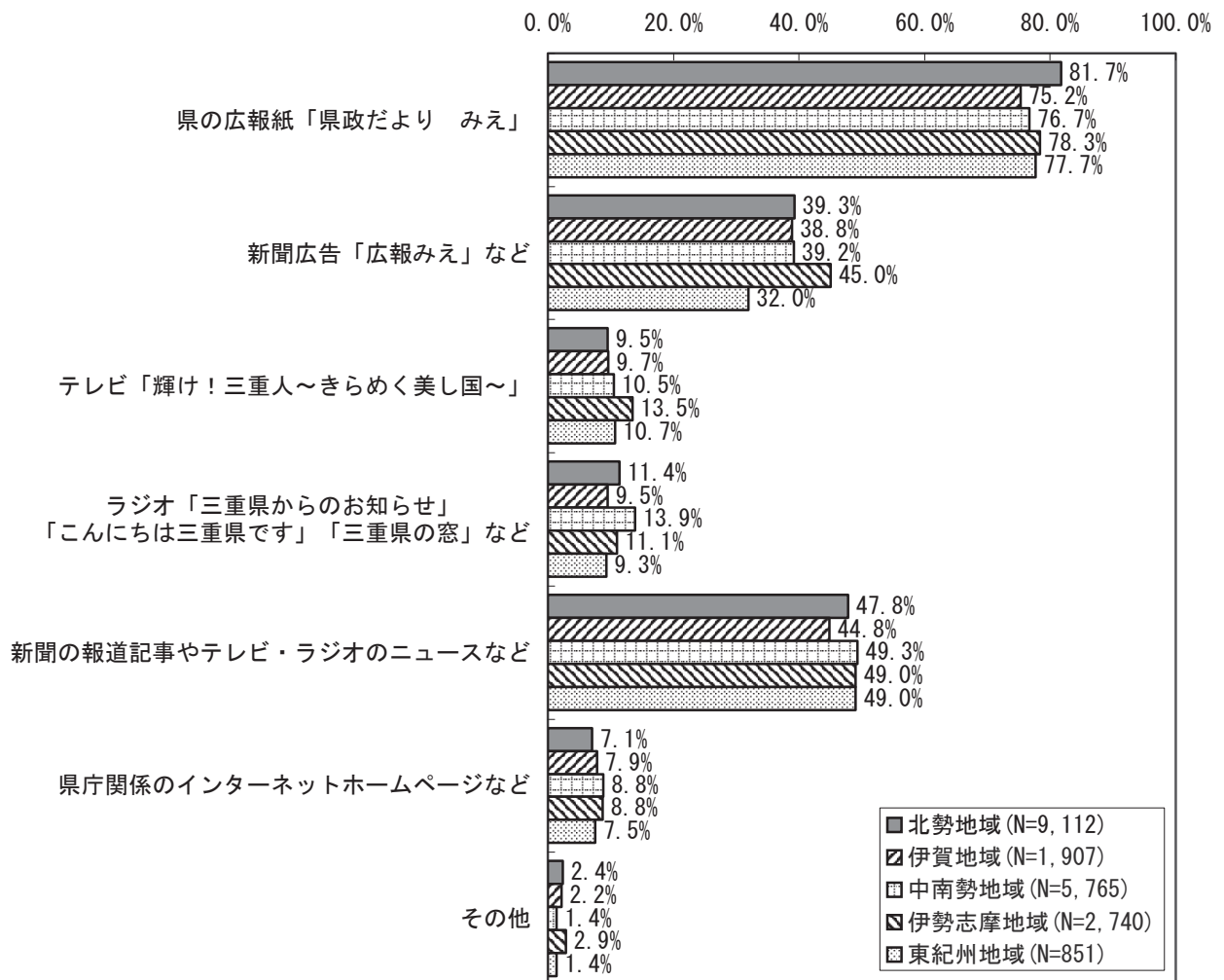
(集計資料 p.132)



年齢層別にみると、「県の広報紙『県政だより みえ』」では20歳代を除く年齢層では8割前後であるのに対し、20歳代では5割台と少なくなっている。また、「新聞広告『広報みえ』」も20歳代は他の年齢層に比べ少なくなっている。

○地域別

(集計資料 p.132)



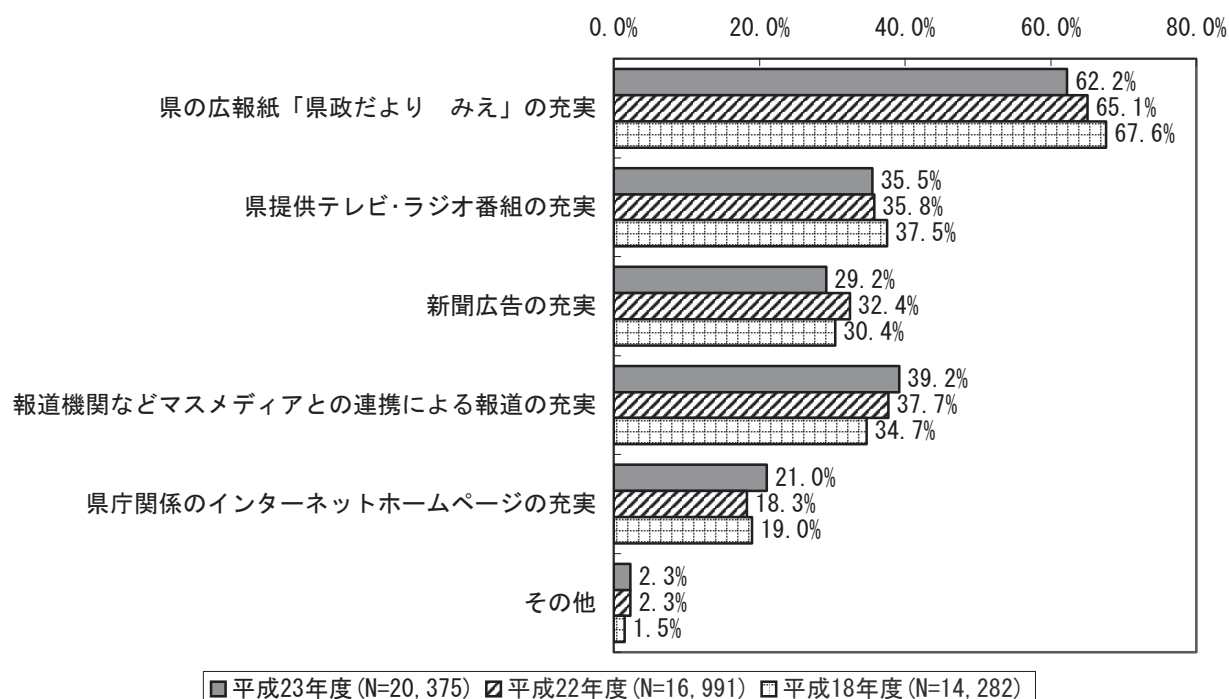
地域別では、全地域で「県の広報紙『県政だより みえ』」が8割前後で最も多く、次いで「新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュースなど」「新聞広告『広報みえ』など」と続いている。県の広報紙『県政だより みえ』は北勢地域で多く、「新聞広告『広報みえ』など」は伊勢志摩地域で多くなっている。

## (2) 今後充実を図るべき県の情報提供の方法

問7-2 今後充実を図るべき県の情報提供の方法は、どのような方法が良いとお考えでしょうか。(回答は複数選択式)

○全体

(集計資料 p.133)



### 平成23年度

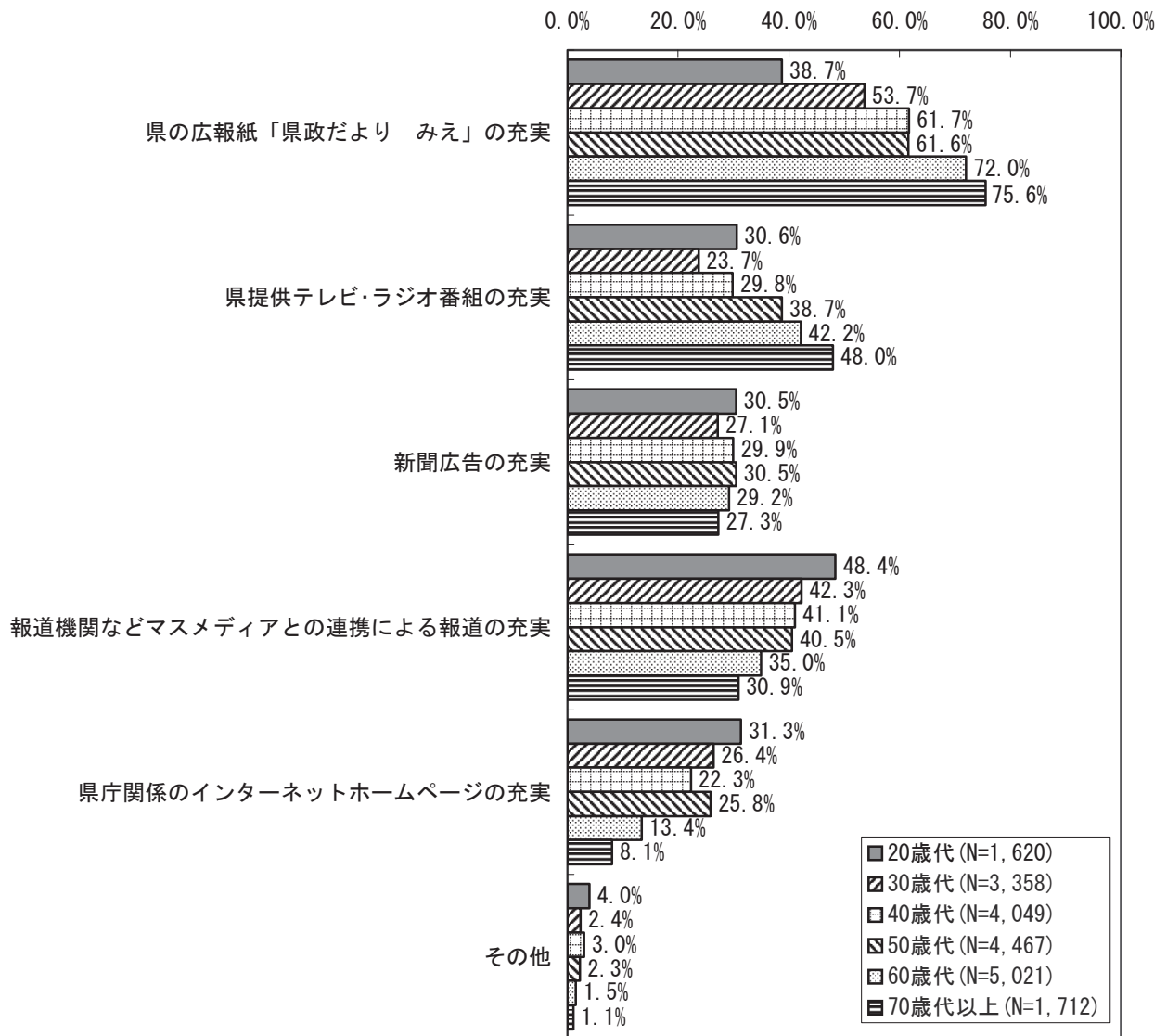
今後充実を図るべき県の情報提供の方法は、「県の広報紙『県政だより みえ』の充実」が62.2%で最も多く、次いで、「報道機関などマスメディアとの連携による報道の充実」(39.2%)、「県提供テレビ・ラジオ番組の充実」(35.5%)、「新聞広告の充実」(29.2%)、「県庁関係のインターネットホームページの充実」(21.0%)となっている。

### 平成18年度、平成22年度との比較

「県の広報紙『県政だより みえ』の充実」「県提供テレビ・ラジオ番組の充実」は、減少傾向となっているのに対し、「報道機関などマスメディアとの連携による報道の充実」は増加傾向となっている。

○年齢層別

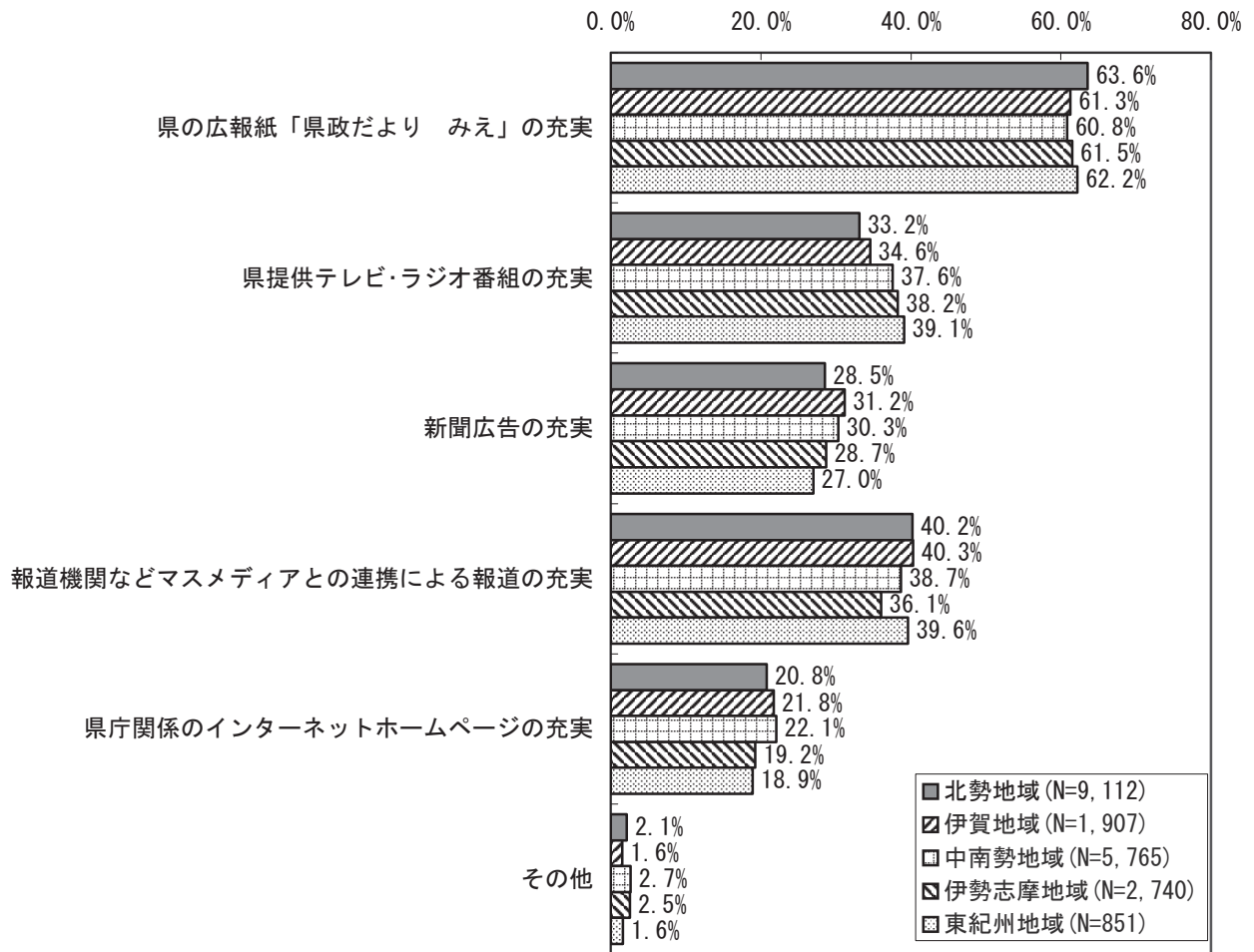
(集計資料 p. 133)



年齢層別では、「県の広報紙『県政だより みえ』の充実」「県提供テレビ・ラジオ番組の充実」が年齢層が高くなるにしたがって増加傾向となっているのに対し、「報道機関などマスメディアとの連携による報道の充実」「県庁関係のインターネットホームページの充実」は年齢層が高くなるにしたがって減少傾向となっている。

○地域別

(集計資料 p.133)



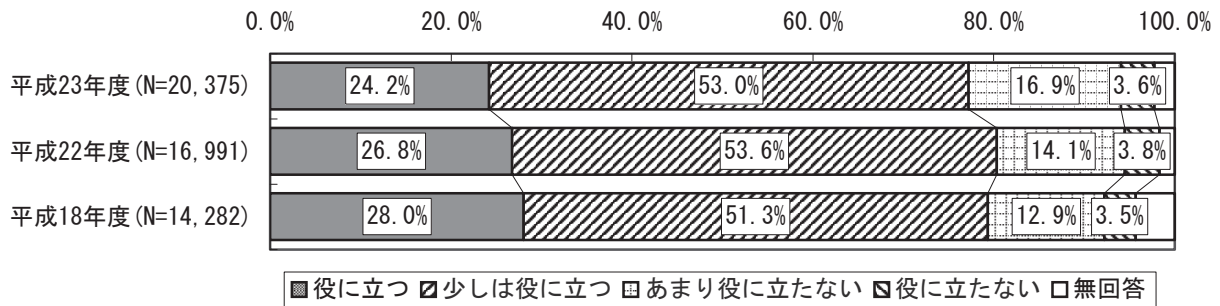
地域別では、全地域で「県の広報紙『県政だより みえ』の充実」が最も多く、6割以上となっており、地域ごとの差も少ない。他の充実項目についても地域ごとの大きな差はない。

### (3) 「県政だより みえ」の有用度

問7-3 「県政だより みえ」(各戸配布の県の広報紙)は、どの程度役に立つと思いますか。(回答は各単一選択式)

#### ○全体

(集計資料 p.134)



#### 平成23年度

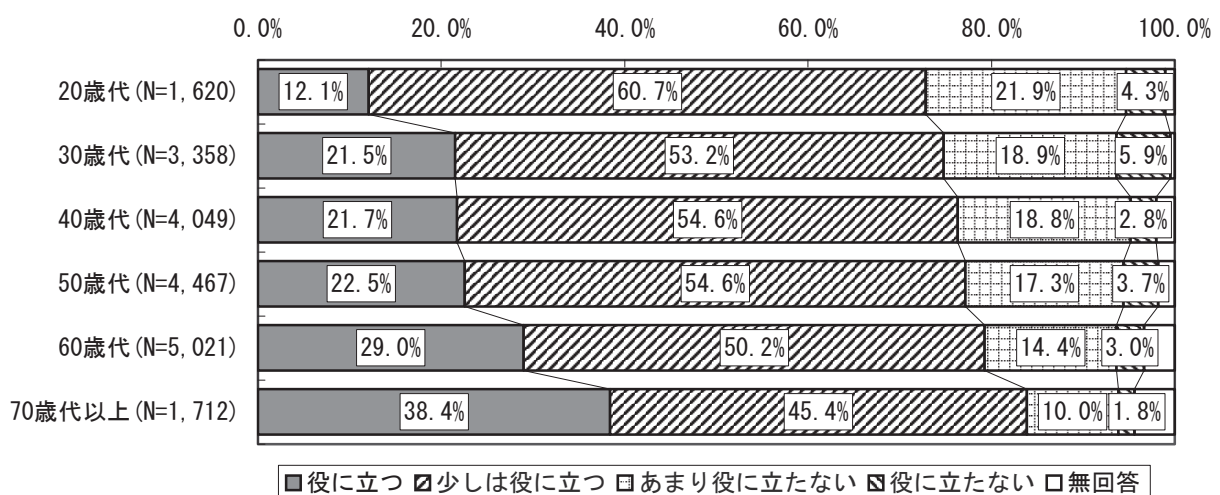
全体では、「役に立つ」と「少しは役に立つ」を合わせた“役に立つ”は約8割を占めている。

#### 平成18年度、平成22年度との比較

「役に立つ」は、平成18年度より減少傾向となっている。

#### ○年齢層別

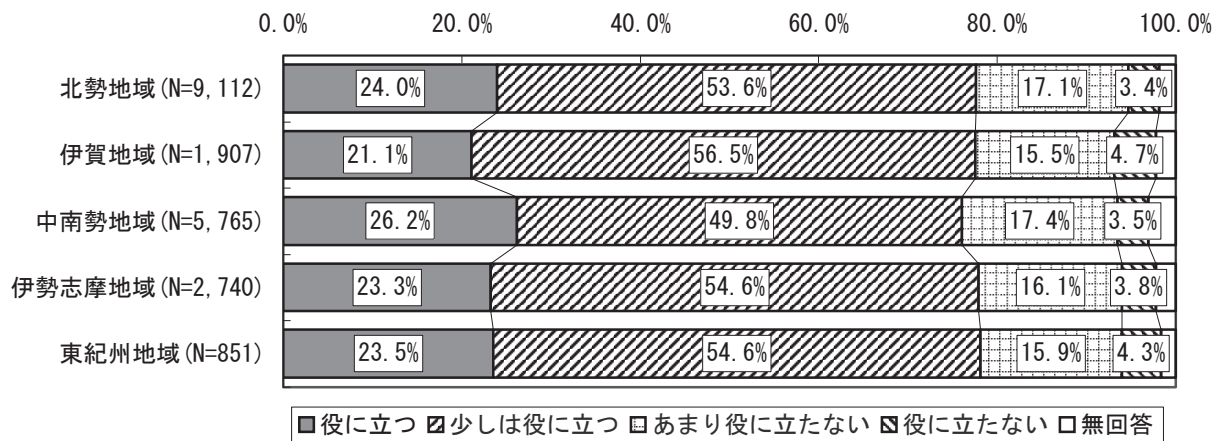
(集計資料 p.134)



年齢層別では、「役に立つ」は年齢層が高くなるにしたがって多くなっている。また、「役に立つ」は20歳代(12.1%)が70歳代以上(38.4%)より26.3ポイント少なくなっている。

○地域別

(集計資料 p.134)



地域別では、「役に立つ」が中南勢地域でやや多いほかは地域による差はほとんどみられない。

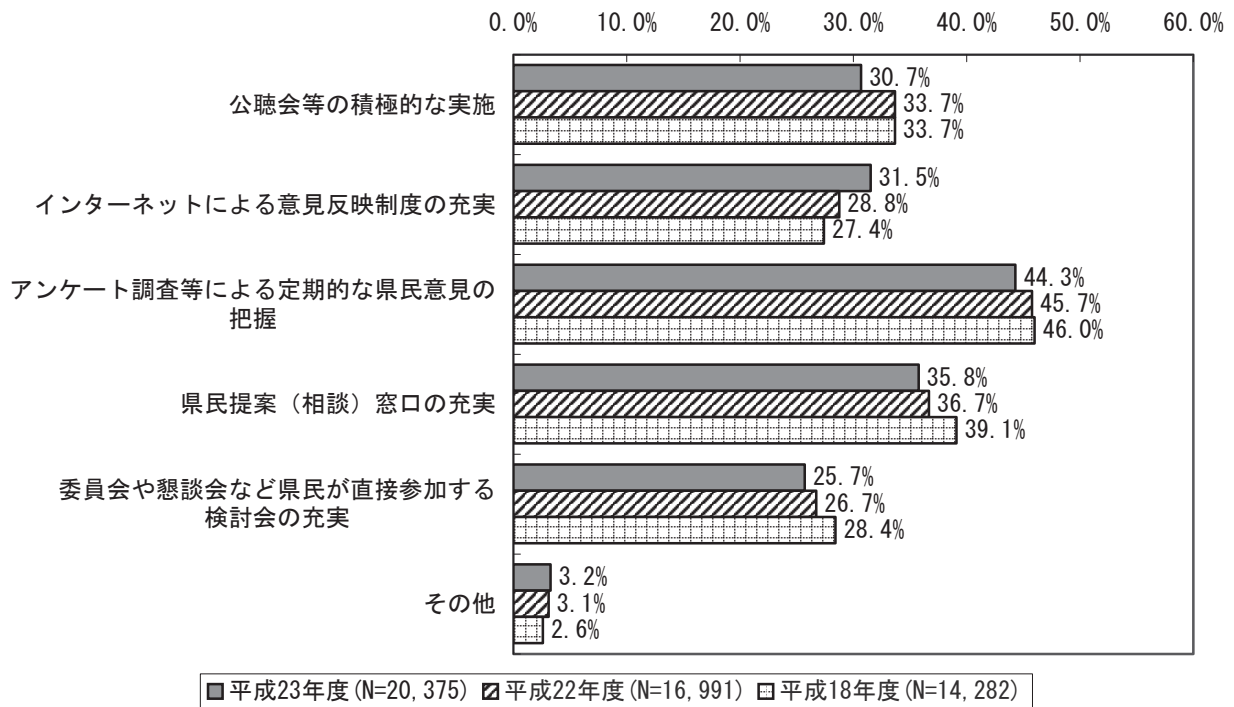


(4) 三重県民の意見や要望を県政に反映させるために力を入れるべきこと

問7-4 県民の皆さんの意見や要望をより一層県政に反映させるためには、どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(回答は複数選択式)

○全体

(集計資料 p.135)



平成 23 年度

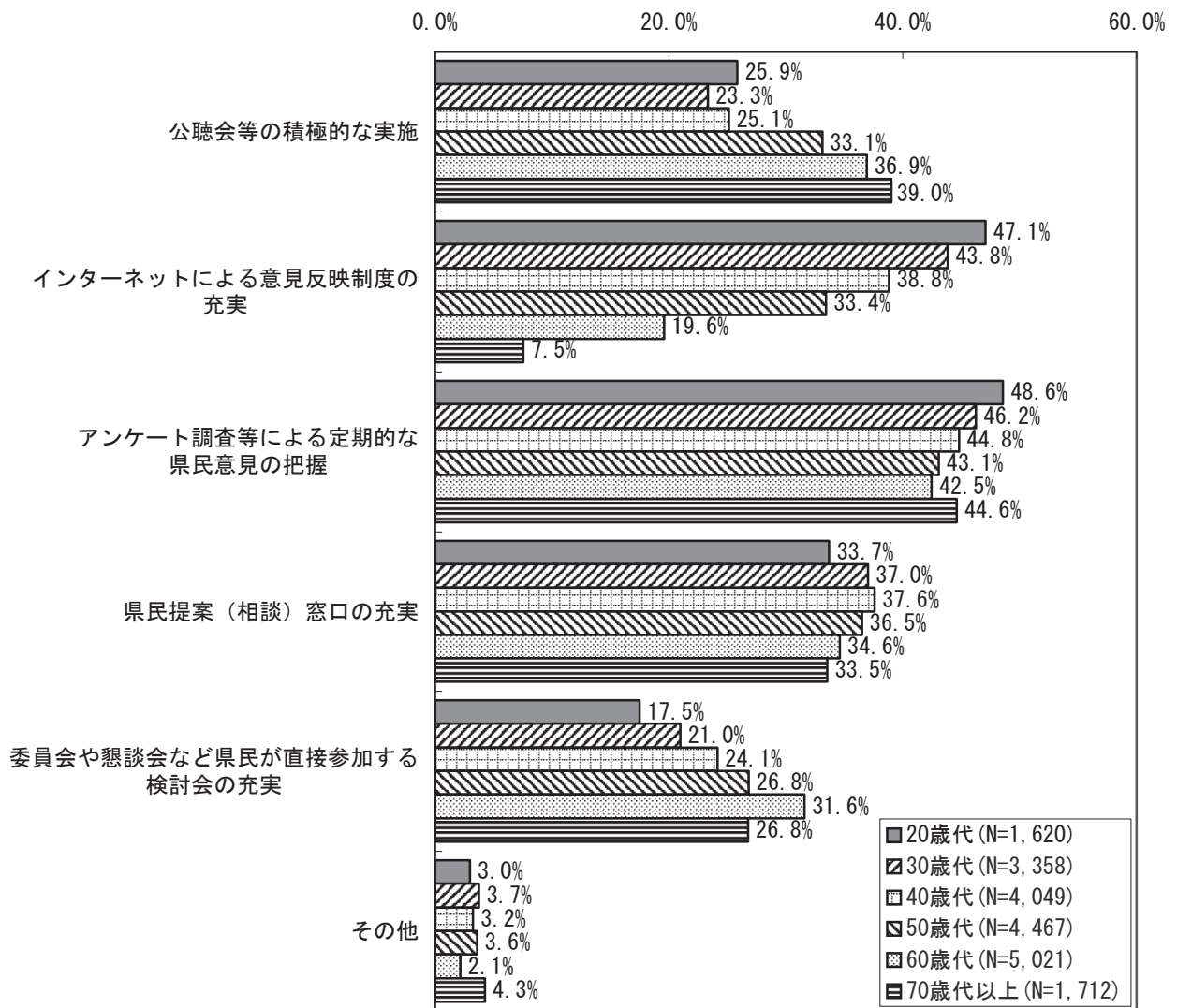
全体では、「アンケート調査等による定期的な県民意見の把握」が 44.3%で最も多く、次いで、「県民提案(相談)窓口の充実」(35.8%)、「インターネットによる意見反映制度の充実」(31.5%)、「公聴会等の積極的な実施」(30.7%)、「委員会や懇談会など県民が直接参加する検討会の充実」(25.7%) となっている。

平成 18 年度、平成 22 年度との比較

「インターネットによる意見反映制度の充実」は増加傾向となっているが、他の充実項目は減少傾向となっている。

○年齢層別

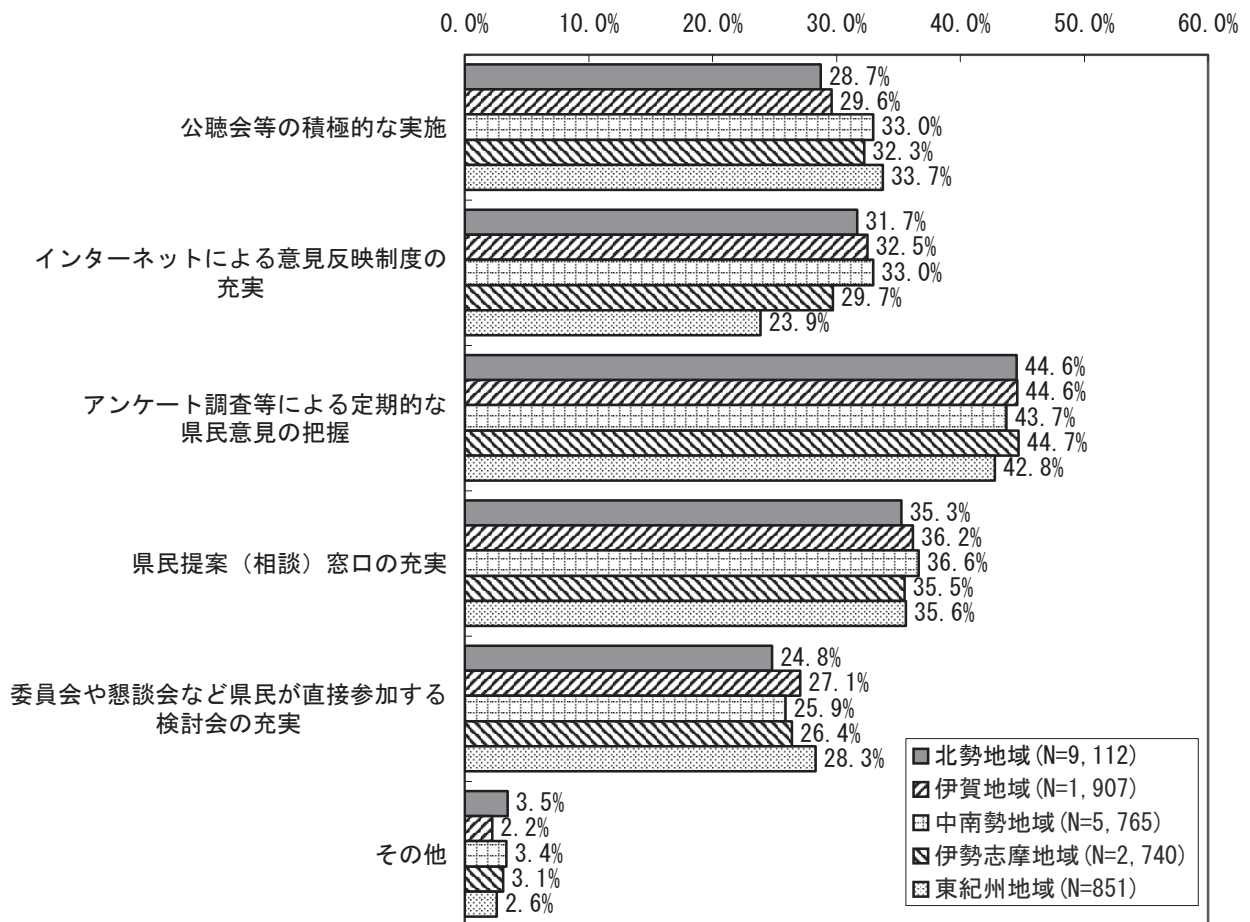
(集計資料 p.135)



年齢層別では、「公聴会等の積極的な実施」「委員会や懇談会など県民が直接参加する検討会の充実」では年齢層が高くなるほど増加傾向となっているのに対し、「インターネットによる意見反映制度の充実」は、年齢層が高くなるほど大きく減少する傾向となっている。

○地域別

(集計資料 p.135)



地域別では、「インターネットによる意見反映制度の充実」が東紀州地域において他の地域よりも少なくなっている以外は、地域ごとの大きな差はみられない。

## 10. 回答者からの自由なご意見

このたびのアンケートに対するご感想、または三重県行政に対するご意見などございましたらご自由にお書きください。今後の参考にさせていただきます。

今回の調査で、上記の質問を設定して回答者の方にご意見をお聞きしたところ、計 1,756 人の方から回答が得られ、延べ 2,228 件の意見にまとめました。記入していただいたご意見は、

- (1) 一万人アンケートについての意見 252 件
- (2) その他の意見 1,976 件

に分類しました。内容などは、以下のとおりです。

### (1) 一万人アンケートについての意見ならびに県の考え方

いただいたご意見の中には、内容を同じくするご意見もありますので、ご意見をいくつかの類型に分類し、主な意見として集約したうえで、県の考え方を併せて提示いたします(詳細は次頁以降)。

### (2) その他の意見

県政のさまざまな分野に対するご意見もいただきました。

いただいたご意見につきましては、この調査を担当している企画室から関係部署へ情報伝達し、県として諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用いたします。なお、ご意見を県行政の各分野における 44 項目別に分類した件数は次のとおりです。

01. 人権尊重	23 件	02. 生涯学習	10 件
03. 学校教育	43 件	04. 青少年の健全育成	10 件
05. 高等教育機関	9 件	06. 市民活動	28 件
07. 文化・芸術	17 件	08. 歴史・文化遺産	8 件
09. スポーツ・レクリエーション	19 件	10. 地域での防災の取組	11 件
11. 災害対策	27 件	12. 交通安全	21 件
13. 防犯	15 件	14. 食の安全	4 件
15. 高齢者、障がい者の社会参加	36 件	16. 保健予防体制	17 件
17. 子育て環境	116 件	18. 医療体制	162 件
19. 福祉サービス	84 件	20. 自然環境との共生	39 件
21. 希少な生物	2 件	22. ごみの減量	10 件
23. きれいな空気	6 件	24. 川や海の水質	20 件
25. 地球温暖化防止	2 件	26. 農林水産業の振興	33 件
27. 産業振興	31 件	28. 観光	41 件
29. 技術開発	0 件	30. 地域商工業	44 件
31. 雇用	100 件	32. 職業能力開発	1 件
33. 国際化	5 件	34. 広域交流・連携	14 件

35. 情報ネットワーク	7 件	36. 高速交通網	36 件
37. 道路の整備	98 件	38. 公共交通機関	86 件
39. 港の整備	1 件	40. 快適なまちづくり	35 件
41. 農山漁村づくり	9 件	42. 過疎地域等の振興	79 件
43. エネルギー	10 件	44. 飲料水の供給	1 件
その他			
県行政全般について	303 件	広聴広報、情報発信、PR	123 件
地域格差について	44 件	「美し国おこし・三重」について	28 件
その他	108 件		

## 一万人アンケートについての意見ならびに県の考え方 一覧

### ①アンケートの目的 (47 件)

- ・ このアンケートの目的がいまいち理解できません。
- ・ あまり意味のないアンケートに思える。
- ・ 今後もこの様なアンケートを実施して県民の意見を取り上げてほしいです。
- ・ 県が、県民の暮らしや県を良くするため、アンケートという形で個人の意識や意見を聞き取ろうとしてくれるのはとても嬉しい。

### 〔県の考え方〕

アンケートの目的が理解できない、といったアンケート調査の目的についてのご意見をいただきました。

報告書 p1 の「(1) 調査の目的」にも記載しましたが、県では、平成 16 年 3 月に策定した総合計画「県民しあわせプラン」を着実に推進するため、県民の皆様の行政の各分野に対する満足意識等を把握し、県政運営に活用することを目的として、一万人の県民の方にアンケート調査をお願いしてきたところです。

一万人アンケートについては、平成 10 年度から 12 回にわたり行い、県民の皆様の意識やニーズの中長期的な傾向を把握するための参考としたほか、一部については、施策や基本事業の進捗管理にも活用してきました。

県では、現在、より実効性のあるアンケート調査とするため、一万人アンケートの特徴と課題を踏まえて、見直し作業を進めているところです。

さらに、見直し後のアンケート調査は、現在策定を進めている「みえ県民力ビジョン（仮称）」を推進するツールとしても活用する予定であり、質問内容もビジョンに沿ったものとした上で、毎年実施する予定です。

## ②アンケートの実施方法（30件）

- ・ この様なアンケートもホームページでできる。
- ・ 年に1回位、このようなアンケートを実施された方がいいと思います。
- ・ 北勢、中勢、南勢に分けて、それぞれの地域の問題点を踏まえたアンケートを実施して欲しいです。
- ・ 地域に合うように地域別項目があっても良いのではないのでしょうか。

### 〔県の考え方〕

アンケートをインターネット上で実施してはどうか、といったご意見をいただきました。一万人アンケートの回答方法につきましては、インターネットを利用できる環境にない方も含め、できる限り多くの県民の皆様にご回答していただけるよう、調査用紙への回答をお願いしています。

なお、県では、eモニター（電子アンケートシステム）を用い、インターネット上でモニター登録者を対象として定期的にアンケート調査を行っており、県民の皆様のご意識意向を把握し、事業のあり方などを考える際の視点として活用しています。

また、アンケートを年1回実施した方がよい、とのご意見もいただきましたが、一万人アンケートは、平成14年度以降、毎年1回実施しており、県民の皆様のごニーズがどのように変化したかなどについて、年ごとの変化を把握してきたところです。

今後については、「①アンケートの目的」でも述べたとおり、現在、新しいアンケート調査の検討を進めているところであり、県民の皆様のごニーズなどを把握するための調査を毎年実施していく予定です。

さらに、それぞれの地域に分けてアンケートを実施して欲しい、とのご意見もいただきました。ご指摘のとおり、地域の問題点に絞ったアンケートを行うことも効果があると考えられますが、一万人アンケートでは、県民の皆様全体のニーズや意識を把握することを目的としており、現時点では、全地域同一の内容で調査することとしています。

なお、一万人アンケートでは、地域別の分析や地域間の比較を行っています。

## ③調査票の構成（92件）

- ・ 答えにくい質問が多すぎるし設問が多すぎる。
- ・ 高齢者や子供にも優しく分かりやすいアンケートを作って頂きたい。
- ・ 設問はどれも重要な課題であるが、アンケート回答を求める前に各設問に対して県、または自治体は実施、または結果を述べて、県民の満足度、または評価を求めるべきではないのか。

### 〔県の考え方〕

アンケートの調査票の構成については、多数のご意見をいただきました。現在のアンケートでは、調査票の構成について次のように考えています。

アンケートの内容が答えにくい、分かりにくい、といったご意見をいただきましたが、一万人アンケートでは、県民ニーズがどのように変化したかなどについて把握するため、設問等に継続性を

持たせてきました。その点、ご理解くださいますようお願いいたします。

アンケートの量が多いのではないかとのご意見もいただきましたが、一万人アンケートでは、県民の皆様のニーズを把握するため、同じ質問において重要意識や満足意識など複数の回答をお願いしてきました。

アンケート回答にあたって、県の取組内容を説明すべきである、とのご意見もいただきました。一般的に、アンケート調査時に回答者に対して設問に関する過剰な情報を知らせることは、調査の結果をゆがめることにつながるとされており、本調査では、県の取組に関する詳しい説明を控えてきたところです。

一方で、ご指摘のとおり、各設問に県の具体的な取組についての記載がないため、具体的な取組内容がイメージできない、といった課題があることも認識しています。一万人アンケートにつきましては、こういった課題を抱えていることに加え、現在「みえ県民力ビジョン（仮称）」の策定を進めていることから、新しいアンケート調査の実施に向けて検討を進めております。いただいたご意見は新しいアンケート調査の検討の参考とさせていただきます。

#### ④対象者（数）の抽出方法（19件）

- ・ アンケートの抽出方法は本当にランダムなのでしょうか？いつも送付されてくるような気がします。
- ・ アンケートを回答する人材を良く選んで、自分達のような高齢者には出さないようになるべく若い人材に出してください。

#### 〔県の考え方〕

調査対象者の抽出方法についてのご意見をいただきました。この調査では、市町選挙管理委員会の選挙人名簿からの単純無作為抽出法（注1）を採用しています。結果として、過去に一万人アンケートにご協力いただいた方に調査票が届いている場合がありますが、決して同じ方を意図的に抽出しているわけではありません。

また、回答者ご自身の年齢などについてのご意見もいただきました。県民の皆様のニーズを把握するためには、様々な年齢層の方から、幅広いご意見をいただくことが必要だと考えています。調査対象となられた高齢者の方などには、ご負担をおかけしていることとご推察いたしますが、ご協力のほどよろしく申し上げます。

#### （注1）単純無作為抽出法

標本抽出台帳から、乱数表を用いて必要な標本を抽出する方法を指します。この調査では、選挙人の氏名が順に並んでいる名簿（選挙人名簿）の中から、調査対象者を一定間隔（間隔数は地域ごとに異なる）で抽出しました。

## ⑤アンケート結果の公表（20件）

- ・ このアンケートの集計結果がいつできるのか提示されていない。
- ・ このアンケートの結果を公表して欲しい。

### 〔県の考え方〕

アンケート調査結果の公表についてのご意見をいただきました。

この調査の目的は、「①アンケートの目的」でも述べたとおり、県政に反映させるべく県民の皆様意向（ニーズ）などを把握することです。調査の結果については、今後の県政運営においてその結果を速やかに反映することができるよう、まず5月に結果速報を、続いて10月に結果概要を公表し、11月頃に報告書を公表しています。

公表方法については、電子データとしては県のホームページ（注2）で、冊子としては当室ならびに生活・文化部情報公開室及び各県民センターの情報公開窓口で閲覧できるようにしており、ご希望があれば、結果の概要や報告書をお送りさせていただきます。

### （注2）

ホームページ URL <http://www.pref.mie.jp/KIKAKUK/HP/itimannin/index.htm>

## ⑥アンケート結果の活用方法（44件）

- ・ このアンケートがどのように活かされていくのか良く分からない。
- ・ このアンケートが役立ちより良い県、住みやすい県になることを期待します。

### 〔県の考え方〕

一万人アンケートは、県民の行政の各分野に対する満足意識等を把握し、県政運営に活用するため実施しており、その結果は、主に、各部局において施策や事業を推進する上での参考データとして活用することとしています。

また、行政の取組についての満足意識や重要意識のデータを県民しあわせプラン・第二次戦略計画の施策等の数値目標の進捗管理にも活用してきました。

なお、アンケートの結果については、「みえ県民力ビジョン（仮称）」の策定においても、活用しているところです。